（仮称）地域交流温浴センター建設工事

建築（意匠）				建築（構造）		電気設備		機械設備			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
TA-01~04	建築工事特記仕様書-01~04	A-51	厨房機器配置図			TE-01	電気設備工事特記仕様書	TM-01	機械設備工事特記仕様書	M-51	ペレットボイラ　参考図
A-01	配置図・建築計画概要・案内図	A-52	厨房機器表	S-01	構造設計標準仕様　その１	E-01	電気設備工事　外構図	M-01	給排水衛生設備　機器表		
A-02	現況図	A-53	部分詳細図-1	S-02	構造設計標準仕様　その２	E-02	受変電設備単線結線図	M-02	給排水衛生設備　器具表		
A-03	敷地面積求積図・求積表	A-54	部分詳細図-2	S-03	構造配筋標準図（１）	E-03	動力盤結線図（1）	M-03	給排水衛生設備　凡例・桝リスト		
A-04	建物面積求積図・求積表	A-55	部分詳細図-3	S-04	構造配筋標準図（２）	E-04	動力盤結線図（2）	M-04	給排水衛生設備　配管系統図		
A-05	仕上表	A-56	法チェック図	S-05	構造配筋標準図（３）	E-05	幹線動力設備　ピット平面図・系統図	M-05	給排水衛生設備　全体配置図		
A-06	1階平面図	A-57	バリアフリー平面図	S-06	鉄骨構造標準図（１）	E-06	幹線動力設備　1階平面図	M-06	給排水衛生設備　ピット平面図		
A-07	屋根伏図	A-58	平均地盤算定図	S-07	鉄骨構造標準図（２）	E-07	幹線動力設備　屋上平面図	M-07	給排水衛生設備　1階平面図		
A-08	ピット平面図	A-59	仮設計画図-1(参考図)	S-08	柱状図（１）	E-08	分電盤結線図（1）	M-08	給排水衛生設備　屋根伏図		
A-09	立面図	A-60	仮設計画図-2(参考図)	S-09	柱状図（２）	E-09	分電盤結線図（2）	M-09	給排水衛生設備　平面詳細図ー１		
A-10	断面図	A-61	工事工程計画(参考図)	S-10	柱状図（３）	E-10	照明器具機器姿図	M-10	給排水衛生設備　平面詳細図ー２		
A-11	矩計図-1			S-11	地盤改良特記仕様書	E-11	電灯設備　1階平面図	M-11	給排水衛生設備　平面詳細図ー２		
A-12	矩計図-2			S-12	梁貫通補強材仕様（参考図）（１）	E-12	電灯設備　外構図	M-12	給排水衛生設備　平面詳細図ー４		
A-13	矩計図-3	G-01	外構計画図	S-13	梁貫通補強材仕様（参考図）（２）	E-13	非常用照明設備　1階平面図	M-13	給排水衛生設備　平面詳細図ー５		
A-14	玄関廻り詳細図-1	G-02	舗装計画図	S-14	基礎伏図	E-14	コンセント設備　1階平面図	M-14	浴槽ろ過設備　フロー図、機器表ー１		
A-15	玄関廻り詳細図-2	G-03	雨水排水計画図	S-15	１階梁伏図	E-15	動力コンセント設備　厨房詳細図	M-15	浴槽ろ過設備　フロー図、機器表ー２		
A-16	天井伏図	G-04	緑化計画図	S-16	M階梁伏図	E-16	コンセント設備　WC詳細図	M-16	浴槽ろ過設備　フロー図、機器表ー３		
A-17	平面詳細図-1(共用、管理部門)	G-05	擁壁計画図	S-17	R階梁伏図	E-17	構内交換設備　仕様書、機器姿図	M-17	浴槽ろ過設備　平面詳細図ー１		
A-18	平面詳細図-2(温浴部門)	G-06	間知ブロック積擁壁展開図	S-18	軸組図（１）	E-18	弱電設備　系統図	M-18	浴槽ろ過設備　平面詳細図ー２		
A-19	平面詳細図-3(休憩、飲食・娯楽部門)	G-07	囲障詳細図（フェンス・伸縮門扉）	S-19	軸組図（２）	E-19	弱電設備　機器姿図	M-19	浴槽ろ過設備　機械室電気二次側配線図ー１		
A-20	平面詳細図-4(機械室部門)	G-08	構造図（舗装）	S-20	軸組図（３）	E-20	電話・LAN設備　1階平面図	M-20	浴槽ろ過設備　機械室電気二次側配線図ー２		
A-21	平面詳細図-5(便所部門)	G-09	構造図（見切り・ブロック・擁壁）	S-21	軸組図（４）	E-21	テレビ共同受信・情報表示・機械警備用空配管設備　1階平面図	M-21	浴槽ろ過設備　浴室二次側電気配線図ー１		
A-22	展開図-1(共用部門)	G-10	構造図（間知擁壁）	S-22	基礎断面リスト	E-22	放送設備　系統図・機器姿図	M-22	浴槽ろ過設備　浴室二次側電気配線図ー２		
A-23	展開図-2(共用部門)	G-11	構造図（バリカー・ボラード・雨水排水・防火水槽）	S-23	基礎梁断面リスト	E-23	放送設備　1階平面図	M-23	浴槽ろ過設備　制御盤姿図ー１		
A-24	展開図-3(共用部門、温浴部門)	G-12	構造図（汚水人孔）	S-24	柱断面リスト	E-24	中広間・大広間　AV設備　平面図・機器姿図（1）	M-24	浴槽ろ過設備　制御盤姿図ー２		
A-25	展開図-4(温浴部門)	G-13	構造図（雨水浸透槽）	S-25	RC大梁断面リスト	E-25	中広間・大広間　AV設備　機器姿図（2）	M-25	空気調和設備　機器表ー１		
A-26	展開図-5(温浴部門、休憩部門、飲食・娯楽部門)	G-14	構造図（路面標示）	S-26	鉄骨部材リスト	E-26	ITV設備　系統図・機器姿図	M-26	空気調和設備　機器表ー２		
A-27	展開図-6(休憩部門、飲食・娯楽部門、管理部門)	G-15	敷地内通路縦断図	S-27	RC小梁断面リスト	E-27	ITV設備　1階平面図	M-27	空気調和設備　配管・ダクト系統図、凡例		
A-28	展開図-7(管理部門)	G-16	外構撤去図	S-28	壁断面・床版断面リスト	E-28	自動火災報知設備　凡例・注記・系統図	M-28	空気調和設備　配管ピット平面図		
A-29	展開図-8(管理部門)	G-17	外構撤去構造図(間知石積擁壁構造図)	S-29	架構詳細図	E-29	自動火災報知設備　1階平面図	M-29	空気調和設備　配管１階平面図		
A-30	建具キープラン	G-18	外構撤去構造図(道路施設構造図)	S-30	雑配筋詳細図			M-30	空気調和設備　配管屋根伏平面図		
A-31	建具表-1	G-19	外構撤去構造図(排水施設構造図-1)	S-31	鉄骨架構詳細図			M-31	空気調和設備　ダクトピット平面図		
A-32	建具表-2	G-20	外構撤去図(排水施設構造図-2)					M-32	空気調和設備　ダクト１階平面図		
A-33	建具詳細図-1(AD-1)	G-21	外構撤去図(搬入退出路詳細図-1)					M-33	空気調和設備　ダクト屋根伏平面図		
A-34	建具詳細図-2(AD-1)	G-22	外構撤去図(搬入退出路詳細図-2)					M-34	床暖房設備　仕様書		
A-35	建具詳細図-3(SLW)	G-23	外構撤去図(搬入退出路詳細図-3)					M-35	床暖房設備　敷設図		
A-36	外構サインキープラン							M-36	自動制御設備　計装図（1）		
A-37	外構サイン詳細図							M-37	自動制御設備　計装図（2）		
A-38	屋内サインキープラン							M-38	自動制御設備　計装図（3）		
A-39	屋内サイン詳細図-1							M-39	自動制御設備　集中管理装置（1）		
A-40	屋内サイン詳細図-2							M-40	自動制御設備　集中管理装置（2）		
A-41	屋内サイン詳細図-3							M-41	自動制御設備　集中管理装置（3）		
A-42	ドライサウナ詳細図-1							M-42	自動制御設備　配置平面図		
A-43	ドライサウナ詳細図-2							M-43	自動制御設備　１階平面図		
A-44	造作家具キープラン							M-44	自動制御設備　R階平面図		
A-45	造作家具詳細図-1							M-45	井水ろ過設備　フロー図、機器表、ろ過装置平面図		
A-46	造作家具詳細図-2							M-46	井水ろ過設備　制御盤図、電気二次側配線図		
A-47	ロッカー・シューズケースキープラン							M-47	井水原水槽　参考図		
A-48	ロッカー・シューズケース詳細図							M-48	井水処理槽　参考図		
A-49	金属屋根詳細図-1							M-49	受水槽(上水・井水兼用)　参考図		
A-50	金属屋根詳細図-2							M-50	開放型貯湯槽　参考図		

	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和７年　月　日	業務番号	257031
			計画　製作　課査　調査		
	図面名　図面リスト	縮尺　N.S.		図面番号	A-00

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　工事番号▪名称　（仮称）地域交流温浴センター建設工事
2　工　事　場　所　神奈川県海老名市本郷字新宿299番1ほか
3　用途地域等
　都市計画区域（⊙　内　▪　外）　用途地域（　　市街化調整区域　　）
　防火地域等（▪　防火　▪　準防火　▪　指定なし　⊙　２２条　）
　その他の地域▪地区（ 指定なし
4　主　要　用　途　公衆浴場
5　敷　地　面　積　6,930.64㎡
6　工事の概要　6,930.64㎡
7　別途工事
8　そ　の　他
9　特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
⊙　構造特記仕様書　▪　外構工事特記仕様書　▪　植栽工事特記仕様書
▪　解体工事特記仕様書　⊙　電気設備工事特記仕様書　⊙　機械設備工事特記仕様書
▪　▪

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし，標準仕様書に記載されていない事項は，「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
なお、その他施工条件は、別途本工事内容説明事項書による。
2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）、＜　＞及び［　］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一般事項	⊙　工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上，指示に従うこと。 ⊙　請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認▪調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙　施工体系図を現場に掲示すること。 ▪　工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査▪記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※　図示
	②．適用基準等	⊙　工事写真の撮り方（国土交通省大臣官房営繕部監修　最新版） ⊙　建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房営繕部監修　最新版） ⊙　海老名市公共工事共通事項書 ▪ ▪ ▪
	③．工事実績情報(CORINS)の登録	※　適用する（請負金額が 500万円以上の場合） 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ▪　適用しない
	④．発生材の処理等	発生材の処理 ▪引渡しを要するもの（　　） ▪特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名▪所在地(km) ⊙再生資源化を図るもの

種　類	受入施設名	所在地（Km）	備　考
▪　セメントコンクリート塊			
⊙　アスファルトコンクリート塊			
⊙　建設発生木材			
▪　建設汚泥			

▪現場において再利用を図るもの（　　）
▪その他の廃棄物（安定型）(　　)
受入れ施設名▪所在地(km)
▪その他の廃棄物（管理型）(　　)
受入れ施設名▪所在地(km)

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。

	⑤．電気保安技術者	⊙　適用する　※　適用しない
	⑥．事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，任意様式にもとづき「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑦．建築材料等	材料の品質等 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 環境への配慮 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
	⑧．室内の空気中の化学物質濃度の測定	ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の該当する建築材料 1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 3）次の表示のあるＪＡＳ適合品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	※　室内の空気中の化学物質濃度の測定	※　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 測試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ▪ 0.08ppm） ※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ▪ 0.05ppm） ※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ▪ 0.07ppm） ※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値 3,800μg/m3 ▪ 0.88ppm） ※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　870μg/m3 ▪ 0.20ppm） ※ ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値　240μg/m3 ▪ 0.04ppm） 測定する室等：（下足ｺｰﾅｰ，男子便所，男性用脱衣室，男性用浴室，男性用ﾄﾞﾗｲｴﾘｱ，中広間，厨房，事務室，ﾘﾈﾝ室，機械室 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を２部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況（気温▪湿度（室外▪室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日▪時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数） c 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。 ▪　総揮発性有機化合物の測定 測定方法，測定物質及び測定か所等については，別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※　室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については，施設管理者に依頼する。
	⑨．特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
	⑩．建築基準法による風圧力等の指定	

適　用　工　事	建　築　基　準　法　の　指　定
⊙　金属板葺　▪　折板葺	風速(V0)　※３４　▪
▪　粘土瓦葺　▪　アルミニウム笠木	地表面粗度区分　▪Ⅱ　⊙Ⅲ
▪　ガラスブロック▪　ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定　▪有　⊙無
▪　押出成形セメント板外壁パネル	

	⑪．設計G.L.	※　図　示　▪　現状平均地盤高
	⑫．技　能　士	▪　下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※　下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ▪　下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	▪該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
鉄筋工事	⊙鉄筋施工
コンクリート工事	⊙型枠施工（型枠工事作業）
鉄骨工事	⊙とび
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ▪ALCﾊﾟﾈﾙ	⊙ブロック建築
▪押出成形セメント板工事	▪ＡＬＣパネル施工
防水工事	⊙アスファルト防水工事作業
	⊙塗膜防水工事作業
	⊙シート防水工事作業
	⊙シーリング防水工事作業
	▪
	▪
石工事	⊙石材施工（石張り作業）
タイル工事	⊙タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	⊙建築板金（内外装板金作業）
金属工事	⊙内装仕上施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	⊙左官

	⑬．完成時提出書類	※　見開きＡ３（製本Ａ４判）　竣工図、施工図　部 ※　完成図面電子データ（JWW形式及びPDF形式）　1式 ※　本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類　1式 ※　建築物等の維持▪保全に関する資料　1式 ※　その他監督職員が指示したもの　1式
	⑭．工事写真	※　作成する　▪　作成しない 工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。 撮影箇所は外部10枚（夜間含む）、内部主要各室2枚程度とする。
	⑮．設備工事との取合い	施工範囲　各工事の区分表による。 施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
	⑯．火災保険等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※　火災保険　※　建設工事保険 保険期間　※　工事着手から工事目的物引き渡し日まで

2 仮設工事	①．仮囲い	※　設ける　▪　設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ▪シートゲート（H=2.0m，W=7.2m）×　1 箇所
	②．危害防止	※　シート張り　▪　金網養生
	③．交通誘導員	※　配置する　▪　配置しない
	④．監督職員事務所	※　設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） ▪　設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同様　▪可　▪否） 備品（　　）
	⑤．工事表示板	※　設置する　▪　設置しない 海老名市公共工事共通事項書による
	⑦．工事用水	構内既存の施設　⊙　利用できる（※有償　▪無償）　※　利用できない
	⑧．工事用電力	構内既存の施設　⊙　利用できる（※有償　▪無償）　※　利用できない
	⑨．工事用通路	※　指定しない　▪　指定する（図示）
	⑩．足場等	足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
	11．その他の仮設	
3 土工事	①．埋戻し及び盛土の種別	種別　▪Ａ種　※Ｂ種　▪Ｃ種　▪Ｄ種 Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　㎥ 発生場所
	②．建設発生土の処理	▪　構外に搬出し適切に処理する。 ▪　構外指示の場所に搬出する。　指定先： ⊙　構内指示の場所に敷きならす。 ▪　構内指示の場所にたい積する。
	③．山　留　め	⊙　A-08 ピット平面図参照

4 地業工事	1．既製コンクリート杭▪鋼杭事業	■　記載及び指示なき事項は構造設計特記仕様書による 杭の種類 ▪　プレストレストコンクリート杭（JIS表示承認製品） ▪Ａ種　▪Ｂ種　▪Ｃ種 ▪

	記号	杭径（mm）	長さ(m)及び種別	設計支持力	セット数	備　考
試験杭	⊗					
本　杭	○					

継　手　※　アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手
先端部形状　▪閉塞平坦型　▪開放型
杭の施工法
▪　掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ
杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで
オーガー径　杭径－５０mm程度
▪　セメントミルク工法
▪　特定埋込杭工法
（旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）
杭打機の種類
ハンマーの種別　※　油圧パイルハンマー　▪　ドロップハンマー
パイルドライバー　※　三点支持式クローラークレーン
騒音▪振動の測定　▪　行う　※　行わない

	2．場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別　▪　Ａ種　▪　Ｂ種 掘削工法　▪　アースドリル工法　※　安定液使用 ▪　リバース工法 ▪　オールケーシング工法 孔内の水張り　※　行う　▪　行わない
	③．地盤改良	工　法（⊙ S-11 地盤改良特記仕様書参照　）
	④．床下防湿層	※　設ける　地中梁がある場合は、250㎜のみ込みとする。 ▪　設けない
	⑤．土間スラブ（土間コン）下断熱材	※　設ける　Ａ種ポリスチレンフォーム３種b　厚25㎜＋砂30㎜敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図による。 ⊙　設けない
	⑥．砂利地業	※　再生クラッシャラン　▪　（　　）
5 鉄筋工事		■　構造設計特記仕様書による
6 コンクリート工事		■　構造設計特記仕様書による

	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名　建築工事特記仕様書-01	縮尺　N.S.		図面番号 TA-01

6 コンクリート工事

7 鉄骨工事

■ 構造設計特記仕様書による

8 押出成型セメント板工事 コンクリートブロック・ALCパネル

①. 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類
※ 空洞ブロック １６ ▪

②. コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類
※ 空洞ブロック １６（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック ０８とすることができる）

③. ＡＬＣパネル

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
▪外壁パネル工法				▪Ａ種 ▪Ｂ種 ▪Ｃ種		
▪間仕切壁パネル工法				▪Ｂ種 ▪Ｃ種 ▪Ｄ種 ▪Ｅ種		
▪屋根及び床パネル工法				※Ｆ種		

④. 押出成形セメント板

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
▪外壁パネル工法				▪Ａ種 ▪Ｂ種		
▪間仕切壁パネル工法				▪Ｂ種 ▪Ｃ種		

9 防水工事

①. アスファルト防水・改質アスファルトシート防水

種別	施工箇所	種別	施工箇所
▪ Ａー		⊙ ＡＩー２	陸屋根部全般
▪ Ｂー		▪ ＢＩー	
▪ Ｄー		▪ ＤＩー	
⊙ Ｅー１	浴室、露天風呂	▪	
▪		▪	

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※ ３種

押さえ金物 （※アルミ製Ｌー30×15×2.0 ▪ ）
⊙ 断熱材 ※ Ａ種押出法ポリスチレンフォーム３種ｂスキン層付き

▪ 脱気装置(材質 ▪ 数量▪)
▪ 溶接金網（規格 ）
適用防水種別（▪ ）
⊙ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地 ▪)

②. 改質アスファルトシート防水

種別	施工箇所	シートの厚さ
▪ AS−T		
▪ AS−J		
▪ ASI−T		
▪ ASI−J		

改質アスファルトシートの種類　JIS A6013のJIS表示認証製品
▪ 押さえ金物 （材質及び形状： ）
▪ 断熱材 ※ Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板２種１号又は２号(透湿係数を除く規格に適合するもの)
▪ 脱気装置 （種類▪数量：改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の指定とする）

③. 合成高分子系ルーフィングシート防水

種別	厚さ（mm）	施工箇所	保護塗料（露出）
▪ＳーＦ１	※1.2 ▪		※カラー ▪シルバー
⊙ＳーＦ２	※2.0 ▪	浴室風除室	※カラー ▪シルバー
▪ＳーＭ１	※1.5 ▪		
▪ＳーＭ２	※1.5 ▪		※カラー ▪シルバー
▪ＳーＭ３	※1.2 ▪		

ルーフィングシートの種類　JIS A6008のJIS表示認証製品
▪ 脱気装置 （材質： ）
▪ 絶縁シート （発泡ポリエチレンシート ）
▪ その他の材料（ ）

④. 塗膜防水

	種別	施工箇所	保護塗料（露出）
⊙ウレタン系	▪Ｘー１	バルコニー	※カラー ▪シルバー
	⊙Ｘー２	ひさし、パラペット	※カラー ▪シルバー
▪ゴムアスファルト系	▪Ｙー１	地下外壁	
	▪Ｙー２	室内（便所▪浴室）	

▪ 脱気装置（材質：ステンレス製又はアルミ製 ▪ ）
（設置数量： 箇所）

⑤. ケイ酸質系塗布防水

種別	施工箇所
※Ｃ−ＵＩ ▪Ｃ−ＵＰ	

⑥. シーリング

※ 被着体との組み合わせは（表9.7.1）による。

⑦. 防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水については，メーカー▪防水業者が通常定めている期間とし，作成し提出する。

10 石工事

①. 石材

石材の種類	品質	施工箇所	工法	産地▪名称	仕上の種類
御影石	並級	浴室壁,洗い場	湿式		本磨き
鉄平石	並級	露天風呂床	湿式		タンブル加工

②. 汚れ防止

床のワックスかけ ▪ 行う ▪行わない

11 タイル工事

①. タイル

タイルの種類

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわ薬 無	うわ薬 施	釉 あり	釉 なし	色 標準	色 注文
浴室床	300角	⊙	▪	▪	⊙	▪	▪	⊙	⊙	▪
浴室壁	二丁掛	▪	⊙	▪	⊙	▪	▪	⊙	⊙	▪
便所手洗い前壁	ボーダー	⊙	▪	▪	⊙	▪	▪	⊙	⊙	▪

タイルの見本焼き ※ 行わない ▪ 行う

②. タイル下地コンクリート

後張りタイル下地コンクリート素地面の処理 (11.3.3)
⊙ 行う（下記のいずれかとする） ▪ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適用箇所
ＭＣＲ工法	（15.2.5(C)）による	
ＭＣＲ工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法（高圧水洗）	（15.2.5(C)）による	
目荒し工法（高圧水洗）	ポリマーセメントモルタル	

ＭＣＲ工法はせき板面にＭＣＲ工法用シート張りとし（6.9.3(e)）による。
目荒し工法の高圧水洗は（15.2.4(C)）による。
ポリマーセメントモルタルの調合は（15.2.3(b)）による。

③. 陶磁器質タイル張り

内装タイルの工法
※ 改良積上げ張り 施工箇所（ ）
※ 接着剤張り 施工箇所（ ）
外装タイルの工法
※ 密着張り 施工箇所（ ）
▪ 改良圧着張り 施工箇所（ ）
ユニットタイルの後張り工法
※ マスク張り

④. 接着剤による陶磁器質タイル張り

内装タイルの工法
▪ 接着剤張り 施工箇所（ ）
接着剤はJIS A 5548のJIS表示認証製品

⑤. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

※ （表11.1.1)による ▪ 図示

⑥. 接着力試験

※ （表11.1.2)による

12 木工事

①. 木材

表面仕上げの程度 ⊙Ａ種 ※Ｂ種 ▪Ｃ種
含水率 下地材 ※ Ａ種 ▪ Ｂ種
造作材 ※ Ａ種 ▪ Ｂ種
造作材の材面の品質 ※ Ａ種 ▪ Ｂ種
代用樹種を使用しない箇所
※ なし ▪ あり（ ）

②. 集成材

造作用集成材

等級	JASによる集成材 ※ １等 ▪ ２等	その他 ※ １等 ▪ ２等
単材の樹種		
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

③. 床張り用合板

床下貼り用合板
※ JASの構造用合板 特類 ２等以上 Ｃ−Ｄ
▪ （ ）

④. 防腐▪防蟻▪防虫処理

薬剤の加圧注入による防腐▪防蟻処理
適用部位（ ） 保存処理性能区分 ▪Ｋ２ ▪Ｋ３ ▪Ｋ４
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐▪防蟻処理を行う。
防虫処理
ラワン材 保存処理性能区分 ※Ｋ１

13 屋根及びとい工事

①. 金属板葺

材種	規格	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
▪カラー亜鉛鉄板（※片面塗装 ▪両面塗装）	JIS G 3312	※0.4 ▪	※瓦棒葺（心木なし）	
▪ガルバリウム鋼板（※無塗装）	JIS G 3321	※0.4 ▪	▪	AL55%
※カラーガルバリウム鋼板（※カラー）	JIS G 3322	※0.4 ▪	⊙立ハゼ葺き	AL55%
▪		▪	▪	

※監督員の承諾する業者とする。

②. 折板葺

JIS A 6514のJIS表示認証製品

材種	規格	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
▪カラー亜鉛鉄板（屋根用規格品）	JIS G 3312	※0.8	▪ 0920 ▪ 1525 ▪ 1730 ▪	▪有（ mm） ▪無	▪有（30分耐火） ▪無
▪カラーガルバリウム鋼板（屋根用規格品）	JIS G 3322				
▪ポリ塩化ビニル被覆（SGのA種規格品）	JIS K 6744				
▪					

▪形 式 （▪ 重ね形 ▪ はぜ締め形）
▪軒先面戸 （ ）

③. 粘土瓦葺

JIS A 5208の表示認証製品

種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				▪ 提出する ▪ 提出しない

④. とい

といの材質

材種	防露
▪配管用鋼管（ＳＧＰ）	※ （表13.5.4）により行う ▪ 行わない
▪硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	
⊙アルミニウム（ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ）	

鋼管製といの防露巻き工法
※ （表13.5.5)による
▪ 樋受石（材質▪規格 ）
※ 第一桝まで接続

⑤. ルーフドレン

※ 鋳鉄製
※ 縦型 ▪ 横型

14 金属工事

①. あと施工アンカー

引抜き耐力の確認試験 ▪ 行う ※ 行わない

②. ステンレス表面処理

※ ＨＬ ▪ NO.2B

③. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種類	施工箇所	色合
▪ ＢＢ−１ 種		
▪ ー 種		

④. 鉄鋼の亜鉛めっき

種類	施工箇所
⊙ Ａ種	全般
▪ 種	

溶融亜鉛めっきの付着量試験 ※ 行わない ▪ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験 ※ 行わない ▪ 行う

⑤. 軽量鉄骨天井下地

野縁などの種類
屋内 ※ １９型 ▪ ２５型
屋外 ▪ １９型 ※ ２５型

耐震性を考慮した補強
※ 行わない ▪ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等）
※ 行わない ▪ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。

⑥. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーなどの種類は、（表14.5.1)による。

⑦. 金属成形板張り

種 別
表面処理
※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整継手 ▪ 設ける ▪ 設けない

⑧. アルミニウム製笠木

表面処理 ※ Ｂ−1種 ▪ Ｂ−2種
隅角部及び突当り部の役物の使用
※ 使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

⑨. 手すり及びタラップ

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	▪ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	▪ 鋼 製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

⑩. 体育館の鋼製床下地材

※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

15 左官工事

①. モルタル塗り

既製目地材 ▪ 設ける（施工箇所： 形状：図示による）
▪ 設けない
床目地 ▪ 設ける（押し目地工法） ▪ 設けない

②. セルフレベリング材

種別 ▪ 石こう系 ⊙ セメント系
塗厚 ※ 10mm ▪

③. 仕上げ塗材仕上げ

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
▪薄付け仕上げ塗材	▪外装薄塗材 Ｅ ▪内装薄塗材 Ｅ ▪	▪砂壁状 ▪砂壁状じゅらく ▪ゆず肌	※吹付け ▪ローラー	
▪厚付け仕上げ塗材	▪外装厚塗材 Ｃ ▪内装厚塗材 Ｃ ▪外装厚塗材 Ｅ ▪	▪	※吹付け ▪こて	
※複層仕上塗材	▪複層塗材 ＣＥ ※複層塗材 Ｅ ▪複層塗材 ＲＳ ▪複層塗材 ＲＥ ▪複層塗材 Ｓｉ ▪防水形複層塗材 Ｅ ▪防水形複層塗材 ＲＳ ▪	▪ゆず肌 ▪凸部処理 ▪凸凹模様	※吹付け ▪ローラー	溶剤 ※水系 ▪溶剤系 ▪弱溶剤系 外観 ※つやあり ▪メタリック 樹脂 ※アクリル系 ▪シリカ系 ▪ポリウレタン系 ▪アクリルシリコン系 ▪フッ素系
▪軽量骨材仕上塗材	▪吹付用軽量塗材	▪砂壁状	▪吹付け	
	▪こて塗用軽量塗材	▪平たん状	▪こて塗り	
▪高耐候可とう性外装塗材		※小粒状	※吹付け	

④. ロックウール吹付け（耐火被覆は，７章による）

複装仕上塗材の耐候性 ▪ １種 ▪ ２種 ※ ３種
吹付け厚さ（mm） ※ 図示による ▪

16 建具工事

①. 一般事項

防火戸の指定
⊙ 適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
※ 建築基準法第２条第九号のニの規定に定められたもの
※ 認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。)
※ 適用しない

防火戸との連動
▪ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
▪ 自動閉鎖機構 ▪ ヒューズ装置 ▪ 熱感知器 ▪ 煙感知器
※ 適用しない

見本の作成等
製 作 ※ 行わない ▪ 行う（建具表による）
仮 組 ※ 行わない ▪ 行う（建具表による）

防犯建物部品 ※ 使用しない ▪ 使用する（建具表による）

②. アルミニウム製建具

外部に面する建具性能等級等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
⊙ Ａ 種	Ｓー４	Ａー３	Ｗー４	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は，１００）
▪ Ｂ 種	Ｓー５			
▪ Ｃ 種	Ｓー６	Ａー４	Ｗー５	１００

※ 適用箇所は図示による

表面処理		
	外部に面する建具	※ Ｂー１種 ▪ Ｂー２種
	内部建具	※ Ｃー１種 ▪ Ｃー２種

Ｂー２種，Ｃー２種の場合 ▪ブロンズカラー（※標準色 ▪濃色）
▪ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ ▪ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級 ▪ Ｔー１ ▪ Ｔー２ ▪ Ｔー３

断熱ドアセット，断熱サッシ ▪ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級 ▪ Ｈー２ ▪ Ｈー３

耐震ドアセット，耐震サッシ ▪ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級 ▪ Ｄー１ ▪ Ｄー２

③. 網戸

使用方法による区分 ※外面納まりの可動式
▪内部納まりの開き式

⊙防虫網（線径0.25mm 網目16−18メッシュ）
⊙ガラス繊維入り合成樹脂 ▪ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316) ※合成樹脂

▪防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5mm ピッチ15mm

工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年 月 日 計画 製作 調査	業務番号	257031
図面名 建築工事特記仕様書−02	縮尺	N.S.		図面番号	TA−02

16 建具工事

4. 樹脂製建具

外部に面する建具性能等級等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
▪ A 種	S－4	A－4	W－4	※建具表による
▪ B 種	S－5		W－5	
▪ C 種	S－6			

※ 適用箇所は図示による

防音ドアセット，防音サッシ
▪ 適用する（適用範囲は図示による） ※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級 ▪ T－A種 ▪ T－B種

断熱ドアセット，断熱サッシ
▪ 適用する（適用範囲は図示による） ※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級 ▪ H－A種 ▪ H－B種

表面色
▪ 標準色（白） ▪ 特注色（▪ 黒 ▪ ブラウン ▪ シルバー）

⑤. 鋼製建具

簡易気密型ドアセット
※ 使用する（適用箇所は図示とする）
気密性 ※ A－3 ▪
水密性 ※ W－1 ▪
▪ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ S－4 ▪ S－5 ▪ S－6

鋼板
※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
▪ 溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)

建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	(表16.4.2)に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			(表16.4.2)に同じ

標準型鋼製建具 ※ 使用する ▪ 使用しない

⑥. 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット
※ 使用する(適用箇所は図示による)
気密性 ※ A－3 ▪
▪ 使用しない

戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
▪ ビニル被覆鋼板
▪ カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ▪ 使用しない

標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり ※ 鋼製 ▪ アルミ製

⑦. ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット
※ 使用する（適用箇所は図示とする）
気密性 ※ A－3 ▪
水密性 ※ W－1 ▪
▪ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ S－4 ▪ S－5 ▪ S－6

表面処理 ※ HL ▪
鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ▪ かど出し曲げ

⑧. 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ▪ A種 ※B種 ▪ C種
かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類 ※ 戸ぶすま 工法（▪ 在来型 ▪ チップ型）

⑨. 建具用金物

金物の種類	型式	製造所
シリンダー箱錠		
本締り付きモノロック		
モノロック		
シリンダー本締り錠		
グレモン錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	ピボット形	
ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
レバーハンドル	レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所
戸あたり	あおり止め付き	

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。

マスターキーの作成 ⊙ 要 ▪ 不要
▪ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

⑩. 自動ドア開閉装置

性能 ⊙ スライディングドア
▪ スイングドア

センサーの種類 ⊙ 光線（反射）スイッチ
▪ マットスイッチ式
⊙ タッチスイッチ
◇センサーの種類によらず補助センサー併用とする

凍結防止装置 ▪ 要 ※ 不要
全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ）
▪ 設けない

16 建具工事

11. 重量シャッター

種類	シャッターケース	耐風圧強度	開閉方式	保護装置
▪ 一般シャッター	※ 設ける ▪ 設けない	建具表及び図示による	※ 上部電動式(手動併用) ▪ 上部手動式	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける ▪ 設けない
▪ 防火シャッター ▪ 外壁用 ▪ 屋内用	※ 設ける ▪		※ 上部電動式(手動併用)	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
▪ 防煙シャッター				

スラット及びシャッターケース用鋼板
※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
▪ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)

12. 軽量シャッター

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度	スラットの形状	保護装置
※ 手動式 ▪ 上部電動式(手動併用)	※ 設ける ▪ 設けない	建具表及び図示による	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける ▪ 設けない

スラットの材質
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
▪ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)

13. オーバーヘッドドア

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ▪ アルミニウムタイプ ▪ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ▪ チェーン式 ▪ 電動式	※ スタンダード形 ▪ ローヘッド形 ▪ ハイリフト形 ▪ パーチカル形	▪ 50 ▪ 75 ▪ 100 ▪ 125 (JIS A4715による強さの区分)	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ▪ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置 ※ 設ける ▪ 設けない

14. ガラス

※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。

※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
▪ I類 ▪ II－1類 ▪ II－2類 ▪ III類

強化ガラスの特性
▪ I類 ⊙ III類

熱線吸収板ガラス
性能 ▪ 1類 ▪ 2類
色調 ▪ ブルー ▪ グレー ▪ ブロンズ

複層ガラス
性能 ▪ 1種 ▪ 2種
▪ 3種 （▪ U3－1 ▪U3－2）
⊙ 4種 ▪ 5種
封止の加速耐久性による区分
※ III類

熱線反射ガラス
日射遮へい性 ▪ 1種 ▪ 2種 ▪ 3種
耐久性 ▪ A類 ▪ B類
色調 ▪ ブルー ▪ グレー ▪ ブロンズ
▪ シルバー
反射皮膜 ▪ 内側 ▪ 外側
映像調整 ▪ 行う ▪ 行わない

ガラスの留め材
※ シーリング ▪ ガスケット（可動アルミ製建具に限る）

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。

ガラスの溝幅については、(表16.14.1)による。ただし強化ガラス，合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出ずる。

15. ガラスブロック（中空）

表面形状(JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	▪ 125×125	▪ 160×160	▪ 80
	▪ 200×200	▪ 320×320	▪ 95
長方形	▪ 250×125	▪ 320×160	▪ 125

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
▪ 一般ガラス ▪ 乳白ガラス ▪ カラーガラス ▪ 熱線反射ガラス	▪ 無 ▪ 有	▪ 白 ▪ グレー	▪ アルミニウム製(表面処理) ▪ ステンレス製(表面仕上)	▪ 規定しない ▪ 有(分間)

17 カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの種別

カーテンウォール種別
▪ メタルカーテンウォール
▪ PCカーテンウォール

17 カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの性能

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	PCカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

①. 一般事項

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。

②. 素地ごしらえ

各部の素地ごしらえ

木部	※A種（不透明塗料塗）	※B種（透明塗料塗）
鉄鋼面	▪ A種	▪ B種 ※C種
亜鉛めっき鋼面	▪ A種	※B種 ▪ C種
モルタル・プラスター面	▪ A種	※B種
コンクリート・ALC面	※A種	▪ B種
ボード面	※A種（継目処理工法）	※B種（その他）

③. 錆止め塗料塗り

塗料の種別

鉄鋼面	※A種	※B種（標準仕様書8節の場合）
亜鉛めっき鋼面	※A種	▪ B種 ※C種(標準仕様書8節の場合)

錆止め塗料塗り

鉄鋼面	※A種（見え掛り）	※B種（見え隠れ）
亜鉛めっき鋼面	※A種（鋼製建具等）	▪ B種 ※C種(その他)

④. 合成調合樹脂ペイント塗り（SOP）

塗料の種別 ※1種 ▪ 2種
合成樹脂調合ペイント塗り

鉄鋼面	▪ A種	※B種
木部	※A種（屋外）	※B種（屋内）

⑤. クリアラッカー塗り（CL）

木部のクリアラッカー塗り ▪ A種 ※B種

⑥. アクリル樹脂非分散系塗料塗り(屋内)（NAD）

アクリル樹脂非分散系塗料塗り
コンクリート・モルタル面 ▪ A種 ※B種

⑦. 耐候性塗料塗り(屋外)（DP）

上塗りの等級

鉄鋼面	※1級	▪ 2級	▪ 3級
亜鉛めっき鋼面	※1級	▪ 2級	▪ 3級

コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別
▪ A種 ※B種 ▪ C種

⑧. つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（EP－G）

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 ▪ A種 ※B種
木部（屋内）（多孔質広葉樹を除く）
鉄鋼面（屋内） ▪ A種 ※B種

⑨. 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）

合成樹脂エマルションペイント塗り
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 ▪ A種 ※B種

⑩. ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）

木部のウレタン樹脂ワニス塗り ▪ A種 ※B種

11. ステイン塗り

▪ ピグメントステイン
※オイルステイン

12. 木材保護塗料塗り（WP）

木材保護塗料塗り ▪ A種 ※B種

19 内装工事

①. ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※FS ▪ TS	※無地 ▪ マーブル	※ 2.0 ▪ 2.5	▪ 帯電防止 ▪ 帯動荷重	※熱溶接 ▪ 突付け
⊙ 発泡層のあるもの	▪ HS ▪ KS	▪	▪	▪	▪

②. 化粧ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
FS	※ 木目調 ⊙ 石目調	※ 2.0 ▪ 2.5	▪ 帯電防止 ▪ 帯動荷重	※熱溶接 ▪ 突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

③. ビニル床タイル

JIS A5705のJIS表示認証製品

種類	記号	寸法	暑さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	▪ KT	※300×300	※ 2.0 ▪	▪ 帯電防止 ▪ 帯動荷重
▪ ホモジニアスビニル床タイル	▪ FT	▪ 300×300 ▪ 450×450	▪ 2.0 ▪	▪ 帯電防止 ▪ 帯動荷重

19 内装工事

4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
▪ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kV以下
▪ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10^10オーム未満
▪ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10^7オーム未満

耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

⑤. 視覚障害者用床タイル

材質		寸法(mm)
⊙ 塩化ビニル系	⊙ せっ器質タイル系	300×300

⑥. ビニル幅木

材種 ※ 軟質 ▪ 硬質 ▪ 溶接
高さ(mm) ⊙ 60 ※ 75 ▪ 100
厚さ(mm) ▪ 1.5 ※ 2.0

⑦. カーペット敷き

▪ タフテッドカーペット

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	帯電性
			※ 全面接着工法 ▪ グリッパー工法		(19.3.3)による

品質は参考商品名である
▪ タイルカーペット

施工箇所	種類	パイル形状	寸法	総厚さ	帯電性
	※第1種 ▪ 第2種	※ループパイル ▪ カットパイル	※500×500 ▪	※ 6.5 ▪	製造所の仕様による

⑧. 合成樹脂塗床

材料の種類
▪ 厚膜型塗床材
▪ 弾性ウレタン樹脂系塗床材
▪ エポキシ樹脂系塗床材
⊙ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床材）

仕上の種類
▪ 平滑仕上げ ▪ 防滑仕上げ

⑨. フローリング張り

▪ 単層フローリング

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
▪ フローリングボード	※ナラ ▪	※15 幅 75 ▪ 長さ500以上	▪ 釘止め工法 ▪ 接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ▪ オイルステン塗りの上ワックス ▪ 生地のままワックス ▪ 既塗装品
▪ フローリングブロック	※ナラ ▪	※15 303×303 ▪	▪ モルタル埋込み工法 ▪ 接着工法	
▪ モザイクパーケット	※ナラ ▪	▪ 6 ▪ 8 ▪ 9 ▪	▪ 接着工法	

⊙複合フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合1種フローリング ▪ 複合2種フローリング ▪ 複合3種フローリング	※ナラ ▪ サクラ ⊙ヒノキ ▪	▪ A種 ▪ B種 ※C種	▪ 行う ※行わない	▪ 釘止め工法 ⊙接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ▪ オイルステン塗りの上ワックス ▪ 生地のままワックス ⊙既塗装品
▪ 大型積層フローリング	▪ ナラ ▪ サクラ ▪	▪	▪ 行う ▪ 行わない	▪ 特殊張り工法（体育館床）	

⑩. 畳敷き

畳の種別 ▪ A種 ▪ B種
※ C種 ▪ D種（ ）

⑪. 石こうボードその他ボード及び合板張り

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)		規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK		壁	▪ 8(不燃) ▪ 10(不燃) ▪ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井	⊙ 6(不燃) ▪ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード (吸音材料) GW－B	グラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		▪ 25(不燃) ⊙ 50(不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板 (吸音材料) DR	※ 内部用 ▪ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ▪ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	▪ 12(不燃) ▪ 15(不燃) ▪ 19(不燃)	
せっこうボード(せっこうボード製品) GB－R		壁	⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ▪ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード(せっこうボード製品) GB－S		壁	12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	▪ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB－NC	トラバーチン模様 色 ※白 ▪ 黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB－D	木目模様	壁	▪ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様（裏桟付き） 特殊模様	天井	▪ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理 ※ 継目処理工法 ▪ 突き付けV目地工法
▪ 突き付け工法 ▪ 目透し工法

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	建築工事特記仕様書-03	縮尺	N.S.		図面番号 TA-03

19 内装工事

⑫. 遮音シール材　▪ アクリル系シーリング材　※ ジョイントコンパウンド

⑬. 壁紙張り

施工箇所	品質	防火種別
A-05 仕上表参照	ビニルクロス(防カビ)	⊙不燃 ▪準不燃 ▪その他
		▪不燃 ▪準不燃 ▪その他
		▪不燃 ▪準不燃 ▪その他
		▪不燃 ▪準不燃 ▪その他

品質は参考商品名である。

⑭. 断熱材　断熱材の打込み及び現場発泡工法

種	類	箇所	厚さ(mm)	備考
▪ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	▪A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b		▪	JIS A 9511のJIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材（A種）	▪2種b ⊙3種b（スキン層あり）	1階スラブ下躯体浴槽脱衣室床暖房	※ 25 ⊙ 30	
▪ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ▪	▪	▪	
▪ フェノールフォーム保温材	※A種 ▪	▪	▪	JIS A 9511のJIS表示認証製品
⊙ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ▪	外気に面する壁	※ 20 ⊙ 30	JIS A 9526による難燃性 ▪2級 ※3級
▪	▪	▪	▪	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種	類	箇所	厚さ(mm)	備考
▪ JISA発泡プラスチック保温材	▪A種ビーズ法		※ 25	JIS表示認証製品
	※A種押出法 2種b	下記以外		
	※A種押出法 3種b（スキン層あり）	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
▪ グラスウール保温材	※24K品 ▪		※ 100 ▪	JIS表示認証製品

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品　▪防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り　(重ね100)

20 ユニット及びその他の工事

①. フリーアクセスフロア

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
事務室	⊙溝工法（置敷工法）	事務室 ▪	⊙ 1.0G ※ 0.6G	▪ 3,000 ⊙ 5,000 ▪	⊙帯電防止床タイル ▪タイルカーペット
	▪支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	▪支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部　※ 一般部分の仕様に準ずる　▪ 図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み)パネル　※ なし　▪ 有り（※固定式　▪可変式）　施工箇所は図示

②. 可動間仕切（パーテーション）

構造形式による種類	スタッド式（内蔵）
構成材の種類	アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材	焼付塗装鋼板（標準色） t＝0.5以上
遮音性	３６dB/500Hz以上
防火性能	不燃

③. 移動間仕切（スライディングドア）

パネルの操作方法による種類	規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ	製造所仕様の化粧鋼板（標準色） t＝0.5以上
パネル圧接装置の操作方法	ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性	３６dB/500Hz以上
防火性能	不燃
取り付け用あと施工アンカー	材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

④. トイレブース

表面材	メラミン化粧板（高意匠）
幅　木	ステンレス製 H＝６０
フレーム	アルミ製
扉	厚４０中心吊りアール形アルミ製カラーエッジ，帽子掛け戸当たり付き

⑤. 階段滑り止め（ノンスリップ）

材　種	ステンレス（SUS304）ビニールタイヤ入り（幅約35㎜）
取り付け方法	※ 接着工法　▪ 埋込み工法

⑥. 床目地棒

ステンレスＦＢ（SUS304）　t５～６×Ｈ１２
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

⑦. 黒板及びホワイトボード　形式　▪ 平面　▪ 曲面

⑧. 鏡

耐湿鏡　t＝５　ステンレスフレーム付き

⑨. 表示

衝突防止表示　カッティングシート
誘導標識　市販品
室名札　アルミ複合板　インクジェットシート巻込み貼り

⑩. 煙突ライニング材

煙突用成形ライニング材　安全使用温度　４００℃

⑪. ブラインド

形式		
スラット	※ 横型ブラインド	▪ 縦型ブラインド
開閉方式	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
スラットの成形（mm）	※ ギヤ式 ▪コード式	※ ２本操作コード方式
	※ ２５ ▪	▪ ８０ ▪ １００

操作方式　▪ スプリング式　※ チェーン式　▪電動式
スクリーンの生地　無地で製造所仕様の標準タイプ

⑫. ロールスクリーン

名称▪品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
	※箱ひだ、つまひだ ▪	▪片引き ▪引分け	※手引 ▪ひも引 ▪電動
	※箱ひだ、つまひだ ▪	▪片引き ▪引分け	※手引 ▪ひも引 ▪電動

⑬. カーテン

材　質　※ ステンレス製　▪ アルミニウム製
形　状　※ Ｄ型又は角型　▪ Ｃ型

⑭. カーテンレール

表面処理　※ Ｃ－１種　▪ Ｃ－２種

⑮. アルミニウム製カーテンボックス

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製 ▪	※ ４５０×４５０ ▪ ６００×６００	※ 目地タイプ ▪ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ▪	▪ ４５０×４５０ ※ ６００×６００	※ 一般形貼物用 ▪ 一般形充填用

⑯. 点検口

材種	受わく
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ▪ 硬質アルミニウム合金製 ▪ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ▪ 硬質アルミニウム合金製

⑰. くつふきマット

⑱. ステンレス流し台　※ ＢＬ認定商品（システム　※ Ｉ型 ）トラップ付
▪A-50 厨房機器表参照

⑲. コンロ台　※ ＢＬ認定商品（システム　※ Ｉ型 ）バックガード（※有 ▪無）
▪A-50 厨房機器表参照　▪

⑳. つり戸棚　※ ＢＬ認定商品（システム　※ Ｉ型 ）
▪A-50 厨房機器表参照　▪

㉑. 水切棚　※ １段　▪ ２段　⊙A-50 厨房機器表参照

㉒. 旗竿受金物　※ ステンレス製（SUS 304）既製品　彫り込みタイプ既製品

㉓. 旗竿　形式　※ テーパー式　▪ 同一断面式　Ｈ＝
材種　※ アルミニウム合金　▪　m
操作方式　※ ハンドル式　▪ ロープ式

㉔. 屋内掲示板　※ 既製品　アルミニウム製枠　表面発泡シート張り

㉕. 視覚障害者用誘導ブロック　屋外　※ コンクリート製　▪ 磁器質タイル（※ １００角 ▪ １５０角）

㉖. 出隅面取材　材種　※ アルミニウム合金製　▪
高さ　※ 天井まで　▪ １．８m程度

㉗. かぎ箱　市販品　フック数（本）　▪ ３０ ⊙ ４０　▪ ６０ ▪ １００ ▪

㉘. 消火器ボックス　鋼製　既製品

㉙. ピクチャーレール　アルミ製　既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物(4ｾｯﾄ／m) 共

㉚. 郵便受　図示

21 排水工事

①. グレーチング　※ 鋼製　▪ ステンレス製

②. 鋳鉄製マンホールふた　簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。

③. 縁石及び側溝　地業の材料　▪再生クラッシャラン　▪

22 舗装工事

①. 再生材　※ 使用する　▪ 使用しない

②. 盛土材料　路床の盛土材料　▪Ａ種　※Ｂ種　▪Ｃ種　▪Ｄ種

③. 遮断層及び凍上抑制層用材料　遮断層　※ 川砂▪海砂又は良質な山砂
凍上抑制層　※ 再生クラッシャラン　▪ 切込砂利又は切込砕石

④. 路床安定処理　路床安定処理添加材料
※ 普通ポルトランドセメント ▪ 高炉セメントＢ種
▪ フライアッシュセメントＢ種
▪ 生石灰（▪特号 ▪１号） ▪ 消石灰(▪特号 ▪１号)

５. 砂の粒度試験　※ 行わない　▪ 行う

⑥. 路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　※ 行わない ⊙ 行う（※ 乱した土　▪ 乱さない土）

⑦. 路床の締固め度の試験　▪ 行わない　※ 行う（箇所:埋戻し及び盛土部）

⑧. 路盤材料　※ 再生クラッシャラン ＲＣ－４０（透水性舗装の場合を除く）
▪ クラッシャラン Ｃ－４０
▪ クラッシャランスラグ ＣＳ－４０

⑨. 路盤の締固め度の試験　※ 行う

⑩. アスファルト舗装　加熱アスファルト混合物の種類

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（１３） ▪ 密粒度アスファルト混合物（１３） ▪ 細粒度アスファルト混合物（１３） ▪	舗装の厚さは図示による
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（２０） ▪ 粗粒度アスファルト混合物（２０） ▪	

舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする
アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　▪行う

⑪. コンクリート舗装　早強セメント　▪ 使用する ※ 使用しない
溶接金網　※ あり　▪ なし
コンクリート版の厚さの試験　▪ 行う　※ 行わない

12. カラー舗装

種類		部位	厚さ(mm)
加熱系	※ アスファルト混合物	▪ 車道部 ▪ 歩道部	図示による
	▪ 石油樹脂系混合物	▪ 車道部 ▪ 歩道部	
	▪ 樹脂系混合物	▪ 車道部 ▪ 歩道部	５～１０
常温系	▪ ニート工法	▪ 車道部 ▪ 歩道部	３～５
	▪ 塗布工法	▪ 車道部 ▪ 歩道部	１程度以下

着色骨材▪自然石（　　）

⑬. ブロック系舗装　▪ コンクリート平板舗装　※ 砂目地　▪ モルタル目地
⊙ インターロッキングブロック舗装
▪ 舗石舗装　基層　※ コンクリート舗装　▪ アスファルト舗装

⑭. 砂利敷き　▪ Ａ種　※ Ｂ種　▪化粧玉砂利25φ程度

⑮. 区画線　※ ＪＩＳＫ５６６５ ３種１号
▪

23 植栽工事

①. 植栽地の確認等　透水性及び土壌硬度の確認　※ 行う ▪ 行わない
塩分量及び土壌の酸度の試験　▪ 行う ※ 行わない

②. 植栽基盤　▪ 適用する　※ 適用しない

種別	樹種等	植栽基盤の適用
▪ Ａ種	樹木	▪ 適用する ※ 適用しない
▪ Ｂ種	芝，地被類木	※ 適用する ▪ 適用しない
▪ Ｃ種		
▪ Ｄ種		

③. 植込み用土　※ 現場発生の良質土　▪ 客土

④. 土壌改良材　※ 適用する　▪ 適用しない
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積１㎡当たり，バーク堆肥の場合は５０リットル，発酵下水汚泥コンポストの場合は１０リットルとする。

⑤. 芝　種別　※ こうらい芝の類　▪ 野芝の類

６. 屋上緑化

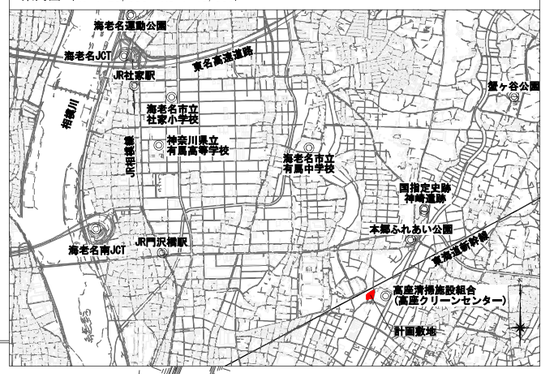
工法	土壌層厚さ	保水▪排水層
▪ 屋上緑化システム	▪ ６ｃｍ ▪ １２ｃｍ ▪ ３０ｃｍ	▪ 適用する 材質（▪ 軽量骨材 ▪ 板状成形品） ▪ 適用しない
▪ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の仕様による	

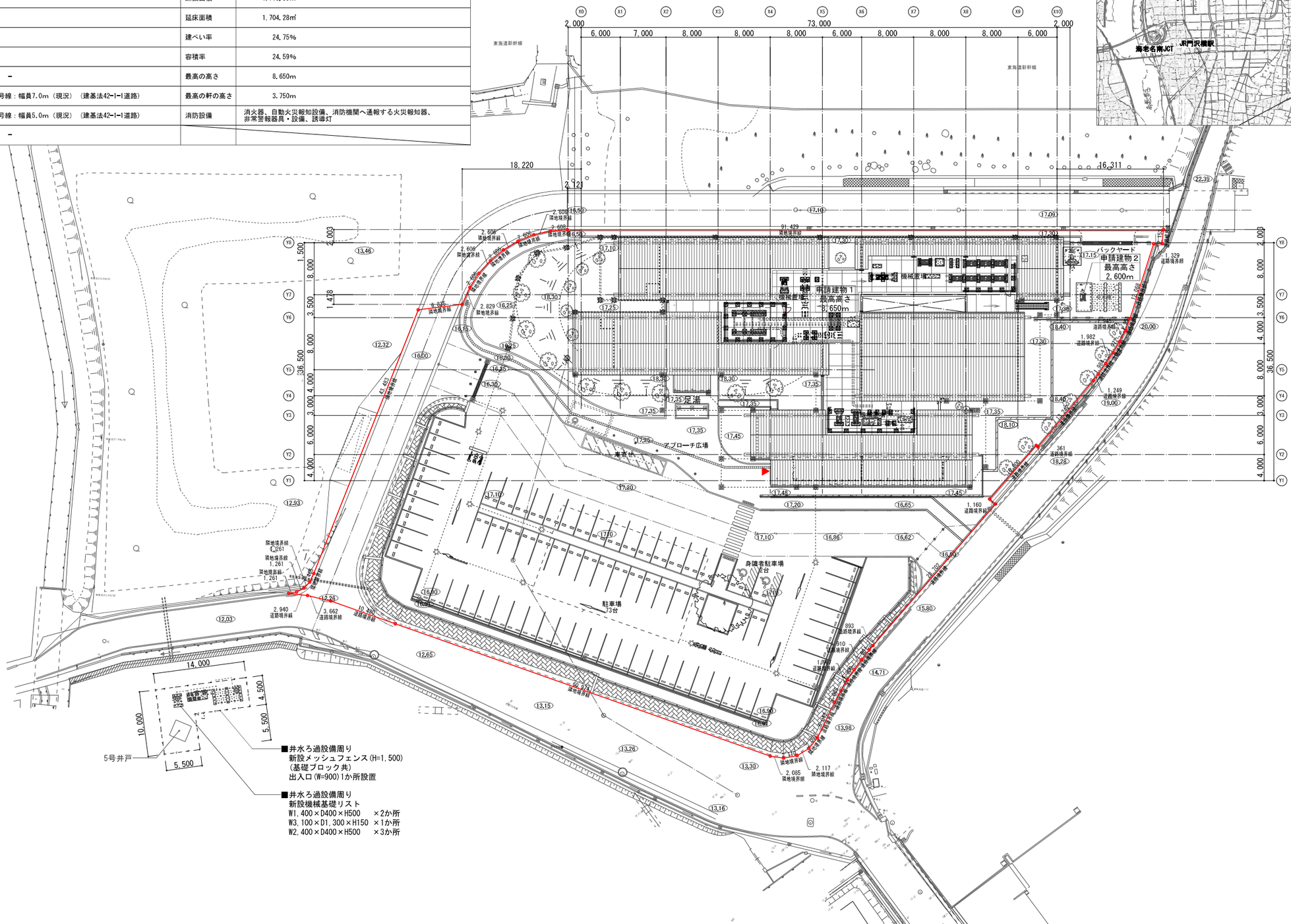
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	建築工事特記仕様書-04	縮尺	N.S.		図面番号 TA-04

建築計画概要

敷地概要		建物概要	
計画地住所	–	施設名	（仮称）地域交流温浴センター
計画地地名地番	神奈川県海老名市本郷字新宿299番1ほか	建物用途	公衆浴場
敷地面積	6,930.64㎡	防火対象物区分	9項イ
用途地域	指定なし	構造・規模	申請建物１：地域交流温浴センター　耐火建築物 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造　地上1階
地区計画	指定なし		申請建物２：受水槽ポンプ室　その他建築物 鋼板造　地上１階　（延床面積10.0㎡以下）
地域地区	法22条区域	建築面積	1,715.39㎡
日影規制	規制なし	延床面積	1,704.28㎡
許容建ぺい率	50%	建ぺい率	24.75%
許容容積率	100%	容積率	24.59%
接道	北側・・・　–	最高の高さ	8.650m
	南側・・・市道710号線：幅員7.0m（現況）（建基法42-I-I道路）	最高の軒の高さ	3.750m
	東側・・・市道710号線：幅員5.0m（現況）（建基法42-I-I道路）	消防設備	消火器、自動火災報知設備、消防機関へ通報する火災報知器、 非常警報器具・設備、誘導灯
	西側・・・　–		

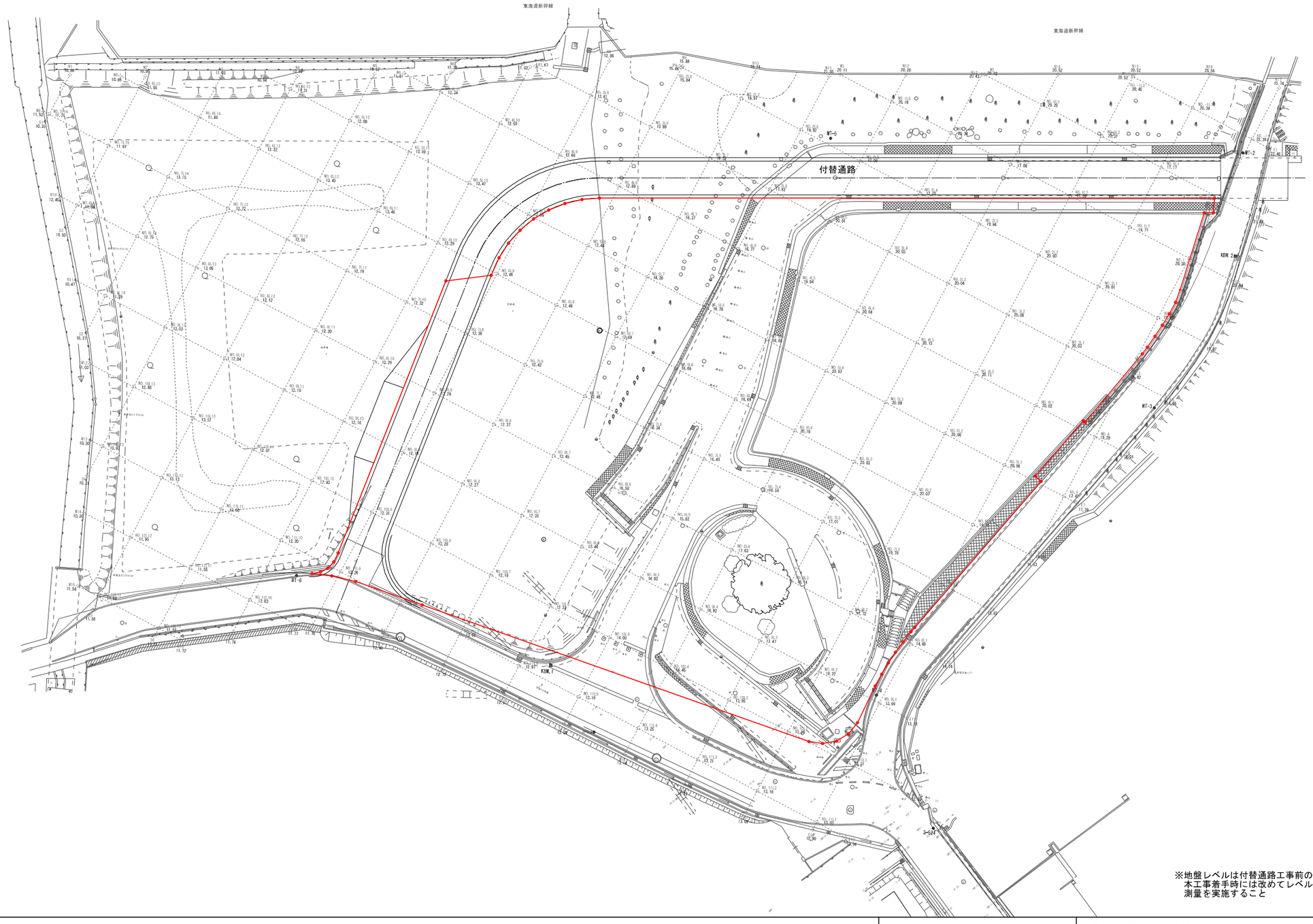
案内図（A1 1:20,000　A3 1:40,000）





17.50 ：数字はレベルを示す

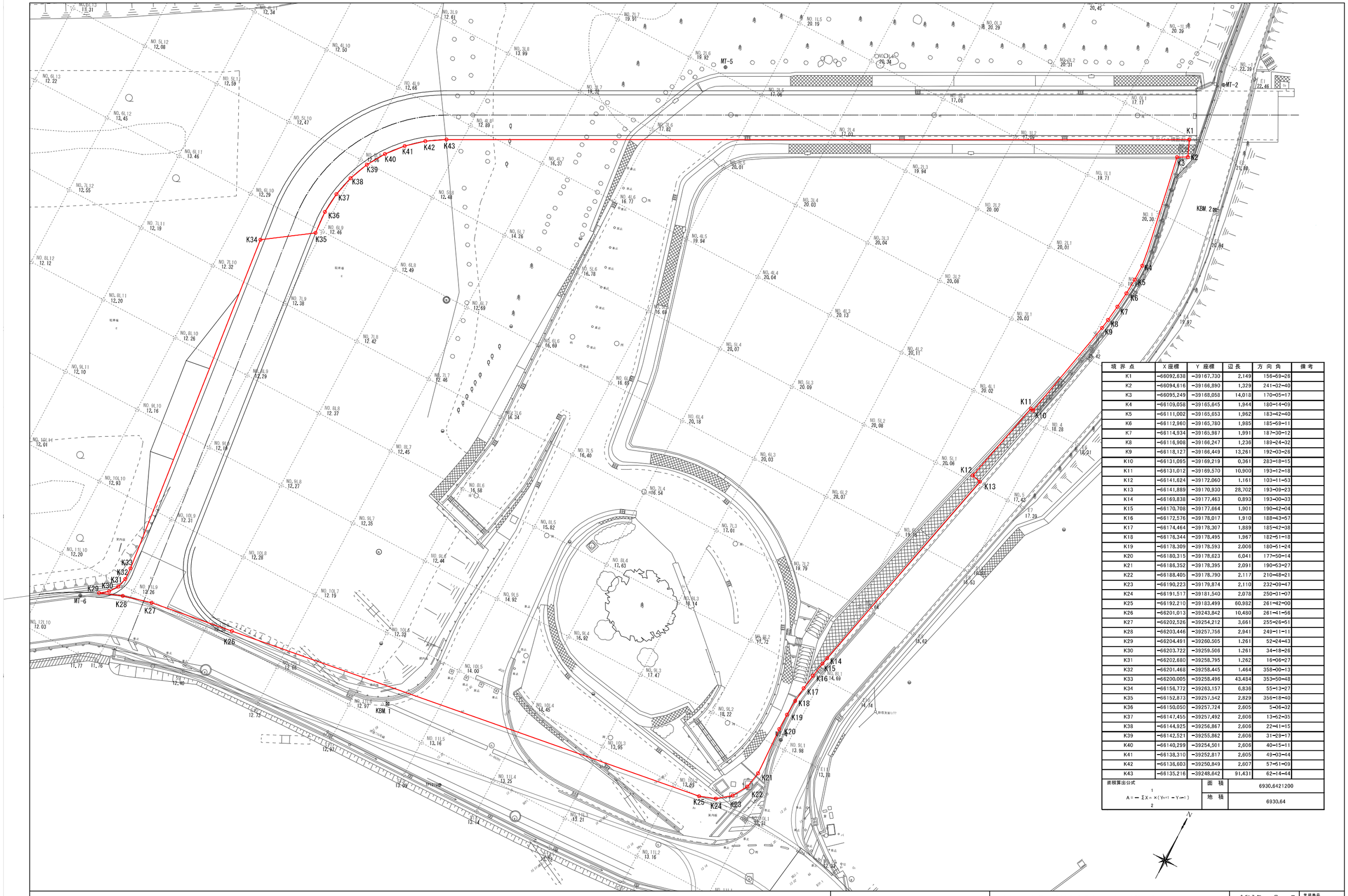
		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名	配置図・建築計画概要・案内図	縮尺 A1 1:300 A3 1:600	図面番号 A-01



※地盤レベルは付替通路工事前の実測であり、
本工事着手時には改めてレベル測量を含めた
測量を実施すること

N

	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
	図面名 現況図	縮尺	A1 1:300 A3 1:600		図面番号 A-02



境界点	X座標	Y座標	辺長	方向角	備考
K1	−66092.638	−39167.730	2.149	156−59−26	
K2	−66094.616	−39166.890	1.329	241−32−40	
K3	−66095.249	−39168.058	14.018	170−05−17	
K4	−66109.058	−39165.645	1.944	180−14−09	
K5	−66111.002	−39165.653	1.962	183−42−40	
K6	−66112.960	−39165.780	1.985	185−59−11	
K7	−66114.934	−39165.987	1.991	187−30−12	
K8	−66116.908	−39166.247	1.236	189−24−32	
K9	−66118.127	−39166.449	13.261	192−03−26	
K10	−66131.095	−39169.219	0.361	283−18−15	
K11	−66131.012	−39169.570	10.900	193−12−18	
K12	−66141.624	−39172.060	1.161	103−11−53	
K13	−66141.889	−39170.930	28.702	193−09−23	
K14	−66169.838	−39177.463	0.893	193−00−33	
K15	−66170.708	−39177.664	1.901	190−42−04	
K16	−66172.576	−39178.017	1.910	188−43−57	
K17	−66174.464	−39178.307	1.889	185−42−38	
K18	−66176.344	−39178.495	1.967	182−51−18	
K19	−66178.309	−39178.593	2.006	180−51−24	
K20	−66180.315	−39178.623	6.041	177−50−14	
K21	−66186.352	−39178.395	2.091	190−53−27	
K22	−66188.405	−39178.790	2.117	210−48−21	
K23	−66190.223	−39179.874	2.110	232−09−47	
K24	−66191.517	−39181.540	2.078	250−31−07	
K25	−66192.210	−39183.499	80.982	261−42−00	
K26	−66201.013	−39243.842	10.480	261−41−56	
K27	−66202.526	−39254.212	3.661	255−26−51	
K28	−66203.446	−39257.756	2.941	249−11−11	
K29	−66204.491	−39260.505	1.261	52−24−43	
K30	−66203.722	−39259.506	1.261	34−18−26	
K31	−66202.680	−39258.795	1.262	16−06−27	
K32	−66201.468	−39258.445	1.464	358−00−13	
K33	−66200.005	−39258.496	43.484	353−50−48	
K34	−66156.772	−39263.157	6.836	55−13−27	
K35	−66152.873	−39257.542	2.829	356−18−40	
K36	−66150.050	−39257.724	2.605	5−06−32	
K37	−66147.455	−39257.492	2.606	13−52−35	
K38	−66144.925	−39256.867	2.606	22−41−15	
K39	−66142.521	−39255.862	2.606	31−29−17	
K40	−66140.299	−39254.501	2.606	40−15−11	
K41	−66138.310	−39252.817	2.605	49−03−44	
K42	−66136.603	−39250.849	2.607	57−51−09	
K43	−66135.216	−39248.642	91.431	62−14−44	

面積算出公式

$$A = \frac{1}{2} \sum X_n \times (Y_{n+1} - Y_{n-1})$$

面積	6930.6421200
地積	6930.64

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日	業務番号 257031
図面名	敷地面積求積図・求積表	縮尺	A1 1:200 A3 1:400	計画　製作　調査　調査	図面番号 A-03

床面積

地域交流温浴センター（申請建物1）

容積対象床面積

記号	計算式（mm）	面積（㎡）
1	30,135 × 8,270	249.21
2	8,160 × 3,365	27.46
3	24,135 × 12,160	293.48
4	12,160 × 2,705	32.90
5	3,635 × 6,270	22.80
6	12,500 × 6,135	76.69
7	23,000 × 4,000	92.00
8	10,135 × 6,135	62.18
9	6,000 × 28,500	171.00
10	31,310 × 8,000	250.48
11	24,000 × 3,500	84.00
12	8,000 × 8,135	65.08
13	8,000 × 8,000	64.00
14	8,000 × 8,135	65.08
15	13,310 × 8,000	106.48
16	5,706 × 3,390	19.34
17	3,700 × 3,565	13.19
18	135 × 6,730	0.91
合計面積		1,696.28

床面積

受水槽ポンプ室（申請建物2）

容積対象床面積

記号	計算式（m）	面積（㎡）
ア	4.000 × 2.000	8.00
合計面積		8.00

建築面積加算面積

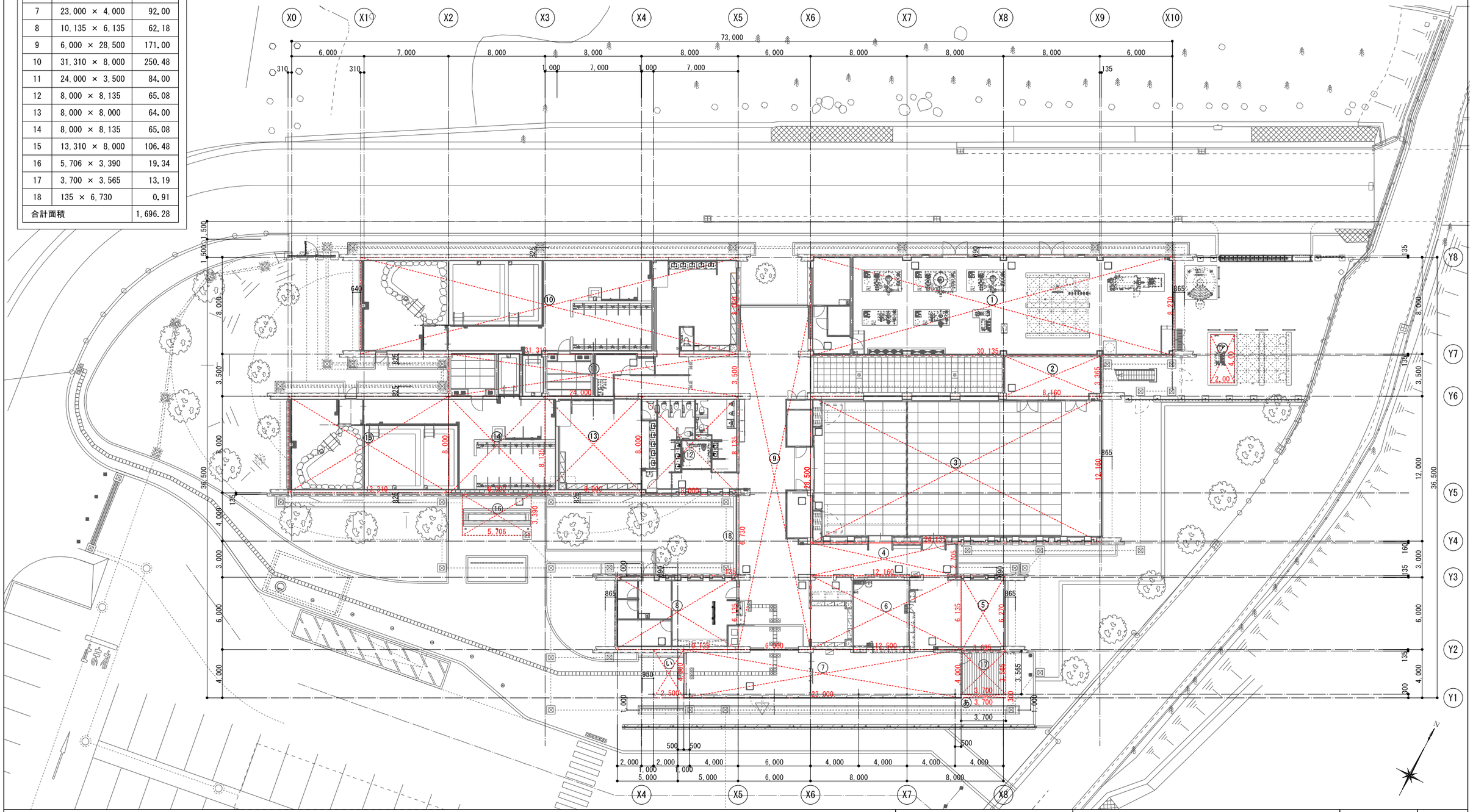
地域交流温浴センター（申請建物1）

建築面積加算面積

記号	計算式（m）	面積（㎡）
あ	3.700 × 0.300	1.11
い	2.500 × 4.000	10.00
合計面積		11.11

面積総括表

	敷地内の建築物の合計
建築面積 （温浴センター+ポンプ室+あ+い）	1,715.39 ㎡
容積対象床面積 （温浴センター+ポンプ室）	1,704.28 ㎡



***			
	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査
	図面名	建物面積求積図・求積表	縮尺 A1 1:150 A3 1:300
			業務番号 257031
			図面番号 A-04

共通事項

断　熱	• 1階ｽﾗﾌﾞ下：A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b t30打込みとする • 外気に面する壁は吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑA種1H t30とする • 躯体:沿槽：A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b t30とする • 脱衣室床暖房設置部分：A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b t50とする
外　部	• 外部に面する金物の周囲はｰﾘﾝｸﾞ を行うﾍﾟﾝﾄｷｬｯﾌﾟ 廻りのｰﾘﾝｸﾞ は建築工事とする） • 仕上塗材のコンクリート面の種類は全面精査とする • 水槽部及び地中となる外周部躯体の打継ぎ部には止水板を打込み、外部打継ぎに目地ﾏｰｸﾞ を行う • 地中となる外周部躯体の型枠締付金物の頭処理は、ねじ頭切断後、防錆塗装の上、ﾓﾙﾀﾙを充填する • 異種取合い部は、特記無き限りｼｰﾘﾝｸﾞ を行う
内　部	• LGSのｽﾀｯﾄﾞ は原則として下共躯体に固定する • 建材は F☆☆☆☆を使用し、二次製品については構成建材すべてを F☆☆☆☆とすること • 便器、手摺、ﾍﾟｰﾊﾟﾙﾎﾙﾀｰ、化粧鏡等の壁取付下地は躯体合板t12程度の下地補強を行う 但し、乾式耐火間仕切部は亜鉛鉛板t1,2程度の下地補強とする • 上記下地補強は機械設備工事の設備機器取付も含め、建築工事とする • ﾎﾞｰﾄﾞの出隅ｼｰﾊﾟｰは全てｺｰﾅｰﾋﾞｰﾄﾞによる下地補強を行う • 壁の下地が異なる部分及び構造ｽﾘｯﾄを跨ぐGL貼ﾎﾞｰﾄﾞには、原則見切り(塩ビ製)を設ける • 塗装仕上のﾎﾞｰﾄﾞは鉛目処理工法とする • 仕上塗材、塗装等は基材同等認定品とする • GW充填する場合の穴開き合板又は胴には、寒冷紗(黒)を裏貼りとする • ｶｰﾃｨﾝ、ﾌﾞﾗｰﾄﾞｯﾄ、掲示板等は、特記なき限り防炎加工品とする • 建具出隅ﾎﾞｰﾄﾞ面には見切り目地(塩ビ製)を設けること • GB-St12.5は不燃品とする • 岩綿吸音板はﾏﾙﾁﾀｲﾙ柄とする • ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材はｴﾎﾟｷｼ系とする

使用材料認定番号

石膏ボードt9.5	不燃NM-0441　準不燃QM-9828	間仕切壁（ＲＣ造）	建告第1399号第1ニイ，三 （鋭筋コンクリート壁 厚≧7cm かぶり厚≧3cm）
石膏ボードt12.5	不燃NM-8619	外壁（ＲＣ造）	建告第1399号第1五イ，ロ （鋭筋コンクリート壁 厚≧7cm かぶり厚≧3cm）
普通硬質石膏ボードt9.5、12.5	不燃NM-9645	外壁（Ｓ造）	FP060NE-184-5（1時間）
強化石膏ボードt12.5、21	不燃NM-8615	柱（ＲＣ造）	建告第1399号第2三イ，ロ
強化石膏ボード(防水・防ｶﾋﾞ)t15、21	不燃NM-1498	床（ＲＣ造）	建告第1399号第3ニイ
シージング石膏ボードt12.5	不燃NM-9639　準不燃QM-0898	梁（ＲＣ造）	建告第1399号第4三イ，ロ
シージング石膏ボードt9.5	準不燃QM-0898	梁（Ｓ造）	建告第1399号第4三ヘ
化粧石膏ボードt9.5	不燃NM-1864　準不燃QM-0524	屋根（ＲＣ造）	建告第1399号第5ー
化粧石膏吸音ボードt9.5	不燃NM-0879	屋根（Ｓ造）	FP030RF-1852（8）（30分）
岩綿吸音板、岩綿吸音板(軒天用)	不燃NM-8599	階段（Ｓ造）	建告第1399号第6四
ケイ酸カルシウム板	不燃NM-8578	鉄骨(柱)+耐火塗装	FP060CN-0906（1時間）
化粧ケイ酸カルシウム板	不燃NM-4487，NM-4226，NM-5037		
メラミン不燃化粧板	不燃NM-2183		

耐火構造　告示・認定番号

間仕切壁（ＲＣ造）	建告第1399号第1ニイ，三 （鋭筋コンクリート壁 厚≧7cm かぶり厚≧3cm）
外壁（ＲＣ造）	建告第1399号第1五イ，ロ （鋭筋コンクリート壁 厚≧7cm かぶり厚≧3cm）
外壁（Ｓ造）	FP060NE-184-5（1時間）
柱（ＲＣ造）	建告第1399号第2三イ，ロ
床（ＲＣ造）	建告第1399号第3ニイ
梁（ＲＣ造）	建告第1399号第4三イ，ロ
梁（Ｓ造）	建告第1399号第4三ヘ
屋根（ＲＣ造）	建告第1399号第5ー
屋根（Ｓ造）	FP030RF-1852（8）（30分）
階段（Ｓ造）	建告第1399号第6四
鉄骨(柱)+耐火塗装	FP060CN-0906（1時間）

仕上凡例

CON	鉄筋コンクリート	S	鉄骨
CB	コンクリートブロック	RW	ロックウール
ALC	軽量気泡コンクリートパネル	GW	グラスウール
ECP	繊維混入セメント押出成形板	VP	硬質塩化ビニル管
LGS	軽量鉄骨壁・天井下地	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
GL	GL工法	EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
GB-R	石膏ボード	EP-G	ツヤ有り合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
GB-R-H	普通硬質石膏ボード	UC	ウレタン樹脂ワニス
GB-F	強化石膏ボード	CL	クリヤラッカー塗り
GB-F-WR	強化石膏ボード(防水・防ｶﾋﾞ)	OS	オイルステイン塗り
GB-S	シージング石膏ボード	OSCL	着色クリアラッカー塗り
GB-D	化粧石膏ボード	FH	オール水性・コンクリート打放し保護塗料塗り

○仕上等参考品番

複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt3.0（木目調）	田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ/ウッドラインM ライク同等品	OAフロア	ナカ工業/ヨネフロアAP-UN同等品
ｱﾝﾀﾞｰﾚｲﾔｰﾄt5.0	田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ/タスクレイシートU同等品	鋼製床下地	根井製作所/GTフロア一同等品
複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0	田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ/ﾊﾞｰﾏｯｸﾑｰﾌﾞﾝ ﾙEX同等品	メラミン不燃化粧板	ｱｲｶ/ｾﾗｰﾙ同等品
複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0（消臭・防汚）	田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ/消臭ｳｨﾙｸﾘｰﾝ同等品	メラミン不燃化粧板（高意匠）	ｱｲｶ/ｾﾗｰﾙ セレント同等品
床組器質ﾀｲﾙ300角（浴室）	LIXIL/ｻｰﾓﾓﾀｲﾙ同等品	化粧ｹｲｶﾙ板	ｱｲｶ/ﾙｸﾗｲﾄ同等品
ﾋﾞﾆﾙ繊物床ｼｰﾄt3.2（耐電工法）	ｻﾝﾀﾞﾝｺｺﾌﾛｱ(ﾀｲﾙ)同等品	左官調仕上塗材	ｱｲｶ工業/ｼﾞｮﾘﾊﾟｯﾄ不燃同等品（不燃NM-8572）
置敷ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt5.0	田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ/ﾚｲﾌﾛｯｸﾃｨANN同等品	磁器質ﾎﾞｰﾀｲﾙ	名古屋ｾﾗﾐｯｸ/ｴﾘｱﾎﾞｰﾀﾞｰ彩同等品
防滑複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5	田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ/ﾋﾞｭｰﾋﾞｽﾀ同等品	多孔質ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ	INAX/ｴｺｶﾗｯﾌﾟﾀｲﾙ同等品
発泡複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.8	田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ/ACフロア28同等品	せっき質ﾆ丁掛けﾀｲﾙ	国代耐火工業所/ニ丁掛けﾀｲﾙ同等品
厨房用防滑複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0	田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ/クリア同等品	木調ﾊﾟｰ	ﾀﾞｲｲﾝｸﾞﾗﾃｯｸﾎﾞｰUB同等品

壁下地凡例・告示・認定番号

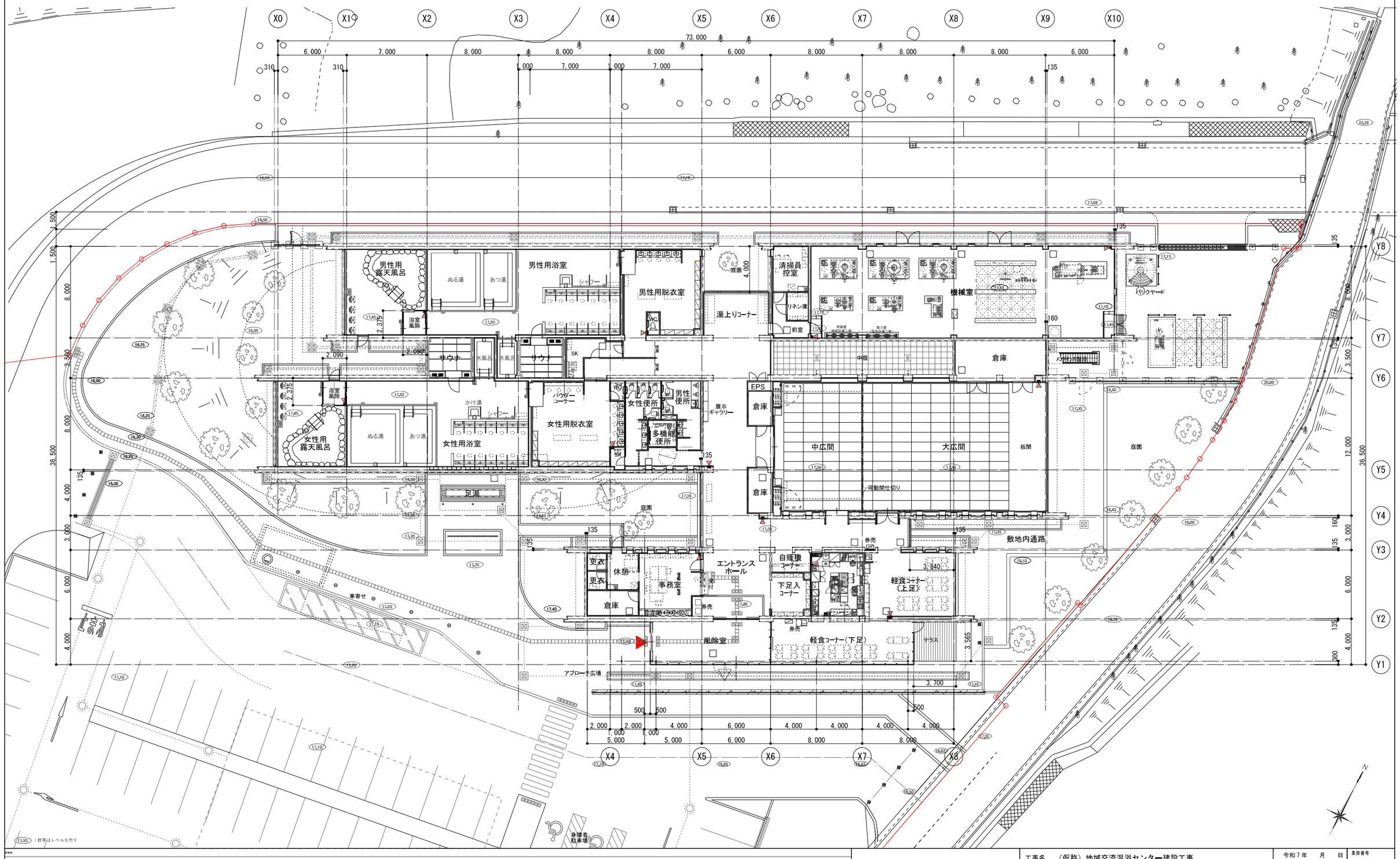
W-1	コンクリート打放し素地	不燃下地	平12建告第1399号
W-2	コンクリート化粧打放し	不燃下地	平12建告第1399号
W-3	コンクリート打放し補修	不燃下地	平12建告第1399号
W-4	LGS+GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5(両面貼)	耐火1時間　不燃下地 吉野石膏/ﾊｲﾊﾟｰｳｫｰﾙZ目透し同等	FP-060NP-0448（1） GW有：FP-060NP-0448（2）
W-5	LGS(千鳥)+GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5(両面貼)	耐火1時間　不燃下地 吉野石膏/ﾊｲﾊﾟｰｳｫｰﾙZ・T同等	FP-060NP-0448（1） SOI-0170
W-6	LGS(千鳥)+GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5(両面貼) GW24kg/m3, t50	耐火1時間　不燃下地 吉野石膏/ﾊｲﾊﾟｰｳｫｰﾙZ・T 粗目透し同等	FP-060NP-0448（2） SOI-0187
W-7	LGS+GB-Ft21+GB-Ft21	耐火1時間　不燃下地 吉野石膏/SWｫｰﾙ同等	FP-060NP-0007
W-8	LGS+GB-Rt12.5	不燃下地	NM-8619
W-9	LGS+GB-St12.5	不燃下地	NM-9639
W-10	LGS+GB-Rt9.5+GB-Rt12.5	不燃下地、準不燃下地 不燃材料で覆われたもの	NM-8619，NM-0441 QM-9828
W-11	LGS+GB-Rt12.5+GB-Rt12.5	不燃下地	NM-8619
W-12	LGS+GB-St12.5+GB-St12.5	不燃下地	NM-9639
W-13	LGS+GB-St9.5+GB-St12.5	不燃下地、準不燃下地 不燃材料で覆われたもの	NM-9639 QM-0898
W-14	GL+GB-Rt12.5	不燃下地	NM-8619
W-15	GL+GB-St9.5+GB-St12.5	不燃下地、準不燃下地 不燃材料で覆われたもの	NM-9639 QM-0898
W-16	GL+GB-St12.5	不燃下地	NM-9639
W-17	GL+GB-Rt9.5+GB-Rt12.5	不燃下地、準不燃下地 不燃材料で覆われたもの	NM-8619，NM-0441 QM-9828
W-18	木下地+構造用合板t9+GB-Rt12.5（両面貼） GW24kg/m3, t50	不燃材料で覆われたもの	NM-8619
W-19	木下地+GB-Rt9.5+GB-Rt12.5	不燃材料で覆われたもの	NM-8619
W-20	木下地+構造用合板t9+GB-Rt12.5	不燃材料で覆われたもの	NM-8619
W-21	木下地+防湿ｼｰﾄ+GB-Ft21+GB-Ft21　GW24kg/m3, t105 （※木造外壁の屋内側）	耐火1時間	平12建告第1399号
W-22	木下地+GB-Rt12.5	不燃材料で覆われたもの	NM-8619
W-○（50） W-○（GW）	（　）数値はLGSﾀｲﾌﾟを示す。ただし、特記なき限り65ﾀｲﾌﾟとする。 W-6，17，18，21以外でGW≦50（24kg/m3）を充填する場合を示す。		

外部仕上

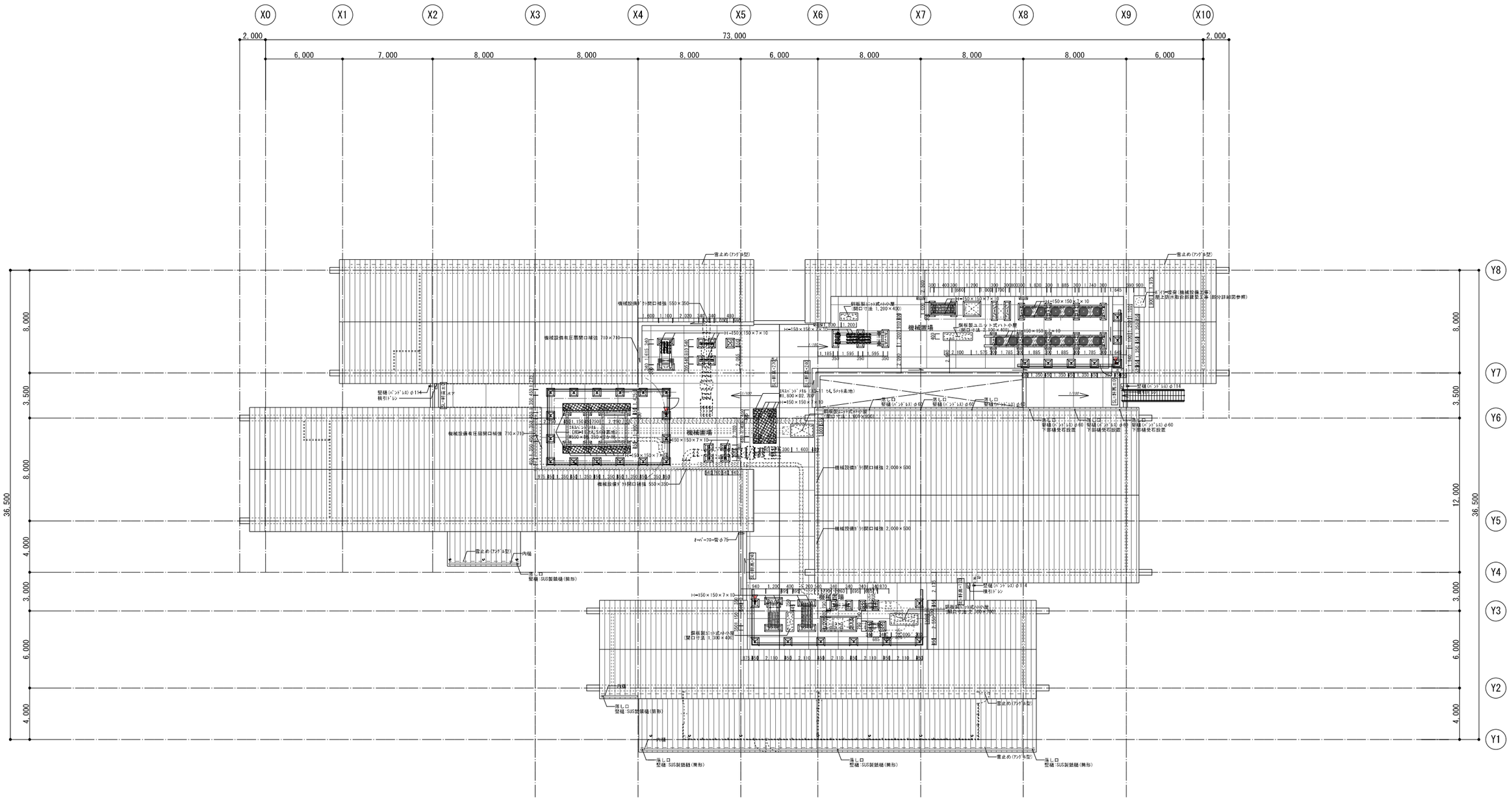
金属屋根	かん合式立ﾊｾﾞ葺き@410 ﾌｯ素ｶﾞﾙﾘｳﾑ鋼板t0.4（発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ裏貼） (ﾁｶﾗﾀﾞｶﾗｰGL HF20 ｷﾝｸﾞﾛ同等品以上) 下地耐火ﾊﾟﾈﾙ：木毛セメント板複合高性能ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ 25M=25（耐火認定 1h）同等品以上 胴縁：C-100x50x20x2.3@606 ZC-100x50x20x2.3@1,820 断熱材：発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種aD t25 改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0　細木太木二層式木毛ｾﾒﾝﾄ板 t40 母屋：C-100x50x20x2.3@750 ZC-100x50x20x2.3@2,250	外壁3(S造)	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 角ﾊﾞﾝﾄﾞﾙt0.5 (ﾁｶﾗﾀﾞｶﾗｰGL HF20 ｷﾝｸﾞﾛ同等品以上) 下地耐火ﾊﾟﾈﾙ：木毛セメント板複合高性能ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ 25M=25（耐火認定 1h）同等品以上 胴縁：C-100x50x20x2.3@606 ZC-100x50x20x2.3@1,820
陸屋根	ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押え+ｱｽﾌｧﾙﾄ保護防水密着断熱工法（A1-2） A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b(ｽﾄﾝﾊﾟ層付t50 押えｺﾝｸﾘｰﾄt80（溶接金網φ6@100縦横） 伸縮目地@3,000以内	エントランス 独立柱	耐火塗料(1h) t 4.5平滑仕上、上塗りつや無塗装 準屋外用(ｴｽﾀｰ化研/SKタイコーHS同等品)
外壁1(RC造)	高耐候可とう性外装塗材ｺﾃ仕上面状(基調色1) (ｱｲｶ工業/ｼﾞｮﾘﾊﾟｯﾄ ﾈｵ∞同等品)	エントランス屋外 軒天	ｹｲｶﾙ板t6.0V目地突付 EP塗装
外壁2(RC造)	高耐候可とう性外装塗材ｺﾃ仕上面状(基調色2) (ｱｲｶ工業/ｼﾞｮﾘﾊﾟｯﾄ ﾈｵ∞同等品)	エントランス屋外 軒天	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾙt 1.5（ステンカラー）
		竪樋（一般）	ｶﾗｰｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾙ丸樋（井上商事/アルトイ同等品） GL～第一桝：VP φ100（第1桝：外構工事）
		竪樋（エントランス）	SUS製鎖樋(筒形)
		屋外鉄骨階段	溶融亜鉛めっきの上 DP塗装
		屋上目隠しルーバー	ｶﾗｰｱﾙﾐ目隠しﾙｰﾊﾞｰ (ABC商会：ﾌﾟﾘﾝｶｰｽ同等品以上) 受け鉄骨：溶融亜鉛メッキ素地
		配管ピット	外周の土に接する部分：塗布防水 （大開化学工業 /ﾊﾟﾗﾃｯｸAB-2工法同等品）
		ベントキャップ（機械設備工事）	薄型ﾌﾗｯﾄﾌｰﾄﾞ型（指定色焼付塗装）

内部仕上

分類	室　名	床 仕上高 スラブ高	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 上壁 仕上 / 下壁 仕上	壁 塗装	天井 下地	天井 仕上	天井 塗装	天井 高さ(FLより)	廻り縁	排煙	内装制限 天井：天井仕上；下地 壁：壁仕上；下地	備考 （　）は別途工事
共用	風除室	−20 −100	下地 ﾓﾙﾀﾙ	御影石t25(JB仕上)	御影石t20 (JB仕上)	60	W-3	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	—	勾配天井 2,300～ 3,070	塩ビ製	免除 防火避難規定 により	難燃：防煙、不燃：防煙	(傘立て)
	下足ｺｰﾅｰ	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ｱﾝﾀﾞｰﾚｲｼｰﾄt4.0+ 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt3.0（木目調）	桧t9 OSUC塗装	60	W-3 W-10	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	—	2,500	塩ビ製	告示(2)	準不燃：防煙、不燃：防煙	下足棚
	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ｱﾝﾀﾞｰﾚｲｼｰﾄt4.0+ 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt3.0（木目調）	桧t9 OSUC塗装	60	W-3 W-10 W-17	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9 一部：GB-Rt9.5+塗装	E P	2,500	塩ビ製	自然	難燃：防煙、不燃：防煙	手すり、(券売機)
		−20 −100	下地 ﾓﾙﾀﾙ	御影石t25(JB仕上)	御影石t20 (JB仕上)											難燃：防煙、不燃：防煙	
	展示ｷﾞｬﾗﾘｰ・ﾎｰﾙ	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ｱﾝﾀﾞｰﾚｲｼｰﾄt4.0+ 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt3.0（木目調）	桧t9 OSUC塗装	60	W-3 W-10	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9 一部：GB-Rt9.5+塗装	E P	2,500	塩ビ製	自然	難燃：防煙、不燃：防煙	掲示板、展示ｹｰｽ
	廊下1 (軽食ｺｰﾅｰ前)	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ｱﾝﾀﾞｰﾚｲｼｰﾄt4.0+ 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt3.0（木目調）	桧t9 OSUC塗装	60	W-3 W-10	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	—	2,500	塩ビ製	自然	難燃：防煙、不燃：防煙	(券売機)
	廊下2 (湯上りｺｰﾅｰ前)	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ｱﾝﾀﾞｰﾚｲｼｰﾄt4.0+ 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt3.0（木目調）	桧t9 OSUC塗装	60	W-3 W-10	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	—	2,500	塩ビ製	自然	難燃：防煙、不燃：防煙	喫煙
	多機能WC	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(消臭・防汚)	床材巻上	300	W-9	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板(高意匠)t3.0	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	—	2,500	塩ビ製	告示(2)	準不燃：防煙、不燃：防煙	(大便器、背もたれ、L型手摺、跳ね上げ手摺、ﾍﾟｰﾊﾟﾎﾙﾀｰ、ｵｽﾄﾒｲﾄ、手洗器) ｴﾋﾟﾒｰﾙﾄｯﾌﾟ
	男子便所	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(消臭・防汚)	SUS調巾木	60	W-9 W-16	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板(高意匠)t3.0 手洗いｶｳﾝﾀｰ前：磁器質 ﾎﾞｰﾀﾞｰﾀｲﾙ	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	—	2,500	塩ビ製	告示(2)	準不燃：防煙、不燃：防煙	(大便器、小便器) L型手摺、小便器手摺、手洗いｶｳﾝﾀｰ、ﾍﾟｰﾊﾟﾎﾙﾀｰ
	女子便所	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(消臭・防汚)	SUS調巾木	60	W-9 W-16	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板(高意匠)t3.0 手洗いｶｳﾝﾀｰ前：磁器質 ﾎﾞｰﾀﾞｰﾀｲﾙ	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	—	2,500	塩ビ製	告示(2)	準不燃：防煙、不燃：防煙	(大便器) L型手摺、手洗いｶｳﾝﾀｰ、ﾍﾟｰﾊﾟﾎﾙﾀｰ
	SK	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(消臭・防汚)	SUS調巾木	60	W-9 W-16	化粧ｹｲｶﾙ板t6 ｱﾙﾐｶﾗｰｼﾞｮｲﾅｰ	—	LGS	GB-Dt9.5	—	2,500	塩ビ製	告示(2)	準不燃：防煙、不燃：防煙	
温浴	男性・女性 脱衣室	±0 −120	CON金鏝	ﾋﾞﾆﾙ織物床ﾀｲﾙt3.2（耐湿工法） 押えCON t65（溶接金網φ4@100） 電気式床暖房（機械設備工事） 断熱材t50	ソフト巾木	60	W-9 W-16	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板(高意匠)t3.0	—	LGS (高鋲食	GB-Rt9.5+ﾋﾞﾆｸﾛｽ(防ｶﾋﾞ) 一部：小型ｱﾙﾐ格子ﾙｰﾊﾞｰ(天吊)	—	2,500	塩ビ製	自然	不燃：不燃 不燃：不燃	※採光無窓 主要構造部を 耐火構造
	ﾊﾞｳﾀﾞｰｺｰﾅｰ	±0 −120	CON金鏝	ﾋﾞﾆﾙ織物床ﾀｲﾙt3.2（耐湿工法） 押えCON t65（溶接金網φ4@100） 電気式床暖房（機械設備工事） 断熱材t50	ソフト巾木	60	W-9	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板(高意匠)t3.0	—	LGS (高鋲食	GB-Rt9.5+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防ｶﾋﾞ)	—	2,500	塩ビ製	自然	不燃：不燃 不燃：不燃	※採光無窓 主要構造部を 耐火構造
	浴室 (男性・女性)	±0 −150	CON金鏝	磁器質ﾀｲﾙ300角（浴室対応） 押えCON t80（溶接金網φ4@100） 断熱材t50（浴槽内） ｱｽﾌｧﾙﾄ防水E-Ⅰ	—	—	W-1 W-3	防水立上 (FL+1400ﾏﾃﾞ) せっき質ニ丁掛けﾀｲﾙ貼り 御影石 t 20貼り（本磨き）	—	LGS (高鋲食	防湿ｼｰﾄ+ｱﾙﾐﾊﾞｽﾘｯﾄ (木目調)、(暗色)	—	3,950～ 5,800	ｱﾙﾐ製 焼付 (天井近似色)	自然	難燃：防煙、不燃：防煙	浴槽 縁：御影石(JB仕上手摺、 洗い場流し台、断立 (様木目皿)
							W-2	化粧打放ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上	FH塗装								
	男性・女性 ﾄﾞﾗｲｻｳﾅ	±0 −150	CON金鏝	ｽﾉｺ敷(ﾋﾉｷ材) 押えCON t50（溶接金網φ4@100） ｱｽﾌｧﾙﾄ防水E-Ⅰ	壁同材	—	W-1	防水立上 (FL+1400ﾏﾃﾞ) ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地+断熱ｻﾜﾗｶﾊﾞ ﾈﾙﾄ(40+30) +多孔質ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ(不燃) 腰もたれ壁板(ﾋﾉｷ材)	— 無塗装	LGS (高鋲食	断熱ｻﾜﾗﾅﾊﾞ ﾈﾙﾄ(40+30) +岩綿吸音板t12	—	2,800	木製（桧）	告示(2)	難燃：防煙、不燃：防煙	
	浴室風除室 (男性・女性)	±0 −200	CON金鏝	鉄平石t30 乱貼 押えCON t80（溶接金網φ4@100） ｱｽﾌｧﾙﾄ防水E-Ⅰ	—	—	W-1	防水立上 (FL+1400ﾏﾃﾞ) せっき質ニ丁掛けﾀｲﾙ貼り 御影石 t 20貼り（本磨き）	—	LGS (高鋲食	防湿ｼｰﾄ+ｱﾙﾐﾊﾞｽﾘｯﾄ(暗色)	—	2,250	ｱﾙﾐ製 焼付 (指定色)	免除 防火避難規定 により	難燃：防煙、不燃：防煙	
							W-2（本実型枠）	杉板本実型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上	FH塗装								
	露天風呂 (男性・女性)	−50 −200	CON金鏝	鉄平石t30 乱貼 押えCON t80（溶接金網φ4@100） 断熱材t50（浴槽内） ｱｽﾌｧﾙﾄ防水E-Ⅰ	—	—	W-3	高耐候可とう性外装塗材ｺﾃ 仕上面状（基調色1） 防水立上 (FL+1400ﾏﾃﾞ) 御影石 t 20（本磨き）	— —	LGS (高鋲食	庇：防湿ｼｰﾄ+ ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾙ(木目調) (ﾌｸﾋﾞ化学工業 /ｳｯﾄﾞﾏﾙﾁｽﾊﾟﾝ同等品)	—	3,950～ 5,800	ｱﾙﾐ製 焼付 (指定色)		難燃：防煙、不燃：防煙	浴槽 縁：自然石積 手摺
							W-2（本実型枠）	杉板本実型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上	FH塗装								
	WC(脱衣室)	±0 −150	CON金鏝	ﾋﾞﾆﾙ織物床ﾀｲﾙt3.2（耐湿工法） 押えCON t65（溶接金網φ4@100） 断熱材t50	ソフト巾木	60	W-13 W-15	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防ｶﾋﾞ)	—	LGS	GB-Rt9.5+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防ｶﾋﾞ)	—	2,500	塩ビ製	告示(2)	準不燃：防煙、不燃：防煙	(大便器、小型手洗い器) L型手摺
共用	SK	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(消臭・防汚)	床材巻上	60	W-9 W-16	化粧ｹｲｶﾙ板t6 ｱﾙﾐｶﾗｰｼﾞｮｲﾅｰ	—	LGS	GB-Rt9.5+ﾋﾞﾆｸﾛｽ(防ｶﾋﾞ)	—	2,500	塩ビ製	告示(2)	準不燃：防煙、不燃：防煙	
休憩	湯上りｺｰﾅｰ	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ｱﾝﾀﾞｰﾚｲｼｰﾄt4.0+ 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt3.0（木目調）	桧t9 OSUC塗装	60	W-3 W-10	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9 一部：GB-Rt9.5+塗装	E P	2,500	塩ビ製	自然	難燃：防煙、不燃：防煙	
	大広間	±0 −400	CON金鏝 +鋼製束、 鋼製根太、 組合せ専用 断熱	構造用合板t12+12+和紙畳t55 (ﾀﾞｲｲﾝ:畳やかくれん清流同等品以上) 縁側・板間：構造用合板t24+調整根太 +捨鎖平板t15 (ﾀﾞｲｲﾝ:ｺﾆｭｰｼｮﾝﾀｲﾛDM検同等品以上)	畳寄せ 杉20×55 雑巾摺 杉15×15	—	W-10	左官調仕上塗材 天然木突板不燃壁材t6	— UC	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9 一部：木調不燃ﾊｰﾊﾟｰ(天井直付・天吊)	—	4,000	桧 UC塗装	自然	難燃：防煙、不燃：防煙	掘りごたつ 床：ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt6.5 壁：ｼﾅ合板t5.5UC塗装 SLW
	中広間	±0 −400	CON金鏝 +鋼製束、 鋼製根太、 組合せ専用 断熱	構造用合板t12+12+和紙畳t55 (ﾀﾞｲｲﾝ:畳やかくれん清流同等品以上) 縁側・板間：構造用合板t24+調整根太 +捨鎖平板t15 (ﾀﾞｲｲﾝ:ｺﾆｭｰｼｮﾝﾀｲﾛDM検同等品以上)	畳寄せ 杉20×55 雑巾摺 杉15×15	—	W-10	左官調仕上塗材 天然木突板不燃壁材t6	— UC	LGS	GB-Rt12.5+岩綿吸音板t9 一部：木調不燃ﾊｰﾊﾟｰ(天井直付・天吊)	—	4,000	桧 UC塗装	自然	不燃：不燃 難燃：防煙、不燃：防煙	※採光無窓 主要構造部を 不燃材料 掘りごたつ
飲食・物販・娯楽	軽食ｺｰﾅｰ(上足)	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ｱﾝﾀﾞｰﾚｲｼｰﾄt4.0+ 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt3.0（木目調）	桧t9 OSUC塗装	60	W-10	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	—	2,500	塩ビ製	自然	難燃：防煙、不燃：防煙	
	軽食ｺｰﾅｰ(下足)	±0 −300	CON金鏝 +鋼製束、 鋼製根太、 組合せ専用 断熱	構造用合板t12+t12 +御影石t25(JB仕上)	御影石 t20 (JB仕上)	60	W-3	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9 一部：木調不燃ﾊｰﾊﾟｰ(天井直付)	—	勾配天井 2,300～ 3,070	塩ビ製	自然	難燃：防煙、不燃：防煙	
	厨房	±0 −300	CON金鏝	厨房用防滑複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0 廊上げCON （溶接金網φ4@100）	床材巻上	200	W-9 (令7告示 989号適合)	化粧ｹｲｶﾙ板t6 ｱﾙﾐｶﾗｰｼﾞｮｲﾅｰ	—	LGS	ｹｲｶﾙ板t6 V目地突付 +塗装仕上	EP	2,400	ｱﾙﾐ製 焼付 (指定色)	告示(5) (令7告示 989号適合)	不燃：不燃	※採光無窓 主要構造部を 不燃材料 厨房機器
管理	自販機ｺｰﾅｰ	±0 −30	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	ｱﾝﾀﾞｰﾚｲｼｰﾄt4.0+ 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt3.0（木目調）	桧t9 OSUC塗装	60	W-3 W-10	左官調仕上塗材	—	LGS	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	—	2,500	塩ビ製	告示(2)	準不燃：防煙、不燃：防煙	
	事務室	±0 −60	CON金鏝	置敷ﾋﾞﾆﾙ床ﾀ



		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名	1階平面図	縮尺 A1 1:150 A3 1:300	図面番号 A-06

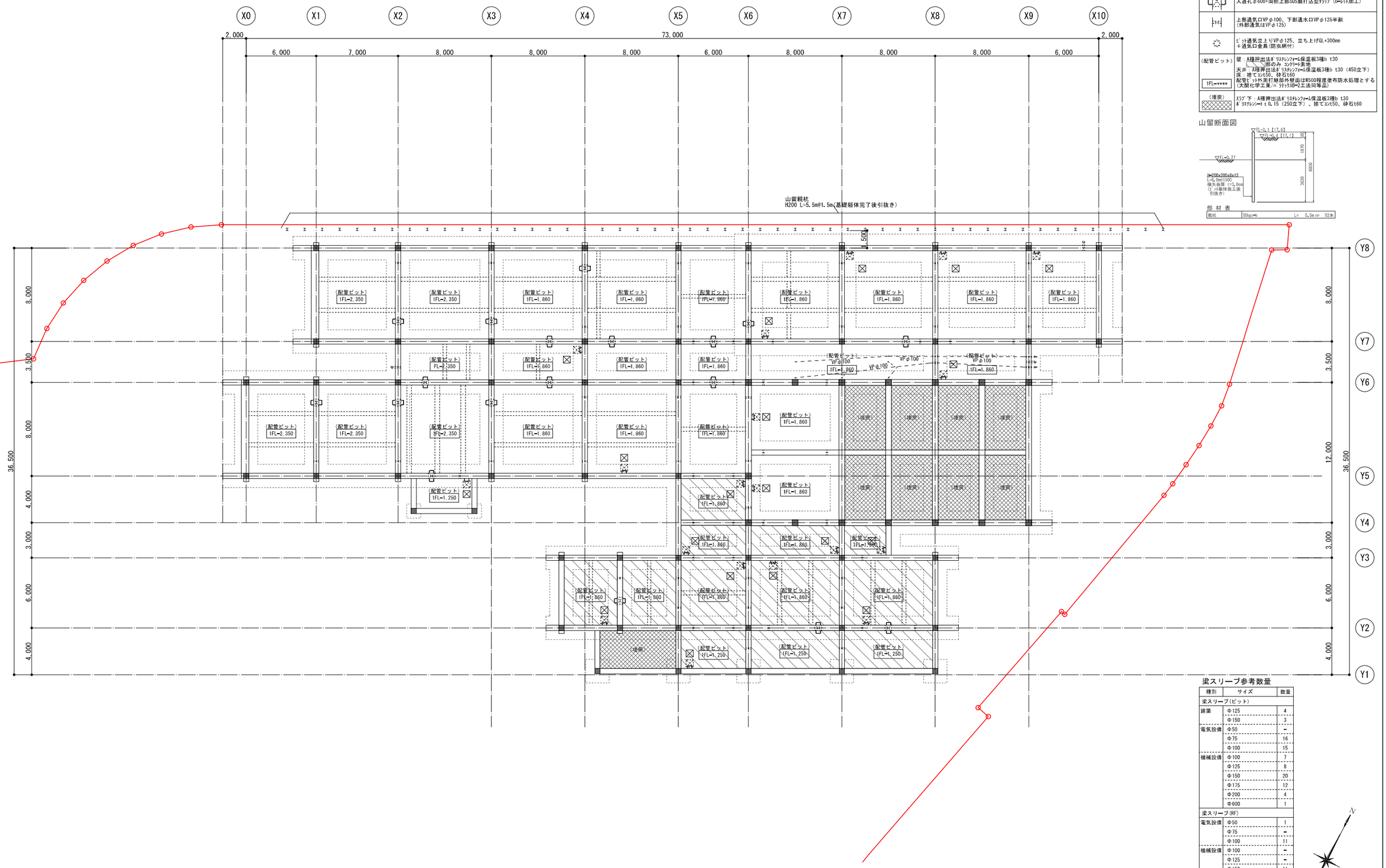

X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
2,000
73,000
2,000
6,000
7,000
8,000
8,000
8,000
6,000
8,000
8,000
8,000
6,000
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
36,500
8,000
3,500
8,000
4,000
3,000
6,000
4,000
12,000
9,000
3,500
6,000
3,000
機械室
機械室等
雪止め(アングル型)
竪樋(バンドレス)φ114
横引ドレン
内樋
落し口
竪樋:SUS製鋳樋(筒形)
竪樋(バンドレス)φ60
下部樋受石設置
鋼板製ユニット式トイレ小屋
(開口寸法 1,200×400)
鋼板製ユニット式ハト小屋
(開口寸法 2,100×400)
鋼板製ユニット式ポンプ小屋
(開口寸法 1,300×400)
オーバーフロー管φ75
機械設備ｶﾞﾗﾘ開口補強 550×350
機械設備有圧箇所開口補強 710×710
機械設備ｶﾞﾗﾘ開口補強 2,000×500
H-150×150×7×10
L-150×150×7×10
屋外排水溝
屋外排水溝 L=5,500
屋外排水溝 L=7,900
ｽﾄｰﾑ
ｽﾄｰﾑ
ｽﾄｰﾑ

記号	内容
	上部床点検口+SUS製打込型ﾗﾗｯﾌﾟ（ﾛｰﾚｯﾄ加工）×4段
	釜場：600×600×H300　既製ｺﾝｸﾘｰﾄ
	人通孔φ600+両側上部SUS製打込型ﾗﾗｯﾌﾟ（ﾛｰﾚｯﾄ加工）
	上部通気口VPφ100、下部通水口VPφ125半割（外部通気口はVPφ125）
	ﾋﾟｯﾄ通気立上りVPφ125、立ち上げGL+300mm ＋通気口金具（防虫網付）
（配管ピット） 1FL−****	壁：A種押出法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b t30 └部のみ ｺﾝｸﾘｰﾄ素地 天井：A種押出法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b t30（450立下） 床：捨てｺﾝ150、砕石t60 配管ﾋﾟｯﾄ外周打継部外壁面は地500程度塗布防水処理とする （大阪化学工業ﾊﾟﾗﾃｯｸAB−2工法同等品）
（埋戻）	ｽﾗﾌﾞ下：A種押出法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b t30 ﾎﾞﾘｽﾁﾚｼｰﾄ t0.15（250立下）、捨てｺﾝ150、砕石t60

山留断面図

部材表

親杭	50kg/m	L= 5.5m n= 52本

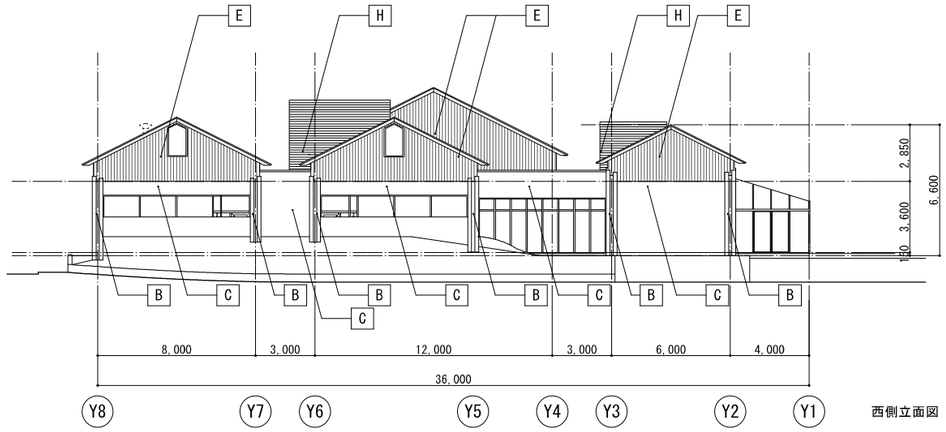


梁スリーブ参考数量

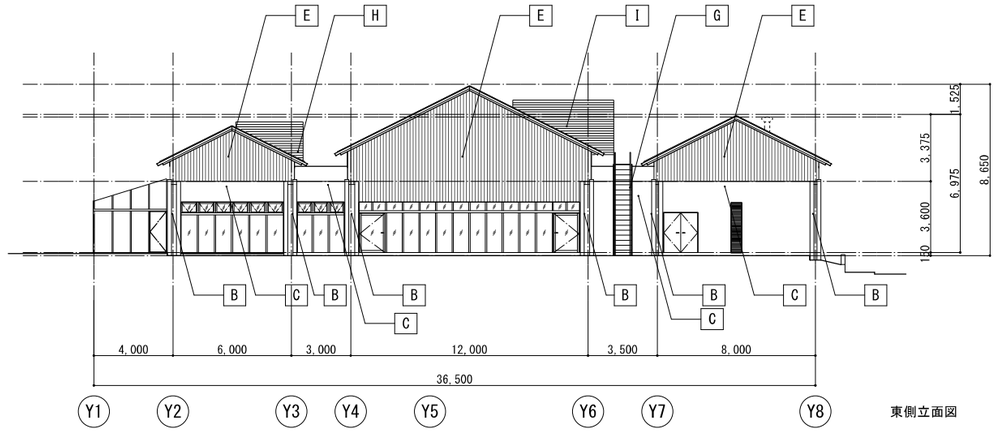
種別	サイズ	数量
梁スリーブ（ピット）		
建築	Φ125	4
	Φ150	3
電気設備	Φ50	−
	Φ75	16
	Φ100	15
機械設備	Φ100	7
	Φ125	8
	Φ150	20
	Φ175	12
	Φ200	4
	Φ600	1
梁スリーブ（RF）		
電気設備	Φ50	1
	Φ75	−
	Φ100	11
機械設備	Φ100	−
	Φ125	−
	Φ150	11
	Φ175	−
	Φ200	−

N

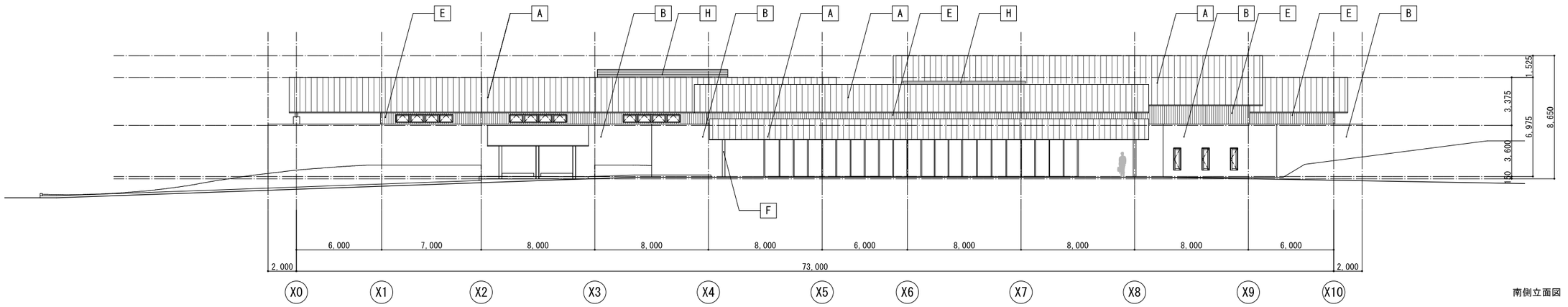
工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名　ピット平面図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300	計画　製作　調査　調査	図面番号 A−08



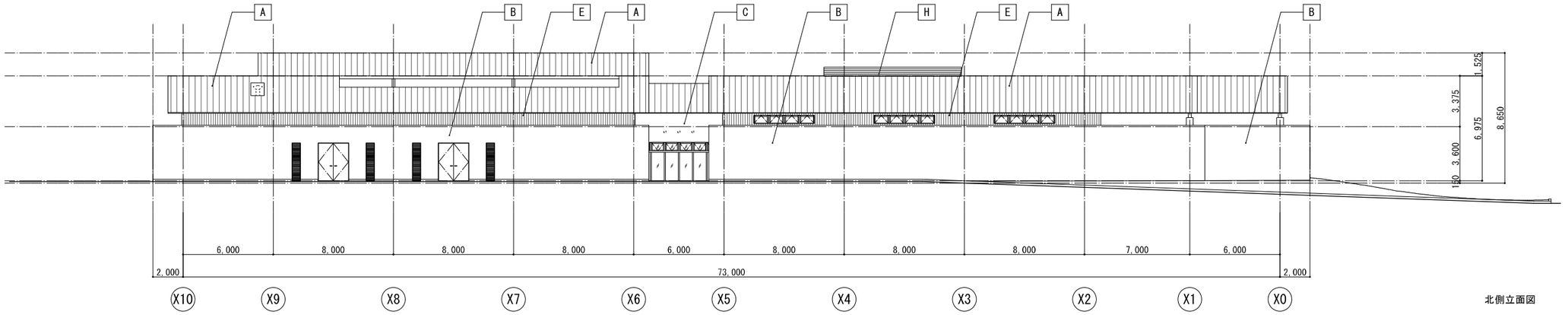
西側立面図



東側立面図



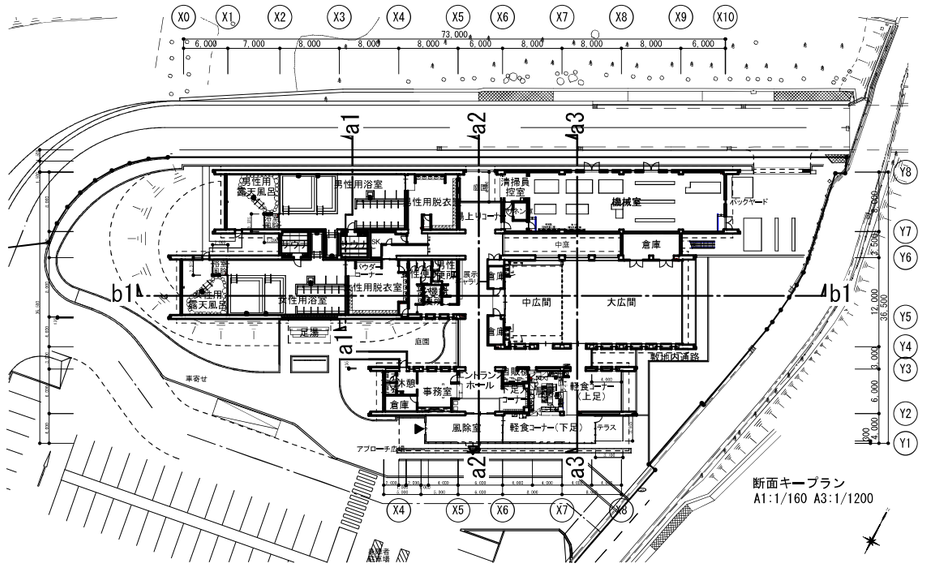
南側立面図

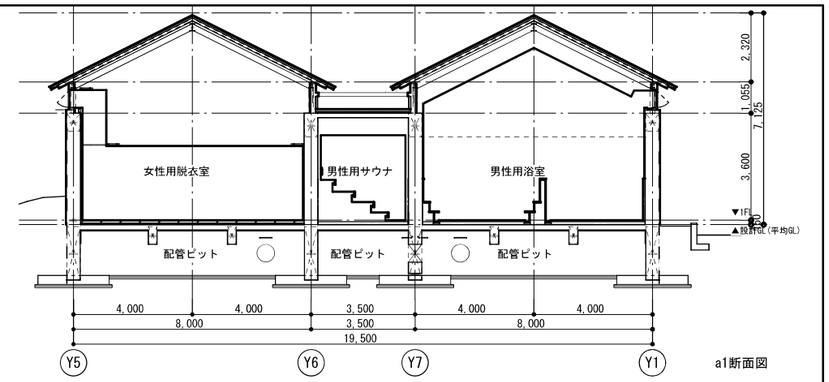


北側立面図

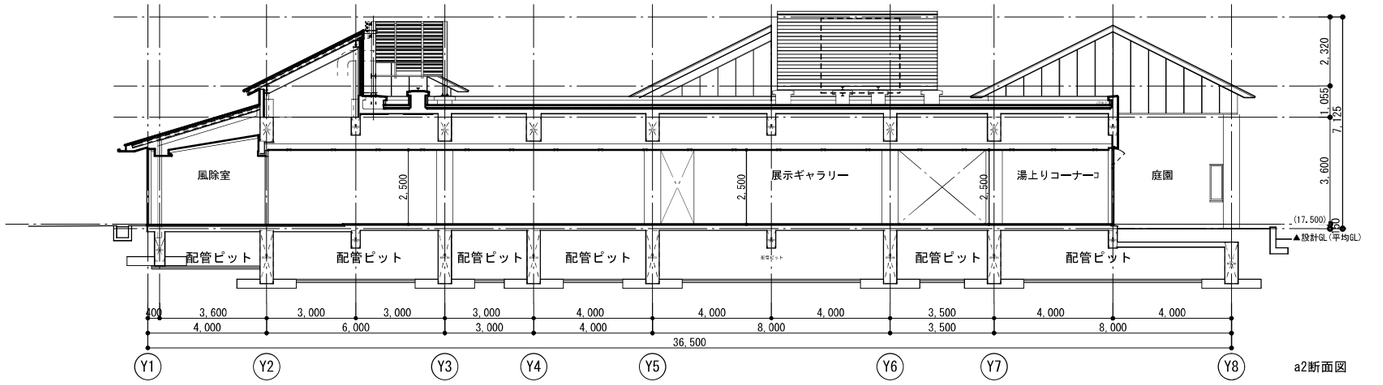
A 金属屋根：かん合式立ﾊｾﾞ葺き#410 ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4(発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ板t4裏貼) (ﾃｺﾖﾀﾞｶﾗｰGL HF20 ｷﾞﾝｸﾞﾛ同等品以上)	C 外壁２(RC造)：高耐候可とう性外装塗材ｺﾃ仕上面状(基調色2) (ｱｲｶ工業/ｼﾞｮﾘﾊﾞｯﾄﾞ材∞同等品)	E 外壁３(S造)：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 角ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾙt0.5 (ﾃｺﾖﾀﾞｶﾗｰGL HF20 ｷﾞﾝｸﾞﾛ同等品以上) 下地耐火ﾊﾟﾈﾙ:木毛ｾﾒﾝﾄ板複合高性能ﾌｪｰﾙﾌﾚｰﾑ 25M-25(耐火認定 1h)同等品以上	G 屋外鉄骨階段：溶融亜鉛めっきの上 DP塗装
B 外壁１(RC造)：高耐候可とう性外装塗材ｺﾃ仕上面状(基調色1) (ｱｲｶ工業/ｼﾞｮﾘﾊﾞｯﾄﾞ材∞同等品)	D	F ｴﾝﾄﾗﾝｽ独立柱：耐火塗料(1h) t4.5平滑仕上、上塗りﾌｯ素塗装 準屋外用(ｴｽﾎﾟｰ化研/SKﾀｲｶｺｰHS同等品)	H 屋上目隠しﾙｰﾊﾞｰ：ｶﾗｰｱﾙﾐ目隠しﾙｰﾊﾞｰ (ABC商会：ﾌﾞﾘﾝｶｰｽ同等品以上) 受け鉄骨：溶融亜鉛メッキ素地

工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号	257031
図面名 立面図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号	A-09

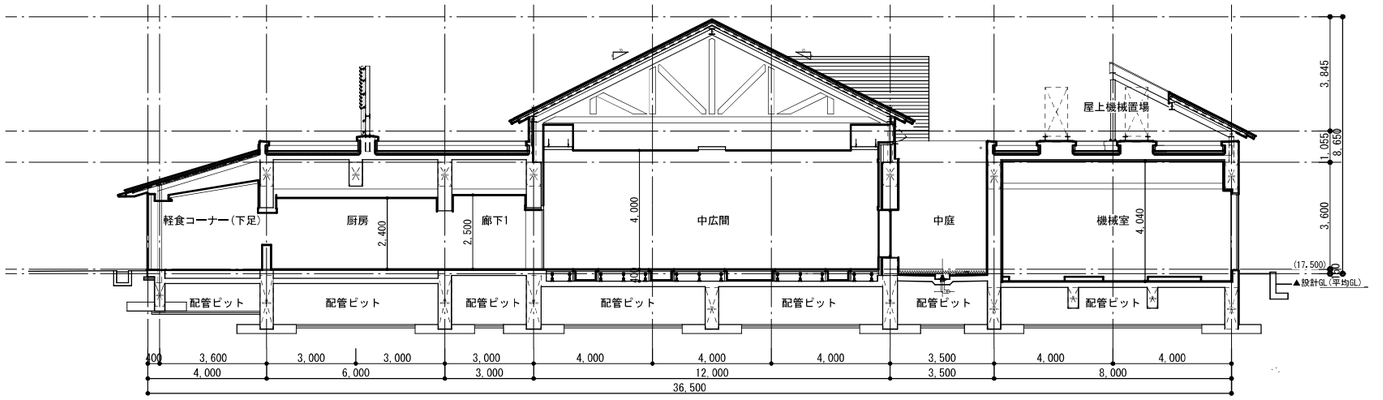




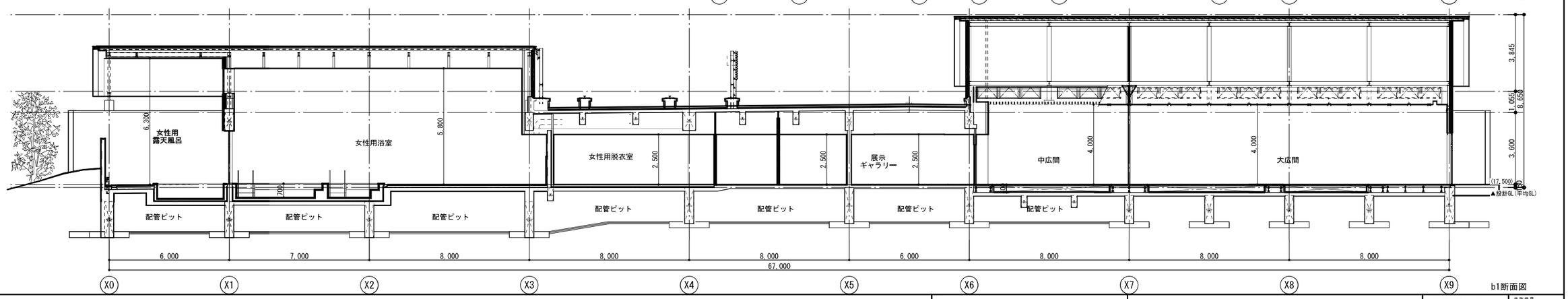
a1断面図



a2断面図



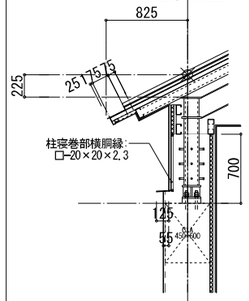
a3断面図



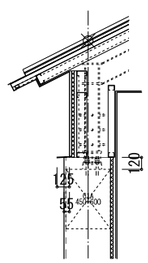
b1断面図

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和6年　月　日	業務番号 257031
図面名	断面図	縮尺	A1：1:200 A3：1:400	計画　製作　調査　調査	図面番号 A-10

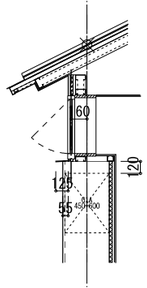
欄間 (FL+3, 800～4, 350)
柱周り断面図



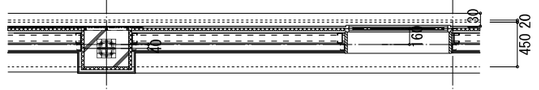
欄間 (FL+3, 800～4, 350)
一般部断面図



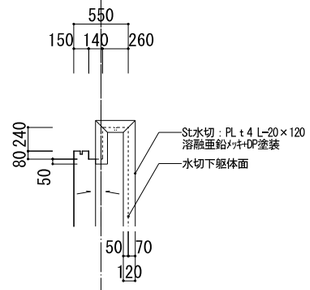
欄間 (FL+3, 800～4, 350)
ｻｯｼ周り断面図

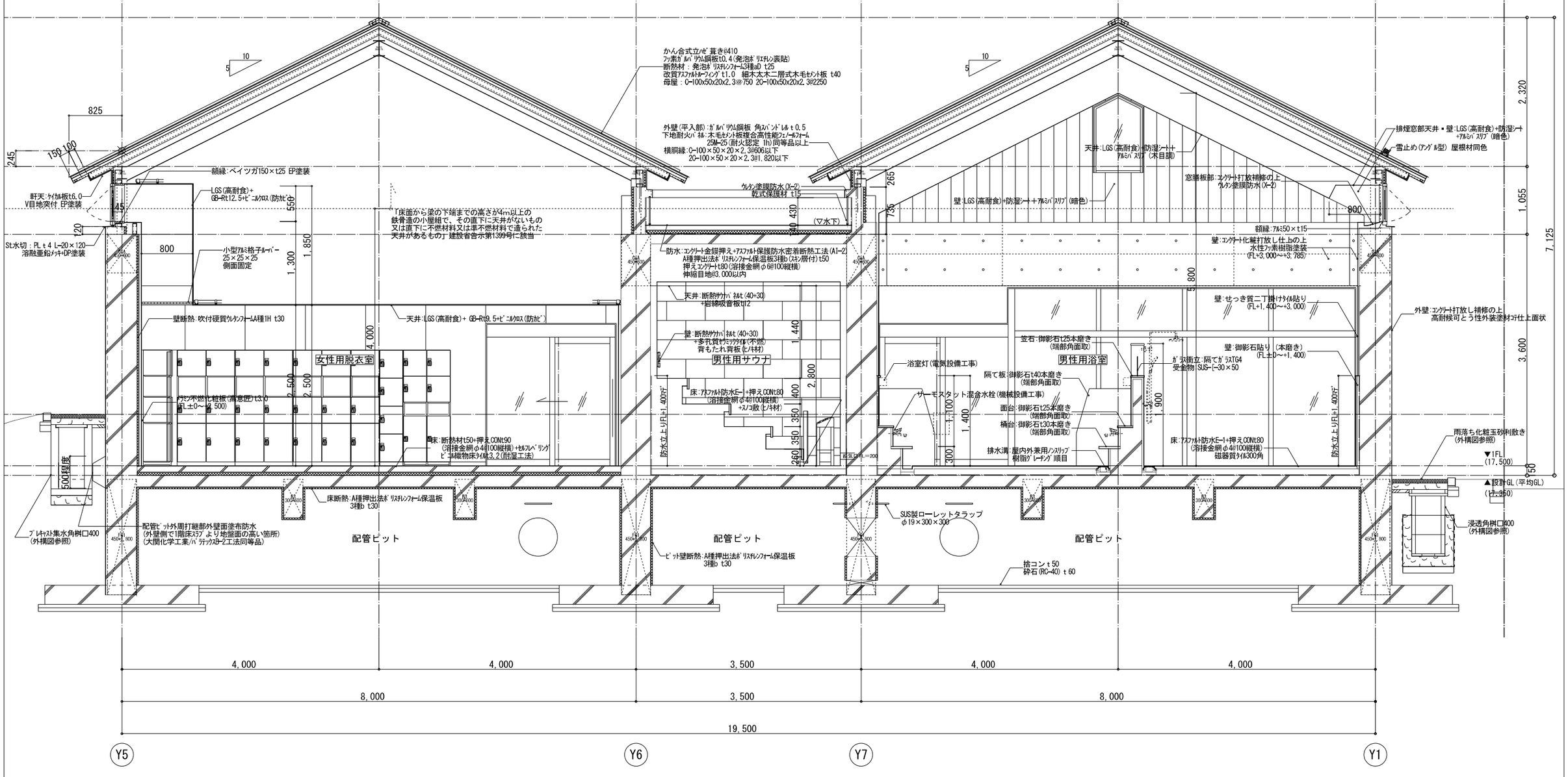


欄間 (FL+3, 800～4, 350)
平面図

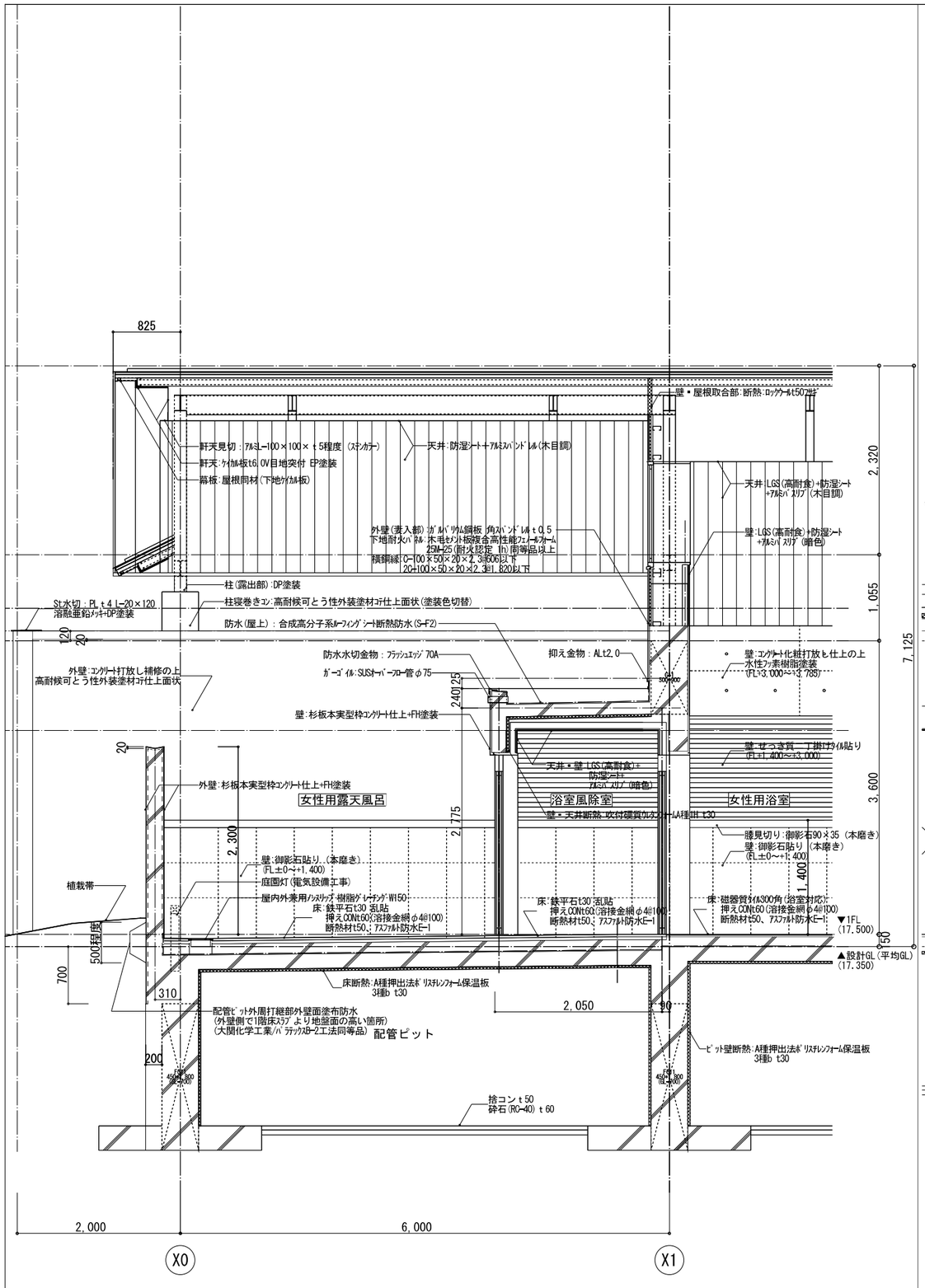


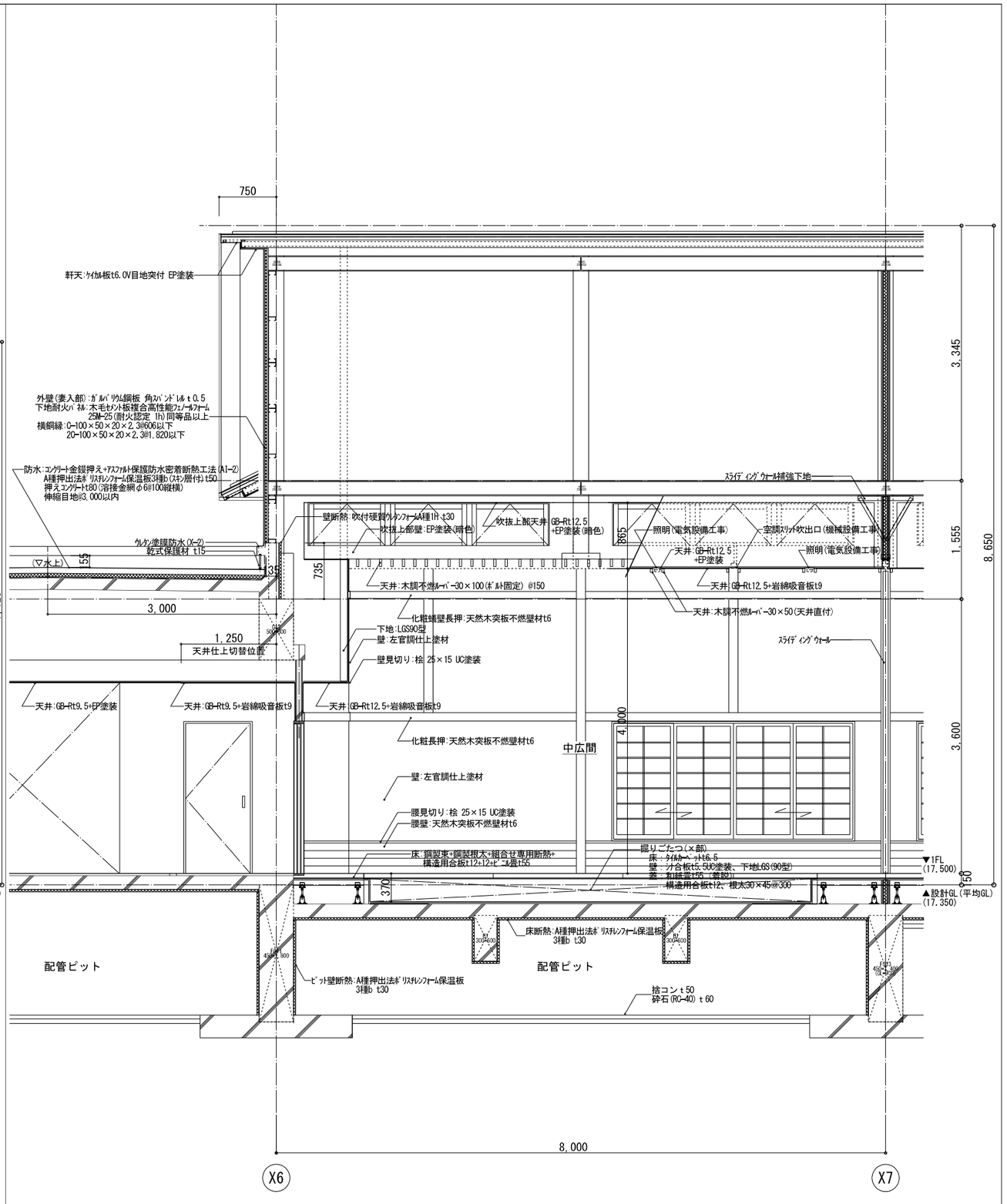
St水切設置範囲
平面図





***					
	工事名 (仮称) 地域交流温浴センター建設工事			令和6年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
	図面名 矩計図-1	縮尺	A1：1:30 A3：1:60		図面番号 A-11





工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和6年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	矩計図-2	縮尺	A1：1:30 A3：1:60		図面番号 A-12

かん合式立ﾊｾﾞ葺き@410
ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4(発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ裏貼)
断熱材：発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(3種d) t25
改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ t1.0　細木太木二層式木毛ｾﾒﾝﾄ板 t40
母屋：C-100x50x20x2.3@750 2C-100x50x20x2.3@2250

10
5

額縁：ベイツガ150×t25 EP塗装

吹抜上部天井:GB-Rt12.5
+EP塗装(暗色)

吹抜上部壁:EP塗装(暗色)

中央ルーバー上部天井:GB-Rt12.5+EP塗装(暗色)

天井:木調不燃ﾙｰﾊﾞｰ30×100(ﾎﾞﾙﾄ固定) @150

天井:木調不燃ﾙｰﾊﾞｰ30×100(ﾎﾞﾙﾄ固定) @150

化粧繰壁長押:天然木突板不燃壁材t6

ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ収納扉

下り天井

化粧長押:天然木突板不燃壁材t6

壁:左官調仕上塗材

腰壁:天然木突板不燃壁材t6

床:鋼製束、鋼製根太+組合せ専用断熱
構造用合板t12+12+和紙畳t55

床断熱:A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板
3種b t30

ﾋﾟｯﾄ壁断熱:A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板
3種b t30

中広間

2,500

屋根:高耐候性塩ﾋﾞ系ｼｰﾄ積層鋼板t1.9(ｼﾞｮｲﾝﾄ部完全熱融着)
落雪除:ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ(受金物FB-3.0×32)
竪樋:ﾌﾙｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚｽ竪樋φ60

防水:ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝押ｴｱﾌｧﾙﾄ保護防水密着断熱工法(A1-2)
A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b(ｽｷﾝ層付) t50
押えｺﾝｸﾘｰﾄt80(溶接金網φ6@100縦横)
伸縮目地@3,000以内

245

外壁(平入部):ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 角ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙt0.5
下地耐火ﾊﾟﾈﾙ:木毛ｾﾒﾝﾄ板複合高性能ﾌｪｰﾙﾌｫｰﾑ
25N-25(耐火認定 1h)同等品以上

横繰縁:C-100×50×20×2.3@606以下
2C-100×50×20×2.3@1,820以下

S□水切:PL t4 L-20×120
溶融亜鉛ﾒｯｷ+DP塗装

140

外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上
高耐候可とう性外装塗材E仕上面状

水切目地

中庭

防水ｱｽﾌｧﾙﾄのうえ
化粧玉砂利φ25程度H100

ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)

たて引きﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ

雨水管:VPφ100

配管ピット

配管ピット

配管ピット

ﾎﾞｲﾗｰ煙突(機械設備工事)

丁t600

屋上機械置場

設備基礎架台:H-150×150×7×10

ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)

ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)
乾式保護材 t15

雪止め(ｱﾝｸﾞﾙ型) 屋根材同色

「床面から梁の下端までの高さが4m以上の
鉄骨造の小屋組で、その直下に天井がないもの
又は直下に不燃材料又は準不燃材料で造られた
天井があるもの」建設省告示第1399号に該当

190

2,100
2,700
3,200
2,000

940

△小梁(H700)下端

△大梁(H900)下端

天井・壁:GW t50ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼(32kg/m3)
ﾋﾟﾝ固定/端部ﾌﾗｼ押え金物※NM-8606

機械室

2,700
4,040
4,000
3,345
1,555
8,650
3,600

機械基礎H150防塵塗装

床:薄膜ｴﾎﾟｷｼ系防塵塗床(防滑)

400
100
150

▼1FL
(17.500)

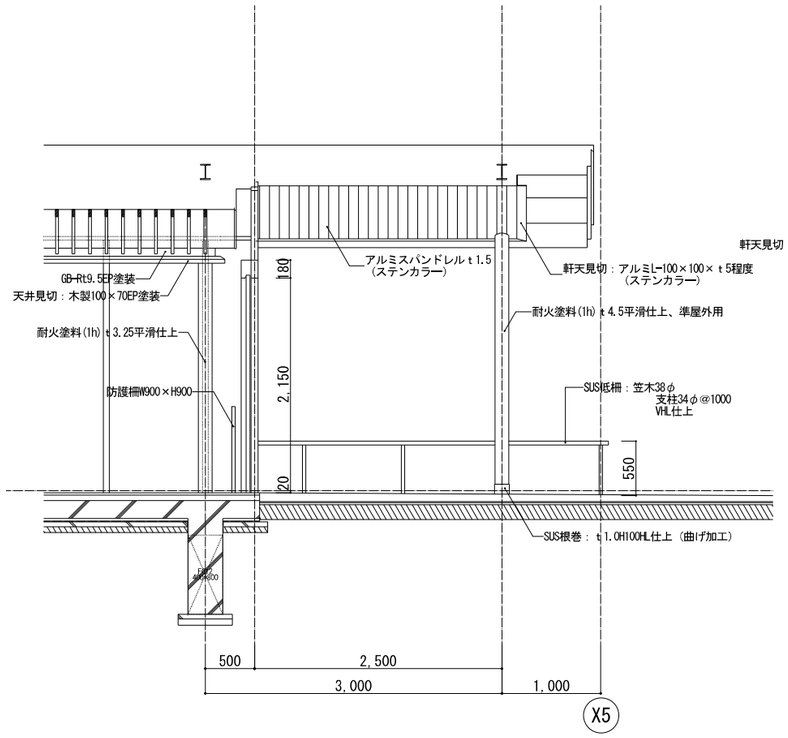
▲設計GL(平均GL)
(17.350)

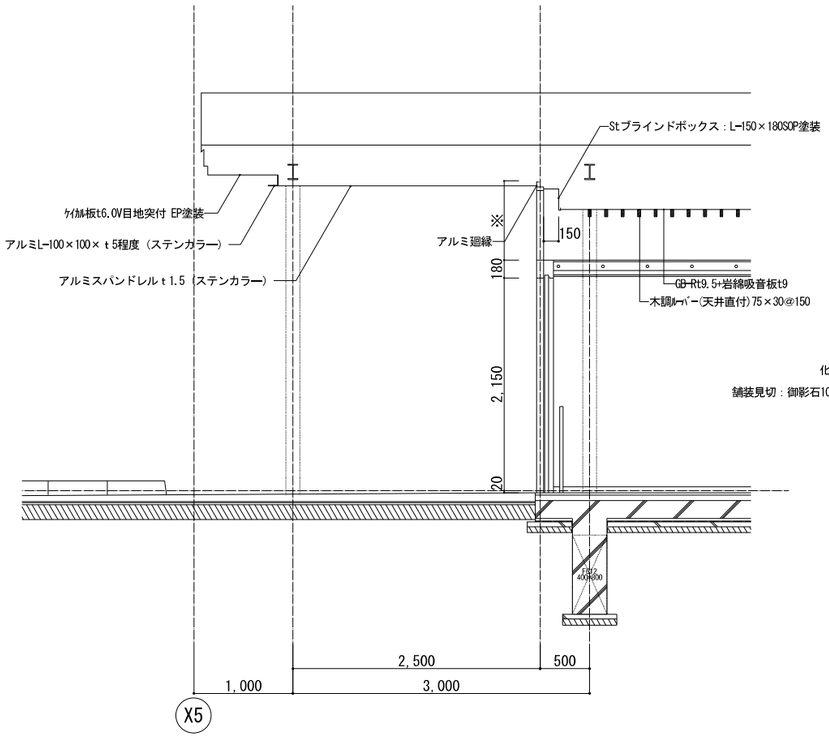
4,000
4,000
3,500
4,000
4,000

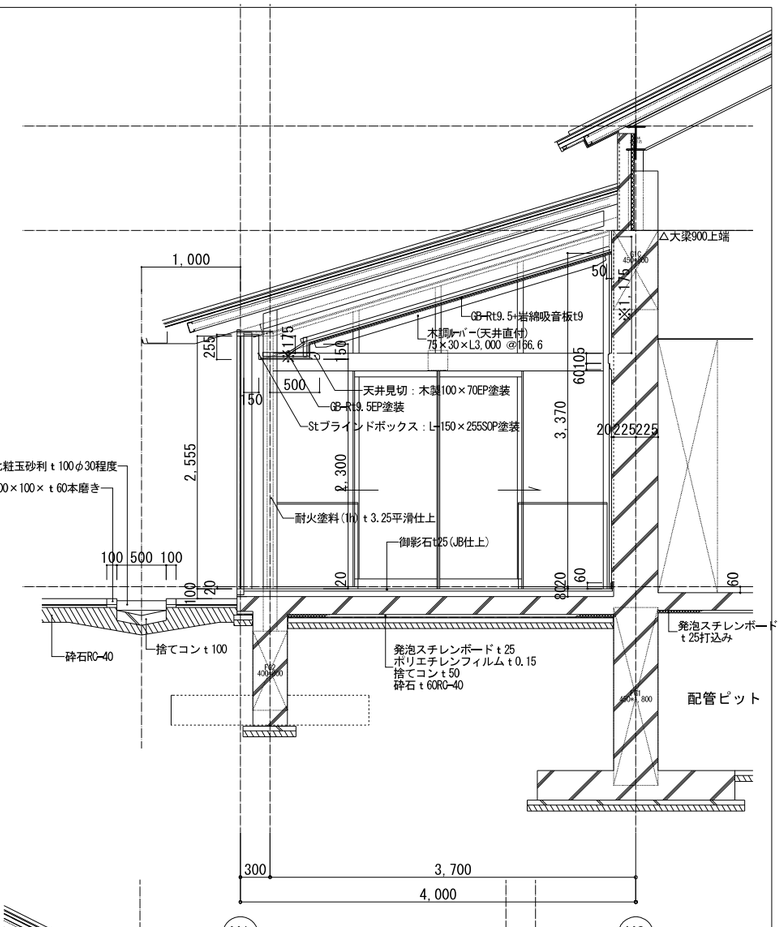
12,000
3,500
8,000

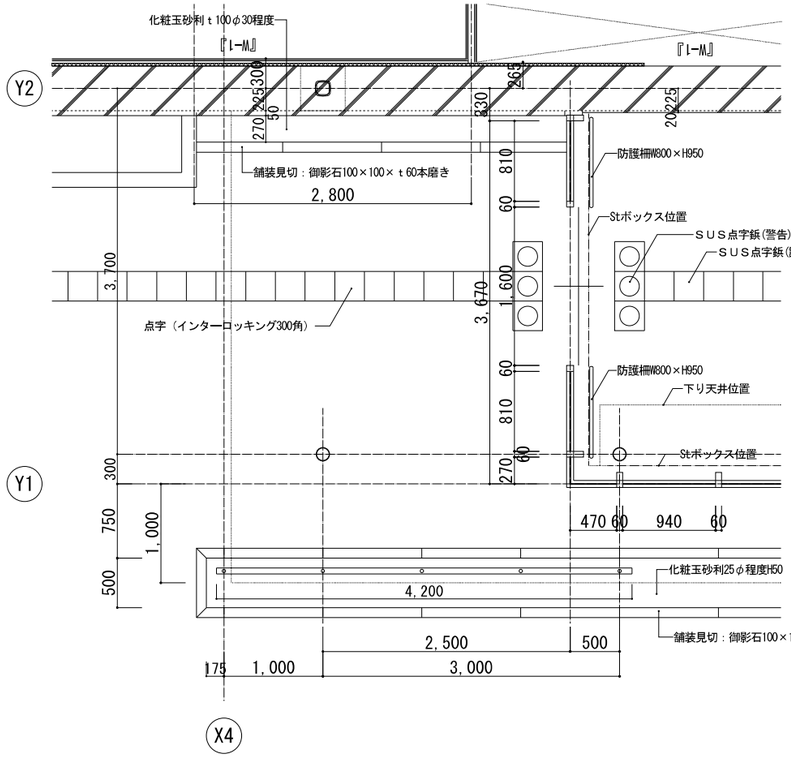
Y5
Y6
Y7
Y8

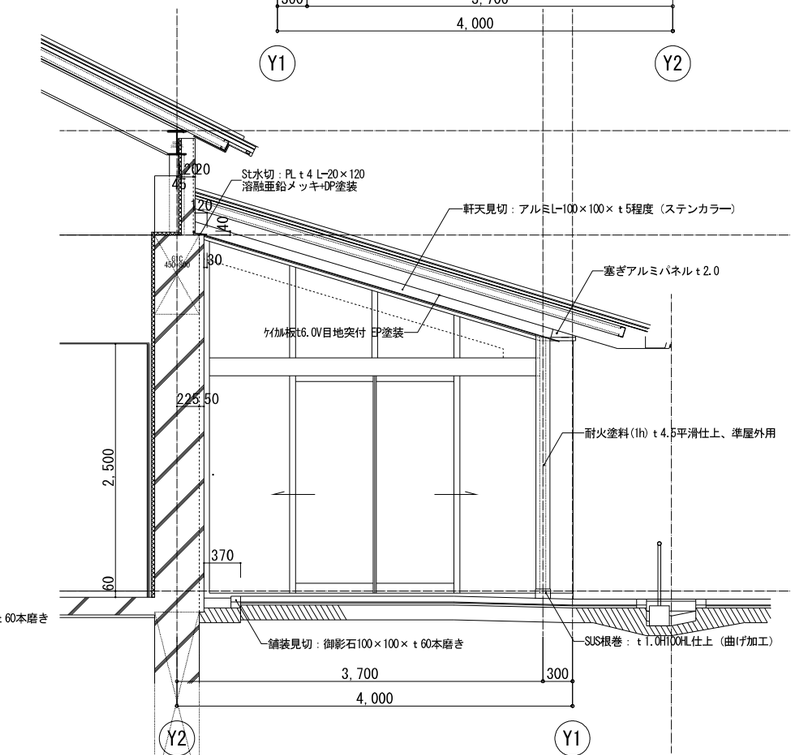
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和6年　月　日	業務番号 257031
図面名	矩計図-3	縮尺	A1：1:30 A3：1:60	計画　製作　調査　調査	図面番号 A-13



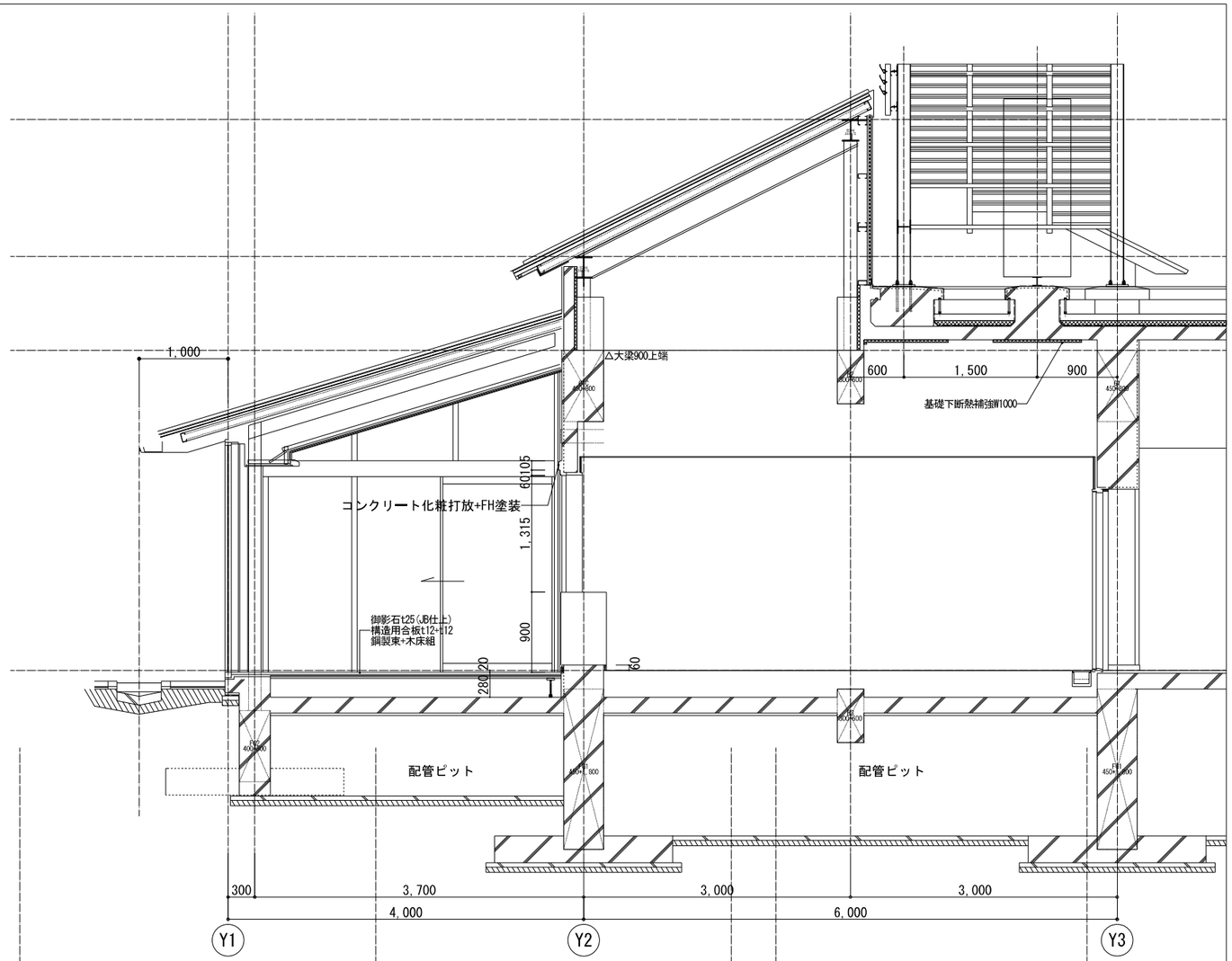


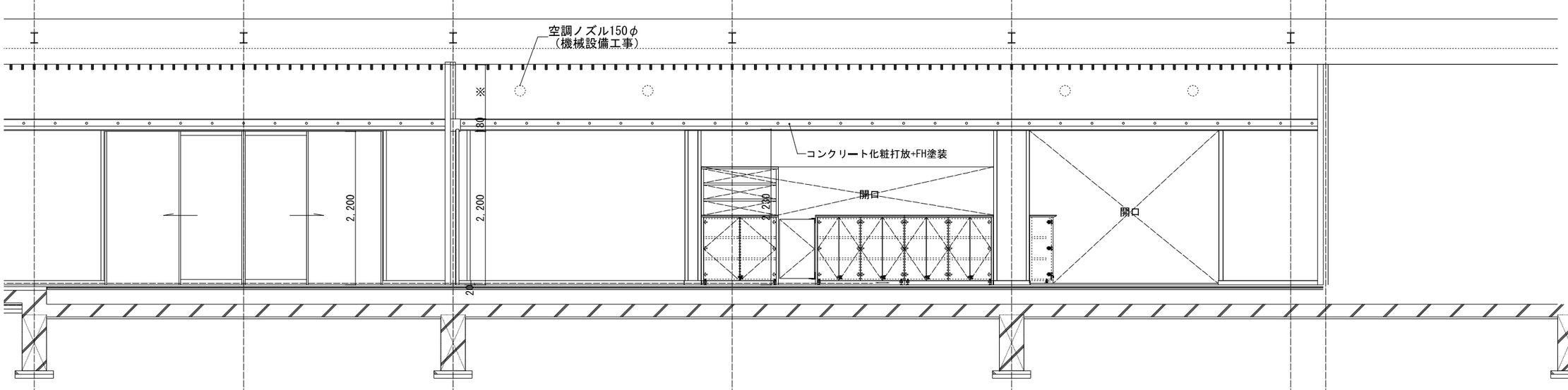




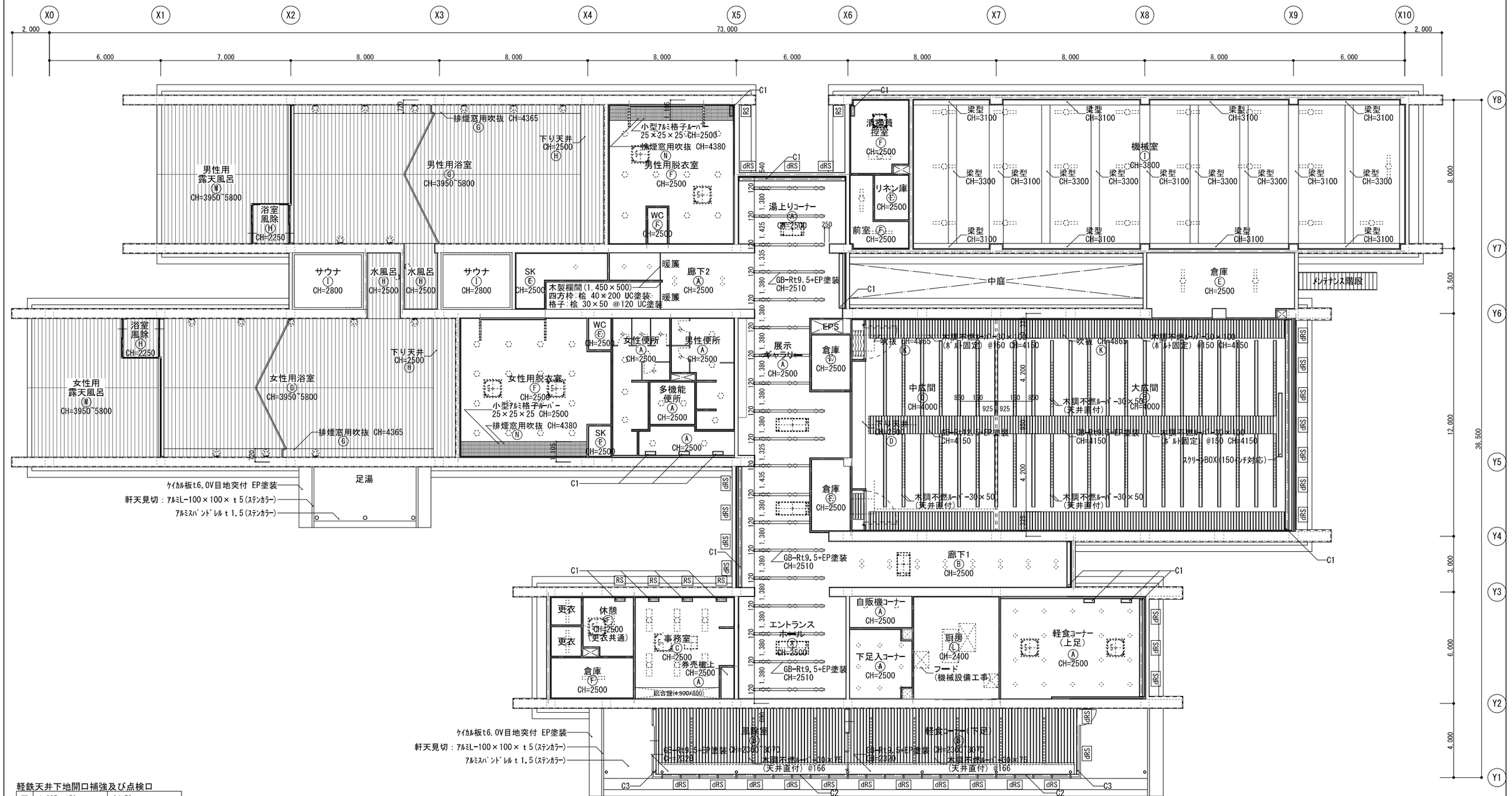


	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和６年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
	図面名 玄関廻り詳細図-1	縮尺	A1：1:30 A3：1:60		図面番号 A-14





工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和6年　月　日	業務番号 257031
図面名	玄関廻り詳細図-2	縮尺	A1：1:30 A3：1:60	計画　製作　調査　調査	図面番号 A-15



軽鉄天井下地開口補強及び点検口

電気	1,235×150	6か所		
	100×100	123か所		
機械	900×900	7か所	400×400	3か所
	1,030×640	5か所	600×600	1か所
	750×750	2か所	800×200	12か所
	700×650	2か所	800×550	2か所
	200×200	14か所	1,000×200	2か所
	250×250	2か所	1,200×200	10か所
	300×300	14か所	2,000×150	30か所
	350×350	3か所	1,000×500	1か所
天井点検口450角		46か所		

※原則、重ね張り部は目地型(白)ﾜｲﾔｰ付とし、1枚張り部はｽﾘﾑ額縁型(白)ﾜｲﾔｰ付とする。

天井仕上凡例

記号	天井仕上材	記号	天井仕上材	記号	天井仕上材	記号	天井仕上材	記号	天井仕上材
Ⓐ	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9	Ⓖ	防湿ｼｰﾄ+ｱﾙﾐﾊﾟｽﾘｯﾌﾟ(木目調)	Ⓜ	防湿ｼｰﾄ+ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(木目調)	Ⓢ		Ⓨ	
Ⓑ	GB-Rt9.5+岩綿吸音板t9 一部(図示):木調ﾙｰﾊﾞｰ(天井直付)	Ⓗ	防湿ｼｰﾄ+ｱﾙﾐﾊﾟｽﾘｯﾌﾟ(暗色)	Ⓝ	GB-Rt12.5+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防ｶﾋﾞ)	Ⓣ		Ⓩ	
Ⓒ	GB-Rt12.5+岩綿吸音板t9	Ⓘ	保温層+ｹｲｶﾙ板t6 +岩綿吸音板t12(軒天用)	Ⓞ		Ⓤ			
Ⓓ	GB-Rt12.5+岩綿吸音板t9 一部(図示):木調ﾙｰﾊﾞｰ(天井直付)	Ⓙ	GW150カ ﾗｽｸﾛｽ貼(32kg/m3) ﾋﾟﾝ固定/端部ｱﾙﾐ押え金物 ※NW-8606	Ⓟ		Ⓥ			
Ⓔ	GB-Dt9.5	Ⓚ	GB-Rt12.5+EP塗装	Ⓠ		Ⓦ			
Ⓕ	GB-Rt9.5+EP塗装	Ⓛ	ｹｲｶﾙ板t6 V目地突付+塗装仕上	Ⓡ		Ⓧ			

カーテンボックス等凡例

記号	内容
C1	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:桧集成材 L-210×90×t25 UC塗装 ｶｰﾃﾝｼｰﾙ:天井付け 静音型 ×2連
C2	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ:St L-150×255 SOP塗装
C3	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ:St L-150×180 SOP塗装
dRS	調光ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ(ﾁｪｰﾝﾀｲﾌﾟ)
RS	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ(ﾁｪｰﾝﾀｲﾌﾟ)

N

***

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日	業務番号 257031
図面名	天井伏図	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面番号 A-16
		計画 製作 調査 調査	

展開方向

舗装見切：御影石100×100×ｔ60本磨き（外構図参照）

SUS低柵：笠木38φ 支柱34φ@1000 VHL仕上

舗装見切（御影石100×100×ｔ60本磨き（外構図参照）

化粧玉砂利25φ程度H50（外構図参照）

化粧玉砂利25φ程度H50（外構図参照）

防護柵W800×H950

傘立て（備品）

天井見切位置

上部Stブラインドボックス：L-150×180SOP塗装

床下点検口600角（防水・防臭）

風除室 -20

倉庫1 ±0

更衣室2 ±0

更衣室1 ±0

床下点検口600角（防水・防臭）

休憩室 床仕上げ色切替 ±0

四額縁：桧集成材25×275EP-G塗装

四額縁：桧集成材25×275EP-G塗装

事務室 ±0

三額縁：桧集成材25×290UC塗装

受付ｶｳﾝﾀｰ

券売機（備品）

三方枠：桧集成材25×200UC塗装

防護柵W1,000×H950 -20

床見切り：御影石120×20本磨き

エントランスホール ±0

床：御影石t25（JB仕上）

木製手摺：φ35L600UC塗装

下足コーナー ±0

自販機コーナー ±0

下足棚

軽食コーナー（下足） -20

厨房 ±0

廊下1 ±0

中広間 ±0

壁掛掲示板W3,600×H1,200（表面材：ﾋﾞﾆｰﾙﾚｻﾞｰ、四方枠：ｱﾙﾐ集成材）

床下点検口600角（防水・防臭）

倉庫3 ±0

倉庫2 ±0

EPS

床見切り

機械警備入退出カードリーダー（別途工事）

郵便ポスト（前入前出）

上部アルミ既成庇W1100×D750

ﾐﾆｷｯﾁﾝ

（扉上部）蓄光避難口誘導標識

ベンチ（備品）

ベンチ（備品）

三額縁：桧集成材25×150UC塗装

ハ゛ｳﾀﾞｰｺｰﾅｰ

女性脱衣室 ±0

SK ±0

WC（脱衣室） ±0

女子便所 ±0

多機能WC ±0

男子便所 ±0

廊下2 ±0

展示ｹｰｽ

展示ｷﾞｬﾗﾘｰ・ﾎｰﾙ ±0

SK ±0

掛湯

洗い場

シャワー

WC（脱衣室） ±0

男性脱衣室 ±0

PS

ベンチ（備品）

湯上りｺｰﾅｰ ±0

三額縁：桧集成材25×245UC塗装

ベンチ（備品）

三額縁：桧集成材25×150UC塗装

前室 ±0

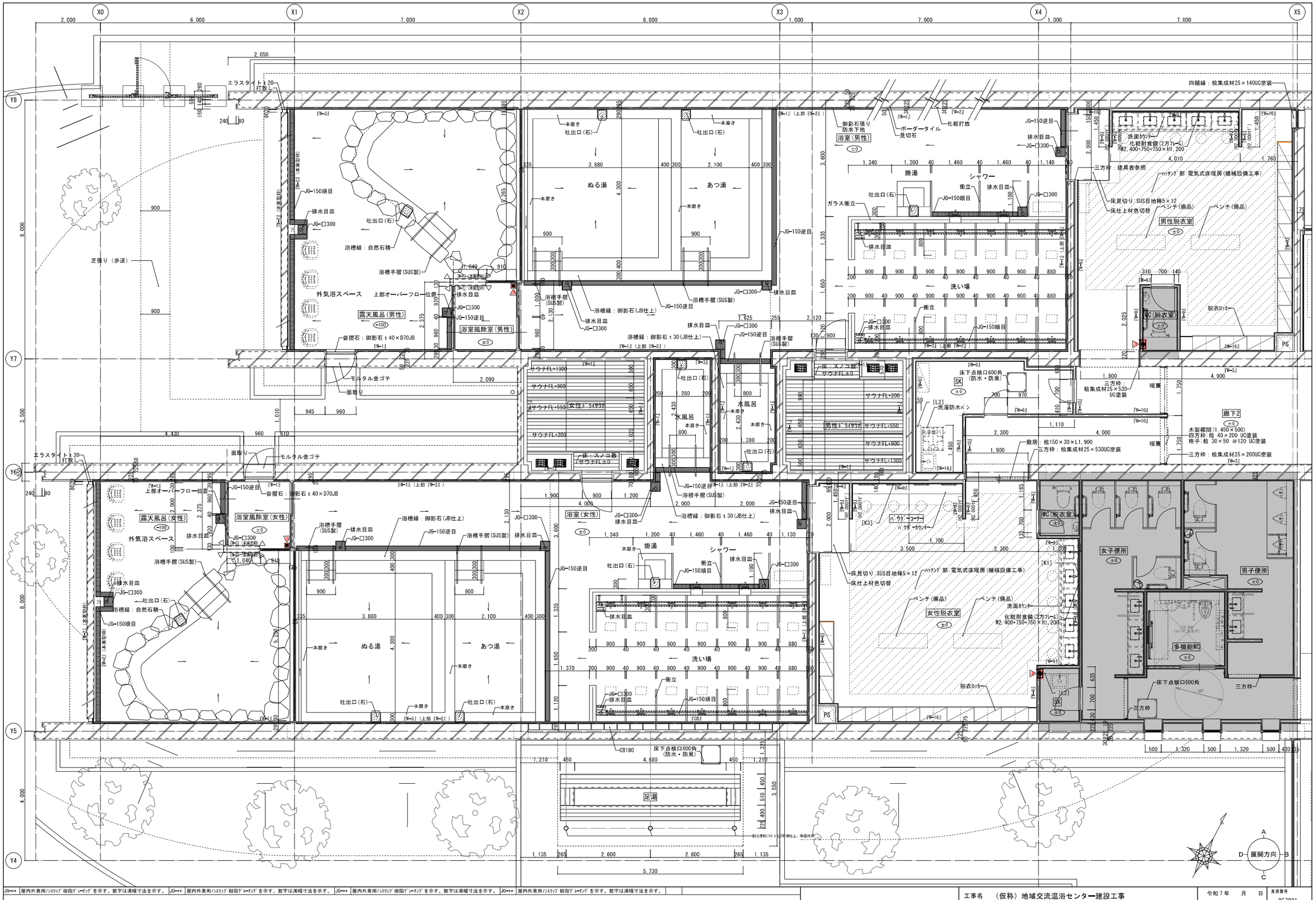
四額縁：桧集成材25×205EP-G塗装

ﾘﾈﾝ室 ±0

清掃員控室 ±0

凡例
△ 出隅面取：△15×15
面取：△15×15
木製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
別図参照範囲

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和７年　月　日	業務番号 257031
図面名	平面詳細図-1（共用、管理部門）	縮尺 A1 1：50 A3 1：100	計画　製作　調査　調査	図面番号 A-17



JG-** 屋内外兼用ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ樹脂ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞを示す。数字は溝幅寸法を示す。

JG-** 屋内外兼用ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ樹脂ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞを示す。数字は溝幅寸法を示す。

JG-** 屋内外兼用ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ樹脂ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞを示す。数字は溝幅寸法を示す。

JG-** 屋内外兼用ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ樹脂ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞを示す。数字は溝幅寸法を示す。

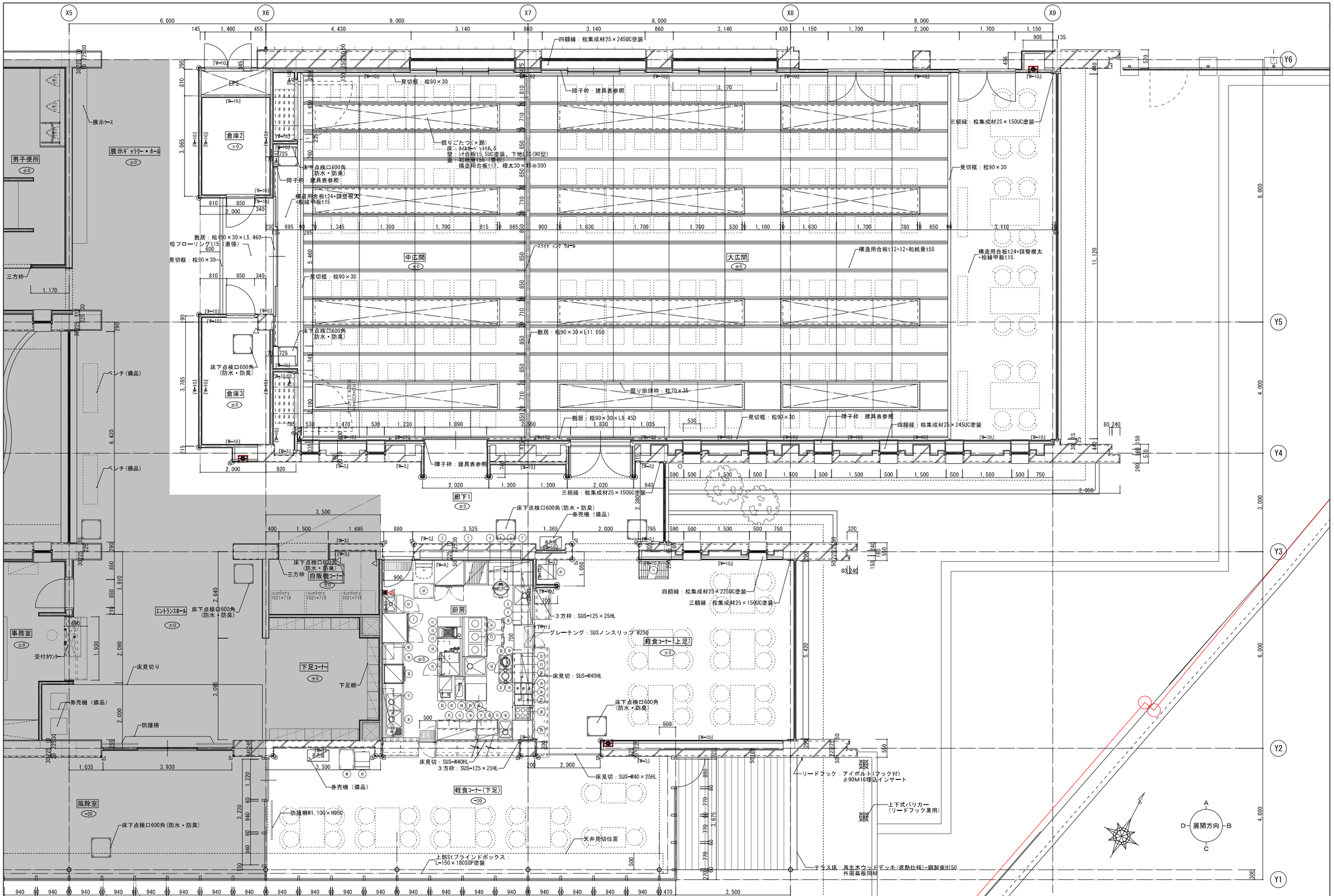
別図参照範囲

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		
図面名	平面詳細図-2（温浴部門）	縮尺	A1 1：50 A3 1：100

令和７年　月　日
計画　製作　調査　諜査

業務番号 257031

図面番号 A-18



凡例
- △ 出隅面取：△15×15
- 面取：△15×15
- 木製コーナーﾋﾞｰﾄﾞ
- 別図参照範囲

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		
図面名	平面詳細図−3 （休憩、飲食・娯楽部門）	縮尺	A1 1：50 A3 1：100

令和7年　月　日
計画　製作　調査　調査

業務番号 257031

図面番号 A−19

X7 X8 X9 X10

4,600 8,000 8,000 6,000 2,000

3,000 2,000 3,000 3,000 2,000 3,000

1,280 520 520 1,280 1,280 520 520 1,280

清掃員控室 ±0

リネン室 ±0

ミニキッチン

目地切り

機械基礎H150防塵塗装

床下点検口600角（防水・防臭）

段鼻：SUSノンスリップ（ゴムタイヤ入り）W=40

手摺（H750）：Stメッキ素地 笠木：34φ 支柱：34φ

面取り

制御盤（機械設備工事）

動力盤（電気設備工事）

機械室 -400

機械基礎H500防塵塗装

開放型貯湯槽

熱交換器

目地切り 960

額縁：建具表参照

倉庫4 ±0

床下点検口600角（防水・防臭）

中広間 ±0

大広間 ±0

握りごたつ
床：ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt6.5
壁：ｿﾌｧ板t5.5ｳﾚﾀﾝ塗装、下地LGS(90型)
蓋：和紙畳t55（着脱）
構造用合板t12、根太30×45@300

スライディングウォール

構造用合板t12+12+和紙畳t55

構造用合板t24+調整根太+桧縁甲板t15

濡桝口300(H350) 防水モルタル塗

機械基礎H150防塵塗装

鉄骨階段

コンクリート金ゴテ素地

落蓋式U字側溝W250 細目ノンスリップグレーチング（軽荷重用）

機械基礎H500コンクリート金ゴテ

横型バリカー SUS HL φ60.5 H800 (脱着式)+スリーブパイル×2本

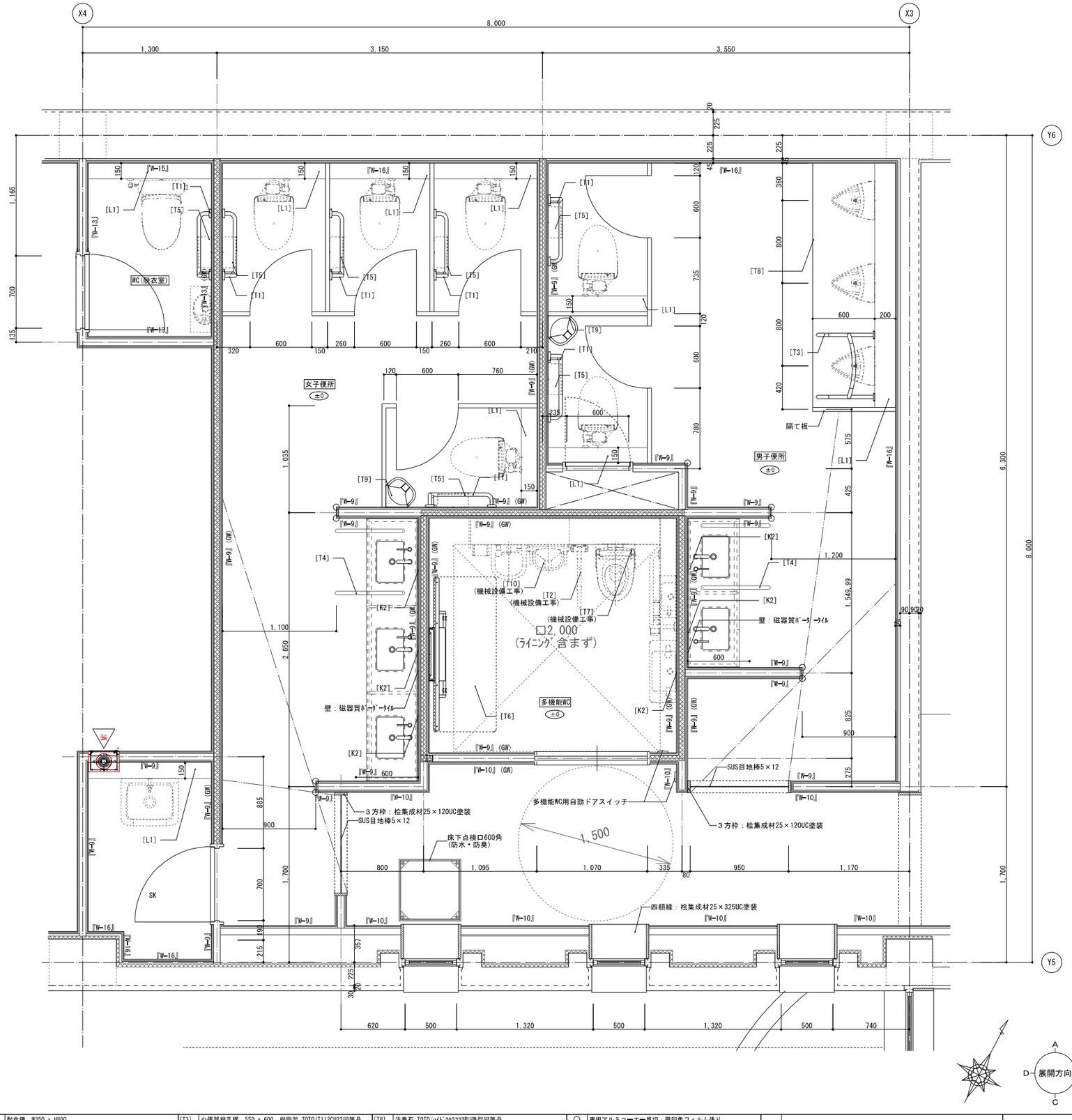
機械基礎H150コンクリート金ゴテ 【機械基礎共通】 Fc24 S18 D-13@200(ダブル) 捨てコンt50 砕石t120

Y7 Y6

展開方向 A B C D

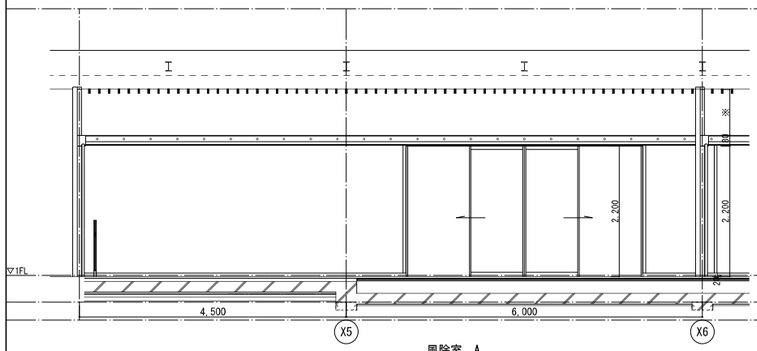
凡例
△ 出隅面取：△15×15
面取：△15×15
別図参照範囲

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	平面詳細図-4（機械室部門）	縮尺 A1 1：50 A3 1：100		図面番号 A-20

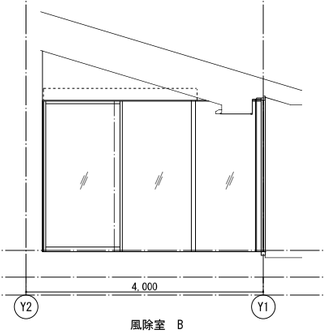


[K1]	耐食鏡 W350 x H800	[T3]	小便器用手摺 550 x 600 樹脂製 TOTO/T112CU22同等品	[T8]	汚垂石 TOTO/ﾊｲﾄﾞﾛｸﾘｱﾌﾛｱPU薄型同等品	○	専用アルミコーナー見切：壁同色フィルム張り				
[K2]	鏡 W350 x H800	[T4]	洗面器用手摺 L650 樹脂製 TOTO/T112CP31同等品	[T9]	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾁｪｱ TOTO/YKA15S同等品						
[K3]	LED照明付鏡 W450 x H1,000	[T5]	紙巻器(※機械設備工事) TOTO/YH702同等品	[T10]	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾁｪｱ TOTO/YKA16S同等品						
[T1]	L型手摺 L600 樹脂製 TOTO/T112CL9-1同等品	[T6]	収納式多目的ｼｰﾄ TOTO/EWCS20AR5同等品	[L1]	ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板 ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾗｰﾑ t20						
[T2]	跳ね上げ手摺 L700 樹脂製 TOTO/T112HK7R同等品	[T7]	背もたれ TOTO/EWC383CR同等品	[L2]	ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板 人工大理石 t12						

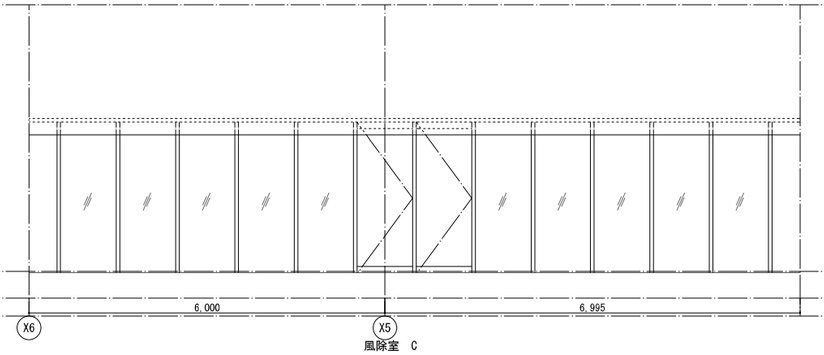
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和７年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	平面詳細図-5（便所部門）	縮尺 A1 1:20 A3 1:40	図面番号 A-21



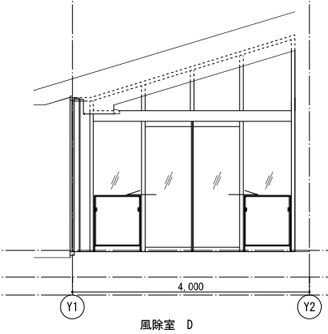
風除室　A



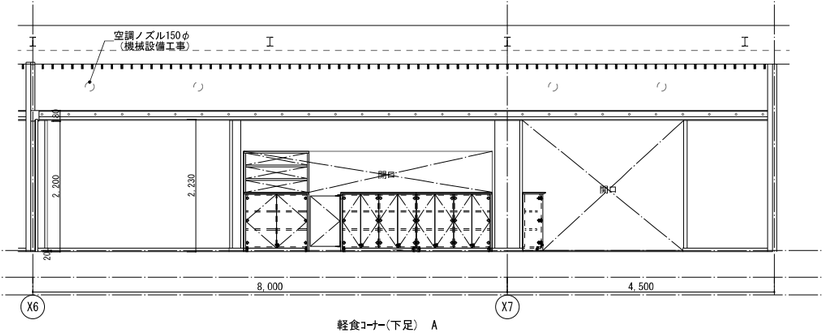
風除室　B



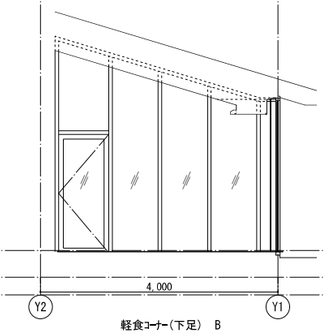
風除室　C



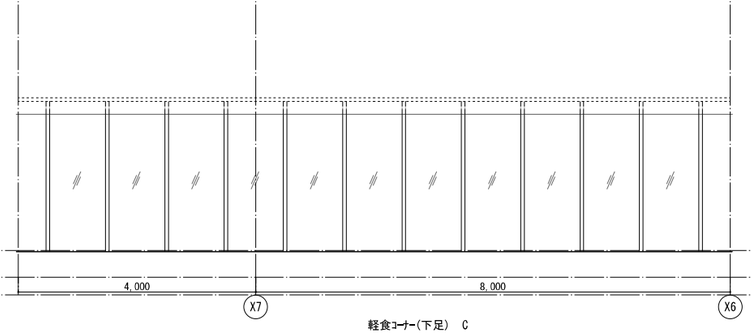
風除室　D



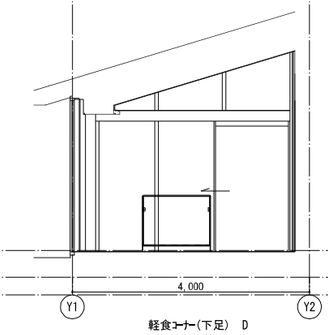
軽食ｺｰﾅｰ(下足)　A



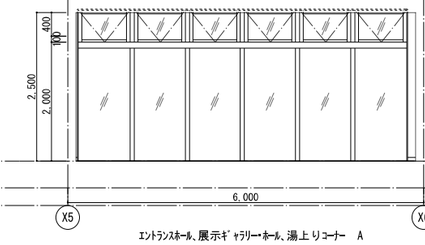
軽食ｺｰﾅｰ(下足)　B



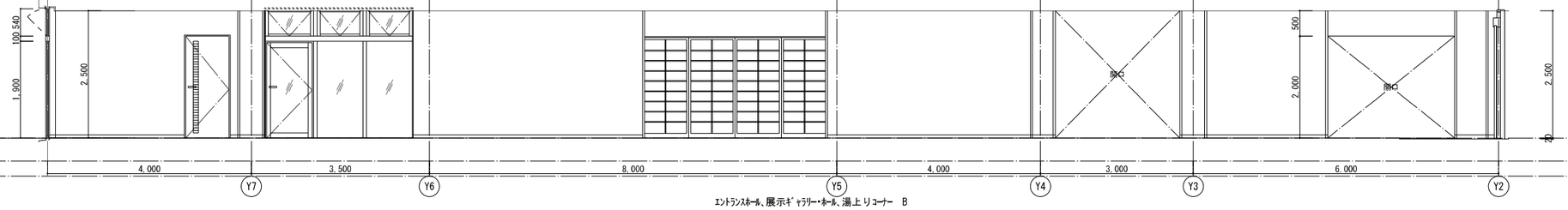
軽食ｺｰﾅｰ(下足)　C



軽食ｺｰﾅｰ(下足)　D

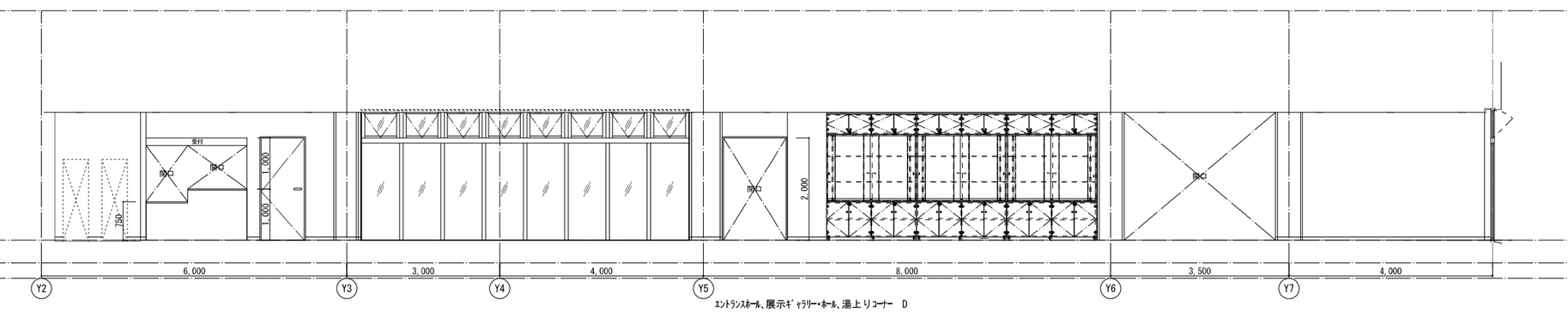


ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ、展示ｷﾞｬﾗﾘｰ・ﾎｰﾙ、湯上りｺｰﾅｰ　A



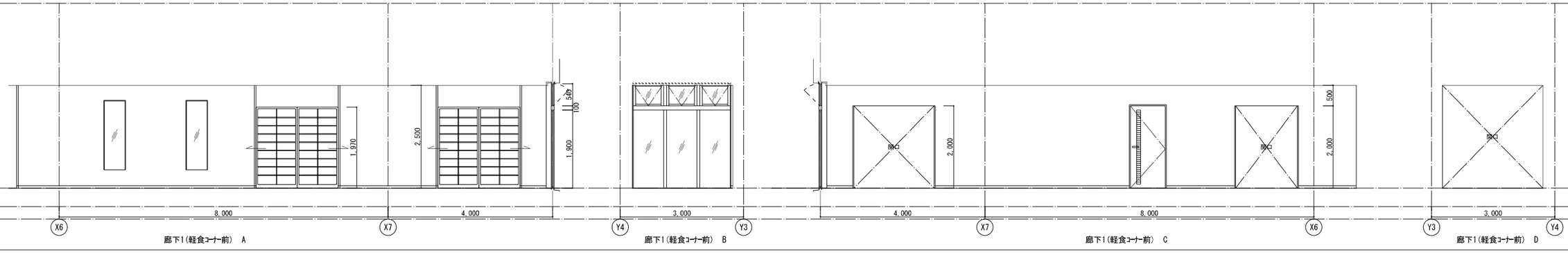
ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ、展示ｷﾞｬﾗﾘｰ・ﾎｰﾙ、湯上りｺｰﾅｰ　B

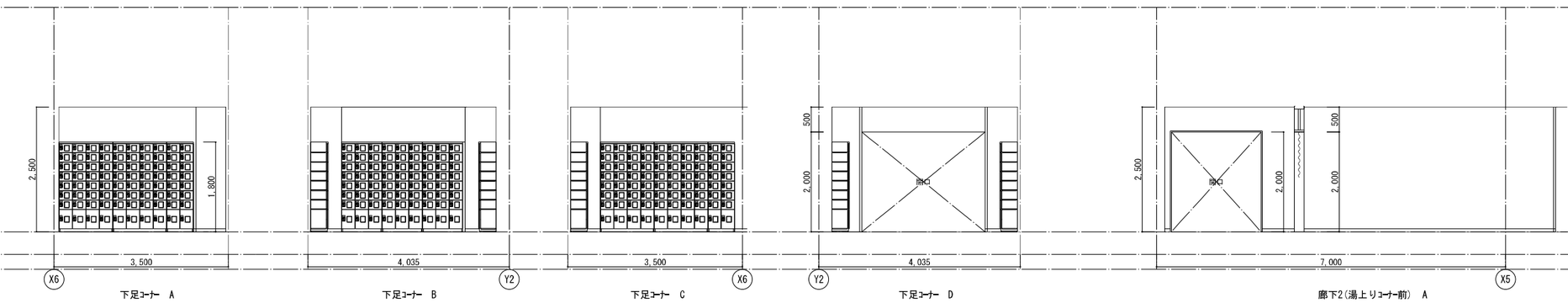
ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ、展示ｷﾞｬﾗﾘｰ・ﾎｰﾙ、湯上りｺｰﾅｰ　C

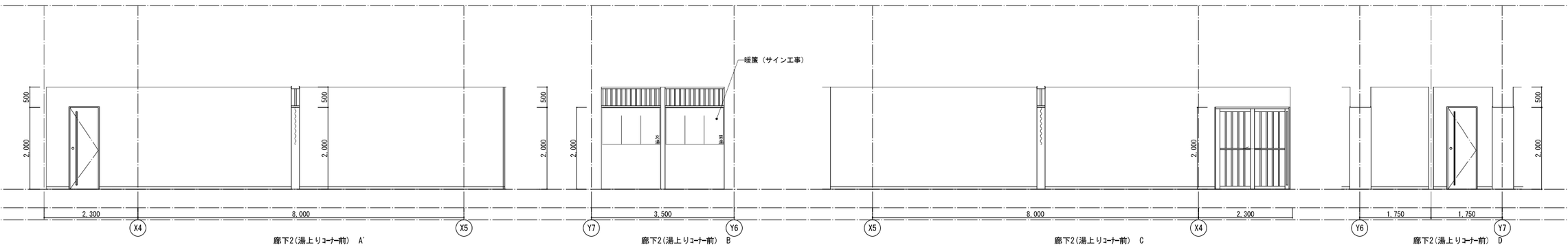


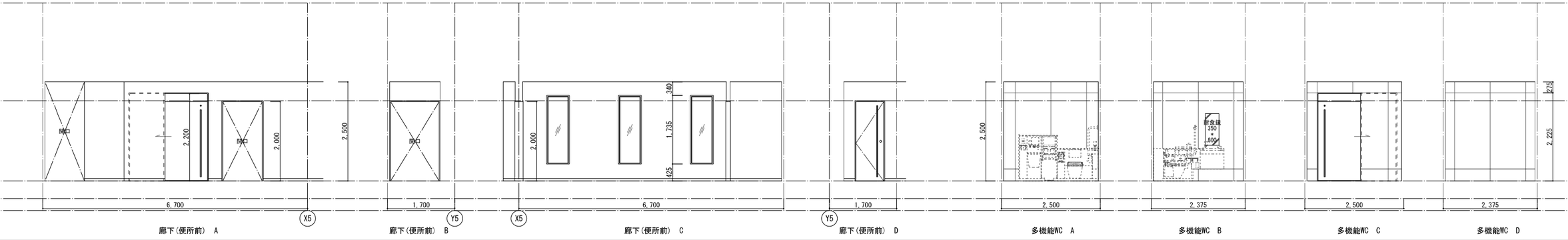
ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ、展示ｷﾞｬﾗﾘｰ・ﾎｰﾙ、湯上りｺｰﾅｰ　D

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	展開図-1(共用部門)	縮尺	A1 1:50 A3 1:100		図面番号 A-22

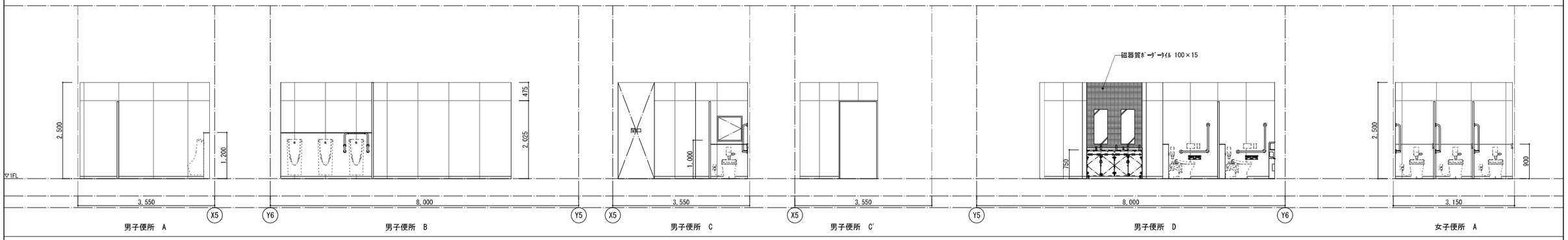




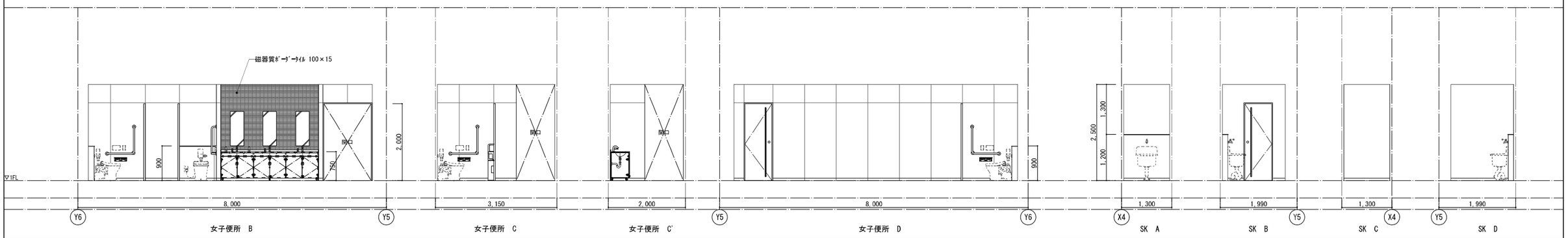




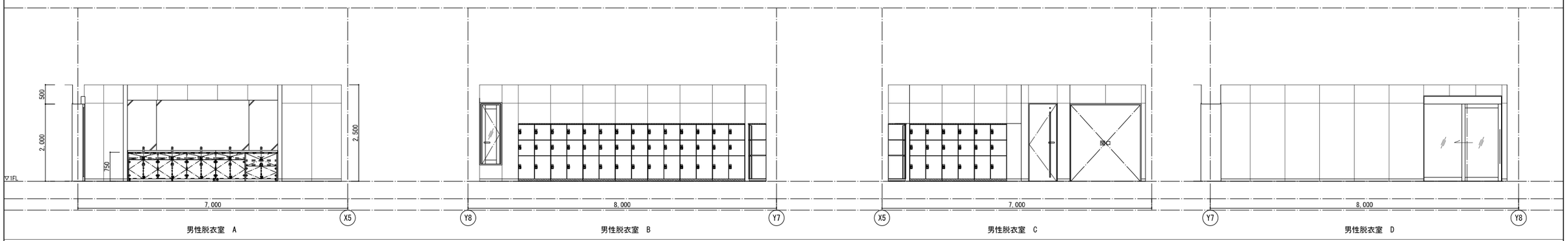
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	展開図-2(共用部門)	縮尺	A1 1:50 A3 1:100		図面番号 A-23



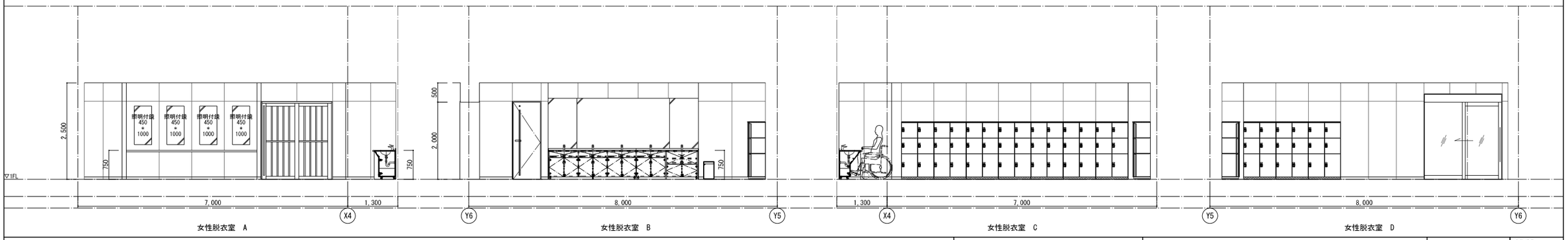
男子便所 A　男子便所 B　男子便所 C　男子便所 C'　男子便所 D　女子便所 A



女子便所 B　女子便所 C　女子便所 C'　女子便所 D　SK A　SK B　SK C　SK D

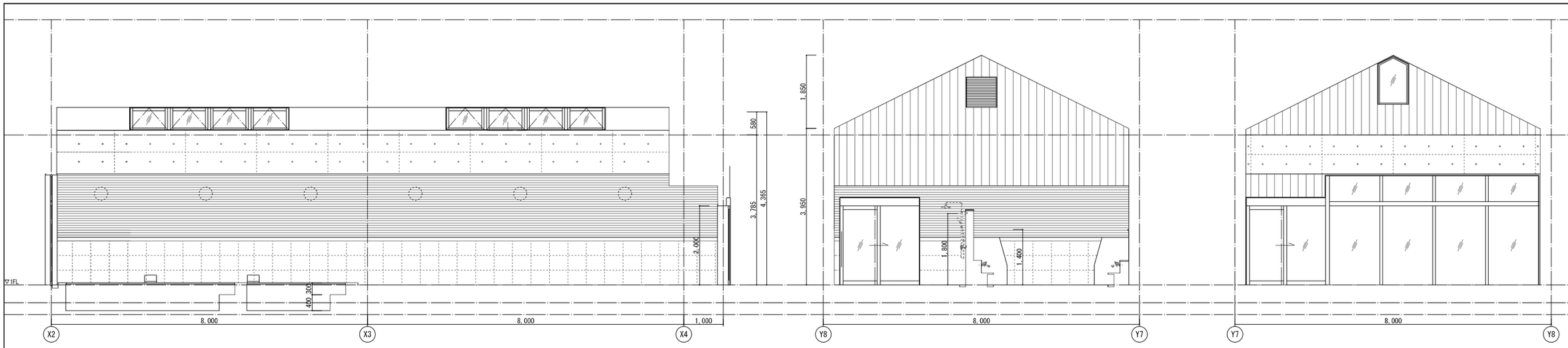


男性脱衣室 A　男性脱衣室 B　男性脱衣室 C　男性脱衣室 D



女性脱衣室 A　女性脱衣室 B　女性脱衣室 C　女性脱衣室 D

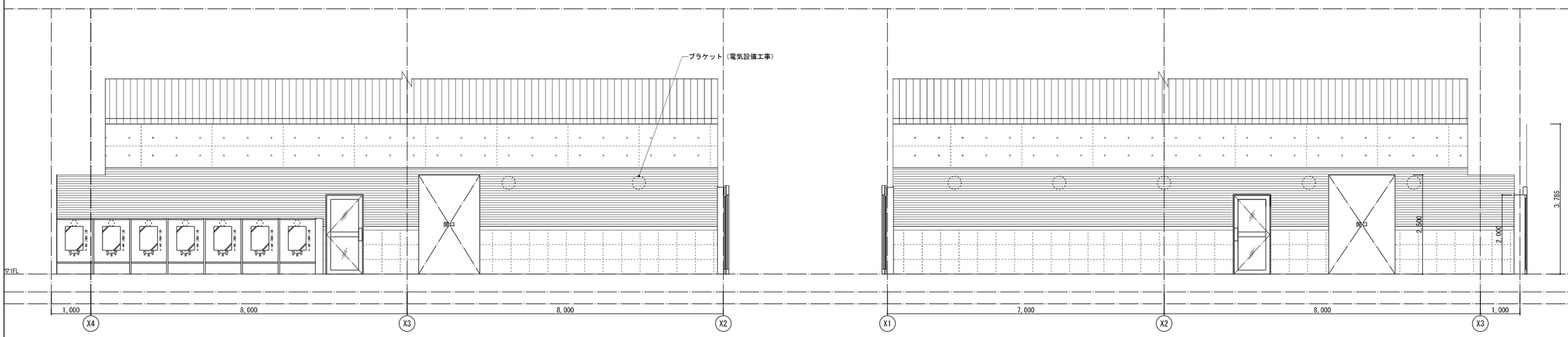
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	展開図-3（共用部門、温浴部門）	縮尺	A1 1：50 A3 1:100		図面番号 A-24



浴室(男性) A

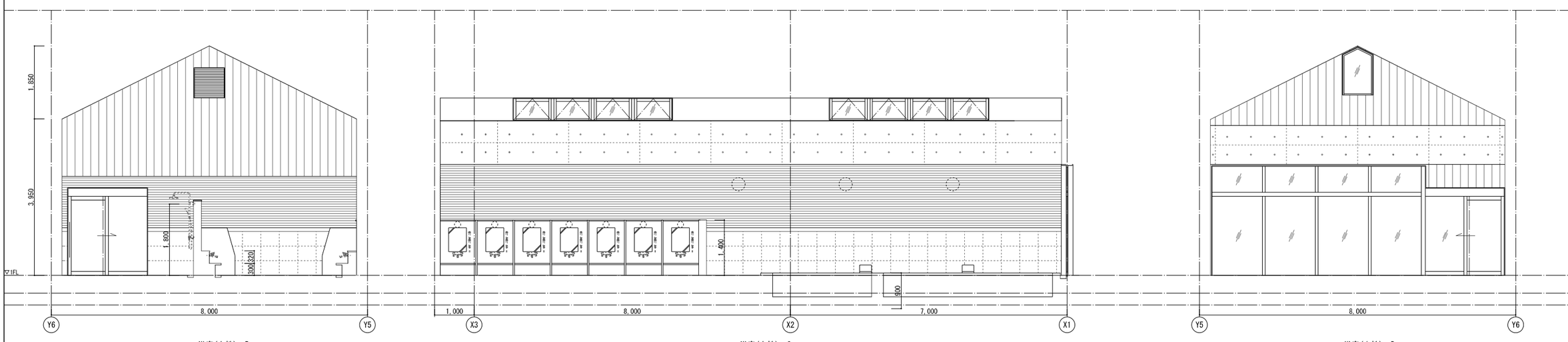
浴室(男性) B

浴室(男性) D



浴室(男性) C

浴室(女性) A

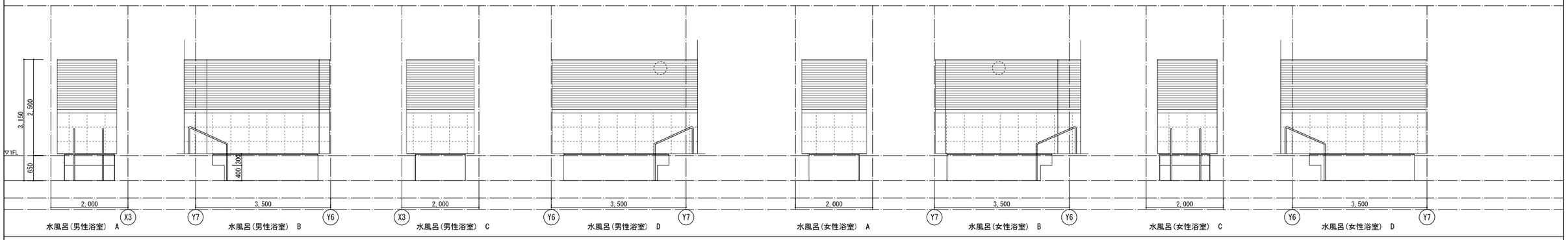


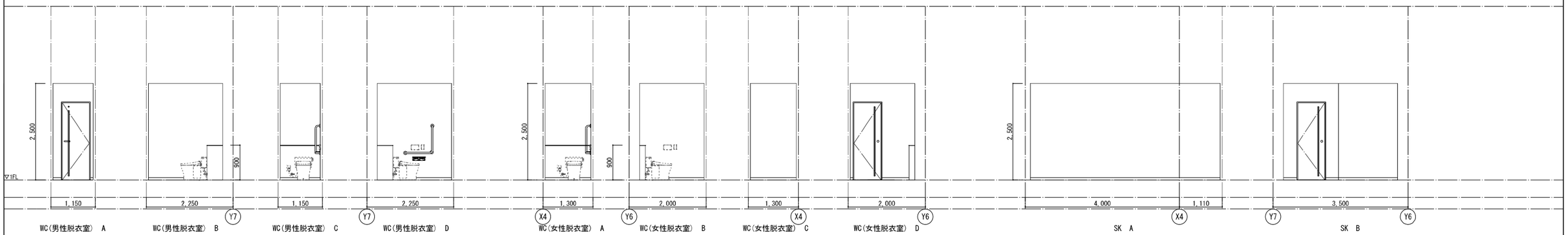
浴室(女性) B

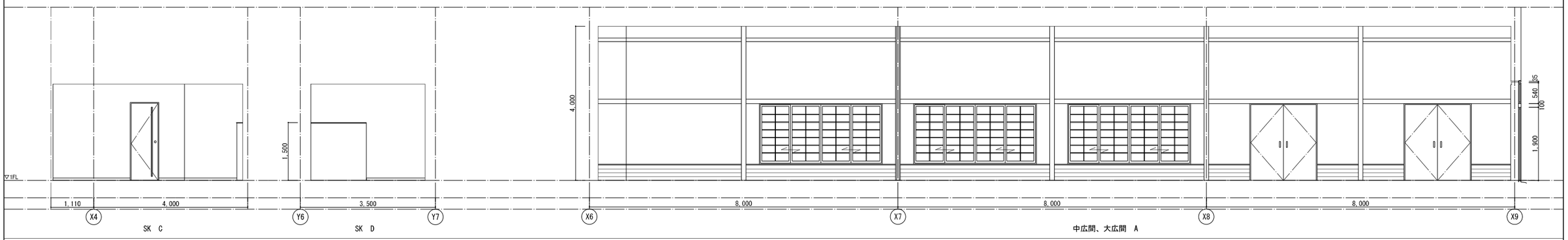
浴室(女性) C

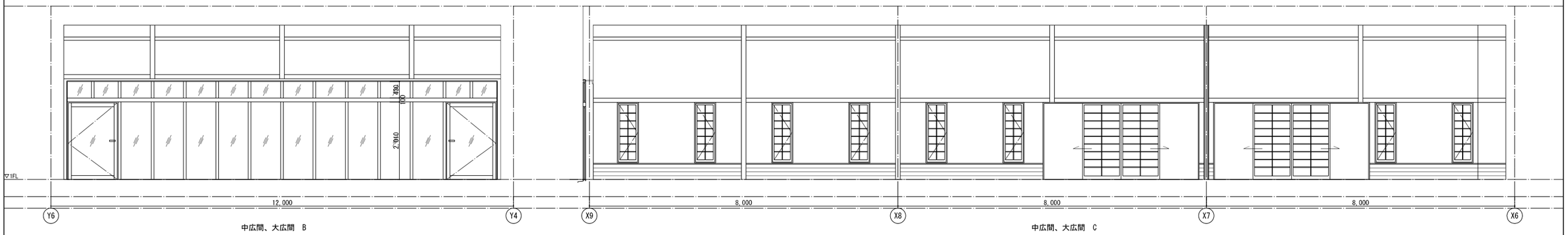
浴室(女性) D

工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日	業務番号	257031
図面名 展開図-4(温浴部門)	縮尺	A1 1:50 A3 1:100	計画 製作 調査 調査	図面番号	A-25

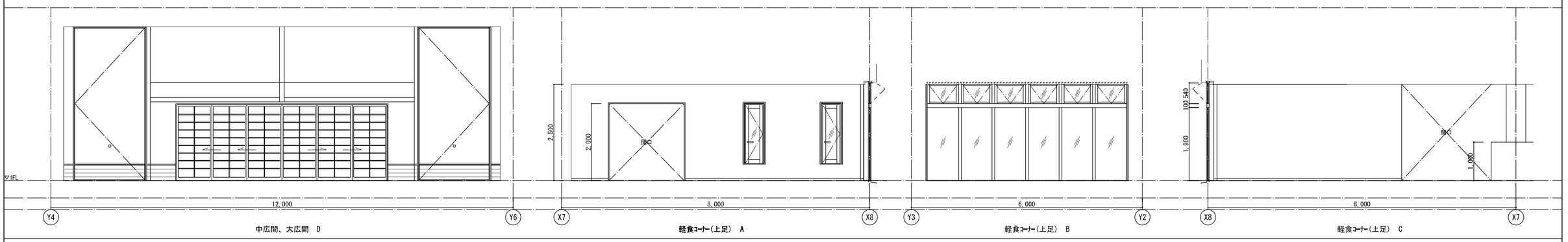


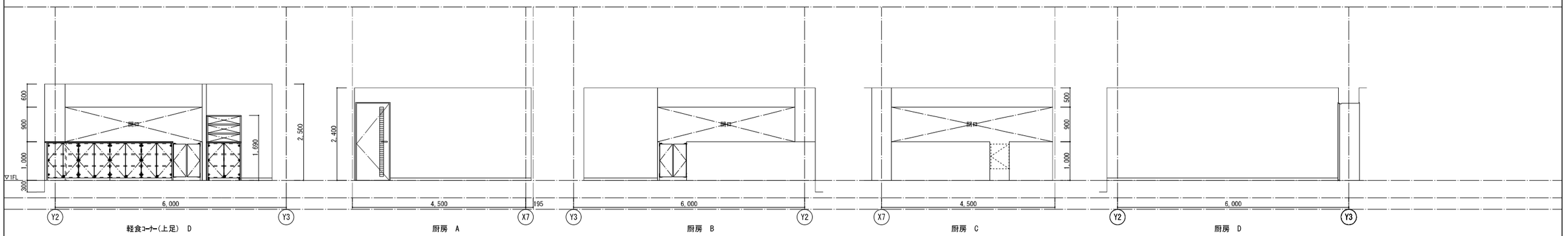


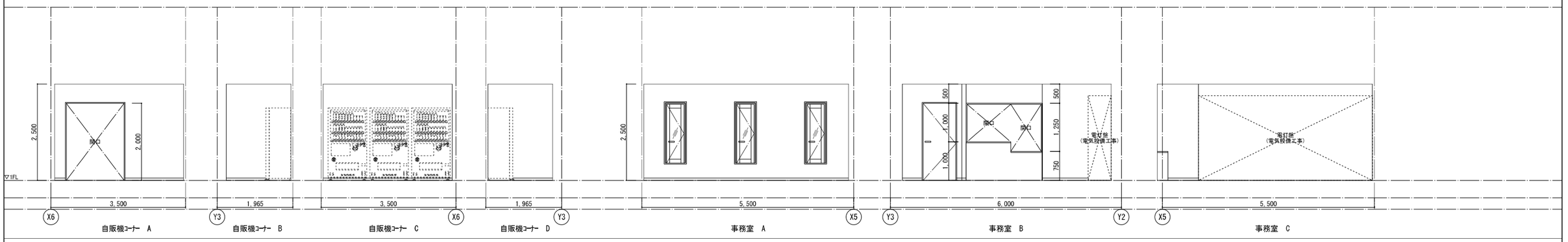


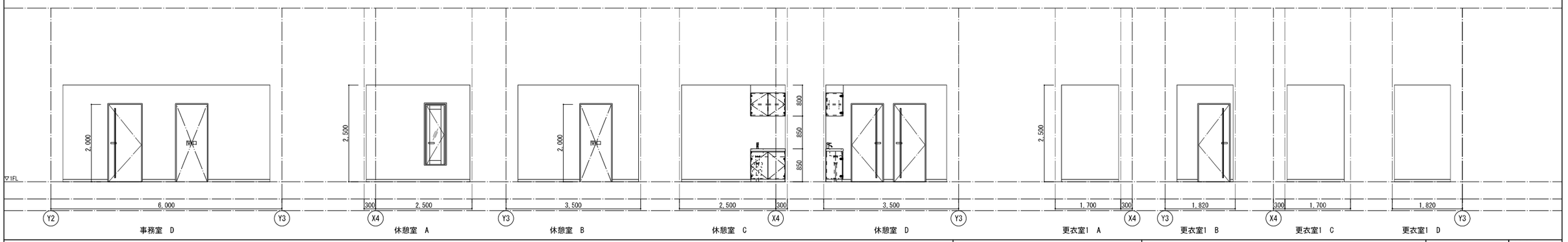


工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	展開図-5 （温浴部門、休憩部門、飲食・娯楽部門）	縮尺	A1 1:50 A3 1:100		図面番号 A-26

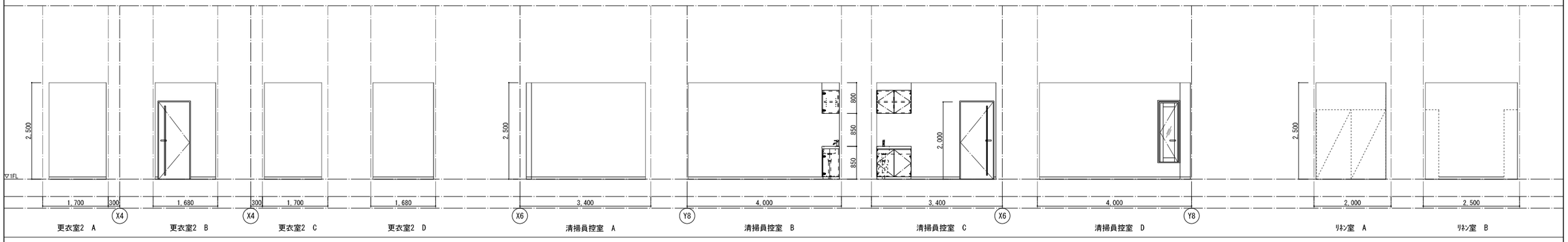


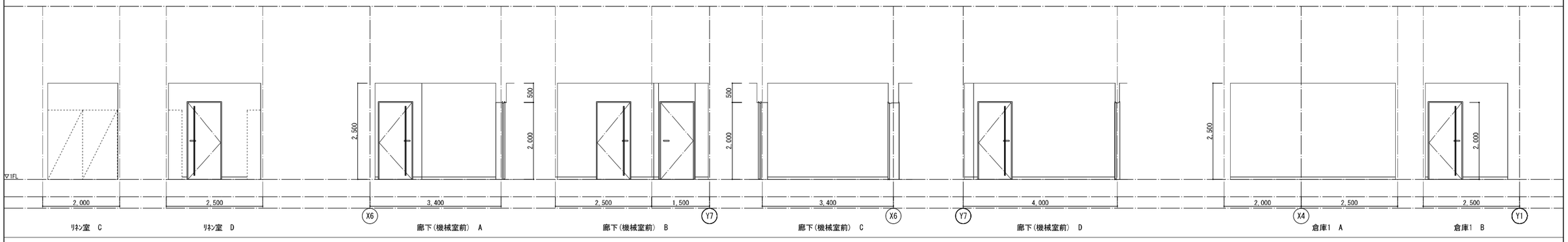


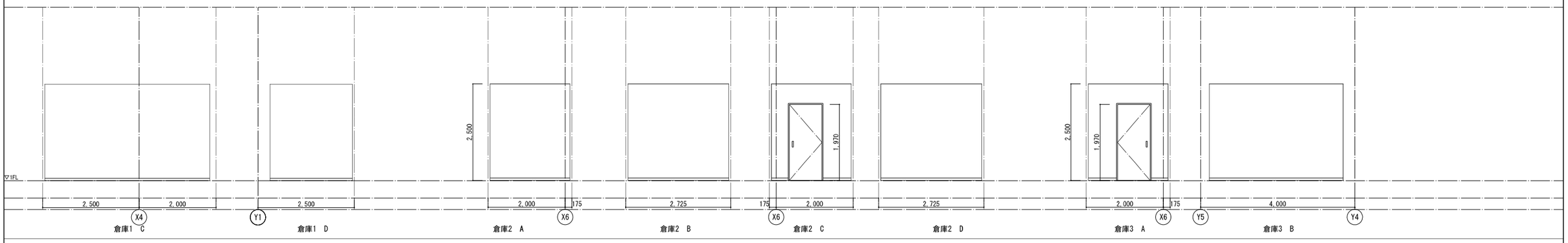


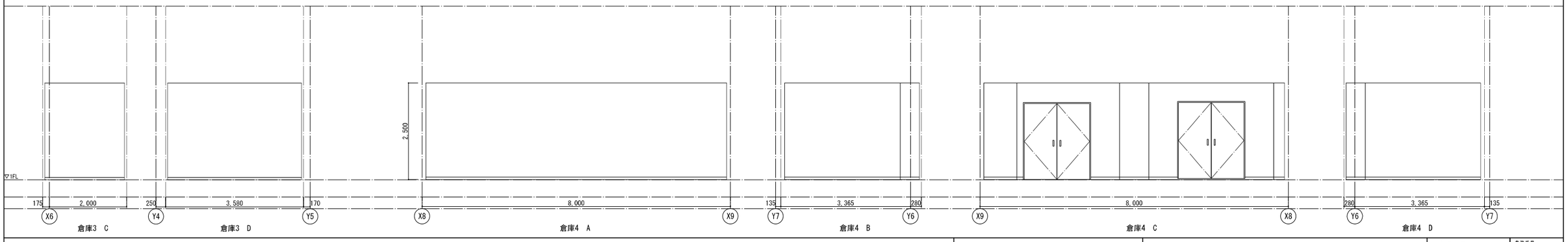


工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	展開図-6 （休憩部門、飲食・娯楽部門、管理部門）	縮尺	A1 1:50 A3 1:100		図面番号 A-27

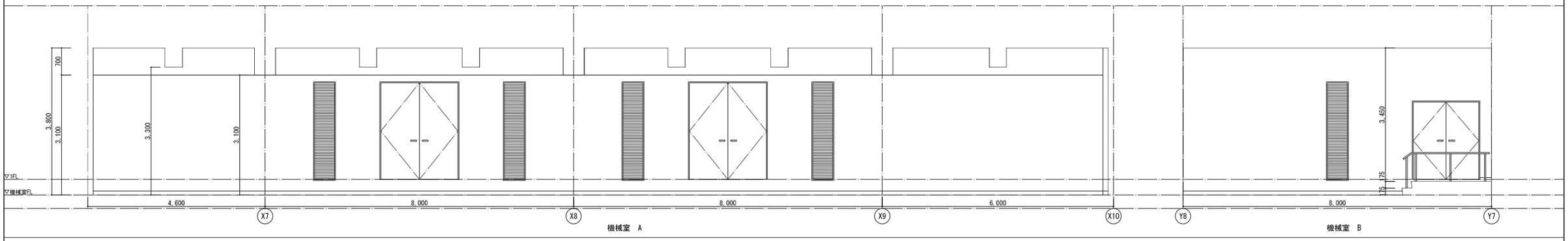






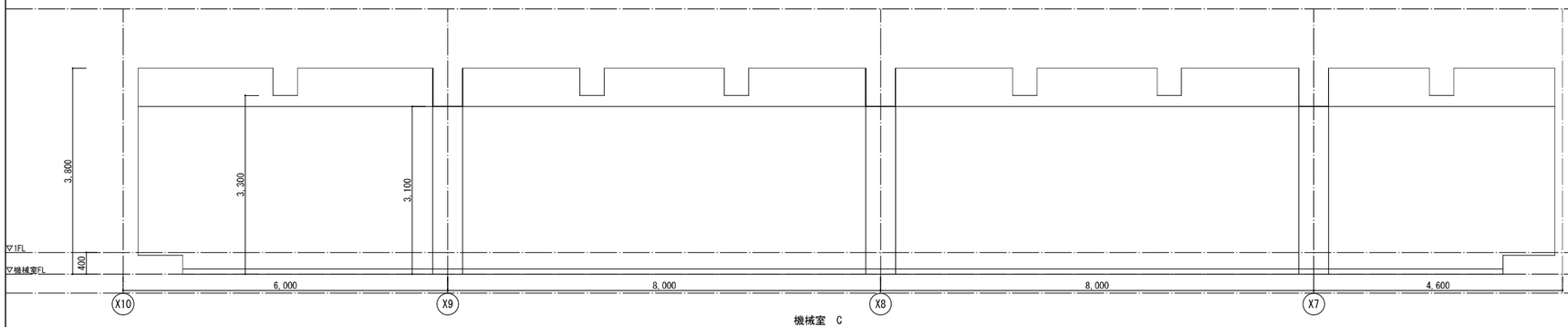


	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和７年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
	図面名	展開図-7(管理部門)	縮尺 A1 1:50 A3 1:100		図面番号 A-28

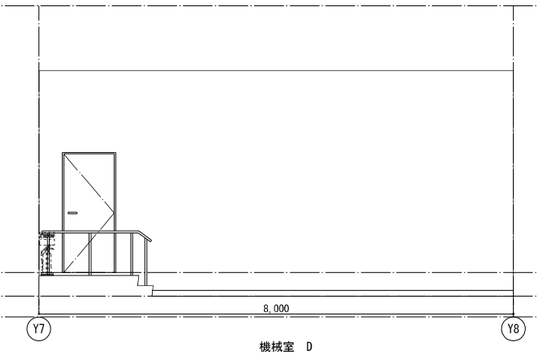


機械室　A

機械室　B

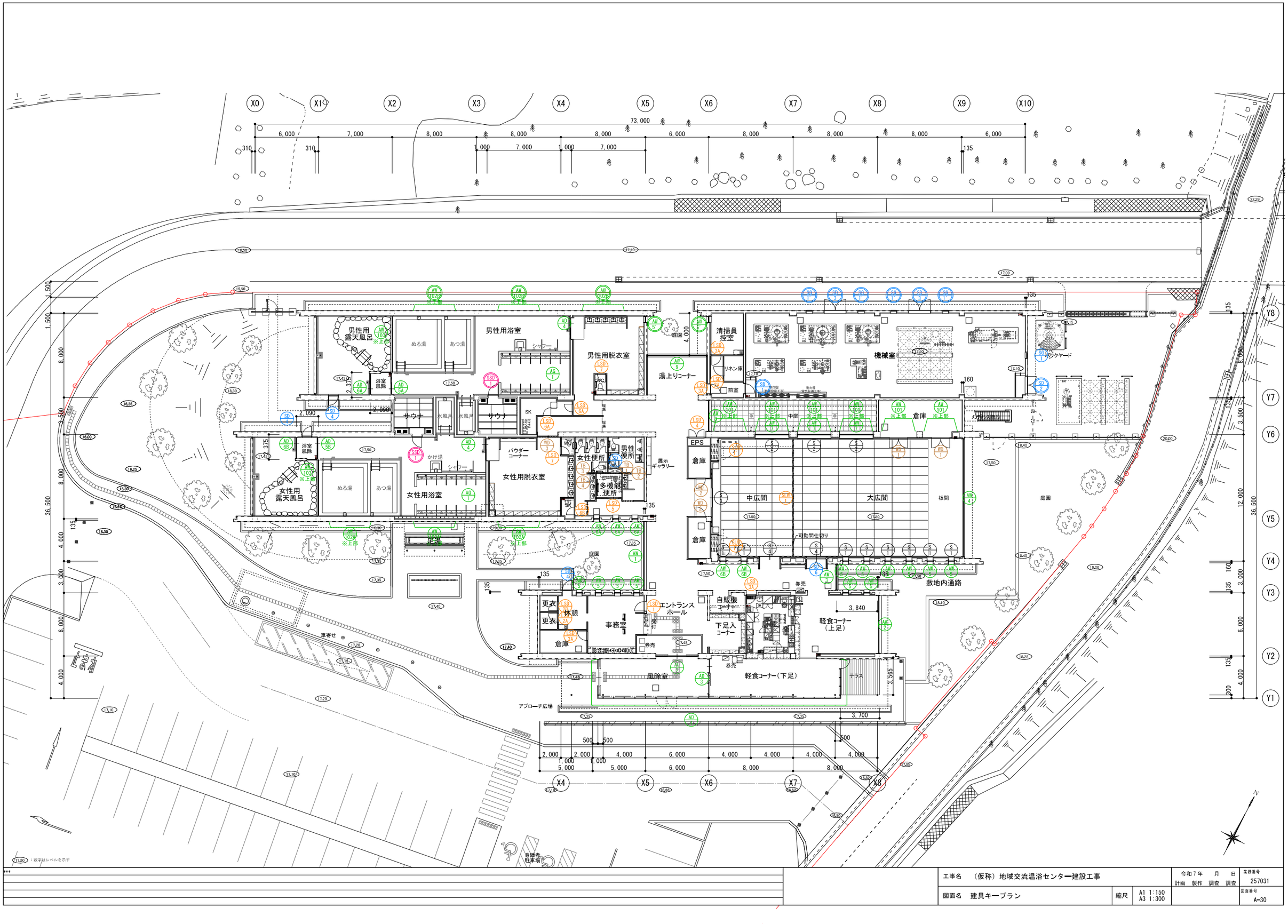


機械室　C



機械室　D

		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名	展開図-8（管理部門）	縮尺 A1 1：50 A3 1：100	図面番号 A-29


X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
73,000
6,000
7,000
8,000
1,000
135
310
男性用
露天風呂
ぬる湯
あつ湯
男性用浴室
シャワー
男性用脱衣室
浴室
風除
サウナ
水風呂
SK
湯上りコーナー
屋根
清掃員
控室
リネン庫
前室
機械室
ピロティ
倉庫
EPS
中庭
中広間
大広間
板間
庭園
可動間仕切り
敷地内通路
女性用
露天風呂
ぬる湯
あつ湯
女性用浴室
かけ湯
パウダー
コーナー
女性用脱衣室
女性便所
男性
便所
多機能
便所
展示
ギャラリー
足湯
更衣
休憩
事務室
倉庫
エントランス
ホール
受付
券売
自販機
コーナー
下足入
コーナー
軽食コーナー
（上足）
軽食コーナー（下足）
風除室
テラス
アプローチ広場
車寄せ
身障者
駐車場
3,840
3,700
3,565
4,000
2,090
2,375
※上部
※工事
※工部
※下部
※1F部
※2F部
※3F部
※4F部
※5F部
※6F部
※7F部
※8F部
※9F部
※10F部
※11F部
※12F部
※13F部
※14F部
※15F部
※16F部
※17F部
※18F部
※19F部
※20F部
※21F部
※22F部
※23F部
※24F部
※25F部
※26F部
※27F部
※28F部
※29F部
※30F部
※31F部
※32F部
※33F部
※34F部
※35F部
※36F部
※37F部
※38F部
※39F部
※40F部

建具共通事項

1．一般共通事項
01）建具共通事項は特に図示がない場合に適用する。設計図書の優先順位は特記仕様書、建具表、建具共通事項標準仕様書とする。
02）建具寸法は特記なき限り枠内寸法とする。
03）外部建具枠裏面には、発泡ウレタンにて断熱処理を行う。
04）シーリング材、ダブルシーリング（変性シリコン系20×10）を原則とし、シングルシール納まり部位が出る場合には監督員と協議のこと。
05）特記なき限り、外部建具、内部建具ともに飛散防止フィルム貼りとする。また、複層ガラスは両面貼りとする。フィルムのPET基材厚みは1000μ m以下とすること。

2．アルミニウム製建具共通事項
01）窓枠の形状は特記なき限りムとする。
02）窓の額縁・額縁が金属の場合は、断熱材裏打ち（建築物断熱用吹付硬質ウレタンフォームＡ種１ｔ40程度）とする。
03）排煙窓の操作ワイヤー等は、枠内隠蔽式とする。
04）縦枠、下部小口にプラスチックカバーをすること。
05）結露受け、ドレーンカットを設置すること。
06）網戸は引戸、縦滑り出し戸の部屋内側に設置し、特記なき限り、プリーツ網戸、サランネット（黒色）とする。
07）排煙外倒し窓は開放角度45° 以上とする。

3．鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具共通事項
01）Ｔ・ＡＴ・ＳＡＴ扉はフラッシュ扉とし、枠の四周には曲げ加工による溝を設け、クロロプレンゴム等の気密材は四辺をつなげる。
02）Ｔ扉はドア厚さ４５mmとし、ロックウール（８０kg/m3）を充填し、枠にはモルタルを隙間なく充填する。
03）ＡＴ扉は、特記なき限り気密性能ＪＩＳ等級Ａ－４程度・水密性能ＪＩＳ等級Ｗ－４程度とする。
04）ＳＡＴ扉は、特記なき限り様仕の「断熱気密型ドアセット」とする。
05）鋼製扉は、ドア厚さ４０mmとし、鋼製軽量建具は、ドア厚さ３５mmとする。
06）鋼製建具の開き扉・引き戸の枠には戸当りゴムを取り付ける。
07）上部に庇のない外部扉は、上枠に水切金物（ＳＵＳ３０４、t＝１．５　出寸法３０mm程度）を取り付ける。
08）内部建具の容摺は、床が同レベルの場合：Ａ（同一仕上の場合）又は（異仕上の場合）Ｂ－１、床にレベル差がある場合：Ｂ－３とする。
09）鋼製軽量扉のハト包みは表面材を歪げこむこと。
10）引戸・開き戸には指づめ防止機構を装備すること。
11）ステンレス建具は角出し曲げ加工（裏面補強）すること。

4．建具用金物共通事項
01）アルミニウム製建具の建具金物は、特記なき限り下記を取り付ける。

基本性能・開閉方式	支持金物	錠	付属金物
引違い窓	戸車及びレール	クレセント	引手
片引き窓 （外・内勝片引き窓）	戸車及びレール	クレセント 引き寄せハンドル	ストッパー、引手
片開き窓	丁番	引き寄せハンドル	突出し棒、開き仕置調整器、アームストッパー あり釘止ダンパー
すべり出し窓	横すべり出しピボット 縦すべり出しピボット	引き寄せハンドル	開き仕置調整器、アームストッパー あり釘止ダンパー
回転窓	横軸・縦軸	トップラッチ	フック棒、角度調整器 あり釘止ダンパー

※外部アルミニウム製建具と額板、額縁の間には結露防止材を入れること

02）鋼製・ＳＵＳ製扉の建具金物は、特記なき限り下記を取り付ける。

基本性能・開閉方式	支持金物	錠	付属金物
外部：片開き戸	丁番（ＳＵＳ） ピボットヒンジ （ＳＵＳ鋳物）	シリンダー箱錠 本締り錠	レバーハンドル、ドアクローザー、戸当り あり止め、フランス落し
外部：両開き戸	丁番（ＳＵＳ） ピボットヒンジ （ＳＵＳ鋳物）	シリンダー箱錠 本締り錠	レバーハンドル、ドアクローザー、戸当り あり止め、フランス落し
内部：片開き戸	丁番（ＳＵＳ） 軸付ピボットヒンジ フロアーヒンジ	シリンダー箱錠 本締り錠	レバーハンドル、ドアクローザー、戸当り
内部：両開き戸	丁番（ＳＵＳ） 軸付ピボットヒンジ フロアーヒンジ	シリンダー箱錠 本締り錠	レバーハンドル、ドアクローザー、戸当り フランス落し、非開錠横位調整器
引戸	ハンガーレール ハンガーローラー	引戸用錠	引手、フレ止めローラー、戸当り 引戸クローザー（電気式、空気圧式 油圧式）、自閉式上吊り引戸、開閉センサー 戸当りブロック
気密・遮音扉	丁番（ＳＵＳ）	シリンダー握込箱錠 グレモン錠	ドアクローザー、フランス落し、戸当り
壁埋込型防火戸	軸吊型オートヒンジ	―	ケースハンドルまたは握込引手 戸袋保持金物（マグホールド、電磁ホールド）
壁埋込型防火折戸	軸吊型オートヒンジ フロアーヒンジ	―	折戸保持装置（ドアキャッチ） ケースハンドルまたは握込引手 フランス落し、戸袋保持金物 （マグホールド、電磁ホールド）
トイレブース扉	ラバトリーヒンジ グラビティヒンジ	リムボルト ストライクボルト	ハンガー付戸当り、押板・引手
点検口	中心吊 スプリングヒンジ	点検錠	ケースハンドルまたは握込引手 ラームストッパー、錠

03）バックセットは握り玉１００mm程度、レバーハンドル７５mm程度とする。
04）扉のハンドル（レバーハンドル、握玉など）は原則、床から1000mmとし、押板類は1100mmとする。
05）引手の長さは、特記による。特記なき場合L≧1800
06）電気錠の場合、１次側のカードリーダー及び配線工事は電気工事、２次側の電気錠及び通電丁番は建築工事とする。
07）防火・防煙区画の両開き扉は、２枚ともドアクローザーけとし、枠埋込型開鎖順位調整器を設置する。
08）防火・防煙区画の扉はストッパーなしとし、その他の扉はストッパー付とする。
09）防火扉以外のドアクローザーは、金具の調整により、ストッパー有無の切り替え可能とする。
10）竪穴区画、異種用途区画に使用される高遮性能付の扉（２号特定防火設備、２号防火設備）は、告示に適合した扉または大臣認定品とする。
11）戸袋付防火扉は、壁又は枠への埋込型レリーズ付とする。
12）戸当りは、すべての扉に対し、竪又は床に取り付ける。
13）マスターキーはＧＭＫ付マルチマスターキーシステムとする。
14）排煙用窓のダンパー及び操作ワイヤー・オペレーターハンドル共隠蔽式とする。
15）ピボットヒンジは鋳物製とする。

5．自動ドア開閉装置、自閉式吊引き戸装置共通事項
01）オートドアには天井付光線式反射スイッチを付け、天井及び腰のない箇所は無目取り付けタイプを標準とする。

6．シャッター関係共通事項
01）ガイドレールには低板をつけ、材質はＳＵＳ304Ｈしとする
02）シャッターのステンレス部材はＳＵＳ304Ｈしとする。
03）電動シャッターは二重安全装置付（避難時停止装置、光電スイッチ方式）とする。
04）電動シャッターの巻上は、電動とする

7．ガラス・ガラリ関係共通事項
01）床面よりの窓・カーテンウォールのガラスは、シルクスクリーン衝突防止マーク付とする。
ただし、色付きのガラスフィルム貼りの場合は不要とする。
02）ガラリは、外部用：有効開口率30%程度とする。
内部用：有効開口率50%程度とする。
03）ガラリは枠と同材質・同仕上とする。
04）外部に面するガラリは室内側にＳＵＳ防鳥網付、取外し可能とし、アルミニウム製水返しを取り付ける。

8．その他共通事項
01）襖及び障子の敷居は敷居すべり付とする。
02）襖の仕上は上新鳥の子とし、枠は木枠にカシュー樹脂塗料塗りとする。
03）木製建具・木部は全て塗装仕上とし、特記なき場合はウレタンカラークリアとする。
04）内部建具の強化ガラス・耐熱結晶化ガラス部は特記なき場合は飛散防止フィルム貼りとする。（扉付小窓は除く）
05）便所の錠・扉・引戸は表示錠付・非常用外部開放装置付とする。
06）水切りは特記なき限り、アルミ製建具はアルミ製、ＳＵＳ製建具はＳＵＳ製とする。
07）内部建具（引戸・引違い戸）は特記なき限り指詰防止ゴム付とする。
08）特定防火設備の避難口には誘導サインをつける。
09）ドアクローザーの取付は室内側を原則とする。
10）排煙窓のクレセント及び操作レバーの位置は床面から800mm以上1500mm以下とする。また金属製とする。
11）外部建具は原則、指詰防止機構付とする。
12）両開き戸は原則扉間額縁位調整機付きとする。
13）各トイレブース内にはシングルフック（TOTO：YKH52AR同等品以上）を1基設けること。
設置位置については監督員との協議とする。

建具符号と図面表示

記号表示方法	扉・サッシュの性能凡例		シャッターの記号		アルミサッシの性能	
材質記号 防火は２重丸	特防火 →	1号特定防火設備	ＷＳ	一般重量シャッター	耐風圧性能	S-4
特防火（Ｓ） →	2号特定防火設備（遮煙付）	防火Ｓ	防火シャッター	水密性能	W-4	
防火 →	1号防火設備	防火ＳＳ	防火・防煙シャッター	気密性能	A-4	
防火（Ｓ） →	2号防火設備（遮煙付）	ＧＳ	グリルシャッター			
常時閉鎖式 →	常閉	ＬＳ	軽量シャッター			
煙感 →	煙感連動					
排煙OP →	排煙オペレーター付					
遮音 →	遮音					

形状寸法別通し番号

材質記号

AW →	アルミウィンド	SSD →	ステンレスドア	シ →	障子
AD →	アルミドア	SH →	鋼製シャッター	フ →	襖
AG →	アルミガラリ	SSH →	ステンレス製シャッター	TB →	トイレブース
ACW →	アルミカーテンウォール	HSH →	シートシャッター		
SW →	スチールウィンド	ASH →	アルミ製シャッター		
SD →	スチールドア	WD →	木製ドア		
SG →	スチールガラリ	WW →	木製窓		
SP →	スチールパーティション	WG →	木製ガラリ		
LSD →	軽量スチールドア	WP →	木製パーティション		
SLW →	スライディングウォール	GSF →	ガラス装飾建具		
SSW →	ステンレスウィンド	MSF →	可動式防煙垂壁		

ガラスの種類と凡例

FL →	フロート板ガラス	PG →	複層ガラス		
FG →	型板ガラス	LG →	合わせガラス		
PWG →	網入板ガラス	HG →	熱線吸収板ガラス		
FWG →	網入型板ガラス	MG →	熱線反射ガラス		
PLG →	線入板ガラス	HTG →	耐熱強化ガラス		
FLG →	線入型板ガラス	GB →	ガラスブロック		
TG →	強化ガラス	PFG →	プロフィリットガラス		
FTG →	型板強化ガラス	F →	耐熱結晶化ガラス（特定防火設備・防火設備用ガラス）		

塗装

SOP →	合成樹脂調合ペイント塗り	EP-G →	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
CL →	クリヤラッカー塗り	EP →	合成樹脂エマルションペイント塗り
FE →	フタル酸樹脂エナメル塗り	EP-T →	合成樹脂エマルション模様塗料塗り
NAD →	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り	UC →	ウレタン樹脂ワニス塗り
AE →	アクリル樹脂エナメル塗り	OS →	オイルステイン塗り
DP-3 →	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り		
DP-2 →	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り		
DP-1 →	２液形ポリウレタンエナメル塗り		

閉鎖装置金物

サム錠 →	サムターン錠	フ落し →	フランス落し
シリ錠 →	シリンダー錠	点検錠 →	点検錠
非常錠 →	非常サムターン錠		
空錠 →	空錠		
クレ →	クレセント		
表示錠 →	表示錠		
鎌錠 →	鎌錠		
電気錠 →	電気錠		

ハンドル・押手類

ＬＨ →	レバーハンドル	引寄Ｈ →	引き寄せハンドル
ＫＨ →	カムラッチハンドル	押棒 →	押棒
ＣＨ →	ケースハンドル		
Ｓ引手 →	引戸用ＳＵＳ製引手		
Ｗ引手 →	引戸用木製引手		
握玉 →	握玉		
彫込引手 →	彫込引手		
グレ →	グレモンハンドル		

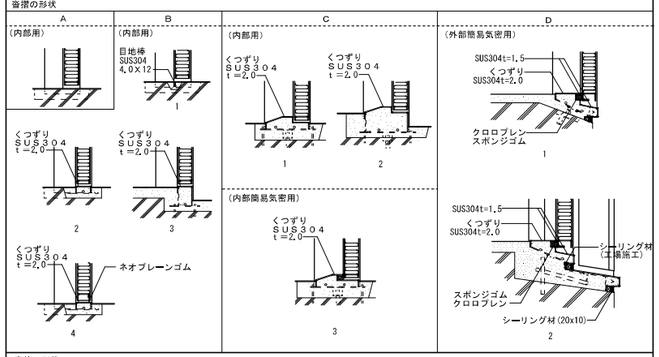
建具金物

Ｃ →	隠蔽型ドアクローザー	ＥＴ →	電気錠
Ｄ →	露出型ドアクローザー		
Ｎ →	ヒンジクローザー		
Ｈ →	ハンガーレール		
Ｔ →	丁番		
Ｆ →	フロアヒンジ		
Ｐ →	ピボットヒンジ		
ＥＥＴ →	非常錠付電気錠		

原枠（一般例）

Ａ（抱枠１） Ｂ（抱枠２） Ｃ（抱枠３） Ｄ（容枠１） Ｅ（アウトセット枠１） Ｆ（インセット枠１）

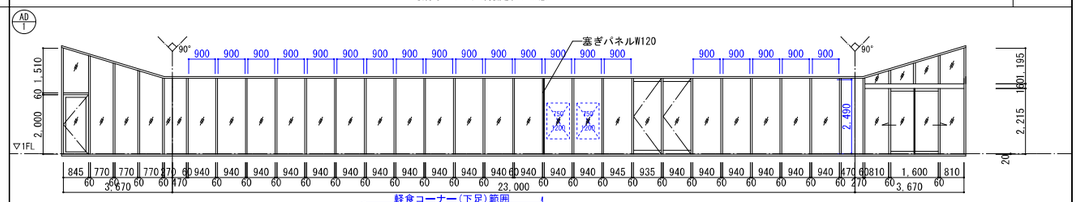
容摺の形状



窓枠の形状

名称	性能	数量	アルミドア（隠し框タイプ） 引分オートドア+片開き戸+FIX窓	―	1

姿図

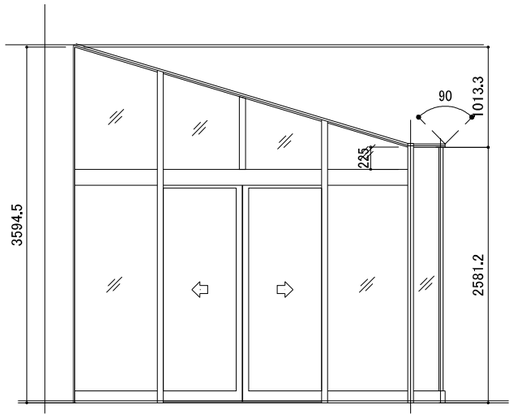

AD 1
90°
900 900 900

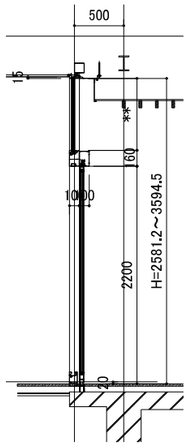
■凡例(共通)
***：排煙計算利用数値
***：採光計算・無窓階判定利用数値

| 名称 | 性能 | 数量 | | |

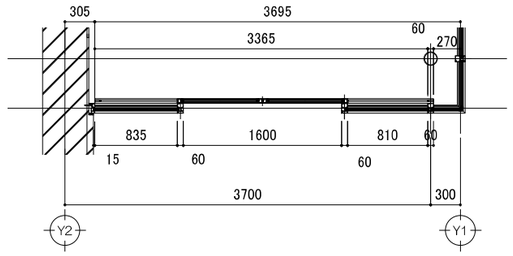
A1 1:3 1:30
A3 1:6 1:60

外観図

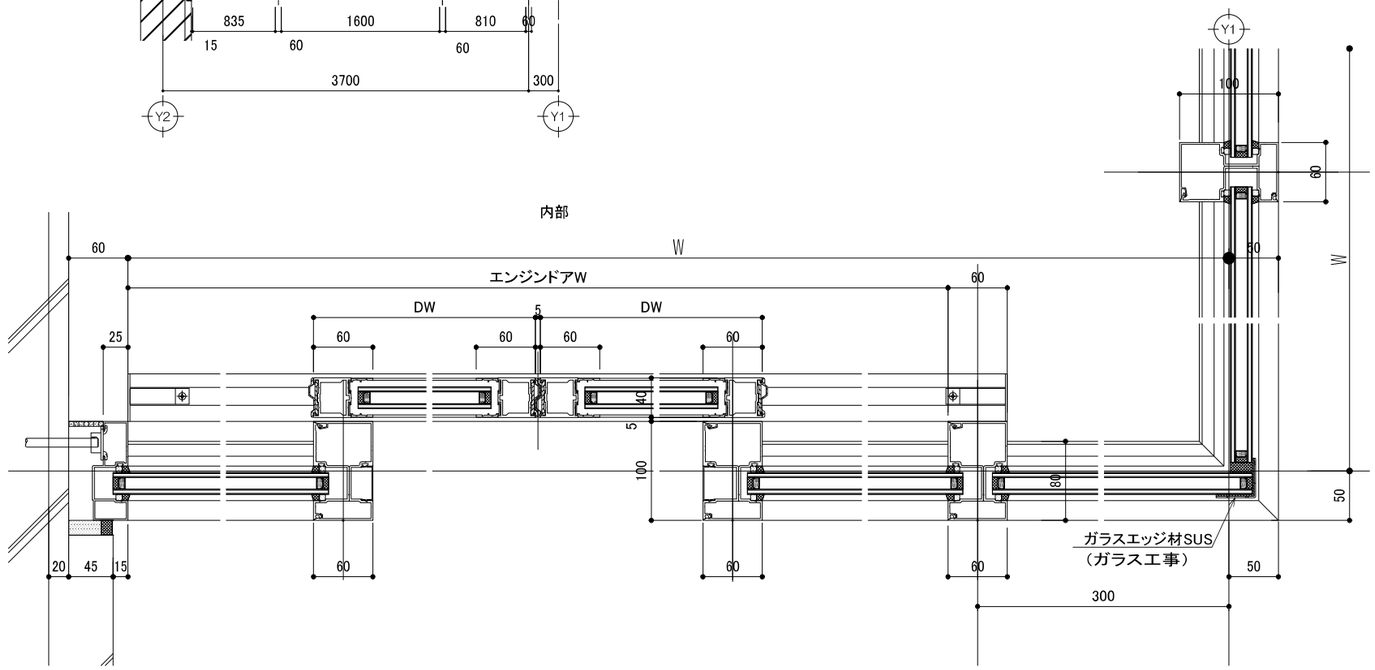




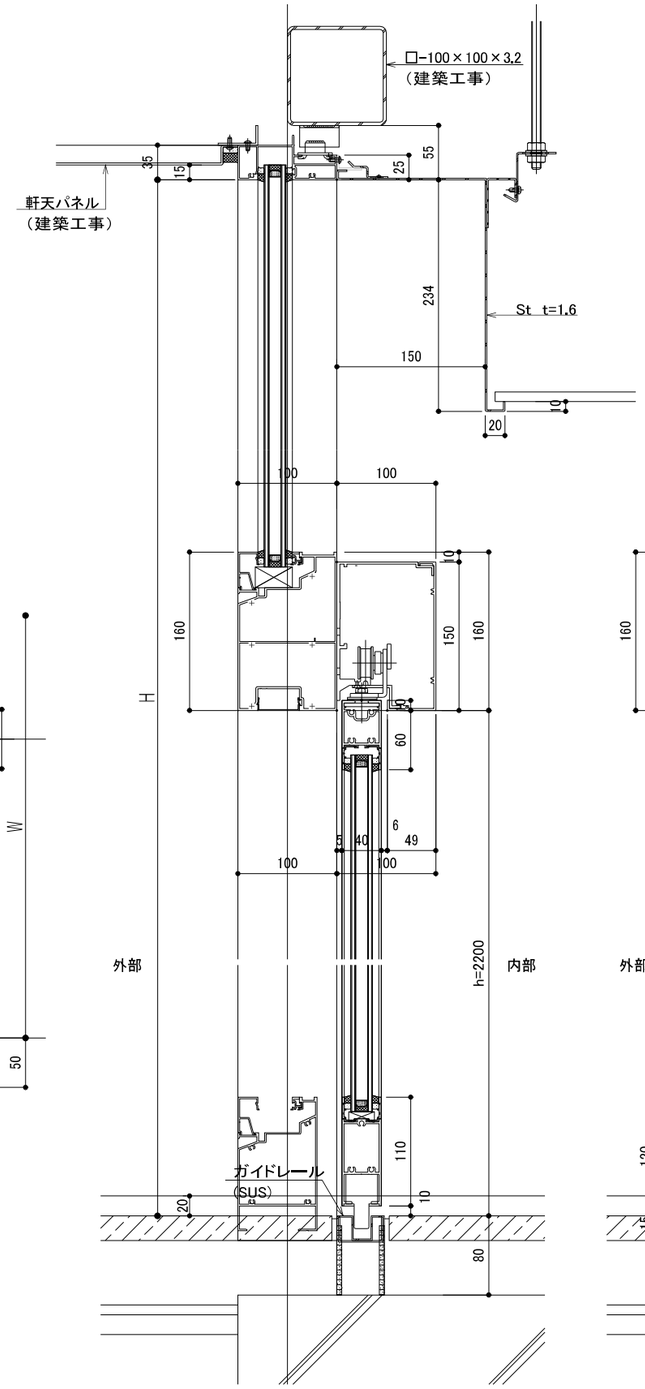
■製品特徴
- 製品名：YKKAP EXIMA51e同等品
- 性能値
  - 耐風圧　S-2（1200Pa）
  - 気　密　－
  - 水　密　－

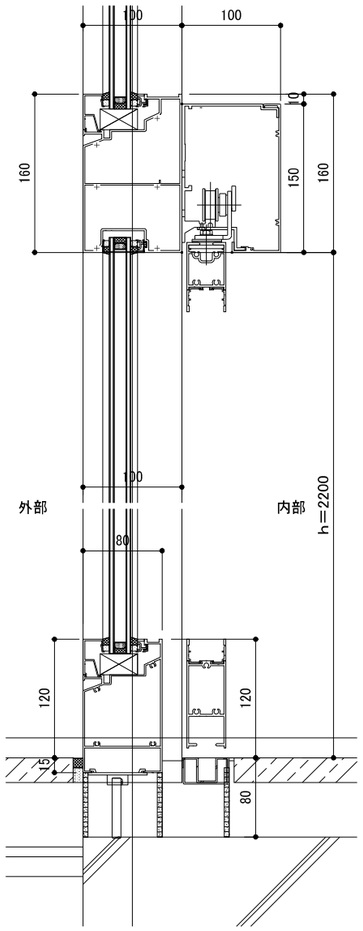


内部



外部

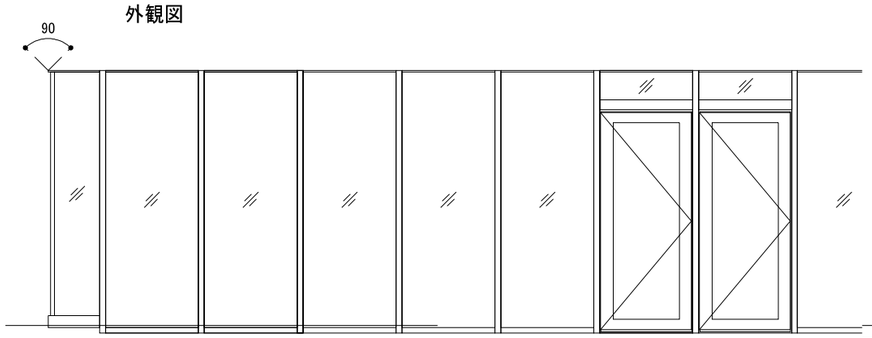


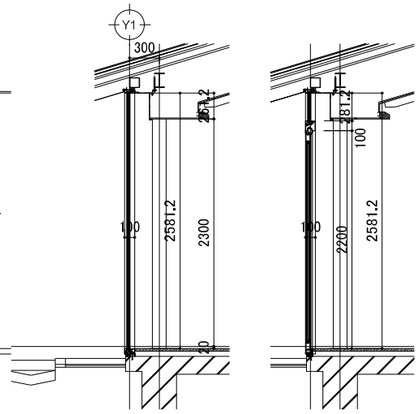


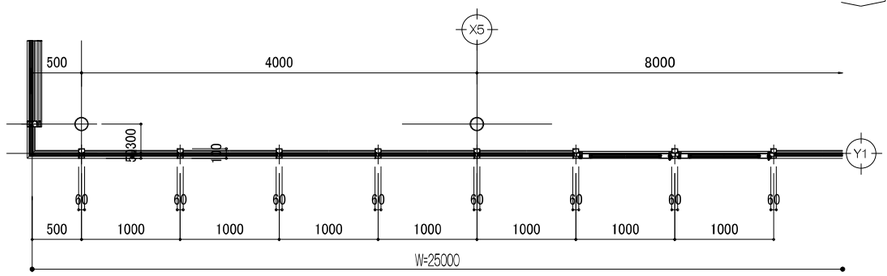
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	建具詳細図-2(AD-1)	縮尺	A1 1:3、1:30 A3 1:6、1:60	計画　製作　調査　調査	図面番号 A-34

A1 1:3 1:30
A3 1:6 1:60

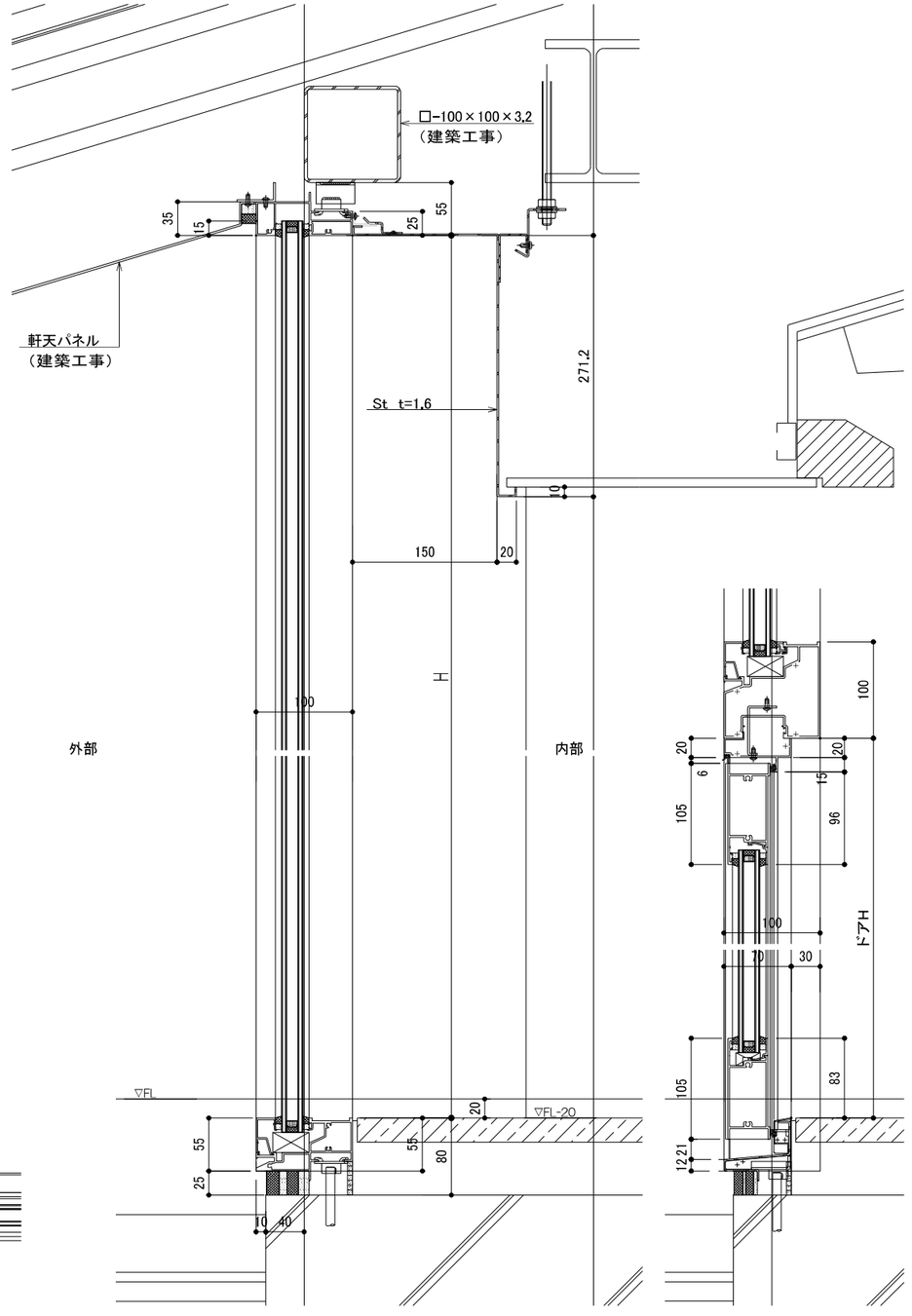
外観図

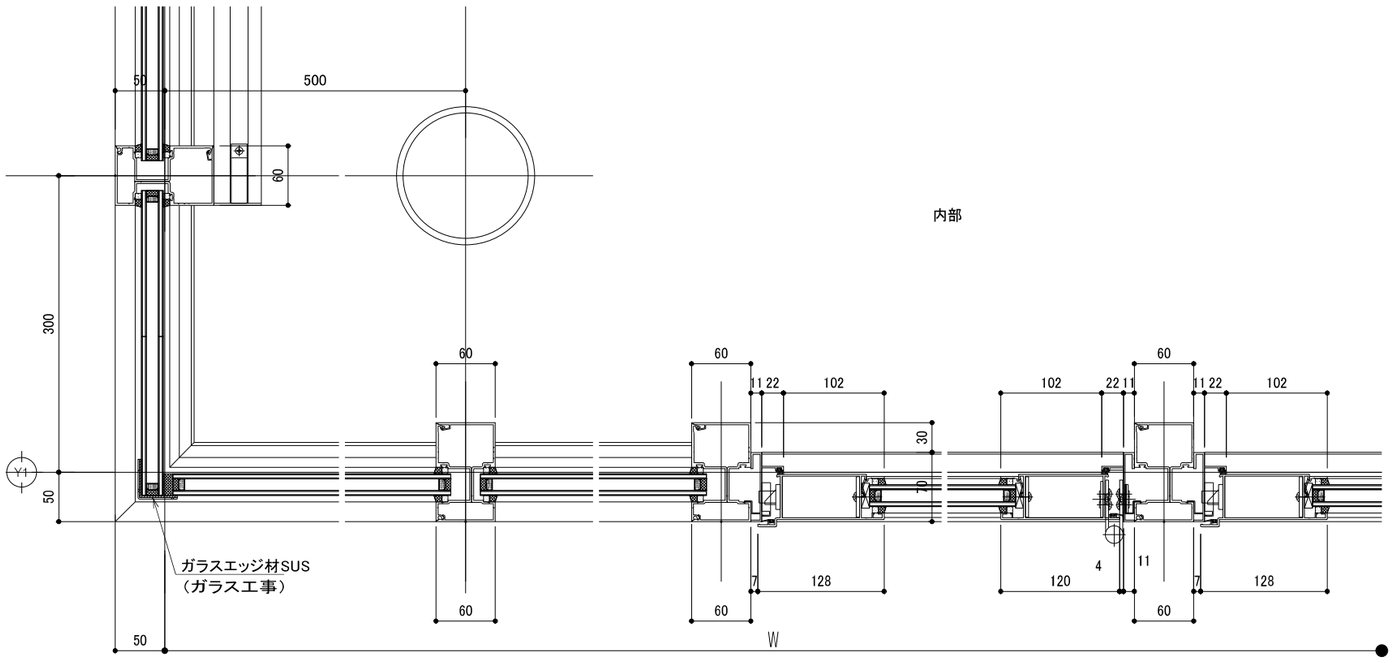




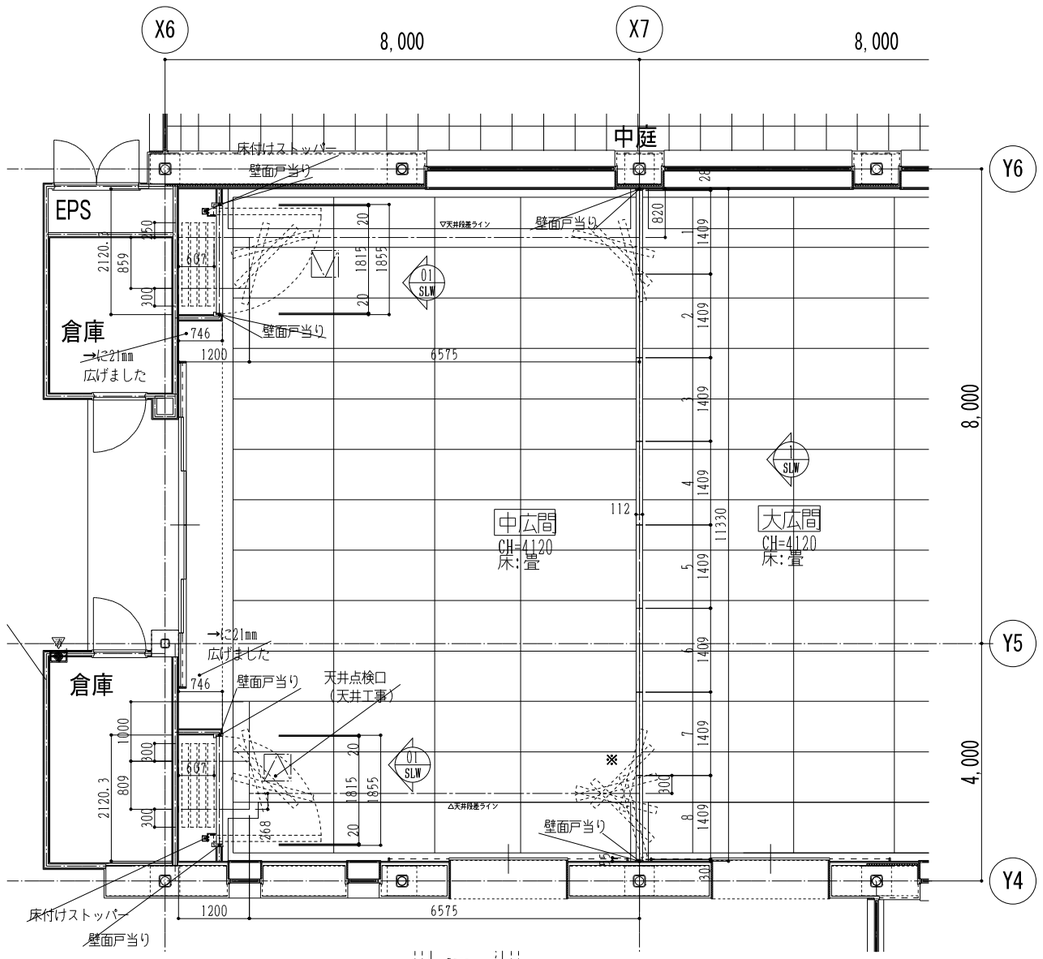


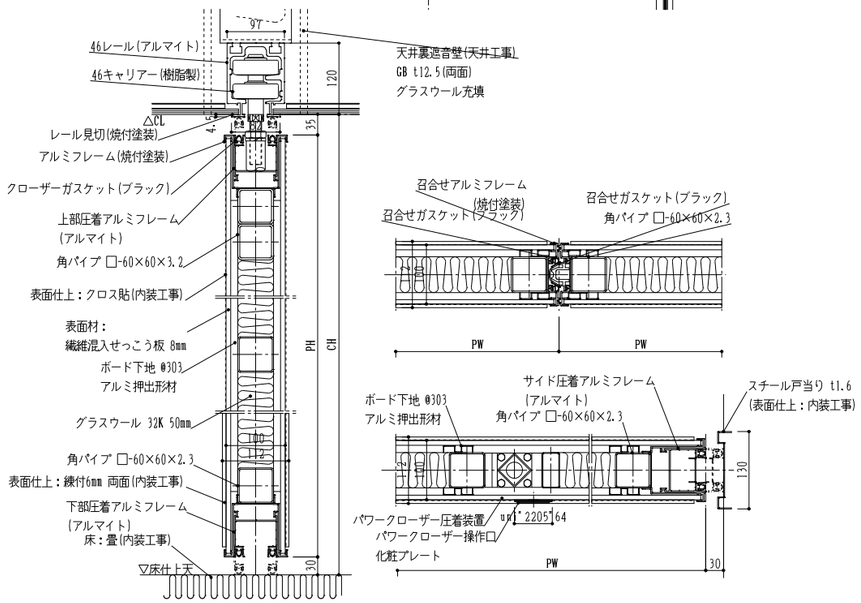
■製品特徴
- 製品名：YKKAP EXIMA51e同等品
- 性能値
  - 耐風圧　S-2（1200Pa）
  - 気　密　－
  - 水　密　－





工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号	257031
図面名　建具詳細図-1(AD-1)	縮尺	A1 1:3、1:30 A3 1:6、1:60	計画　製作　調査　調査	図面番号	A-33

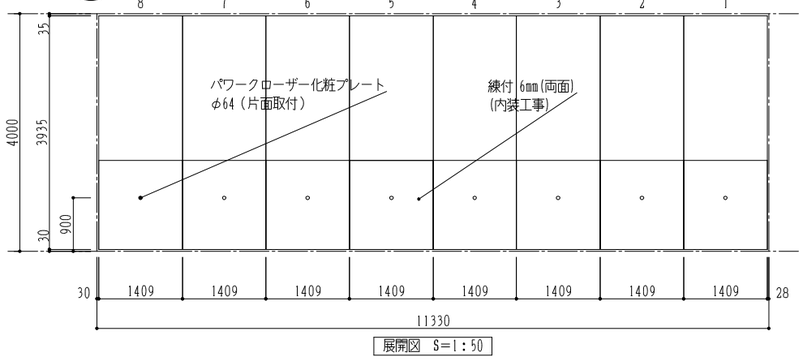




<小松ランニング 厚み112mm> (RW-100D同等品) SLW

1 SLW 小松ランニング

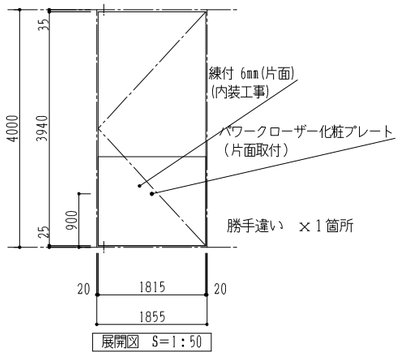
厚み112mm パネル重量 320kg/枚(練付含まない重量)



展開図 S=1:50

01 SLW スウィングウォール

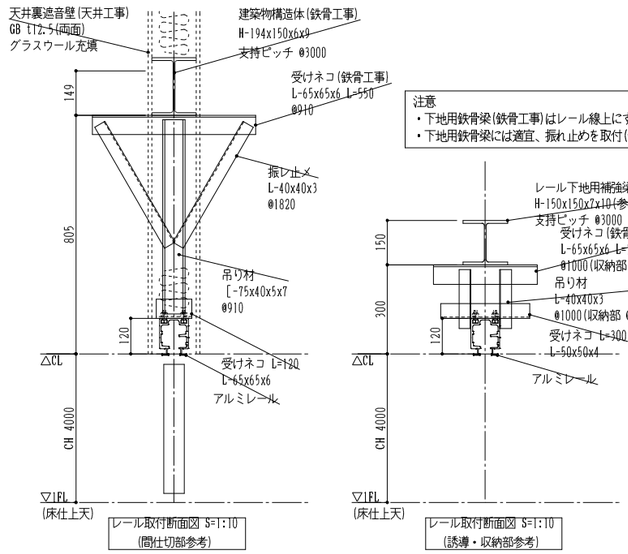
厚み106mm パネル重量 287kg/枚(練付含まない重量)

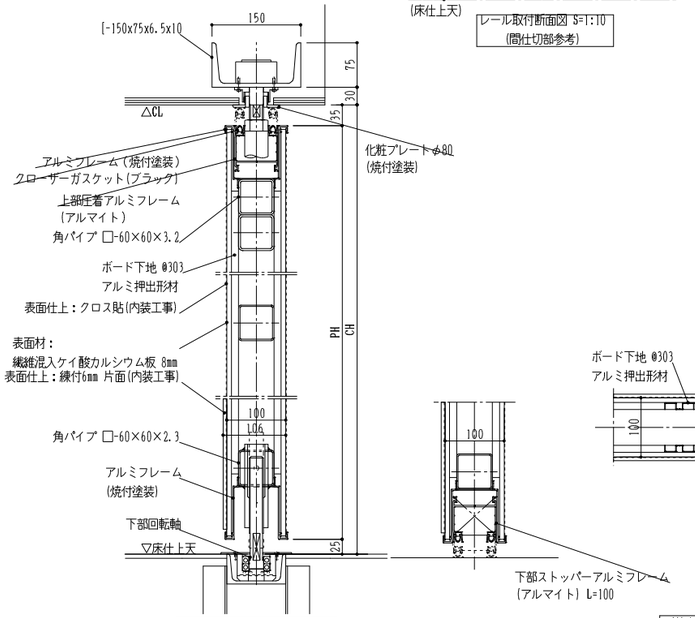


展開図 S=1:50

小松ランニング 厚み112mm(RW-100D同等品)
(遮音仕様) 1 SLW

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理) ※パネル断面詳細図の特記部分は指定色焼付塗装
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 20
パネル仕様	表面仕上	クロス貼(内装工事) 練付6mm 両面(内装工事)
	表面材	繊維混入せっこう板 8mm
	充填材	グラスウール 32K 50mm
	骨組	鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材(アルマイト処理) ※パネル断面詳細図の特記部分は指定色焼付塗装
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式



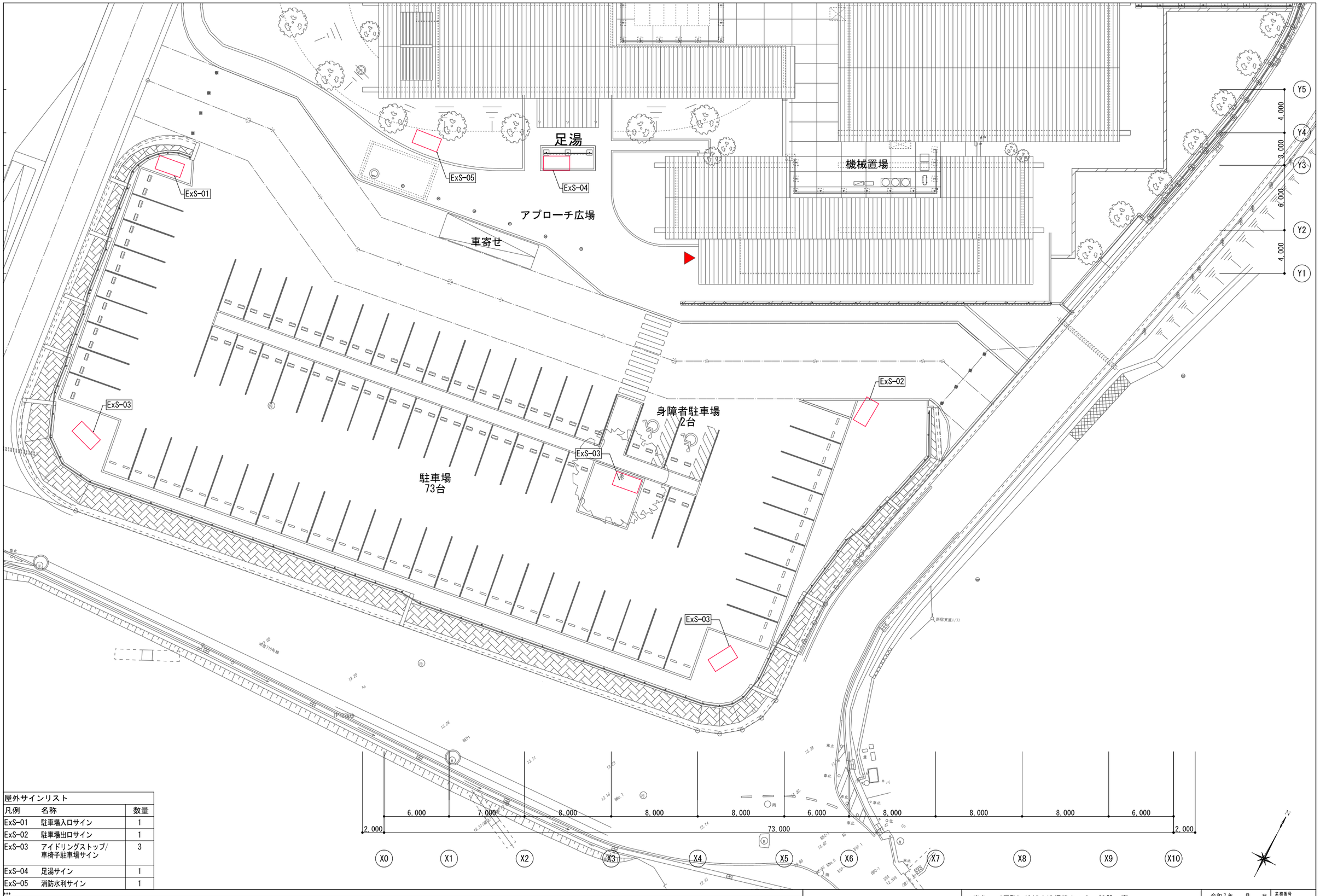


縦断面詳細図 S=1:5

横断面詳細図 S=1:5

<戸袋パネル 厚み16mm>(RW-100SW同等品) 01 SLW

		工事名	(仮称)地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
		図面名	建具詳細図-3(SLW)	縮尺 A1 図示 A3 0:000	図面番号 A-35

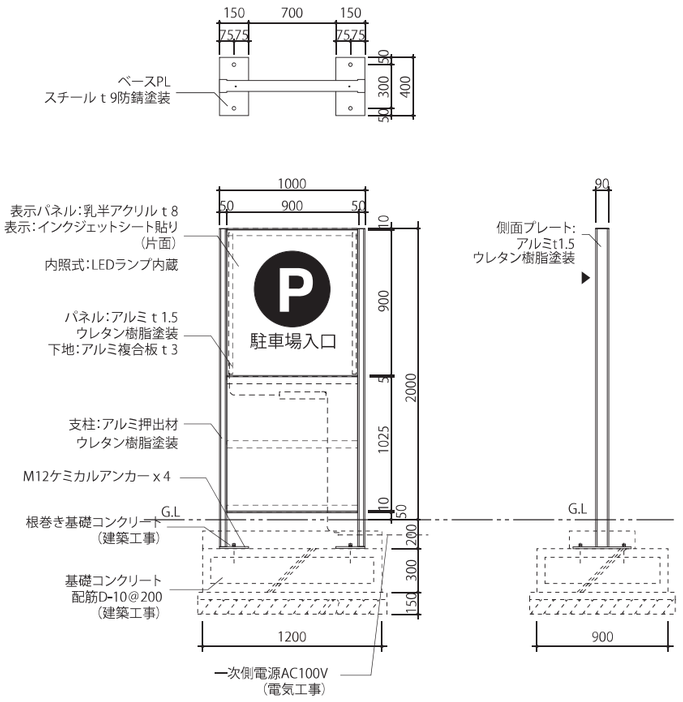


屋外サインリスト		
凡例	名称	数量
ExS-01	駐車場入口サイン	1
ExS-02	駐車場出口サイン	1
ExS-03	アイドリングストップ/車椅子駐車場サイン	3
ExS-04	足湯サイン	1
ExS-05	消防水利サイン	1

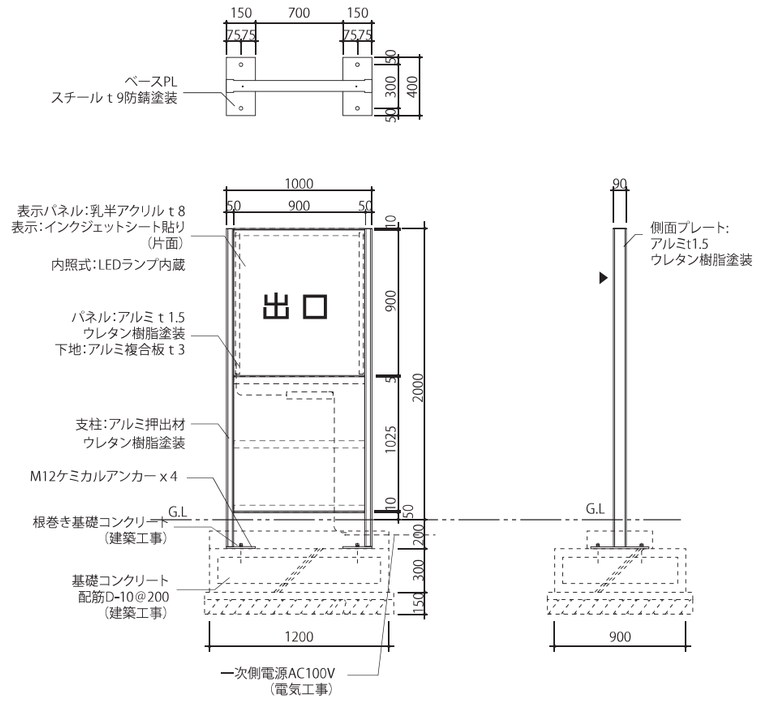
***

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	外構サインキープラン	縮尺 A1 1:150 A3 1:300		図面番号 A-36

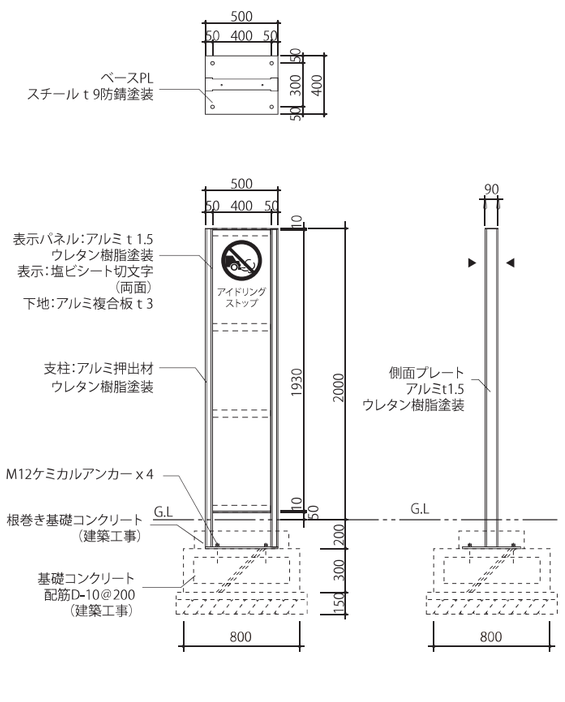
ExS-1	駐車場入口サイン	1ヶ所	A1=S:1/20 A3=S:1/40



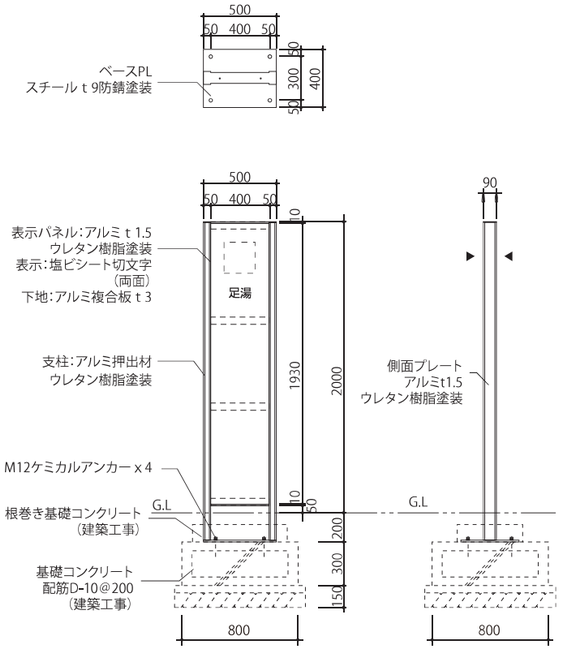
ExS-2	駐車場出口サイン	1ヶ所	A1=S:1/20 A3=S:1/40



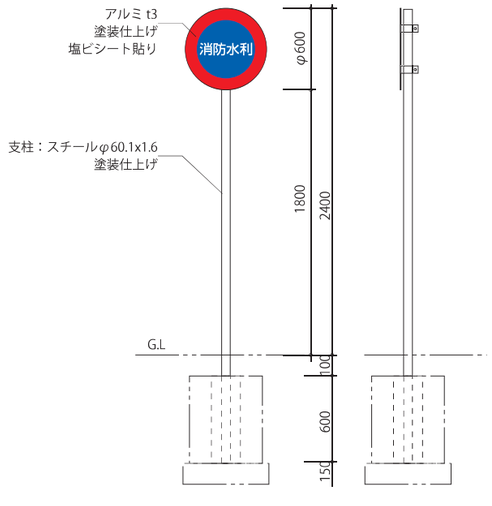
ExS-3	ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ/車椅子駐車場ｻｲﾝ	3ヶ所	A1=S:1/20 A3=S:1/40



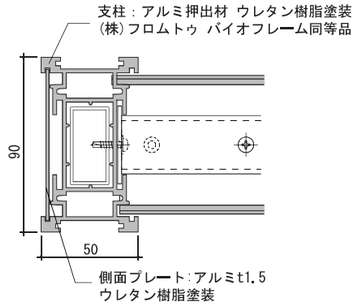
ExS-4	足湯サイン	1ヶ所	A1=S:1/20 A3=S:1/40



ExS-5	消防水利サイン	1ヶ所	A1=S:1/20 A3=S:1/40



	共通支柱材		A1=S:1/1.5 A3=S:1/3



工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	サイン詳細図	縮尺	A1 図示 A3 図示		図面番号 A-37

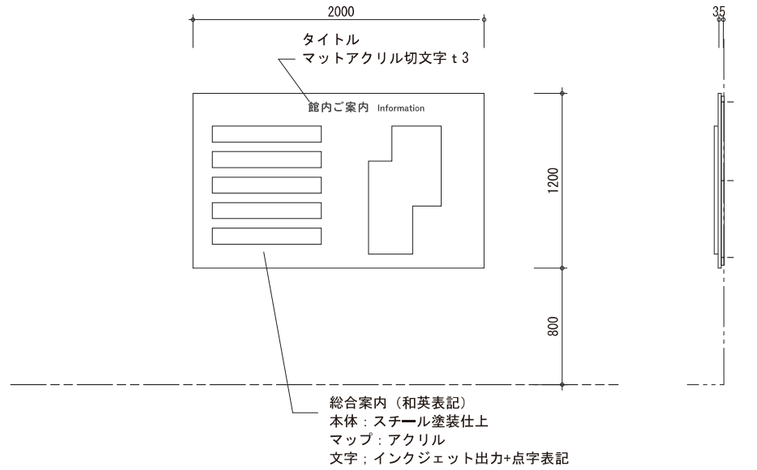
施設サインリスト		
凡例	名称	数量
S-1	館名サイン	1
S-2	総合案内サイン	2
S-3	利用案内サイン	3
S-4	窓口サイン(天吊り)	1
S-5	室名サイン(突出し)	7
S-6	ピクトサイン(突出し)	6
★ S-7	室名サイン(シート)	20
S-8	配膳・下膳サイン	4
S-9	のれん	2
S-10	利用・マナー案内サイン	2
S-11		
S-12	飲用不適サイン	18
S-13	浴槽名サイン	6
S-14	サウナ利用案内サイン	2
S-15	衝突防止サイン	70.9m
S-16	多機能便所案内サイン	1
S-17	便所レイアウト表示点字付サイン	3

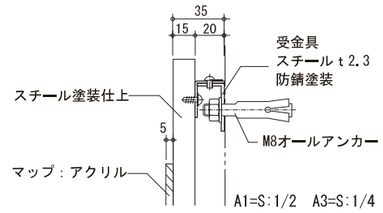
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	屋内サインキープラン	縮尺 A1 1:150 A3 1:300	図面番号 A-38

S-1 館名サイン　1ヶ所　A1=S:1/10　A3=S:1/20

※表記内容は監督員との協議によること

S-2 総合案内サイン　2ヶ所　A1=S:1/20　A3=S:1/40

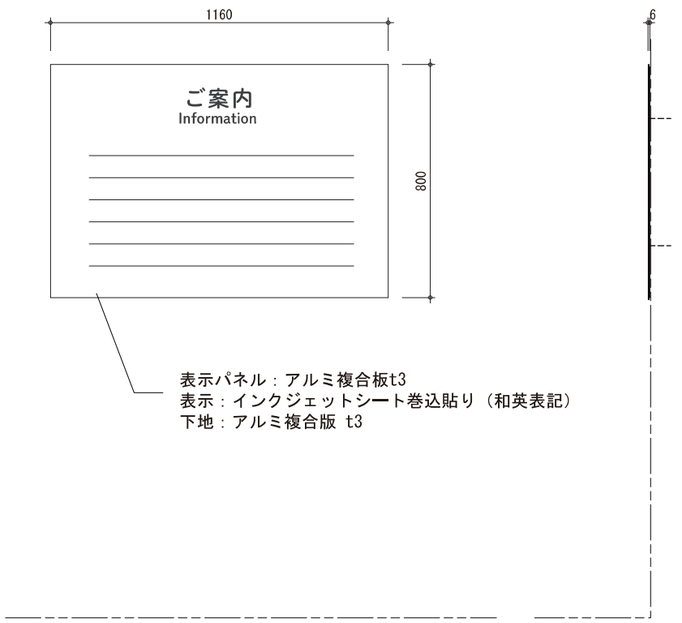




A1=S:1/2　A3=S:1/4

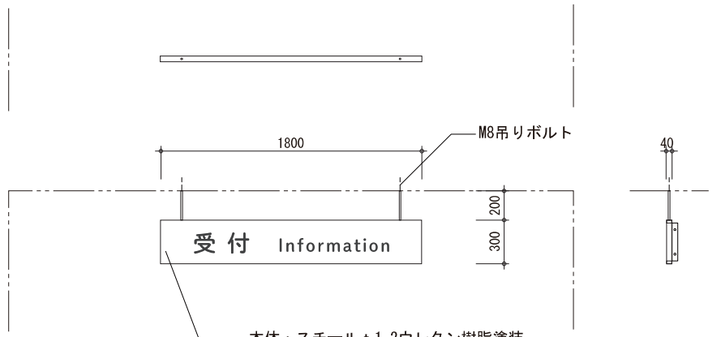
※表記内容は監督員との協議によること

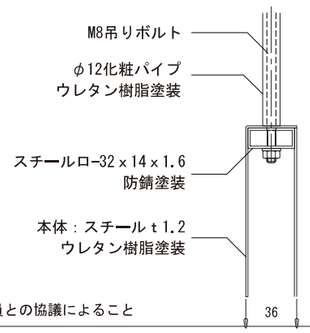
S-3 利用案内サイン　3ヶ所　A1=S:1/10　A3=S:1/20



※表記内容は監督員との協議によること

S-4 窓口サイン（天吊り）　1ヶ所　A1=S:1/20,S:1/2　A3=S:1/40,S:1/4

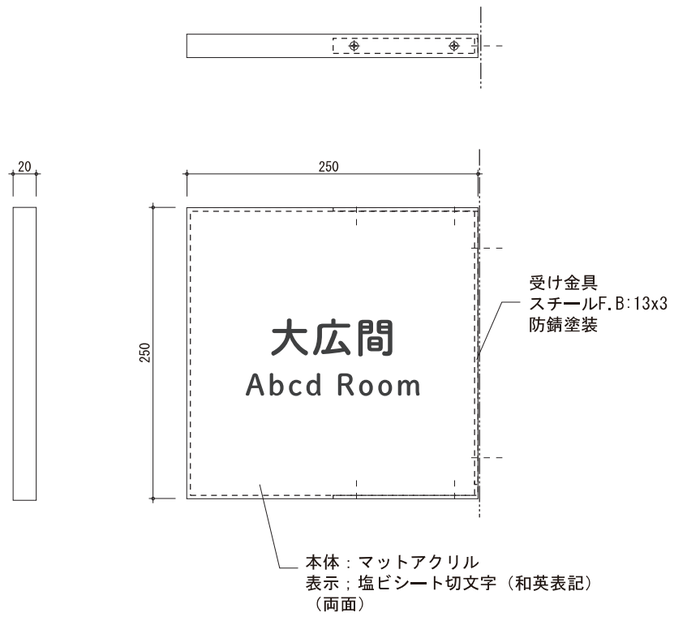




※表記内容は監督員との協議によること

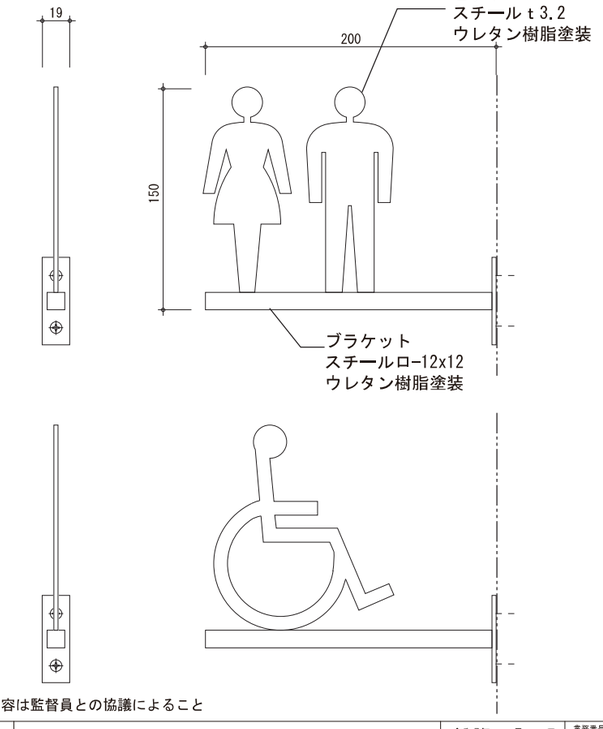
A1=S:1/2　A3=S:1/4

S-5 室名サイン（突出し）　7ヶ所　A1=S:1/2.5　A3=S:1/5



※表記内容は監督員との協議によること

S-6 ピクトサイン（突出し）　6ヶ所　A1=S:1/2　A3=S:1/4



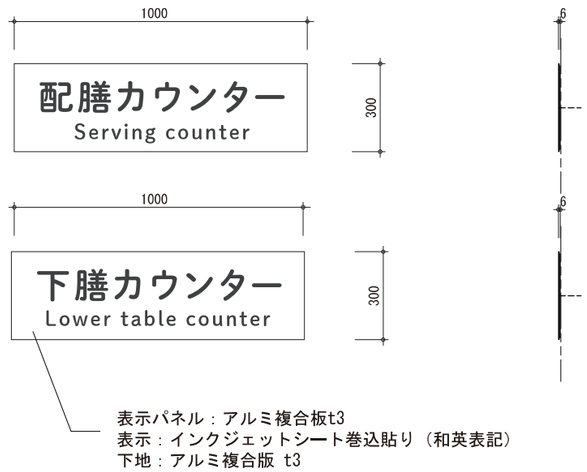
※表記内容は監督員との協議によること

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	サイン詳細図	縮尺 A1 図示 A3 図示	図面番号 A-39

S-7	室名サイン（シート）	20ヶ所	A1=S:1/1　A3=S:1/2

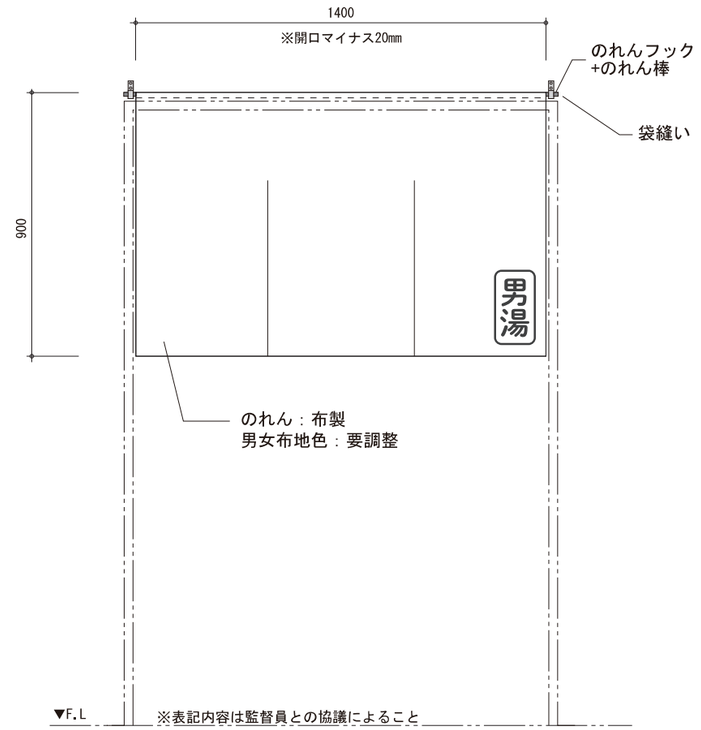
※表記内容は監督員との協議によること

S-8	配膳・下膳サイン	4ヶ所	A1=S:1/10　A3=S:1/20



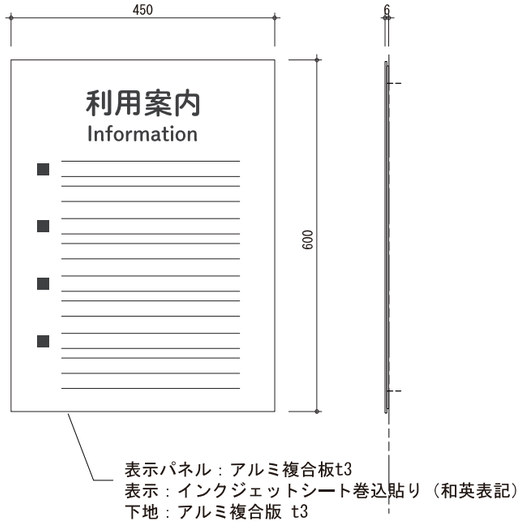
※表記内容は監督員との協議によること

S-9	のれん	2ヶ所	A1=S:1/10　A3=S:1/20



※表記内容は監督員との協議によること

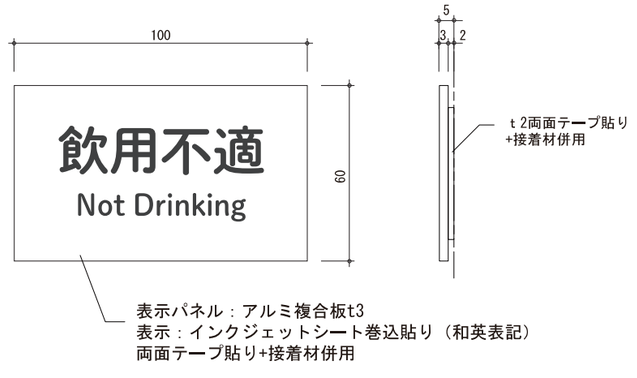
S-10	利用・マナー案内サイン	2ヶ所	A1=S:1/5　A3=S:1/10



※表記内容は監督員との協議によること

S-11			

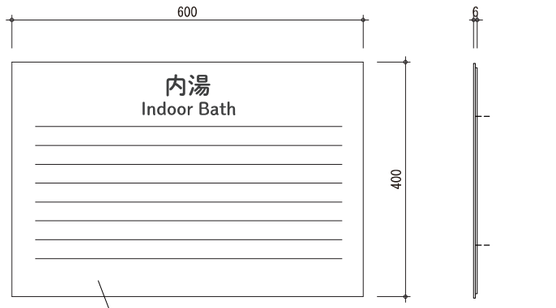
S-12	飲用不適サイン	18ヶ所	A1=S:1/1　A3=S:1/2



※表記内容は監督員との協議によること

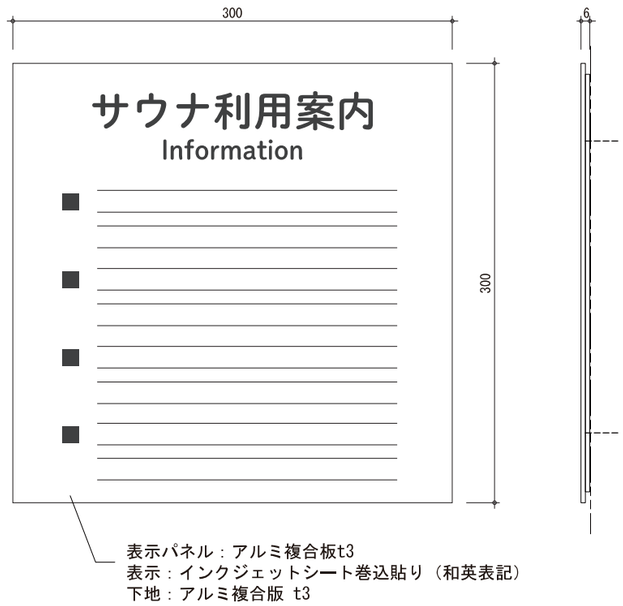
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	サイン詳細図	縮尺	A1 図示 A3 図示		図面番号 A-40

S-13	浴槽名サイン	6ヶ所	A1=S:1/5　A3=S:1/10



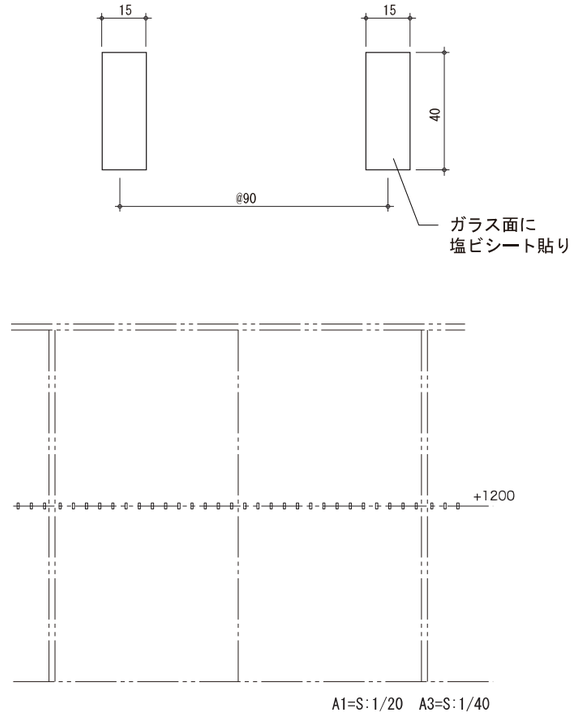
※表記内容は監督員との協議によること

S-14	サウナ利用案内サイン	2ヶ所	A1=S:1/2　A3=S:1/4



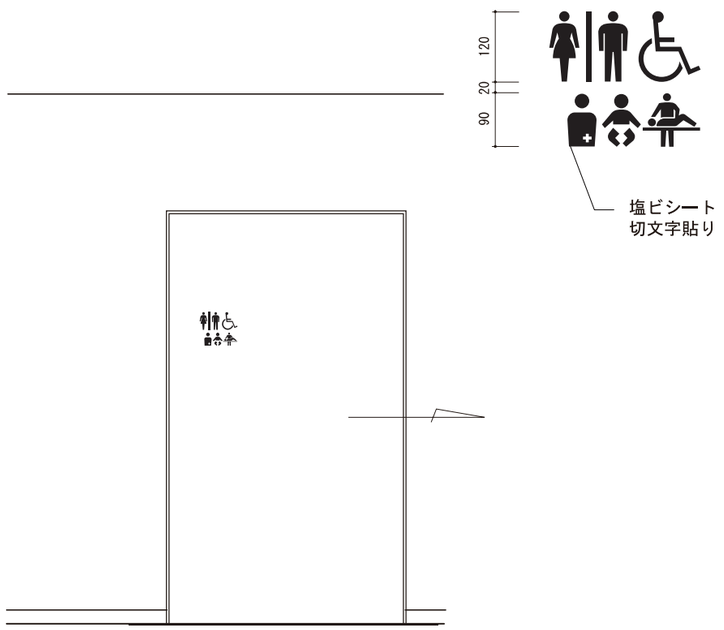
※表記内容は監督員との協議によること

S-15	衝突防止サイン	70.9 m	A1=S:1/1　A3=S:1/2



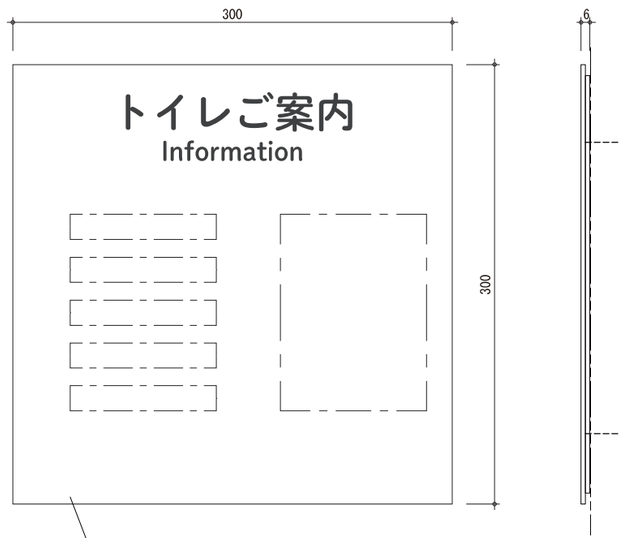
※表記内容は監督員との協議によること

S-16	多機能便所案内サイン	1ヶ所	A1=S:1/20,S:1/5　A3=S:1/40,S:1/10



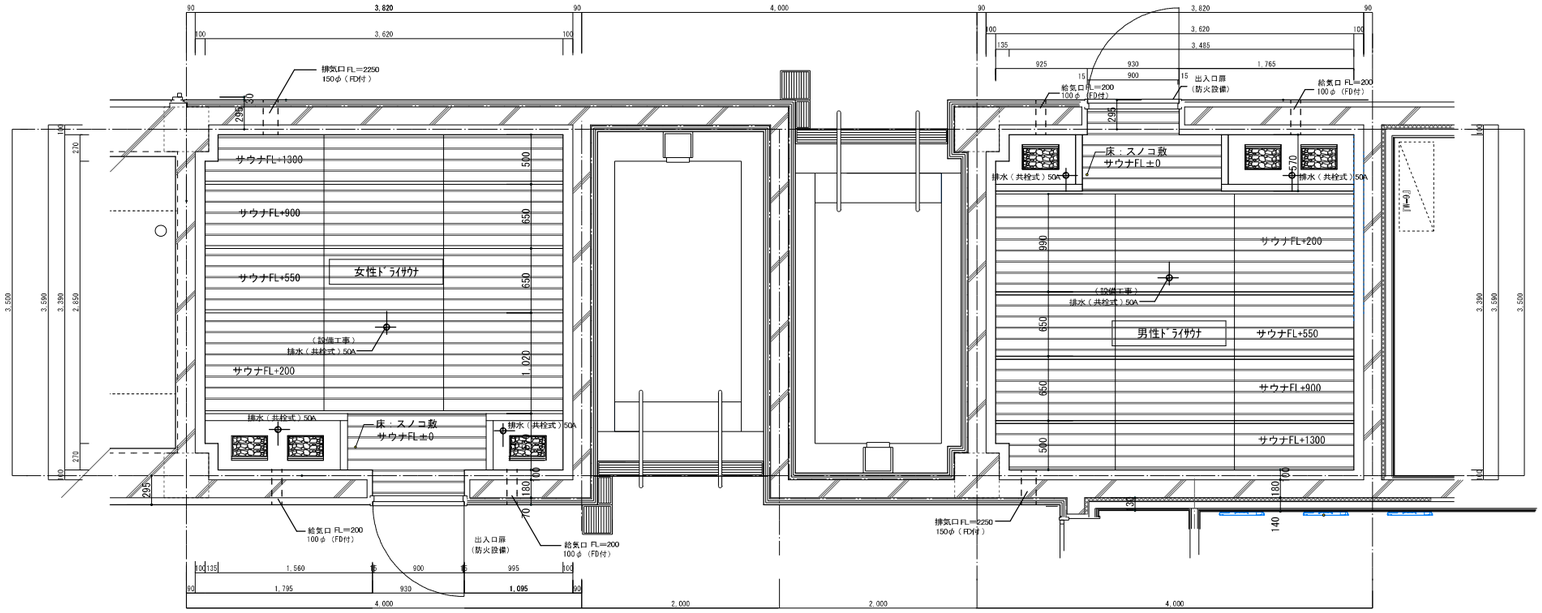
※表記内容は監督員との協議によること

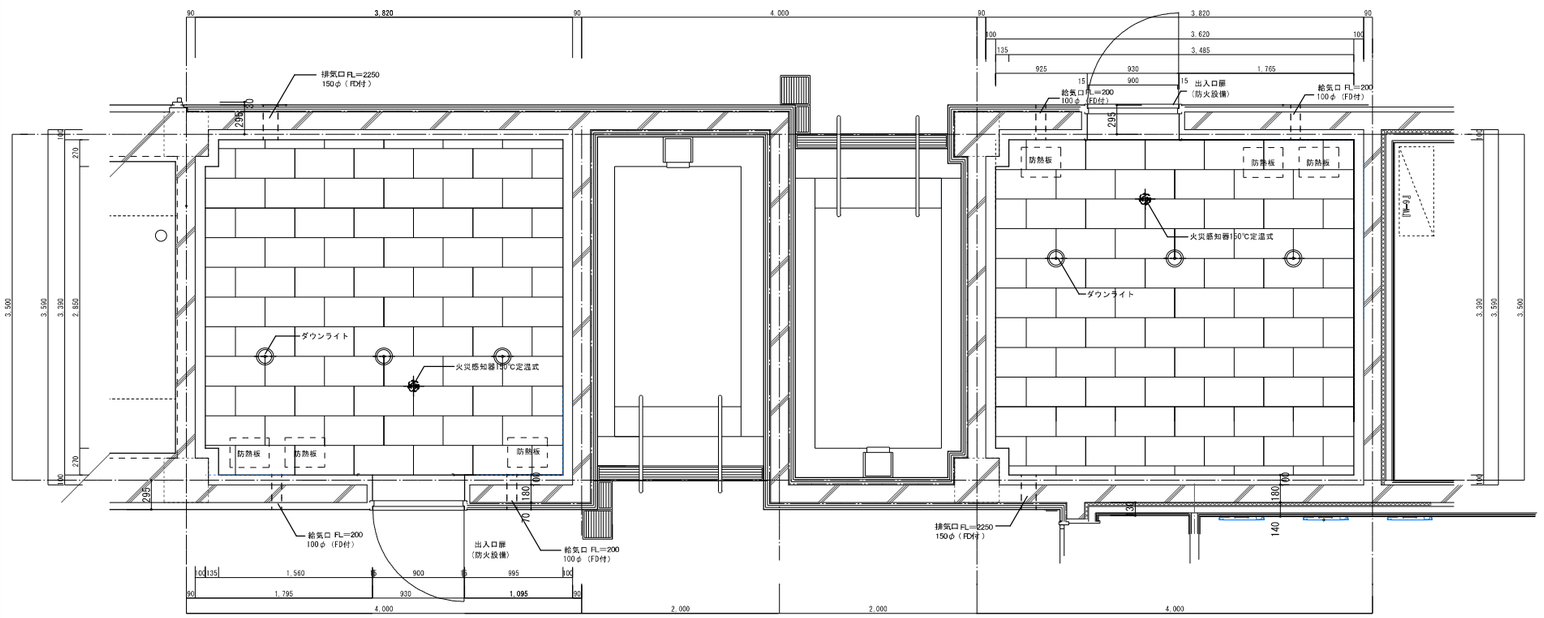
S-17	便所レイアウト表示点字付サイン	3ヶ所	A1=S:1/2　A3=S:1/4



※表記内容は監督員との協議によること

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	サイン詳細図	縮尺　A1 図示 A3 図示		図面番号 A-41



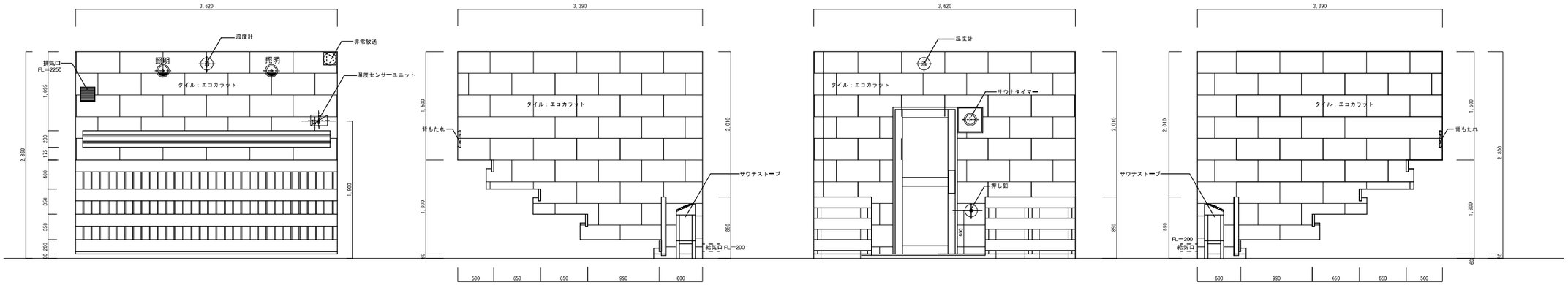


サウナ 仕上表

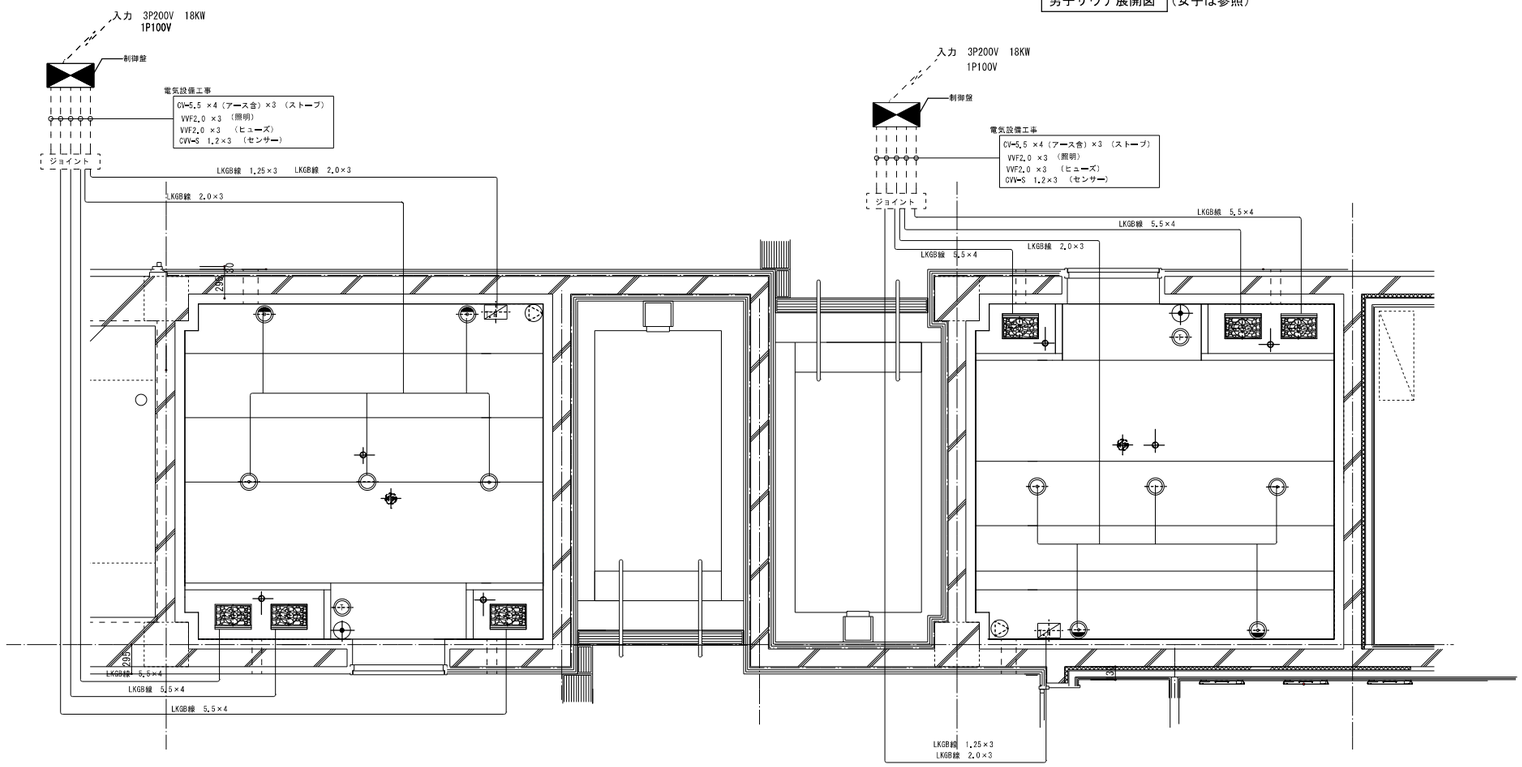
名称	仕上げ・仕様		サウナ工事	建築工事
床	均しモルタル、アスファルト防水、保護モルタル(了)50、タイル貼り			○
	檜無地上小スノコ敷		○	
	床排水 50A排水兼用掃除口(目皿付)			1次衛生機械設備工事
壁	躯体（RC、防水、上記LGS+ラスパート+モルタル(了)30、LGS内はロックウール充填			○
	断熱サウナパネル（40mm+30mm） 仕上げ：タイル貼り		○	
天井	ｽﾗﾌﾞ下ウレタン吹付(了)50 吊りボルト@910			○
	断熱サウナパネル（40mm+30mm） 仕上げ：岩綿吸音板		○	
ストーブ区画	床：均しモルタル、アスファルト防水、保護モルタル(了)30、貼り			○
	壁：タイル貼り		○	○
	天井：ｽﾗﾌﾞ下ウレタン吹付(了)50、 吊りボルト			○
	天井：断熱材(了)40、野縁、岩綿吸音板12、塗装		○	
ストーブガード	木胴縁、笠木：檜 55角		○	
	ストーブ側：ケイカル板 t=12貼		○	
	天井面防護用遮熱板		○	
防熱板	SUSﾌｯｸ吊 ※天井下地に固定する事		○	
ベンチ	座面：檜 t=18（目透し 10mm）脱着式	※木ﾋﾞｽはJIS規格品 SUS304を使用する事	○	
	肘込：檜 t=15（目透し 10mm）		○	
	木製架台,SUS製アジャスター付		○	
	※座面は使用時は固定されﾊﾝﾁﾅｽ時には容易に外せる構造とすること。			
背もたれ	ひのき板		○	
	※壁仕上げ内に固定用の下地を入れて固定すること。			
見切り・廻縁	檜		○	
給気口	スリーブ φ130 開口			○
	SUS管：φ100（区画貫通処理共）			1次衛生機械設備工事
	SUSレジスター φ100,FD(120℃)付（浴室側）			1次衛生機械設備工事
	SUSガラリ100φ(サウナ側)		○	
排気口	スリーブ φ180 開口			○
	SUS管：φ150（区画貫通処理共）			1次衛生機械設備工事
	SUSレジスター φ150,FD(120℃)付（浴室側）			1次衛生機械設備工事
	木製ガラリ 200角（サウナ側）		○	
出入口扉（防火設備）	枠:SUS			○
	扉:SUS框扉			○
	把手(浴室側) 丁番:オートヒンジ（日東工器）※ストップ機構なし			○
	サウナ側廻縁:檜 押板(サウナ室側):檜 t=20 150×300		○	
FIXｻｯｼ(外部側)				
（防火設備）				

※注1）タイル・石貼りの接着にはエポキシ変形長接着剤を使用し、
メーカーのマニュアルに従った工法で施工する事。
※注2）ブリックタイル・レンガタイル貼りの目地にはセメント系目地剤を使用し、
メーカーのマニュアルに従った工法で施工する事。
※注3）ヒーター廻り・埋電球廻りなど、火災の恐れが有るものは、必要な離隔を取る事。
※注4）電気器具等、感電の危険が有るものは、感電防止の為、
アースを取るなどの措置をとる事（内線規定による）。
※注5）サウナ室内に金属製分が出ている場合は木貼りにする事。
金属が直接肌に触れないように保護措置をとる事。
※注6）サウナ室及びサウナ室前室の、天井裏には他の用途に供するダクト、
ガス管及び電線等が貫通していない事。
※注7）設計に関しては南極観察室作との事前協議の後示による事。
※注8）外部に面する壁・天井・床には、防露工事（建築工事）をする事。
※注9）1次側とサウナ側の給水の取り合い部分は、防水工事（建築工事）をする事。
※注10）内装仕上材、下地材、断熱材、
建築材はホルムアルデヒドの規制対象外の製品を使用する事。
※注11）照明器具を取り付ける位置には、下地に補強下地等を入れ、ビス等で埋没に固定する事。
※注12）サウナ工事管理者は内装が決定したのち、
各仕上材メーカーの推奨する施工方法を確認し、指示する事。
※注13）サウナ工事管理者は竣工完了後、
決められた手順に則って工事されているかどうか検査する事。
※注14）サウナジョイントボックスの管端部は断熱材＋パテ埋め処理の事

	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日	業務番号 257031
	図面名 ドライサウナ詳細図-1	縮尺	A1 1:30 A3 1:60	計画 製作 調査 調査	図面番号 A-42



男子サウナ展開図（女子は参照）



電気工事

客室サウナ 機器表

記号	名 称	仕 様	数	備 考
	サウナストーブ	3φ200V-6kW	6	アンカーにて固定のこと 香化石付 サウナ工事
	センサユニット	ﾄﾞﾗｲｻｳﾅ用 PT100Ω 測定範囲：0 180℃ 温度ｽｲｯﾁ：144℃±2deg	2	壁 サウナ工事
	ブラケットライト40W		4	ベンチ、背もたれ
	ダウンライト		6	サウナ天井
	温度計：STW-C-300	150℃ 300φ	4	設置位置：サウナ壁 サウナ工事
	サウナタイマー	12分計	2	設置位置：サウナ壁 サウナ工事
	制御盤	ELB付 表示灯：LED 操作 電源入力 1φ100V 電源入力 3φ200V 15kW×2	2	設置位置：SK(脱衣室側) 電源入力、取付：1次側 電気設備工事
	非常放送		2	1次側 電気設備工事
	非常用押し釦	EK-50	2	1次側 電気設備工事
	火災感知器150℃定温式	定温式スポット型感知器１種150℃防水型	2	1次側 電気設備工事

	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
	図面名 ドライサウナ詳細図-2	縮尺	A1 1:30 A3 1:60		図面番号 A-43

造作家具特記仕様書

1　製品

ⅰ）製品の製作は木目・色味を含む表面材の均一性を確保する為、全て1社で製作が出来、神奈川県産材のトレーサビリティを明らかにする為、製材から突板取り・組立・塗装・納入・設置及びメンテナンス・追加家具等を自社で一貫生産出来る工場であること。
ⅱ）自社で合板の製作技術を持ち、特に成形接着設備として加熱機械（高周波発振機・低電圧加熱・マイクロ波等）成形接着用プレス機械（大型多方面油圧プレス等）を所有かつ多くの実績、経験があること。
ⅲ）品質管理の基準として、ＩＳＯ９００１：２０１５認証取得工場とする。※認定書の写しを提出する。

2　材料

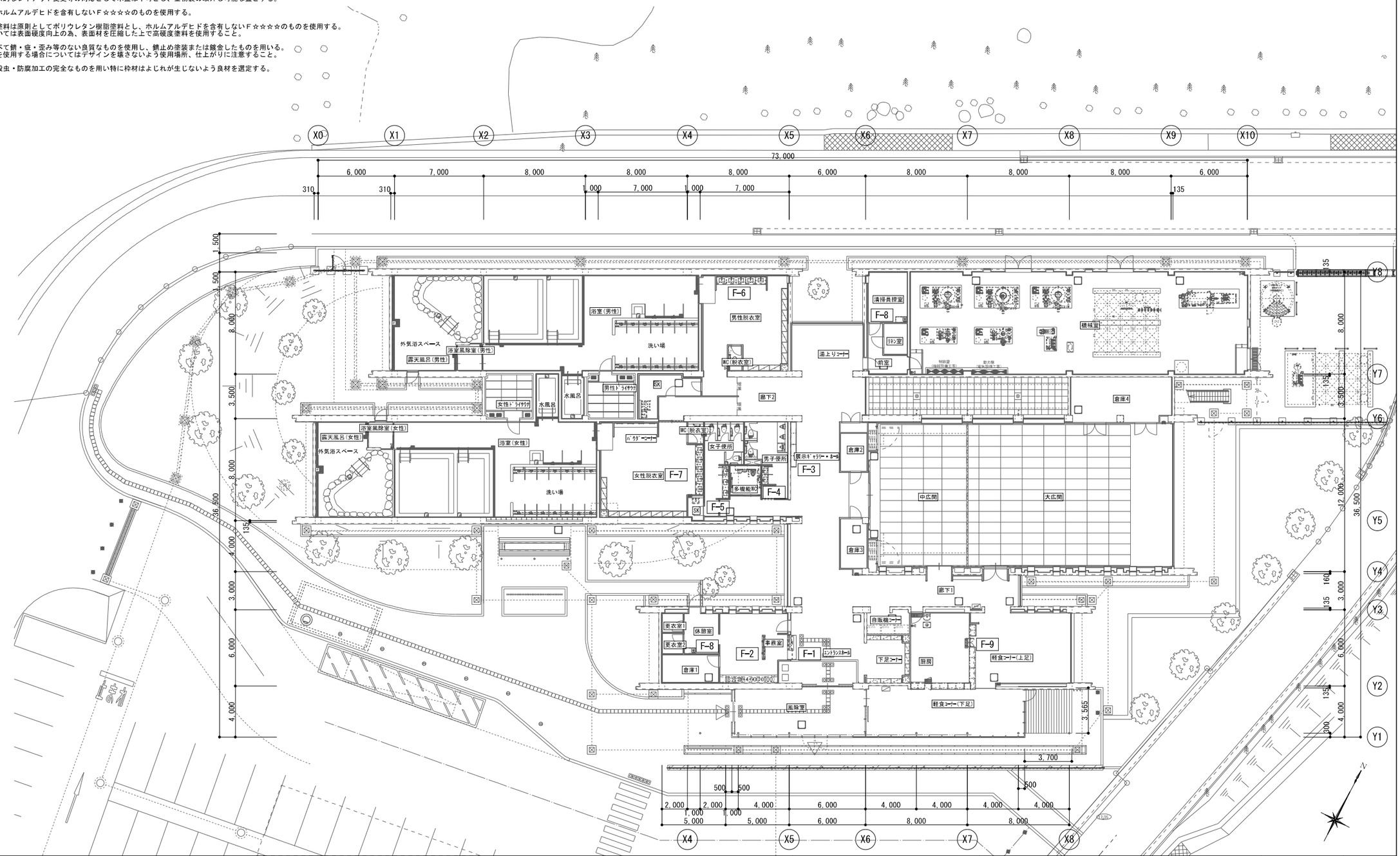
a. 表面材
表面材は神奈川県産の針葉樹または広葉樹材を使用し、産地証明書のコピーを提出のこと。
ポリ合板/メラミン化粧板を使用している製品は国内メーカーの指定された柄のものを使用すること。
b. 化粧合板
化粧合板は表面材硬度向上の為、５０%～７０%圧縮した表面材をMDF合板に縁付けし、クラッキング防止として不織布貼りとする。
c. 挽板（縁材）
木口などに用いる挽板については、本体に圧密材用いたものは同材を積層させたものを使用し、
ポリ合板を使用しているものは同柄のメラミン化粧板を用いる。
d. 合板
合板はJASタイプⅠを用いる。見隠れ部においても、節・疵があってはならない。
e. ロールコア芯
芯材は甲板類は９mm以上、他は4mmまたは５，５mm以上の合板を両面に圧縮してタイコ組とする。
芯材以外の部分は凹み・歪みの防止かつ衝撃対策としてロールコアを使用する。
f. 連結部品
締付強度向上の為、ワッシャーは三日月型を使用し、プレートタイプは不可とする。
また、将来的なレイアウト変更等の対応として木盖は不可とし、金物製の取外し可能な蓋とする。
g. 接着剤
接着剤はホルムアルデヒドを含有しないＦ☆☆☆☆のものを使用する。
h. 塗料
使用する塗料は原則としてポリウレタン樹脂塗料とし、ホルムアルデヒドを含有しないＦ☆☆☆☆のものを使用する。
天板については表面硬度向上の為、表面材を圧縮した上で高硬度塗料を使用すること。
i. 金物
材料はすべて錆・疵・歪み等のない良質なものを使用し、錆止め塗装または鍍金したものを用いる。
補強金物を使用する場合についてはデザインを壊さないよう使用場所、仕上がりに注意すること。
j. その他
芯材は、殺虫・防腐加工の完全なものを用い特に枠材はよじれが生じないよう良材を選定する。

3　工法

a. 木取
図面により、組み上がりの目通りを考え、材料の不良個所を除き、木目・色合いなどを揃える。
b. 加工・組立
各部材の接合部は、原寸施工図により特に正確に加工し、組立は一旦仮組の上、目違いなどの手直しを行った後、接着剤を用いて木組を行う。
強度の必要な個所については、ほぞ組とする。強固に差し込み、深さは材厚の２/３程度とし、
接着剤のはみ出しは速やかに払拭する。
組立の必要な箇所には木ねじを用い、釘を使用してはならない。
c. 塗装
木下地を充分に点検した後に調整し、指定する塗装材料を用いて、甲板の仕上げは目止め、それ以外は目ハジキとする。
工程に関しては、打衝座耗からの保護をする考えから素地調整、下塗り３回、中塗り６回、上塗り３回以上とし、
塗色は指定色（生地系）とする。
建物と調和の取れた塗色かを確認する為、事前にサンプルを提出のこと。
d. その他
床面へ取り付けるもの、連続して並べるものは、調査し必要な実測を行い、
不陸等を考慮した上で作業を行うこと。

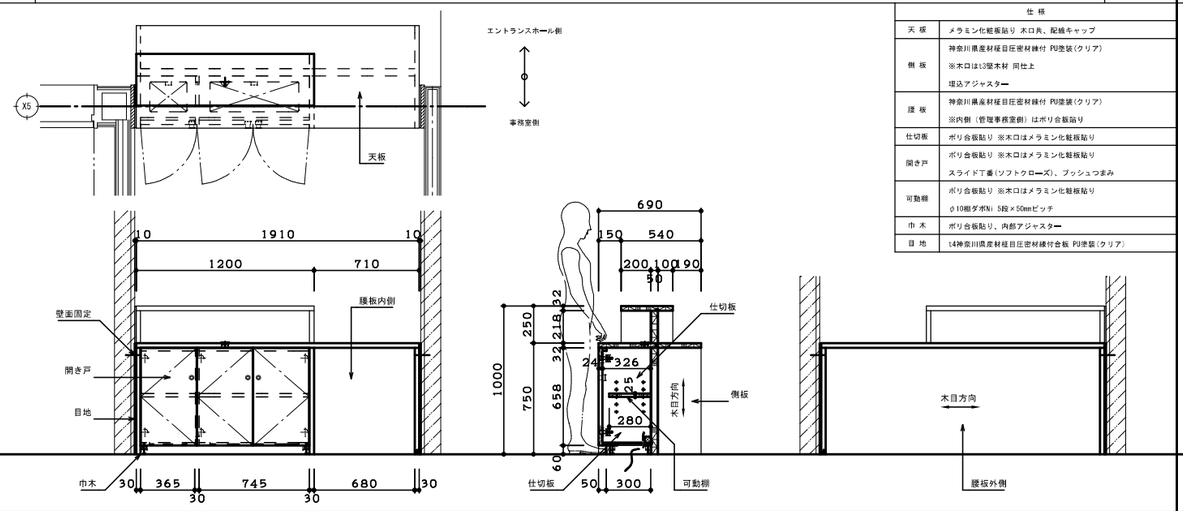
造作家具リスト

凡例	名称	数量
F-1	受付カウンター	1
F-2	事務作業カウンター	1
F-3	展示ギャラリー	1
F-4	洗面カウンター	1
F-5	洗面カウンター	1
F-6	洗面カウンター	1
F-7	洗面カウンター	1
F-8	ミニキッチン	2
F-9	受渡しカウンター・下膳棚	1



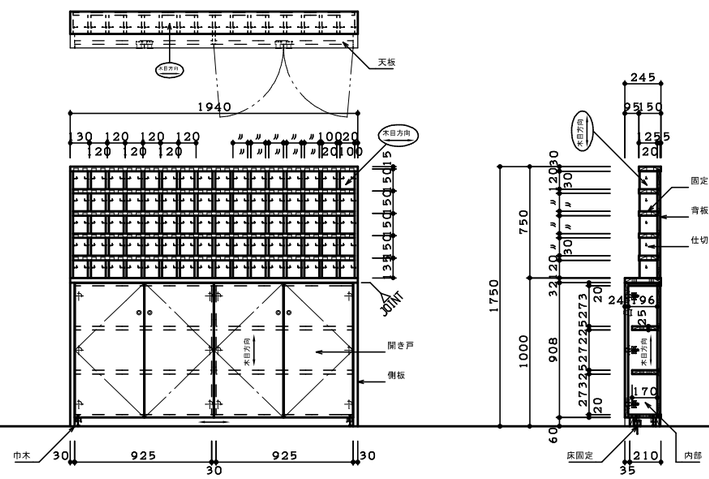
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	造作家具キープラン	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号 A-44

F－1　事務室：受付カウンター　1台



仕様	
天板	メラミン化粧板貼り 木口共、配線キャップ
側板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) ※木口は3翌木材 同仕上 埋込アジャスター
腰板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) ※内側（管理事務室側）はポリ合板貼り
仕切板	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
開き戸	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り スライド丁番(ソフトクローズ)、プッシュつまみ
可動棚	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り φ10棚ダボN1 5段×50mmピッチ
巾木	ポリ合板貼り、内部アジャスター
目地	t4神奈川県産材荏目圧密材練付合板 PU塗装(クリア)

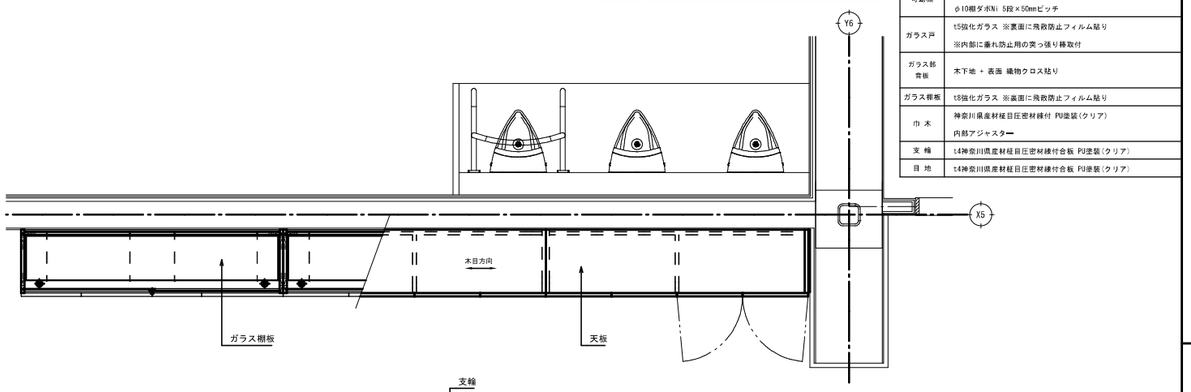
F－2　事務室：事務作業カウンター（カウンター上部鍵収納棚）　1台



仕様（鍵収納棚）	
天板 固定棚	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) ※木口は3翌木材 同仕上 ※各BOXK口面に11アルミ番号プレート2個取付
側板 仕切板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) ※木口は3翌木材 同仕上 ※各BOXに鍵掛けフック2個取付
背板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア)

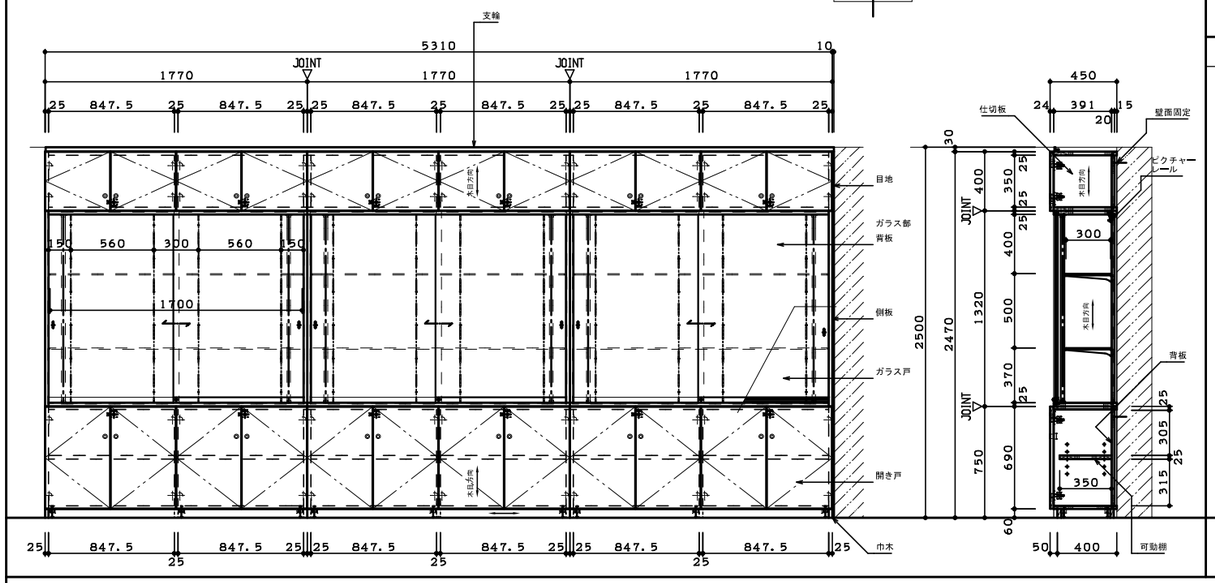
仕様（事務作業カウンター）	
天板	メラミン化粧板貼り 木口共
側板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) ※木口は3翌木材 同仕上
内部	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) ※木口は同材突板貼り 同仕上
背板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア)
開き戸	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) ※木口は同材突板貼り 同仕上 スライド丁番(ソフトクローズ)、プッシュつまみ付
巾木	t4神奈川県産材荏目圧密材練付合板 PU塗装(クリア) 内部アジャスター

F－3　展示ギャラリー：展示ケース　1台

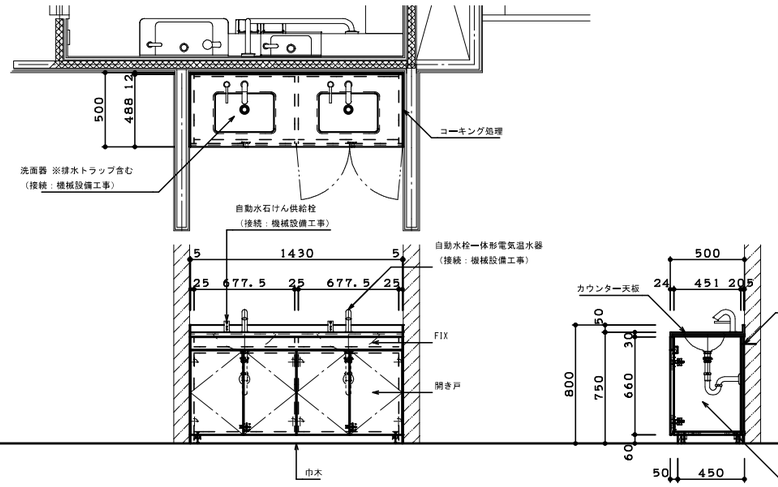


仕様	
天板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) ※木口は3翌木材 同仕上
側板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) ※木口は3翌木材 同仕上
仕切板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア)

仕様	
背板	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア)
開き戸	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) スライド丁番(ソフトクローズ) 両開き扉用面付シリンダー錠、プッシュつまみ
可動棚	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) φ10棚ダボN1 5段×50mmピッチ
ガラス戸	t5強化ガラス ※裏面に飛散防止フィルム貼り ※内部に嵌れ防止用の突っ張り棒取付
ガラス部背板	木下地 + 表面 繊物クロス貼り
ガラス棚板	t8強化ガラス ※裏面に飛散防止フィルム貼り
巾木	神奈川県産材荏目圧密材練付 PU塗装(クリア) 内部アジャスター
支輪	t4神奈川県産材荏目圧密材練付合板 PU塗装(クリア)
目地	t4神奈川県産材荏目圧密材練付合板 PU塗装(クリア)

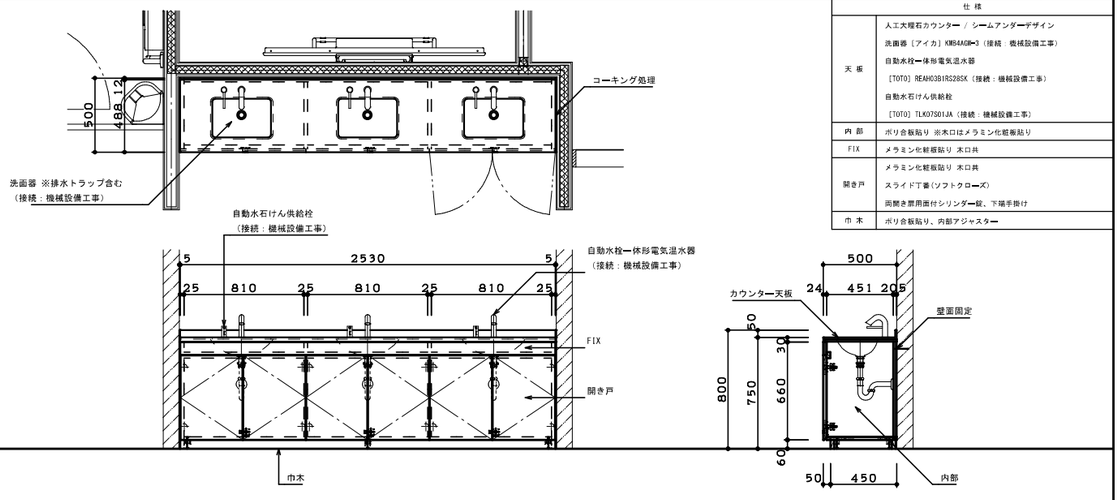


F－4　男子便所：洗面カウンター　1台



仕様	
天板	人工大理石カウンター / シームアンダーデザイン 洗面器【アイカ】KMB4AGM-3（接続：機械設備工事） 自動水栓ー体形電気温水器 【TOTO】REAM03B1RS28SX（接続：機械設備工事） 自動水石けん供給栓 【TOTO】TLK07501JA（接続：機械設備工事）
内部	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
FIX	メラミン化粧板貼り 木口共
開き戸	メラミン化粧板貼り 木口共 スライド丁番(ソフトクローズ) 両開き扉用面付シリンダー錠、下端手掛け
巾木	ポリ合板貼り、内部アジャスター

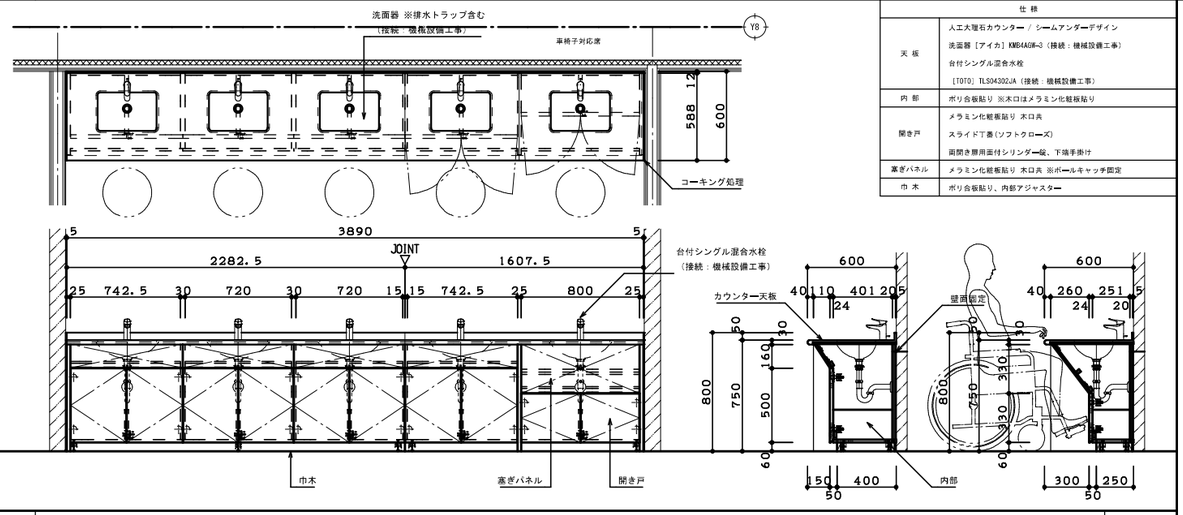
F－5　女子便所：洗面カウンター　1台



仕様	
天板	人工大理石カウンター / シームアンダーデザイン 洗面器【アイカ】KMB4AGM-3（接続：機械設備工事） 自動水栓ー体形電気温水器 【TOTO】REAM03B1RS28SX（接続：機械設備工事） 自動水石けん供給栓 【TOTO】TLK07501JA（接続：機械設備工事）
内部	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
FIX	メラミン化粧板貼り 木口共
開き戸	メラミン化粧板貼り 木口共 スライド丁番(ソフトクローズ) 両開き扉用面付シリンダー錠、下端手掛け
巾木	ポリ合板貼り、内部アジャスター

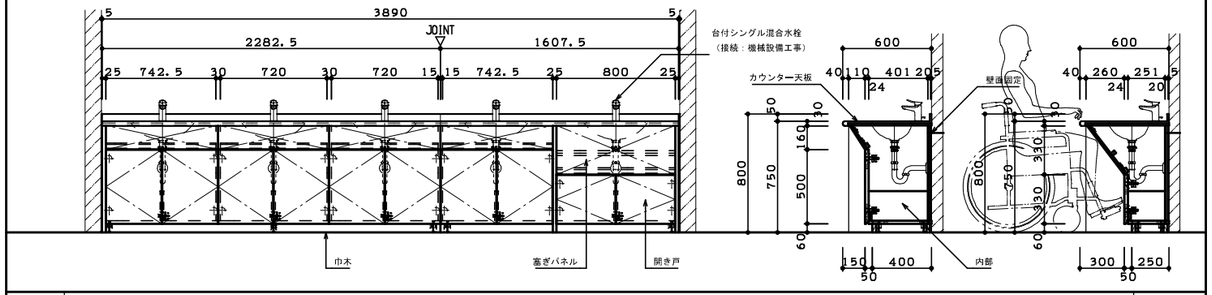
工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名　造作家具詳細図-1	縮尺 A1 1:20 A3 1:40	計画　製作　調査　調査	図面番号 A-45

F－6　男性脱衣室：洗面カウンター（車椅子対応）　1式



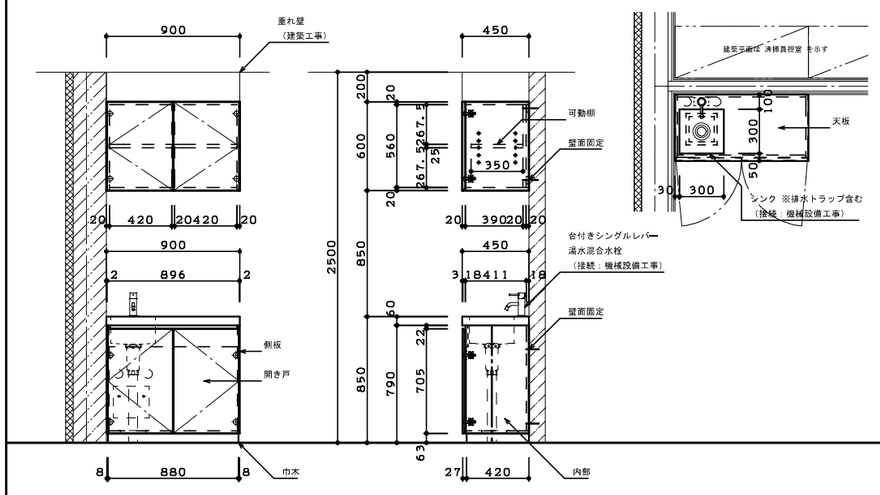
仕様	
天板	人工大理石カウンター／シームアンダーデザイン 洗面器［アイカ］KM64A6W-3（接続：機械設備工事） 台付シングル混合水栓 ［TOTO］TLS04302JA（接続：機械設備工事）
内部	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
開き戸	メラミン化粧板貼り 木口共 スライド丁番（ソフトクローズ） 面開き扉用面付シリンダー錠、下端手掛け
幕ぎパネル	メラミン化粧板貼り 木口共 ※ボールキャッチ固定
巾木	ポリ合板貼り、内部アジャスター

F－7　女性脱衣室：洗面カウンター（車椅子対応）　1式



仕様	
天板	人工大理石カウンター／シームアンダーデザイン 洗面器［アイカ］KM64A6W-3（接続：機械設備工事） 台付シングル混合水栓 ［TOTO］TLS04302JA（接続：機械設備工事）
内部	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
開き戸	メラミン化粧板貼り 木口共 スライド丁番（ソフトクローズ） 面開き扉用面付シリンダー錠、下端手掛け
幕ぎパネル	メラミン化粧板貼り 木口共 ※ボールキャッチ固定
巾木	ポリ合板貼り、内部アジャスター

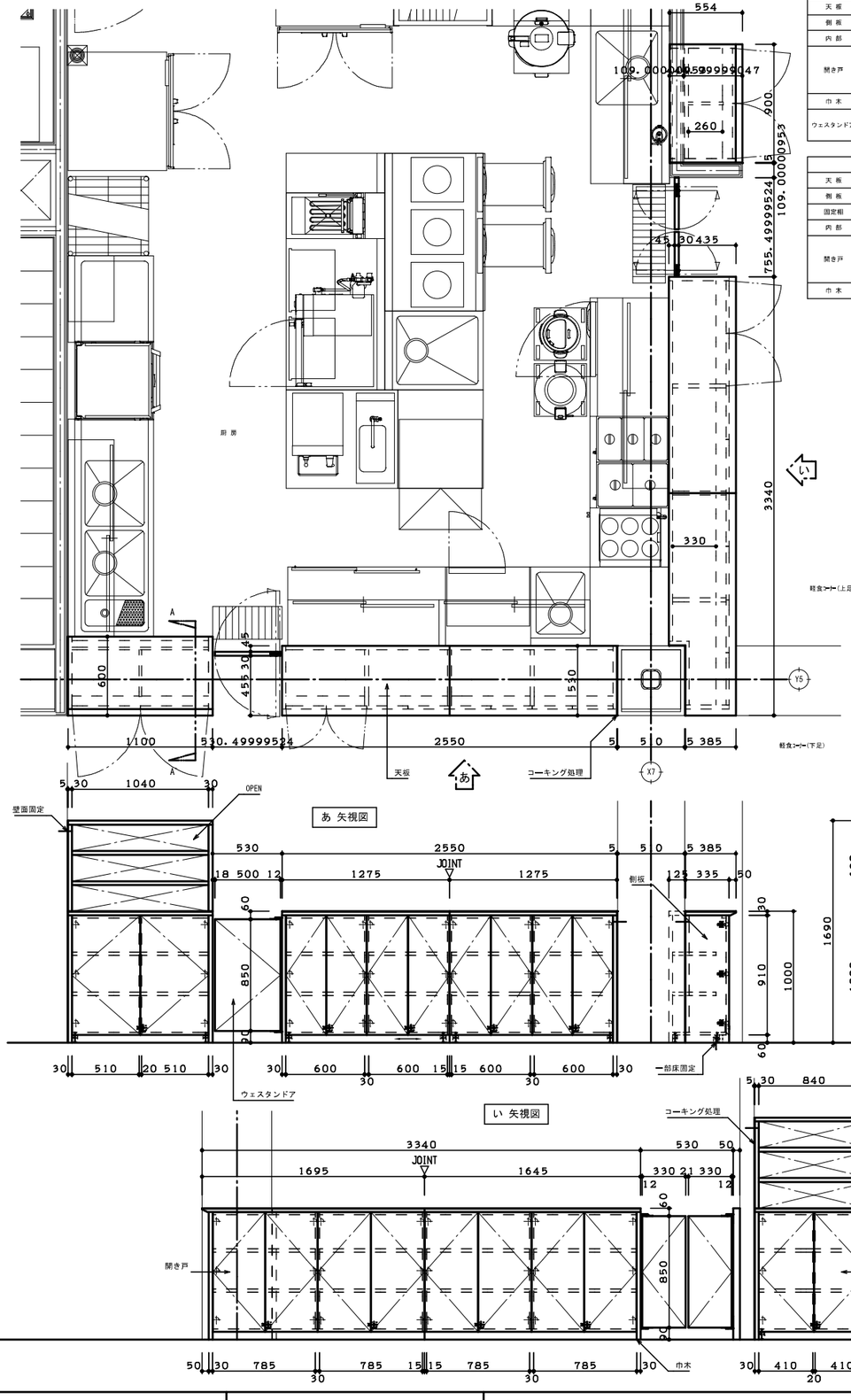
F－8　休憩室・清掃員控室：ミニキッチン・吊り戸棚　2台



仕様（ミニキッチン）	
天板	ステンレス製（SUS304）※シンクも同仕様 台付きシングルレバー湯水混合水栓 【ミラタップ】MPK0001N（接続：機械設備工事）
側板	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
内部	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
開き戸	メラミン化粧板貼り 木口共 スライド丁番（ソフトクローズ）、上端手掛け
巾木	ステンレス貼り（SUS430）

仕様（吊り戸棚）	
側板	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
内部	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
可動棚	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り φ10樹ダボNi 5段×50mmピッチ
開き戸	メラミン化粧板貼り 木口共 スライド丁番（ソフトクローズ）、下端手掛け

F－9　厨房・軽食コーナー：受渡しカウンター（ウェスタンドア付）・下諸棚　1式



仕様（受渡しカウンター）	
天板	メラミン化粧板貼り 木口共
側板	メラミン化粧板貼り 木口共
内部	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
開き戸	メラミン化粧板貼り 木口共 スライド丁番（ソフトクローズ） 面開き扉用面付シリンダー錠、下端手掛け
巾木	ポリ合板貼り、内部アジャスター
ウェスタンドア	メラミン化粧板貼り 木口共 グラビティヒンジ（センターストップ仕様）

仕様（下諸棚）	
天板	メラミン化粧板貼り 木口共
側板	メラミン化粧板貼り 木口共
固定棚	木下地＋表面ステンレス貼り
内部	ポリ合板貼り ※木口はメラミン化粧板貼り
開き戸	メラミン化粧板貼り 木口共 スライド丁番（ソフトクローズ） 面開き扉用面付シリンダー錠、下端手掛け
巾木	ポリ合板貼り、内部アジャスター

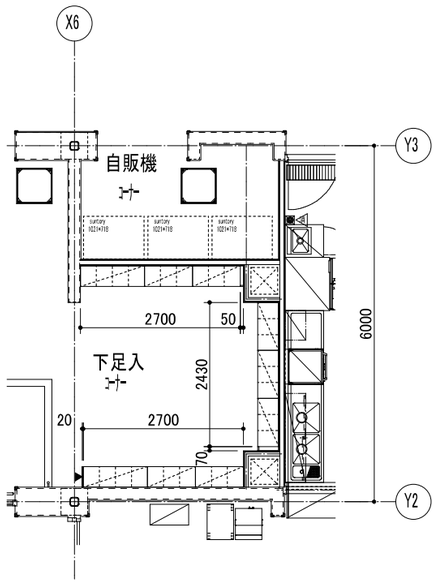
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	造作家具詳細図-2	縮尺 A1 1:20 A3 1:40	図面番号 A-46
		計画　製作　調査　調査	

＜男性用脱衣室（60ロ）＞

図形	名称・サイズ	数量
	2列3段ロッカー H1800×W840×D455mm	10台
	メラミンエンドパネル H1800×W455×t 20mm	1枚
	フィラー MDF t20	2箇所

＜女性用脱衣室（60ロ）＞

図形	名称・サイズ	数量
	2列3段ロッカー H1800×W840×D455mm	10台
	メラミンエンドパネル H1800×W455×t 20mm	1枚
	フィラー MDF t20	2箇所



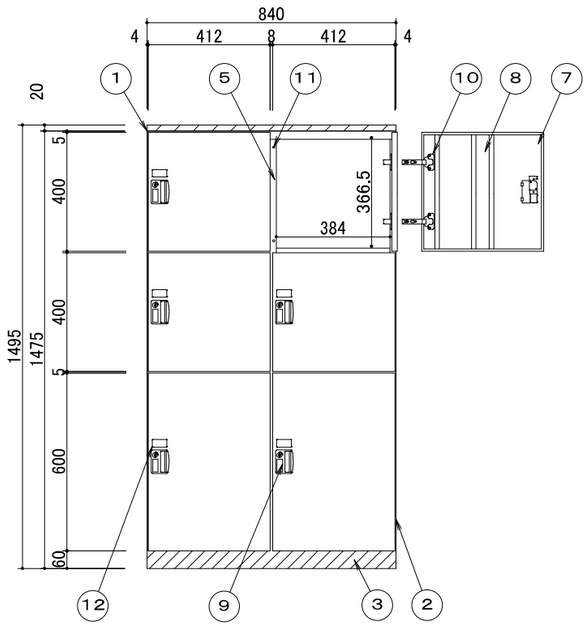
＜下足入コーナー（232ロ）＞

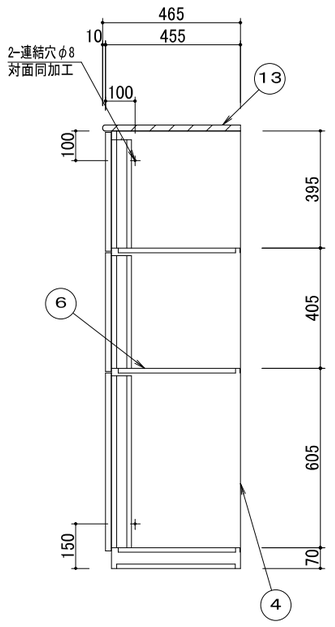
図形	名称・サイズ	数量
	4列8段窓付シューズケース H1800×W1080×D350mm	2台
	3列8段窓付シューズケース H1800×W 810×D350mm	7台
	メラミンエンドパネル H1800×W 350×t 20mm	1枚
	フィラー MDF t20	2箇所

※記載のメーカー・品番は同等品とする

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	ロッカー・シューズケースキープラン	縮尺	A1 1：50 A3 1：100		図面番号 A-47

脱衣室　２列３段ロッカー



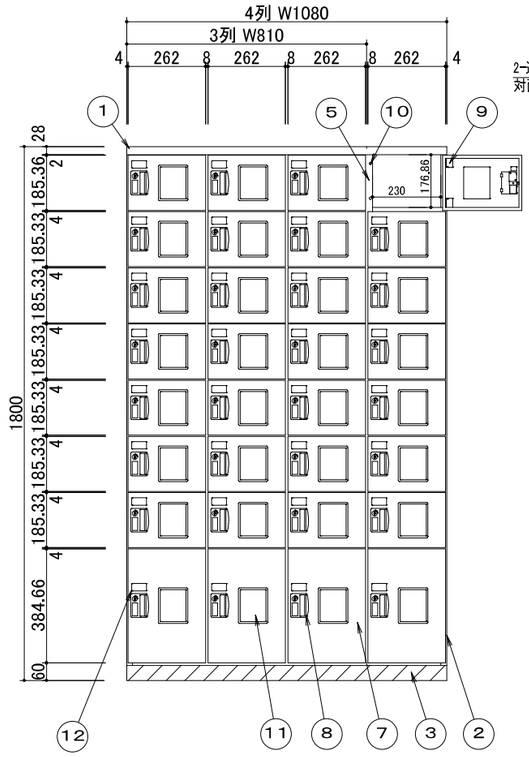


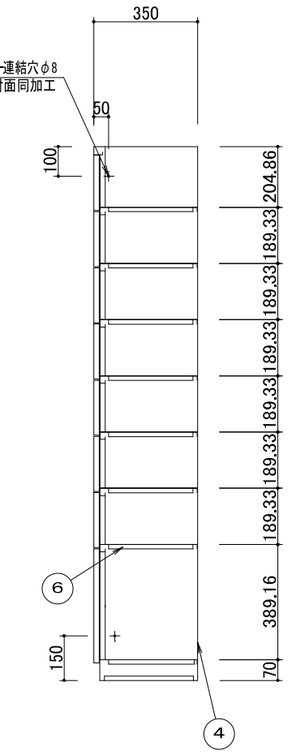
木目シート：抗菌仕様（リアテック TC同等品）
塗装：塗装添加型抗菌剤を含む塗料を使用した粉体焼付塗装

番号	部品名	本当り数量	材質	備考
20				
19				
18				
17				
16				
15				
14				
13	化粧天板	—	メラミン化粧板	ポストフォーム 1／2R
12	番号札	6	合成樹脂シール	光沢ポリイング 25×50
11	戸当りゴム	12	PVC	
10	スライドピンジ	12	———	キャッチ有 キャッチ無
9	取手	6	合成樹脂	戸当兼用ビンジー MX錠 カマ
8	扉補強	12	SECC 0.6t	
7	扉	6	SECC 0.8t	木目シート貼
6	横中仕切板	4	SECC 0.8t	
5	縦中仕切板	1	SECC 0.8t	
4	裏板	1	SECC 0.8t	
3	底板	1	SECC 0.8t	木目シート貼
2	側板	2	SECC 0.8t	
1	天板	1	SECC 0.8t	

塗装	別記載	塗装色	本体：KC—808同等品 扉：木目シート貼
数量	20台	製品	

下足コーナー　３列・４列８段窓付シューズケース





・数量
3列：7台
4列：2台

・化粧シート：リアテック TC同等品

※部品表は4列の数量です

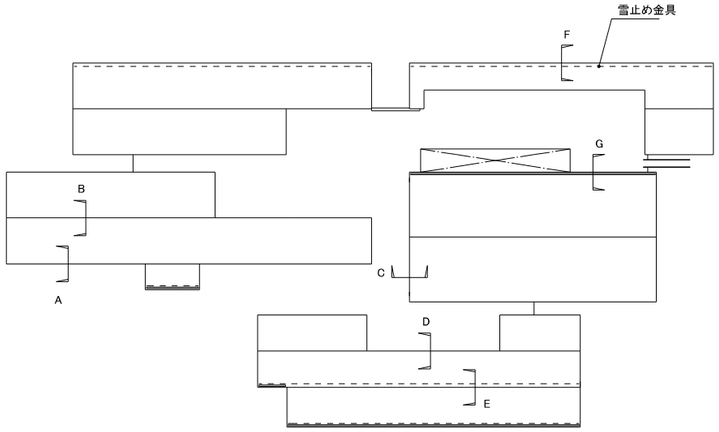
番号	部品名	本当り数量	材質	備考
20				
19				
18				
17				
16				
15				
14				
13				
12	番号札	32	合成樹脂シール	光沢ポリイング 25×50
11	透かし窓	32	ポリカーボネート	ウインドー小 120×100
10	戸当りゴム	64	PVC	
9	ヒンジ	—	———	
8	取手	32	合成樹脂	戸当兼用ビンジー MX錠
7	扉	32	SPCC 0.8t	化粧シート貼
6	横中仕切板	28	SPCC 0.8t	
5	縦中仕切板	3	SPCC 0.8t	
4	裏板	1	SPCC 0.7t	
3	底板	1	SPCC 0.8t	化粧シート貼
2	側板	2	SPCC 0.8t	
1	天板	1	SPCC 0.8t	

塗装	粉体焼付塗装	塗装色	本体：KC—807同等品 扉：化粧シート貼
数量	別記載	製品記号	

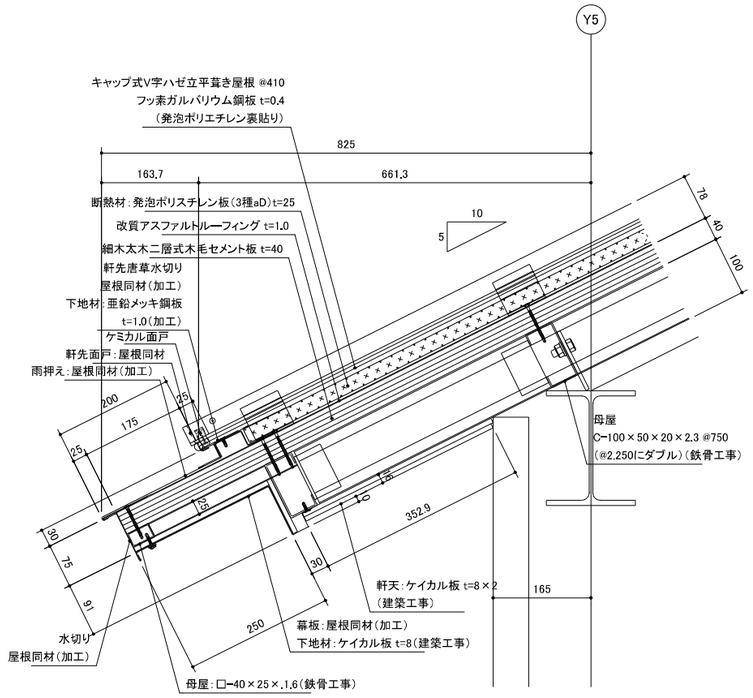
※記載のメーカー・品番は同等品とする

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	ロッカー・シューズケース詳細図	縮尺	A1 1:10 A3 1:20		図面番号 A—48

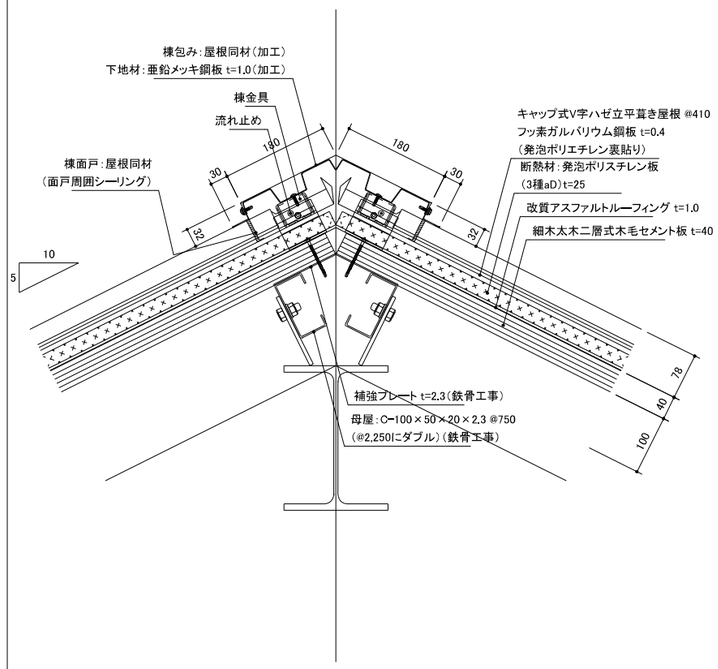
キープラン



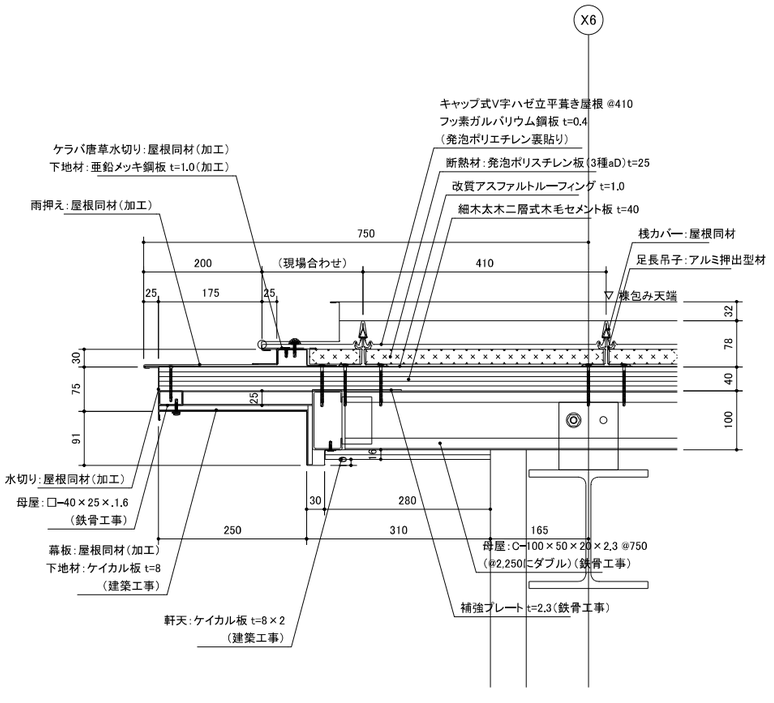
A:軒先断面図(雪止め金具なし)



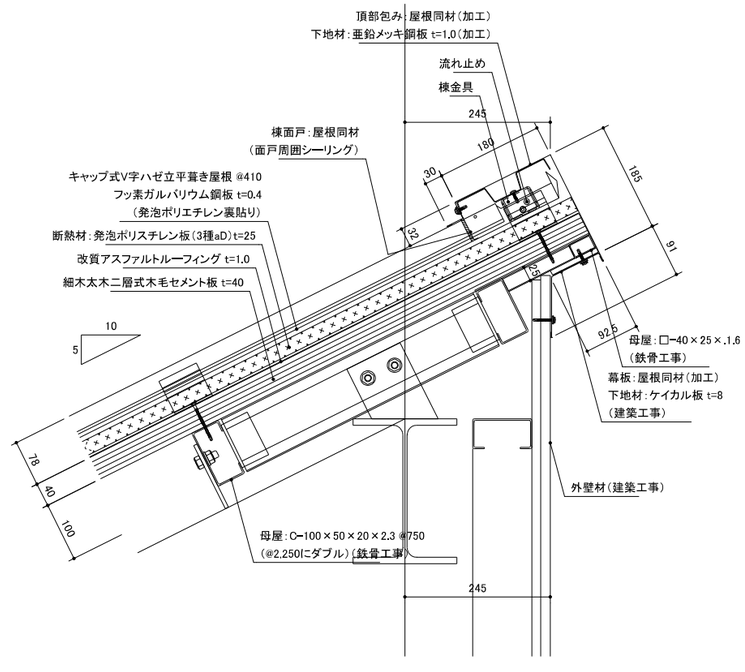
B:棟断面図



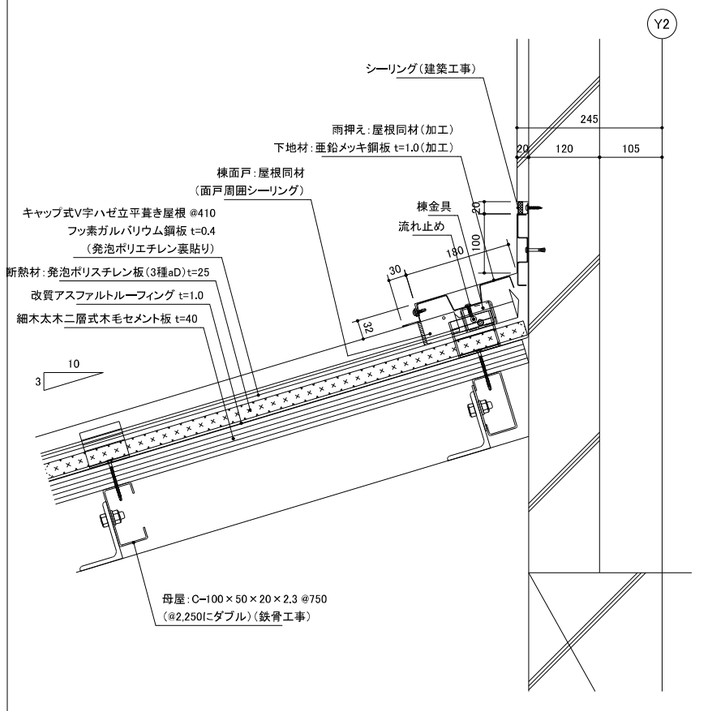
C:ケラバ断面図



D:頂部断面図

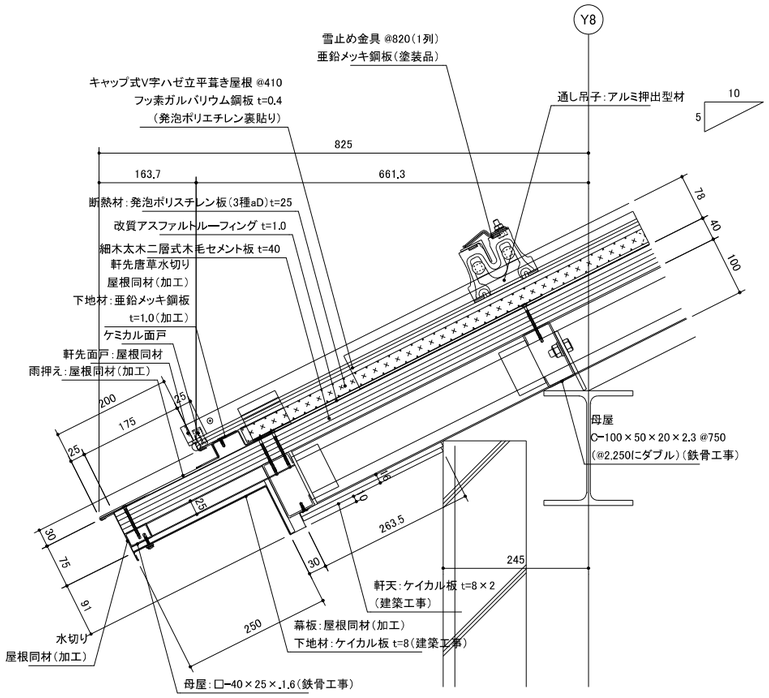


E:壁立上り断面図

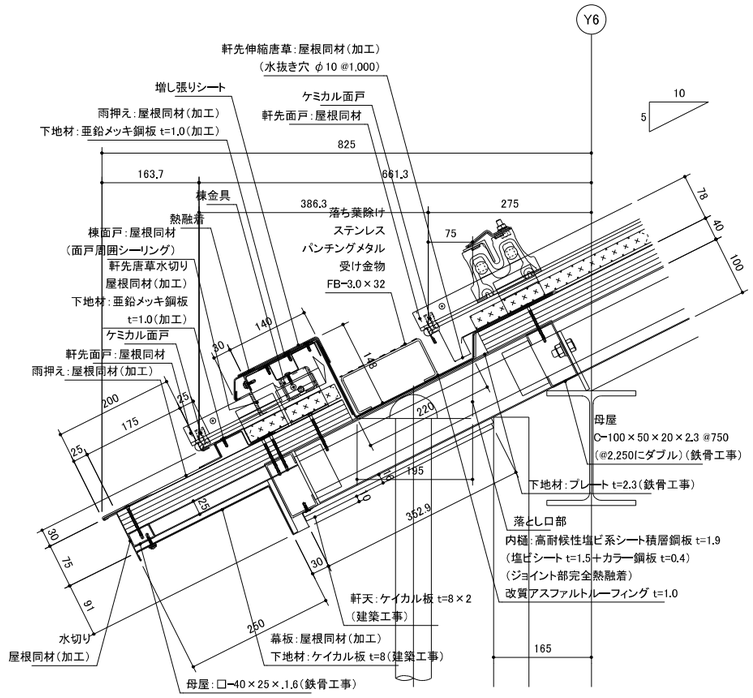


工事名	(仮称) 地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	金属屋根詳細図-1	縮尺	A1 1:5 A3 1:10		図面番号 A-49

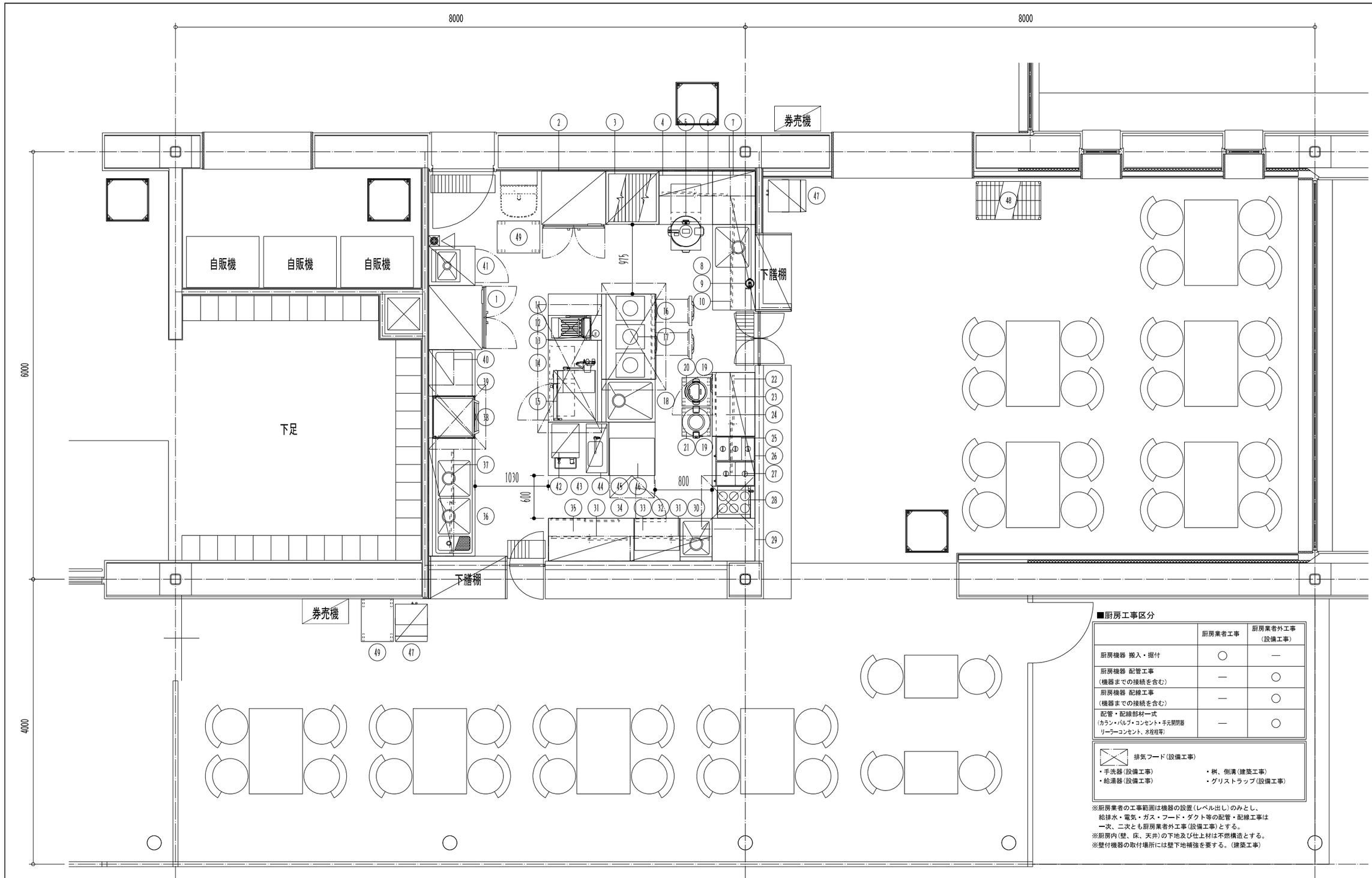
F：軒先断面図（雪止め金具あり）



G：軒先断面図（内樋部）



	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査
	図面名　金属屋根詳細図-2　縮尺　A1 1:5 A3 1:10	業務番号 257031 図面番号 A-50



■厨房工事区分

	厨房業者工事	厨房業者外工事（設備工事）
厨房機器 搬入・据付	○	—
厨房機器 配管工事（機器までの接続を含む）	—	○
厨房機器 配線工事（機器までの接続を含む）	—	○
配管・配線部材一式（カラン・バルブ・コンセント・手元開閉器 リーラーコンセント、水栓柱等）	—	○

排気フード（設備工事）

- 手洗器（設備工事）
- 給湯器（設備工事）
- 樹、側溝（建築工事）
- グリストラップ（設備工事）

※厨房業者の工事範囲は機器の設置（レベル出し）のみとし、給排水・電気・ガス・フード・ダクト等の配管・配線工事は一次、二次とも厨房業者外工事（設備工事）とする。
※厨房内（壁、床、天井）の下地及び仕上材は不燃構造とする。
※壁付機器の取付場所には壁下地補強を要する。（建築工事）

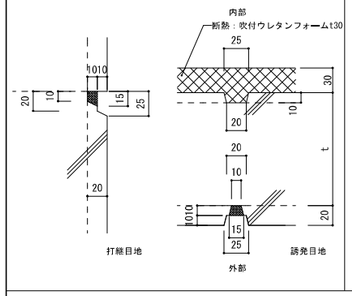
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査	業務番号 257031
図面名	厨房機器配置図	縮尺	A1 1:25 A3 1:50		図面番号 A-51

品番	名称	規格仕様	外形寸法(m/m) 間口	奥行	高さ	数量	給排水 給水(A)	給湯(A)	排水(A)	ピット	ガス(都市ガス) 口径(A)	消費量	電気(kW) 単相100V	単相200V	三相200V	蒸気 給気(A)	排気(A)	消費量(kg/h)	フード	備考
1	冷凍庫	HF-90B-ML	900	800	1970	1			40				0.398							定格内容積160L SUSアジャストH=150
2	冷蔵庫	HR-90B-ML	900	800	1970	1			40				0.286							定格内容積151L SUSアジャストH=150
3	パンラック		750	750	1800	1														
4	炊飯台		750	750	850	1														
5	IH炊飯ジャー	NH-GEA54	430	500	410	1									4.670					炊飯容量(5.4L)
6	平棚付吊戸棚		1350	350	1000	1														コーナータイプ
7	作業台		600	750	850	1														
8	台付一槽シンク		1200	600	850	1	浄水15 15	15	40											
9	浄水器	NFX-LC	φ104		303	1														ろ過流量:5.0L/分
10	平棚付吊戸棚		1600	350	1000	1														
11	作業台		300	750	850	1														
12	電気フライヤー	CF3-E13	350	600	850	1									4.500				Ⓖ	油量13L
13	バックスペーサー		350	150		1														
14	引出付作業台		1150	750	850	1														
15	スチームコンベクションオーブン	CSI3A-E5R	700	640	865	1	15		25						5.500				Ⓖ	左コントローラ ホテルパン2/3 5段
16	ドロワー冷蔵庫	RTL-1200DCG	1200	750	550	1			40				0.328							定格内容積90L
17	電磁調理器	C1H-127-555C	1200	750	300	1									15.000				Ⓖ	5.0kW×3
18	一槽シンク		600	750	850	1	15	15	40											
19	ジャー置移動台		400	400	600	2														天板四方20ミリ立上
20	マイコンスープジャー	TH-CU08D	365	315	375	1							0.210							容量8.0L
21	電子ジャー	THS-C60A	460	380	320	1							0.077							ステンレス 保温容量3.3升(6.0L)
22	吊戸棚		1450	350	600	1														
23	テーブル形冷蔵庫	RT-90SNA-R	900	600	850	1			40				0.205							定格内容積151L SUSアジャストH=150
24	天板		900	600	40	1														
25	電気卓上ウォーマー	TEW-B	350	550	260	1							0.900							
26	ウォーマー架台		700	600	590	1														
27	電気卓上ウォーマー	TEW-C	350	550	260	1							0.900							
28	ゆで麺器	CW-E4560	450	600	850	1	15		25						9.000				○	
29	作業台		600	600	850	1														
30	一槽シンク		450	600	850	1	15	15	40											
31	吊戸棚		1150	350	600	2														
32	テーブル形冷凍庫	FT-63PTE1	630	450	850	1			40				0.125							定格内容積87L SUSアジャストH=150
33	天板		650	600	40	1														
34	テーブル形冷蔵ショーケース	RTS-120SND	1200	600	850	1							0.149							定格内容積270L SUSアジャストH=150
35	天板		1200	600	40	1														
36	ソイルドテーブル		1650	650	850	1	15×3	15×2	40×3											
37	水切棚付吊戸棚		(1500)	350	1000	1														
38	食器洗浄機	A500-ED5	600	600	1400	1		15	40						6.000				○	正面肥手 給湯条件:55℃以上 扉窓付き
39	クリーンテーブル		650	650	850	1														下部フルラック収納
40	水切棚		(500)	350	2段	1														
41	モップシンク付掃除用具入れ		550	650	1900	1	15		40											
42	ビール&酎ハイディスペンサー	別途品				1	15						0.500							
43	作業台		850	750	850	1														下部三方枠
44	ソフトクリームマシン	NA-9424AE	298	739	924	1	15								1.900					
45	キューブアイスメーカー	IM-65M-2	630	525	800	1	15		40				0.340							貯氷量 約27kg
46	天板		650	750	40	1														
47	ティーディスペンサー	PTG-250HWB-C-BK	450	527	1495	2	15		40				1.210							
48	キャスター付シェルフ	PA1390-4/BS910-4	910	536	1503	1														4段
49	移動台		600	450	850	2														
	設備容量合計											0.00	4.838	0.000	46.470			0.0		

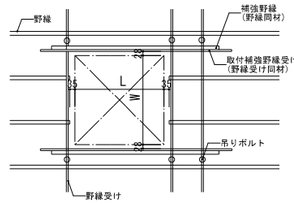
注)設備容量の数値は各1台当たりを示す。　注)付属品として記載のない備品類・収納物は含まない。

	工事名 (仮称)地域交流温浴センター建設工事			令和6年 月 日	業務番号 257031
	図面名 厨房機器表	縮尺	N.S.	計画 製作 調査 調査	図面番号 A-52

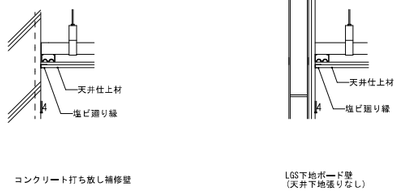
躯体目地　詳細　1/3(A1) 1/6(A3)



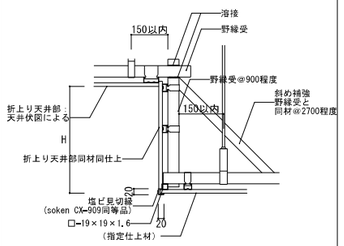
天井開口補強(点検口等)　詳細　1/20(A1) 1/40(A3)



廻り縁　詳細　1/10(A1) 1/20(A3)

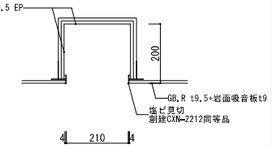


折上げ天井　詳細　1/10(A1) 1/20(A3)

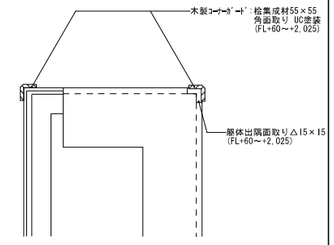


※H寸法は天井伏図による

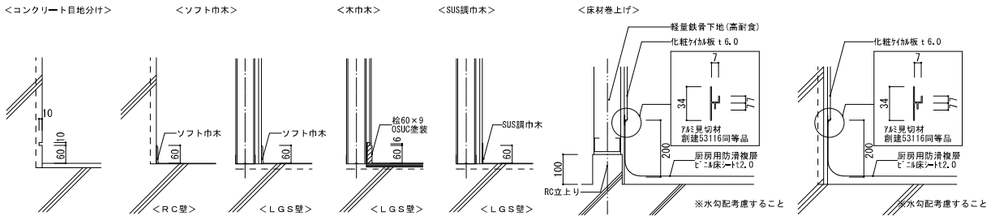
ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ　詳細　1/10(A1) 1/20(A3)



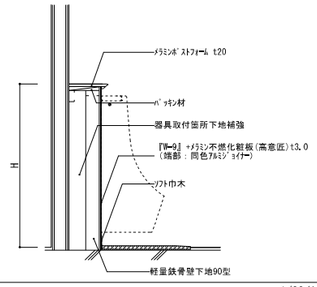
木製 ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ　詳細　1/10(A1) 1/20(A3)



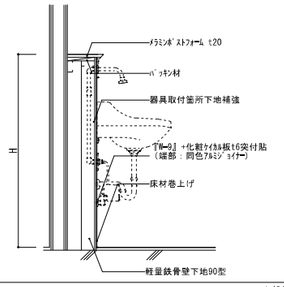
巾木　詳細　1/10(A1) 1/20(A3)



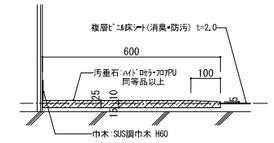
一般部ﾗｲﾆﾝｸﾞ　詳細　1/20(A1) 1/40(A3)



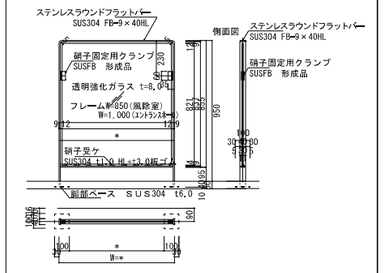
厨房部ﾗｲﾆﾝｸﾞ　詳細　1/20(A1) 1/40(A3)



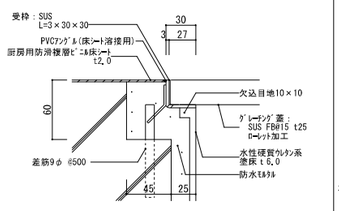
汚垂石　詳細　1/10(A1) 1/20(A3)



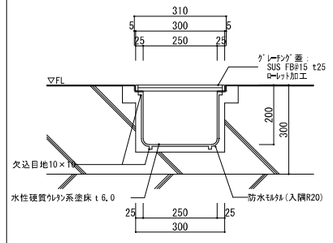
衝突防護柵　詳細　1/20(A1) 1/40(A3)



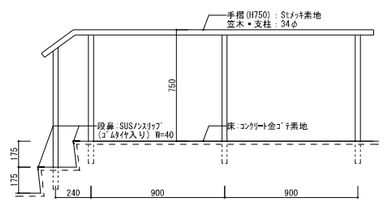
厨房内排水溝(塗床仕上)・排水桝グレーチング枠　詳細　1/3(A1) 1/6(A3)



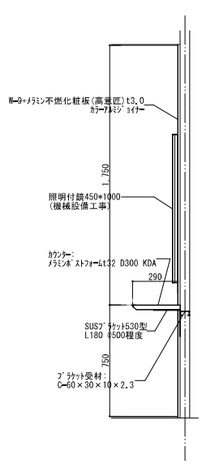
厨房内排水溝　詳細　1/10(A1) 1/20(A3)



機械室　階段手すり詳細　1/20(A1) 1/40(A3)

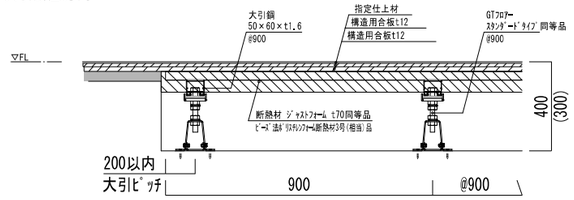


脱衣室　ﾊﾟｳﾀﾞｰｺｰﾅｰｶｳﾝﾀｰ詳細　1/20(A1) 1/40(A3)

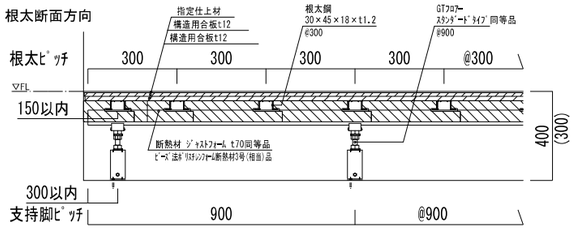


大広間・中広間、軽食ｺｰﾅｰ(下足)　鋼製床下地詳細　1/10(A1) 1/20(A3)

大引断面方向



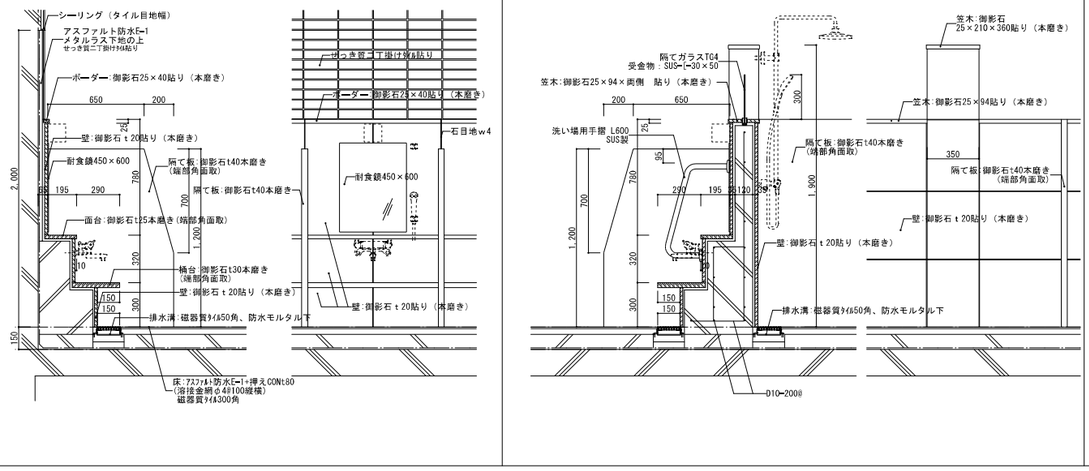
根太断面方向



	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
	図面名　部分詳細図-1	縮尺	A1 図示 A3 図示	計画　製作　調査　調査	図面番号 A-53

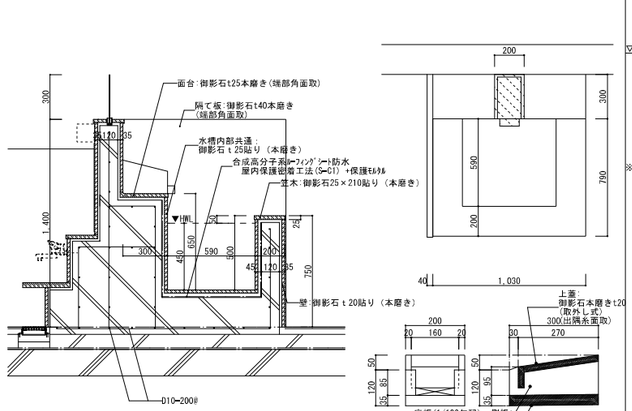
浴室　洗い場詳細

1/20(A1)
1/40(A3)



浴室　掛湯詳細

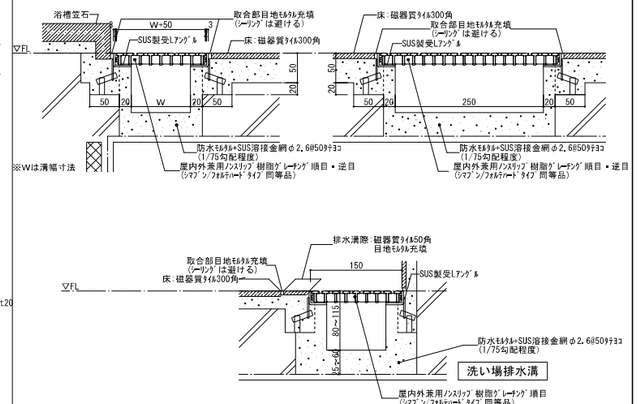
1/20(A1)
1/40(A3)



吐出口詳細　1/10(A1)

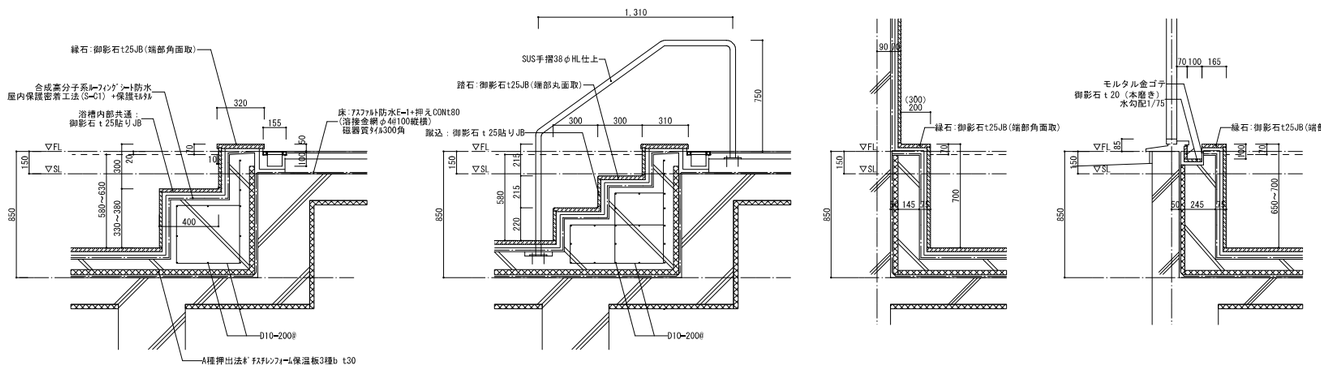
浴室　排水溝詳細

1/5(A1)
1/10(A3)



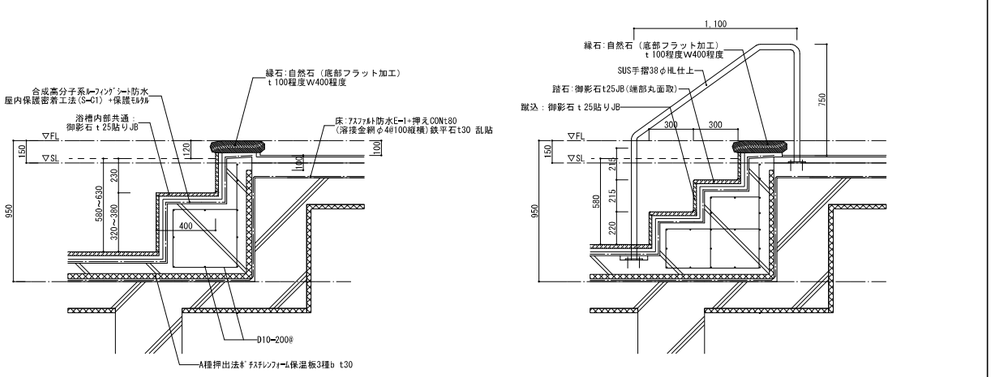
浴槽・浴槽手摺詳細

1/20(A1)
1/40(A3)



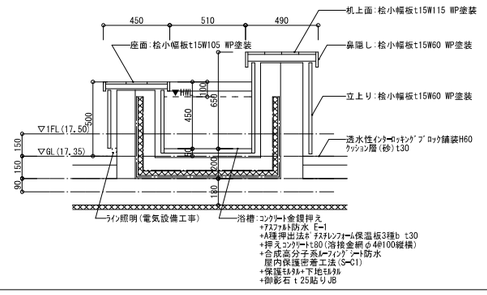
露天風呂浴槽・浴槽手摺詳細

1/20(A1)
1/40(A3)



屋外足湯 詳細

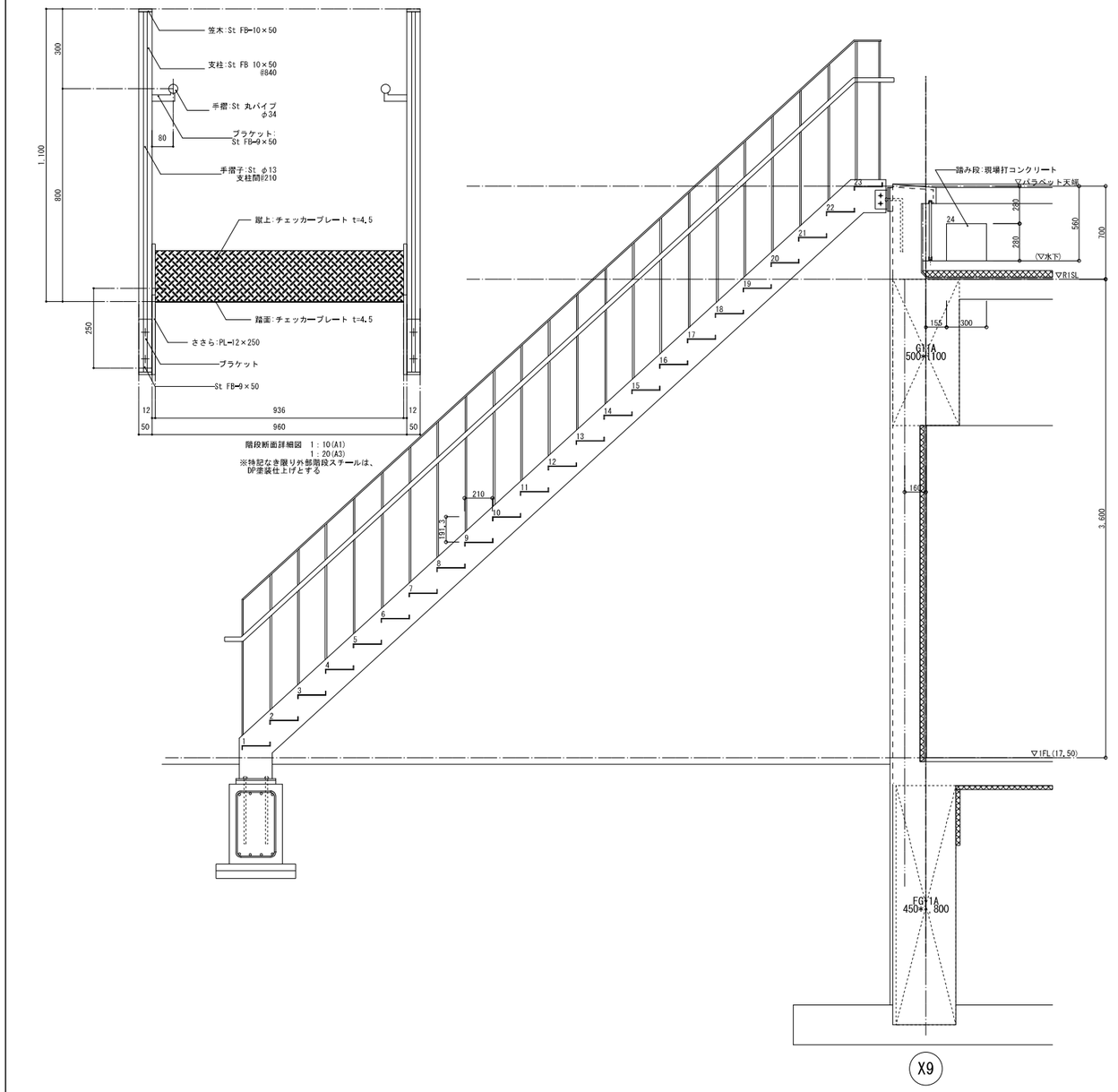
1/20(A1)
1/40(A3)



	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名	部分詳細図-2	縮尺 A1 図示 A3 図示		図面番号 A-54

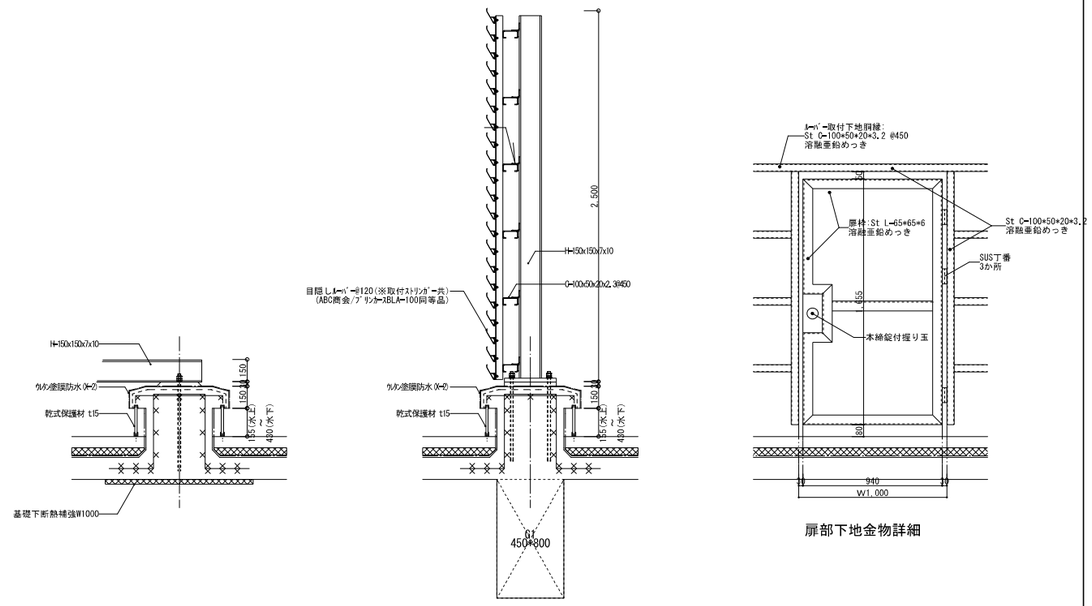
屋外階段詳細

1/20 (A1)
1/40 (A3)



屋上機械基礎・目隠しルーバー 詳細

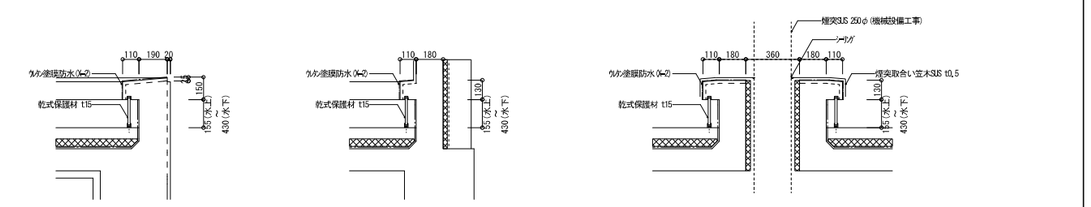
1/20 (A1)
1/40 (A3)



扉部下地金物詳細

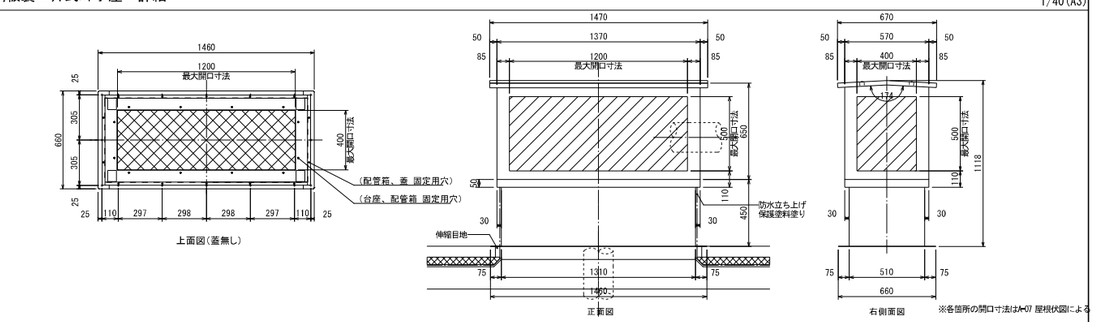
屋上パラペット笠木・壁付笠木・煙突笠木 詳細

1/20 (A1)
1/40 (A3)



屋上鋼板製ﾕﾆｯﾄ式ﾊﾄ小屋 詳細

1/20 (A1)
1/40 (A3)



※各笠所の開口寸法はﾊｳｼﾞﾝｸﾞ屋根伏図による

		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
		図面名	部分詳細図-3	縮尺 A1 図示 A3 図示	図面番号 A-55

記号	色	内容
———	赤	面積区画（耐火構造） 建告第1399号第1ーイ
- - -	赤	サウナ室とその他の屋内部分 との防火区画（耐火構造） 建告第1399号第1ーイ
———	オレンジ	採光無窓居室とその他の屋内部分 との防火区画（耐火構造） FT-0606NF-0448(1)　（保有：FT-0606NF-0448(2)）
———	緑	令126条の2第一項区画 防煙壁（不燃材料で造っている）：実線 防煙垂壁（H500　不燃材）：点線
(防)	青	防火設備（防火戸・常閉） 片開き戸（耐熱強化ガラス）：FB-0230 （片開き・遮熱戸（鋼入り）：Bs0.5-1.5-0.5）
(防)	青	建基法二条第九号の二ロに基づく 防火設備（昼焼、区画w900、鋼入ガラス）
(特)	赤	特定防火設備（防火戸・常閉） 告示1369号、告示2563号

記号	色	内容
(排)	水色	排煙口（排煙設備）
(自)	水色	自然排煙対象室
排煙告示		平成12建告第号
囲1	むらさき	告示1436号三へ(1)
囲2	むらさき	告示1436号三へ(2)
囲3	むらさき	告示1436号三へ(4)
囲4	むらさき	告示1436号三へ(5)
		階段の部分、昇降機の昇降路の部分（乗降ロビーの部分を含む）、ＰＳ、ＥＰＳ、ＤＳの部分及び廊下等は建基法令第126条の2第1項ただし書き3号により建築設備は免除とする

防煙区画	壁等	開口部
避難経路側	防煙間仕切り	防火設備
	防煙間仕切り	防煙壁
	準耐火間仕切り	防火設備
	不燃間仕切り	—

消火栓：ABC10型＋粉末式
（機械室、調理室等、消火器・備品工事）
※歩行距離20m以内

■各階最大収容人員

1階：従業員の数　10人

浴室＋脱衣室＋休憩用の部分の床面積の合計
（露天風呂＋足湯＋便所等含む）　1，282.86㎡

1,282.86㎡ ÷ 3.0人/㎡ ＝ 428.95人 ∴ 429人

合計：　10人　＋　429人　＝　439人

防火袖壁
男性用露天風呂
ぬる湯
あつ湯
男性用浴室
シャワー
男性用脱衣室
浴室風除
水風呂
サウナ
SK
湯上りコーナー
清掃員控室
リネン庫
前室
スパンドレル 900
機械室
倉庫
クヤード
EPS
倉庫
中広間
大広間
板間
可動間仕切り
庭園
女性用露天風呂
女性用浴室
女性用脱衣室
パウダーコーナー
女性便所
男性便所
多機能便所
かけ湯
展示ギャラリー
足湯
更衣
休憩
事務室
エントランスホール
券売
自販機コーナー
下足入コーナー
軽食コーナー（上足）
軽食コーナー（下足）
テラス
敷地内通路
風除室
アプローチ広場
車寄せ
駐車場
令126条第1項主要な出入口
建造のおそれのある部分
※ハックヤードで施錠しており
メンテナンス期間は屋上の機械の
メンテナンスの用にのみ供する
※以降配置図参照

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10
Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8

17,50 ：数字はレベルを示す

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日	業務番号 257031
図面名	法チェック図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300	計画　製作　調査　調査	図面番号 A-56

記号	色	内容
———	オレンジ	移動等円滑化経路（敷地内通路・廊下等共、幅員120cm以上） ※経路上に段・傾斜路なし、出入口の前後に高低差なし
———	緑	視覚障害者移動等円滑化経路
◯	赤	注意喚起ブロック・鋲
□	赤	誘導ブロック・鋲

※敷地内の通路、廊下等は粗面又は滑りにくい材料の仕上

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

73,000

6,000 7,000 8,000 8,000 8,000 6,000 8,000 8,000 8,000 6,000

1,000 7,000 1,000 7,000

310 310 135 135 160

36,500

1,500 1,500 8,000 3,500 4,000 3,000 6,000 4,000

12,000 3,500 3,000 6,000 4,000

2,090 2,090 375 375

4,000 3,840 3,700 3,565

500 500 500

2,000 2,000 4,000 6,000 4,000 4,000 4,000 4,000

1,000 1,000

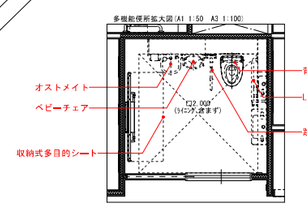
5,000 5,000 6,000 8,000 8,000

2,500 3,500 5,000 5,000

1,400以上 1,400以上 1,200以上 800以上 900以上 400以上

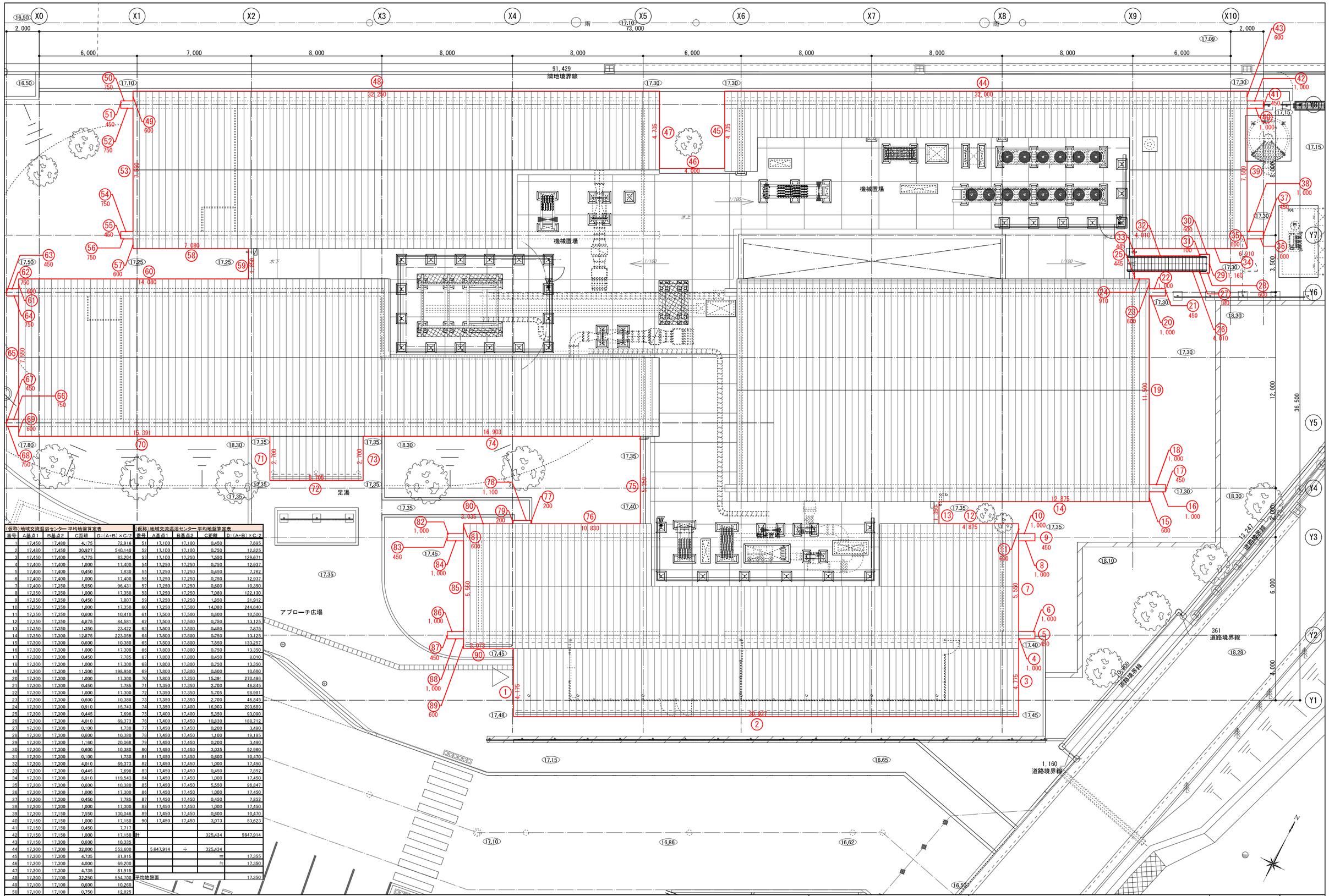
男性用露天風呂
ぬる湯
あつ湯
男性用浴室
シャワー
男性用脱衣室
浴室風除
サウナ
水風呂
水風呂
サウナ
SK
洗濯
女性用露天風呂
ぬる湯
あつ湯
女性用浴室
かけ湯
シャワー
女性用脱衣室
パウダーコーナー
女性便所
男性便所
多機能便所
展示ギャラリー
男性
女性
足湯
庭園
更衣
更衣
休憩
倉庫
事務室
エントランスホール
総合案内板（点字付）
券売
自販機コーナー
下足入コーナー
軽食コーナー（上足）
軽食コーナー（下足）
風除室
テラス
清掃員控室
リネン庫
前室
機械室
倉庫
EPS
倉庫
中庭
中広間
大広間
板間
庭園
倉庫
可動間仕切り
敷地内通路
湯出し口コーナー
壁面
クヨード
ハックヤード
※ハックヤードは門扉によって施錠しておりメンテナンス階段は屋上の機械のメンテナンスの用にのみ供する
腰掛式の小便器（受け口高さ35cm以下）
※第19条で定める便所標識（シート）
※JIS Z8210に定めるもの
床は滑りにくい仕上
敷地内通路：透水性インターロッキングブロック舗装
アプローチ広場
車寄せ
車いす使用者用駐車区画
令第19条で定める駐車施設標識（ペイント）
※JIS Z8210に定めるもの
駐車施設73台に対し身障者駐車場2台設置
身障者駐車場
車いす使用者用駐車区画を示す立て看板を表示
逃等にあたる通路
16,00 16,25 16,30 16,40 16,90 17,00 17,10 17,15 17,20 17,35 17,40 17,45 17,48 17,50 17,60 17,68 17,70 18,10 18,28 18,40 19,00 20,00 22,20
：数字はレベルを示す

多機能便所拡大図（A1 1:50 A3 1:100）



N

工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年 月 日	業務番号 257031
図面名 バリアフリー平面図	縮尺 A1 1:150 A3 1:300	計画 製作 調査 調査	図面番号 A-57



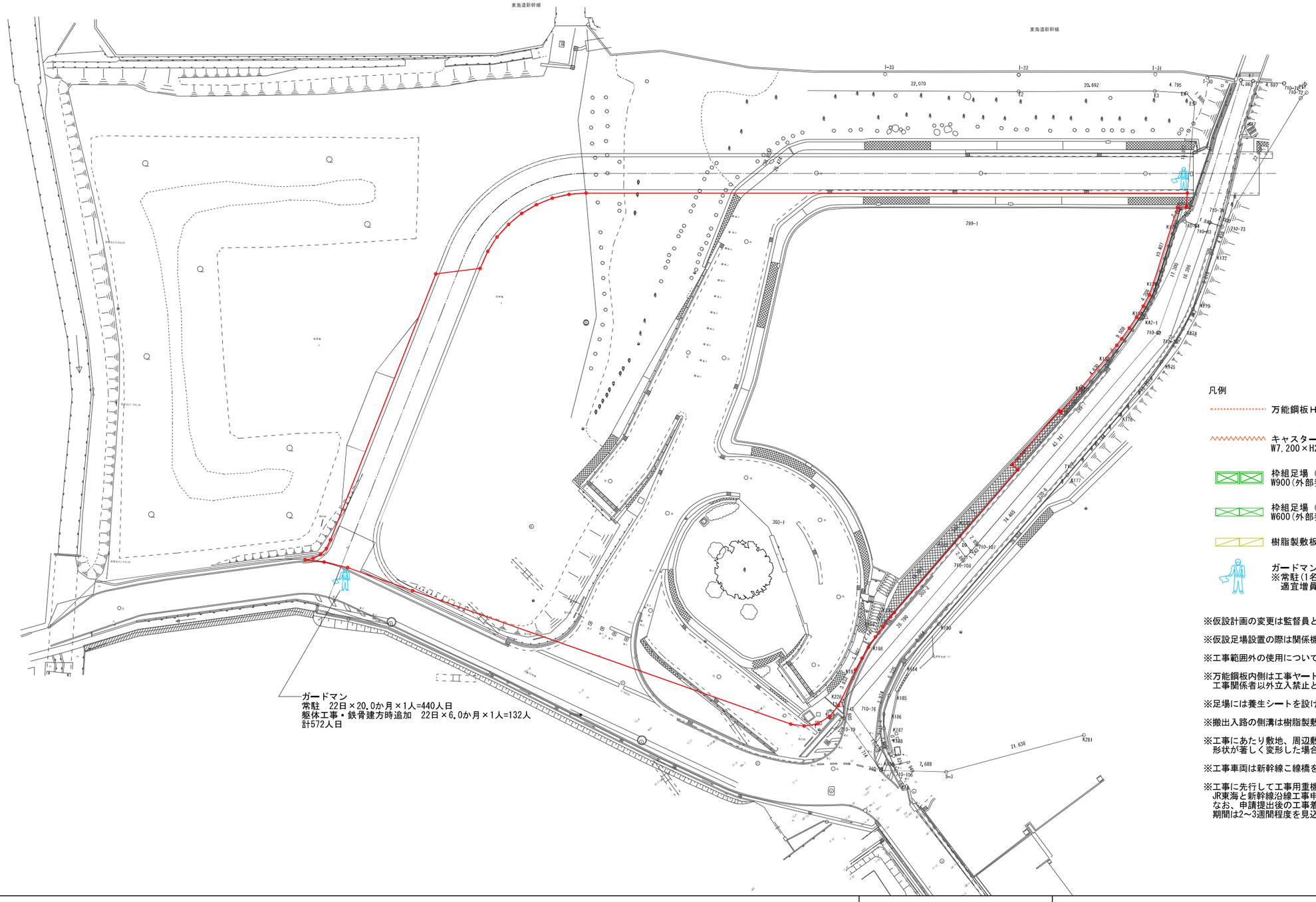
(仮称)地域交流温浴センター 平均地盤算定表

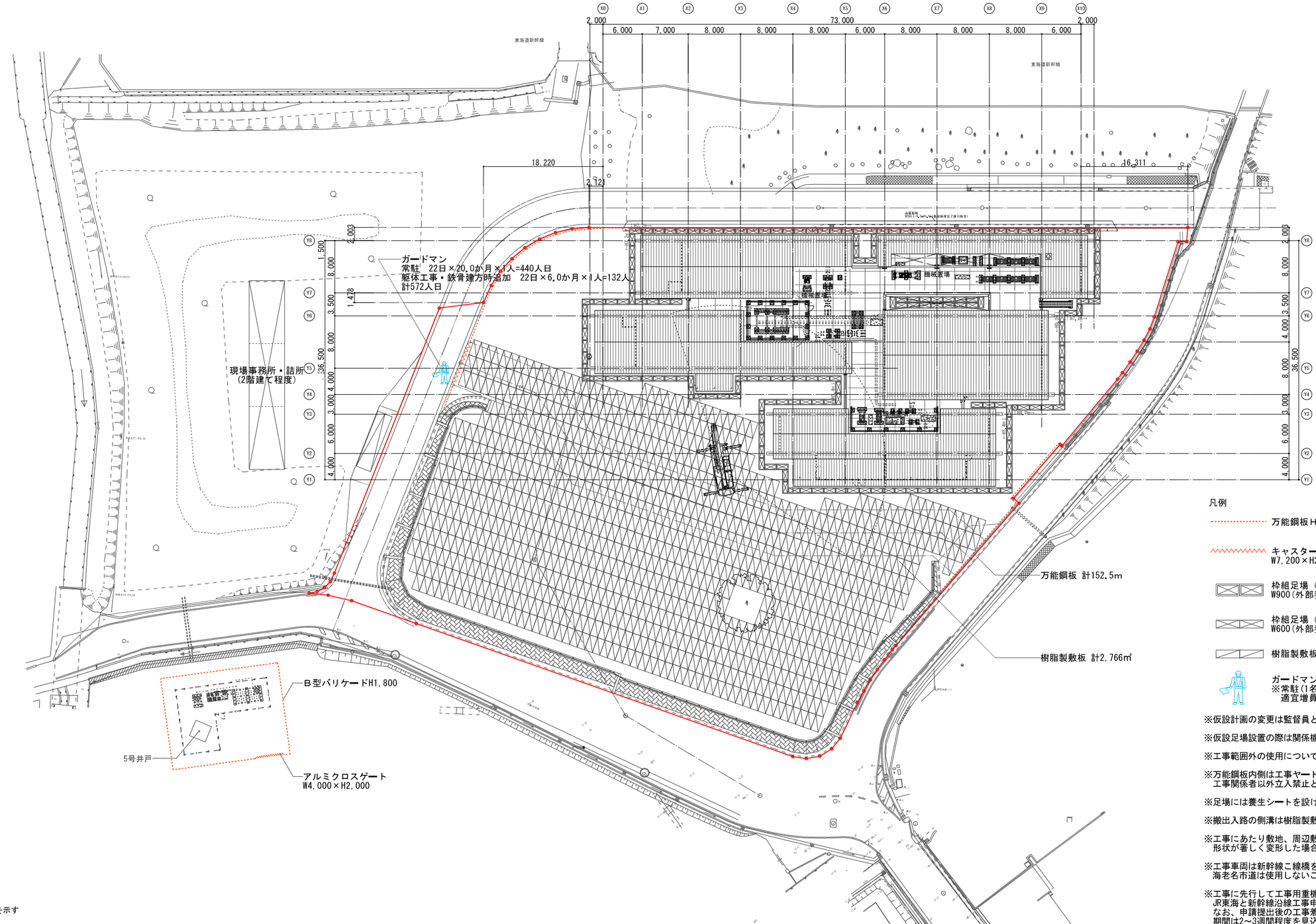
番号	A基点1	B基点2	C距離	D=(A+B)×C/2
1	17,450	17,480	4,175	72,916
2	17,480	17,450	30,927	540,140
3	17,450	17,400	4,775	83,204
4	17,400	17,400	1,000	17,400
5	17,400	17,400	0,450	7,830
6	17,400	17,400	1,000	17,400
7	17,400	17,350	5,550	96,431
8	17,350	17,350	1,000	17,350
9	17,350	17,350	0,450	7,807
10	17,350	17,350	1,000	17,350
11	17,350	17,350	0,600	10,410
12	17,350	17,350	4,875	84,581
13	17,350	17,350	1,350	23,422
14	17,350	17,300	12,875	223,059
15	17,300	17,300	0,600	10,380
16	17,300	17,300	1,000	17,300
17	17,300	17,300	0,450	7,785
18	17,300	17,300	1,000	17,300
19	17,300	17,300	11,500	198,950
20	17,300	17,300	1,000	17,300
21	17,300	17,300	0,450	7,785
22	17,300	17,300	1,000	17,300
23	17,300	17,300	0,600	10,380
24	17,300	17,300	0,910	15,743
25	17,300	17,300	0,445	7,698
26	17,300	17,300	4,010	69,373
27	17,300	17,300	0,100	1,730
28	17,300	17,300	0,600	10,380
29	17,300	17,300	1,160	20,068
30	17,300	17,300	0,600	10,380
31	17,300	17,300	0,100	1,730
32	17,300	17,300	4,010	69,373
33	17,300	17,300	0,445	7,698
34	17,300	17,300	6,810	119,543
35	17,300	17,300	0,600	10,380
36	17,300	17,300	1,000	17,300
37	17,300	17,300	0,450	7,785
38	17,300	17,300	1,000	17,300
39	17,300	17,150	7,550	130,048
40	17,150	17,150	1,000	17,150
41	17,150	17,150	0,450	7,717
42	17,150	17,150	1,000	17,150
43	17,150	17,300	0,600	10,335
44	17,300	17,300	32,000	553,600
45	17,300	17,300	4,735	81,915
46	17,300	17,300	4,000	69,200
47	17,300	17,300	4,735	81,915
48	17,300	17,100	32,250	554,700
49	17,100	17,100	0,600	10,260
50	17,100	17,100	0,750	12,825

(仮称)地域交流温浴センター 平均地盤算定表

番号	A基点1	B基点2	C距離	D=(A+B)×C/2
51	17,100	17,100	0,450	7,695
52	17,100	17,100	0,750	12,825
53	17,100	17,250	7,550	129,671
54	17,250	17,250	0,750	12,937
55	17,250	17,250	0,450	7,762
56	17,250	17,250	0,750	12,937
57	17,250	17,250	0,600	10,350
58	17,250	17,250	7,080	122,130
59	17,250	17,250	1,850	31,912
60	17,250	17,500	14,080	244,640
61	17,500	17,500	0,600	10,500
62	17,500	17,500	0,750	13,125
63	17,500	17,500	0,450	7,875
64	17,500	17,500	0,750	13,125
65	17,500	17,800	7,550	133,257
66	17,800	17,800	0,750	13,350
67	17,800	17,800	0,450	8,010
68	17,800	17,800	0,750	13,350
69	17,800	17,800	0,600	10,680
70	17,800	17,350	15,391	270,496
71	17,350	17,350	2,700	46,845
72	17,350	17,350	5,705	98,981
73	17,350	17,350	2,700	46,845
74	17,350	17,400	16,903	293,689
75	17,400	17,400	5,350	93,090
76	17,400	17,450	10,830	188,712
77	17,450	17,450	0,200	3,490
78	17,450	17,450	1,100	19,195
79	17,450	17,450	0,200	3,490
80	17,450	17,450	3,035	52,960
81	17,450	17,450	0,600	10,470
82	17,450	17,450	1,000	17,450
83	17,450	17,450	0,450	7,852
84	17,450	17,450	1,000	17,450
85	17,450	17,450	5,550	96,847
86	17,450	17,450	1,000	17,450
87	17,450	17,450	0,450	7,852
88	17,450	17,450	1,000	17,450
89	17,450	17,450	0,600	10,470
90	17,450	17,450	3,073	53,623
計				325,434	5647,914
	5,647,914	÷	325,434	
平均地盤面				17,350

工事名	(仮称) 地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	平均地盤算定図	縮尺 A1 1:300 A3 1:600	図面番号 A-58


東海道新幹線
東海道新幹線
I-33
I-32
I-31
I-30
32,070
20,692
4,795
1,865
4,697
299-1
303-1
303-2
K198
K199
K200
K201
K202
K203
K204
K205
K206
K207
K208
K209
K210
K211
K212
K213
K214
K215
K216
K217
K218
K219
K220
K221
K222
K223
K224
K225
K226
K227
K228
K229
K230
K231
K232
K233
K234
K235
K236
K237
K238
K239
K240
K241
K242
K243
K244
K245
K246
K247
K248
K249
K250
K251
K252
K253
K254
K255
K256
K257
K258
K259
K260
K261
K262
K263
K264
K265
K266
K267
K268
K269
K270
K271
K272
K273
K274
K275
K276
K277
K278
K279
K280
K281
710-72
710-73
710-74
710-75
710-76
710-77
710-78
710-79
710-80
710-81
710-82
710-83
710-84
710-85
710-86
710-87
710-88
710-89
710-90
710-91
710-92
710-93
710-94
710-95
710-96
710-97
710-98
710-99
710-100
710-101
710-102
710-103
710-104
710-105
710-106
710-107
710-108
KA2-1
KA2-2
KA2-3
KA2-4
KA2-5
KA2-6
KA2-7
KA2-8
KA2-9
KA2-10
KA2-11
KA2-12
KA2-13
KA2-14
KA2-15
KA2-16
KA2-17
KA2-18
KA2-19
KA2-20
KA2-21
KA2-22
KA2-23
KA2-24
KA2-25
KA2-26
KA2-27
KA2-28
KA2-29
KA2-30
KA2-31
KA2-32
KA2-33
KA2-34
KA2-35
KA2-36
KA2-37
KA2-38
KA2-39
KA2-40



工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	仮設計画図-2(参考図)	縮尺 A1 1:300 A3 1:600		図面番号 A-60

年月	R8.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R9.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R10.1月	2月	3月	4月
期間				工事期間(20ヶ月)																					
				1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月目	13ヶ月目	14ヶ月目	15ヶ月目	16ヶ月目	17ヶ月目	18ヶ月目	19ヶ月目	20ヶ月目			
建築				建築工事着工 検討・施工図					準備・仮設							外部足場								引渡し	
										一部山留															
											根切・床付														
												基礎躯体													
													外構埋設配管・埋戻し											
														1階立上り躯体										
															R階立上り躯体									
																鉄骨建方								
																	防水							
																	金属屋根							
																	外装							
																	外部建具							
																	内部建具・内装仕上・ユニット							
																						クリーニング			
																						各種検査			
																							温浴センター開館		
																							開館準備		
外構造成				※敷地内車両通路造成は付替道路工事(別途工事)にて完了済みとする																					
				準備・仮設																					
					既存上段造成部解体																				
						建設地盤面造成・道路境界擁壁設置																			
外構整備										雨水浸透貯留槽								外構(駐車場・植栽・舗装)					各種検査		
電気設備				検討・施工図		一部外構工事								機械設備工事・電気設備工事					試運転調整						
機械設備																							各種検査		
付替道路工事(別途工事)				付替道路工事																					

-------≫ ：製作期間

※土曜日・日曜日・祝日を現場休工日として想定した工程表

	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
	図面名 工事工程計画(参考図)	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号 A-61

◆囲障・その他工作物凡例

番号	凡例	内容	数量
⑦		複柵子フェンスH2000@2000 フレンスタ2型 同等品以上	14.80m
㋑		複柵子フェンスH1500@2000 フレンスタ1型 同等品以上	144.32m
㋒		複柵子フェンスH1000@2000 プレラインフォルテ3型 同等品以上	34.34m
㋓		門扉H2000W1120 フレンスタ1型門扉 同等品以上	2基
㋔		メッシュフェンス・門扉H1000@600 SE-J-GN型H1000 同等品以上	2.4m 1基
㋕		大型格納門扉 図C16500-H1400 アルテンダフォルテ76S 同等品以上	1基
㋖		上下式バリカー(チェーン)付 @2000 帝金株式会社31NC/31NGT 同等品以上	10基
㋗		擬石ポラード φ300 @500 サカエSPT-211 同等品以上	5基
㋘		防火水槽(40m³) 日東HT40T1一UHD 同等品以上	1基
㋙		点字ブロック・線誘タイプ(誘導/すすめ) ミユキビ成DC200-S(イエロー)同等品以上	236枚
㋚		点字ブロック・点誘タイプ(警告/とまれ) ミユキビ成DC600-T(イエロー)同等品以上	44枚

◆舗装凡例

番号	凡例	舗装種別	数量
①		透水性インターロッキングブロック舗装	535.79㎡
②		密粒アスファルト舗装(2層40型)	682.15㎡
③		透水性アスファルト舗装(車道)	880.84㎡
④		コンクリート舗装	142.65㎡
⑤		化粧玉砂利敷	135.90㎡
⑥		芝地(芝張り)	138.85㎡
⑦		緑地(植栽・芝・地被類)	969.53㎡
⑧		緑地(植生用ブロック・緑化ブロック)	769.42㎡

◆舗装見切・縁石・その他ブロック凡例

番号	凡例	内容	数量
Ⓐ		地先境界ブロックA型	347.90m
Ⓑ		片面歩車道境界ブロック	219.41m
Ⓒ		車止めブロック(駐車場緑化用)	146か所(73台分)
Ⓓ		車止めブロック	4か所(2台分)
Ⓔ		コンクリートブロック(H400)	別紙G-05参照
Ⓕ		重力式擁壁(H1000)	別紙G-05参照
Ⓖ		重力式擁壁(H1500)	別紙G-05参照
Ⓗ		間知擁壁(H2000/H3000/H4000/H5000)	別紙G-05参照
Ⓘ		RCL型擁壁(H1000)	別紙G-05参照

◆汚水凡例

番号	凡例	内容	数量
㋐		第一種組立人孔Ⅱ型(φ900)	1基

◆白線引き凡例

番号	凡例	内容	数量
あ		横断歩道表示	1か所
い		駐車場区画線	74か所
う		身障者用駐車区画線	2か所
え		案内用図記号 身障のある人が使える設備(JISZ8210)	2か所
お		大型駐車場区画線	1か所
か		進行方向標示(直進矢印)	3か所
き		進行方向標示(右折矢印)	2か所
く		徐行標示	1か所
け		一時停止標示	1か所

◆雨水凡例

番号	凡例	内容	数量
ⓐ		第一種組立人孔(φ900)	9基
ⓑ		プレキャスト溝蓋式U字溝(350) コンクリート製(T25) グレーチング蓋(T25)	63.44m
ⓒ		浸透ポラコン角例 EM3K-400 同等品以上	17基
ⓓ		プレキャスト集水桝(400) 格子鋳鉄(T6) GF-A-400 同等品以上	30基
ⓓ2		プレキャスト集水桝(400) グレーチング蓋(T25) DTFD4414 同等品以上	2基
ⓔ		浸透トレンチ管(φ200)	130.10m
ⓕ		雨水管(φ200～φ300) 勾配0.9%以上	321.50m
ⓖ		雨水浸透桝 秩父ケミカルニューブラくん 同等品以上	1基 (1400×2380×1340)

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日	業務番号 257031
図面名	外構計画図	縮尺	A1 250 A3 500	計画 製作 調査 調査	図面番号 G-01

東海道新幹線

風除室周りの玉砂利見切りは
『御影石100×100×t60本磨き』

N

◆囲障・その他工作物凡例

番号	凡例	内容	数量
㋐		複格子フェンスH2000@2000 フレンスタ2型 同等品以上	14.80m
㋑		複格子フェンスH1500@2000 フレンスタ2型 同等品以上	144.32m
㋒		複格子フェンスH1000@2000 フレ・インフォルテ2型 同等品以上	34.34m
㋓		門扉H2000W1120 フレンスタ1型門扉 同等品以上	2基
㋔		メッシュフェンス・門扉H1800@900 SE-J-QN型H1800 同等品以上	2.4m 1基
㋕		大型特殊門扉 開口8500-H1400 アルテンゲフォルテ7385 同等品以上	1基
㋖		上下式バリカー(チェーン付) @2000 帝金株式会社31NC/31NCT 同等品以上	10基
㋗		脱着ボラード φ300 @3500 サカエSPT-218 同等品以上	5基
㋘		防火水槽(40㎥) 日東N140T(一UD) 同等品以上	1基
㋙		点字ブロック・敷設タイプ(誘導/すすめ) ミユキ化成JC300-S1(イエロー) 同等品以上	236枚
㋚		点字ブロック・点振タイプ(警告/とまれ) ミユキ化成JC300-T(イエロー) 同等品以上	44枚

◆舗装凡例

番号	凡例	舗装種別	数量
①		透水性インターロッキングブロック舗装	535.79㎡
②		密粗アスファルト舗装(2層40型)	882.15㎡
③		透水性アスファルト舗装(車道)	880.84㎡
④		コンクリート舗装	142.65㎡
⑤		化粧玉砂利敷	135.90㎡
⑥		縁地(芝張り)	138.85㎡
⑦		緑地(植栽・芝・地被類)	969.53㎡
⑧		緑地(緑生用ブロック・緑化ブロック)	769.42㎡

◆舗装見切・縁石・その他ブロック凡例

番号	凡例	内容	数量
Ⓐ		地先境界ブロックA型	347.90m
Ⓑ		片面歩車道境界ブロック	219.41m
Ⓒ		車止めブロック(駐車場緑化用)	146か所(73台分)
Ⓓ		車止めブロック	4か所(2台分)
Ⓔ		コンクリートブロック(H400)	別紙G-05参照
Ⓕ		重力式擁壁(H1000)	別紙G-05参照
Ⓖ		重力式擁壁(H1500)	別紙G-05参照
Ⓗ		間知擁壁(H2000/H3000/H4000/H5000)	別紙G-05参照
Ⓘ		RCL型擁壁(H1000)	別紙G-05参照

◆汚水凡例

番号	凡例	内容	数量
㋮		第一種組立人孔Ⅱ型(φ900)	1基

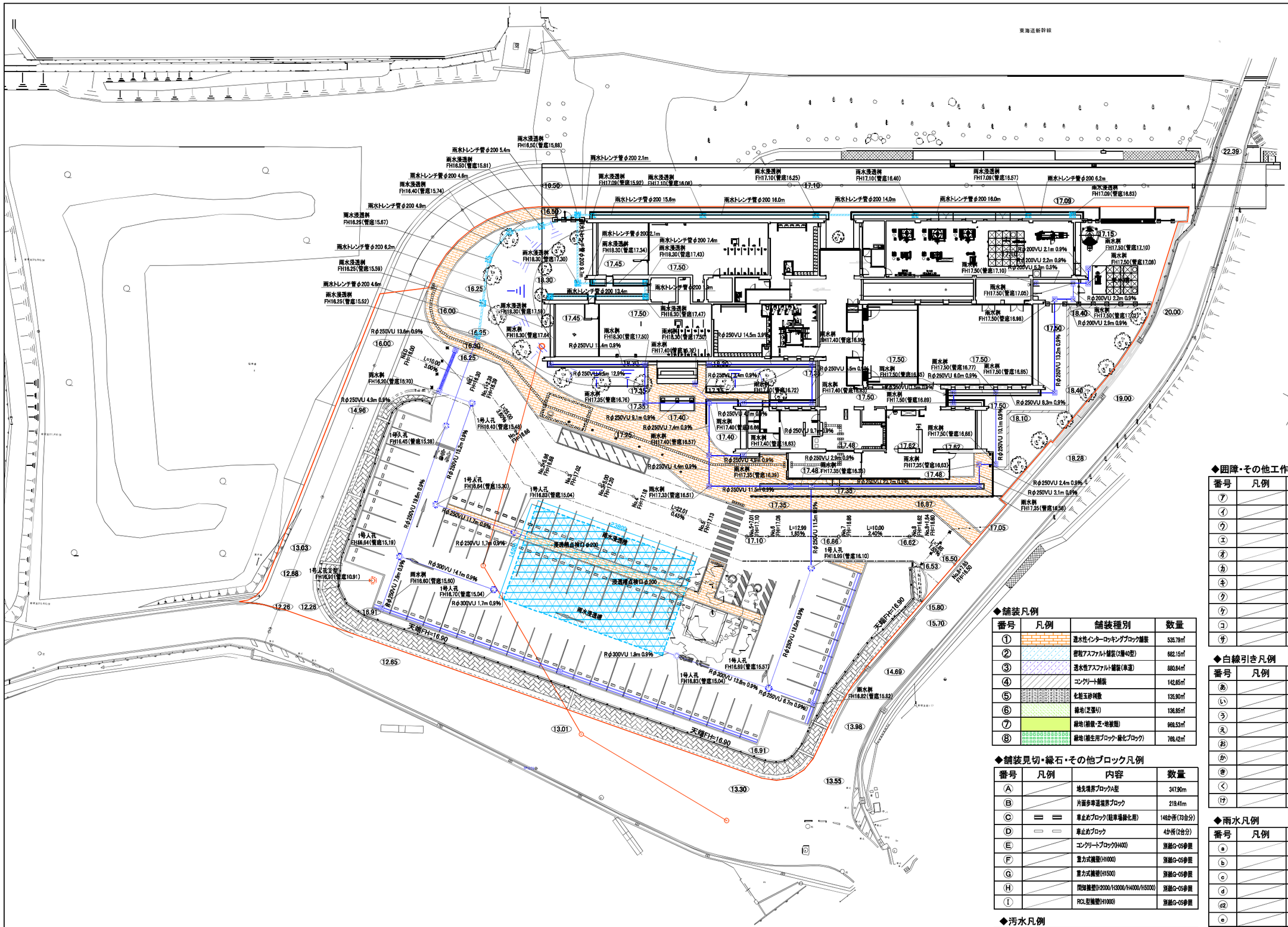
◆白線引き凡例

番号	凡例	内容	数量
㋐		横断歩道表示	1か所
㋑		駐車場区画線	74か所
㋒		身障者用駐車区画線	2か所
㋓		案内用図記号 身障のある人が使える設備(JISZ8210)	2か所
㋔		大型駐車場区画線	1か所
㋕		進行方向標示(直進矢印)	3か所
㋖		進行方向標示(右折矢印)	2か所
㋗		徐行標示	1か所
㋘		一時停止標示	1か所

◆雨水凡例

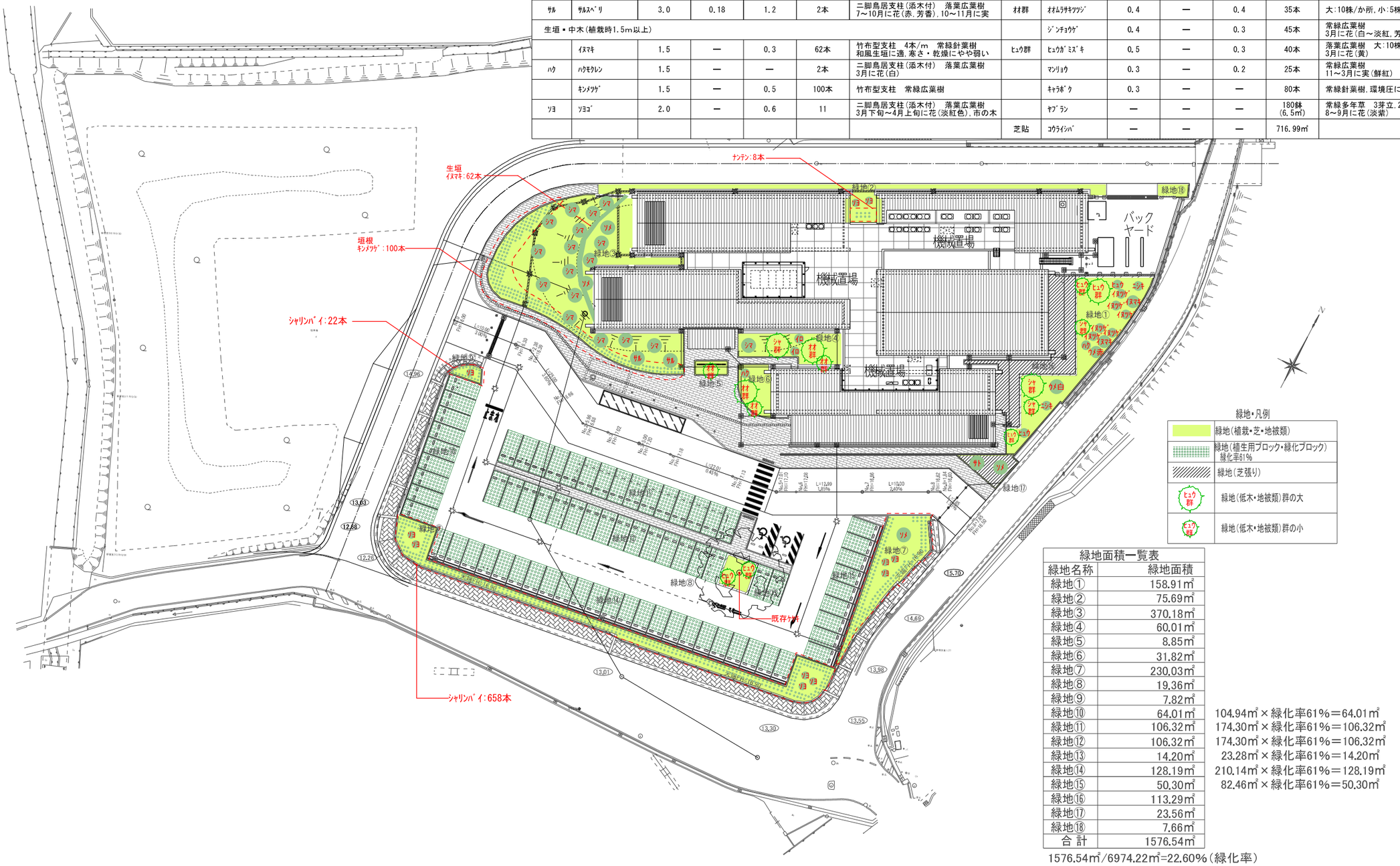
番号	凡例	内容	数量
ⓐ		第一種組立人孔(φ900)	6基
ⓑ		プレキャスト溝蓋式(呼溝(950) コンクリート溝(T25) グレーチング溝(T25)	83.44m
ⓒ		浸透ポラコン外殻 EM3K-400 同等品以上	17基
ⓓ		プレキャスト集水桝(400) 格子蓋(鉄T6) GF-A-400 同等品以上	30基
ⓓ2		プレキャスト集水桝(400) グレーチング蓋(T25) D1FD44T4M 同等品以上	2基
ⓔ		浸透トレンチ管(φ200)	130.10m
ⓕ		雨水管(φ200～φ300) 勾配0.9%以上	321.50m
ⓖ		雨水浸透槽 秩父ケミカルニューブらく 同等品以上	1基 (14.00×23.80×1.34)

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査		高橋番号 257031
図面名	舗装計画図	縮尺	A1　250 A3　500		図面番号 G-02


東海道新幹線
雨水浸透桝 FH16.50(管底15.88)
雨水トレンチ管φ200 5.4m
雨水浸透桝 FH16.50(管底15.81)
雨水トレンチ管φ200 4.6m
雨水浸透桝 FH16.40(管底15.74)
雨水トレンチ管φ200 4.9m
雨水浸透桝 FH16.25(管底15.67)
雨水トレンチ管φ200 8.2m
雨水浸透桝 FH16.25(管底15.59)
雨水トレンチ管φ200 4.6m
雨水浸透桝 FH16.25(管底15.52)
雨水トレンチ管φ200 2.1m
雨水浸透桝 FH17.09(管底15.92)
雨水浸透桝 FH17.10(管底16.06)
雨水浸透桝 FH17.10(管底16.25)
雨水浸透桝 FH17.10(管底16.40)
雨水浸透桝 FH17.09(管底16.57)
雨水トレンチ管φ200 6.2m
雨水浸透桝 FH17.09(管底16.83)
雨水トレンチ管φ200 15.8m
雨水トレンチ管φ200 16.0m
雨水トレンチ管φ200 14.0m
雨水トレンチ管φ200 16.0m
雨水トレンチ管φ200 2.1m
雨水浸透桝 FH18.30(管底17.34)
雨水トレンチ管φ200 7.4m
雨水浸透桝 FH18.30(管底17.43)
雨水浸透桝 FH18.30(管底17.30)
雨水トレンチ管φ200 13.4m
雨水トレンチ管φ200 1.2m
雨水浸透桝 FH18.30(管底17.58)
雨水浸透桝 FH18.30(管底17.47)
雨水桝 FH18.30(管底17.64)
雨水桝 FH18.30(管底17.50)
雨水桝 FH17.40(管底16.92)
雨水桝 FH17.40(管底16.90)
雨水桝 FH17.50(管底17.10)
雨水桝 FH17.50(管底17.08)
雨水桝 FH17.50(管底17.05)
雨水桝 FH17.50(管底16.98)
雨水桝 FH17.50(管底17.02)
雨水桝 FH17.50(管底16.77)
雨水桝 FH17.50(管底16.85)
雨水桝 FH17.50(管底16.89)
雨水桝 FH17.40(管底16.72)
雨水桝 FH17.40(管底16.57)
雨水桝 FH17.40(管底16.66)
雨水桝 FH17.40(管底16.63)
雨水桝 FH17.50(管底16.66)
雨水桝 FH17.35(管底16.83)
雨水桝 FH17.35(管底16.36)
雨水桝 FH17.33(管底16.51)
雨水桝 FH17.35(管底16.35)
雨水桝 FH17.25(管底16.76)
雨水桝 FH16.20(管底15.70)
雨水桝 FH18.82(管底15.82)
雨水桝 FH17.35(管底16.58)
1号人孔 FH16.45(管底15.38)
1号人孔 FH16.40(管底15.48)
1号人孔 FH16.64(管底15.30)
1号人孔 FH16.83(管底15.04)
1号人孔 FH16.64(管底15.19)
1号人孔 FH16.94(管底10.91)
1号人孔 FH16.70(管底15.04)
1号人孔 FH16.89(管底16.10)
1号人孔 FH16.89(管底15.57)
1号人孔 FH16.83(管底15.04)
雨水浸透施設
浸透桝点検口φ200
天端FH=16.90
R250VU 13.6m 0.9%
R250VU 4.9m 0.9%
R250VU 9.1m 0.9%
R250VU 7.4m 0.9%
R250VU 4.4m 0.9%
R250VU 4.6m 0.9%
R250VU 11.5m 0.9%
R250VU 10.2m 0.9%
R250VU 11.2m 0.9%
R250VU 1.7m 0.9%
R250VU 19.8m 0.9%
R250VU 7.3m 0.9%
R300VU 14.1m 0.9%
R300VU 1.7m 0.9%
R300VU 1.9m 0.9%
R300VU 13.8m 0.9%
R250VU 6.7m 0.9%
R250VU 10.0m 0.9%
R250VU 14.4m 0.9%
R250VU 14.5m 3.9%
R250VU 4.0m 0.9%
R250VU 9.7m 0.9%
R250VU 4.8m 0.9%
R250VU 2.9m 0.9%
R250VU 11.5m 0.9%
R250VU 2.7m 0.9%
R250VU 6.0m 0.9%
R250VU 8.3m 0.9%
R250VU 13.2m 0.9%
R250VU 10.1m 0.9%
R250VU 2.4m 0.9%
R250VU 3.1m 0.9%
R200VU 2.1m 0.9%
R200VU 2.2m 0.9%
R200VU 5.2m 0.9%
R200VU 2.2m 0.9%
R200VU 2.9m 0.9%
L=10.00 3.00%
L=25.00 5.00%
L=27.01 0.45%
L=12.99 1.85%
L=10.00 2.40%
No.5-7.01 FH=11.10
No.5 FH=11.06
No.6 FH=11.13
No.7 FH=10.88
No.8 FH=11.04
No.8+11.60 FH=16.60
No.8+7.05 FH=16.50
No.4 FH=17.02
No.3 FH=17.02
No.2 FH=17.28
No.1 FH=17.28
No.2-5.58 FH=17.28
No.2-10.58 FH=17.28
No.2-15.58 FH=17.28
No.2-20.58 FH=17.28
No.2-25.58 FH=17.28
No.2-30.58 FH=17.28
No.2-35.58 FH=17.28
No.2-40.58 FH=17.28
No.2-45.58 FH=17.28
No.2-50.58 FH=17.28
No.2-55.58 FH=17.28
No.2-60.58 FH=17.28
No.2-65.58 FH=17.28
No.2-70.58 FH=17.28
No.2-75.58 FH=17.28
No.2-80.58 FH=17.28
No.2-85.58 FH=17.28
No.2-90.58 FH=17.28
No.2-95.58 FH=17.28
No.2-100.58 FH=17.28

緑化樹木表

記号	樹種名	H:樹高(m) 植樹時	C:幹周(m) 植樹時	W:枝張(m) 植樹時	数量	備考	記号	樹種名	H:樹高(m) 植樹時	C:幹周(m) 植樹時	W:枝張(m) 植樹時	数量	備考
高木(植栽時3.0m以上)							低木・地被類						
既存ｹﾔｷ	ｹﾔｷ	12.0	1.0	12.0	1本		ﾆｼｷ	ﾆｼｷｷﾞ	1.2	―	0.7	2本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 10～11月に実(赤)，紅葉
ｼﾏ	ｼﾏﾄﾈﾘｺ	3.0	0.15	1.0	16本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　常緑広葉樹 4～6月に花(白)，8～10月に実	ﾋｭｳｶﾞ	ﾋｭｳｶﾞﾐｽﾞｷ	1.0	―	0.5	2本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 3月に花(黄)
ｿﾒ	ｿﾒｲﾖｼﾉ	3.0	0.12	1.0	4本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 3月下旬～4月上旬に花(淡紅色)，市の木		ﾅﾝﾃﾝ	0.3	―	0.2	8本	
ｲﾛ	ｲﾛﾊﾓﾐｼﾞ	3.0	0.18	1.5	2本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 11月に紅葉		ｲﾇﾂｹﾞ	1.0	―	0.3	6本	常緑広葉樹
ｳﾒ白	ｳﾒ(白)	3.0	0.21	1.2	1本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 2～3月に花(白，芳香)，6月に実		ｼｬﾘﾝﾊﾞｲ	0.4	―	0.3	680本	
ｳﾒ赤	ｳﾒ(赤)	3.0	0.21	1.2	1本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 2～3月に花(紅，芳香)，6月に実	ｼｬ群	ｼｬﾘﾝﾊﾞｲ	0.4	―	0.3	80本	大:10株/か所，小:5株/か所
ｻﾄ	ｻﾄﾄﾞｸﾗ	3.0	0.21	1.2	1本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 3月下旬～4月上旬に花(淡紅色)		ｵｵﾑﾗｻｷﾂﾂｼﾞ	0.4	―	0.4	40本	常緑広葉樹，環境圧に強い 5月に花(紫紅)
ｻﾙ	ｻﾙｽﾍﾞﾘ	3.0	0.18	1.2	2本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 7～10月に花(赤，芳香)，10～11月に実	ｵｵ群	ｵｵﾑﾗｻｷﾂﾂｼﾞ	0.4	―	0.4	35本	大:10株/か所，小:5株/か所
生垣・中木(植栽時1.5m以上)								ｼﾞﾝﾁｮｳｹﾞ	0.4	―	0.3	45本	常緑広葉樹 3月に花(白～淡紅，芳香)
	ｲﾇﾏｷ	1.5	―	0.3	62本	竹布型支柱　4本/m　常緑針葉樹 和風生垣に適，寒さ・乾燥にやや弱い	ﾋｭｳｶﾞ群	ﾋｭｳｶﾞﾐｽﾞｷ	0.5	―	0.3	40本	落葉広葉樹　大:10株/か所，小:5株/か所 3月に花(黄)
ﾊｸ	ﾊｸﾓｸﾚﾝ	1.5	―	―	2本	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 3月に花(白)		ﾏﾝｼﾘｮｳ	0.3	―	0.2	25本	常緑広葉樹 11～3月に実(鮮紅)
	ｷﾝﾒﾂｹﾞ	1.5	―	0.5	100本	竹布型支柱　常緑広葉樹		ｷｬﾗﾎﾞｸ	0.3	―	―	80本	常緑針葉樹，環境圧に強い
ｿﾖ	ｿﾖｺﾞ	2.0	―	0.6	11	ニ脚鳥居支柱(添木付)　落葉広葉樹 3月下旬～4月上旬に花(淡紅色)，市の木		ﾔﾌﾞﾗﾝ	―	―	―	180鉢 (6.5㎡)	常緑多年草　3芽立，25鉢/㎡ 8～9月に花(淡紫)
							芝貼	ｺｳﾗｲｼﾊﾞ	―	―	―	716.99㎡	



緑地・凡例

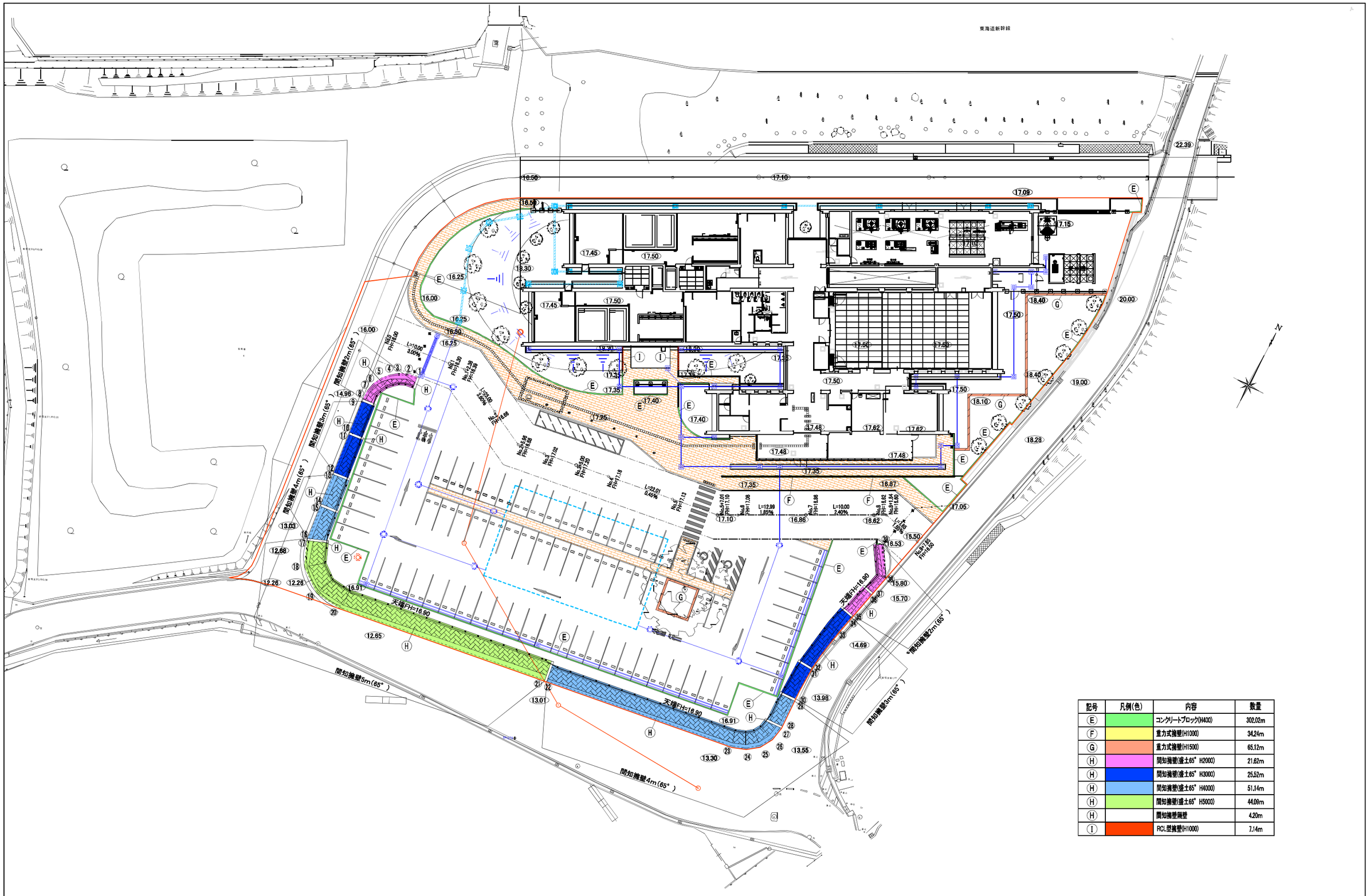
	緑地(植栽・芝・地被類)
	緑地(植生用ブロック・緑化ブロック) 緑化率61%
	緑地(芝張り)
ﾋｭｳｶﾞ群	緑地(低木・地被類)群の大
ﾋｭｳｶﾞ群	緑地(低木・地被類)群の小

緑地面積一覧表

緑地名称	緑地面積	
緑地①	158.91㎡	
緑地②	75.69㎡	
緑地③	370.18㎡	
緑地④	60.01㎡	
緑地⑤	8.85㎡	
緑地⑥	31.82㎡	
緑地⑦	230.03㎡	
緑地⑧	19.36㎡	
緑地⑨	7.82㎡	
緑地⑩	64.01㎡	104.94㎡×緑化率61%＝64.01㎡
緑地⑪	106.32㎡	174.30㎡×緑化率61%＝106.32㎡
緑地⑫	106.32㎡	174.30㎡×緑化率61%＝106.32㎡
緑地⑬	14.20㎡	23.28㎡×緑化率61%＝14.20㎡
緑地⑭	128.19㎡	210.14㎡×緑化率61%＝128.19㎡
緑地⑮	50.30㎡	82.46㎡×緑化率61%＝50.30㎡
緑地⑯	113.29㎡	
緑地⑰	23.56㎡	
緑地⑱	7.66㎡	
合 計	1576.54㎡	

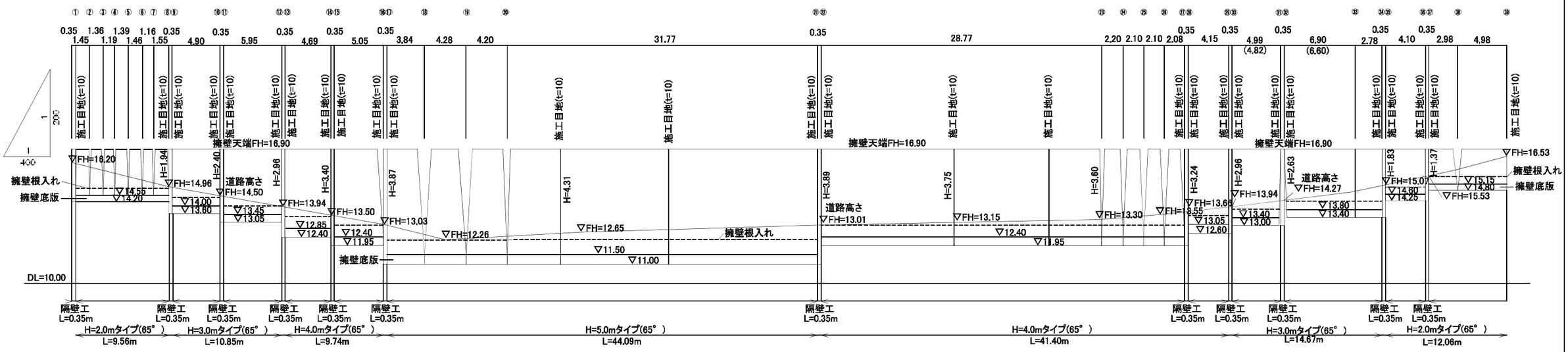
1576.54㎡/6974.22㎡=22.60%(緑化率)

工事名　(仮称) 地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名　緑化計画図	縮尺	A1 1:300 A3 1:600		図面番号 G-04



記号	凡例(色)	内容	数量
(E)		コンクリートブロック(H4.00)	302.02m
(F)		重力式擁壁(H10.00)	34.24m
(G)		重力式擁壁(H15.00)	65.12m
(H)		間知擁壁(盛土65° H20.00)	21.62m
(H)		間知擁壁(盛土65° H30.00)	25.52m
(H)		間知擁壁(盛土65° H40.00)	51.14m
(H)		間知擁壁(盛土65° H50.00)	44.09m
(H)		間知擁壁隔壁	4.20m
(I)		RCL型擁壁(H10.00)	7.14m

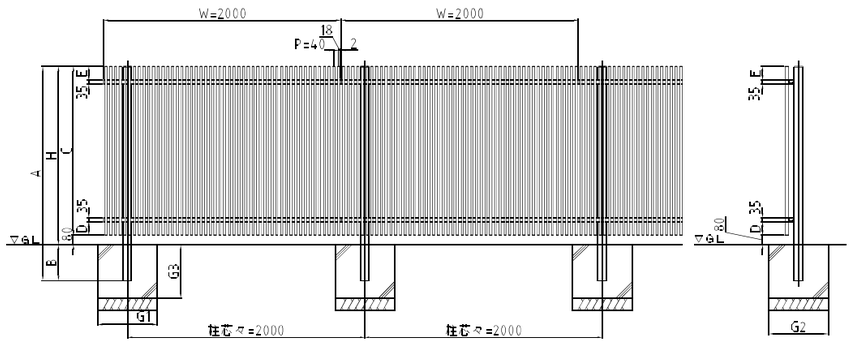
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	擁壁計画図	縮尺	A1 250 A3 500		図面番号 G-05



工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日	業務番号 257031
図面名	間知ブロック積擁壁展開図	縮尺	図示	計画 製作 調査 調査	図面番号 G-06

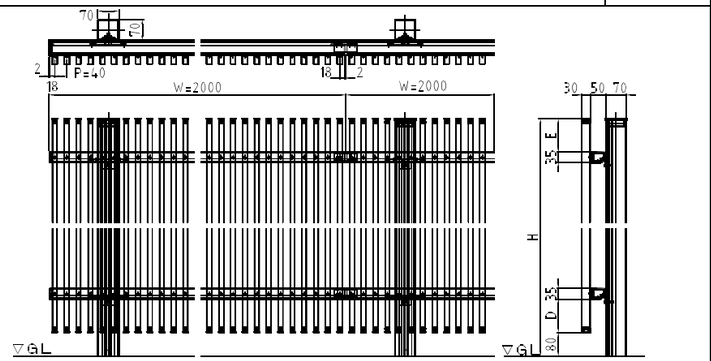
㋐㋑ パブリックスクリーン　フレジスタ2型　納まり図　同等品以上

A1:1/25
A3:1/50



スクリーン詳細図

A1:1/10
A3:1/20



■規格表

記号	高さ	柱全長	幅	支柱高さ	寸法		笠子本数	通気装置の有無		
	H	L	B	C	D	E	n	B1	B2	B3
HFL-2-2016	1600	1800	800	1420	112.5	112.5	60	500	500	450
HFL-2-2020	2000	2450	450	1920	112.5	112.5	60	550	550	550

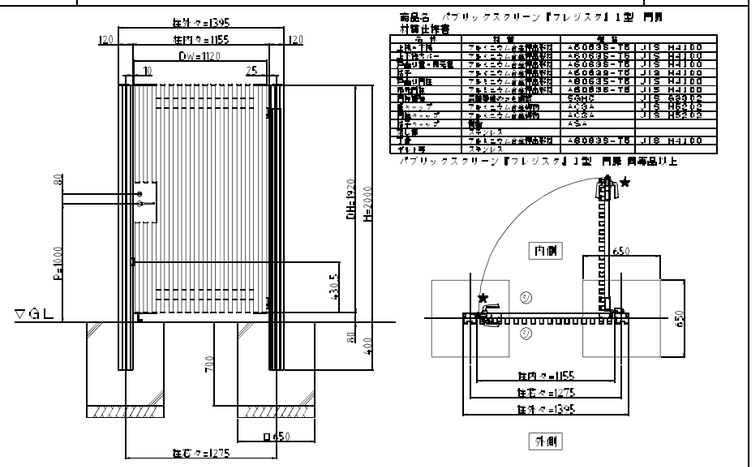
※パブリックスクリーン　フレジスタ　2型　同等品以上

■材質仕様表

名称	材質	規格
支柱・横桟	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5
縦桟・縦連結子	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5
笹子スリーブ	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5
笹子キャップ	樹脂	ASA
笹子	ステンレス	
笹子固定ビス	樹脂	ASA
横桟キャップ	樹脂	ASA
支柱キャップ	樹脂	ASA
コーナー横桟キャップ	アルミニウム合金ダイカスト	ADC12
中仕切	アルミニウム合金押出形材	AC3A
中仕切	ステンレス	

㋓ 門扉H2000@1120 フレジスタ１型　門扉同等品以上

A1:1/25
A3:1/50



容品名　パブリックスクリーン『フレジスタ』１型　門扉

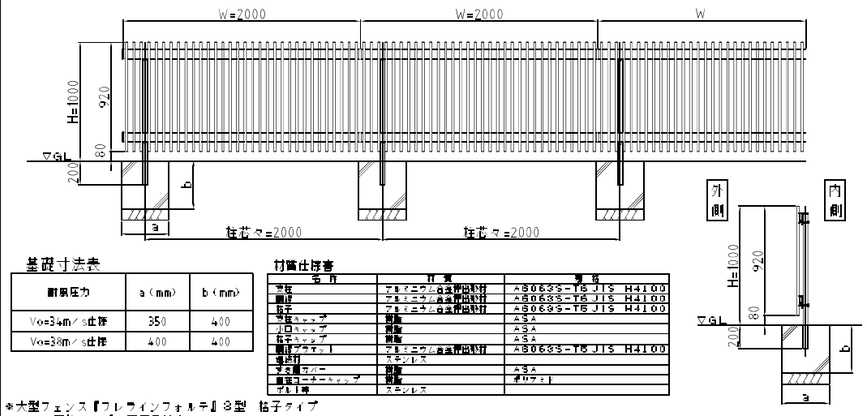
付属仕様書

名　称	材　質	備　考
上桟・下桟	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5　JIS H4100
縦桟・縦連結子	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5　JIS H4100
戸当り・召合せ	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5　JIS H4100
笹子	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5　JIS H4100
笹子固定用	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5　JIS H4100
門柱補強	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5　JIS H4100
門柱補強	溶融亜鉛めっき鋼材	S45C　JIS G3202
笹子キャップ	アルミニウム合金鋳物	AC3A　JIS H5202
横桟キャップ	アルミニウム合金鋳物	AC3A　JIS H5202
笹子	樹脂	ASA
丁番	ステンレス	
下桟	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5　JIS H4100
ゲート用	ステンレス	

パブリックスクリーン『フレジスタ』１型　門扉　同等品以上

㋔ フレラインフォルテ3型　納まり図　同等品以上

A1:1/20
A3:1/40



基礎寸法表

耐風圧力	a（mm）	b（mm）
Vo=34m／s仕様	350	400
Vo=38m／s仕様	400	400

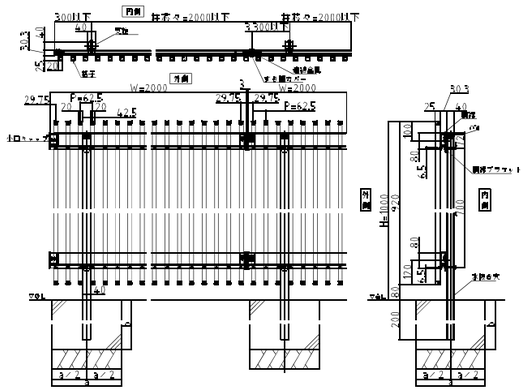
付属仕様書

名　称	材　質	備　考
笠板	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5 JIS H4100
縦桟	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5 JIS H4100
笹子	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5 JIS H4100
笹子キャップ	樹脂	ASA
小口キャップ	樹脂	ASA
笹子キャップ	樹脂	ASA
縦連ブラケット	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5 JIS H4100
埋込打	ステンレス	
すき間カバー	樹脂	ASA
縦連コネクターキャップ	樹脂	ポリエチ
ゲルト等	ステンレス	

※大型フェンス『フレラインフォルテ』３型　格子タイプ
フリー支柱タイプ　同等以上

スクリーン詳細図

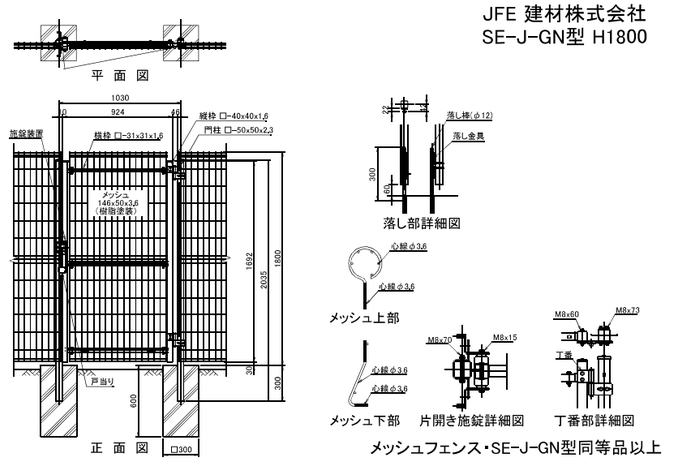
A1:1/15
A3:1/30



㋕ メッシュフェンス・門扉H1800@900 JFE建材株式会社 SE-J-GN型H1800　同等品以上

A1:1/25
A3:1/50

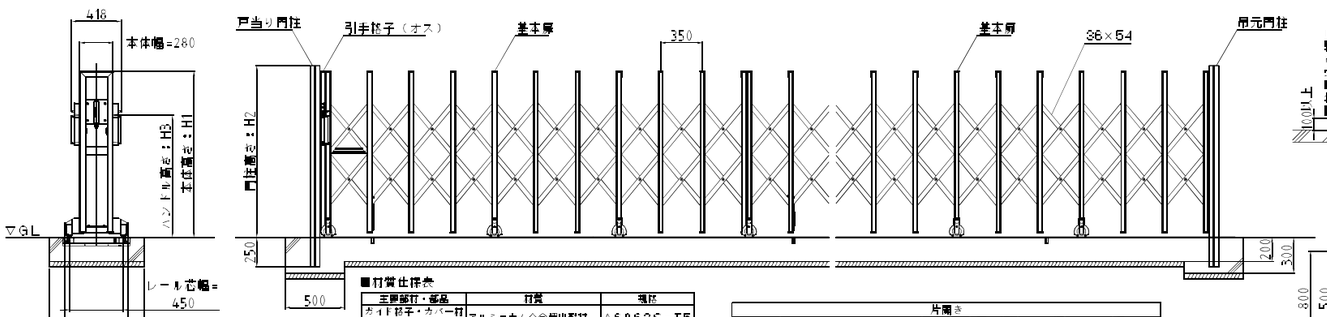
JFE 建材株式会社
SE-J-GN型 H1800

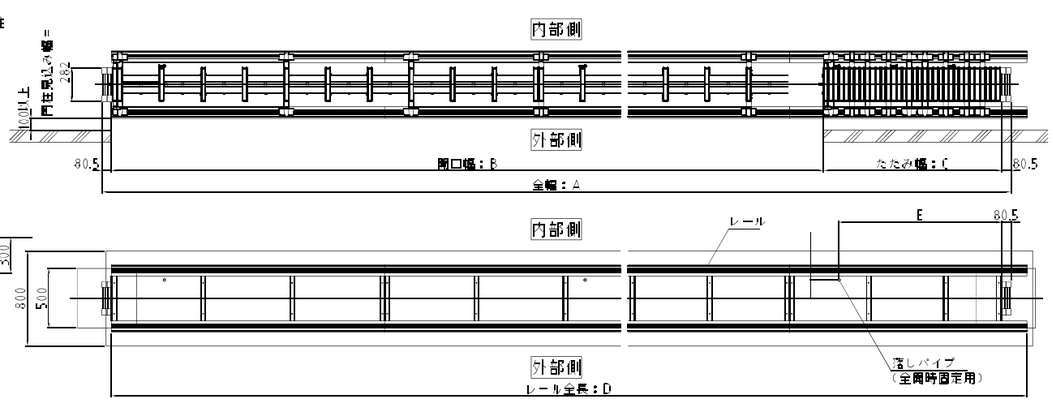


メッシュフェンス・SE-J-GN型同等品以上

㋖ 大型伸縮門扉　アルテンダフォルテ フラットレールタイプ　片開き　同等品以上

A1:1/25
A3:1/50





■材質仕様表

主要部材・部品	材質	規格
ガイド格子・カバー材 補強・リング材	アルミニウム合金押出形材	A6063S-T5
ガイドローラー	樹脂	ポリプロピレン
スリーブ	樹脂	ポリプロピレン
笹子キャップ	樹脂	ASA
ストッパー	樹脂	ポリプロピレン
連結カバー	樹脂	ASA
キャスター	ステンレス	
脱落防止金具	ステンレス	
フラットレール（スチール）	表面黒皮磨き錆めっき鋼板	
フラットレール（ステンレス）	ステンレス	
ボルト等	ステンレス	

片開き

サイズ	本体組み合わせ	全幅 A	開口幅 B	たたみ幅 C	レール全長D	落しパイプ埋込位置E
765	S7 41	7651	6434	1056	7600	927

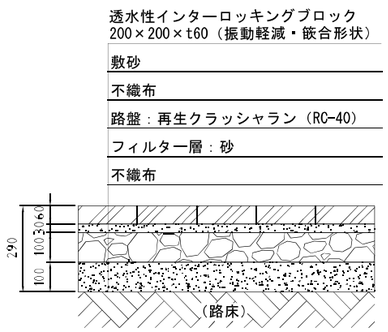
■H寸法

H等分	本体高さ H1	門柱高さ H2	取手高さ H3
14	1400	1450	1029

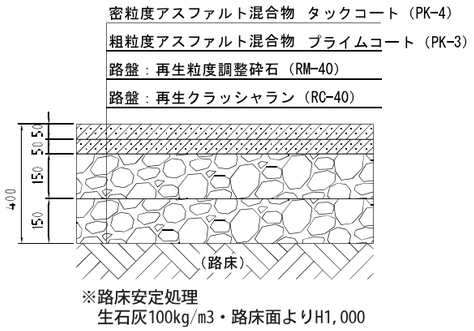
※アルテンダフォルテ　フラットレールタイプ　片開き同等品以上

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	囲障詳細図（フェンス・伸縮門扉）	縮尺	A1 － A3 －	計画　製作　調査　調査	図面番号 G-07

① 透水性インターロッキングブロック舗装　A1:1/10 A3:1/20

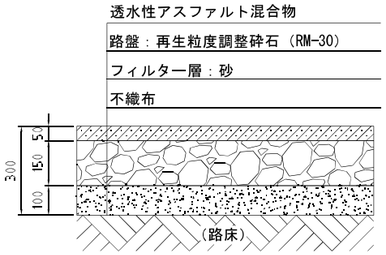


② 密粒アスファルト舗装（2層40型）　A1:1/10 A3:1/20



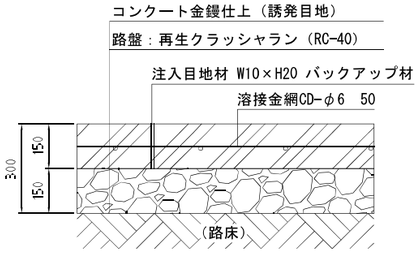
※路床安定処理
生石灰100kg/m3・路床面よりH1,000

③ 透水性アスファルト舗装（車道）　A1:1/10 A3:1/20

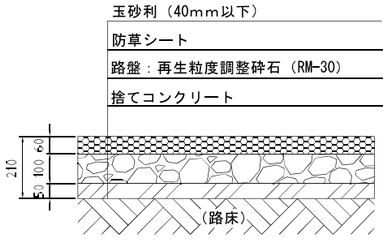


※路床安定処理
生石灰100kg/m3・路床面よりH1,000

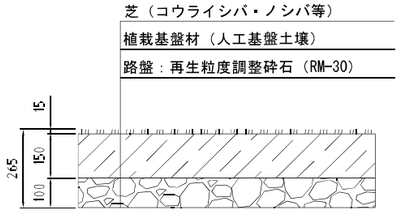
④ コンクリート舗装　A1:1/10 A3:1/20



⑤ 化粧玉砂利舗装　A1:1/10 A3:1/20

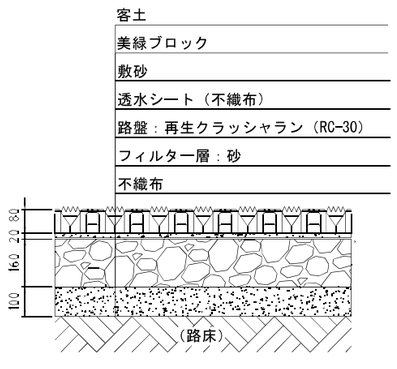


⑥ 緑地（芝張り）　A1:1/10 A3:1/20

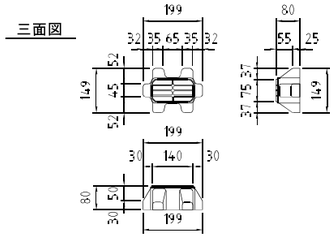


⑧ 緑地（植生用ブロック・緑化ブロック）　A1:1/10 A3:1/20

舗装構造例

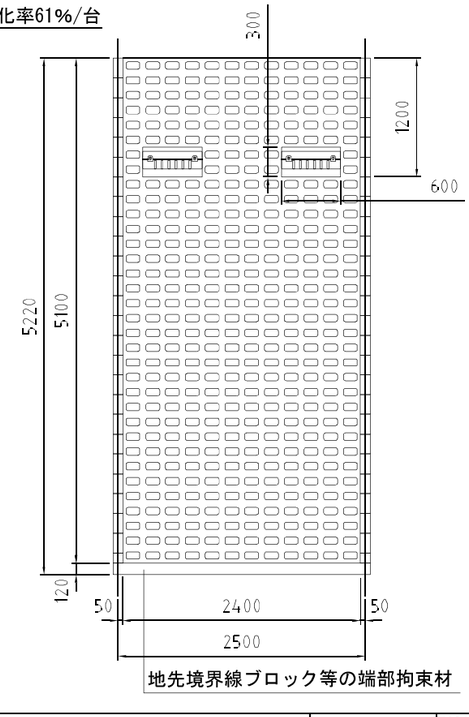


三面図



緑地（駐車場部：標準図）　A1:1/30 A3:1/60

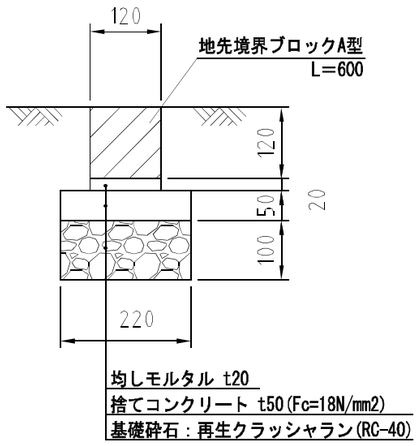
緑化率61%/台



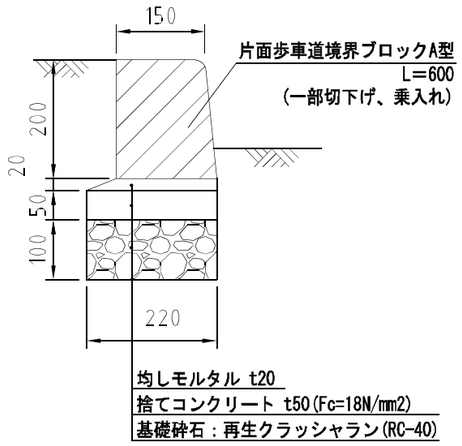
地先境界線ブロック等の端部拘束材

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	構造図（舗装）	縮尺 A1 - A3 -	図面番号 G-08

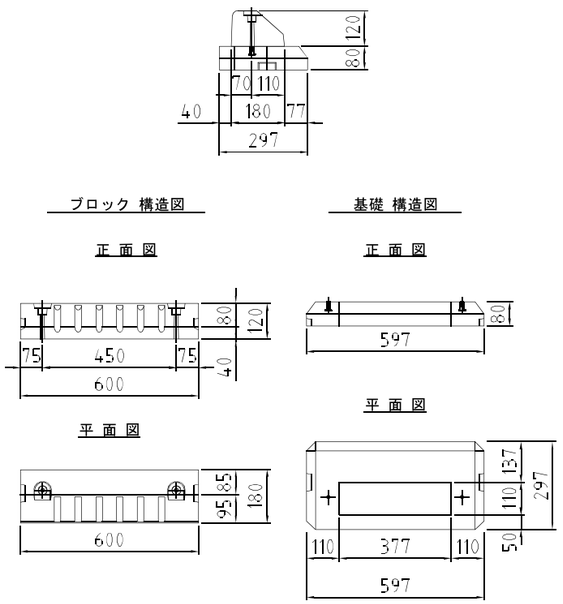
Ⓐ 地先境界ブロックA型　A1:1/5 A3:1/10



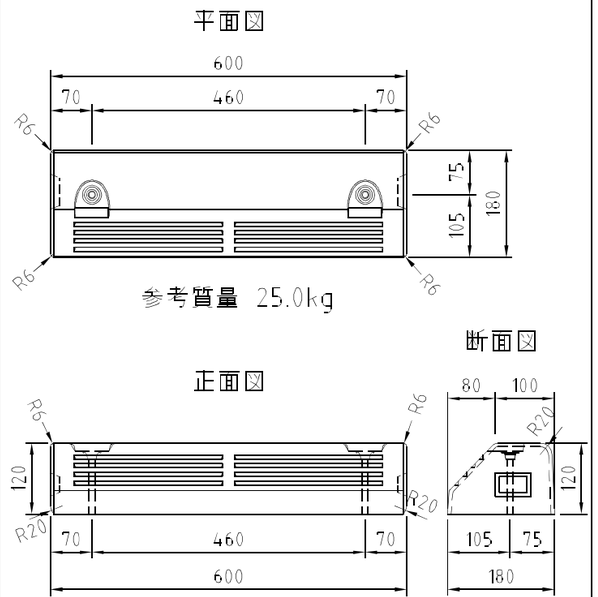
Ⓑ 片面歩車道境界ブロックA型　A1:1/5 A3:1/10



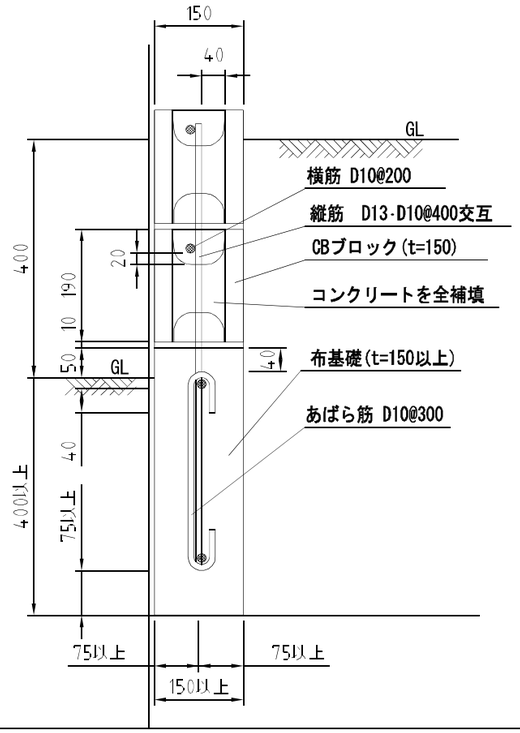
Ⓒ 車止めブロック（駐車場緑化用）　A1:1/10 A3:1/20



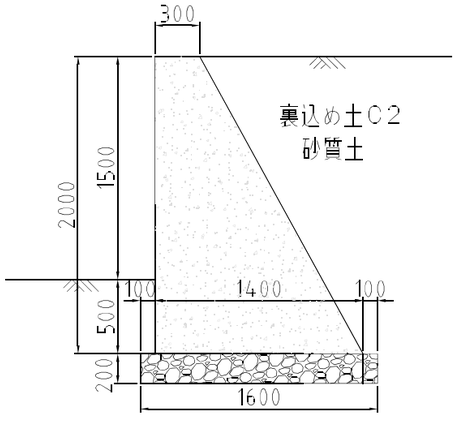
Ⓓ 車止めブロック　A1:1/5 A3:1/10



Ⓔ コンクリートブロック H400　A1:1/5 A3:1/10

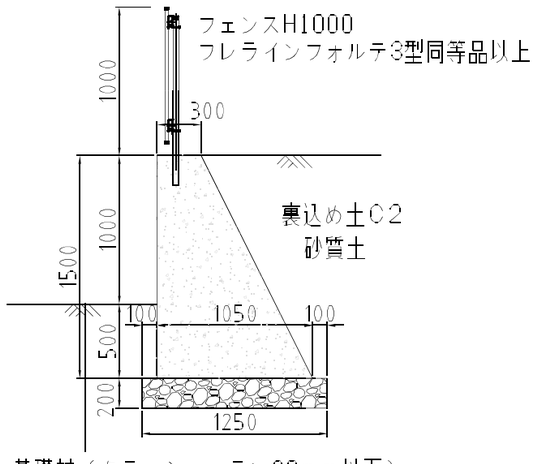


Ⓕ 重力式擁壁 H1500　A1:1/20 A3:1/40



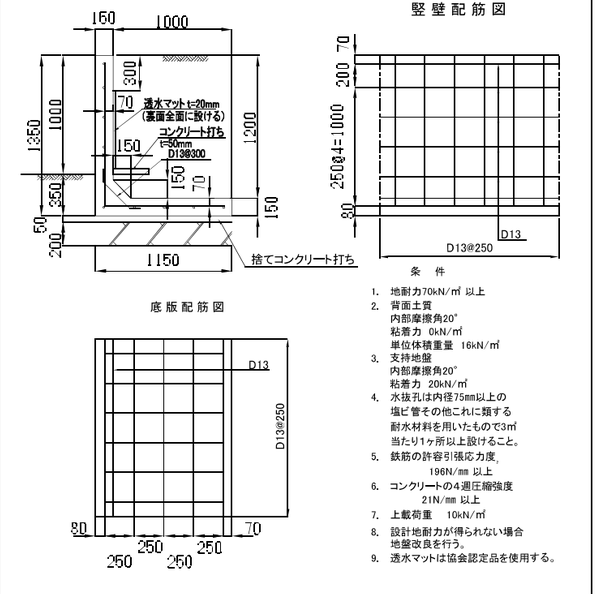
基礎材（クラッシャーラン80ｍｍ以下）
コンクリート強度18N/mm²
伸縮目地間隔10m以下
現場の状況に応じてφ75程度の水抜き穴を3.0㎡に1ヵ所設ける
地盤反力度　84KN/mm²

Ⓖ 重力式擁壁 H1000　A1:1/20 A3:1/40



基礎材（クラッシャーラン80ｍｍ以下）
コンクリート強度18N/mm²
伸縮目地間隔10m以下
現場の状況に応じてφ75程度の水抜き穴を3.0㎡に1ヵ所設ける
地盤反力度　64KN/mm²

Ⓘ RCL型擁壁 H1000　A1:1/25 A3:1/50



条　件

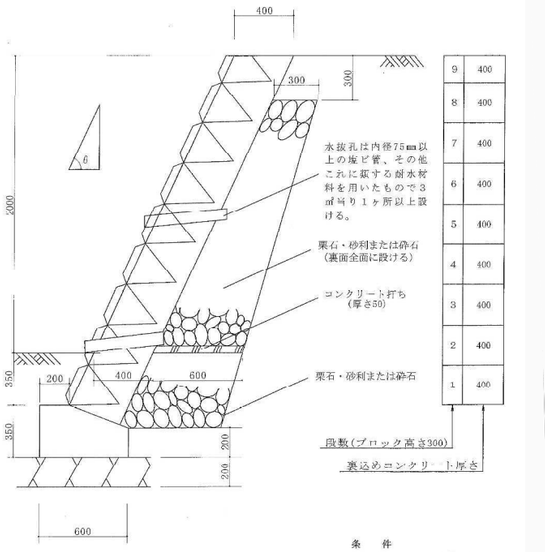
1. 地耐力70kN/㎡ 以上
2. 背面土質
   内部摩擦角20°
   粘着力　0kN/㎡
   単位体積重量　16kN/㎥
3. 支持地盤
   内部摩擦角20°
   粘着力　20kN/㎡
4. 水抜孔は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3㎡当たり1ヶ所以上設けること。
5. 鉄筋の許容引張応力度
   196N/mm 以上
6. コンクリートの4週圧縮強度
   21N/mm 以上
7. 上載荷重　10kN/㎡
8. 設計地耐力が得られない場合地盤改良を行う。
9. 透水マットは協会認定品を使用する。

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	森務番号 257031
図面名	構造図（見切り・ブロック・擁壁）	縮尺 A1 － A3 －	図面番号 G-09

Ⓗ 間知擁壁（H2000　65°盛土）

A1:1/20
A3:1/40

高さ２ｍ（盛土）
θ≦65°

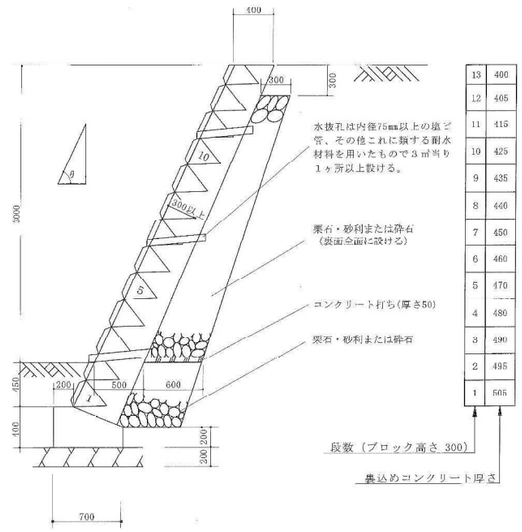


条　件
１．地耐力　75ｋN/㎡以上
２．コンクリートの４週圧縮強度
18N/㎟以上

Ⓗ 間知擁壁（H3000　65°盛土）

A1:1/30
A3:1/60

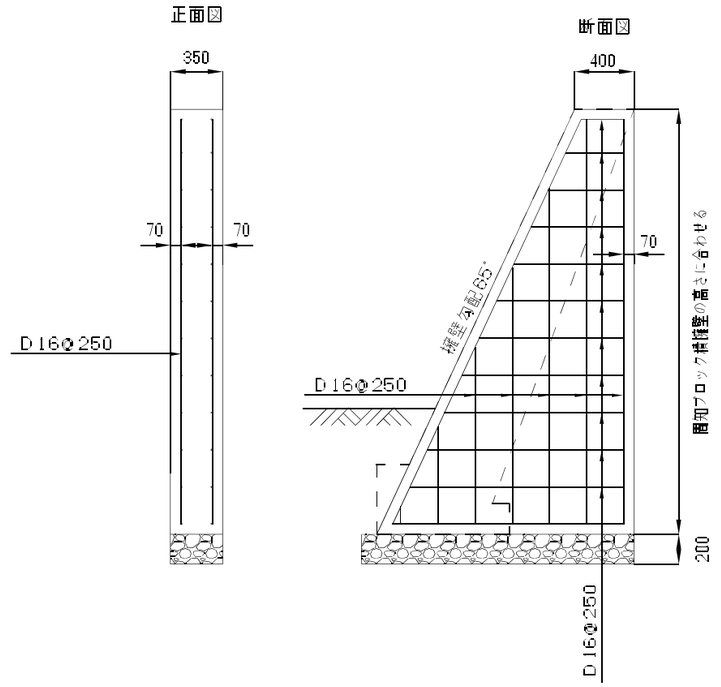
高さ３ｍ（盛土）
θ≦65°



条　件
１．地耐力　75ｋN/㎡以上
２．コンクリートの４週圧縮強度
18N/㎟以上

Ⓗ 間知隔壁

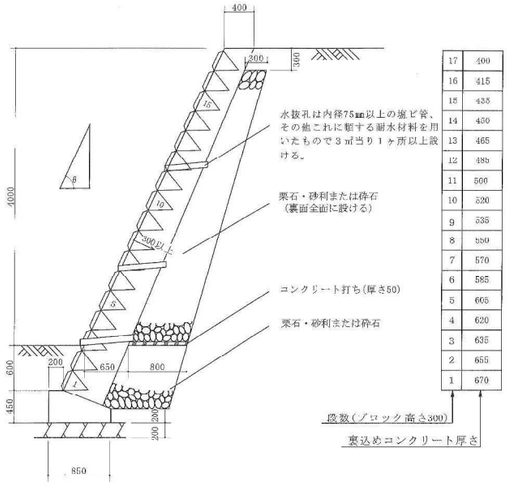
A1:1/20
A3:1/40



Ⓗ 間知擁壁（H4000　65°盛土）

A1:1/40
A3:1/80

高さ４ｍ（盛土）
θ≦65°

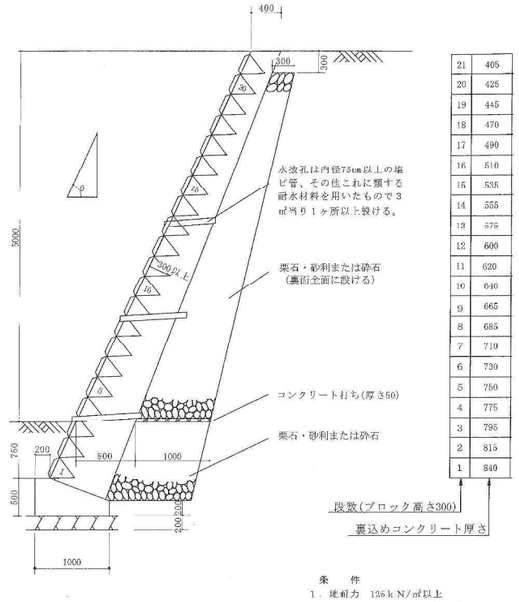


条　件
１．地耐力　100ｋN/㎡以上
２．コンクリートの４週圧縮強度
18N/㎟以上

Ⓗ 間知擁壁（H5000　65°盛土）

A1:1/40
A3:1/80

高さ５ｍ（盛土）
θ≦65°

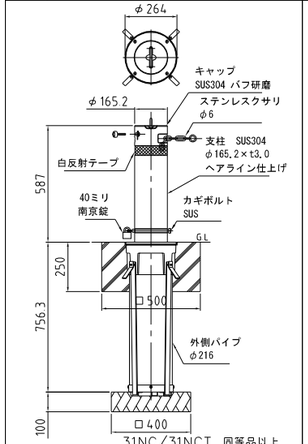


条　件
１．地耐力　125ｋN/㎡以上
２．コンクリートの４週圧縮強度
18N/㎟以上

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	構造図（間知擁壁）	縮尺	A1　－ A3　－		図面番号 G-10

㋖ 上下式バリカー 31NC/31NCT 同等品以上

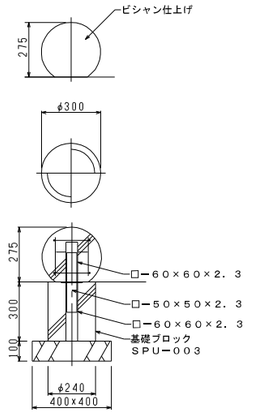
A1:1/15
A3:1/30



31NC/31NCT 同等品以上

㋗ 縦石ボラード SPT-218 同等品以上

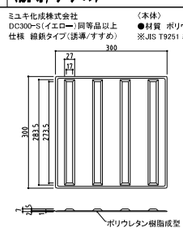
A1:1/15
A3:1/30



SPT−218 同等品以上

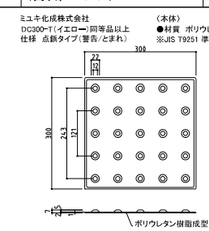
㋘ 点字ブロック・線状タイプ (誘導/すすめ)

A1:1/8
A3:1/16



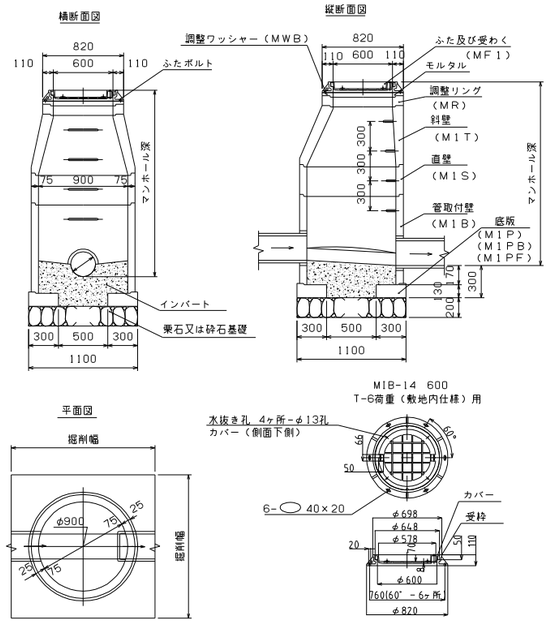
㋙ 点字ブロック・線状タイプ (警告/とまれ)

A1:1/8
A3:1/16



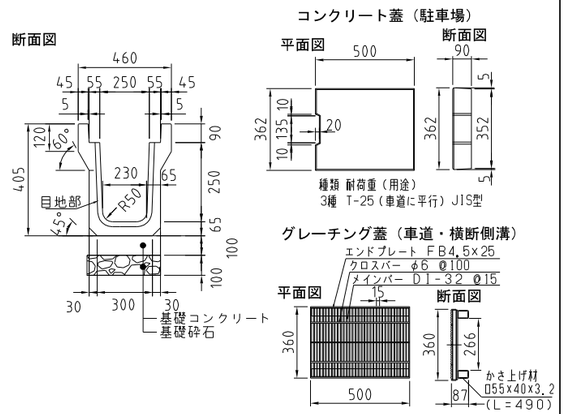
ⓐ 第一種組立人孔 (φ900)

A1:1/30
A3:1/60



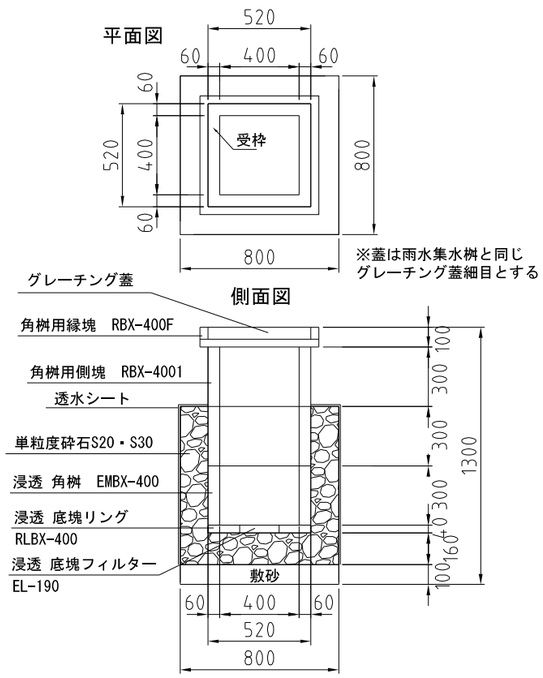
ⓑ プレキャスト落蓋式U字溝 (250)

A1:1/15
A3:1/30



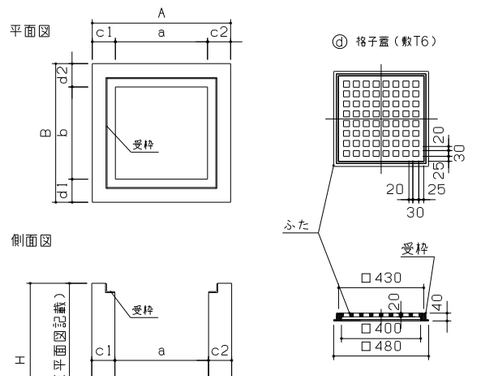
ⓒ 浸透ポラコン角桝 EMBX-400 同等品以上

A1:1/15
A3:1/30



ⓓⓓ2 プレキャスト集水桝 (400)
ⓓ 格子蓋(敷T6) ⓓ2 グレーチング蓋(T25) 同等品以上

A1:1/15
A3:1/30



品名	枠付格子蓋 中荷重用(6t)
型式	GF−A−400
材料	FC200

GF−A−400 同等品以上

1. 型式 D1FD44T44 D−GRIP細目
2. 表面処理
   グレーチング:亜鉛メッキ
   受 枠 :黒ペイント

落し込式 Dグリップ(BPN40)
縞目ピッチ 15
桝穴 400×400
(車面進行方向:主部材と平行)
T−25
GR 23.8kg
受 枠 9.7kg
総重量33.5kg

株式会社ダイクレ

D1FD44T44 D−GRIP細目 同等品以上

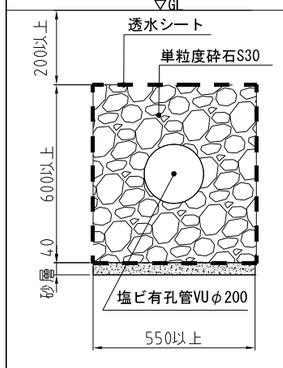
三洋コンクリート工業(株)プレキャスト集水桝 同等品以上

種類	呼び	寸法								
		a	A	b	B	c1	c2	d1	d2	H
集水桝	400×400	400	700	400	700	150	150	150	150	1000

※平面図に記載のhは泥溜めを含まない高さである
※泥溜めとして桝底よりH150を設ける

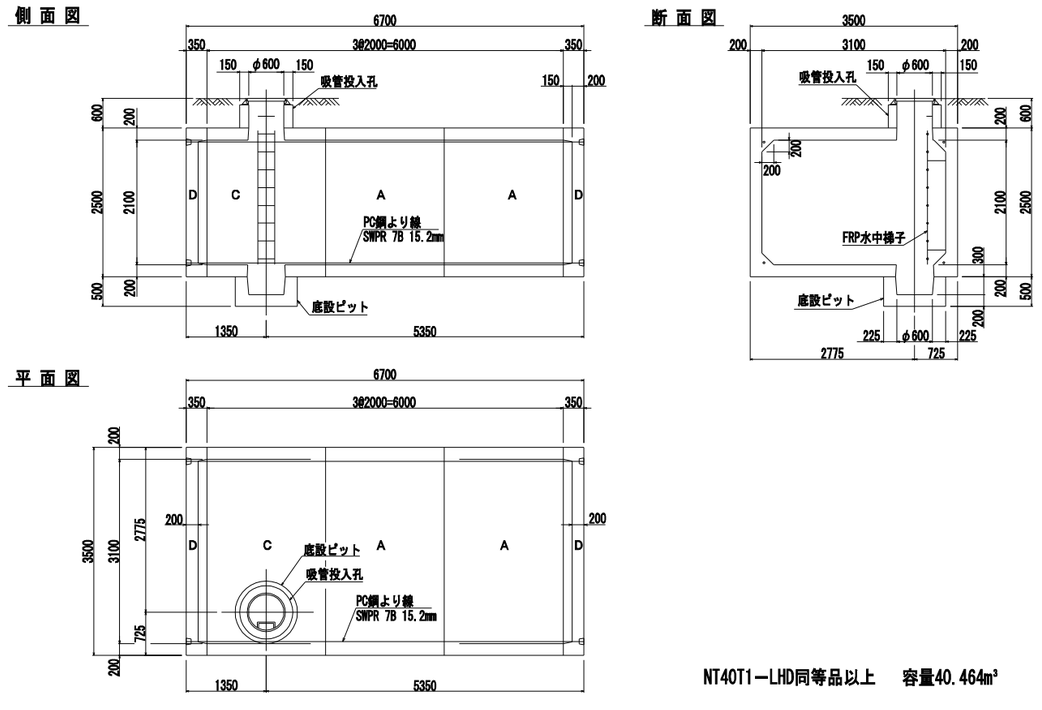
ⓔ 浸透トレンチ管 (φ200)

A1:1/10
A3:1/20



㋜ ＮＴ式防火水槽 ４０m³ 同等品以上

A1:1/50
A3:1/100

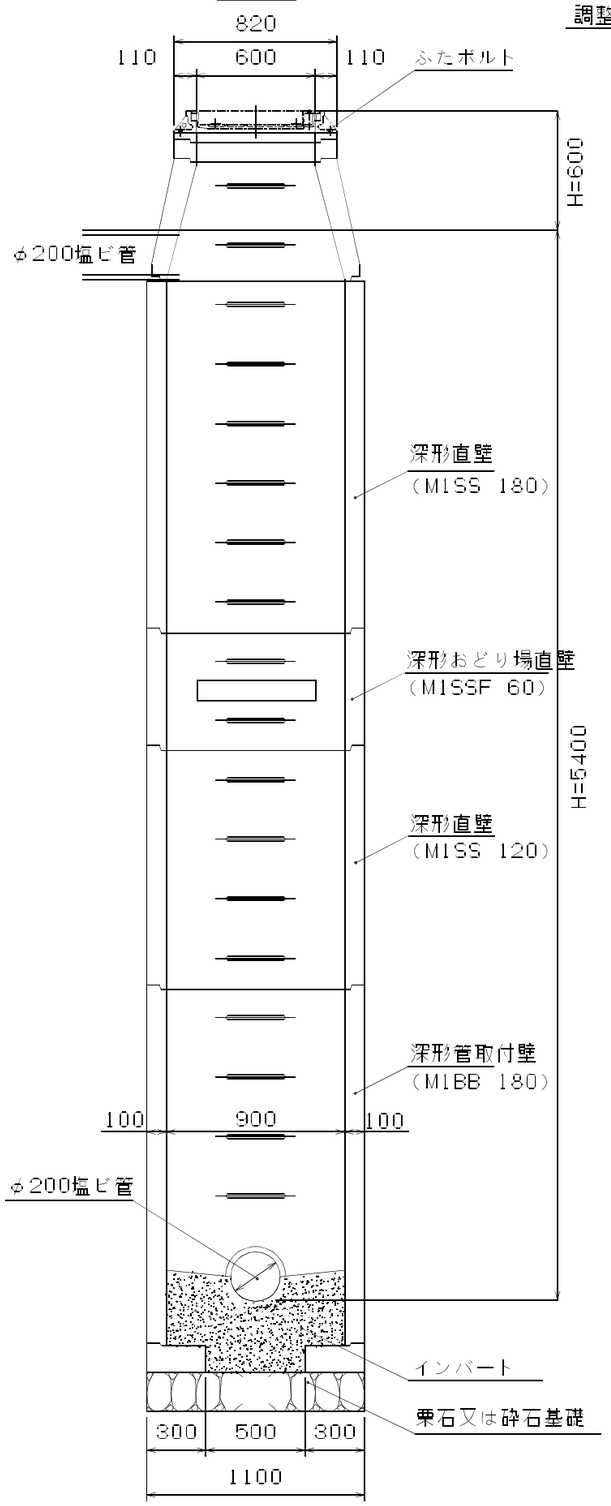


NT40T1−LHD同等品以上 容量40.464m³

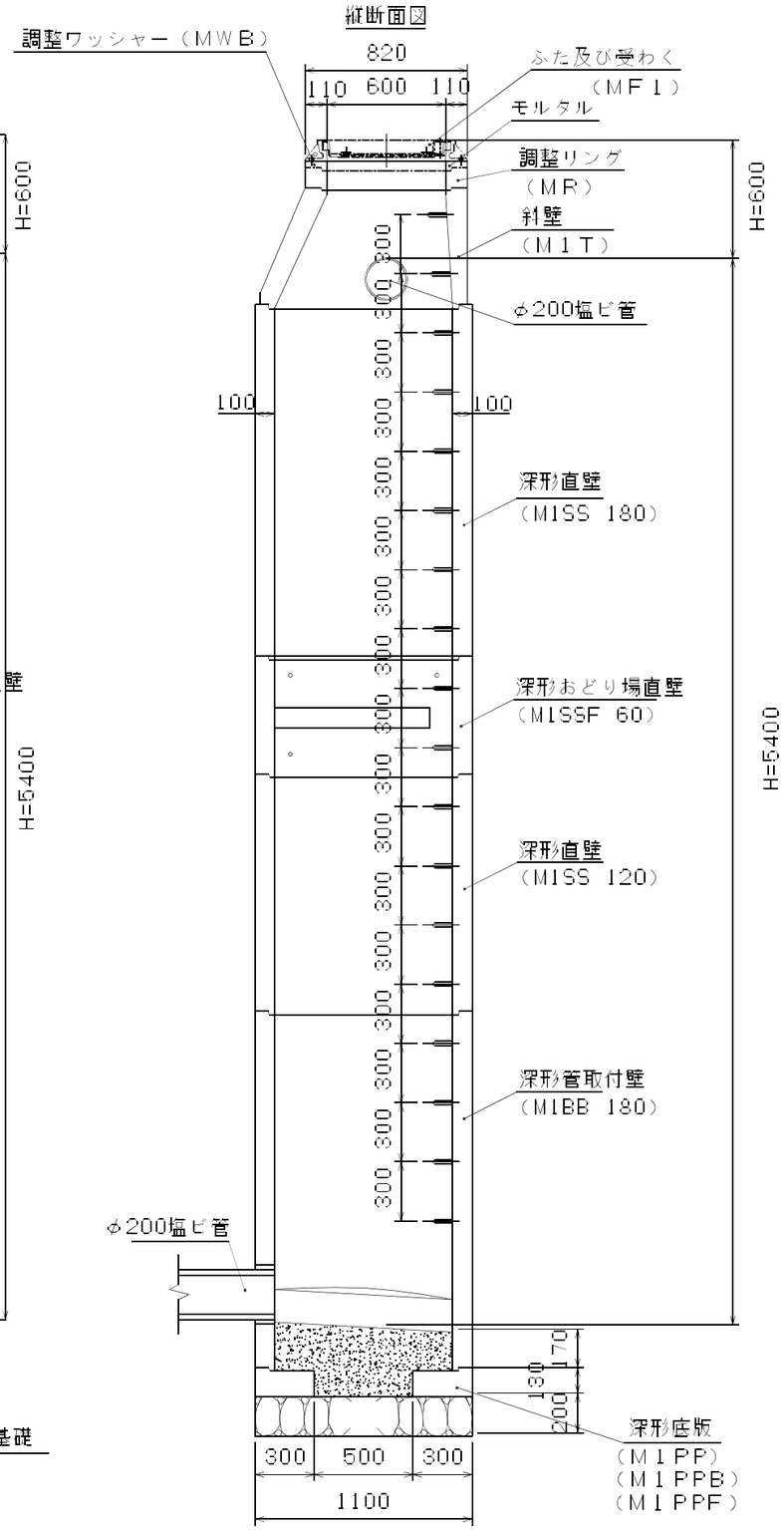
工事名	(仮称)地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	整理番号 257031
図面名	構造図(バリカー・ボラード・雨水排水・防火水槽)	縮尺	A1 − A3 −		図面番号 G−11

㊀ 第一種組立人孔Ⅱ型（φ900）

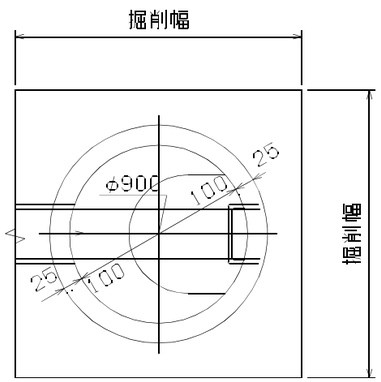
横断面図



縦断面図

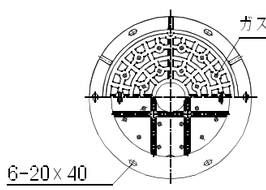


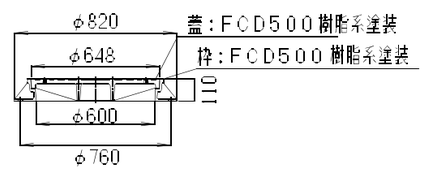
平面図



汚水人孔蓋・一般型

日本規格協会日本産業規格
JIS A 5506 該当製品
適用荷重　T-25
破壊荷重　700kN（71，400kgf）以上
接触圧子　200×500mm
標準質量　128．0kg



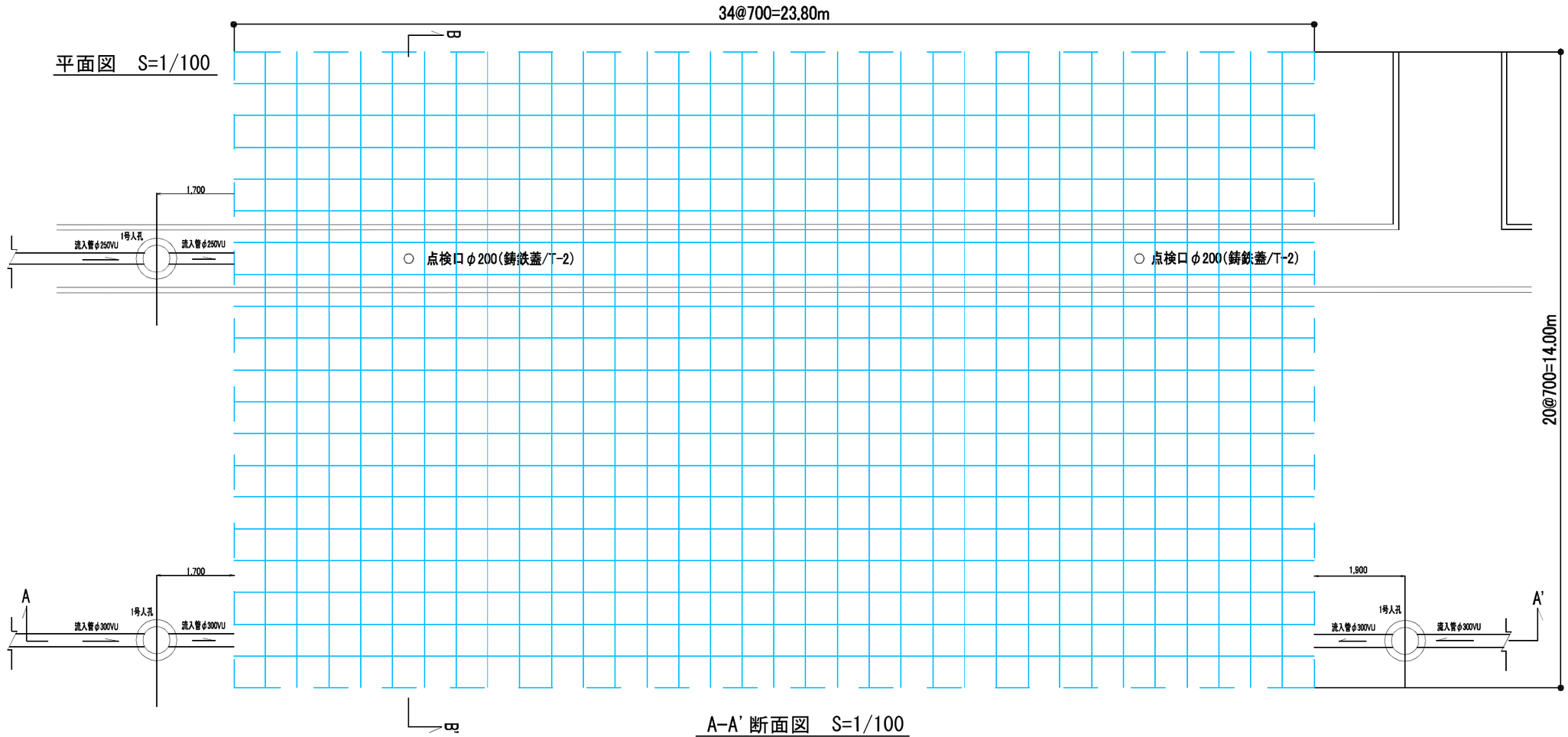


下水道用鉄蓋　一般型　MRD-25-600-R

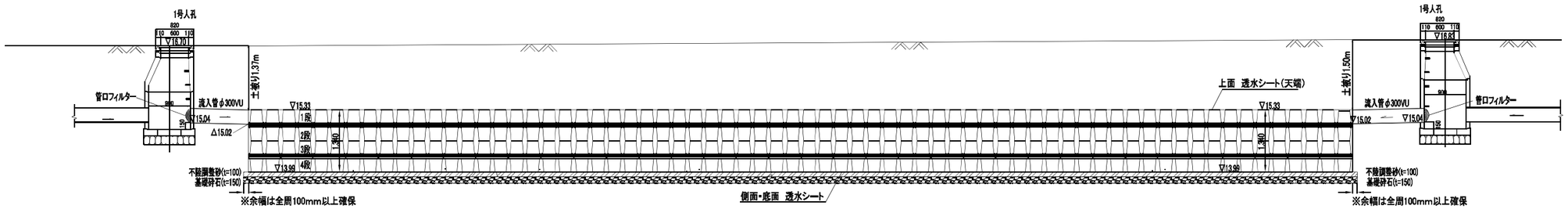
	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名　構造図（汚水人孔）	縮尺	A1 1:15 A3 1:30		図面番号 G-12

ⓖ 雨水浸透槽

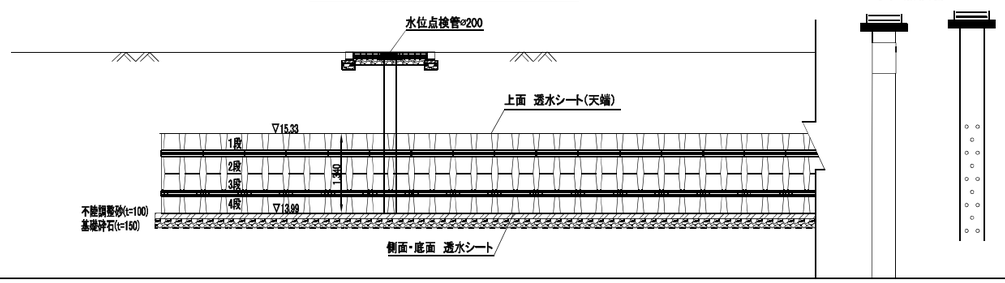
平面図　S=1/100



A-A'断面図　S=1/100



B-B'断面図　S=1/100



水位点検管φ200

施設高(m)

段数	施設高(m)
1段	0.35
2段	0.67
3段	1.02
4段	1.34

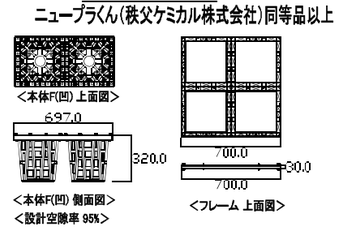
地下式雨水貯留槽容量計算

必要貯留量=6,974.22㎡×600㎥/ha=418.4532㎥

計画貯留量=14.00m×23.80m×1.34m×95%=424.1636㎥>418.4532㎥　O.K

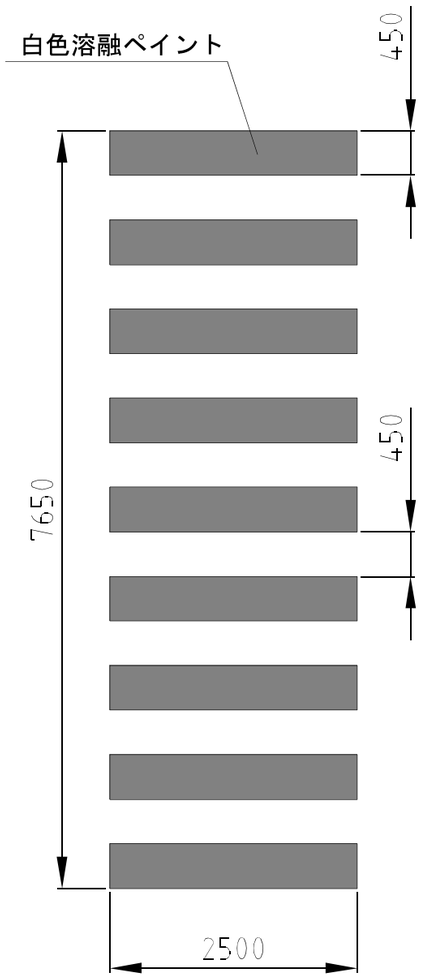
ブロック詳細図

ニュープラくん(秩父ケミカル株式会社)同等品以上

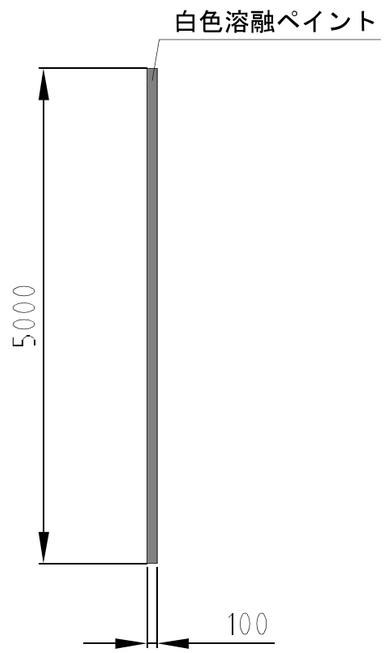


工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	構造図(雨水浸透槽)	縮尺	A1 1:50 A3 1:100		図面番号 G-13

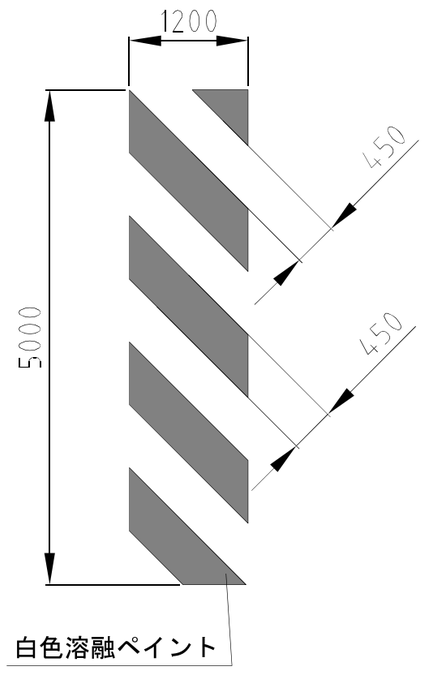
㋐ 横断歩道表示



㋑ 駐車場区画線



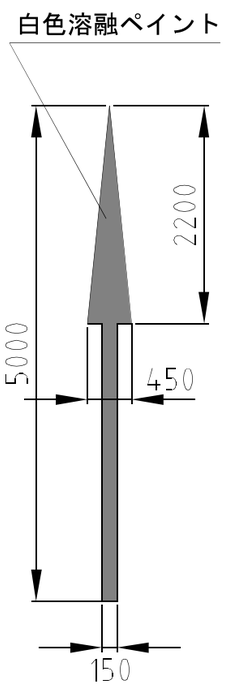
㋒ 身障者用駐車区画線



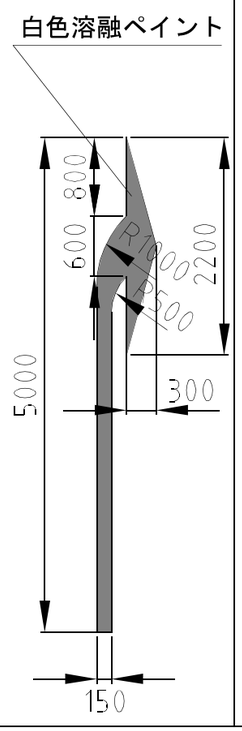
㋓ 案内用図記号 身障のある人が使える設備

身障のある人が使える設備
（JIS-Z8210）

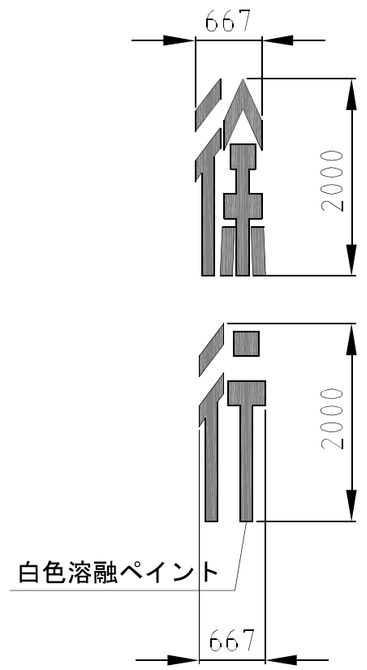
㋔ 進行方向標示（直進矢印）



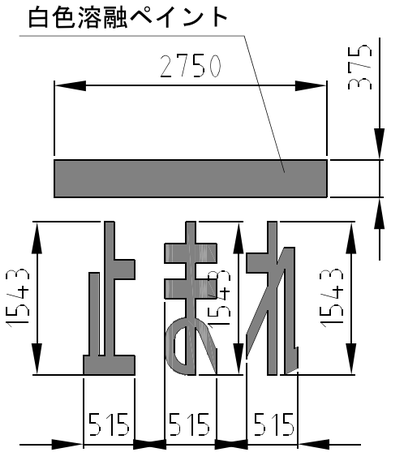
㋕ 進行方向標示（右折矢印）



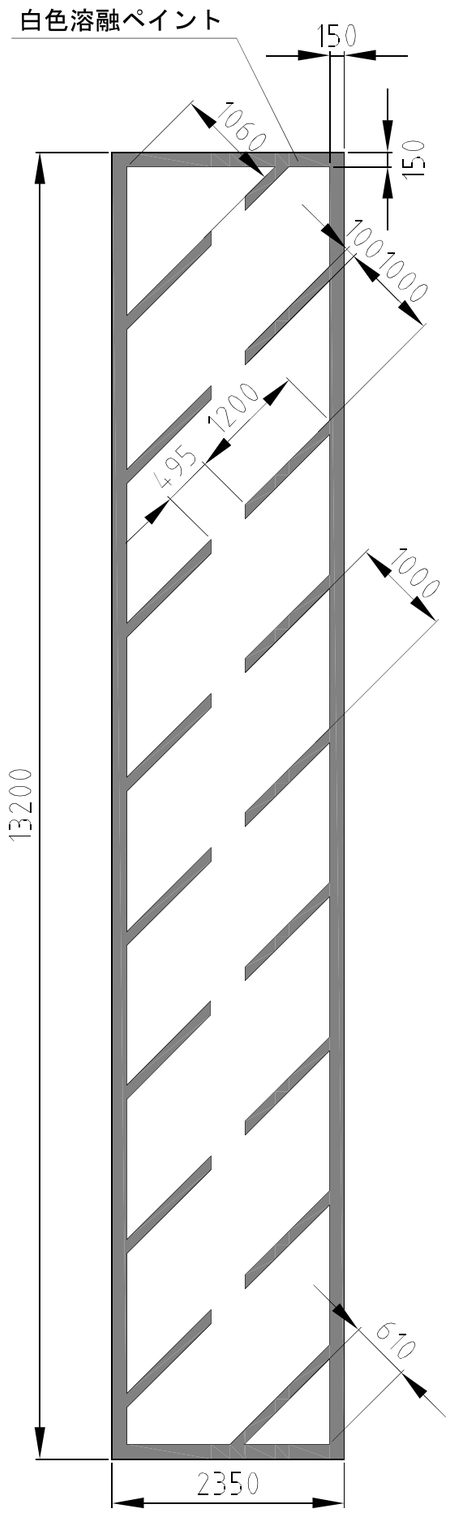
㋖ 徐行標示



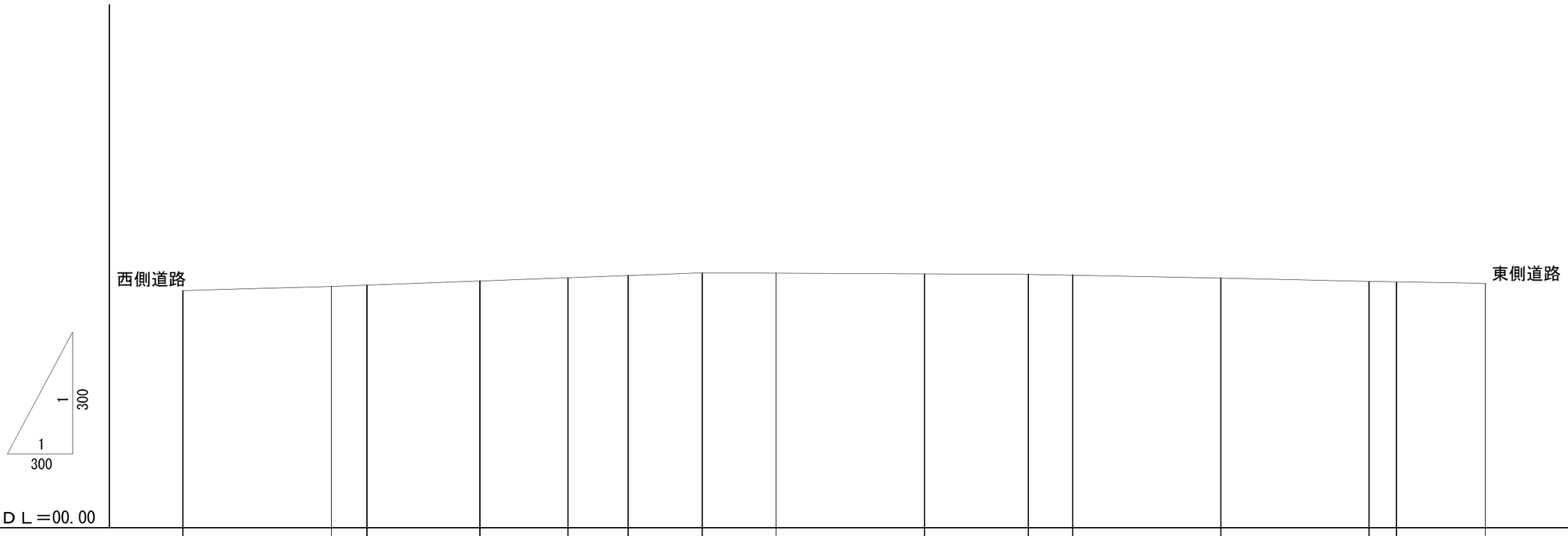
㋗ 一時停止標示



㋘ 大型駐車場区画線



工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	構造図（路面標示）	縮尺 A1 1:30 A3 1:60	図面番号 G-14



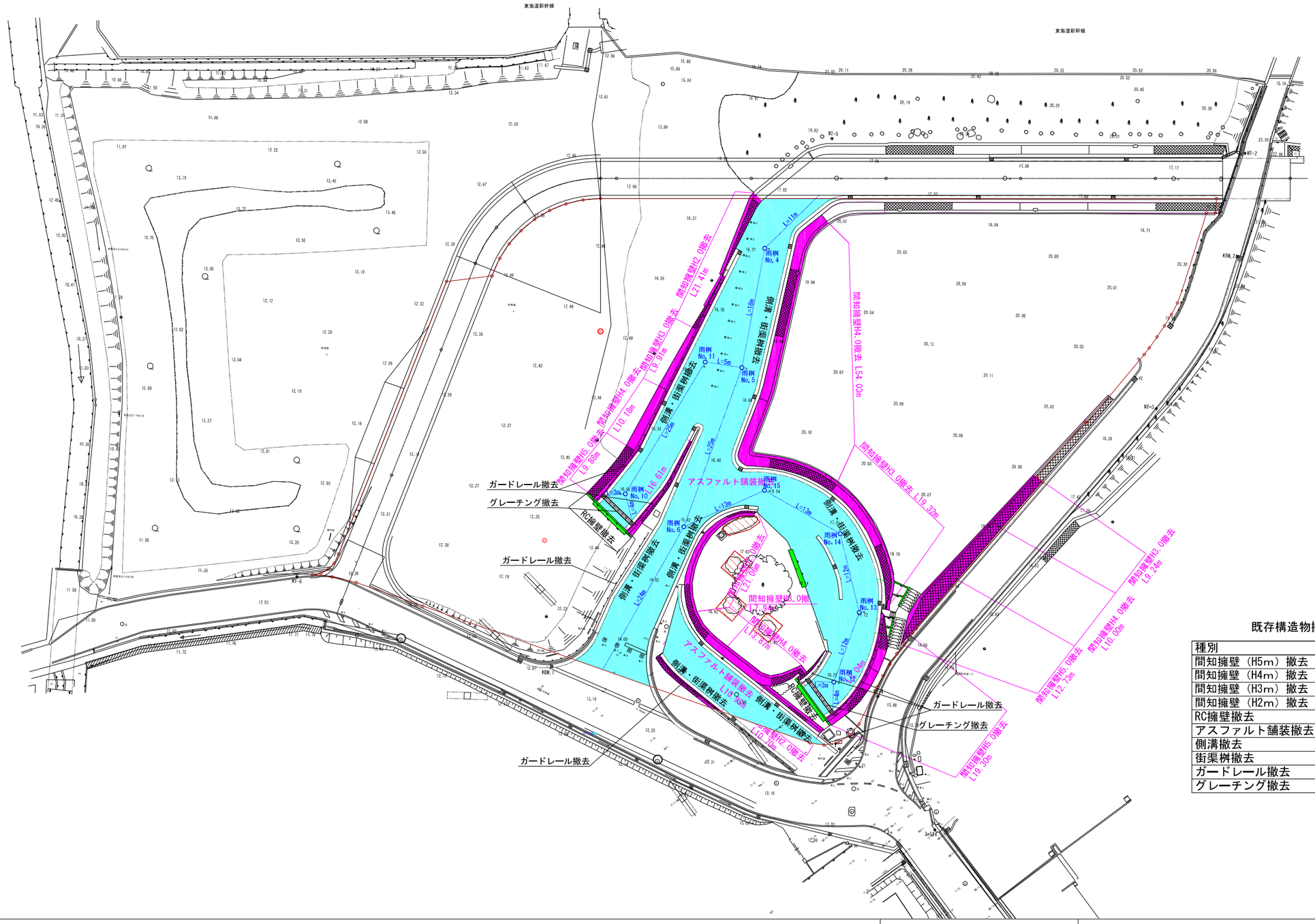
勾配	16.00	L=10.00m i=3.00%	16.30			L=25.00m i=3.60%					17.20	L=22.01m i=0.45%				17.10	L=12.99m i=1.85%		16.86	L=10.00m i=2.40%	16.62	L=7.85m i=1.53%	16.50
計画高	16.00		16.30	16.39		16.66		16.88	17.02		17.20	17.18		17.13		17.10	17.08		16.86		16.62	16.60	16.50
追加距離	0.00		10.00	12.38		20.00		25.96	30.00		35.00	40.00		50.00		57.01	60.00		70.00		80.00	81.84	87.85
単距離	0.00		10.00	2.38		7.62		5.96	4.04		5.00	5.00		10.00		7.01	2.99		10.00		10.00	1.84	6.01
測点名	NO.0		NO.1	NO.1 +2.38		NO.2		NO.2 +5.96	NO.3		NO.3 +5.00	NO.4		NO.5		NO.5 +7.01	NO.6		NO.7		NO.8	NO.8 +1.84	NO.8 +7.85

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	敷地内通路縦断図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号 G-15

支障木伐採・抜根リスト(低木)

樹　種	樹高(m)	生長(m)	枝張(m)	本数
イヌツゲ1	1.0	1.2	4.0	1
イヌツゲ2	1.0	1.5	1.5	3
ドウダン	0.9	0.9	0.03	22

：樹木撤去範囲を示す



既存構造物撤去工

種別	数量
間知擁壁（H5m）撤去	41.91m
間知擁壁（H4m）撤去	88.08m
間知擁壁（H3m）撤去	46.41m
間知擁壁（H2m）撤去	86.75m
RC擁壁撤去	35.87m
アスファルト舗装撤去	1126.31m²
側溝撤去	274.82m
街渠桝撤去	17個
ガードレール撤去	116.22m
グレーチング撤去	10.31m

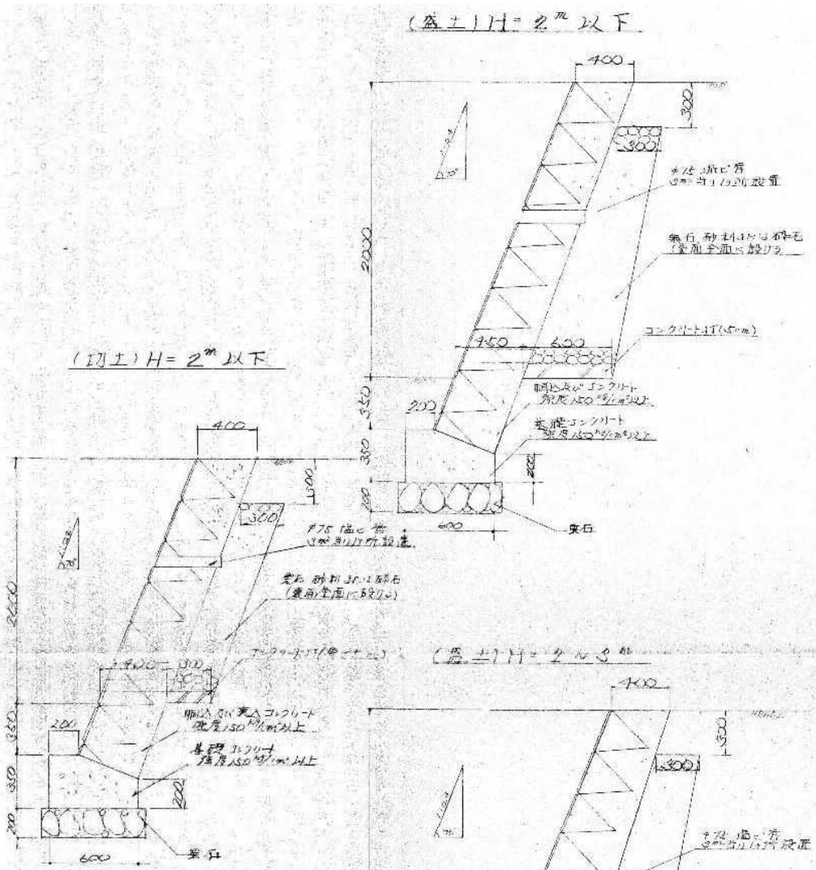
工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号	257031
図面名　外構撤去図	縮尺	A1 1:300 A3 1:600		図面番号	G-16

間知石積擁壁構造図

S=1/80

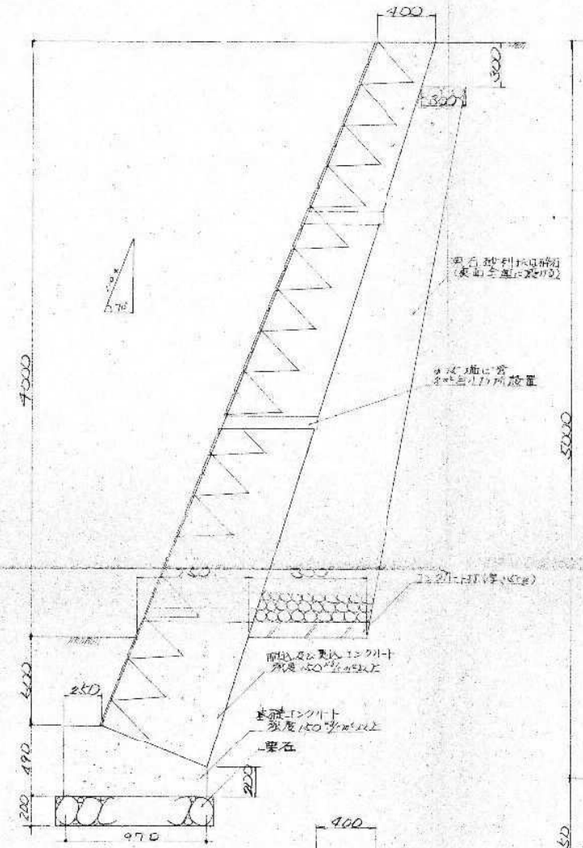
（盛土、切土）

（盛土）H＝2m以下

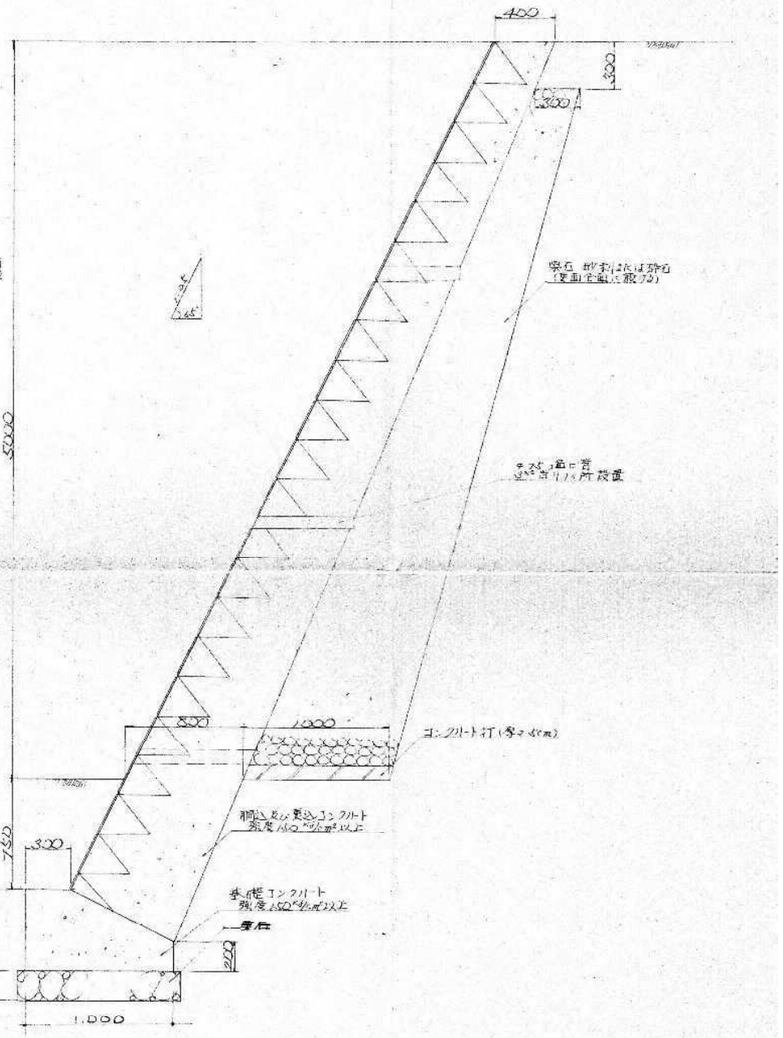


（切土）H＝2m以下

（盛土）H＝3～4m

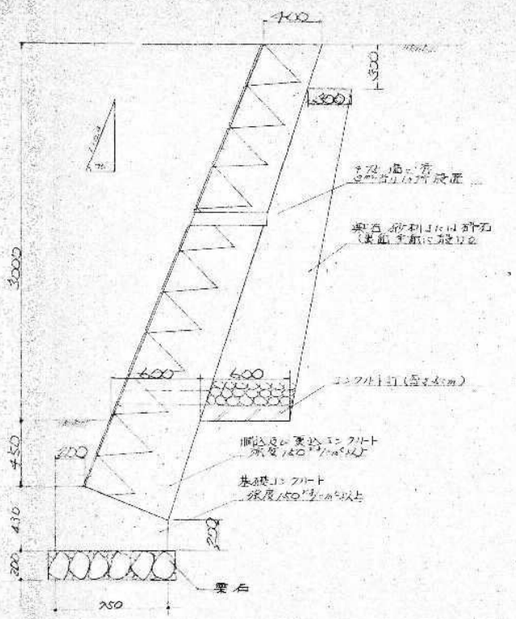


（盛土）H＝4～5m

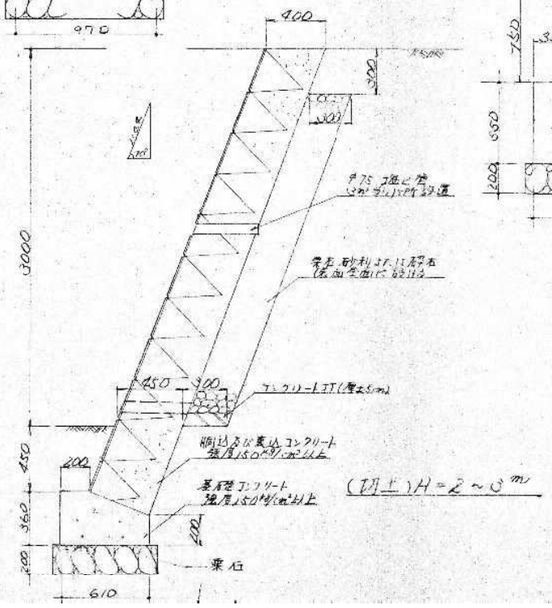


（盛土）H＝2～3m

（盛土）H＝2～3m



（切土）H＝2～3m

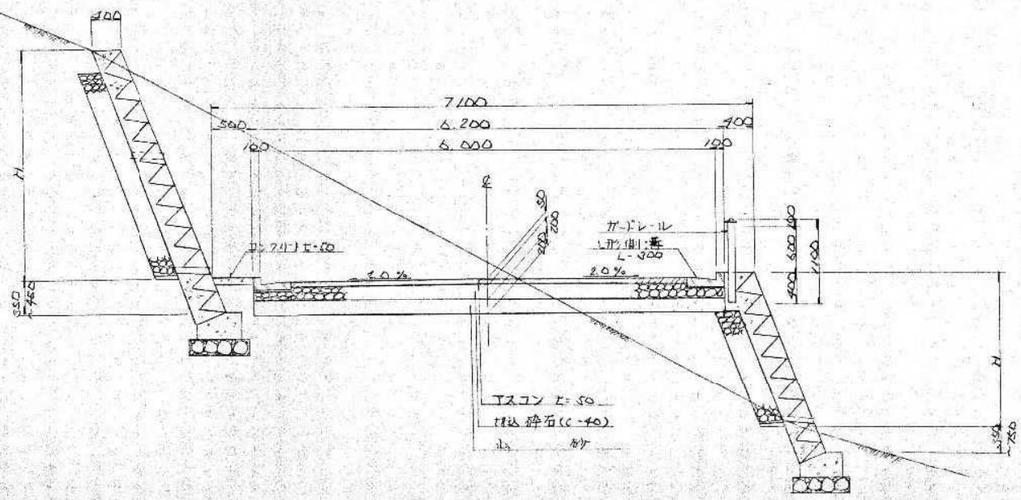


特記なき限り全て撤去

	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名	外構撤去構造図（間知石積擁壁構造図）	縮尺 A1 1:20 A3 1:40		図面番号 G-17

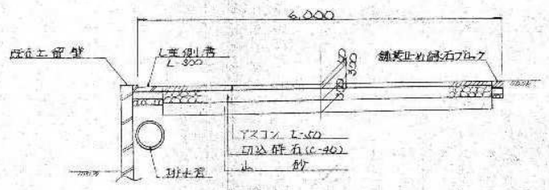
道路施設構造図 (1/1)

標準横断図 S=1:40
（進入道路部）

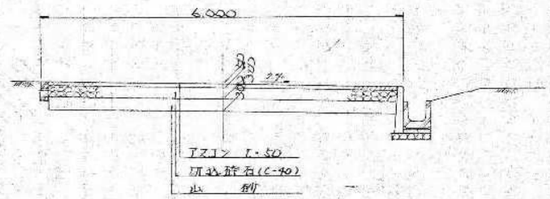


標準横断図 S=1:40
（構内道路部）

A－A 断面

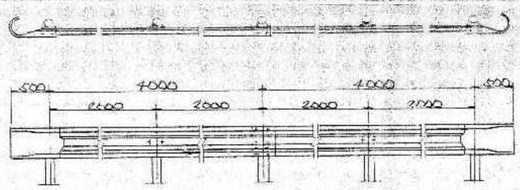


B－B 断面

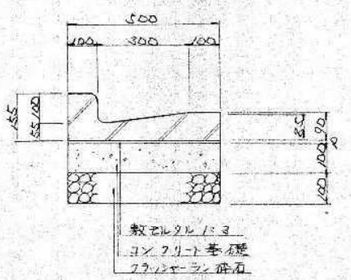


ガードレール構造図
コンクリート建込（路側用）

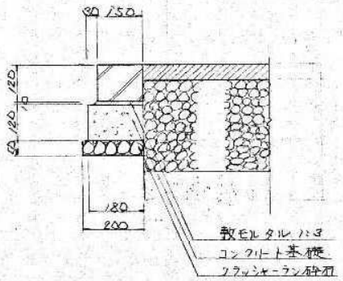
平面図 正面図 S=1:40



L形側溝構造図 S=1:10
鉄筋コンクリートL型 L=300

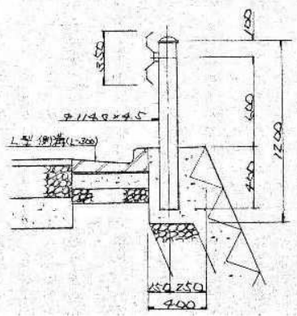


舗装止め縁石ブロック構造図 S=1:10



組立詳細図 S=1:20

主柱詳細図 S=1:20



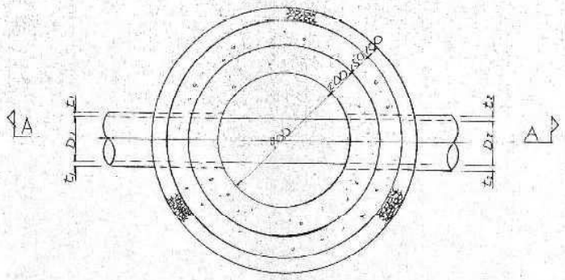
特記なき限り全て撤去

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	外構撤去構造図（道路施設構造図）	縮尺	A1 図示 A3 図示		図面番号 G-18

排水施設構造図 (1/2)

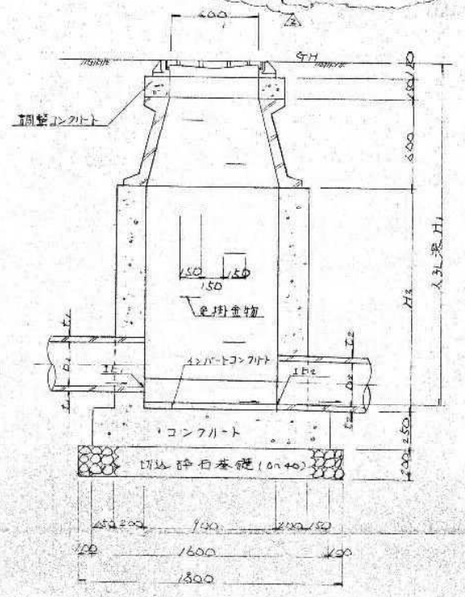
人孔構造図 S=1:20

平面図

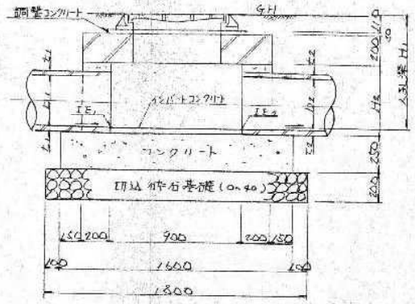


A-A 断面図

No.1~No.7, No.10~No.27 人孔



No.8.9 人孔

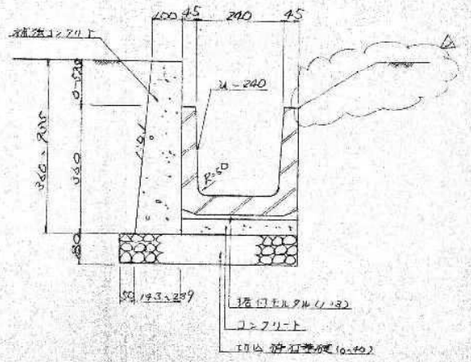


寸法表 (単位 mm)

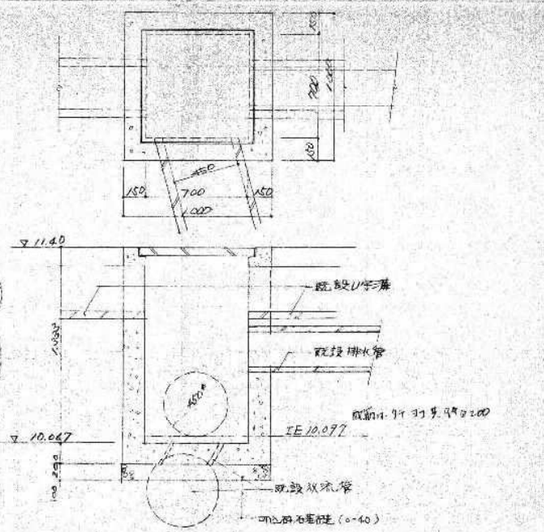
人孔No.	IE1	IE2	D1	D2	t1	t2	H1	H2	GH
1	—	16.402	—	250	—	28	1.228	0.396	17.33
2	15.852	15.822	250	〃	〃	〃	1.608	0.476	17.33
3	15.472	15.542	〃	〃	〃	〃	1.778	0.746	17.32
4	15.391	15.361	〃	〃	〃	〃	1.954	0.928	17.32
5	14.732	14.772	〃	〃	〃	〃	2.536	1.500	17.1
6	14.322	14.511	〃	350	〃	32	2.489	1.827	16.80
7	13.972	13.262	350	〃	32	〃	1.348	0.488	14.73
8	13.142	12.470	〃	〃	〃	〃	1.410	0.550	13.70
9	12.123	12.295	〃	〃	〃	〃	1.105	0.737	12.40
10	—	15.762	—	250	—	28	1.418	0.646	17.74
11	15.512	15.482	250	〃	28	〃	1.778	0.916	17.28
12	—	16.017	—	〃	—	〃	1.818	0.986	18.03
13	14.497	16.092	250	〃	28	〃	1.928	1.096	17.97
14	15.922	15.402	〃	〃	〃	〃	1.998	1.166	17.90
15	15.292	14.652	〃	〃	〃	〃	2.028	1.166	16.75
16	12.085	11.600	—	〃	—	〃	1.500	0.668	12.90
21	10.942	10.912	350	〃	32	〃	2.188	1.360	13.10
22	11.131	10.782	〃	450	〃	38	1.938	1.116	12.72
23	10.711	10.681	350	〃	32	〃	1.827	1.007	12.51
24	10.652	10.622	〃	〃	〃	〃	1.788	1.166	12.61
25	10.475	10.445	〃	〃	〃	〃	1.705	0.883	12.15
26	10.298	10.268	〃	〃	〃	〃	1.562	0.740	11.83
27	10.137	10.107	〃	〃	〃	〃	1.393	0.571	11.50

U型側溝(U-240)及び補強コンクリート布設構造図

S=1:10



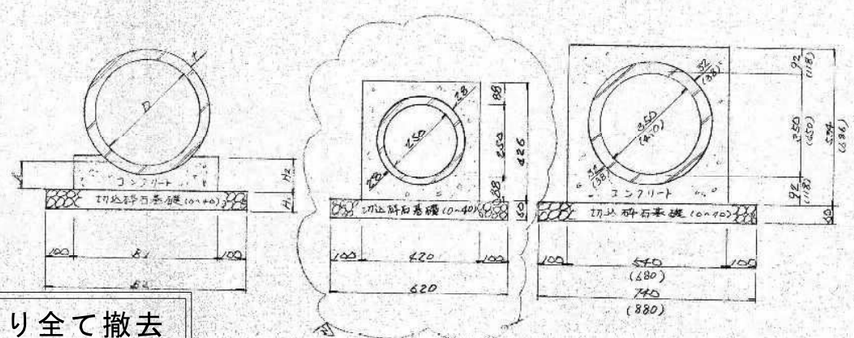
F-1 排水桝構造図 S=1:20



ヒューム管(B型)布設図 S=1:10

90°コンクリート基礎　　360°コンクリート基礎

※( )内寸法は、450φ管用となる。



寸法表 (単位 mm)

D	t	A	H1	H2	B1	B2	1本の長さ
φ250	28	88	60	100	370	570	2000
φ350	32	92	60	120	482	682	2000
φ300	30	90	60	110	424	624	2000
φ450	38	118	80	150	606	806	2430

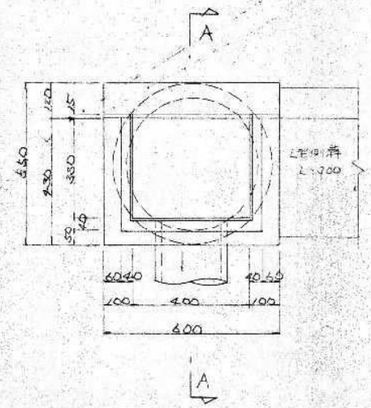
特記なき限り全て撤去

工事名	(仮称) 地域交流温浴センター建設工事		令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	外構撤去構造図 (排水施設構造図-1)	縮尺 A1 図示 A3 図示		図面番号 G-19

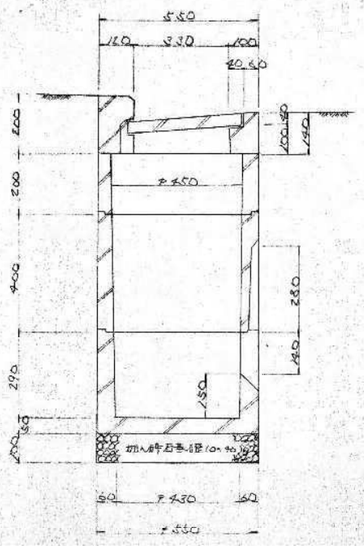
排水施設構造図 (2/2)

タイプA集水桝構造図 S=1:10

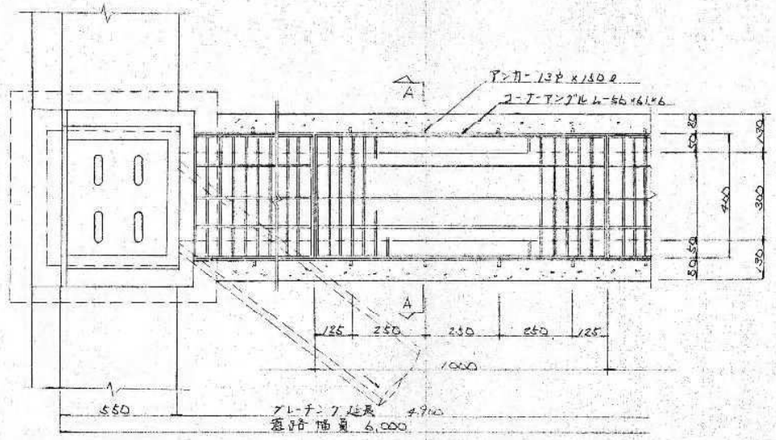
平面図



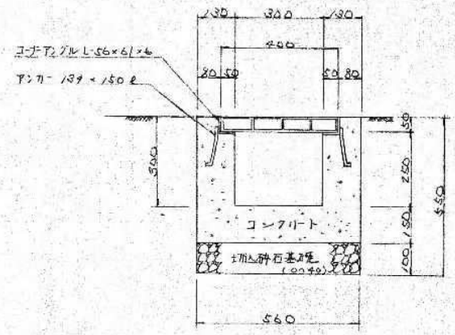
A-A断面図

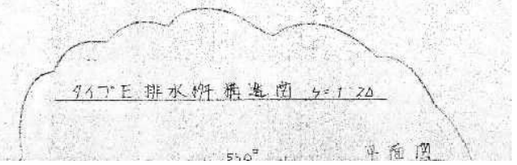


グレーチング(T-20)構造図 S=1:10



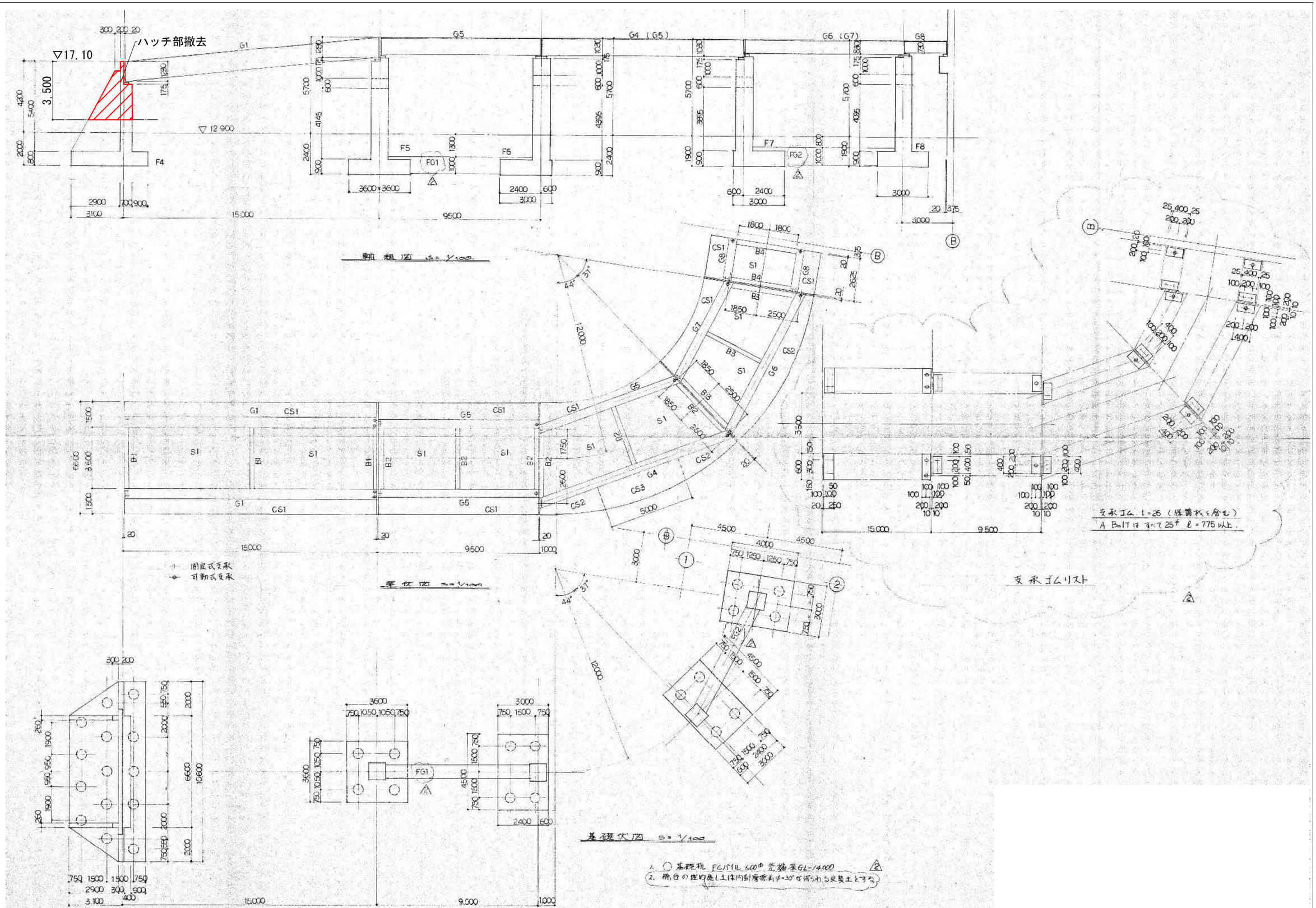
A-A断面図



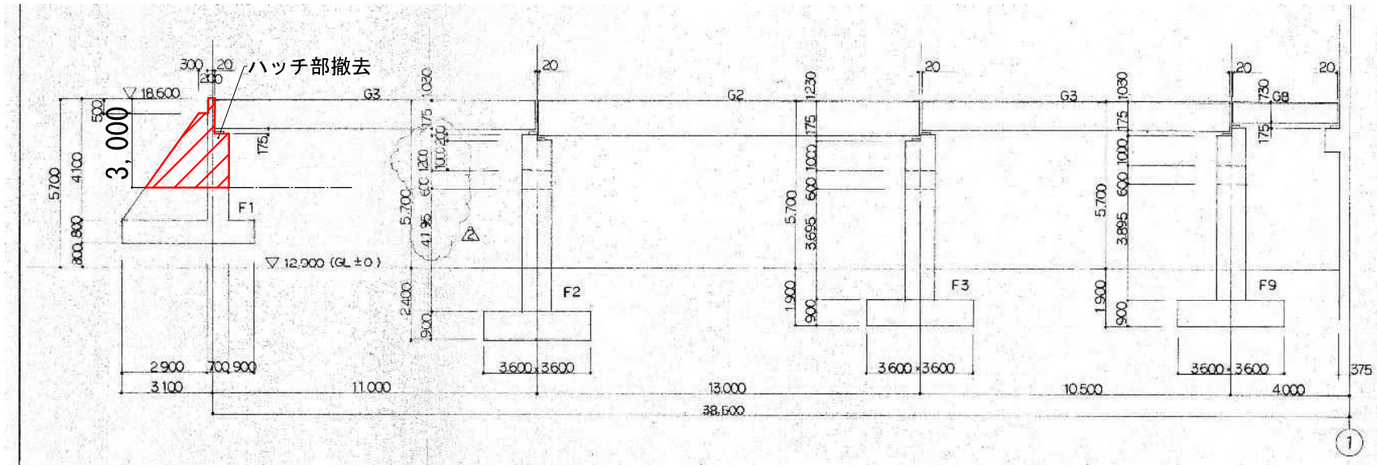


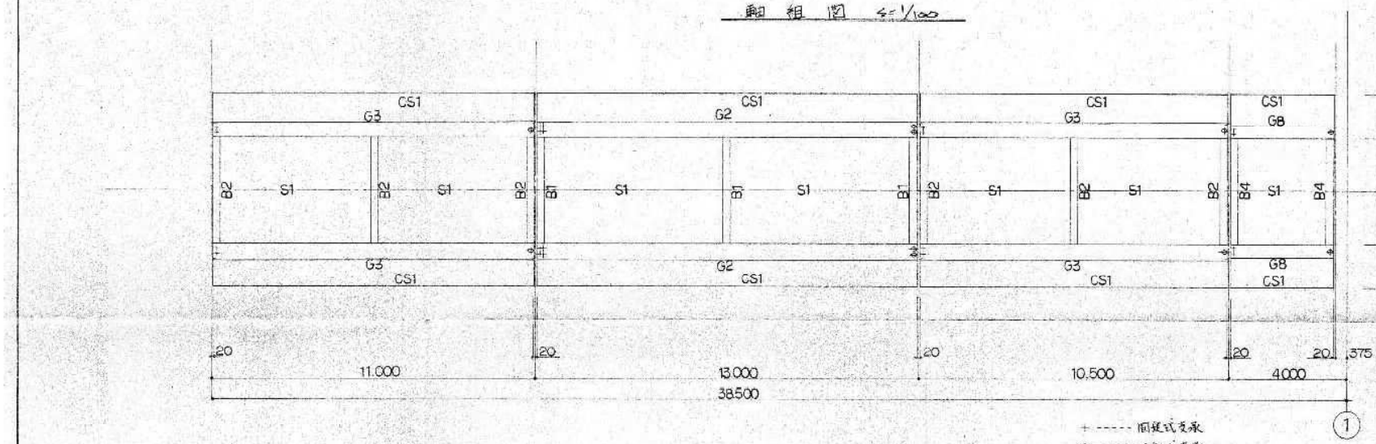
特記なき限り全て撤去

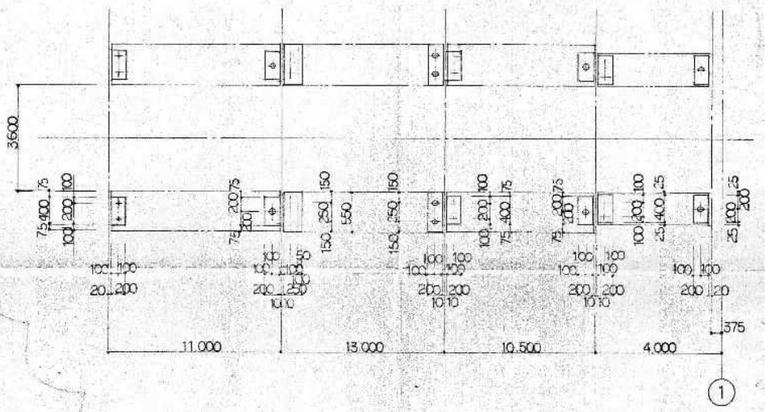
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	外構撤去構造図（排水施設構造図-2）	縮尺	A1 1:10 A3 1:20		図面番号 G-20



工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	外構撤去構造図（搬入退出路詳細図-1）	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 G-21

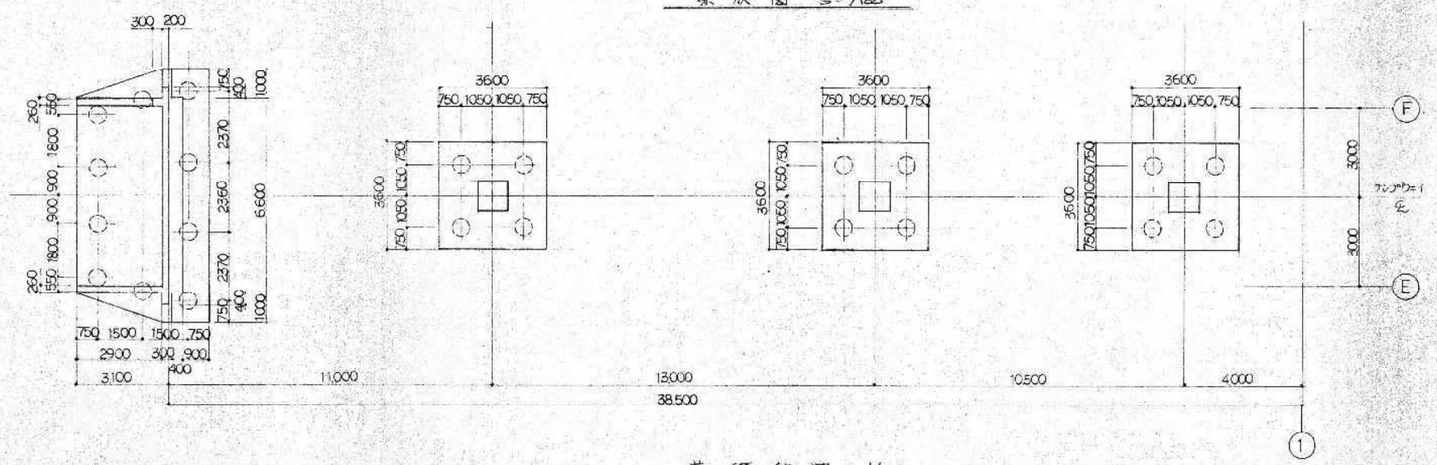






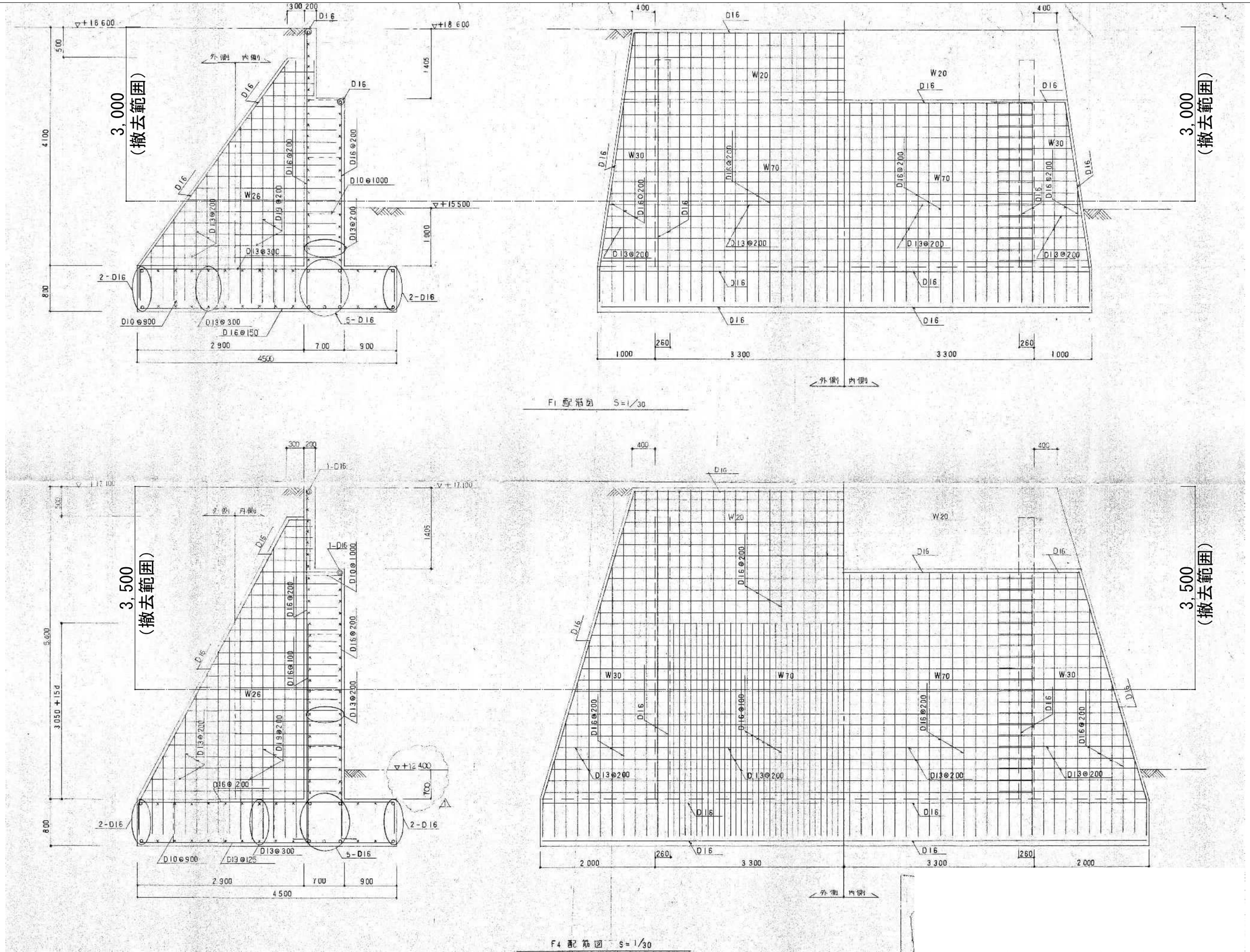
支承ゴム t=26(保護材を含む)
A Bolt は取付け 25φ ℓ=775 以上

支承ゴムリスト



○ 基礎杭 PCパイル 600φ 先端深さ -14.000

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	外構撤去構造図（搬入退出路詳細図-2）	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 G-22



F1 配筋図 S=1/30

F4 配筋図 S=1/30

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	外構撤去構造図（搬入退出路詳細図-3）	縮尺	A1 1:30 A3 1:60		図面番号 G-23

構造設計特記仕様　その１

※修正箇所は下線を引くこと
適用は　■　印を記入する。

1. 本仕様の適用範囲

(1) 本仕様の適用範囲

本特記仕様および配筋標準図は、設計基準強度が18 N/mm²以上60 N/mm²以下のコンクリートと、JIS G 3112に規定する SD295、SD345、SD390 および SD490 の鉄筋コンクリート用棒鋼を用いる高さが 60 m 以下の鉄筋コンクリート造、鉄骨造等建築物の設計および工事に適用する。

(2) 仕様書等の優先順位

設計図書および仕様書の優先順位は以下による。

①特記仕様
②設計図（伏図、軸組図、部材リスト、詳細図など）
③標準図（鉄筋コンクリート構造配筋標準図など）
④東京都建築工事標準仕様書等（最新版）
⑤建築工事標準仕様書・同解説（日本建築学会）等

2. 建築物の構造内容

(1) 建築場所

（地名地番）神奈川県海老名市本郷地内（本郷299番1ほか）
（住居表示）

(2) 工事種別

■新築　□増築　□増改築　□改築

(3) 構造設計一級建築士の関与　■必要　□必要としない

□法第２０条第二号（□　ＲＣ造高さ２０ｍ超□　Ｓ造４階建以上□　木造高さ１３ｍ超■　その他）
□

(4) 階数

地下　ー階　　地上　１階　　塔屋　ー階

(5) 構造種別

構造種別	該当階等	架構特徴等
■鉄筋コンクリート造(RC,WRC)	基礎　1階～　R階	□免震建物
□鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)	階～　階	□制震建物
■鉄骨造(S)	1階～　R階	□塔状建物
□木造(W)	階～　階	■耐震建物
□		I=1.25
□		

(6) 主要用途

□事務所　□共同住宅　□病院　□店舗　□倉庫　□庁舎　□住宅　■集会場

(7) 屋上付属物

■キュービクル　kN　□高架水槽　kN　□広告塔　kN　□煙突　m
□太陽光発電設備　■室外機　□　□

(8) 設計荷重

(a) 主な積載荷重（ N / m² ）

室名	スラブ・小梁用	架構用	地震用
大広間・ホール・廊下	3,500	3,200	2,100
事務室・会議室	2,900	1,800	800
倉庫	7,800	6,900	4,900
便所	1,800	1,300	600
倉庫・機械室	7,800	6,900	4,900
屋上	1,800	1,300	600

(b) 1次設計用地震力

Co = 0.250　Z =1.00　Rt =1.00　K（地下）=0.125
※ C_0及びKiには、用途係数1.25を加味している。

(c) 風荷重

地表面粗度区分：Ⅲ　　基準風速 Vo = 34 m/sec

(d) 雪荷重

■垂直積雪量　30 cm　■設計用雪荷重　600 kN/m²　□

(e) 特殊の荷重及び仕上材

□エレベーター　kN　基　□受水槽　kN　□エスカレーター
□キュービクル　□　□　□

(9) 構造計算ルート

X方向ルート　ー（ 3 ）　Y方向ルート　ー（ 3 ）

(10) ー次設計用層間変形角

X方向　1/200 rad　　Y方向　1/200 rad

(11) 付帯工事

□門塀　□擁壁　□駐輪場　□機械式駐車場　□

(12) 特定天井

□有　■無

(13) 屋根、床、壁

材種	型式　厚　その他	仕様箇所	仕様・構法
ALC　(JIS G 5416)	厚 t= 65mm	■壁　□床版	□スライド　□ボルト止め
押出し成形セメント版			■ロッキング　□
□ハーフPca版 □ Pca版	厚	□壁　□床版	□
折　版	H =　厚	□屋根 □	□
特殊 デッキプレート　大臣認定（　）	型式　厚	□屋根 □床版	□

3. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

(1) コンクリート（レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用箇所 階	適用箇所 部位	設計基準強度 Fc=N/mm²	品質基準強度 Fq=N/mm²	スランプ cm（スランプフロー）	比重 γ=kN/m³	備考
基礎	■礎柱 ■地中梁 ■基礎 ■1階床版	30	30	18	23	
1階	■柱 ■梁 ■壁 ■床版 □ □	30	30	18	23	
R階	■柱 □梁 ■壁 □床版 □	30	30	18	23	R階立上り壁 根巻柱部
	□柱 □梁 □壁 □床版 □					
	□柱 □梁 □壁 □床版 □					
	押さえコンクリート 嵩上げコンクリート	18	18	15	23	
	□床版 □ □基礎 □地中梁					
全般	■付属物	24	24	18	23	
	土間コンクリート	24	24	18	23	
	捨てコンクリート	18	18	15	23	

セメントの種類	■ポルトランドセメント（■普通□中庸熱□低熱□　）
	■高炉セメント（□A種 ■B種 □C種）
	□
細骨材の種類	■砂 ■山砂 ■砕砂 □
粗骨材の種類	■砂利 ■砕石 □ □
水の区分	■水道水 ■地下水 ■工業用水 □
構造体コンクリート強度を保障する材齢	材齢（ ■28日 □56日 □91日 □　）
	養生（ ■標準 ■現場水中 □現場封かん □　）
単位水量	■ 185 kg/m³ 以下 □ 175 kg/m³ 以下 □
単位セメント量	■ 270 kg/m³ 以上 □
混和材（JIS A 6204）	■ＡＥ減水剤 ■高性能減水剤 □
	□ □ □
空気量	■ 4.5% 以下 □ 3.0% 以下 □
塩化物量	■ 0.3 kg/m³ 以下 □ □
水セメント比	■ 65% 以下 □ 50% 以下 □

■ アルカリシリカ反応試験成績表を提出する。

(2) コンクリートブロック （□ JIS A 5406）

□Ａ種 □Ｂ種 □Ｃ種 厚 □ 100 □ 120 □ 150 □ 190 □　使用箇所（□　□

(3) 鉄筋

鉄筋	種類	使用径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋（JIS G 3112）	■ SD295	D16以下	躯体全体	■重ね継手
	□ SD295 B			■ガス圧接継手
	■ SD345	D19～D22	躯体全体	□溶接継手
	□ SD390			□機械式継手
	□ SD490			□
	□			□機械式定着工法
高強度せん断補強筋	□ 685			□ 大臣認定番号 MSRB-9001, 9002 MSRB-0005 同等性能以上
	□ 785			
	□ 1275			
	□			
溶接金網（JIS G 3551）	□			
	□			

注1）SD490をガス圧接する場合は施工前に試験を行うこと。
注2）各継手の使用詳細については本仕様その2の9.(2)鉄筋の項の鉄筋継手の項に■にて表示すること。

(4) 鉄骨

種類			使用箇所	現場溶接	備考
■ SS400	■ SN400B	□ SN400C	大梁、小梁	□有 □無	JIS G 3136
■ SN490B	■ SN490C	□	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ、ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	□有 □無	JIS G 3136
■ STK400	□ STK490	□	柱	□有 □無	JIS G 3101
□ SM400A	□ SM490A	□		□有 □無	JIS G 3136
■ BCR295	□ BCP235	□ BCP325	柱	□有 □無	大臣認定品 認定番号 MSTL-0021
□ STKR400	□ STKR490	□		□有 □無	JIS G 3466
■ SSC400	□	□	母屋	□有 □無	JIS G 3350
□	□	□			
溶接材料	□	□			JIS Z
□	□	□			

(5) ボルト等

■ 高力ボルト
■ F10T(JIS B1186)　■ S10T 大臣認定番号（ MBLT-0052 ）（■ M16、■ M20、□ M22、□ M24、□ ）
■ 溶融亜鉛めっき高力ボルト F8T 大臣認定番号（ MBLT-0050 ）（■ M16、■ M20、□ M22、□ M24、□ ）
■ 中ボルト （■ M12、□ M16、□ M20、□ M22、□ ）
□ ボルト（JIS B1180）M12　M　□ 4.8(4T)　□　□
■ アンカーボルト （構造用アンカーボルト）
■ SS400　M16　L=400 mm　ナット（ □シングル、■ダブル）
■ SS400　M20　L=500 mm　ナット（ □シングル、■ダブル）
■ ABR400　M22　L=600 mm　ナット（ □シングル、■ダブル）（JIS B 1220）
■ 頭付スタッド(JIS B1198)
φ = 16　L= 50 mm　使用箇所（■柱 □大梁 □小梁）
φ =　L=　mm　使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）

4. 地　盤

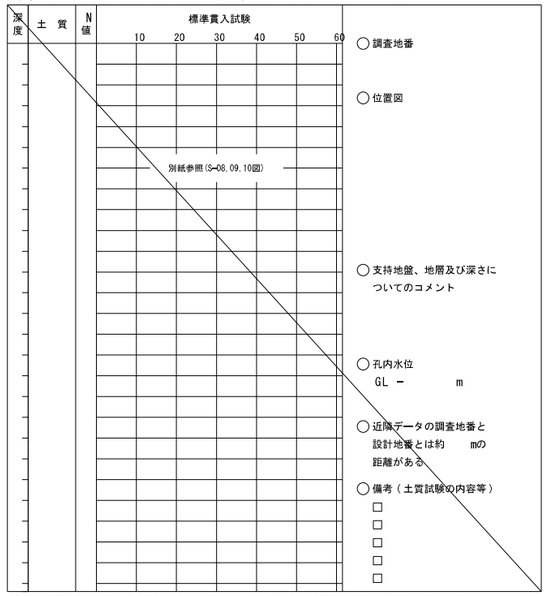
(1) 地盤調査資料と調査計画

■ 有　（■敷地内□　近隣）　□ 無　（調査計画　□有　■無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	●		静的貫入試験			標準貫入試験	●	
水平地盤反力係数の測定	●		土質試験	●		物理探査		
試験堀（支持層の確認）			平板載荷試験	●		液状化判定	●	
スウェーデン式サウンディング			現場透水試験			ＰＳ検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成　（基礎、杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

5. 地業工事

(1) 直接基礎　□ ベタ基礎　■ 布基礎　■ 独立基礎　試験掘　■ 有　□ 無
深さ FL－2.16 m 、支持層ーローム　　盤 長期許容支持力120 kN/m²　載荷試験　■ 有　□ 無

(2) 地盤改良　□ 浅層混合処理工法　■ 深層混合処理工法　□
深さ FL－10.7 m 、支持層ー シルト 層　長期許容支持力 185 kN/m² 載荷試験　□ 有　■ 無
既存建物地下階解体時に支持層の地層確認を行うこと
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2018」を参考とする

(3) 杭基礎　□支持層の想定深度分布図を作成し、杭と支持層の関係を確認する。
□施工計画書に施工時における試験杭と本杭の支持層の確認方法を明記する。
□支持層の確認結果を施工結果報告書にまとめる。

杭種	材料	施工法	備考
□ 場所打ち	コンクリート Fc　N/mm²	□ オールケーシング	認定
□ コンクリート杭	Fq　N/mm²	□ リバースサーキュレーション	第　号
□	スランプ　cm 以下	□ アースドリル	年　月　日
□	セメント量　kg/m³	□ 拡底杭　□ 拡頭・拡底杭	
□	単位水量　kg/m³	□ 鋼管補強杭	
□	鉄筋　主筋 SD	□ 深礎　□ 手掘	
□	HOOP SD	□ 機械掘	

既製杭・杭種	種類	材料	施工法	備考
□ PRC	□ I種 □ II種 □ III種 □	鋼材□ SKK490	□ 埋め込み	国土交通大臣認定
□ PHC	□ A種 □ B種 □ C種 □	鋼材□	□ 打ち込み	第　号
□ 鋼管		コンクリート□ Fc85		年　月　日
□ SC杭		コンクリート□ Fc105		

杭仕様　□ 施工計画書承認　□ 杭施工結果報告書
試験杭　（ □ 有 ・ □ 無 ）（ □ 打ち込み・□載荷・□ 孔壁測定）　本

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

6. 鉄骨工事（施工方法等計画書）

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による。

■ 日本建築学会「JASS6 2018年版」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
■ 一社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
■ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承諾を必要とするもの

■ 製作工場　■ 製作要領書　■ 工作図　■ 施工計画書
■ 認定または登録工場（■ 大臣認定 S H Ⓜ R J グレード）
■ 材料規格証明書※、または試験成績書
■ 鋼 材　■ 高力ボルト　■ 特殊ボルト　■ 頭付スタッド
※一社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
■ 社内検査表　□　□

(3) 工事監理者が行う検査項目

（ ■ 以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 現寸検査　■ 組立・開先検査　■ 製品検査　■ 建方検査　■ ボルトの軸力試験

(4) 接合部の溶接は下記によること

■ 平成１２年建設省告示第１４６４号第二号　イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
■ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
■ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針　工事現場施工編」

(5) 接合部の検査

■ 溶接部の検査（検査結果は工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備考
■ 完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	100% 個	100% 個	立会い	※平成１２年建設省告示第１４６４号第二号による（目視及び計測）
□	超音波探傷試験	100% 個	A0以(4,0%) 第6水準	立会い	（注）東京都の要綱に基づき必要となる建築物の場合に実施する
□	内質検査(注) □ 硬さ試験	% 個	% 個	% 個	
□	内質検査(注) □ 示温塗料塗布	% 個	% 個	% 個	
□	マクロ試験・その他	個	個	個	
■ 隅肉溶接部	外観検査（※）	100% 個	30% 個	立会い 個	
第三者検査機関名		（都知事登録　号）			

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。（東京都要綱第４条の試験機関、又は第８条の検査機関）

注１）現場溶接部については原則として第三者による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を１００％行うこと
注２）知事が定めた重大な不具合が発生した場合、是正前に対応策を建築主事等に報告すること

■ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　■ 要　□ 否　　高力ボルトすべり係数試験　□ 要　■ 否
■ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
■ トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

(6) 防錆塗装

■ 防さび塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、□JIS K 5621 、□JIS K 5625 、■JIS K 5674 、□　（フォースター　Ｆ☆☆☆☆）を使用し、２回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、２回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

□

7. 設備関係

令第129条の2の3の事項　※設計が該当する場合□にチェックを記入する。

■ 建築設備（昇降機を除く）の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
■ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造又は無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するｺﾝｸﾘｰﾄのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造又は、厚さが25cm以上の無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ、れんが造、石造若しくはｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造とすること。
■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障ない構造とすること。
■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
■ 給湯設備は
■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■ 周囲に丈夫な壁または囲いを設けること。
■ 地震時の転倒、移動等により人が危害を受けるおそれがないこと。
■ 告示第1388号(改正1447号)で定められたアンカーボルト等で緊結すること
■ 法第20 条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389 号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

8. 設備関係

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

ー級建築士
構造設計ー級建築士

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画 製作 調査 調査	実務番号 257031
図面名	構造設計標準仕様　その１	縮尺	A1 1:N.S A3 1:N.S		図面番号 S-001

構造設計特記仕様　その２

※修正箇所は下線を引くこと
適用は　■　印を記入する。

9.鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS5 による。

ⓐ コンクリートの仕様

本仕様書では、JASS5に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9.1に示す様に設計基準強度が36N/mm²以下のコンクリートについてはJASS5の 3節～11節を適用し、36N/mm²を超えるコンクリートについては JASS5 の17節（高強度コンクリート）を適用する。また、設計基準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正値から定める調合管理強度以上とし、発注するレディーミクストコンクリートの呼び強度が表9.2に示すJIS規格外となる場合は、法第37条の大臣認定を受けた製品を用いる必要がある。

軽量コンクリートについてはJASS5の14節によること。

表9.1　コンクリート圧縮強度（N/mm²）に応じた仕様書の使い分け

設計基準強度 Fc	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
JASS 5 での区分	普通コンクリート							高強度コンクリート							

表9.2　レディーミクストコンクリートの JIS 規格品

調合管理強度（ N/mm² ）	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	60超

呼び強度（ JIS 規格品）	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	55	60	60	※

※印は規格外

ⓑ 品質と施工

■ 構造体の計画供用期間の級は特記による。特記が無い場合は標準とする。
□ 標準　■ 長期　□ 超長期
（本仕様書では計画供用期間の級は、「短期」を想定していない。）

■ コンクリートはJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS 認証工場の製品とする。

□ 設計基準強度が 36 N/mm²を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第二号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。

■ レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。

■ 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調合・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。

■ フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランプフローで表し、設計基準強度が 36 N/mm² 以下 33 N/mm²以上の場合スランプ 21 ㎝ 以下、33 N/mm²未満の場合スランプ 18 ㎝ 以下とし設計基準強度が 36 N/mm²超 45 N/mm²未満の場合はスランプ 21 ㎝ 以下またはスランプフロー 50 ㎝ 以下、設計基準強度が 45 N/mm²以上の場合はスランプ 23 ㎝ 以下またはスランプフロー 60 ㎝ 以下とし、特記による。

■ コンクリートに含まれる塩化物量は、塩化物イオン量として0.3kg/m³以下とする。

■ コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、原則として外気温が25℃未満の時は120分、25℃以上の時は90分とする。当該計画地と採用プラントとの運搬時間（渋滞等）を考慮する。

■ コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。

■ 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水湿しを行う。

■ 打込み後の湿潤養生の期間は、セメントの種類および設計基準強度に応じて３日以上とする。

■ コンクリート打ち込み中、及び、打ち込み後５日間はコンクリートの温度が２度を下回らないようにし、セメントの種類に応じて湿潤養生する。

■ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

■ コンクリートの試験練りを行う（ただし、Ｉ類のコンクリートの場合には、省略可とする。）

■ 腰壁等については特に天端面を平滑に打込むこと。

ⓒ 調合および構造体コンクリート強度

■ コンクリートの強度を求める強度試験は、JIS A 1108（コンクリートの圧縮強度試験方法）もしくはJIS A 1107（コンクリートからのコアの採取方法）による。

ⅰ）高強度コンクリート

□ 調合強度を定めるための基準とする材齢は、特記による。特記のない場合は28日とする。

□ 構造体コンクリート強度を保証する材齢は、特記による。特記のない場合は91日とする。

□ 構造体コンクリート強度は、次の①または②を満足するものとする。
① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材齢において調合管理強度以上とする。
② 標準体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材齢において設計基準強度に 3 N/mm² 加えた値以上とする。

□ 調合管理強度は、以下による。

$${}_{H}F_{n} = F_{c} + {}_{m}S_{n}\ (N/mm^2)$$

${}_{H}F_{n}$：　高強度コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
F_{c}：　コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)
${}_{m}S_{n}$：　高強度コンクリートの構造体強度補正値でJASS 5による

□ 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。

$${}_{H}F \geqq {}_{H}F_{n} + 1.73\sigma_{H}\ (N/mm^2)$$
$${}_{H}F \geqq 0.85\,{}_{H}F_{n} + 3\sigma_{H}\ (N/mm^2)$$

${}_{H}F$：　高強度コンクリートの調合強度 (N/mm²)
σ_{H}：　高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²) で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、0.1（F_{c}+S_{n}）とする。

ⅱ）普通コンクリート

■ 調合を定めるための基準とする材齢は、原則として28日とする。

■ 構造体コンクリート強度は表9.3 を満足すれば合格とする。

表9.3　構造体コンクリートの圧縮強度の判定基準

供試体の養生方法	試 験 材 齢（1）	判 定 基 準
標準養生（2）	28 日	X ≧ Fm
コ ア	91 日	X ≧ Fq

ただし、　X ：　１回の試験における３個の供試体の圧縮強度の平均値 (N/mm²)
Fm：　コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
Fq：　コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)

［注］(1) 早い材齢において試験を行い、合否判定基準を満たした場合は、合格とする。
(2) 工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日までは20±10℃の日光および風が直接当らない箇所で、乾燥しないように養生して保管することができる。

＊ 標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。
その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であり、平均気温が20℃未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm² を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

＊ コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場封かん養生供試体によることができる。
その場合の判定基準は材齢28日を超え91日以内のｎ日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm² を減じた値が品質管理強度以上であれば合格とする。

■ 調合管理強度は、以下による。

$$F_{m} = F_{q} + {}_{m}S_{n}\ (N/mm^2)$$

F_{m}：　コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
F_{q}：　コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)
${}_{m}S_{n}$：　標準養生した供試体の材齢m日における圧縮強度と構造体コンクリートのｎ日における圧縮強度の差による構造体強度補正値 (N/mm²)

■ 調合強度は標準養生した供試体の材齢m日における圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。調合強度を定める材齢m日は、原則として28日とする。

$$F \geqq F_{m} + 1.73\sigma\ (N/mm^2)$$
$$F \geqq 0.85F_{m} + 3\sigma\ (N/mm^2)$$

F：　コンクリートの調合強度 (N/mm²)
σ：　使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²) で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は2.5N/mm² 、または0.1Fｎの大きい方の値とする。

ⓓ 検査

■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録および測定器の表示部を１回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し、工事監理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。

■ スランプの許容差は普通コンクリートの場合、スランプが 8㎝ 以上18㎝以下の場合 ± 2.5㎝、21㎝の場合 ± 1.5㎝（呼び強度27以上で高性能ＡＥ減水剤を使用する場合は ± 2㎝）とする。高強度コンクリートの場合は、スランプが 18㎝ 以下の場合± 2.5㎝、21㎝以上の場合 ± 2㎝とし、スランプフローの許容差は、目標スランプフローが 50㎝ 以下の時は ± 7.5㎝、50㎝を超える時は ± 10㎝ とする。

■ 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材齢 28 日で行い、１回の試験は、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³ またはその端数ごとに３個の供試体を用いて行う。３回の試験で１検査ロットを構成する。
高強度コンクリートでは、打込み日かつ 300m³ ごとに検査ロットを構成して行う。１検査ロットにおける試験回数は３回とする。検査は適当な間隔をあけた任意の３台のトラックアジテータから採取した合計９個の供試体による試験結果を用いて行う。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生とする。

■ 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³ またはその端数ごとに１回行う。１回の試験には適当な間隔をおいた３台の運搬車から１個ずつ採取した合計３個の供試体を用いる。
高強度コンクリートでは打込み日、打込み工区かつ 300m³ ごとに行う。検査には適当な間隔をあけた任意の３台のトラックアジテータから採取した合計９個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。

■ 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS5による。
構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(c)調合および構造体コンクリート強度による。

■ コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。

試験・検査機関名　（都知事登録　　号）
代行業者名　（登録番号　　号）

代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

■ 捨てコンクリートの試験は、無筋コンクリートの試験に準ずる。~~（東京都標準仕様書による）~~

■ 単位水量測定の測定は、測定した単位水量が計画配合書の設計値 ± 15(kg/m³) の範囲にある場合はそのまま施工してよい。
測定した単位水量が計画配合書の設計値 ± 15 ～± 20㎝(kg/m³) の範囲にある場合は水量変動の原因を調査すると共に、生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後設計値 ± 15㎝(kg/m³) 以内に安定するまで運搬車の３台毎に１回単位水量の測定を行う。
± 20 (kg/m³) を超える場合は、生コンを打込まずに持帰らせ、水量変動の原因を調査する。品質管理責任者は生コン製造者に改善を指示し、その後の全運搬車の測定を行い、± 20 (kg/m³) 以内にあることを確認し、を確認し、設計値 ± 15(kg/m³) 以内に安定するまで運搬車の３台毎に１回単位水量の測定を行う。
品質管理責任者は、不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認し、監督員に報告すること。

(2) 鉄　筋

ⓐ 施工

■ 鉄筋はJIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、JIS G 3551（溶接金網および鉄筋格子）に適合するものを用いる。

■ 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。

■ 鉄筋の加工寸法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「新　鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)」による。

■ 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。

表9.4　鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径	使用箇所
	（１）　引張力最小部位	(2)(1)以外の部位(注)				
		A級	B級	SA級		
■ 重ね継手	標準図による				■ D（１６）以下	躯体全体
■ 圧接継手	■ 告示 1463号第2項各号	□			■ D（１９）以上	躯体全体
□ 溶接継手	□ 告示 1463号第3項各号	□	□		□ D（　）以上	
□ 機械式継手	□ 告示 1463号第4項各号	□	□	□	□ D（　）以上	

注)（１）以外の部位に設ける継手は、平成12年告知第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書2020）』によって検討した部材の条件・仕様にによること。

■ 機械式継手および圧接継手および溶接継手は(公社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。

■ ガス圧接の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。

■ 圧接技量資格者は（公社）日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。

□ 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

ⓑ 検査

ⅰ）鉄筋の種類・径の検査

■ 鉄骨搬入時に鉄筋の種類と径をミルシート、ロールマーク、結束ごとの表示で確認し、必要に応じて径は計測する。

ⅱ）配筋の検査

■ 鉄筋の数量、材質、加工形状、配置、間隔、継手と定着の位置と長さ、カットオフ長さ等を目視、又は計測で確認する。

ⅲ）鉄筋継手部の検査

■ 各継手工法ごとの検査は平１２建告１４６３号による他、具体的な検査方法、（公会）日本鉄筋継手協会仕様書を参照のこと。

表9.5　鉄筋継手部の検査　（検査結果は工事監理者に報告すること）

鉄筋継手工法	検査の種類	検査数量	試験方法
圧接継手	■ 外観検査	全般	目視又は計測
	■ 超音波探傷試験	抜取り1検査ロット当たり(30)箇所又は（ ）%	JIS Z 3062:2014による
	□ 引張試験による検査	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JIS Z 3120:2014による
溶接継手	□ 外観検査	全般	目視又は計測
	□ 超音波探傷試験	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JRJS 0005:2017 による
	□ 引張試験による検査	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JIS Z 2241:2011による
機械式継手	□ 外観検査	全般	目視又は計測
	□ 超音波探傷試験	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JRJS 0003:2017 による
	□ 引張試験による検査	抜取り1検査ロット当たり（ ）箇所又は（ ）%	JIS Z 2241:2011による

注)1　抜取り1検査ロットは、同一作業班が同一日に作業した継手箇所で200箇所程度とする。
注)2　~~ガス圧接部分の検査を超音波探傷検査によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は超音波探傷試験に合格した部位から抜取った5本以上とする。~~

※外観検査の実施は次による。　（必要に応じて測定器具等の検査機器を用いること）

表9.6　外観検査要領

	自主検査	受入検査		工事監理者	備　考
		検査機関	施 工 者		
■	全数	全数	（ 全数 ）	（ 立会い ）	報告書にて確認
□	全数	超音波探傷又は超音波測定 検査実施部位	検査機関による 検査部位以外	（　　）	
□	全数	ー	全数	（　　）	
□	全数	抜取り1検査ロット当たり （ ）箇所又は（ ）%	（　　）	（　　）	

□ 引張試験を行う試験機関、非破壊試験を行う検査機関は、建築主、工事監理者、又は施工者が自ら契した機関とする。

□ 試験機関は「建築物の工事における試験及び検査における東京都取扱要綱」第４条の試験機関、検査機関は同要綱第８条の検査機関とする。

試験機関名　（都知事登録　　号）
検査機関名　（都知事登録　　号）

(3) かぶり厚さ

■ 最小かぶり厚さは、表9.6に規定する設計かぶり厚さを10㎜減じた値とする。

■ 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最小かぶり厚さが確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表9.7以上の値とする。

表9.7　設計かぶり厚さ（単位：mm）

構造体の計画供用期間の級		標準・長期		超長期	
部材の種類		屋内	屋外（２）	屋内	屋外（２）
構造部材	柱・梁・耐力壁	40	50	40	50
	床スラブ・屋根スラブ	30	40	40	50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材（１）	30	40	40	50
	計画供用期間中に維持保全を行う部材	30	40	(30)	(40)
直接土に接する柱・梁・壁・床および布基礎の立上り部分、擁壁の壁部分		50			
基礎、擁壁の基礎・底盤		70			

注)（１）計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保全を行う部材では、維持保全の周期に応じて定める。
（２）計画供用期間の級が標準、長期および超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを 10㎜ 減じることができる。

■ 完成した構造体の各部位における最外側鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

■ コンクリート構造体に誘発目地・施工目地などを設ける場合は、建築基準法施行令第 79条に規定する数字を満足し、構造耐力上必要な断面寸法を確保し、防水上および耐久性上有効な措置を講じれば上記によらなくても良い。

(4) 型枠

■ 原則、合板厚12㎜を標準とする。

■ 型枠および支保工の存置期間は、昭63年建告第1655号に基づき下表による。

表9.8　型枠存置日数　　昭和46年建設省告示第110号（令和元年国土交通省告示第203号）

種類	せ き 板				支 柱		
部位	基礎、梁側、柱、壁		スラブ下、梁下		スラブ下		梁下
セメントの種類 / 存置期間の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材齢（日）　１５℃以上	2	3	4	8	8	17	28
５℃～１５℃	3	5	8	10	12	25	28
５℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	※ 10.0N/mm²		設計基準強度の 50%		設計基準強度の 85%		100%

※　JASS5 では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあっては 10 N/mm² 以上、長期及び超長期の場合は 10 N/mm²以上、また高強度コンクリートの場合は10 N/mm² 以上。

注) 1 片持ち梁、庇、スパン 9.0ｍ 以上の梁下は、工事監理者の承認による。
注) 2 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛替えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛替え後の支柱頭部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛替えは、小梁が終ってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えをしてはならない。
注) 6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。
注) 7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動または衝撃を与えないように行うこと。

■ 各柱脚部に掃除孔を設け、ゴミ除去を徹底する事。写真にて添付する事。

一級建築士 構造設計一級建築士		工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名　構造設計標準仕様　その２	縮尺　A1 1:N.S A3 1:N.S		図番番号 S-002

構造配筋標準図（1）

1. 総　則

1.1 適用範囲

この規準は、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造等の鉄筋工事に適用する。

2. 一般共通事項

2.1 鉄筋の表示記号

鉄筋の断面表示は下表の記号による。

（表 2.1.1）

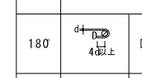
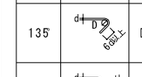
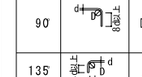
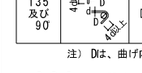
丸　　鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	29φ	32φ
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記　　号	・	×	≠	•	○	◎	⊗	●

注）本基準中の丸鋼表示の鉄筋に異形鉄筋を使用する場合は、上表の区分にしたがう。

2.2 鉄筋の折曲げ

2.2.1 末端部

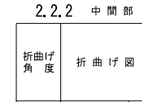
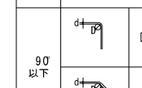
（表 2.2.1）

折曲げ角度	折曲げ図		SD295 SD345 SDR295, SDR345 D16以下	SD295 SD345 SDR295, SDR345 D19～D38	SD390 D19～D38	使用箇所
180°		D	3d以上	4d以上	5d以上	柱・梁の主筋 杭基礎のベース筋 D16以上の鉄筋
135°		D	3d以上	4d以上	——	あばら筋、帯筋 スパイラル筋 D13以下の鉄筋
90°		D	3d以上	4d以上	——	「形及び L形の梁のあばら筋
135°及び90°		D	3d以上	4d以上	——	90° 135° 幅止め筋

注）Dは、曲げ内法直径を示す。

2.2.2 中間部

（表 2.2.2）

折曲げ角度	折曲げ図		SD295 SD345 SD390 SDR295. SDR345 D16以下	SD295 SD345 SD390 SDR295. SDR345 D19～D25	SD295 SD345 SD390 SDR295. SDR345 D29～D38	使用箇所
90°以下		D	3d以上	4d以上	——	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
		D	4d以上 (5d以上)	6d以上	8d以上	その他の鉄筋

注）Dは、曲げ内法直径を示す。
（）は、ＳＤ３９０の場合に適用する。

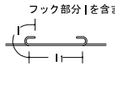
2.3 鉄筋継手及び定着長さ

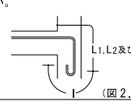
表 2.3.1はコンクリートの設計基準強度が 18N/mm²以上、36N/mm²以下の場合に適用し、軽量コンクリートの場合の L1及び L2 は、表の 21N/mm²の場合の値に 5dを加えたものとする。

（表 2.3.1）

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm²)	定着の長さ 一般（L2 L2h）	定着の長さ 下端筋（L3） 小梁	定着の長さ 下端筋（L3） スラブ	定着長さ及び重ね継手長さ （L1 L1h）
SD295	18	40dまたは30dフック付き	20d	10d かつ 150mm 以上	45dまたは35dフック付き
	21	35dまたは25dフック付き			40dまたは30dフック付き
	24, 27, 30, 33, 36	30dまたは20dフック付き			35dまたは25dフック付き
SD345	18	40dまたは30dフック付き			50dまたは35dフック付き
	21	35dまたは25dフック付き			45dまたは30dフック付き
	24, 27	35dまたは25dフック付き			40dまたは30dフック付き
	30, 33, 36	30dまたは20dフック付き			35dまたは25dフック付き
SD390	21	40dまたは30dフック付き			50dまたは35dフック付き
	24, 27	40dまたは30dフック付き			45dまたは35dフック付き
	30, 33, 36	35dまたは25dフック付き			40dまたは30dフック付き

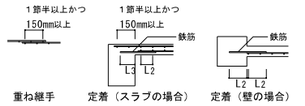
注）1. L1：継手並びに 2,及び 3,以外の定着長さ。
2. L2：割裂破壊のおそれのない箇所への定着長さ。
3. L3：小梁及びスラブの下端筋の定着長さ。
ただし、基礎耐圧版、これを受ける小梁は除く。
なお、片持小梁及び片持ちスラブの場合は、２０ｄ及び１０ｄを２５ｄ以上とする。
4. フックのある場合の L1,L2及び L3は、下図に示すようにフック部分|を含まない。





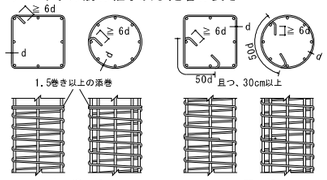
（図 2.3.1 ）

2.4 溶接金網の継手及び定着長さ



（図 2.4.1）

2.5 スパイラル筋の継手及び定着の長さ

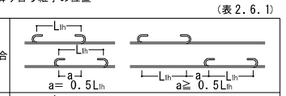
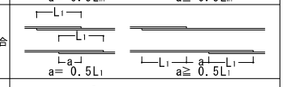
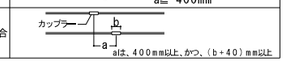


（図 2.5.1）

2.6 隣り合う継手の位置及び鉄筋の間隔

2.6.1 隣り合う継手の位置

（表 2.6.1）

フックのある場合	 a= 0.5Lth　a≧ 0.5Lth
フックのない場合	 a= 0.5L1　a≧ 0.5L1
圧接継手の場合	a≧ 400mm
機械式継手の場合	 a は、400mm以上、かつ、（b＋40）mm以上

2.6.2 鉄筋の間隔

鉄筋の相互のあきは下図により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし特殊な継手の場合のあきは特記による。

（1）粗骨材の最大寸法の 1.25倍

（2）25mm

（3）鉄筋径（呼び名に用いた数値 d の 1.5倍

2.7 鉄筋（溶接金網を含む）の最小かぶりの厚さ（mm）

（表 2.7.1）

構造部分の種類			最小かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	屋内	30
		屋外	40
	柱、梁、耐力壁 屋内	仕上げあり	40
		仕上げなし	40
	柱、梁、耐力壁 屋外	仕上げあり	40
		仕上げなし	50
	擁壁、耐圧スラブ		50
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁		*50
	基礎、擁壁、耐圧スラブ		*70
煙突等高熱を受ける部分			60

注）1.＊印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
2.「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、仕上塗料、吹付け又は塗装等の鉄筋の耐久性上有効でない仕上げのものを除く。
3.スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
4.杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。
5.塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所には、表 2.7.1を適用しない。

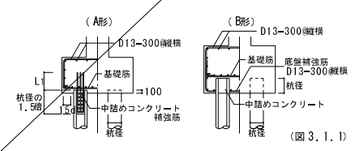
3. 基　礎

3.1 杭基礎（杭頭補強は特記による）

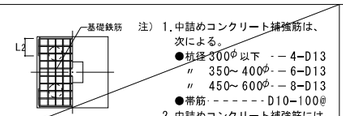
（1）既製コンクリート杭の杭頭補強の方法は、図 3.1.1の A形又は B形とし、適用は特記による。特記がなければ、B形とする。

（2）中詰めコンクリートは、基礎コンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。

（3）既製コンクリート杭以外の場合は、特記による。

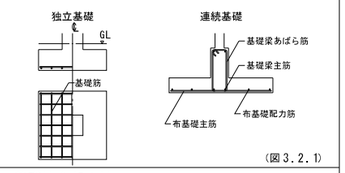


（図 3.1.1）



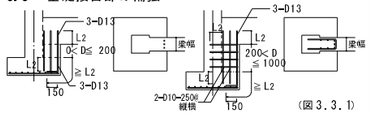
注）1.中詰めコンクリート補強筋は、次による。
●杭径 300φ 以下　－－4－D13
〃　350～400φ　－－6－D13
〃　450～600φ　－－8－D13
●帯筋 ・－－－－－D10－100@
2.中詰めコンクリート補強筋には、フックを付けない。

3.2 直接基礎



（図 3.2.1）

3.3 基礎接合部の補強



（図 3.3.1）

4. 基　礎　梁

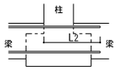
4.1 基礎梁主筋の継手及び定着

4.1.1 一般事項

（1）上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。

（2）梁筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。
ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図 4.1.1による。

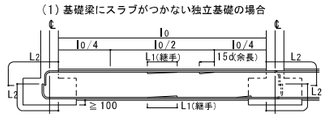
（3）梁筋を柱内に定着する場合は、梁筋は柱の中心軸を越えてから定着する。



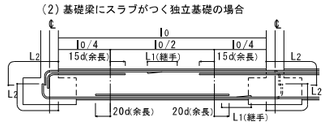
（図 4.1.1）

4.1.2 地中梁主筋の継手及び定着

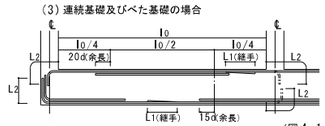
（1）基礎梁にスラブがつかない独立基礎の場合



（2）基礎梁にスラブがつく独立基礎の場合



（3）連続基礎及びべた基礎の場合



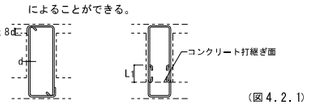
（図 4.1.2）

注）1.――― 印は、継手及び余長を示す。
2.破線は、柱内定着の場合を示す。
3.梁主筋ののみ込み長さ L a（柱せいの３／４倍以上）

4.2 あばら筋、腹筋及び幅止め筋

4.2.1 あばら筋の形状

（1）あばら筋組立ての形状及びフックの位置は、『6.2.1』による。ただし、梁せいが 1.5m以上の場合には図 4.2.1によることができる。



（図 4.2.1）

（2）あばら筋の割付は、『6.2.3』による。

4.2.2 腹筋及び幅止め筋

（1）腹筋及び幅止め筋は、『6.2.2』による。ただし、梁せいが 1.5m以上の場合は、特記による。

（2）腹筋及び幅止め筋は、『6.2.2』による。ただし、梁せいが 1.5m以上の場合は、特記による。

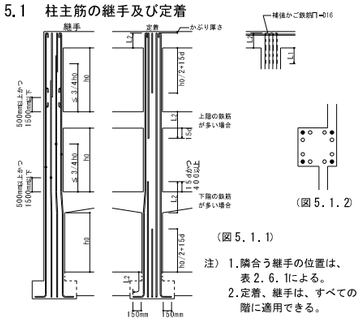
4.3 基礎梁の補強

（1）打増し補強は、『6.3』による。

（2）土間スラブ等の打継ぎ補強は、『9.5.3』及び『9.5.4』による。

5. 柱

5.1 柱主筋の継手及び定着



（図 5.1.1）

（図 5.1.2）

注）1.隣合う継手の位置は、表 2.6.1による。
2.定着、継手は、すべての階に適用できる。

（1）継手及び圧接中心位置は、梁上端から 500mm以上、1,500mm以下、かつ、3/4h0（h0は柱の内法高さ）以下とする。

（2）重ね継手長さは L1とし、定着長さ及び余長は図 5.1.1による。
ただし、柱頭定着長さ L2が確保できない場合は協議による。

（3）柱の四隅にある主筋で、重ね継手及び最上階の柱頭にある場合は、フックをつける。（図 5.1.2の●印で示す鉄筋）

5.2 帯　筋

5.2.1 帯筋の形状

帯筋組立の形は図 5.2.1により、適用は特記による。特記がなければ次による。また、フック及び継手の位置は交互とする。

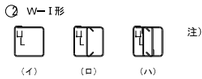
（1）H形とする。

（2）H形の 135°曲げのフックが困難な場合は、W－I 形とする。

（3）溶接する場合の溶接長さ l は、両面フレア溶接の場合は 5d 以上、片面フレア溶接の場合は 10d以上とする。

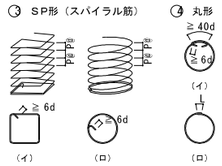
① H形

② W－I 形



注）1.溶接は、鉄筋の組立て前に行う。

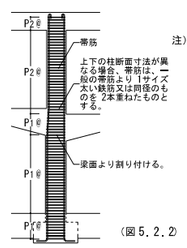
③ SP形（スパイラル筋）　④ 丸形



注）SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻き以上の添巻きを行う。

（図 5.2.1）

5.2.2 帯筋の割付



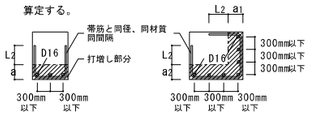
（図 5.2.2）

注）1.図示のない事項については、一般の場合に同じ。
2. P1@、P2@は、特記された帯筋の間隔を示す。

5.3 柱の打増し補強

（1）柱の打増しは図 5.3.1により、打増し幅が 70mm以上、200mm以下の場合に適用する。200mmを超える場合は、特記による。特記なき場合は、D16を主筋径の１サイズ下の径とする。

（2）梁及び耐力壁の鉄筋の定着長さは、打増し部分を除いて算定する。



（図 5.3.1）

6. 大　梁

6.1 大梁主筋の継手及び定着

6.1.1 一般事項

（1）継手及び圧接中心位置は、次による。
上端筋：中央 l0/2以内
下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し、l0/4を加えた範囲以内

（2）継手長さは L1とし、定着長さ及び余長は下記図 6.1.3及び図 6.1.4による。

（3）梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図 6.1.1による。

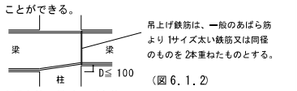
注）上階に柱がある場合の定着長さは L2とし、15dは省略できる。

（図 6.1.1）

（4）梁主筋を柱内に定着する場合は、柱の中心軸を越えてから縦に降ろす。ただし、梁せいや柱断面が大きい場合等には、監督職員の承諾を受けて、曲上げとすることができる。

（5）梁にハンチをつける場合は、その傾斜は特記による。
特記がなければ、1：4とする。

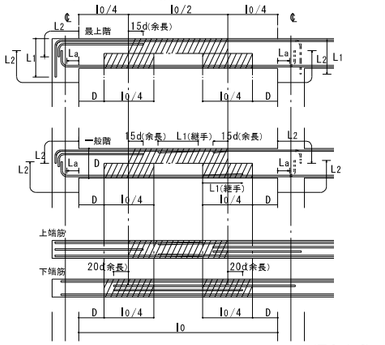
（6）段違い梁は、監督職員の承諾を受けて、図 6.1.2によることができる。



（図 6.1.2）

6.1.2 大梁主筋の継手及び定着

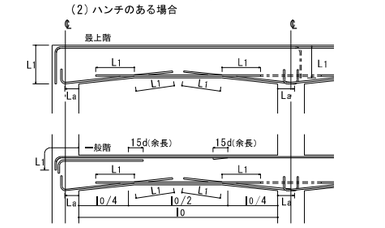
（1）ハンチのない場合



注）1.――― 印は、継手及び余長を示す。
2.破線は、柱内定着の場合を示す。
3.梁主筋ののみ込み長さ L a（柱せいの３／４倍以上）

（図 6.1.3）

（2）ハンチのある場合



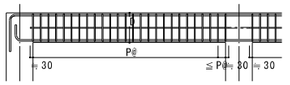
（図 6.1.4）

注）1.あばら筋及び腹筋は、D10－1,000程度とする。
2.腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
3.壁梁の場合は、腹筋の定着長さ及び継手長さは、特記による。特記がなければ L2とする。

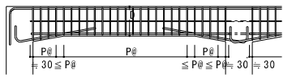
（図 6.2.3）

6.2.3 あばら筋の割付

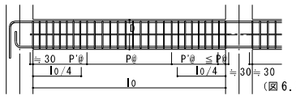
（1）間隔が一様でハンチのない場合



（2）間隔が一様でハンチのある場合



（3）梁の端部で間隔の異なる場合



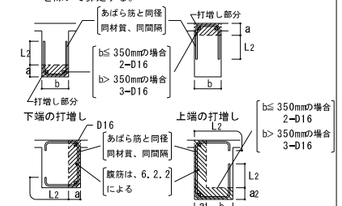
（図 6.2.4）

注）1.あばら筋は、柱面から割り付ける。
2.図中の P@ P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

6.3 梁の打増し補強

（1）梁の打増しは図 6.3.1により、打増し幅が 70mm以上、200mm以下の場合に適用する。200mmを超える場合は、特記による。特記なき場合は、D16を主筋径の１サイズ下の径とする。肋筋は、同径・同ピッチとする。
200mmを超え 500mm以下の場合は、D19に読み替える。
500mmを超え 1,000mm以下の場合は、D22に読み替える。

（2）小梁、耐力壁及びスラブの鉄筋の定着長さは、打増し部分を除いて算定する。



（図 6.3.1）

		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事
		図面名	構造配筋標準図（１）
		縮尺	A1 1:N.S A3 1:N.S
		令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	
		業務番号	257031
		図面番号	S-003

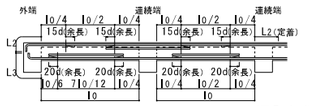
一級建築士
構造設計一級建築士

構造配筋標準図（2）

7. 小梁及び片持ち梁

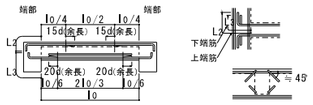
7.1 小梁主筋の継手及び定着

（1）連続小梁の場合



（図 7.1.1）

（2）単独小梁の場合

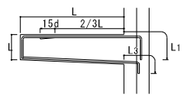


注）1.——— 印は、継手及び余長を示す。
2.図示のない事項は、『4.基礎梁』及び『6.大梁』による。

（図 7.1.2）

7.2 片持ち梁主筋の定着

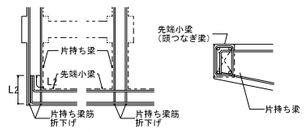
（1）先端に小梁のない場合



（図 7.2.1）

注）1.——— 印は、余長を示す。
2.図示のない事項は、『6.大梁』による。
3.先端の折曲げの長さ l1は、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
4.梁筋を引き通さない場合は、取合い部材に定着する。ただし、柱に取合う場合は、全数引き通せる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。

（2）先端に小梁がある場合



注）1.図示のない事項は、（1）による。
2.先端小梁終端部の主筋は、片持ち梁内に水平定着する。
3.先端小梁の連続端は、片持ち梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

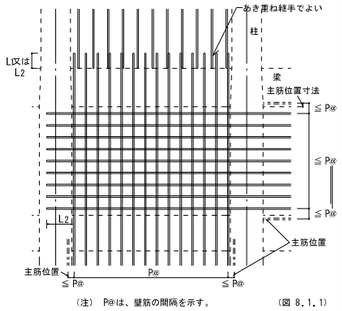
（図 7.2.2）

8. 壁

8.1 壁筋の継手及び定着

8.1.1 一般事項

（1）壁配筋の継手及び定着の長さは、L2とする。
（2）土圧などを受ける壁及び耐震壁として、特記されたものは、継手長さを L1定着長さを L2とする。
（3）継手及び定着のとれない場合は、監督職員の承諾を受けて、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とすることができる。
（4）幅止め筋は、縦、横ともD10−1,000@程度とする。
（5）一般部壁筋の配筋は、図 8.1.1による。



（注） P/@は、壁筋の間隔を示す。 （図 8.1.1）

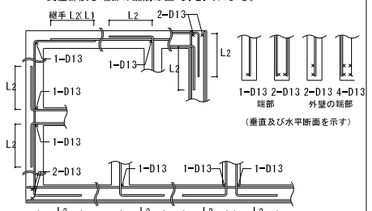
8.2 壁、その他の配筋

8.2.1 壁の基準配筋

壁の基準配筋の配筋種別は特記による。

8.2.2 交差部、及び端部

交差部及び端部の配筋は図 8.2.1による。



（注）（ ）内は、8.1.1(2)による継手長さを示す。 （図 8.2.1）

8.2.3 パラペット

パラペットの配筋は表 8.2.1による。

（表 8.2.1）

コンクリート厚さ	方向	配 筋	先端補強筋
特記による	縦	D10−150@ダブル	D10−150@ 4−D13
	横	D10−150@ダブル	4−D13 4−D13

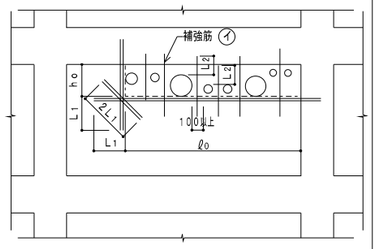
8.3 壁の補強

8.3.1 壁開口部の補強

壁開口部の補強は特記による。

8.3.2 開口群の補強

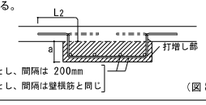
開口間隔が隣接する開口径の平均値の３倍以下の場合は開口群を一つの開口として扱う。その場合構造監理担当者と協議のうえ下記による。



（※）・l0. h0 寸法を開口寸法とし補強筋は設計図による。
・開口間の壁筋はできる限り切断しないこと。やむを得ず切断した場合には補強筋 ㋑を入れる。
・補強筋 ㋑ は壁筋と同径とし、定着長さは個別開口端よりL2 とする。

8.3.3 壁の打増し補強

壁の打増し補強筋は図 8.3.1により、打増し厚さが 50mm以上、200mm 以下に適用する。 200mmを超える場合は、特記による。

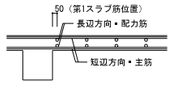


（図 8.3.1）

9. スラブ

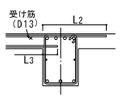
9.1 スラブの配筋

スラブの配筋は次による。
（1）スラブの基準配筋（ S形基準配筋）の配筋種別及び厚さは特記に、要領は図 9.1.1による。

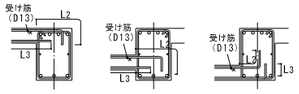


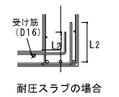
（図 9.1.1）

（2）配筋は、中央から割り付け、端部は定められた間隔以下とする。
（3）鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。
（4）定着長さ及び受け筋は、図 9.1.2による。ただし、引き通すことができない場合は図 9.1.3により梁内に定着する。



（図 9.1.2）

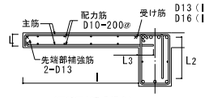




（図 9.1.3）

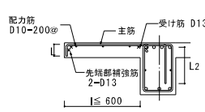
9.2 片持ちスラブ

片持ちスラブの配筋は次による。
（1）スラブの基準配筋（ CS形基準配筋）の配筋種別及び厚さは特記に、要領は図 9.2.1及び図 9.2.2による。



（注）1.先端の折曲げ長さ l1は、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
2.スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着させてもよい。

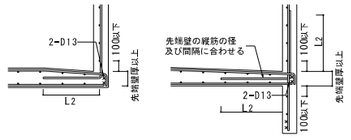
CS形基準配筋図（その 1） （図 9.2.1）



（注）1.先端の折曲げ長さ l1は、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
2.スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着させてもよい。

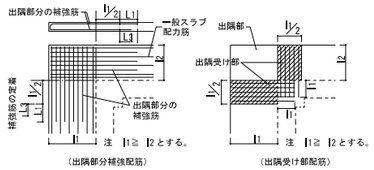
CS形基準配筋図（その 2） （図 9.2.2）

（2）先端に壁が付く場合の配筋は、図 9.2.3による。



（図 9.2.3）

（3）出隅部
(ⅰ)補強の配筋は、特記による。特記がなければ、D10−100ダブルとする。配筋方法は、図 9.2.4による。
(ⅱ)出隅受け部（図 9.2.4の斜線部分）の補強筋は、特記による。

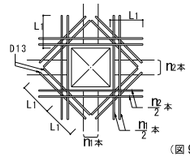


（図 9.2.4）

9.3 スラブ等の補強

9.3.1 スラブ開口部の補強

スラブ開口部の補強は、特記による。特記がなければ次による。
(ⅰ)スラブ開口部の最大径が 700mm以下の場合は、図 9.3.1により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に 2−D13（l＝2L1）シングルを上下筋の内側に配筋する。

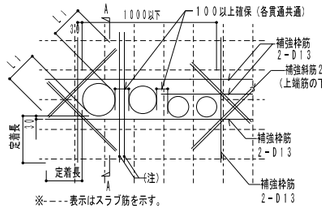


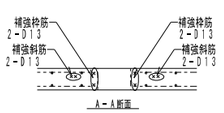
（図 9.3.1）

（※）荷揚げ用の仮設用開口部で、コンクリートを後打ちする部分も、上記要領にて補強を行うこと。
(ⅱ)スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

9.3.1-1 連続開口部の補強

シャフト内の貫通等で開口ピッチの芯々が隣接する開口寸法の平均の３倍以上とれない場合は、下図の要領で補強を行う。
実際の補強方法を計画し、構造監理担当者の確認を受けること。

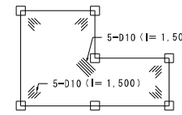




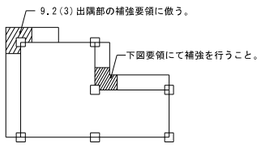
（注）・補強枠筋の定着長は単独開口に倣い、開口端部より L1とする。
・貫通孔によりやむを得ず鉄筋を切断した場合は、切断した鉄筋同径以上または同鉄筋量以上を配筋する。
（上図の場合は２本切断している為、
２本の鉄筋を配筋している）

9.3.2 屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図 9.3.2により、補強筋を上端筋の下側に配置する。



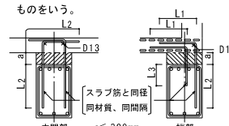
（図 9.3.2）



（図．片持ちスラブ補強要領）

9.3.3 土間スラブの打継ぎ補強

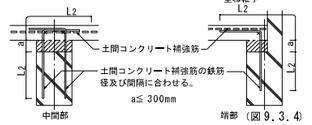
基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は、特記による。特記がなければ、図 9.3.3による。
ただし、土間スラブとは、土に接するスラブで S形の配筋によるものをいう。



（図 9.3.3）

9.3.4 土間コンクリートの補強

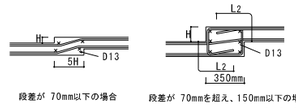
土間コンクリートの補強筋は特記による。
なお、基礎梁との接合部は、図 9.3.4による。



（図 9.3.4）

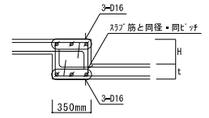
9.3.5 段差のあるスラブの補強

(1) 150mm以下の段差のあるスラブの補強は、図 9.3.5による。



（図 9.3.5）

(2) 150mm以上の段差のあるスラブの補強は、図 9.3.6による。

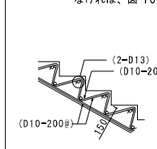


（図 9.3.6）

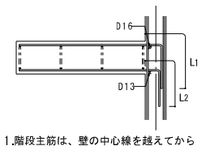
10. 階 段

10.1 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋及び寸法は、特記による。特記がなければ、図 10.1.1及び図 10.1.2による。



（図 10.1.1）

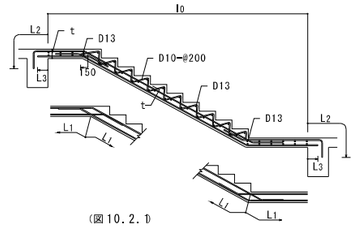


（注）1.階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に降ろす。
2.スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、L2とする。

（図 10.1.2）

10.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の段床部の配筋は図 10.2.1により、スラブ厚さ及び配筋は特記による。

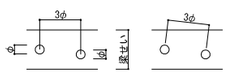


（図 10.2.1）

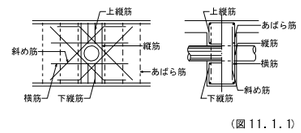
11. 梁貫通孔の補強 原則として既製補強材を使用すること。

11.1 梁貫通孔補強の標準配筋

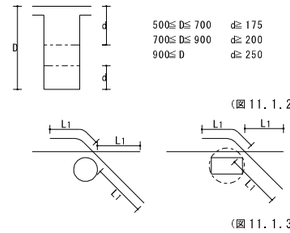
（1）梁貫通孔補強筋は特記による。形状及び名称は図 11.1.1による。
（2）孔の径は、梁せいの 1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。孔の径は全て外径とする。
（3）孔の上下方向の位置は、図 11.1.2による。
（4）孔の中心位置の限度は、柱及び直交する梁の面から原則として 1.5D（ Dは梁せい） 以上離す。（基礎梁は除く）
※既製補強材を使用する場合の孔の中心位置については、既製補強材の評定適用範囲内の寸法以上を、柱及び直交する大梁（小梁）の面から離すこと。離すことが出来ない場合は、在来型補強とし、補強要領については構造監理者と協議を行うこと。
（5）孔が並列する場合は、その中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
※中心間距離については、下図に示す平面方向の中心間距離を採用し、斜め方向での中心間距離は不可とする。



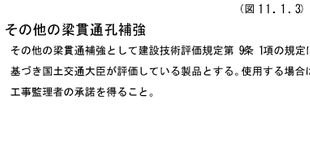
（6）縦筋及び上下横筋は、あばら筋の形に配筋する。
（7）補強筋は、主筋の内側とする。やむを得ない場合は、監督職員の承諾を受けて外側とすることができる。また、鉄筋の定着長さは、図 11.1.3による。
（8）孔の径が梁せいの 1/10以下、かつ、150mm未満のものは、補強を省略することができる。
（9）人通孔は原則在来型補強とすること。



（図 11.1.1）



（図 11.1.2）



（図 11.1.3）

11.2 その他の梁貫通孔補強

その他の梁貫通補強として建設技術評価規定第 9条 1項の規定に基づき国土交通大臣が評価している製品とする。使用する場合は、工事監理者の承諾を得ること。

工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年 月 日	業務番号	
			計画 製作 調査 調査		257031
図面名 構造配筋標準図（２）	縮尺	A1 1:N.S A3 1:N.S		図面番号	S-004

一級建築士
構造設計一級建築士

構 造 配 筋 標 準 図 (3)

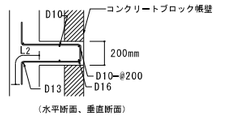
12. その他の配筋

12.1 コンクリートブロック帳壁との取合い

(1) 控壁

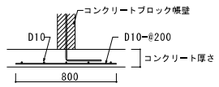
(ｲ)控壁の配置は、特記による。

(ﾛ)配筋は、図 12.1.1による。



(図 12.1.1)

(1) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図 12.1.2による。



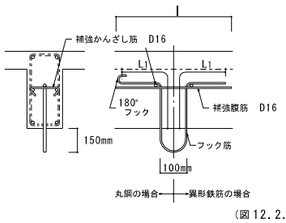
(図 12.1.2)

12.2 機械吊上げ用フック

梁に設ける機械吊上げ用フックは表 12.2.1、図 12.2.1により、種別は特記による。

(表 12.2.1)

種　別	A 種	B 種	C 種
フック筋	φ25又は D25	φ22又は D22	φ19又は D19
曲げ内のり直径 (mm)	100		
補強かんざし筋	2−D16		
補強腹筋 (mm)	D16, l=900	D16, l=750	D16, l=600
吊上げ荷重 (kN)	50≧ W> 30	30≧ W> 10	10≧ W



(図 12.2.1)

13. 躯体内埋込み配管等の補強及び配管要領

13.1 梁に配管を埋込む場合

(1) コンセントボックス類は埋め込まない。

(2) 使用する管径は、３１φ以下とする。

(3) 梁材軸方向配管は、原則として行わない。

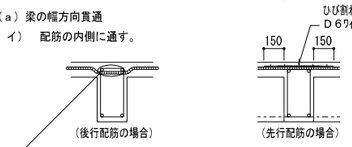
(4) 梁の幅方向貫通、及び垂直方向貫通

梁への貫通は、配管ピッチを１００mm以上とし、１m幅では３本を限度とする。

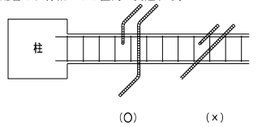
又、壁付きでない梁は、柱面より６００以内では行わない。

（a）梁の幅方向貫通

イ） 配筋の内側に通す。



ロ） 配管は、材軸とほぼ直角に貫通する。



13.2 壁に配管を埋込む場合

(1) 地下の外壁（ドライエリア壁を含む）への埋め込み配管は絶対行わない。

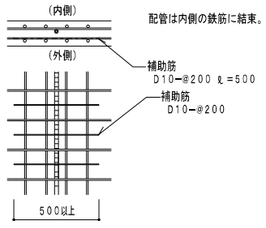
(2) 地上の外壁には原則として、配管は行わない。

ただし、やむを得ず埋め込む場合は構造監理担当者の承認を受け下記のいづれかの処理を行う。

埋込配管は３１φ以下とする。

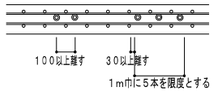
a．クラックが生じても支障のない仕上材とする。（建築設計担当者と打合せ）

b．鉄筋による補強

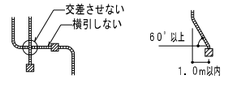


(3) 配管は１m幅に５本までとし、ピッチは１００mm以上とする。

配管は、壁縦筋より３０mm以上離す。



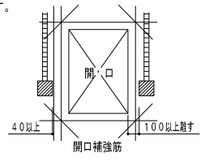
(4) 横引配管及び、交差は行わない。ただし、水平面と６０°以上の勾配を持つ横引は、１m以内まで可とする。



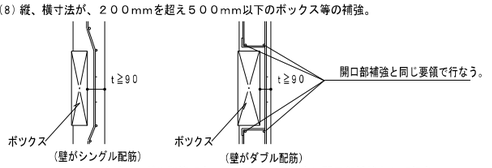
(5) 耐震壁内に配管を行う場合には、構造監理担当者と協議を行うこと。

(6) 盤類は壁内に埋め込まない。埋め込む場合は必ず構造監理担当者と協議の事。

(7) 躯体開口の縁から埋め込みボックスの縁まで１００mm以上、かつ開口補強筋より４０mm以上離す。



(8) 縦、横寸法が、２００mmを超え５００mm以下のボックス等の補強。



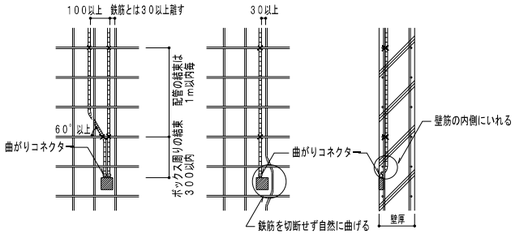
(注) 壁がシングル配筋でもｔ＜９０mmの場合は開口部補強として扱う。
開口部補強は、設計図による。

(9) 配管上の注意

イ） 配管は、壁内で蛇行しないよう１m以内毎に結束する。

ロ） 埋め込みボックスからの配管は、曲がりコネクターを設けてすぐ壁の内側に配管する。

ハ） ボックス等の埋め込みのために壁主筋を切断しない。



13.3 スラブに配管を埋込む場合

(1) 屋根スラブ及び防水を行なうスラブ内に配管する場合は、構造監理担当者と協議すること。

(2) 配管が２本以上平行する場合は、間隔を１００mm以上とし１m幅に５本以下とする。

(3) 配管は原則として交差は行わない。

(4) 配管は３１φまでとする。

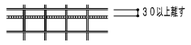
(5) フロアーボックス間隔は３００mm以上、且つ梁側面から５００mm以上離す。

(6) フロアーダクトの埋め込みは、必ず構造監理担当者の承認を受ける。

(7) フロアーボックスがスラブ筋に当たる場合は、スラブ筋を切断せずにずらす。

やもを得ず切断した場合は下記の補強を行う。

(8) スラブ筋と平行する場合は、鉄筋より３０mm以上離す。



(9) 電気盤及びEPS等の埋込み配管が５本以上集中して立上がる場合の補強についての補強は下図による。

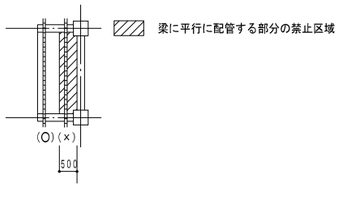
スラブ配管密集区域

スラブ補強区域

※ひび割れ防止を目的とし、スラブ配管密集区域より300mm程度
までを、ワイヤーメッシュ：φ6−150×150防にて補強する。

※埋込み配管が密集して配置される箇所も同様の補強を行うこと。

(10) 片持ちスラブは、梁面から500mm以内の範囲には配管を行わないこと。

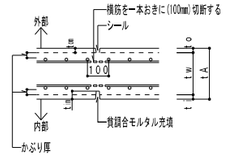


14. 外壁誘発目地及び補強要領

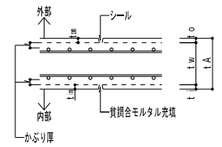
14.1 外壁誘発目地及び外壁隅部の補強

(1) 外壁の誘発目地標準

1）一般壁（雑壁）の場合



2）耐震壁の場合



※共通事項

tA ： 増打ち分を含めた壁厚
tw ： 壁の躯体寸法
to ： 外部増打ち厚
ti ： 内部増打ち厚
tom ： 外部誘発目地深さ
tim ： 内部誘発目地深さ

a) 誘発目地の間隔

・誘発目地間隔は3m程度以下とする。誘発目地設置に際して、周囲を柱・梁・床組・誘発目地などで囲まれた1枚の壁の面積は25㎡以下とし、1枚の壁の面積が小さい場合を除いて、その辺長比1.5以下とする。

b) 外部側目地深さ（tom）

・増打ち厚（to）は設計図による。

・誘発目地、水平打継目地は、増打ち厚さ内で設けること。（tom≦to）

c) 内部側目地深さ（tom）

・増打ち厚（ti）は設計図による。

・目地底と壁筋のかぶり厚は10mm以上設けること。

・tom+tim≧0.2tAとなるようにtimを定める。

・耐震壁の場合、誘発目地は増打ち内に設ける。（tim≦ti）
目地による躯体の断面欠損は行わないこと。

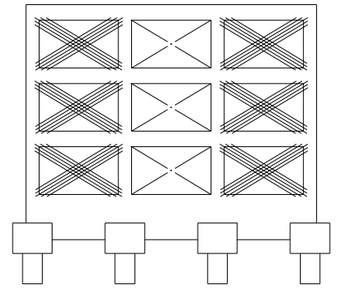
d) 欠損部の充填

・躯体に欠損が生じる場合、欠損部にセメント：砂=1：4～5の貧調合モルタル（プレミックスタイプ）を充填する。

(2) 外壁隅部の補強筋

・ひび割れ防止の目的として、外壁外側の鉄筋の内側に下記の補強筋を配置すること。

・無開口耐震壁を補強対象とする。



①：5−D10@100
②：柱・梁内にはL2定着すること

一級建築士 構造設計一級建築士		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名	構造配筋標準図（３）	縮尺 A1 1:N.S A3 1:N.S		図面番号 S−005

鉄 骨 構 造 標 準 図 (1)

1. 一般事項

1.1 材料及び検査

(1) 構造設計仕様による。

(2) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが 40mm以下のものとする。

(3) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する。

1.2 工作一般

(1) 鉄骨制作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承諾を得る。

(2) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。

(3) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。

1.3 高力ボルト接合

(1) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。

1.4 溶接接合

(1) 溶接工は施工する溶接に適応する JIS Z3801（手溶接）又は JIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。

1.5 塗　装

(1) コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装しない。

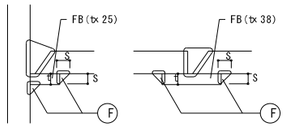
2. 溶接接合

2.1 溶接継手の表示記号

	分　類		記　号
溶接工法	アーク手溶接　ガスシールドアーク半自動溶接 セルフガスシールドアーク半自動溶接		H
	サブマージアーク自動溶接		A
	エレクトロスラグ溶接		E
溶接継手	突合わせ継手	突合わせ継手　（狭開先継手）	B(N2)
		T形継手	T
		かど継手	L(N1)
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	フレア溶接		FL
溶接面	片面溶接		1
	両面溶接　＊		2

注）1.＊印の両面溶接とは、裏はつりの有無にかかわらず、鋼材の表側と裏側の両面より溶接を行なうものとする。ただし、板厚 40mm以下の柱材のかど溶接については、（財）日本建築センターにおいて、通常のサブマージアークの自動溶接と比較して、施工上及び強度上特に問題はなく、母材と同等の強度を有するものとして評価された溶接法としても差し支えない。

2.2 裏あて金



注）1.片面溶接に用いる裏あて金の溶接は、断続隅肉溶接とする。
2.材質は、母材と同等以上とする。

裏あて金の厚さ

溶 接 工 法	t
手　溶　接	6 以上
半自動溶接	9 以上
自 動 溶 接	12 以上

溶接のサイズ

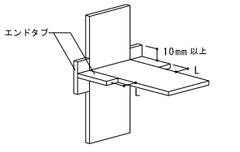
裏あて金の厚さ	S
t ≦ 9	5
t ＞ 9	9

断続隅肉溶接の長さ

母材の板厚	溶接の長さ　（L）	
	手溶接・半自動溶接	自動溶接
25 未満	40 程度	50 程度
25 以上	50 程度	70 程度

2.3 エンドタブ

エンドタブの材質は、原則としてスチールタブとする。（セラミックタブを使用する場合は監理者に承諾をとる）

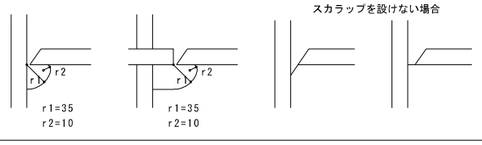


溶 接 工 法	t
手　溶　接	35 以上
半自動溶接	40 以上
自 動 溶 接	70 以上

注）1.原則として、スチール製エンドタブは溶接終了後 10mm残し削除して仕上げを行う。

2.4 スカラップ（参考図）

注）原則として、ノンスカラップ工法とする。
但し、垂鉛メッキ処理に限り設ける事。



2.5 余盛り

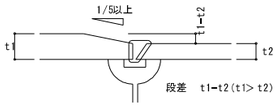
突合わせ継手、かど継手、隅肉溶接及び、フレア溶接の溶接部には余盛りを行なう。
その高さの限度は下表による。

余盛りの限度　（mm）

溶接継手	溶 接 工 法	余盛りの限度
突合わせ継手 かど継手	手　溶　接	3 以上
	半自動溶接	4 以上
	自 動 溶 接	4 以上
隅肉溶接	手　溶　接	3 以上
	半自動溶接	
	自 動 溶 接	

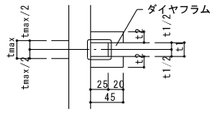
2.6 溶接板の段差

突合わせ継手において、突合わせる部材の板厚に差があり、段差が、手溶接及び半自動溶接で 4mmを越え、自動溶接で 3mmを越える場合は厚い方の板で 1/5以下の勾配をとり、突合わせ部の表面をそろえる。ただし、半自動溶接で1形開先の場合は、 3mmを限度とする。



注）1.t2の開先形状は、t2の厚さにより"B"タイプの形状及び寸法に準ずる。

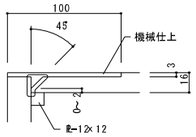
2.7 ダイヤフラムのエレクトロスラグ溶接 （E）



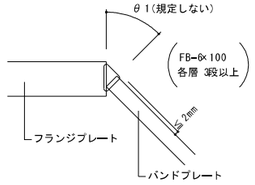
t1	t2
19−22	16
25−28	19
32−	22

注）1.tmax（四方向の梁フランジの最大）の芯とダイヤフラム t1の芯を一致させること。
2.エレクトロスラグ溶接で施工する場合は、試験を行い工事監理者の承諾を受ける。

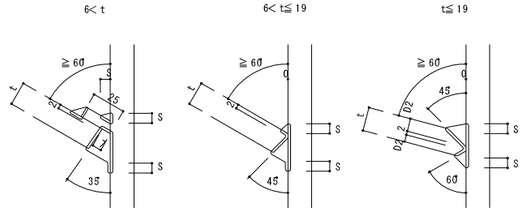
2.8 柱継手トッププレートの溶接



2.9 バンドプレートの溶接

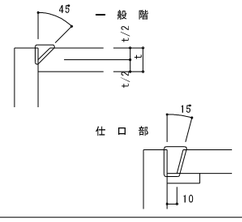


2.10 ハンチ部分などの溶接

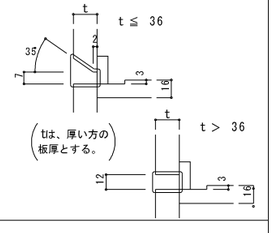


注）1.ハンチ部などのT形継手において、溶接部が直交しない場合は、上図を標準とする。
2.部材が取合う角度が、60 未満の場合は勾配開先とする。
3.Sは、補強隅肉溶接のサイズを示す。

2.11 ボックス柱のかど継手 （N1）

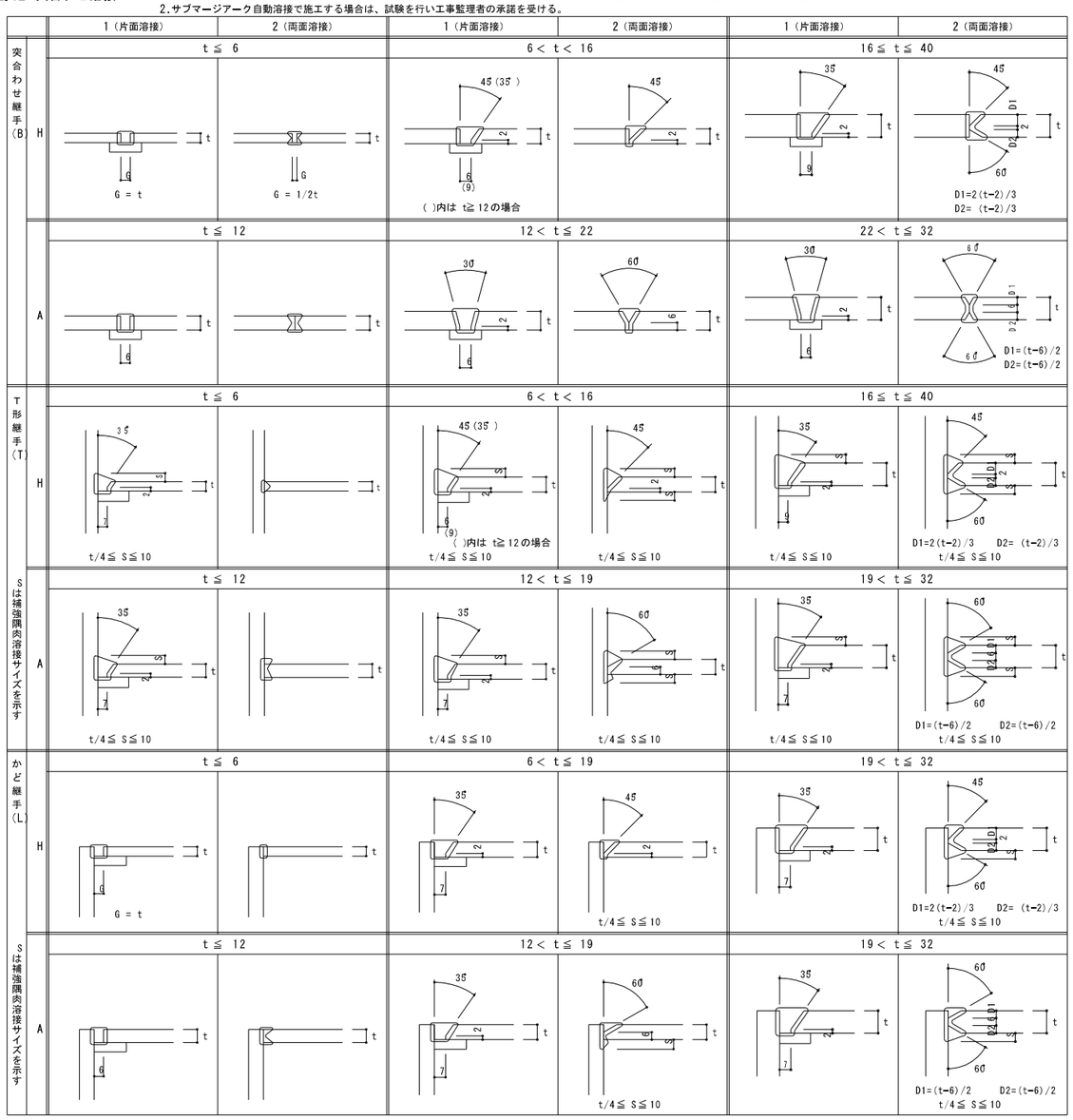


2.12 柱溶接 （N2）

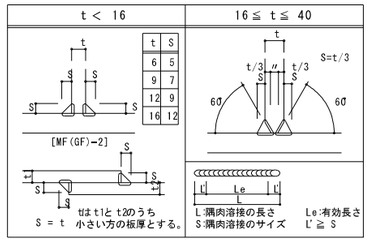


2.12 突合わせ溶接

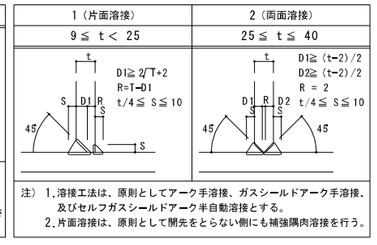
注）1.突合わせ溶接における両面溶接は、原則として裏はつりを行う。ただし、自動溶接において完全溶込みが得られる場合は、裏はつりを省略してもよい。
2.サブマージアーク自動溶接で施工する場合は、試験を行い工事監理者の承諾を受ける。



2.13 隅肉溶接 （F）

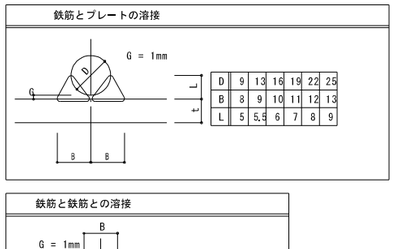


2.14 部分溶込み溶接 （P）



注）1.溶接工法は、原則としてアーク手溶接、ガスシールドアーク手溶接、及びセルフガスシールドアーク半自動溶接とする。
2.片面溶接は、原則として開先をとらない側にも補強隅肉溶接を行う。

2.15 フレア溶接 （FL）



		工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名　鉄骨構造標準図（1）	縮尺 A1 1:N.S A3 1:N.S		図面番号 S-006

一級建築士
構造設計一級建築士

鉄 骨 構 造 標 準 図 (2)

3. 継手基準図，その他

3.1 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトピッチ（P）

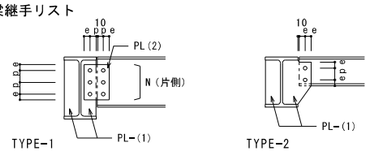
(mm)

	呼び径 d	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)				ピッチ (P)	
			(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小	標準
	(M12)	14	30	22	18	30	30	50
	(M16)	18	40	28	22	40	40	60
	(M20)	22	50	34	26	40	50	60
	M22	24	55	38	28	40	55	60
	M24	26	60	44	30	45	60	70
アンカーボルト・ボルト	(M16)	21(16.5)		28	22	(40)	(40)	(60)
	(M20)	25(20.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
	(M22)	27(22.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
	M24	29(24.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
	M27	32		49	36			
	M30	35		54	40			
	M34以上	呼び径+5		9d/5	4d/3			

()はボルトを示す

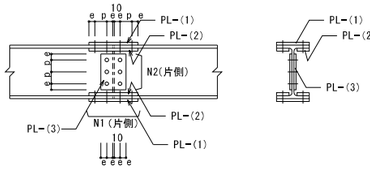
注）(1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが 3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

3.2 ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N－径
部材リストによる					

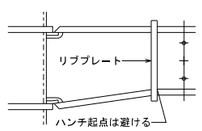
3.3 剛接合梁継手リスト



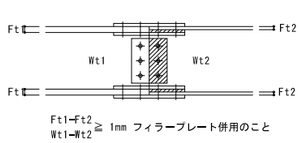
符号	部材	フランジ			ウエブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1－径	PL-(3)	N2－径
部材リストによる						

注）端部を BHとする場合は設計図による。

3.4 ハンチ部の継手

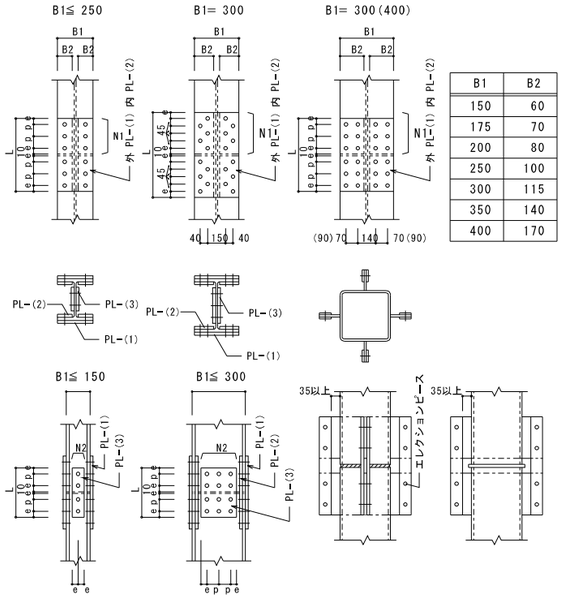


3.5 フランジ及びウエブ厚の差のある場合



Ft1−Ft2
Wt1−Wt2 ≧ 1mm フィラープレート併用のこと

3.6 柱継手リスト



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	115
350	140
400	170

注）1. B=200~250の N2は 2列並びとする。
2. 現場溶接は原則として超音波探傷試験を 100%を行う。

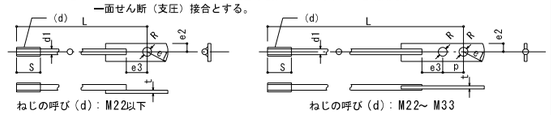
符号	部材	フランジ			ウエブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1－径	PL-(3)	N2－径

4. その他の標準

4.1 羽子板ボルト（使用する丸鋼は JIS規格品とする）

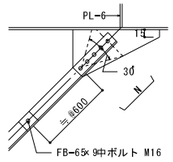
ねじの呼び (d)			(M12)	M14	M16	M18	(M20)	M22	M24
軸径 d1	最大		10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小		10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差 +1, −0.5mm		R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）(2)		e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき(1)（最小）	e2	22	28	28	34	34	38	38
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき(1)（最小）	e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき（最小）		e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小）		l	40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト	種類		JIS B 1186 2種高力ボルト（F10T）又は JIS B 1180 中 8g 10.9						
	ねじの呼び		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数		1	1	1	1	1	1	2

注）(1) e1, e2が確保されていれば形状は自由でよい。
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする。



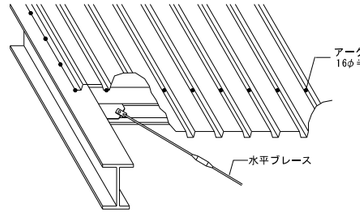
4.2 形鋼ブレース

符号	部材	PL-(1)	N－径

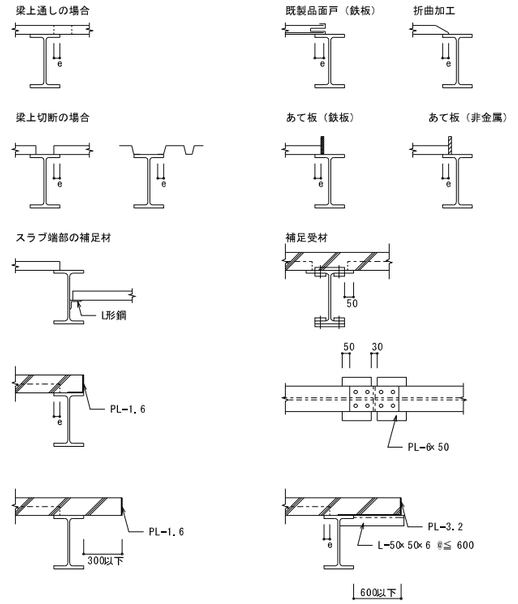


4.3 デッキプレート（床合成を考慮する合成床、合成梁のときは特記による）

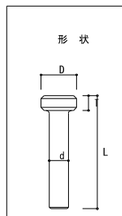
4.3.1 梁との溶接及びコネクター



4.3.2 受け梁へのかかり寸法及び端部処理

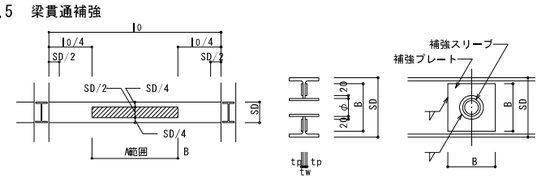


4.4 頭付スタッド（ JIS 1198）



呼び名	スタッド材 軸径 d (mm)	頭径 D (mm)	頭高さ T (mm)	溶接後の長さ L (mm)
φ13mm	13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130
	12.7	25.4	7.9	
φ16mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130
	15.8	31.7	7.9	
φ19mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150
	19.0	31.7	9.5	
φ22mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150
	22.2	34.9	9.5	

4.5 梁貫通補強



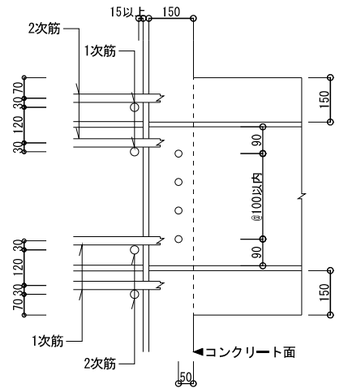
注）1.補強材の材質 プレート：母材と同質
スリーブ：STK400
2.貫通孔は上図の ▨ 内に設けるものとする。
3.貫通孔の径及び間隔は下表による。

範囲	最大孔径	間隔
A	SD/2	4φ以上

4.貫通孔の径が SD/10以下かつ 100mm以下の場合は補強プレートを省略することができる。
5.貫通孔の径が SD/15以下の場合は補強プレート及び補強スリーブを省略することができる。

孔径	補強スリーブ	梁せい (SD)	補強プレート tp（プレート枚数−厚×幅） tw≦6	6<tw≦9	9<tw≦12	12<tw≦16	tw=19
75φ	φ−76.3×3.2	300≦SD<400	2PL−6×200	2PL−6×200	2PL−9×200	2PL−9×200	
100φ	φ−114.3×4.5	400≦SD	2PL−6×250	2PL−6×250	2PL−6×250	2PL−9×250	
125φ	φ−139.8×4.5	300≦SD<400	2PL−9×200	2PL−10×200			
150φ	φ−165.2×5.0	400≦SD	2PL−6×300	2PL−6×300	2PL−9×300	2PL−9×300	
175φ	φ−190.7×5.3	400≦SD<500	2PL−9×300	2PL−12×300	2PL−16×300		
200φ	φ−216.3×6.0	500≦SD<600	2PL−6×350	2PL−9×350	2PL−9×350	2PL−12×350	
		600≦SD	2PL−6×400	2PL−6×400	2PL−9×400	2PL−9×400	
250φ	φ−267.4×7.0	500≦SD<600	2PL−9×350	2PL−16×350			
		600≦SD<700	2PL−6×450	2PL−6×450	2PL−9×450	2PL−12×450	
		700≦SD	2PL−6×500	2PL−6×500	2PL−9×500	2PL−9×500	
300φ	φ−318.5×7.0	600≦SD<700	2PL−9×450	2PL−12×450	2PL−16×450		
		700≦SD<800	2PL−6×550	2PL−6×550	2PL−9×550	2PL−12×550	
		800≦SD	2PL−6×600	2PL−6×600	2PL−9×600	2PL−9×600	
350φ	φ−355.6×8.0	700≦SD<800	2PL−9×550	2PL−9×550	2PL−12×550	2PL−16×550	
		800≦SD<900	2PL−6×650	2PL−6×650	2PL−9×650	2PL−12×650	
		900≦SD	2PL−6×700	2PL−6×700	2PL−9×700	2PL−9×700	
400φ	φ−406.4×9.0						
		900≦SD			2PL−9×800		2PL−12×800

4.6 鉄筋貫通孔

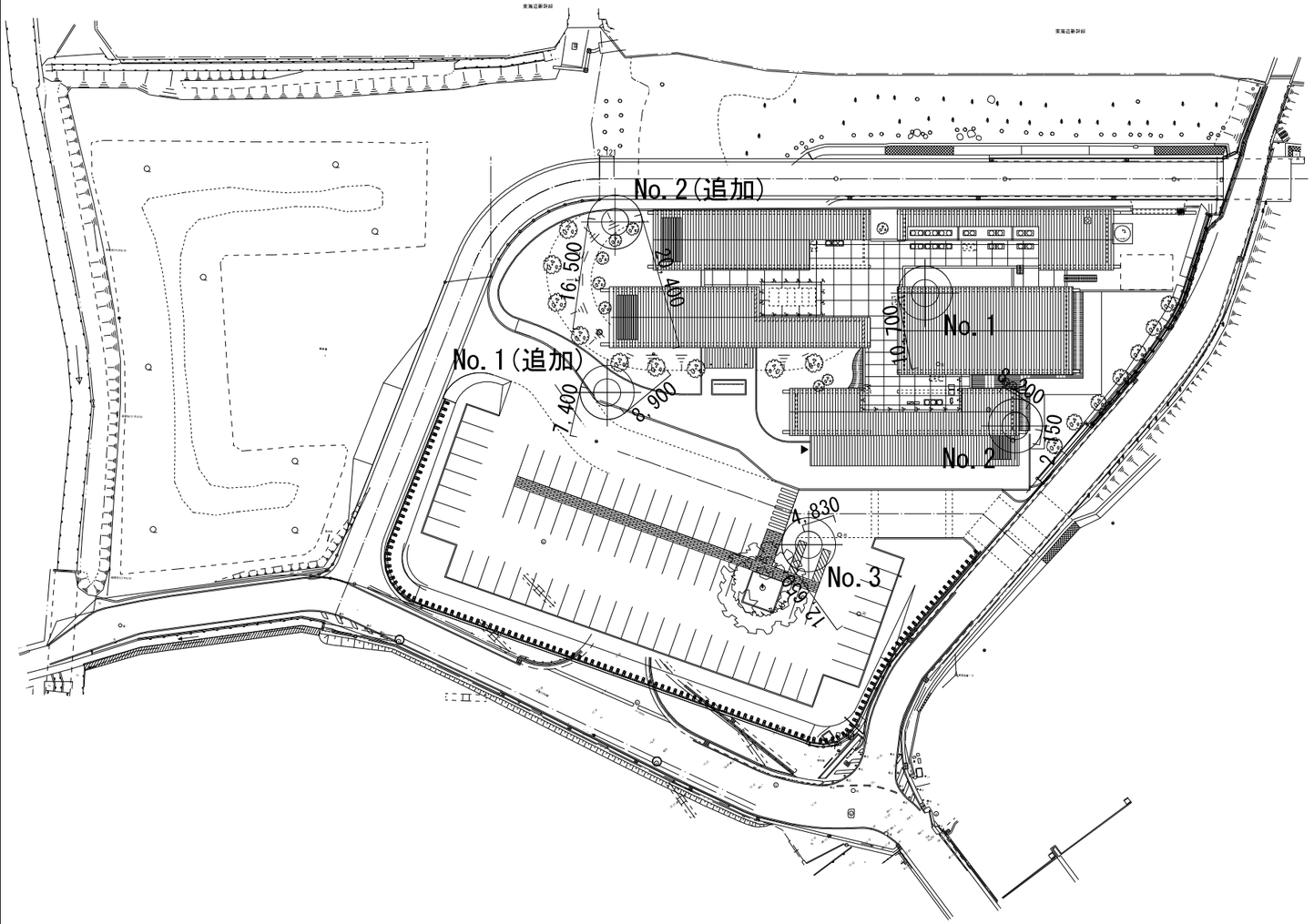


孔径（φ）	鉄筋の呼び名
D10	21
D13	24
D16	28
D19	31
D22	35
D25	38
D29	43
D32	46

注）1．梁及び柱鉄骨のかぶり厚は１５０以上とする。
2．小梁主筋のうち上端筋はウェブを貫通させる。
3．鉄筋貫通孔の詳細な位置については、製作図・工作図にて確認する。

一級建築士
構造設計一級建築士

工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査	業務番号 257031
図面名 鉄骨構造標準図（2）	縮尺	A1 1:N.S A3 1:N.S		図面番号 S-007



ボーリング名	No.1	調査位置	神奈川県海老名市本郷地内（本郷299番1ほか）					北緯	35° 24′ 11.52″		
発注機関	高座清掃施設組合			調査期間	令和06年06月11日～令和06年06月17日			東経	139° 24′ 6.36″		
調査業者名	株式会社　建設技術コンサルタント 電話(046-468-8241)	主任技師	森田　亮	現場代理人	永峯　功	コア鑑定者	高田　誉	ボーリング責任者	高田　誉 地質調査技士 第11899号		
孔口標高	T.P. 20.05 m	角度	上180° 下0° 90°	方位	北0° 西270° 東90° 南180°	地盤勾配	左右90° 前後90°	使用機種	試錐機	カノーKR-100	
総削孔長	25.08 m								エンジン	ヤンマーNS90	ポンプ　カノーV6

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（機械様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	50回の打撃ごとの貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験 深度 (m)	試験名及び結果・現場透水試験	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	19.25	0.80		盛土		暗灰			上部アスファルト約5cm、 舗装下、砕石約20cm、 以深、路盤り改良土。			1.15	2	2	2	6/300							
1									上部、郷植物・炭化物を混入。 粘性中位、 下部、暗茶褐色に変化。		6.0	1.45	2	2	4	8/300							
2	18.10	1.95		有機質ローム		黒褐～暗茶褐					8.0	2.15	2	4	5	9/300							
												3.15	2	3	3	8/300							
3									上部、有機質ロームを斑点状に混入。 粘性中位、 所々、凝固状を呈する。 砂粒状の火砕物を混入。 5.00m付近、凝固状で最性無く粗粒状。		8.0	3.45	2	3	6	11/300							
4				ローム		茶褐					8.0	4.15	2	3	6	11/300							
												4.45											
5												5.15	3	5	6	14/300							
6	14.25	5.80				淡茶褐					14.0	5.45											
												6.15	1	1	2	4/300							
											4.0	6.45											
7									全体的に粗粒の火砕物を多く混入。 粘性無、不均質。 6.15m付近より粗粒の火砕物を多く混入。 7m付近より軟石を多く混入。 9m付近、含水多化、粗粒。 9m付近、褐灰色に変化。 砂粒状の火砕物を多く混入。 孔内水位は無水掘削で確認。	6/12 7.70 ㎜		7.15												
8						暗茶褐～暗褐灰～淡茶褐						6.0	7.45	1	2	3	6/300							
9											7.0	7.85	1	2	4	7/300							
												8.45											
											8.0	8.85	2	2	4	8/300		9.00		9.15	P1-1	－	物理	6/11
	10.15	9.90										9.45											
10												9.85							k=2.80E-05m/s	10.15	P1-2			
											16.0	10.45	4	5	7	16/300		10.50		10.45		物理	
11									全体的に凝固状の部分が多い。 粘性強い、 砂状、礫状の火砕物を混入する。 礫粒分が主体だが、粗粒の印象を受ける。			11.15											
12				凝灰質シルト		淡茶褐					19.0	11.45	5	7	7	19/300							
												11.85											
13											21.0	12.45	4	8	9	21/300							
	6.25	13.80										12.85											
14											16.0	13.45	4	5	7	16/300							
												13.85											
											9.0	14.15	2	3	4	9/300							
15				凝灰質シルト		淡茶褐			14.00m、非常に含水多化。 軟粒状の部分が多い。 所々、若干の粘性有り。 粘土化及び、砂粒状の浮石を混入。			14.45											
	4.25	15.80									10.0	15.15	3	3	4	10/300							
16				軽石		暗黒灰～黒灰			粘土化した軽石の密集層。 含水多化。 砂粒状の火砕物を多く混入。			15.45											
											11.0	16.15	2	4	5	11/300							
	3.25	16.80										16.45											
17				凝灰質シルト		淡茶褐			全体的に粗粒状の部分が多い。 粘性無し、 浮石粒を多く混入。 砂粒状の火砕物を多く混入。 19.00m付近、固結状の部分が多い。 引き抜き力が非常に強い。		10.0	17.15	3	3	4	10/300							
												17.45											
18											9.0	18.15	2	2	5	9/300							
												18.45											
19											27.0	19.15	5	10	12	27/300							
												19.45											
20	0.15	19.90							上部、φ50mmの礫を多く混入する。 20.5m付近より約φ100mmの玉石を混入する。 逆木量の約半量が逸木する。 21.0m付近、約φ50mmの円礫を多く混入する。 21.3m付近、約φ100mmの礫を点在する。 22.0m付近より、マトリックスにシルトを混入。 φ20～50mmの礫が多い。 23.4～23.6m間は礫の混入が少ない。 固結状のシルト層を挟在。 23.8m付近、約φ100mmの礫を点在する。 25.0m付近、約φ50mmの礫が密集する。		180.0	20.00	60			60							
												20.10				100							
21											257.1	21.00	60			60							
												21.07	70			70							
											150.0	22.00	40	20		60							
22												22.12		20		120							
											257.1	23.00	60			60							
23												23.07	70			70							
											200.0	24.00	60			60							
24												24.09	90			90							
											225.0	25.00	60			60							
25	-5.03	25.08		砂礫		礫灰						25.08	80			80							
26																							

150
2,010
▽1FL(17.50)
△S.GL(17.35)
▽基礎下端レベル
▽KBM(13.133)

No.1ボーリング柱状図

一級建築士
構造設計一級建築士

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	柱状図（1）	縮尺	A1 1:N.S A3 1:N.S		図面番号 S-008

ボーリング名	No.2	調査位置	神奈川県海老名市本郷地内（本郷299番1ほか）	北緯	35° 24′ 11.13″
発注機関	高座清掃施設組合	調査期間	令和06年07月25日～令和06年07月31日	東経	139° 24′ 7.19″
調査業者名	株式会社 建設技術コンサルタント 電話(045-453-3241)	主任技師	森田 亮	現場代理人	永峯 功	コア鑑定者	石田 詠一	ボーリング責任者	石田 詠一 ※1登録基礎士 登録番号 第24644号
孔口標高	T.P. 20.04 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水位 0° 90°	使用機種	試錐機	カノーKR-100
総削孔長	25.22 m								エンジン	ヤンマーNS90	ポンプ	カノーV6

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験 深度 (m)	試験名及び結果 ・孔内載荷試験 ・現場透水試験	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	19.04	1.00		盛土		暗褐			アスコン、砕石が0.25m主で、以下、礫混じり粘性土。		4.0	1.15	1	1	2	4	300							
2	18.14	1.90		有機質ローム		黒褐			土壌化した火山灰質粘性土。腐植物、炭化物を混入する。		2.9	1.45	1	1	1	3	300							
3												2.60	125			50	316							
4				ローム		茶褐			火山灰質粘性土。腐植物、炭化物を混入する。鉄十字土が最石分GL-5m付近に混入する。		1.4	3.15	1	1		2	420		4.00					
5												3.57	250	170										
6	14.04	6.00									2.7	5.15	1	1	1	3	330	5.50	E=6.74E+03kN/m2	4.90	D2-1	D	力学	
7												5.48	130											
8										7/26 7.60 ※	4.0	6.15	1	1	2	4	300			8.00				
9												6.45												
10				凝灰質シルト		暗茶褐～茶褐			粘性土中位、不均質。礫かい火砕物を多量に混入する。GL-8.00m付近、砂分を混入し、含水量ややまい。GL-9.00m以降、粘性土弱位。少量の炭化物を混入する。浮石粒が点在する。		7.0	8.15	2	2	3	7	300	8.50	E=3.10E+04kN/m2	8.00	D2-2	D	力学	7/24
11												8.45												
6.0	9.15	2	2	2	6	300																		
12												9.45												
13											14.0	10.15	3	5	6	14	300	10.15	k=6.70E-06m/s					
14												10.45						10.65						
15											13.0	11.15	3	4	6	13	300							
16												11.45												
17											9.0	12.15	1	2	6	9	300							
18												12.45												
19											7.0	13.15	2	3	2	7	300							
20	0.34	19.70										13.45												
21											6.0	14.15	3	1	2	6	300							
22												14.45												
23											6.0	15.15	2	2	2	6	300							
24												15.45												
25	-5.18	25.22									11.0	16.15	2	3	6	11	300							
26												16.45												
											5.0	17.15	1	2	2	5	300							
												17.45												
											7.0	18.15	2	3	2	7	300							
												18.45												
											8.0	19.15	2	3	3	8	300							
												19.45												
											62.5	20.15	25	15	10	50	240							
												20.39				40	240							
											75.0	21.15	33	17		50	200							
												21.33					200							
											166.7	22.15	50			50	90							
												22.24	90				90							
											69.2	23.15	12	29	9	30	230							
												23.38				30	230							
											125.0	24.15	43	7		50	120							
												24.27			20		120							
											214.3	25.15	50			50	70							
												25.22	70				70							

▽1FL(17.50)
△S.GL(17.35)
2.010
150
▽基礎下端レベル
▽KBM(13.133)

No.2ボーリング柱状図

ボーリング名	No.3	調査位置	神奈川県海老名市本郷地内（本郷299番1ほか）	北緯	35° 24′ 10.19″
発注機関	高座清掃施設組合	調査期間	令和06年07月18日～令和06年07月23日	東経	139° 24′ 6.44″
調査業者名	株式会社 建設技術コンサルタント 電話(045 453 3241)	主任技師	森田 亮	現場代理人	永峯 功	コア鑑定者	石田 詠一	ボーリング責任者	石田 詠一 ※1登録基礎士 登録番号 第24644号
孔口標高	T.P. 17.09 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水位 0° 90°	使用機種	試錐機	カノーKR-100
総削孔長	22.25 m								エンジン	ヤンマーNS90	ポンプ	カノーV6

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験 深度 (m)	試験名及び結果 ・孔内載荷試験 ・現場透水試験	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1				盛土		黒褐～灰			上部アスファルト約5cm。路床下、砕石約20cm。以深、粘性土主体で礫、ガラを混入する。		3.0	1.15	1	1	1	3	300							7/18
2	15.19	1.90		ローム		暗茶褐～茶褐			火山灰質粘性土で、上部はやや有機質。			1.45												
3	14.09	3.00									4.0	2.15	1	1	2	4	300							
4												2.45												
5											6.0	3.15	1	2	3	6	300			3.50				
6												3.45												
7											3.0	4.65	1	1	1	3	300							
8												5.15						5.00	E=9.37E+03kN/m2	4.40	48-1	0	力学	
9											2.0	5.45	200				300							
10												6.15	1	2	1	4	300							
11											4.0	6.45												
12												7.15	1	2	2	5	300							
13											5.0	7.45												
14												8.15	2	2	2	6	300							
15											7.0	8.45												
16												9.15	2	3	2	7	300							
17											6.0	9.45												
18												10.15	2	2	2	6	300							
19											5.0	10.45												
20												11.15	1	2	2	5	300							
21											5.0	11.45												
22												12.15	1	2	2	5	300							
23											5.0	12.45												
24												13.15	2	2	1	5	300							
25											5.0	13.45												
26												14.15	1	2	2	5	300							
											25.0	14.45												
												15.15	8	8	9	25	300							
											9.0	15.45												
												16.15	4	3	2	9	300							
											125.0	16.45												
												17.15	38	12		50	129							
												17.27			20		120							
											166.7	18.15	90			50	90							
												18.24	90				90							
											300.0	19.00	50			50	50							
												19.05	50				50							
											214.3	20.15	50			50	70							
												20.22	70				70							
											166.7	21.15	50			50	90							
												21.24	90				90							
											150.0	22.15	50			50	100							
												22.25					100							
	3.69	13.40		凝灰質シルト		茶褐～暗茶褐			全体に礫かい火砕物、炭化物を混入する。5m以深は色調不均一。上部はやや締まった感じ、中～下部は含水中位。8m以深は所々で砂を混入する。10m付近は炭化物を多く混入し、粗粒状である。																
	2.59	14.50		軽石		黄褐灰			粘土化した軽石が密集する。															
				凝灰質シルト		暗茶褐			火山灰質粘性土。所々で塊状である。礫かい火砕物を多量に混入する。															
	0.19	16.90		砂礫		褐灰			φ5～40mmの礫と礫砂で構成される。マトリクスには礫砂のほか、粗砂、礫礫を混入する。																
	-1.51	18.60		玉石混じり砂礫		暗褐灰			φ120mmの玉石を混入する砂礫。φ100mm以下の礫を多く混入する。マトリクスは礫砂～粗砂よりなる。																
	-5.16	22.25																						

No.3ボーリング柱状図

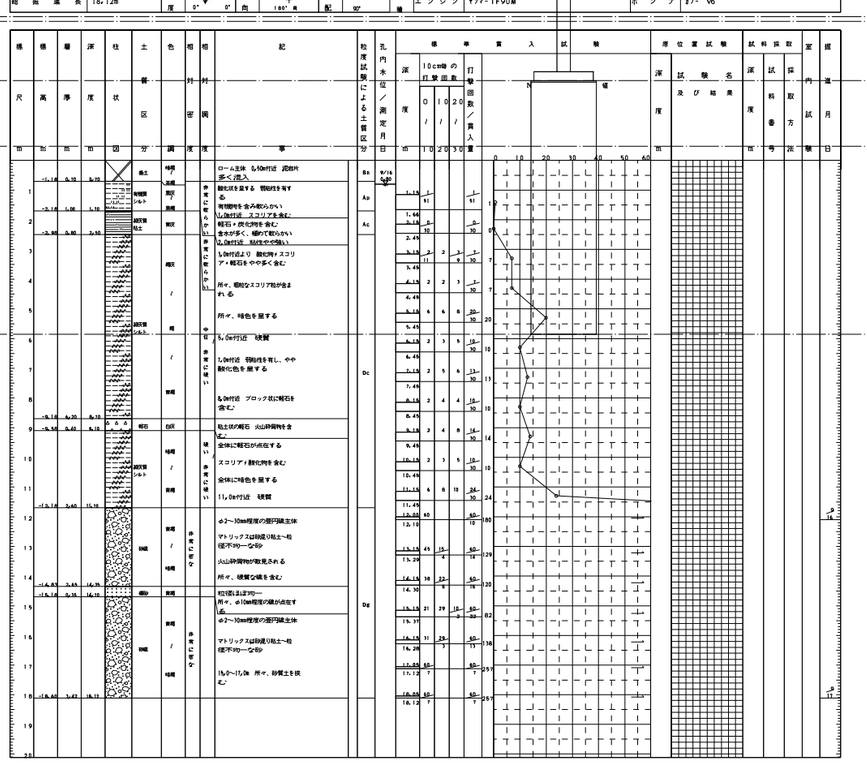
一級建築士 構造設計一級建築士		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
		図面名	柱状図（2）	縮尺 A1 1:N.S A3 1:N.S	図面番号 S-009

ボーリング名	No.1	調査位置	神奈川県海老名市本郷299番地1ほか			北緯	35° 24′ 10.3100″
発注機関	高座渋清掃施設組合			調査期間	令和7年 9月16日～ 令和7年 9月18日	東経	139° 24′ 05.0500″
調査業者名	株式会社相設計 神奈川事務所	主任技師	石川 武	現場代理人	宮沢 浩一	コア鑑定者	石川 武	ボーリング責任者	小川 祥
孔口標高	KBM -0.48m	角度	180° 上 90° 0° 0° 方向	地盤勾配	0° 90°	使用機種	試錐機 YBM-05	ハンマー落下同具	半自動型
総掘進長	18.12m						エンジン ヤンマーTF90M	ポンプ	ﾖﾝﾏｰ V6

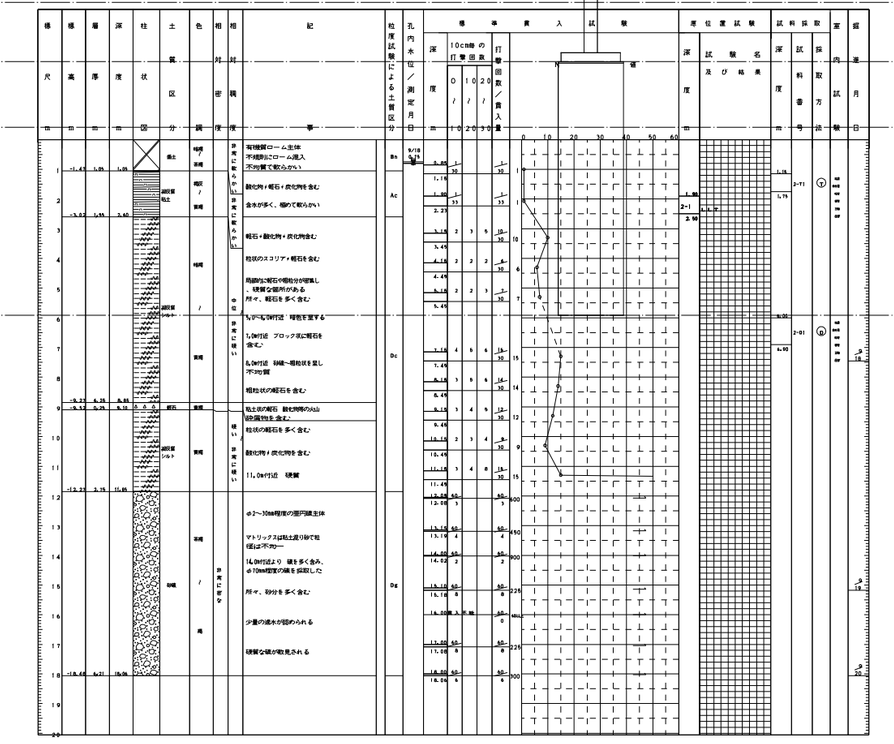
ボーリング名	No.2	調査位置	神奈川県海老名市本郷299番地1ほか			北緯	35° 24′ 11.2200″
発注機関	高座渋清掃施設組合			調査期間	令和7年 9月18日～ 令和7年 9月20日	東経	139° 24′ 04.3000″
調査業者名	株式会社相設計 神奈川事務所	主任技師	石川 武	現場代理人	宮沢 浩一	コア鑑定者	石川 武	ボーリング責任者	小川 祥
孔口標高	KBM -0.42m	角度	180° 上 90° 0° 0° 方向	地盤勾配	0° 90°	使用機種	試錐機 YBM-05	ハンマー落下同具	半自動型
総掘進長	18.06m						エンジン ヤンマーTF90M	ポンプ	ﾖﾝﾏｰ V6

▽1FL(17.50)
△S.GL(17.35)
▽基礎下端ﾚﾍﾞﾙ
▽KBM(13.133)
▽改良体下端ﾚﾍﾞﾙ

2,010
8,540



No.1(追加)ボーリング柱状図



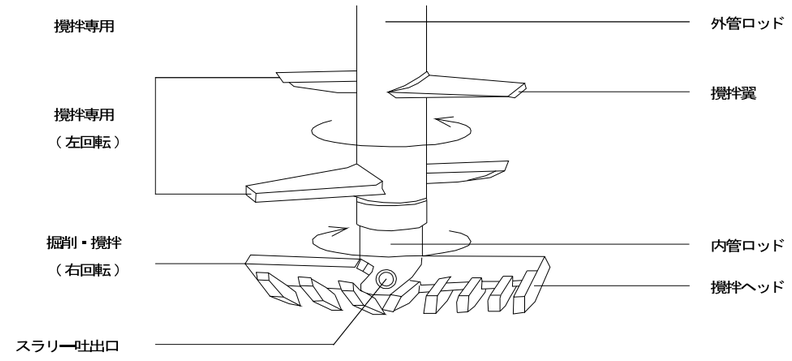
No.2(追加)ボーリング柱状図

		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
一級建築士		図面名	柱状図（3）	縮尺 A1 1:N.S A3 1:N.S	図面番号 S-010
構造設計一級建築士					

深層混合処理工法 （ アスコラム工法 ）特記仕様書

1. 工 法 概 要

本工法は、セメントを主体としたスラリー状の固化材を土壌に注入しながら土壌の「 共回り現象 」を解消する為、撹拌ヘッドと撹拌翼をお互いに
正逆両方向に高速回転させ、土壌と固化材を均一に混合撹拌することによって地中に所用の強度をもつソイルセメントコラムを形成する工法である。



2. 一 般 事 項

（ １ ） 本工事の仕様は、本特記仕様書及び日本建築センター発行「 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針 」による。
（ ２ ） ソイルセメントコラムの径・長さ・本数・及び固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更する場合がある。
（ ３ ） 本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得る。施工計画書には、次の事項を明記する。

① 工法概要
② 工事概要
③ 施工内容
④ 施工機械
⑤ 施工順序（ フローチャート ）
⑥ 注入液の配合及び使用量
⑦ 施工管理
⑧ 品質管理
⑨ 施工管理体制
⑩ 安全対策
⑪ 工程表

3. 特 記 事 項

（ １ ） 工法は、アスコラム工法(CERI性能証明第11-27号）とする。
（ ２ ） コラムの径・掘削深度（改良長+空堀長）・数量・配合等は設計図による。
（ ３ ） 設計基準強度　　Ｆｃ＝ 800　kN／m2

4. 固化材の配合及び配合量

固化材の配合及び配合量は、着工前、改良対象土を採取し、室内配合試験・六価クロム溶出試験を行い試験結果により決定する。
室内配合試験
① 固化材　　セメント系固化材を使用する。
② 配　合　　水／固化材比　　W／C＝60～120%
③ 配合量　　350　kg／m3　　（ 暫定 ）最終的には、室内配合試験にて決定する。
六価クロム溶出試験
設計配合量に近い供試体にて、１検体を六価クロム溶出試験を行う。

5. 施　　工

（ １ ） 施工業者
本工事の施工業者は本工事の施工技術に精通したもので、アスコラム協会に所属する正会員とする。
（麻生フオームクリート株式会社）
（ ２ ） 施工及び手順
施工方法は、掘削同時充填方法とする。
施工機本体は、自走式とし、共回り防止のため、正逆回転機構を装備し羽切回数350回以上を確認できるものとする。
施工に対して、疑義が生じた場合はただちに監督員と協議し、その指示を受ける。
本工事による発生残土は、場内仮置きとする。

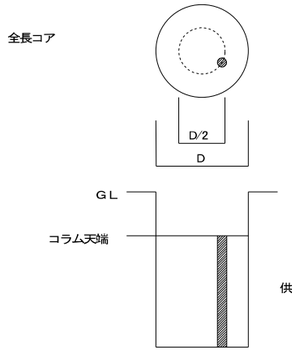
6. 施 工 管 理

① コラムの鉛直性	施工機本体の傾斜計によって管理する。	
② 固化材スラリー	水の計量は、水量計又は水管計で計測する。	固化材の計量は、袋数または、計量器で計測する。
③ スラリーの吐出量	流量計で計測し記録する。	
④ 掘削深度	深度計で計測し記録する。	
⑤ 掘削・引抜速度	速度計で計測し記録する。	
⑥ 支持地盤の確認	掘削オーガの負荷電流又はトルク値を計測し記録する。	

7. 品 質 管 理

１ ） 調査ヶ所
▪ 100コラムにつき一箇所以上とする。
▪ 全長コア　：　1箇所
ボーリングマシン又は塩ビ管にて採取する。
▪ 頭部コア　：　１箇所
サミッドモールドにて採取する。

２ ） 採取位置



供試体は1箇所当たり上、中、下 各3供試体。計9供試体とする。

３ ） 品質検査（ 検査手法Ａ ）
（ １ ） 採取は１カ所当たり３個の供試体を採取する。
（ ２ ） 材齢２８日における圧縮強度試験が下記の方法による式を満足しなければならない。

ＸＬ ＝Ｆｃ＋Ｋａ・σｄ
　＝Ｆｃ＋Ｋａ・Ｖｄ・Ｆｃ／（ １－1.3Ｖｄ）
Ｘｎ＝ΣＸｉ／Ｎ
ＸＬ ≦Ｘｎ
ＸＬ　：　合格判定値　　（kN／m2）
Ｆｃ　：　設計基準強度　　（kN／m2）
Ｋａ　：　合格判定係数
σｄ　：　設計で想定したコアの一軸圧縮強度の標準偏差　　（kN／m2）
Ｖｄ　：　設計で想定したコアの一軸圧縮強度の変動係数
Ｘｎ　：　Ｎカ所の一軸圧縮強度の平均値　　（kN／m2）
Ｘｉ　：　抜取ヶ所毎の一軸圧縮強度で３個の供試体の一軸圧縮強度の平均値　　（kN／m2）
Ｎ　：　検査対象群層の抜取カ所

合格判定係数 Ｋａ

採取ヶ所数 Ｎ	１	２	３	４～６	７～８	９～
合格判定係数 Ｋａ	１．９	１．７	１．６	１．５	１．４	１．３

３ ）立ち会い
建築業者の請負業者は、本工事責任者（ 建築請負業者から選定 ）及び施工責任者を定め、両者は施工中は立ち会うものとする。

8. 施 工 報 告 書

工事完了後、次の項目について報告書をまとめて監督員に提出する。

① 工法概要
② コラムの施工記録図
③ コラムの径
④ コラムの掘削長・改良長
⑤ 施工時間
⑥ チャート記録
⑦ 固化材の配合と使用量
⑧ 管理試験結果
⑨ 写真記録

一級建築士 構造設計一級建築士	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名　地盤改良特記仕様書	縮尺	A1 1:N.S A3 1:N.S		図面番号 S-011

梁貫通孔補強材　　ＭＡＸリンブレンＫ型　設計・施工標準仕様書　（1/2）　　ＢＣＪ評定－ＲＣ０１８４－０７

※同等品以上とすること

◎適用範囲

1、一般事項

1）本仕様書は、ＭＡＸリンブレンＫ型の標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。

2）本仕様書に定めなき事項は、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」2018年版、「鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」2014年改定、「建築工事標準仕様書・同解説（JASS5）」2022年改定、「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」2021年改定、「鉄骨鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」2005年改定、日本建築センター「建築物の構造関係技術基準解説書」2020年版、公共建築協会「建築構造設計基準」令和3年版及び、「公共建築工事標準仕様書」令和4年版による。

2、適用範囲

1）適用対応梁の構造

- 梁の構造種別　：　鉄筋コンクリート造及び、鉄骨鉄筋コンクリート造　　- 梁せい（D）　：　D≧450（㎜）
- コンクリートの設計基準強度（F_c）

a）　あばら筋に普通鉄筋を用いた梁　　$18 \leqq F_c \leqq 60 N/mm^2$　　b）　あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁　　$21 \leqq F_c \leqq 100 N/mm^2$

ただし、コンクリートの設計基準強度が$60N/mm^2$を超えた場合は、建築基準法第37条第二号の大臣認定を取得している高強度コンクリートとする。

- 鉄筋

a）　主筋　　JIS・G 3112　「鉄筋コンクリート用棒鋼」及び、建築基準法第37条第二号の大臣認定を取得している 590・685N/㎟級鋼の高強度鉄筋
ただし、主筋に丸鋼及びインデントの鉄筋は用いないこととする。

b）　あばら筋　　JIS・G 3112　「鉄筋コンクリート用棒鋼」及び、建築基準法第37条第二号の大臣認定を取得している 685・785・1275N/㎟級鋼の高強度鉄筋
ただし、開孔上下部補強筋に丸鋼及びインデントの鉄筋は用いないこととする。

- 引張鉄筋比（p_t）　：　$p_t \leqq 2.5$（%）　　ただし、下限値は0.4%または、存在応力（長期荷重による応力）による必要量の4/3倍のうち小さい方の数値以上とする。
SRC造の場合の下限値は、「SRC規準」に準拠する。
- あばら筋比（p_w）　：　$0.2 \leqq p_w \leqq 1.2$（%）　　ただし、SRC造の場合は0.1%以上とする。（非充複型鉄骨を用いた場合は0.2%以上）

2）開孔径及び、開孔位置

- 開孔径（H）　：　H≦D／3　　ただし、Hは外径とし　H≦750（㎜）
- 開孔の水平方向中心間距離（A）　：　A≧３H　（隣り合う開孔径の平均値の3倍以上）
- 開孔の垂直方向中心間距離（G）　：　G≧３H　（隣り合う開孔径の平均値の3倍以上）　ただし、ΣH≦D/3　且つ、基礎梁に2開孔までとする。
- 柱際から開孔中心までの距離（B）：　B≧D　（㎜）
ただし、あばら筋に普通鉄筋を使用した梁端部に塑性ヒンジが生じない基礎梁で、$18 \leqq Fc \leqq 51 N/mm^2$であり、

$1.00 \leqq M/Qd \leqq 1.55$　且つ、$H/D \leqq 0.25$の場合　　B≧max（0.4D，C/2）　（㎜）

- 梁上下端からのへりあき距離（H_s）　：　開孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とする。
ただし、梁上下端からのへりあき距離については、ＭＡＸリンブレンＫ型があばら筋の内側に納まる距離を確保する。

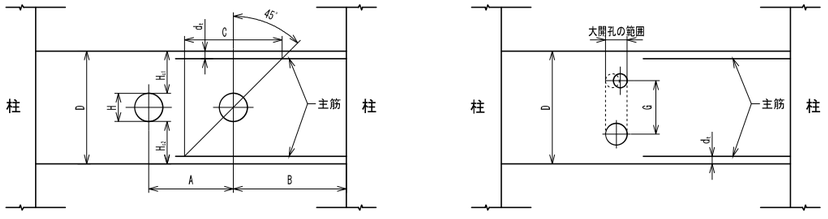


図1　貫通孔の適用開孔位置

3）補強量の範囲

- ＭＡＸリンブレンＫ型の補強筋比（p_t）
あばら筋に普通鉄筋を用いた梁　　$p_t \leqq 1.0$　（%）
あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁　　$p_t \leqq 1.2$　（%）
基礎梁で開孔位置Bをmax（0.4D，C/2）≦B<Dとした梁　　$p_t \leqq 0.38$　（%）
- 有効補強範囲内のあばら筋比（p_w）
あばら筋に普通鉄筋を用いた梁　　$p_w \leqq 1.2$　（%）
あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁　　$p_w \leqq 1.0$　（%）
- 有効補強範囲内のせん断補強筋比（$\Sigma p_{we} = p_t + p_w$）
あばら筋に普通鉄筋を用いた梁　　$0.2 \leqq \Sigma p_{we} \leqq 1.8$　（%）
あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁　　$0.2 \leqq \Sigma p_{we} \leqq 2.2$　（%）

3、補強筋比の算定方法

開孔周囲補強に有効な有効補強範囲（C）は開孔中心部より45度方向に発生するせん断ひび割れを想定して、図2に示す様に開孔中心部から45度に引いた線と上下の主筋重心位置の交点の水平距離とし、$C = C_1 + C_2$とする。

また、基礎梁の梁端部に開孔を設け、有効補強範囲（C）が梁内に確保できない開孔位置の場合の有効補強範囲内のあばら筋比（p_t）は、図3に示す様に、梁内の有効補強範囲内に配置される開孔際補強あばら筋と一般部あばら筋の補強筋比とする。

ＭＡＸリンブレンＫ型の有効断面積（a_t）の算定については、ＭＡＸリンブレンＫ型の開孔中心部から45度方向に対して所在する鉄筋が、せん断抵抗するものを仮定する。

また、広沢式の扱いによって有効断面積は公称断面積の$\sqrt{2}$倍とする。

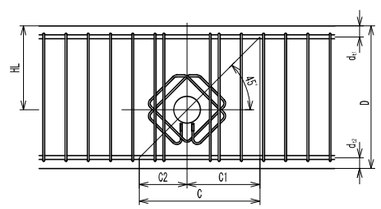


図2　有効補強範囲

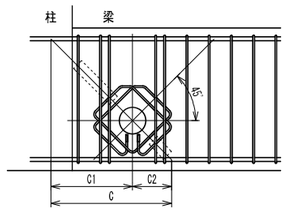


図3　（C）が梁内に確保できない開孔位置とした場合

◎補強算定式

ＭＡＸリンブレンＫ型補強の有孔梁のせん断終局強度式（修正広沢式）

$$Q_{su1} = \alpha \left\{ \frac{0.053 p_t^{0.23}(18+F_c)}{M/Qd+0.12} \left(1-1.61 \frac{H}{D} \right) + 0.85 \sqrt{p_r \cdot {}_r\sigma_y + p_s \cdot {}_s\sigma_y} \right\} bj$$

α：低減係数　$\alpha = 1.00$　p_t：引張鉄筋比　F_c：コンクリートの設計基準強度（N/mm^2）　M/Qd：せん断スパン比で、3以上のときは3とする。　H：開孔径（㎜）
D：梁せい（㎜）　p_r：ＭＡＸリンブレンＫ型の補強筋比　${}_r\sigma_y$：MAXリンブレンＫ型の規格降伏点（785N/㎟）ただし ${}_r\sigma_y = \min(785, 25F_c)$　p_s：有効補強範囲内のあばら筋比
${}_s\sigma_y$：有効補強範囲内のあばら筋の規格降伏点（N/mm^2）　ただし ${}_s\sigma_y = \min({}_s\sigma_y, 25F_c)$　b：梁幅（㎜）　j：応力中心間距離で、j=7d/8（㎜）とする。　d：梁の有効せい（㎜）

◎施工管理要領

1、施工に先立ち、設計図書又は、配筋図に基づき有孔梁の補強計算を行ない、補強筋量及び開孔位置を確認する。次にＭＡＸリンブレンＫ型の枚数及び、必要あばら筋組数を確認する。

2、ＭＡＸリンブレンＫ型には製品の型式が記載されたラベルが取付けてあるので、 適当な製品であるか又、変形や傷がないか、スペーサー部にキャップが付いているか必ず確認する。
キャップは使用鉄筋径別に色分けし、適用開孔径を表示している。

3、ＭＡＸリンブレンＫ型を直接地面に置くことは避け、各サイズ毎に整理し、雨・泥・油等で汚さないように保管する。

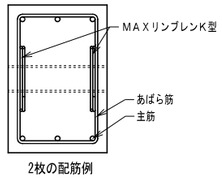
◎標準配筋図

1、ＭＡＸリンブレンＫ型の取付け

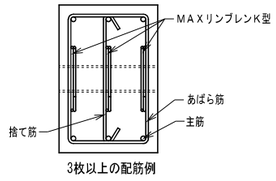
1）ＭＡＸリンブレンＫ型の取付けは、開孔部1ヶ所に対して2枚以上用いて必ずあばら筋の内側へ取り付ける。ＭＡＸリンブレンＫ型を3枚以上必要とする場合は、図4に示すように捨て筋を取付け、ＭＡＸリンブレンＫ型を捨て筋に結束線等で取付け保持する。ＭＡＸリンブレンＫ型の配置は、コンクリートが十分に回る空きを確保することとし、バランスよく配置する。

2、ＭＡＸリンブレンＫ型の取付け向き

1）ＭＡＸリンブレンＫ型は、必ずつめ部が上下方向になるように取り付ける。（図5）

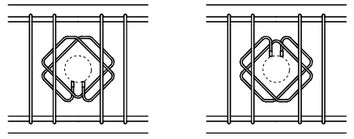


2枚の配筋例



3枚以上の配筋例

図4　ＭＡＸリンブレンＫ型の取付け



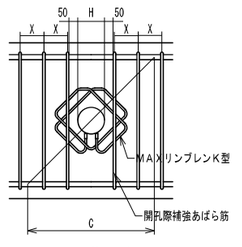
適正な取付け向き

図5　ＭＡＸリンブレンＫ型の取付け向き

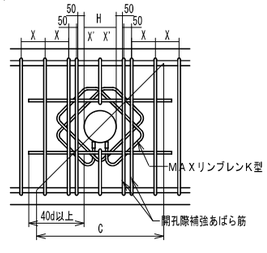
3、開孔際補強あばら筋の基本配筋（図3参照）

1）開孔際補強あばら筋は、一般部あばら筋と同種同形状とし、基本組数を開孔径が、H<250のとき開孔際に1組、250≦Hのとき開孔際に2組とする。

2）開孔際補強あばら筋は、開孔際から50㎜のかぶり厚さとし、2組目以降は50㎜ピッチとする。



■ H<250　基本組数 1組



■ 250≦H　基本組数 2組

図6　開孔径別のあばら筋基本配筋図

K-07-20240417-J

一級建築士
構造設計一級建築士

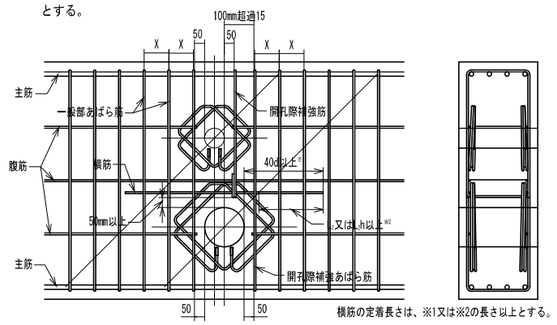
工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号	257031
図面名　梁貫通補強材仕様（参考図）（１）	縮尺	A1 1:N.S A3 1:N.S		図面番号	S-012

梁貫通孔補強材　　ＭＡＸリンブレンＫ型　設計・施工標準仕様書　（2/2）　　ＢＣＪ評定－ＲＣ０１８４－０７

※同等品以上とすること

◎標準配筋図

3）垂直方向に並列する2開孔が異径の場合、図7に示す様に、小開孔の開孔縁から開孔際補強あばら筋までの距離が100㎜を超える場合は、大開孔の小開孔側となる直上または直下に横筋を配置し、小開孔の開孔際から50㎜のかぶり厚さを確保した位置に開孔際補強筋を配筋する。開孔際補強筋は大開孔の開孔縁から50㎜以上のかぶり厚さを確保することとし、形状は図9を参考に決定する。開孔際補強筋は━般部あばら筋と同径とする。ただし、開孔際補強筋に丸鋼およびインデントの鉄筋は用いないこととする。横筋は━般部あばら筋と同径以上とし、定着長さは大開孔の開孔際から40d以上または、開孔中心から45度の線との交点から「RC配筋指針」6章に規定されるL2又はL2h以上とする。



横筋の定着長さは、※1又は※2の長さ以上とする。

図7　開孔際補強筋の配筋例

4、開孔上下部の補強（図8、9参照）

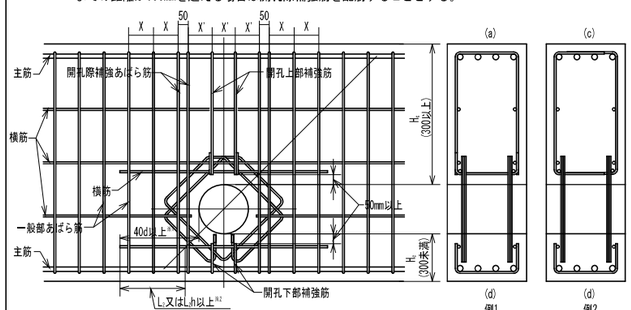
1）開孔径が250≦Hのときは開孔上下部補強を設計ピッチ以内（X´）で設ける。

2）開孔上下部補強筋は━般部あばら筋と同径とする。ただし、丸鋼及びインデントの鉄筋は用いないこととする。横筋は━般部あばら筋径と同径以上とし、定着長さは開孔際から40d以上または、開孔中心から45度の線との交点から「RC配筋指針」6章に規定されるL2又はL2h以上とする。

3）開孔上下部補強筋は開孔の上下縁から50㎜以上のかぶりを確保し、形状は図9を参考に決定する。Hcが300㎜未満の場合、(d)の形状としてもよい。また、(c)のように梁の両側からコの字形状の補強筋を配筋する場合の重ね長さは、「JASS5」の直線重ね継手長さ以上を確保することとする。

4）垂直方向に開孔径が250㎜以上の同径の2開孔が並列する場合、開孔間についても広範囲にわたって無筋状態となることを避けるため、開孔上下補強筋と同様の配筋を行うこととする。

5）垂直方向に並列する2開孔が異径で大開孔の開孔径が250㎜以上の場合、小開孔の開孔径にかかわらず小開孔の上下部に開孔上下部補強筋を配筋することとし、小開孔の開孔際から開孔際補強あばら筋までの距離が100㎜を超える場合は開孔際補強筋を配筋することとする。



開孔上下部補強筋例

図8　開孔上下部の補強例

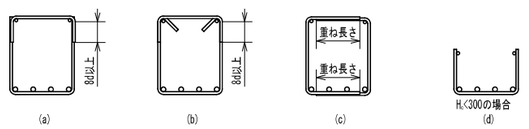


図9　開孔上下部補強筋の形状例

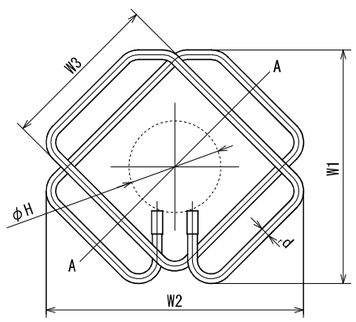
◎仕様

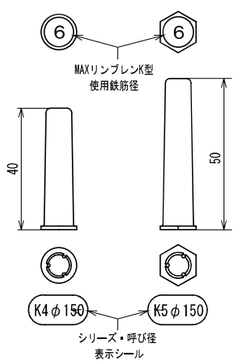
〈K4シリーズ〉

型　式	呼び径	適用開孔径 H	寸　法　(㎜) W1	W2	W3	使用鉄筋 d	かぶり厚さ (㎜)	有効断面積 a_e(㎟)	重量 (kg)	キャップ色別
K4ー0806	80	≦ 90	251	290	182	S6	40	179.2	0.41	黒
K4ー0808			257	296	186	S8		280.1	0.66	赤
K4ー0810			285	315	190	S10		403.5	1.01	緑
K4ー0813			311	337	196	S13		716.7	1.93	黄
K4ー1006	100	≦ 115	282	325	207	S6	40	179.2	0.46	黒
K4ー1008			287	332	211	S8		280.1	0.73	赤
K4ー1010			316	350	215	S10		403.5	1.12	緑
K4ー1013			341	372	221	S13		716.7	2.12	黄
K4ー1016			367	394	227	S16		1123.5	3.52	白
K4ー1206	125	≦ 140	312	360	232	S6	40	179.2	0.51	黒
K4ー1208			318	367	236	S8		280.1	0.81	赤
K4ー1210			346	385	240	S10		403.5	1.23	緑
K4ー1213			371	408	246	S13		716.7	2.31	黄
K4ー1216			397	430	252	S16		1123.5	3.82	白
K4ー1506	150	≦ 166	344	397	258	S6	40	179.2	0.56	黒
K4ー1508			349	404	262	S8		280.1	0.89	赤
K4ー1510			378	422	266	S10		403.5	1.34	緑
K4ー1513			403	444	272	S13		716.7	2.51	黄
K4ー1516			429	467	278	S16		1123.5	4.14	白
K4ー1706	175	≦ 191	374	432	283	S6	40	179.2	0.61	黒
K4ー1708			380	439	287	S8		280.1	0.96	赤
K4ー1710			408	457	291	S10		403.5	1.45	緑
K4ー1713			434	480	297	S13		716.7	2.71	黄
K4ー1716			459	502	303	S16		1123.5	4.44	白
K4ー2006	200	≦ 217	406	469	309	S6	40	179.2	0.66	黒
K4ー2008			412	476	313	S8		280.1	1.04	赤
K4ー2010			440	494	317	S10		403.5	1.57	緑
K4ー2013			465	516	323	S13		716.7	2.91	黄
K4ー2016			491	539	329	S16		1123.5	4.76	白
K4ー2506	250	≦ 268	463	541	360	S6	40	179.2	0.75	黒
K4ー2508			469	548	364	S8		280.1	1.19	赤
K4ー2510			497	566	368	S10		403.5	1.78	緑
K4ー2513			522	589	374	S13		716.7	3.29	黄
K4ー2516			548	611	380	S16		1123.5	5.36	白
K4ー3006	300	≦ 319	525	613	411	S6	40	179.2	0.85	黒
K4ー3008			531	620	415	S8		280.1	1.34	赤
K4ー3010			559	638	419	S10		403.5	2.00	緑
K4ー3013			585	661	425	S13		716.7	3.69	黄
K4ー3016			610	683	431	S16		1123.5	5.98	白
K4ー3508	350	≦ 370	588	692	466	S8	40	280.1	1.49	赤
K4ー3510			616	711	470	S10		403.5	2.21	緑
K4ー3513			642	733	476	S13		716.7	4.07	黄
K4ー3516			667	755	482	S16		1123.5	6.57	白

〈K5シリーズ〉

型　式	呼び径	適用開孔径 H	寸　法　(㎜) W1	W2	W3	使用鉄筋 d	かぶり厚さ (㎜)	有効断面積 a_e(㎟)	重量 (kg)	キャップ色別
K5ー0806	80	≦ 90	280	318	202	S6	50	179.2	0.46	黒
K5ー0808			285	325	202	S8		280.1	0.73	赤
K5ー0810			314	343	210	S10		403.5	1.12	緑
K5ー0813			339	365	216	S13		716.7	2.11	黄
K5ー1006	100	≦ 115	310	353	227	S6	50	179.2	0.51	黒
K5ー1008			316	360	231	S8		280.1	0.80	赤
K5ー1010			344	378	235	S10		403.5	1.23	緑
K5ー1013			369	400	241	S13		716.7	2.31	黄
K5ー1016			395	423	247	S16		1123.5	3.81	白
K5ー1206	125	≦ 140	340	389	252	S6	50	179.2	0.56	黒
K5ー1208			346	395	256	S8		280.1	0.88	赤
K5ー1210			374	414	260	S10		403.5	1.34	緑
K5ー1213			400	436	266	S13		716.7	2.50	黄
K5ー1216			425	458	272	S16		1123.5	4.12	白
K5ー1506	150	≦ 166	372	425	278	S6	50	179.2	0.61	黒
K5ー1508			378	432	282	S8		280.1	0.96	赤
K5ー1510			406	450	286	S10		403.5	1.45	緑
K5ー1513			431	473	292	S13		716.7	2.70	黄
K5ー1516			457	495	298	S16		1123.5	4.43	白
K5ー1706	175	≦ 191	402	461	303	S6	50	179.2	0.66	黒
K5ー1708			408	468	307	S8		280.1	1.03	赤
K5ー1710			436	486	311	S10		403.5	1.56	緑
K5ー1713			462	508	317	S13		716.7	2.90	黄
K5ー1716			487	530	323	S16		1123.5	4.74	白
K5ー2006	200	≦ 217	434	497	329	S6	50	179.2	0.71	黒
K5ー2008			440	504	333	S8		280.1	1.11	赤
K5ー2010			468	522	337	S10		403.5	1.67	緑
K5ー2013			494	545	343	S13		716.7	3.10	黄
K5ー2016			519	567	349	S16		1123.5	5.05	白
K5ー2506	250	≦ 268	491	570	380	S6	50	179.2	0.80	黒
K5ー2508			497	576	384	S8		280.1	1.26	赤
K5ー2510			525	595	388	S10		403.5	1.89	緑
K5ー2513			551	617	394	S13		716.7	3.48	黄
K5ー2516			576	639	400	S16		1123.5	5.65	白
K5ー3006	300	≦ 319	553	642	431	S6	50	179.2	0.90	黒
K5ー3008			559	649	435	S8		280.1	1.41	赤
K5ー3010			587	667	439	S10		403.5	2.11	緑
K5ー3013			613	689	445	S13		716.7	3.87	黄
K5ー3016			638	711	451	S16		1123.5	6.27	白
K5ー3508	350	≦ 370	616	721	486	S8	50	280.1	1.56	赤
K5ー3510			645	739	490	S10		403.5	2.32	緑
K5ー3513			670	761	496	S13		716.7	4.25	黄
K5ー3516			695	783	502	S16		1123.5	6.87	白
K5ー4010	400	≦ 420	705	810	540	S10	50	403.5	2.53	緑
K5ー4013			731	832	546	S13		716.7	4.64	黄
K5ー4016			756	854	552	S16		1123.5	7.47	白
K5ー4510	450	≦ 470	766	880	590	S10	50	403.5	2.75	緑
K5ー4513			791	902	596	S13		716.7	5.03	黄
K5ー4516			817	925	602	S16		1123.5	8.08	白
K5ー5010	500	≦ 520	827	951	640	S10	50	403.5	2.96	緑
K5ー5013			852	973	646	S13		716.7	5.40	黄
K5ー5016			878	995	652	S16		1123.5	8.69	白
K5ー5510	550	≦ 570	882	1,022	690	S10	50	403.5	3.17	緑
K5ー5513			908	1,044	696	S13		716.7	5.77	黄
K5ー5516			933	1,066	702	S16		1123.5	9.27	白
K5ー6010	600	≦ 630	957	1,107	750	S10	50	403.5	3.43	緑
K5ー6013			983	1,129	756	S13		716.7	6.24	黄
K5ー6016			1,008	1,151	762	S16		1123.5	9.99	白
K5ー6510	650	≦ 670	1,004	1,163	790	S10	50	403.5	3.60	緑
K5ー6513			1,029	1,185	796	S13		716.7	6.54	黄
K5ー6516			1,055	1,208	802	S16		1123.5	10.46	白
K5ー7010	700	≦ 720	1,065	1,234	840	S10	50	403.5	3.82	緑
K5ー7013			1,090	1,256	846	S13		716.7	6.92	黄
K5ー7016			1,115	1,278	852	S16		1123.5	11.06	白
K5ー7510	750	≦ 750	1,097	1,276	870	S10	50	403.5	3.94	緑
K5ー7513			1,122	1,298	876	S13		716.7	7.14	黄
K5ー7516			1,148	1,321	882	S16		1123.5	11.40	白





〈 K4シリーズ 〉　〈 K5シリーズ 〉

キャップ

※MAXリンブレンK型の採用・施工における注意点

・MAXリンブレンK型の補強計算内容および結果は設計者、工事監理者、元請施工管理者が必ず確認して下さい。
・MAXリンブレンK型の採用に関しては、設計者および工事監理者の承認を得て下さい。
・MAXリンブレンK型の施工に際しては、元請施工管理者の管理の下に行って下さい。

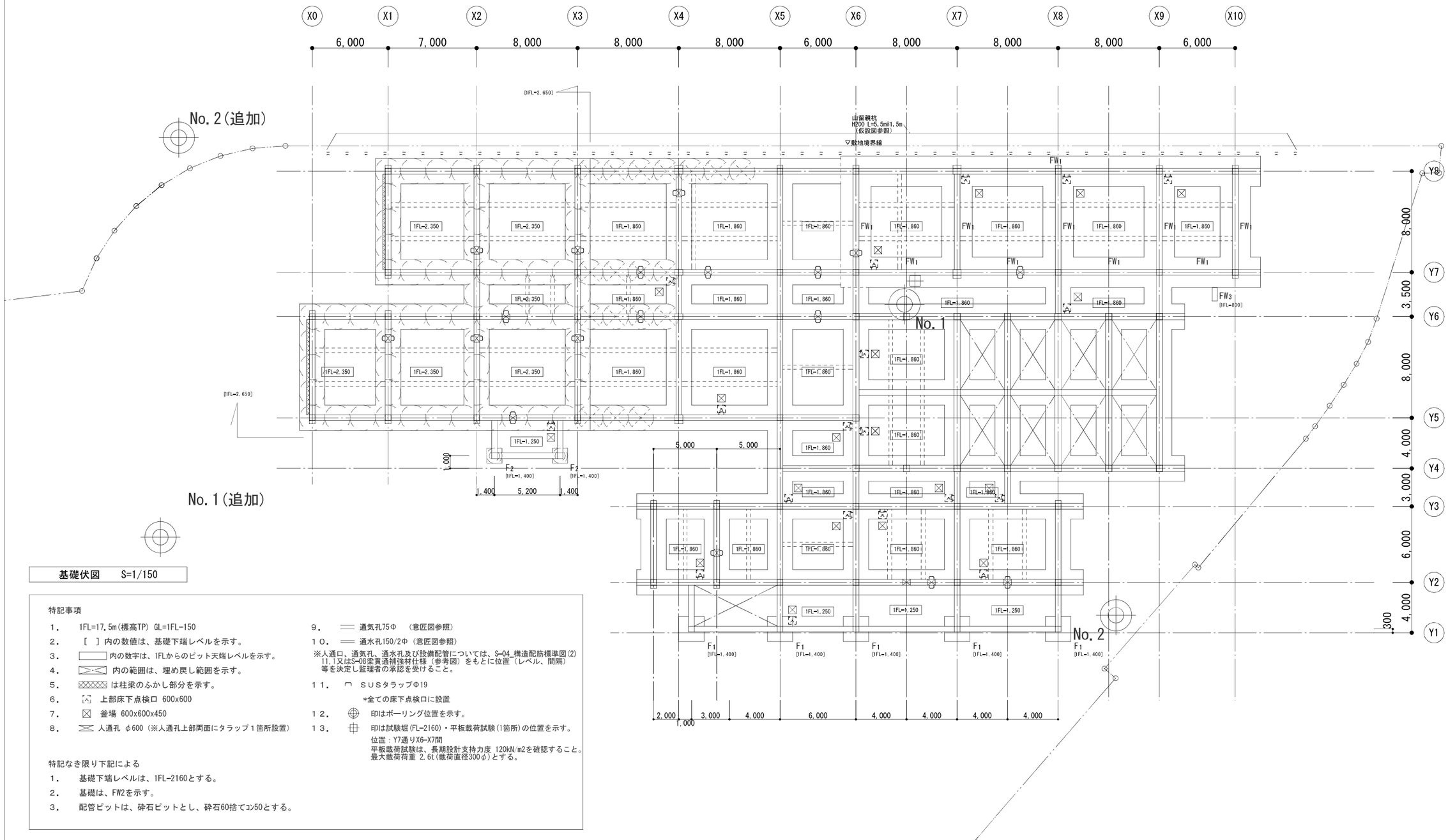
K-07-20240417-J

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号	257031
図面名　梁貫通補強材仕様（参考図）（２）	縮尺	A1 1:N.S A3 1:N.S		図面番号	S-013

一級建築士
構造設計一級建築士

地盤改良仕様

設計基準強度	Fc=800kN/m2		
長期許容支持力	185kN/m2		
改良径	2,000Φ		1,200Φ (F2のみ)
符号			
掘削長	10.70m	10.70m	10.70m
空堀長	2.16m	2.65m	2.16m
改良長	8.54m	8.05m	8.54m
本数	18本	61本	2本



基礎伏図　S=1/150

特記事項

1. 1FL=17.5m(標高TP) GL=1FL-150
2. [ ] 内の数値は、基礎下端レベルを示す。
3. 内の数字は、1FLからのピット天端レベルを示す。
4. 内の範囲は、埋め戻し範囲を示す。
5. は柱梁のふかし部分を示す。
6. 上部床下点検口 600x600
7. 釜場 600x600x450
8. 人通孔 φ600 (※人通孔上部両面にタラップ1箇所設置)
9. 通気孔75Φ (意匠図参照)
10. 通水孔150/2Φ (意匠図参照)

※人通口、通気孔、通水孔及び設備配管については、S-04_構造配筋標準図(2)11.1又はS-08梁貫通補強材仕様 (参考図) をもとに位置 (レベル、間隔) 等を決定し監理者の承認を受けること。

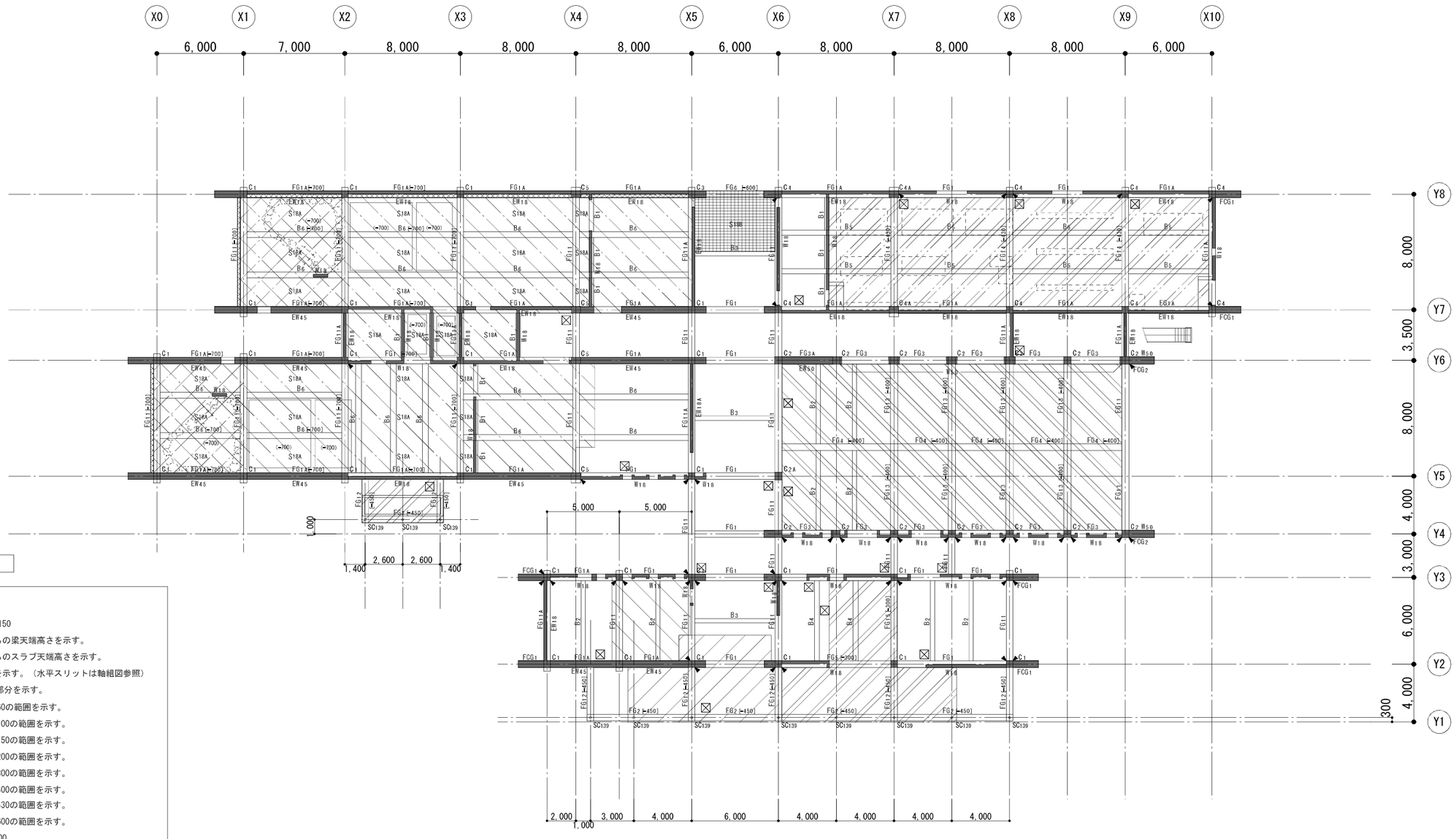
11. ∩ SUSタラップΦ19
    *全ての床下点検口に設置
12. 印はボーリング位置を示す。
13. 印は試験堀(FL-2160)・平板載荷試験(1箇所)の位置を示す。
    位置：Y7通りX6-X7間
    平板載荷試験は、長期設計支持力度 120kN/m2を確認すること。
    最大載荷荷重 2.6t(載荷直径300φ)とする。

特記なき限り下記による

1. 基礎下端レベルは、1FL-2160とする。
2. 基礎は、FW2を示す。
3. 配管ピットは、砕石ピットとし、砕石60捨てｺﾝ50とする。

工事名	(仮称) 地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	実務番号 257031
図面名	基礎伏図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号 S-014

一級建築士
構造設計一級建築士



1階床伏図　S=1/150

特記事項

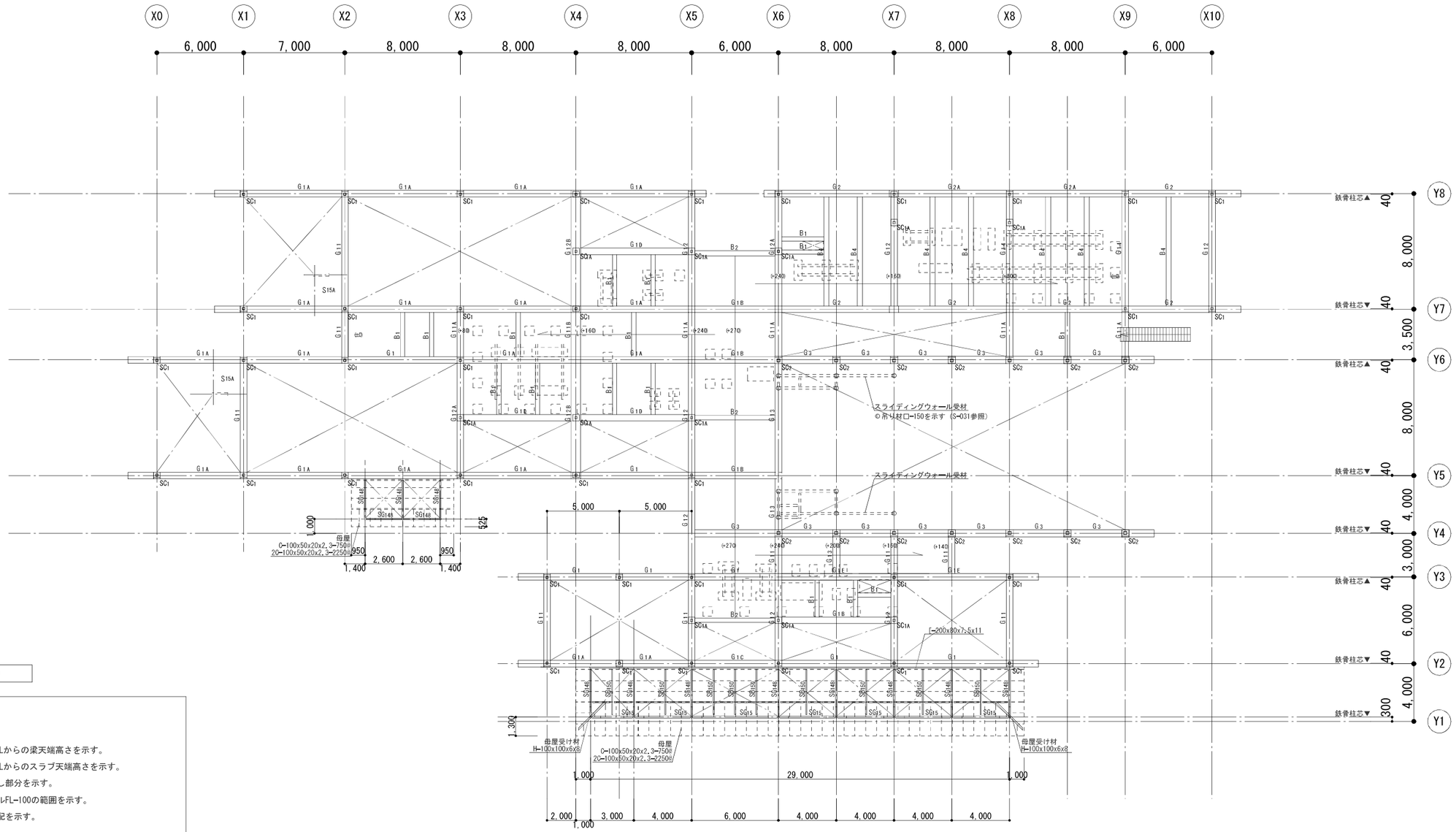
1. 1FL=17.5m(標高TP) GL=1FL-150
2. [　] 内の数字は、FLからの梁天端高さを示す。
3. (　) 内の数字は、FLからのスラブ天端高さを示す。
4. ▲印は、耐震スリット部分を示す。（水平スリットは軸組図参照）
5. ▨ は柱梁壁のふかし部分を示す。
6. ▨ はスラブレベルFL-60の範囲を示す。
7. ▨ はスラブレベルFL-100の範囲を示す。
8. ▨ はスラブレベルFL-150の範囲を示す。
9. ▨ はスラブレベルFL-200の範囲を示す。
10. ▨ はスラブレベルFL-300の範囲を示す。
11. ▨ はスラブレベルFL-400の範囲を示す。
12. ▨ はスラブレベルFL-430の範囲を示す。
13. ▨ はスラブレベルFL-600の範囲を示す。
14. ☒ 上部床下点検口 600x600

特記なき限り下記による

1. 基礎梁・基礎小梁天端レベルは、1FL-210とする。
2. スラブ天端レベルはFL-30とする。
3. 壁はW45とする。
4. 1FスラブはS18とする。

一級建築士
構造設計一級建築士

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	実務番号 257031
図面名	1階梁伏図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号 S-015



R1階床伏図　S=1/150

特記事項

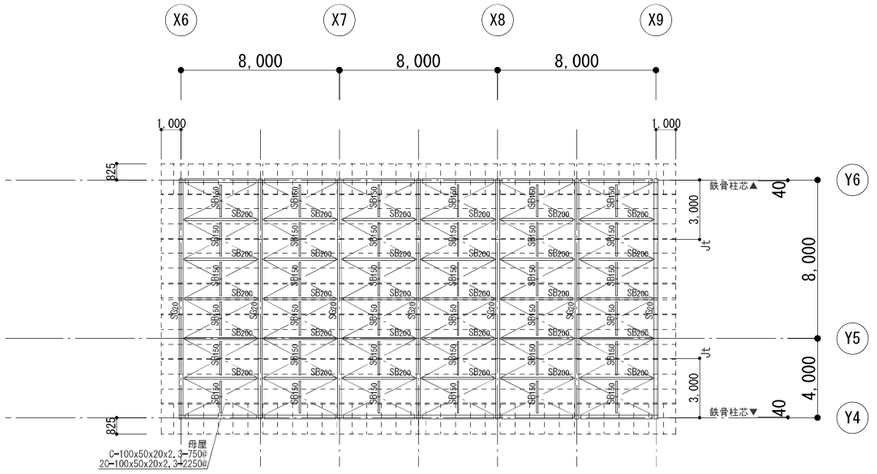
1. R1FL=1FL+3,600
2. [　] 内の数字は、FLからの梁天端高さを示す。
3. (　) 内の数字は、FLからのスラブ天端高さを示す。
4. ▨ は柱梁のふかし部分を示す。
5. ▨ はスラブレベルFL-100の範囲を示す。
6. ——— はスラブ水勾配を示す。

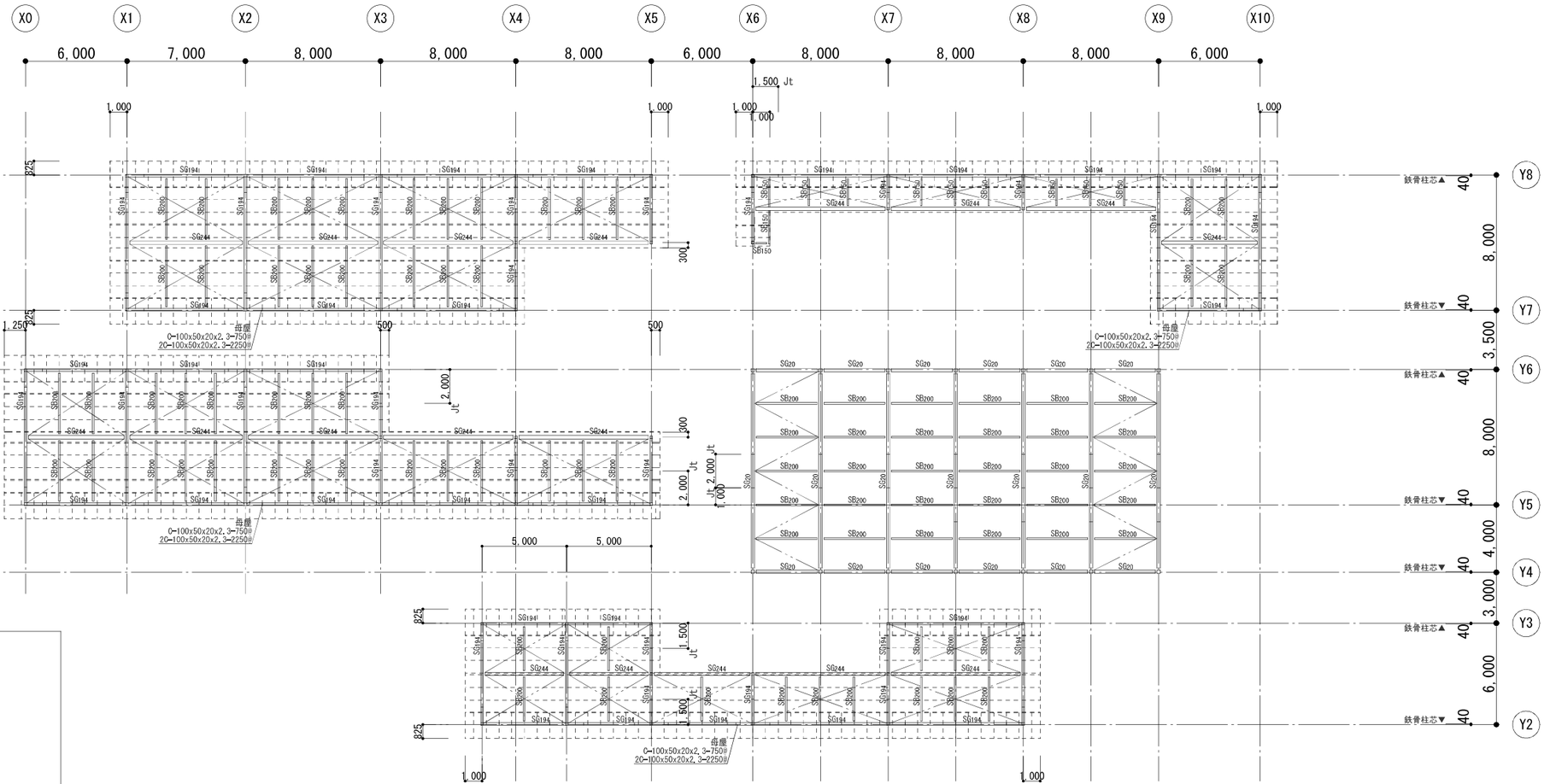
特記なき限り下記による

1. 大梁・小梁天端レベルは、FL±0とする。
2. スラブはS15とする。
3. ——·—·—— は、水平ブレースLV12を示す。

一級建築士
構造設計一級建築士

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日	実務番号 257031
図面名	M階梁伏図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300	計画　製作　調査　調査	図面番号 S-016





屋根伏図　S=1/150

特記事項

1．　R1FL=1FL+3,600

2．　[　　] 内の数字は、FLからの梁天端高さを示す。

3．　╱ はスラブ水勾配を示す。

特記なき限り下記による

1．　大梁・小梁天端レベルは、FL±0とする。

2．　鉄骨継ぎ手位置は、柱芯から1,000㎜の位置とする。

3．　┄┄ は、水平ブレースLV20を示す。

一級建築士
構造設計一級建築士

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日	業務番号	
			計画　製作　調査　調査	257031	
図面名　R階梁伏図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号	S-017

特記事項

1．　▲印は、耐震スリット部分を示す。

2．　▨ は柱梁のふかし部分を示す。

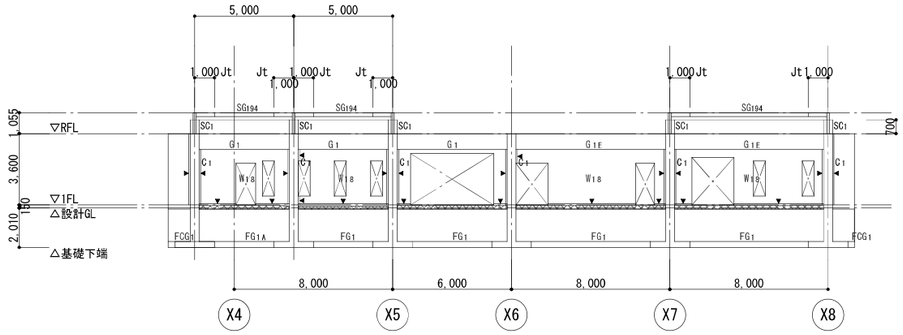
特記なき限り下記による

1．　基礎梁天端レベルはFL−210とする。

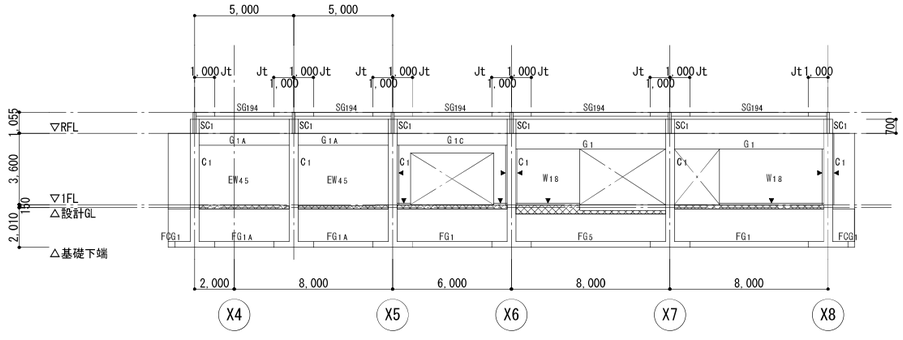
2．　スラブ天端レベルはFL−30とする。

3．　基礎は、FW2とする。

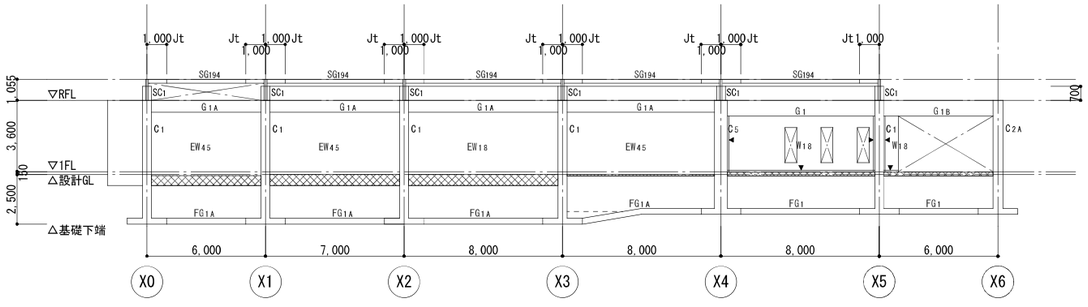
4．　壁はW45とする。



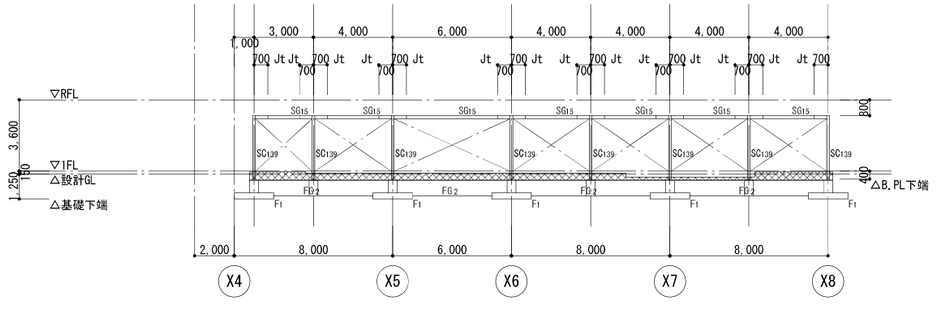
Y3通り軸組図　1/300



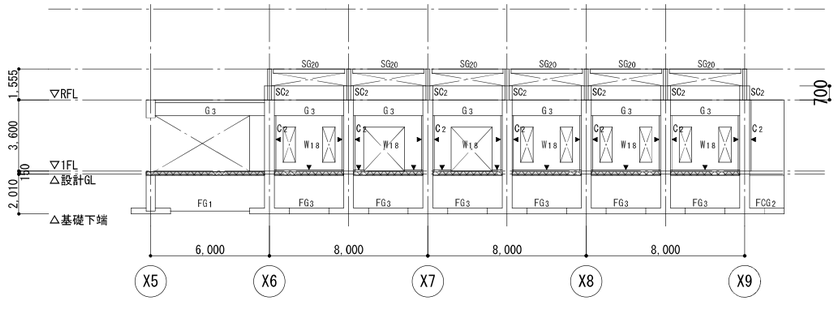
Y2通り軸組図　1/300



Y5通り軸組図　1/300



Y1通り+300軸組図　1/300



Y4通り軸組図　1/300

一級建築士
構造設計一級建築士

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日	実務番号	257031
図面名　軸組図（１）	縮尺	A1 1:150 A3 1:300	計画　製作　調査　調査	図面番号	S−018

特記事項

1．　▲印は、耐震スリット部分を示す。

2．　▨ は柱梁のふかし部分を示す。

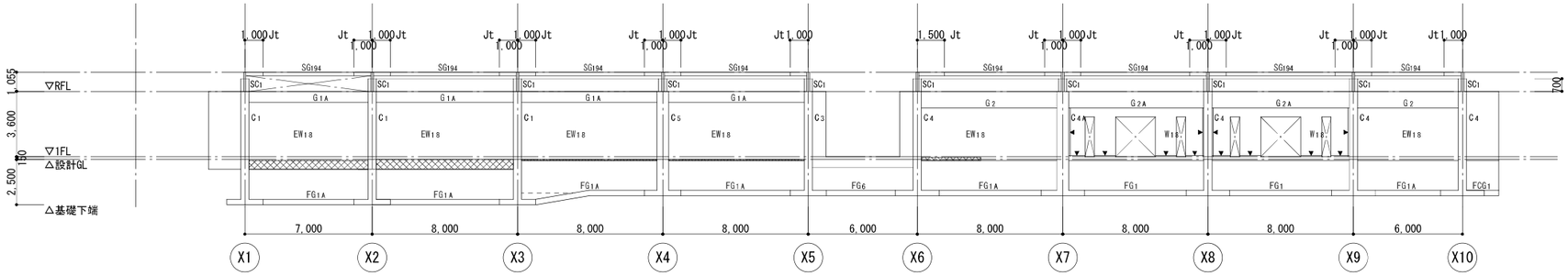
特記なき限り下記による

1．　基礎梁天端レベルはFL−210とする。

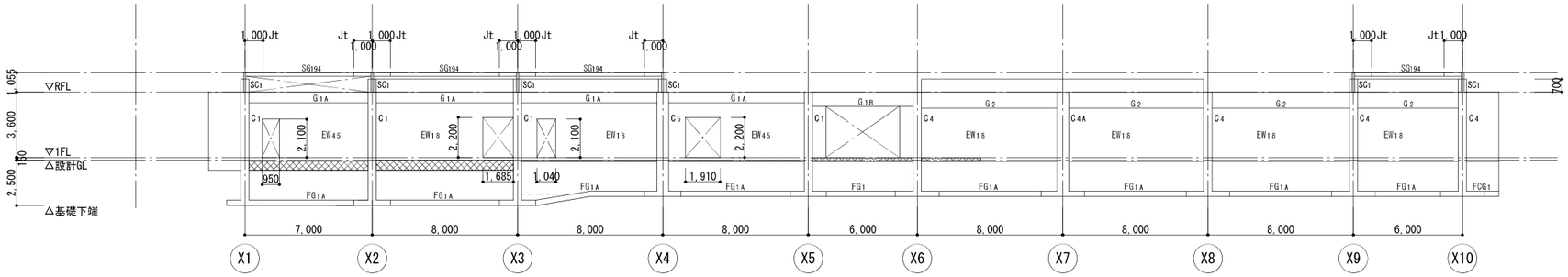
2．　スラブ天端レベルはFL−30とする。

3．　基礎は、FW2とする。

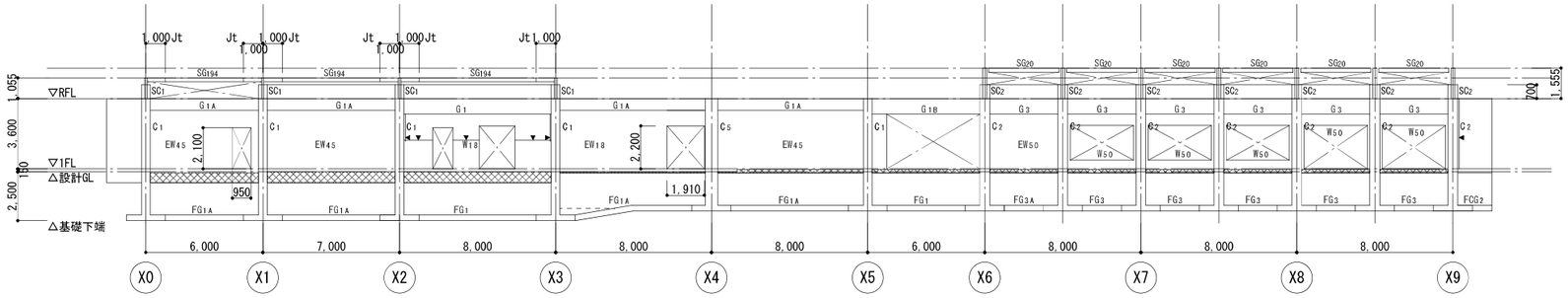
4．　壁はW45とする。



Y8通り軸組図　1/300



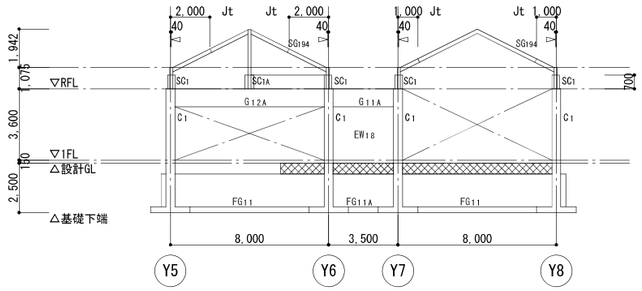
Y7通り軸組図　1/300



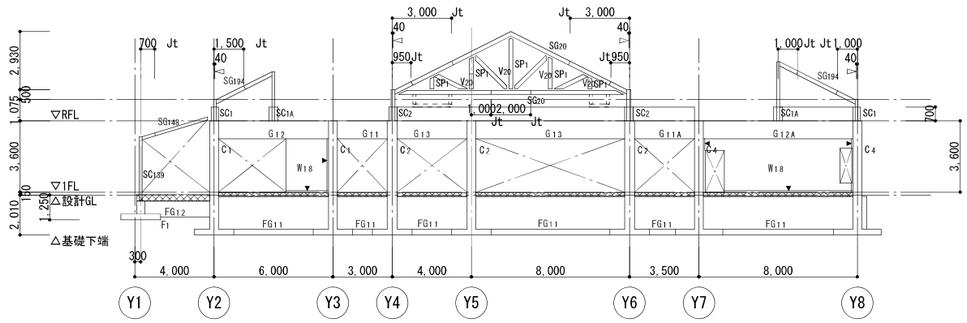
Y6通り軸組図　1/300

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日	業務番号	
			計画　製作　調査　調査		257031
図面名　軸組図（２）	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号	S-019

一級建築士
構造設計一級建築士



X3通り軸組図　1/300



X6通り軸組図　1/300

特記事項

1．　▲印は、耐震スリット部分を示す。

2．　▨ は柱梁のふかし部分を示す。

3．　◅ 印は、柱芯の位置を示す。

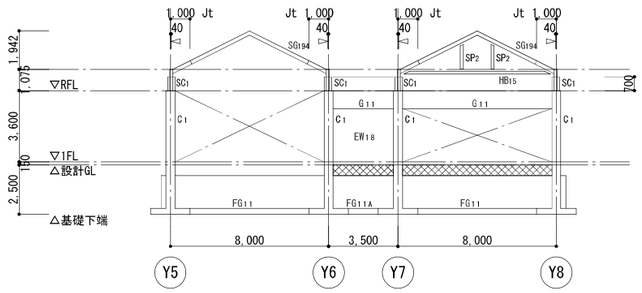
特記なき限り下記による

1．　基礎梁天端レベルはFL−210とする。

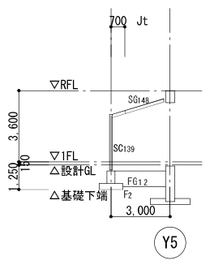
2．　スラブ天端レベルはFL−30とする。

3．　基礎は、FW2とする。

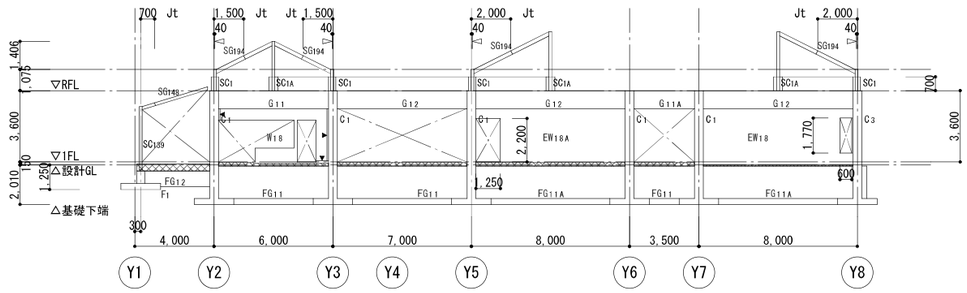
4．　壁はW45とする。



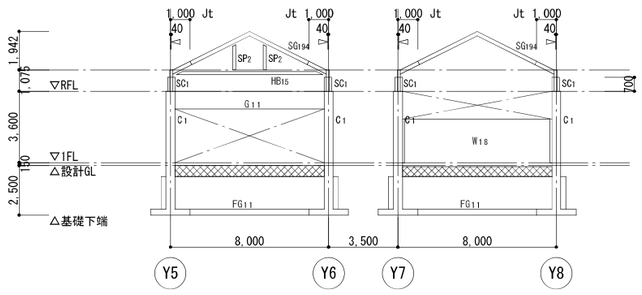
X2通り軸組図　1/300



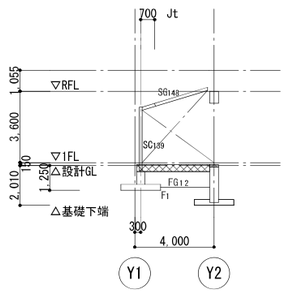
X2+1400通り軸組図　1/300
（+,4000,+6,600）



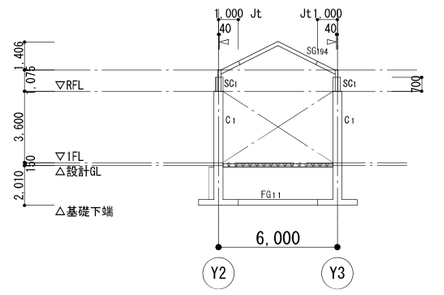
X5通り軸組図　1/300



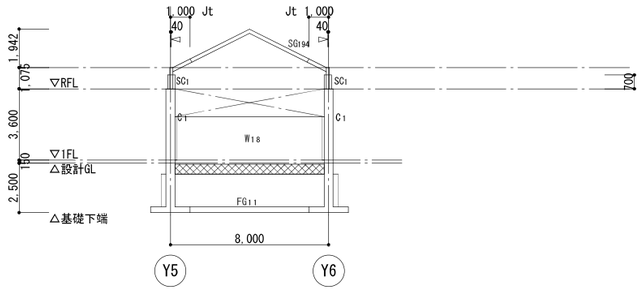
X1通り軸組図　1/300



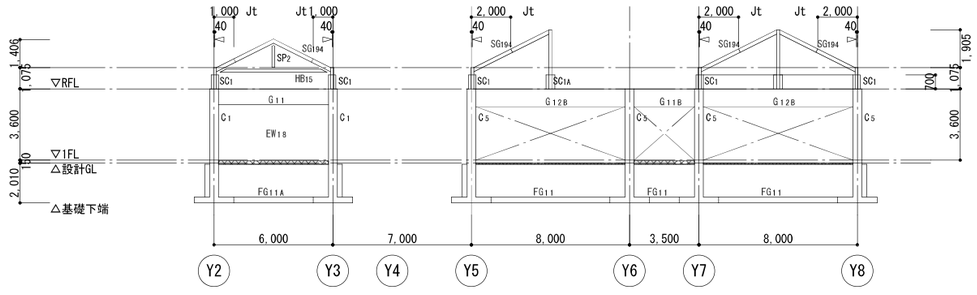
X4通り＋1,000軸組図　1/300
（X4+4,000，X6+4,000，X7+4,000）



X4通り＋3,000軸組図　1/300



X0通り軸組図　1/300



X4通り軸組図　1/300

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日	実務番号	
			計画　製作　調査　調査		257031
図面名　軸組図（３）	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号	S−020

一級建築士
構造設計一級建築士

特記事項

1．　▲印は、耐震スリット部分を示す。

2．　▨ は柱梁のふかし部分を示す。

3．　◅ 印は、柱芯の位置を示す。

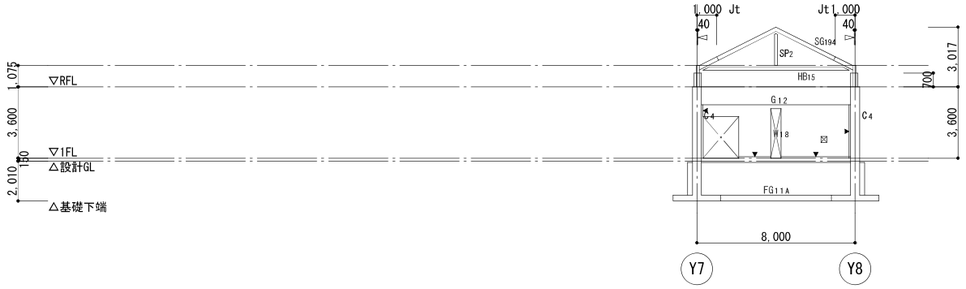
特記なき限り下記による

1．　基礎梁天端レベルはFL−210とする。

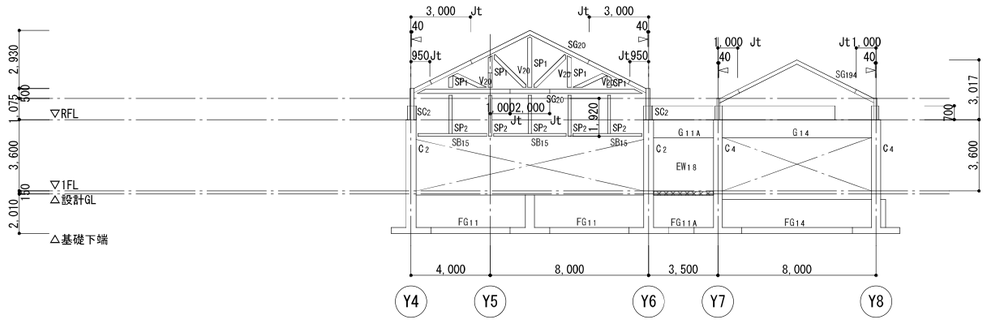
2．　スラブ天端レベルはFL−30とする。

3．　基礎は、FW2とする。

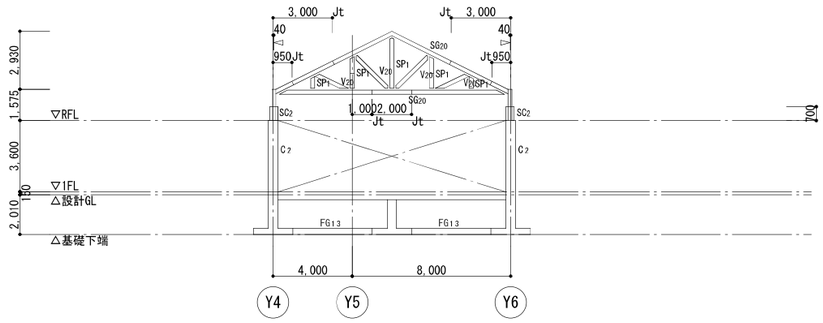
4．　壁はW45とする。



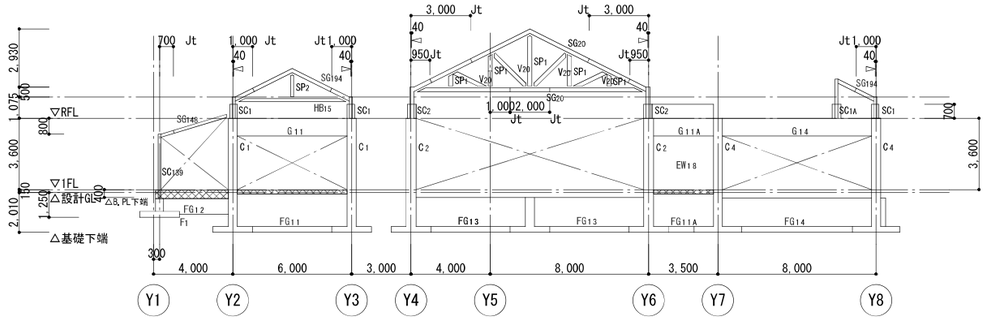
X10通り軸組図　1/300



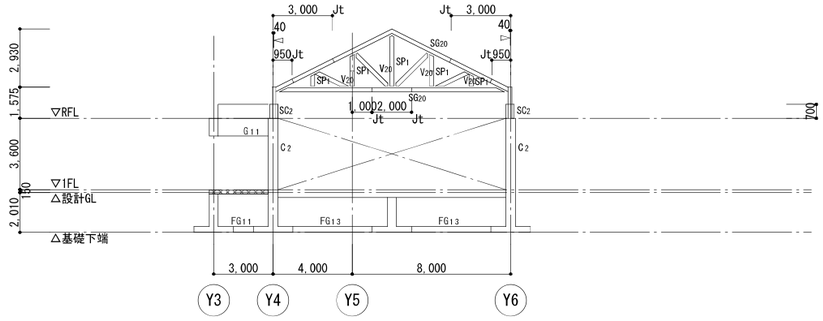
X9通り軸組図　1/300



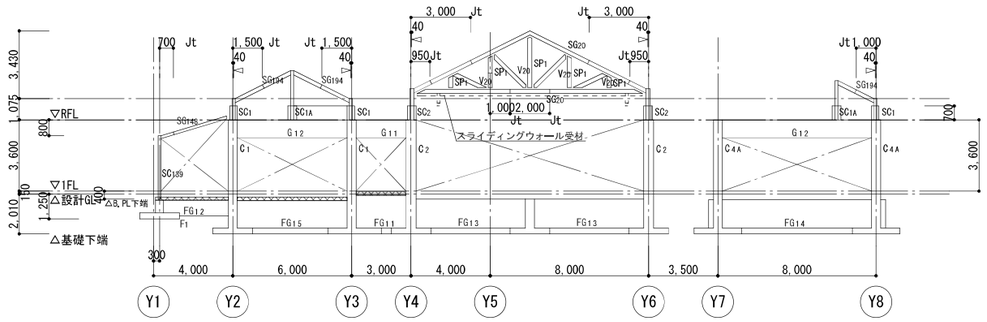
X8A通り軸組図　1/300



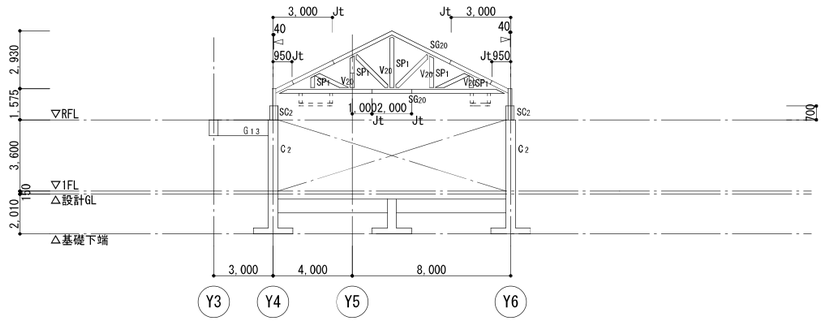
X8通り軸組図　1/300



X7A通り軸組図　1/300



X7通り軸組図　1/300



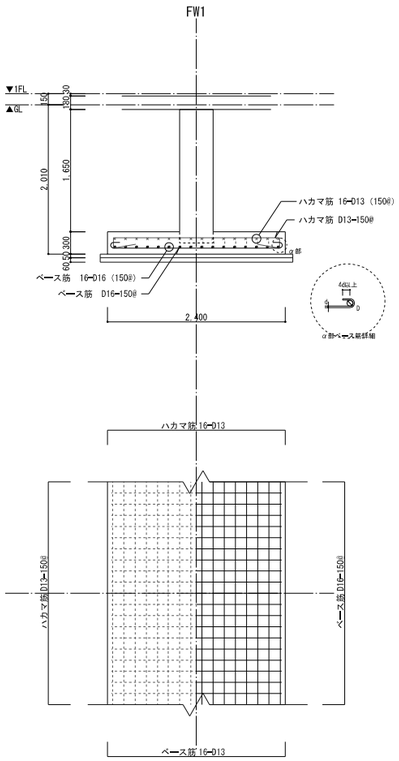
X６A通り軸組図　1/300

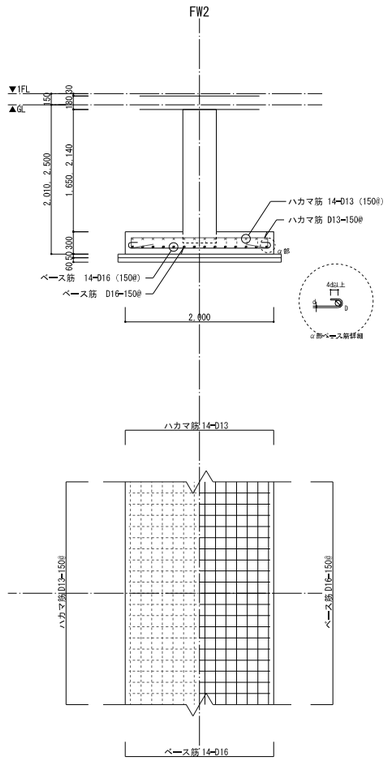
一級建築士
構造設計一級建築士

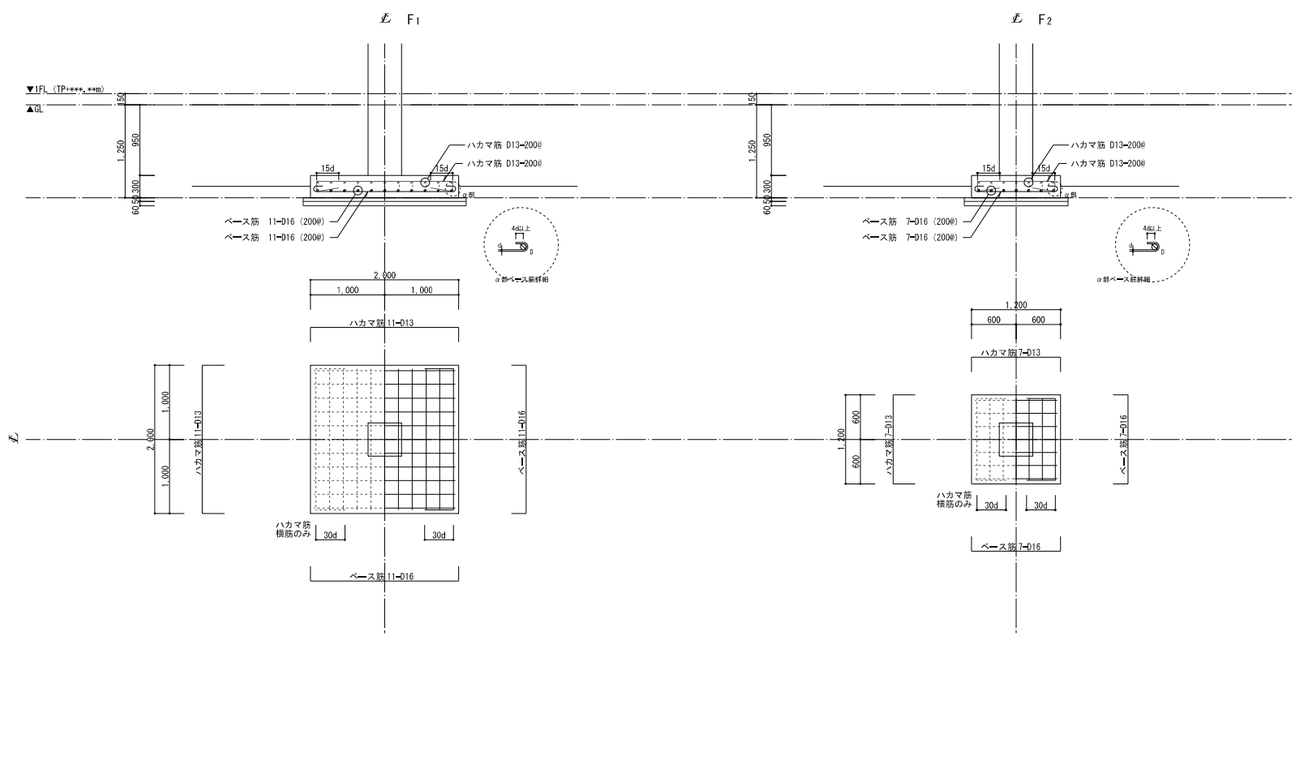
工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	実務番号	257031
図面名　軸組図（４）	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号	S-021

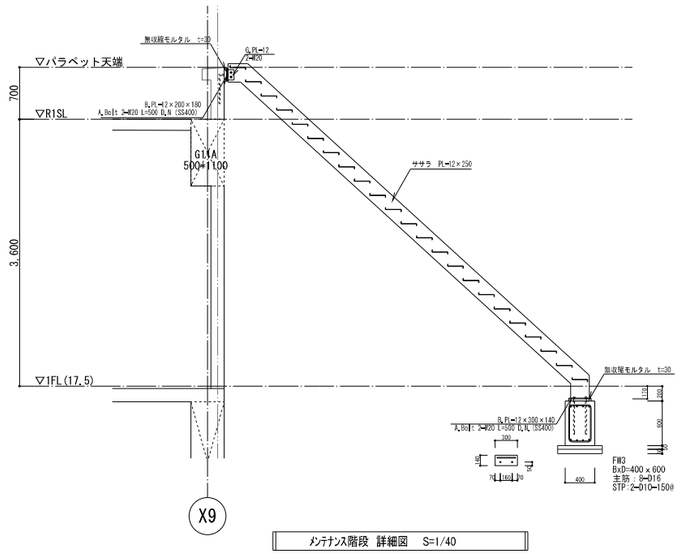
基礎断面リスト　S=1:40

特記事項
1．基礎フーチング内に貫通孔を設けないこと。
2．※印の寸法は、伏図、軸組図による。









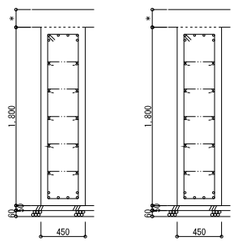
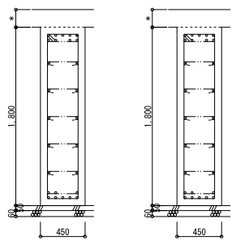
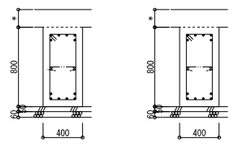
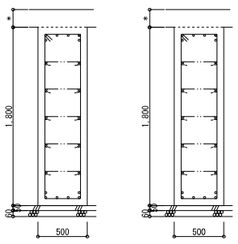
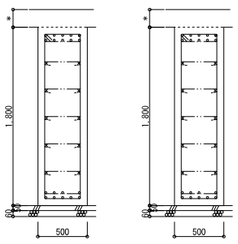
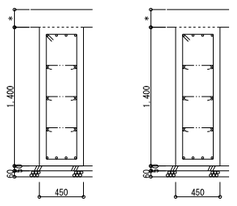
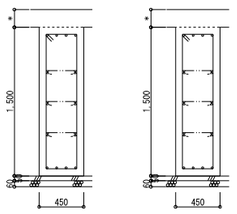
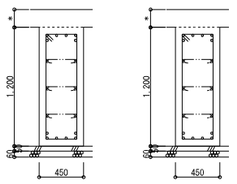
メンテナンス階段 詳細図　S=1:40

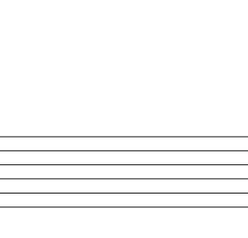
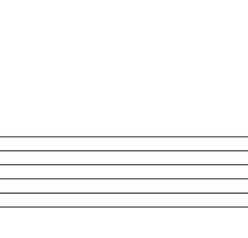
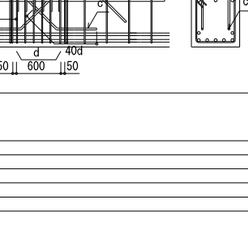
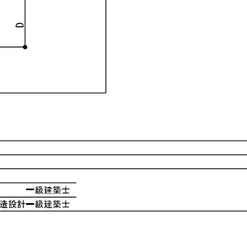
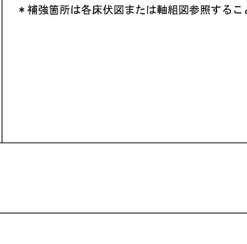
鉄骨部は、溶融亜鉛メッキ処理とする。
高力ボルトは、F8Tとする。

一級建築士 構造設計一級建築士	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名	基礎断面リスト	縮尺 A1 1:40 A3 1:80		図面番号 S-022

基礎梁断面リスト　S=1/30

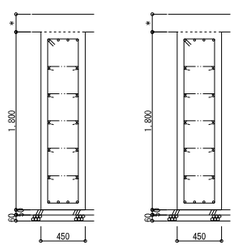
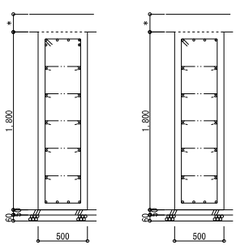
特記事項
1．左右の梁主筋については、可能な限り通し配筋とすること。
2．巾止め筋　D10@1,000@
3．＊寸法は、伏図・軸組図参照による。

符号		FG1		FG1A		FG2		FG3		FG3A		FG4		FG5		FG6	
位置		両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央
断面																	
B×D		450x1,800		450x1,800		400x800		500x1,800		500x1,800		450x1,400		450x1,500		450x1,200	
主筋	上端筋	6-D22	6-D22	9-D22	9-D22	6-D19	6-D19	6-D22	6-D22	10-D22	10-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22
	下端筋	6-D22	6-D22	8-D22	8-D22	6-D19	6-D19	6-D22	6-D22	9-D22	9-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22
スターラップ		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@	
腹筋		10-D13		10-D13		2-D13		10-D13		10-D13		6-D13		6-D13		6-D13	
備考																	

符号		FG11		FG11A		FG12		FG13		FG14		FG15	
位置		両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央
断面													
B×D		450x1,800		450x1,800		400x800		500x1,400		450x1,400		450x1,500	
主筋	上端筋	6-D22	6-D22	9-D22	9-D22	4-D19	4-D19	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	4-D22
	下端筋	6-D22	6-D22	8-D22	8-D22	4-D19	4-D19	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	4-D22
スターラップ		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@		□-D13-200@	
腹筋		10-D13		10-D13		2-D13		6-D13		6-D13		6-D13	
備考													

基礎片持ち梁断面リスト　S=1/30

特記事項
1．左右の梁主筋については、可能な限り通し配筋とすること。
2．巾止め筋　D10@1,000@
3．＊寸法は、伏図・軸組図参照による。

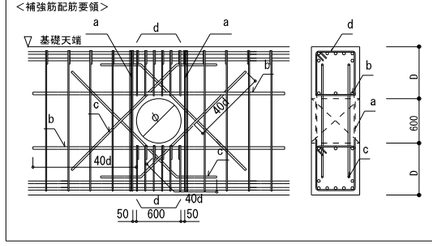
符号		FCG1		FCG2	
位置		基端	先端	基端	先端
断面					
B×D		450x1,800		500x1,800	
主筋	上端筋	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22
	下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22
スターラップ		□-D13-200@		□-D13-200@	
腹筋		10-D13		10-D13	
備考					

人通孔補強配筋図

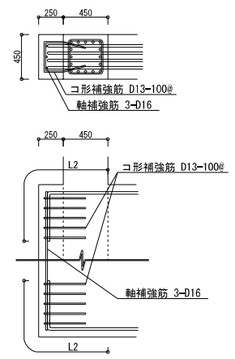
孔径	補強筋				
φ(cm)	a 縦筋	b 横筋	c 斜筋	d スターラップ	使用梁
60.0	2x（ 6-D13 ）	2x（ 肋筋本数-D19 ）	4x（ 2-D19 ）	同径-100@	FG1,FG1A,FG5 FG11,FG11A

※1：縦筋の印はスターラップダブル巻きとする。
※2：横筋は基礎梁あばら筋の本数に準ずる。（あばら筋の受けに必要な本数）最低本数3本
※3：□印は孔際追加補強筋：ダブル（二重）巻きとする。
（該当基礎梁のあばら筋同本数の二重巻き）
※4：貫通孔径の3倍以上の梁せいとすること。

＜補強筋配筋要領＞

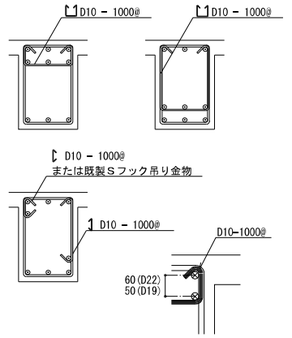


基礎梁外端部納まり要領図

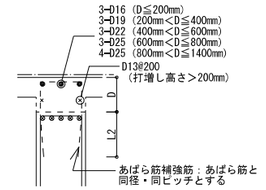


＊補強箇所は各床伏図または軸組図参照すること。

二段筋保持詳細図

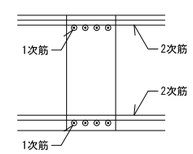


躯体打増し部配筋図



梁主筋配筋要領

基礎梁については、下記に示す配筋とする。
1）先行配筋部材(1次筋配筋)：FG11～FG13
2）後行配筋部材(2次筋配筋)：FG1～FG4

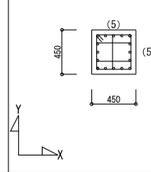
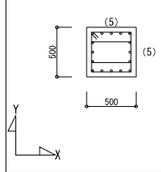
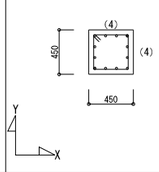
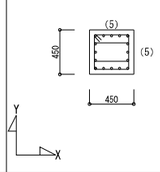
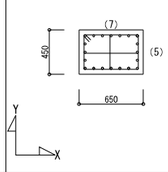
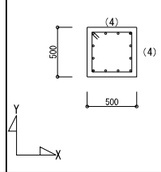
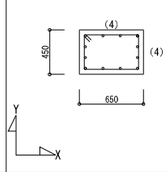


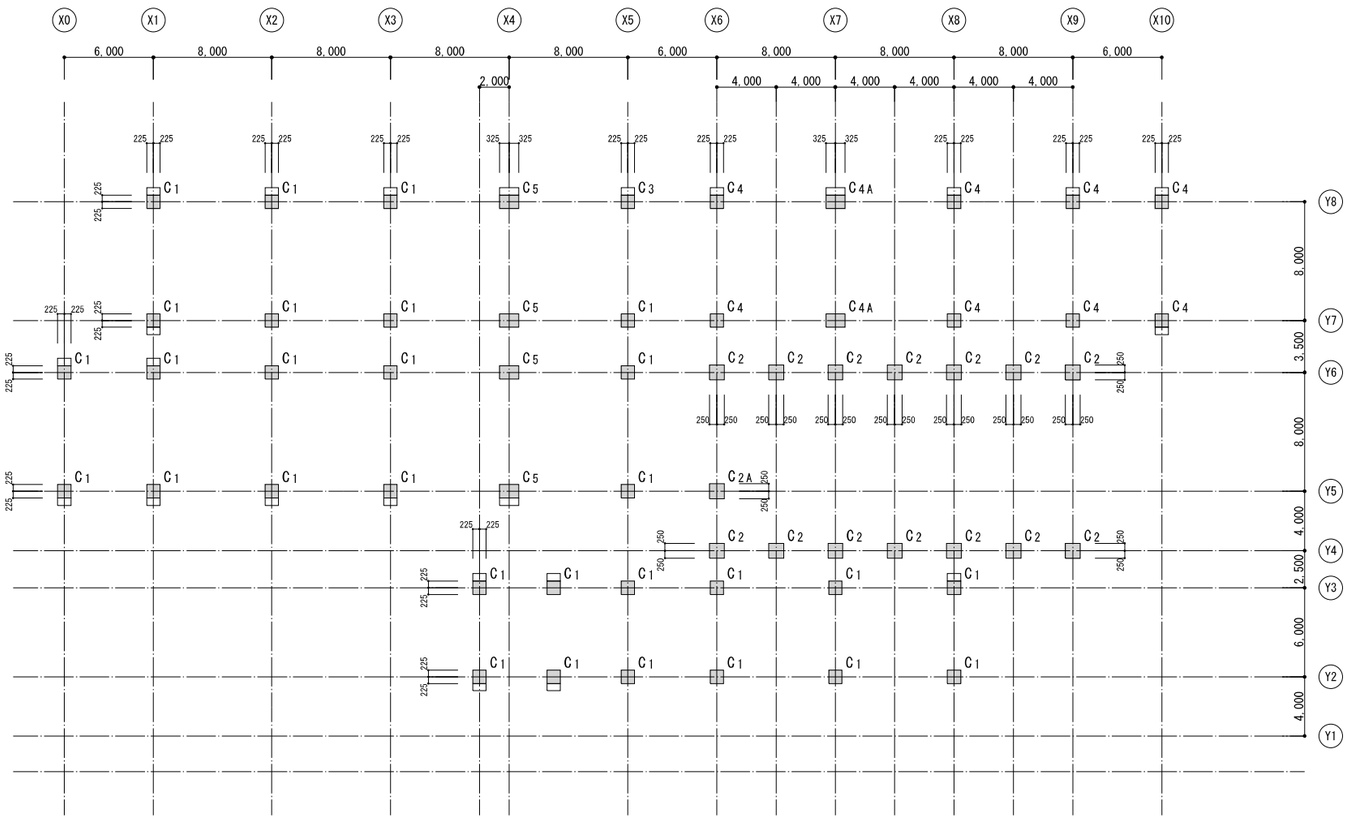
一級建築士
構造設計一級建築士

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号
				計画　製作　調査　調査	257031
図面名	基礎梁断面リスト	縮尺	A1 1:30 A3 1:60		図面番号 S-023

RC柱断面リスト　S=1/30

特記事項
1．Ｈｏｏｐは閉鎖型（評定品又は認定品）とする。
2．特記なき仕口部Ｈｏｏｐは、□-D13-100@（タガ型）とする。
3．へ印は、寄せ筋を示す。

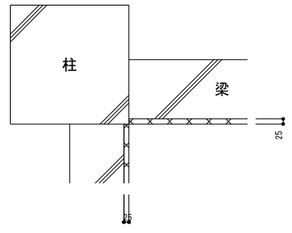
階	符号	C1	C2	C3	C4	C5	C2A	C4A
1F	断面							
	Dx × Dy	450x450	500x500	450x450	450x450	650x450	500x500	650x450
	主筋	16-D22	16-D22	12-D22	16-D22	20-D22	12-D22	12-D22
	フープ	田-D13-100@	日-D13-100@	□-D13-100@	日-D13-100@	田-D13-100@	□-D13-100@	□-D13-100@
	備考							



柱芯線図　S=1:200
（柱断面図　S=1:100）

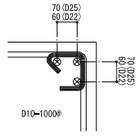
柱・梁の納まり図

※柱と梁が同面の場合は、梁を２５ｍｍ内に移動する。
そして、移動した分の２５ｍｍを打ち増し、柱と梁が同面になるようにする。



柱・梁の納まり図

＊柱頭、柱脚には必ず入れること

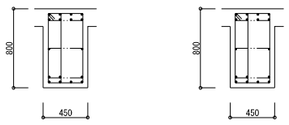
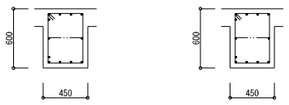
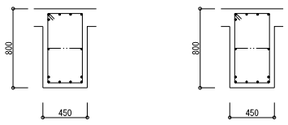
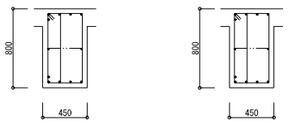
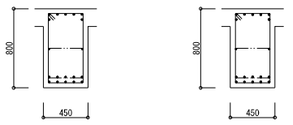


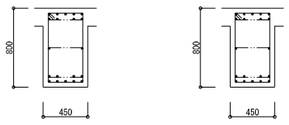
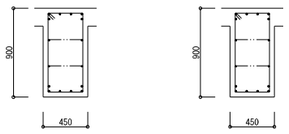
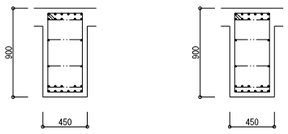
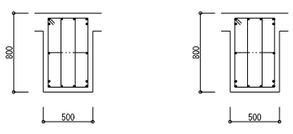
一級建築士
構造設計一級建築士

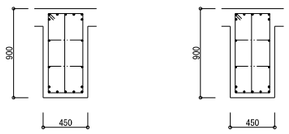
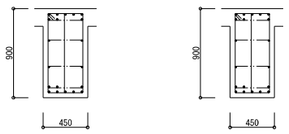
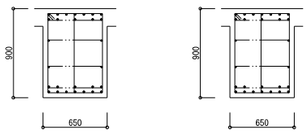
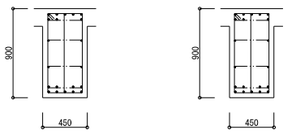
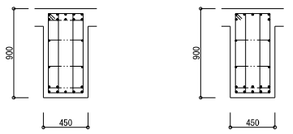
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日	業務番号 257031
図面名	柱断面リスト	縮尺	A1 1:30 A3 1:60	計画　製作　調査　調査	図面番号 S-024

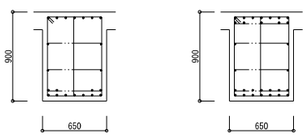
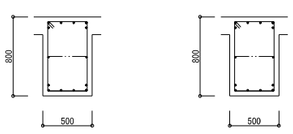
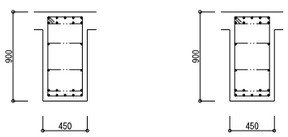
RC大梁断面リスト　S=1:30

特記事項
1．左右の梁主筋については、可能な限り通し配筋とすること。なお、主筋を絞やかに曲げた場合は、肋筋を二重とする。
2．巾止め筋　D10−1,000@

階	符号	G1		G1A		G1B		G1C		G1D	
	位置	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央
MF	断面										
	B × D	450 x 800		450 x 600		450 x 800		450 x 800		450 x 800	
	主筋 上端筋	8 − D19	8 − D19	5 − D19	5 − D19	5 − D19	5 − D19	5 − D19	5 − D19	7 − D19	7 − D19
	主筋 下端筋	7 − D19	7 − D19	5 − D19	5 − D19	6 − D19	6 − D19	5 − D19	5 − D19	10 − D19	10 − D19
	スターラップ	□□ − D13 − 200@		□ − D13 − 200@		□ − D13 − 200@		□□ − D13 − 150@		□ − D13 − 200@	
	腹筋	2 − D10		2 − D10		2 − D10		2 − D10		2 − D10	
	備考										

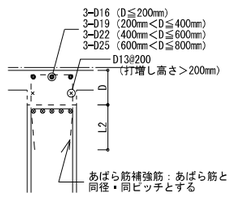
階	符号	G1E		G2		G2A		G3	
	位置	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央
MF	断面								
	B × D	450 x 800		450 x 900		450 x 900		500 x 800	
	主筋 上端筋	9 − D19	9 − D19	6 − D19	6 − D19	11 − D19	11 − D19	6 − D19	6 − D19
	主筋 下端筋	9 − D19	9 − D19	6 − D19	6 − D19	11 − D19	11 − D19	6 − D19	6 − D19
	スターラップ	□ − D13 − 200@		□ − D13 − 200@		□ − D13 − 200@		▯▯ − D13 − 100@	
	腹筋	2 − D10		4 − D10		4 − D10		2 − D10	
	備考								

階	符号	G11		G11A		G11B		G12		G12A	
	位置	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央
MF	断面										
	B × D	450 x 900		450 x 900		650 x 900		450 x 900		450 x 900	
	主筋 上端筋	7 − D19	7 − D19	8 − D19	8 − D19	12 − D19	12 − D19	8 − D19	8 − D19	10 − D19	7 − D19
	主筋 下端筋	7 − D19	7 − D19	8 − D19	8 − D19	12 − D19	12 − D19	9 − D19	9 − D19	8 − D19	10 − D19
	スターラップ	□□ − D13 − 200@		□□ − D13 − 200@		□□ − D13 − 200@		□□ − D13 − 200@		▯▯ − D13 − 200@	
	腹筋	4 − D10		4 − D10		4 − D10		4 − D10		4 − D10	
	備考										

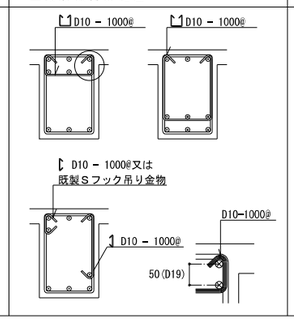
階	符号	G12B		G13		G14	
	位置	外端	内端・中央	両端	中央	両端	中央
MF	断面						
	B × D	650 x 900		500 x 800		450 x 900	
	主筋 上端筋	7 − D19	12 − D19	6 − D19	6 − D19	9 − D19	9 − D19
	主筋 下端筋	11 − D19	14 − D19	6 − D19	6 − D19	9 − D19	9 − D19
	スターラップ	□□ − D13 − 200@		□ − D13 − 200@		□ − D13 − 200@	
	腹筋	4 − D10		2 − D10		4 − D10	
	備考						

躯体打増し部配筋図

※軸補強筋については、柱内に20d定着とする。

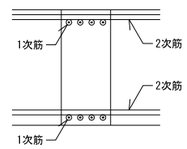


二段筋保持詳細図



配筋要領

大梁については、下記に示す配筋とする。
1）先行配筋部材（1次筋配筋）：G11〜G14
2）後行配筋部材（2次筋配筋）：G1〜G3

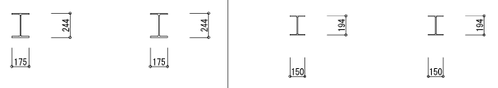


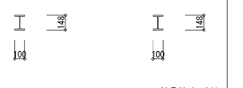
一級建築士
構造設計一級建築士

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	RC大梁断面リスト	縮尺	A1 1:30 A3 1:60	計画　製作　調査　調査	図面番号 S-025

鉄骨大梁断面リスト　S=1/30

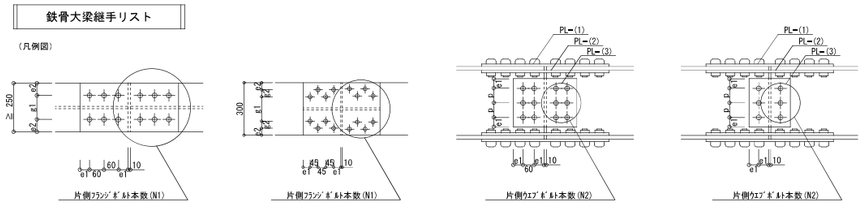
特記事項
特記なき鉄骨材質はSN400Bとする。ガセットプレートは母材と同等とする。
特記なき鉄骨梁継手位置は、柱芯から700mmとする。ボルト材質は溶融亜鉛メッキ部：F8T、その他：S10Tとする。

符号		SG20		SG244		SG194	
位置		端部	中央	端部	中央	端部	中央
RF・RIF 姿断面		鉄骨継手：SJ1		 鉄骨継手：SJ2		鉄骨継手：SJ3	
部材(SIZE)		H－200×200×8×12	H－200×200×8×12	H－244×175×7×11	H－244×175×7×11	H－194×150×6×9	H－194×150×6×9
継手	Flange	2PL－9 HTB,4－M20		2PL－9 HTB,4－M20		PL－9 HTB,4－M20	
	Web	2PL－6 HTB,2－M20		2PL－9 HTB,4－M20		2PL－9 HTB,2－M20	
備考				ピン接合：PL－9 HTB,4－M20		継手長：1000mm,1500mm,2000mm	

符号		SG148		SG15	
位置		端部	中央	端部	中央
MF 姿断面		 鉄骨継手：SJ4		鉄骨継手：SJ5	
部材(SIZE)		H－148×100×6×9	H－148×100×6×9	H－150×150×7×10	H－150×150×7×10
継手	Flange	PL－16 HTB,6－M16		2PL－9 HTB,4－M20	
	Web	2PL－6 HTB,2－M16		2PL－9 HTB,2－M20	
備考		継手長：700mm,1000mm			

鉄骨大梁継手リスト

（凡例図）

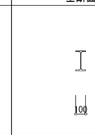
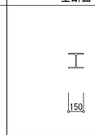
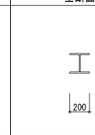


特記なき限り　高力ボルト：溶融亜鉛メッキ部：F8T、その他：S10Tとする。

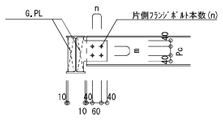
継手記号	フランジ			ウェブ		ピッチ、はしあき、ゲージ					備考
	外添板 PL－(1)	内添板 PL－(2)	N1－径	添板寸法 PL－(3)	N2－径	p	e1	e2	g1	g2	
SJ1	PL－9×290	2PL－9× 60	HTB, 4－M20	PL－6×140×230	HTB, 2－M20	60	40	40	120	40	
SJ2	PL－9×290	2PL－9× 70	HTB, 4－M20	PL－9×140×290	HTB, 4－M20	60	40	40	105	－	
SJ3	PL－9×290	2PL－9× 60	HTB, 4－M16	PL－6×140×230	HTB, 2－M16	60	40	40	105	－	
SJ4	PL－16×410	－	HTB, 6－M16	PL－6×80×290	HTB, 2－M16	60	40	40	56	－	
SJ5	PL－9×290	2PL－9× 60	HTB, 4－M20	PL－9× 80×290	HTB, 2－M20	60	40	40	90	40	
SJ6	完全溶け込み溶接			PL－6×80×290	HTB, 2－M16	60	40	－	－	－	

鉄骨小梁断面リスト　S=1/30

特記事項
鉄骨材質はSS400とする。
ガセットプレートは母材と同等とする。ボルト材質は、溶融亜鉛メッキ部：F8T、その他：S10Tとする。

符号		SB200	SB150	SB250	SB15	HB15	V20
位置		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
姿断面			鉄骨継手：SJ6				
部材(SIZE)		H－200×100×5.5×8	H－150×75×5.5×7	H－250×125×6×9	H－150×150×7×10	H－150×150×7×10（横使い）	H－200×200×8×12
継手	Flange						
	Web	PL－6 HTB,2－M20	PL－6 HTB,2－M20	PL－9 HTB,4－M16	PL－9 HTB,2－M16	PL－9 HTB,2－M16	PL－9 HTB,2－M20
備考					RC接合部 B,PL=12x200x120 A,Bolt,4-M16 L=400		ラチス材

鉄骨小梁継手リスト

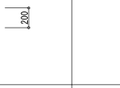
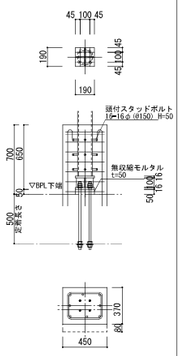
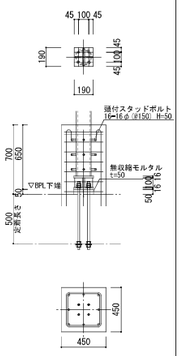
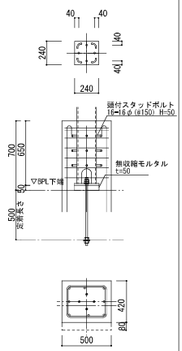
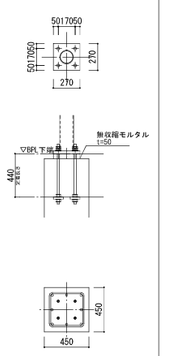


特記なき限り　高力ボルト：溶融亜鉛メッキ部：F8T、その他：S10Tとする。　鉄骨材質：スプライスプレートは母材と同等とする。
特記なき限り1面せん断とする。

部材	ウェブ継手				
	H.T.B(n)	m×n	Pc(mm)	G.PL	備考
H－244×175×7×11（SG244）	4－M20	2×2	60	PL－9	
H－200×100×5.5×8（SB200）	2－M20	2×1	60	PL－6	
H－150×75×5×7（SB150）	2－M20	1×2	60	PL－6	
H－250×125×6×9（SB250）	4－M16	2×2	90	PL－9	
H－150×150×7×10（SB15）	2－M16	1×2	60	PL－9	

鉄骨柱断面リスト　S=1/30

特記事項
特記なき鉄骨材質はBCR295とする。
特記なきダイアフラムは取付大梁フランジの2サイズUPとする。

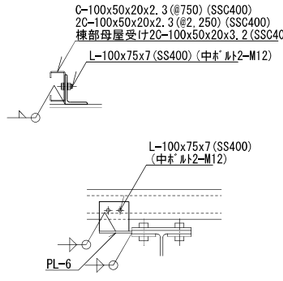
符号	SC1	SC1A	SC2	SC139
MF				
鉄骨部材	□－150 × 150 × 12	□－150 × 150 × 12	□－200 × 200 × 12	○－139.8 × 6.0(STK400)
柱脚断面			 ＊ アンカーボルト部 柱切り欠き	
ベースプレート	190×190×16(SN490B) rib.PL-16	190×190×16(SN490B) rib.PL-16	240×240×16(SN490B)	270×270×28(SN490B)
アンカーボルト	4-M20(SS400)	4-M20(SS400)	4-M20(SS400)	4-M22(ABR400)
コンクリート柱断面	450×370	450×450	500×420	450×450
立上り筋	8-D16	8-D16	8-D16	8-D16
フープ筋	D13-100@	D13-100@	D13-100@	D13-100@

水平ブレース断面リスト

特記事項
鉄骨材質はSS400とする。
ガセットプレートはSN400Bとする。
ボルト材質は、溶融亜鉛メッキ部：F8T、その他：S10Tとする。

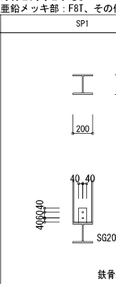
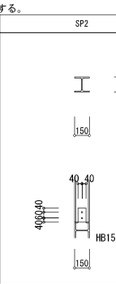
	水平ブレース（LV12）	水平ブレース（LV20）
断面	JISターンバックル筋かい 鉄骨標準図（2） 4.1による	JISターンバックル筋かい 鉄骨標準図（2） 4.1による
部材	1-M12	1-M20
端部仕様	PL－6 HTB,1－M16	PL－9 HTB,1－M20
備考	G.PLの必要幅B≧60 必要溶接長L≧60 ※両面隅肉溶接とする。	G.PLの必要幅B≧85 必要溶接長L≧97 ※両面隅肉溶接とする。

母屋取付詳細　S=1:10



鉄骨間柱断面リスト　S=1/30

特記事項
特記なき鉄骨材質はSS400とする。
ガセットプレートは母材と同等とする。
ボルト材質は、溶融亜鉛メッキ部：F8T、その他：S10Tとする。

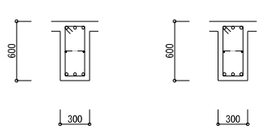
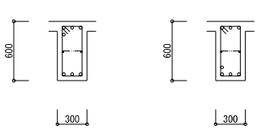
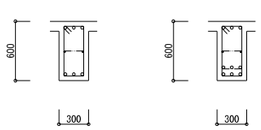
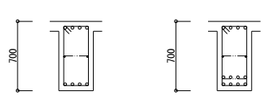
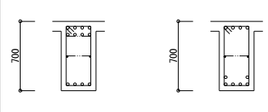
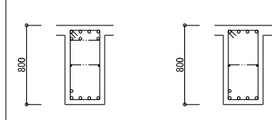
符号		SP1	SP2
姿断面		 SG20 鉄骨継手：SJ1	 HB15
部材		H－200×200×8×12	H－150×150×7×10
継手	Flange		
	Web	PL－9 HTB,2－M20	PL－9 HTB,2－M16
備考			

一級建築士
構造設計一級建築士

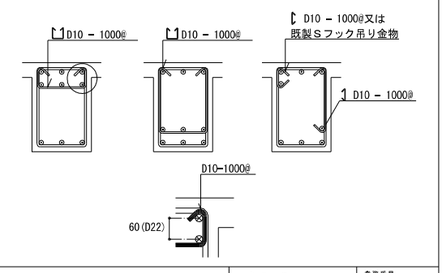
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	鉄骨部材リスト	縮尺	A1 1:30 A3 1:60	図面番号 S-026

RC小梁断面リスト　S=1:30

特記事項
1．巾止め筋　D10−1,000@
2．梁主筋定着長は、打ち増し部を除く梁天端からの定着長とする。
3．原則、小梁天端はスラブ上端に合わせること（1階床面の小梁は除く）。連続梁の場合は、天端が低いレベルに合わせること。打増しが必要な場合は、必要に応じてスラブ天端（下端）まで打増すこと。
4．小梁下が埋め戻しの場合、捨てコンt50、砕石t60とする。

符号		B1		B2		B3		B4		B5		B6	
位置		両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央
断面													
B × D		300 x 600		300 x 600		300 x 600		350 x 700		350 x 700		400 x 800	
主筋	上端筋	3 − D22	3 − D22	4 − D22	3 − D22	3 − D22	3 − D22	4 − D22	4 − D22	8 − D22	4 − D22	7 − D22	4 − D22
	下端筋	3 − D22	3 − D22	3 − D22	4 − D22	3 − D22	6 − D22	4 − D22	8 − D22	4 − D22	6 − D22	5 − D22	5 − D22
スターラップ		□ − D10 − 200@		□ − D10 − 200@		□ − D10 − 200@		□ − D10 − 150@		□ − D13 − 150@		□ − D10 − 150@	
腹筋		2 − D10		2 − D10		2 − D10		2 − D10		2 − D10		2 − D10	
備考													

二段筋保持詳細図

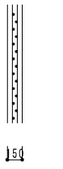
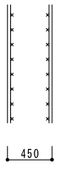
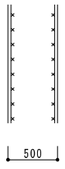
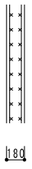
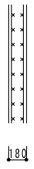
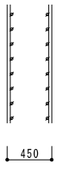
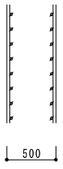
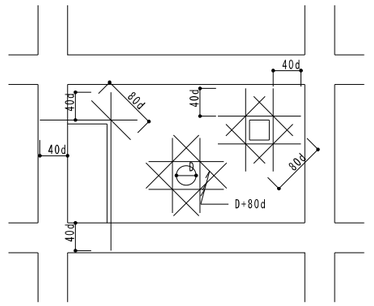


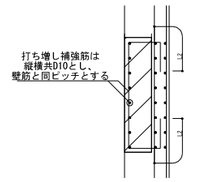
一級建築士
構造設計一級建築士

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号	257031
図面名　RC小梁断面リスト	縮尺	A1 1:30 A3 1:60		図面番号	S−027

壁断面リスト　S=1:30

特記事項　縦筋を外側とする。

	W15	W18	W45	W50	EW18	EW18A	EW45	EW50	開口補強法
縦断面図									
縦筋	D10 － 150@(ﾀﾞﾌﾞﾙﾁﾄﾞﾘ)	D10 － 150@（ダブル）	D13 － 150@（ダブル）	D13 － 150@（ダブル）	D13 － 150@（ダブル）	D13 － 150@（ダブル）	D16 － 150@（ダブル）	D16 － 150@（ダブル）	
横筋	D10 － 150@(ﾀﾞﾌﾞﾙﾁﾄﾞﾘ)	D10 － 150@（ダブル）	D13 － 150@（ダブル）	D13 － 150@（ダブル）	D13 － 150@（ダブル）	D13 － 150@（ダブル）	D16 － 150@（ダブル）	D16 － 150@（ダブル）	
定着長さ	重ね継手はL1,定着長さはL2とする								
開口補強筋 縦筋	1 － D13（端部筋）	2 － D13	2 － D16	2 － D16	4 － D16	4 － D16	4 － D19		
開口補強筋 横筋	——	2 － D13	2 － D16	2 － D16	4 － D16	6 － D16	4 － D19		
開口補強筋 斜め筋	——	1 － D13	2 － D13	2 － D13	2 － D13	2 － D13	2 － D16		

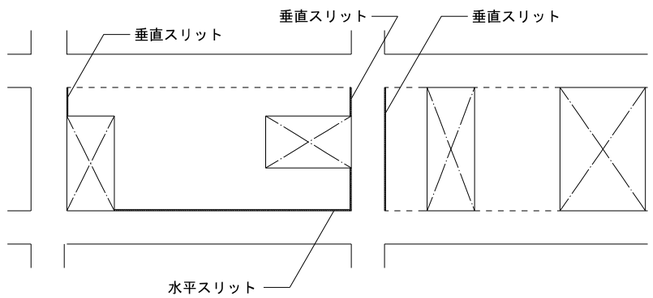


壁打ち増し配筋要領図

スリット詳細図

特記事項　スリット側の壁端部は開口補強筋を施工すること。

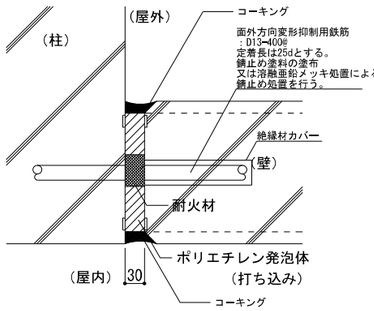
スリット要領



図はスリットの配置例を示す。実際のスリットの位置は設計図による。

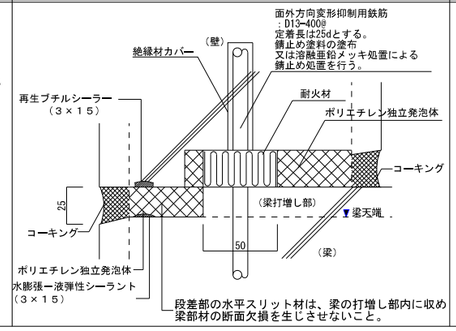
スリット部分の鉄筋のかぶり厚さは30mm以上とする。

垂直スリット詳細



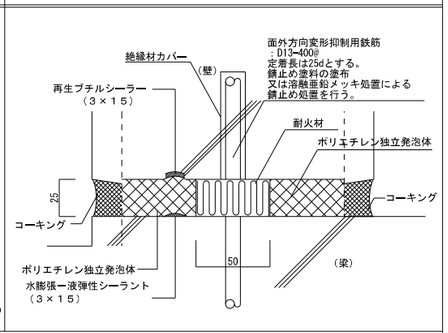
水平スリット詳細

外壁



段差部の水平スリット材は、梁の打増し部内に収め梁部材の断面欠損を生じさせないこと。

内壁



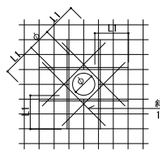
- メーカー：株式会社東京パイロン販売、アクシス株式会社、エキスパンウォール株式会社他同等以上
- 壁厚が大きい壁については、適切にスリット材を支持する部材を設置すること

床版断面リスト

符号	床版厚	位置	主筋 短辺 端部	主筋 短辺 中央	配力筋 長辺 端部	配力筋 長辺 中央
S15	150	上端筋	D13 － 200@		D10D13 － 200@	
		下端筋	D10D13 － 200@		D10 － 200@	
S15A	150	上端筋	D13 － 200@		D13 － 200@	
		下端筋	D10D13 － 200@		D10D13 － 200@	
S18	180	上端筋	D13 － 200@		D10D13 － 200@	
		下端筋	D10D13 － 200@		D10 － 200@	
S18A	180	上端筋	D13 － 200@		D13 － 200@	
		下端筋	D13 － 200@		D13 － 200@	
S18B	180	上端筋	D13 － 150@		D10D13 － 150@	
		下端筋	D10D13 － 150@		D10 － 150@	
土間コンクリート	150	シングル	D10 － 200@		D10 － 200@	

- 地下スラブ筋は基礎梁に定着する。
- シンダーコン及びスラブ上の打ち増しが70mm以上の箇所はD10−200@を施工する。

設備スリーブ　単独開口の場合の開口補強筋

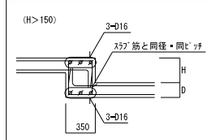


※～２５０φ程度までの開口に適用する
　これを超えるスリーブついては、監理者と協議すること

- スリーブがスラブ筋にあたる場合は、１／６勾配をもって緩やかにスラブ筋をずらす。
  鉄筋を緩やかにずらした場合、上下に添え筋補強する。
  スラブ筋をｎ本切断した場合、以下のように補強する。
  ｎが偶数の場合：ｎ／２本を開口両側にそれぞれ補強する（上下共）
  ｎが奇数の場合：（ｎ＋１）／２本を開口両側にそれぞれ補強する（上下共）

※ダメ穴を開ける場合、短辺方向の幅が700mm以上の場合は、短辺方向の補強筋定着長は、
梁まで補強筋を伸ばし上筋梁内L2定着、下筋梁内L3定着を行うこと。
長辺方向は、上記の定着による。
極力短辺方向の開口幅を小さくするように計画すること。

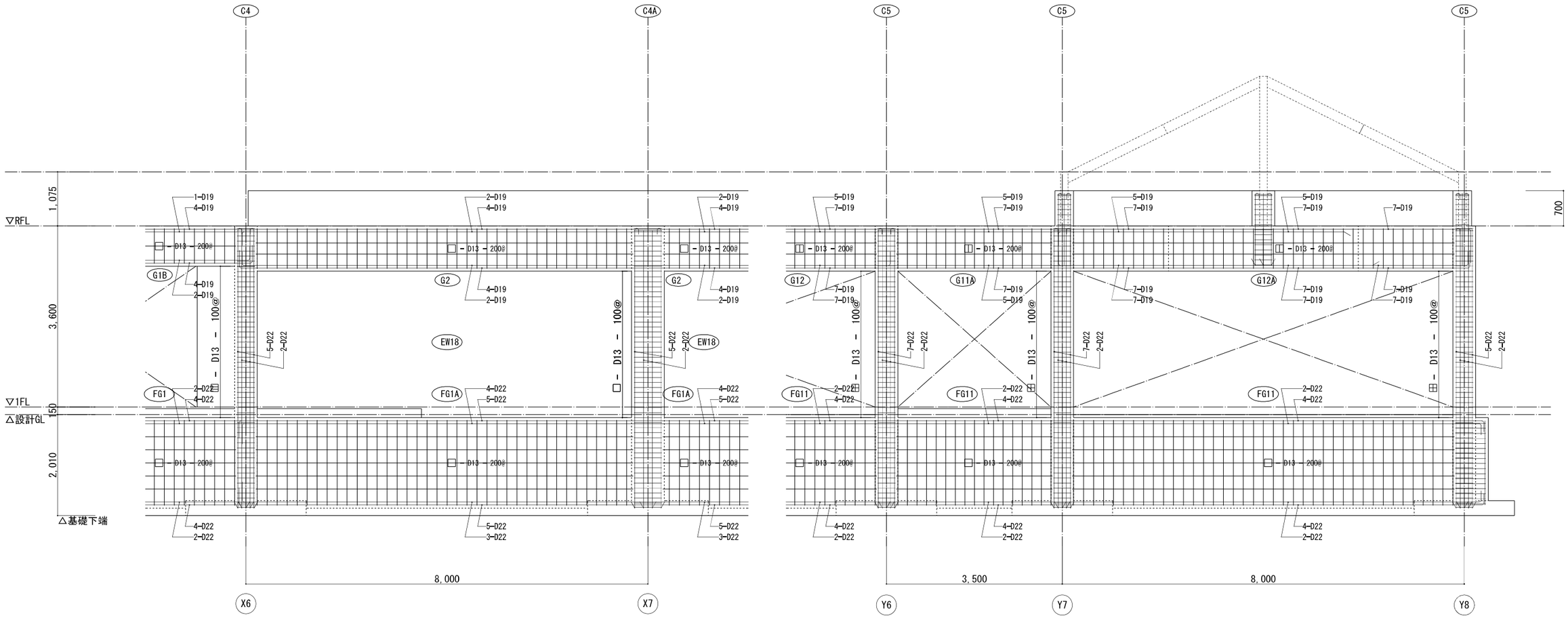
スラブ段差部配筋詳細図



※H≦150の場合、配筋標準図に準ずる

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号	257031
図面名　壁断面・床版断面リスト	縮尺	A1 1:30 A3 1:60		図面番号	S−028

一級建築士
構造設計一級建築士



Y7通り軸組図　1/300

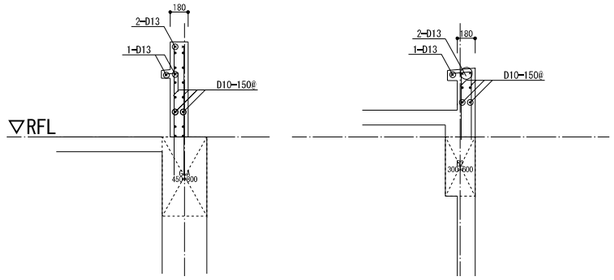
※梁の腹筋, 巾止め筋は部材リスト参照とする。

X4通り軸組図　1/300

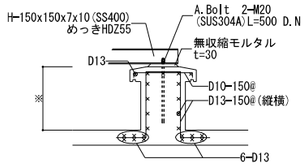
※梁の腹筋, 巾止め筋は部材リスト参照とする。

一級建築士
構造設計一級建築士

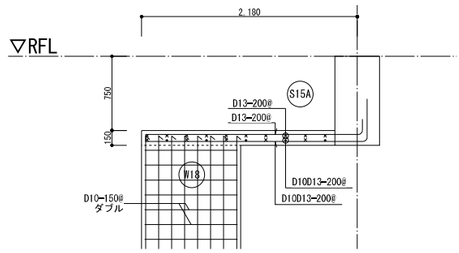
工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和７年　月　日	業務番号	
			計画　製作　調査　調査		257031
図面名　架構詳細図	縮尺	A1 1:40 A3 1:80		図面番号	S-029



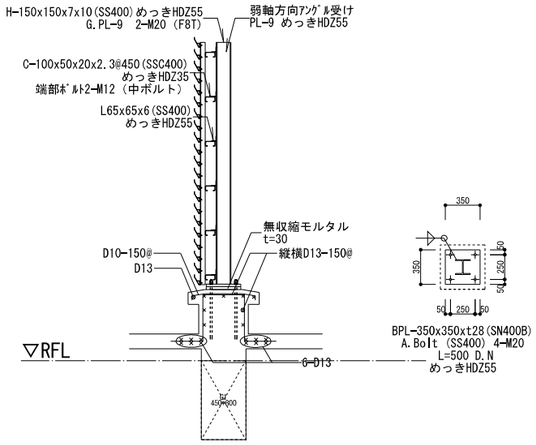
立上り壁配筋詳細図



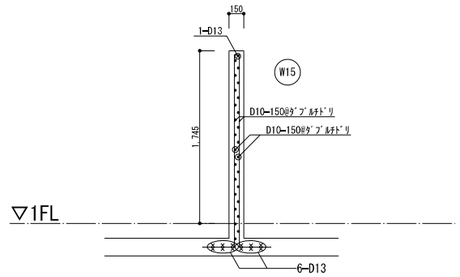
機械基礎配筋詳細図



露天風呂風除室屋根配筋詳細図　S=1/30

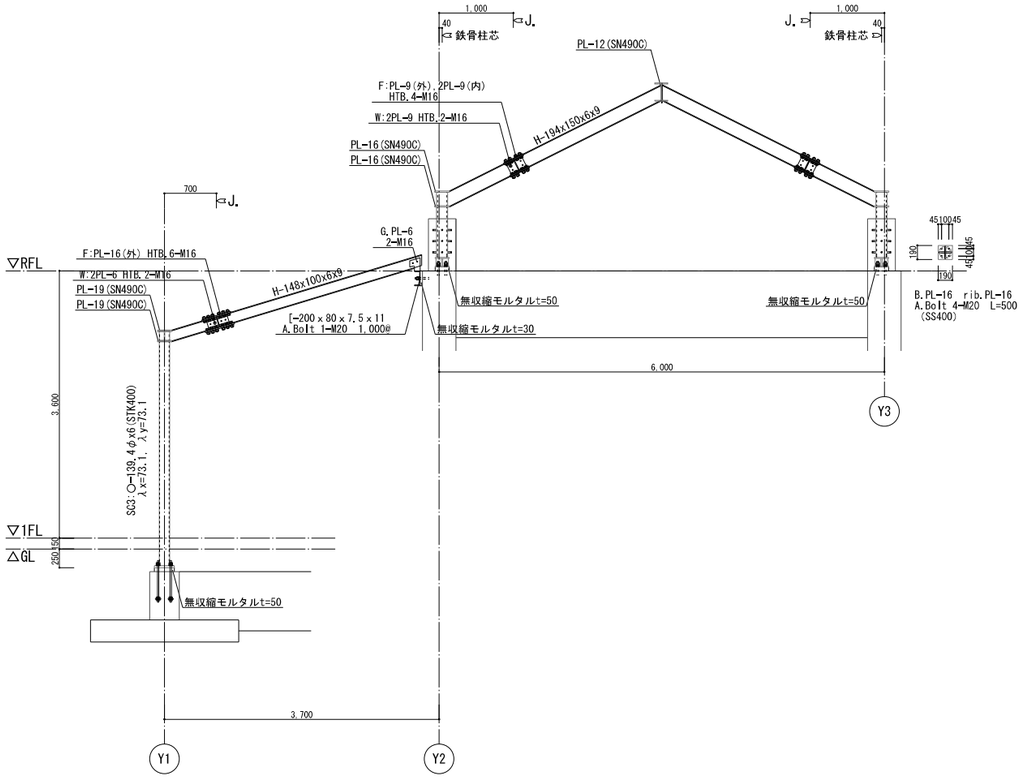


目隠しフェンス詳細図

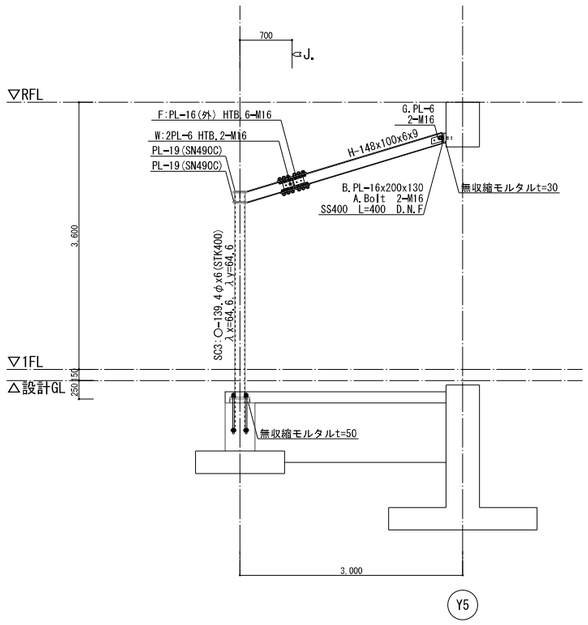


浴室内自立壁配筋詳細図

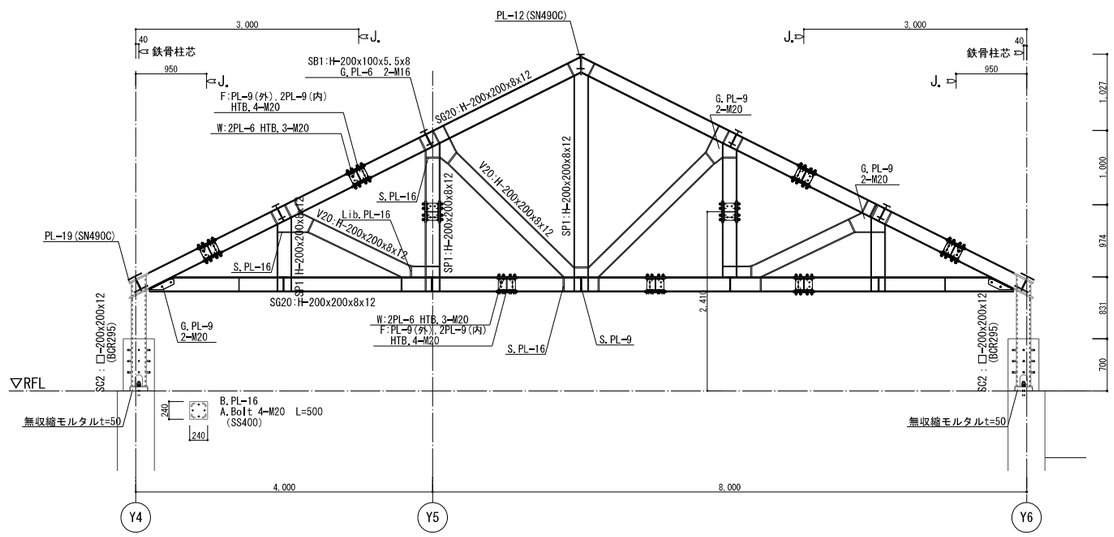
一級建築士 構造設計一級建築士				令和７年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事				
	図面名　雑配筋詳細図	縮尺	A1 1:40 A3 1:80		図面番号 S-030



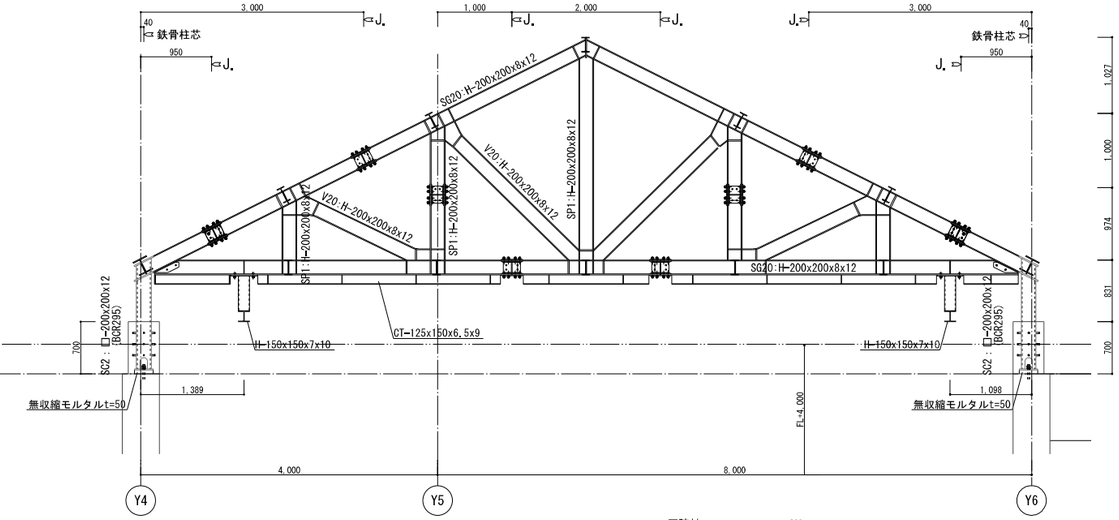
X7通り鉄骨架構詳細図　S=1/40



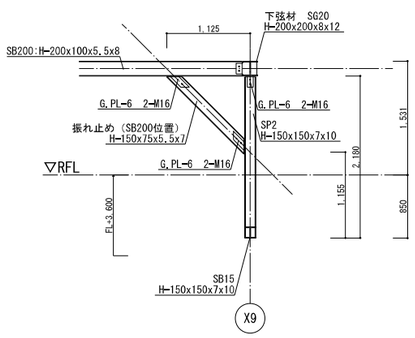
X2+1400通り鉄骨架構詳細図　S=1/40



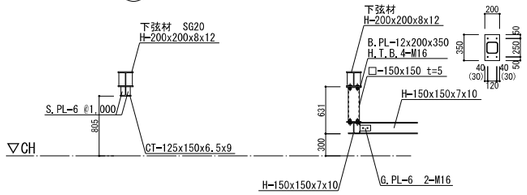
X8通り鉄骨架構詳細図　S=1/40



X7通り鉄骨架構詳細図　S=1/40



X9通り外壁受け鉄骨架構詳細図　S=1/40



スライディングウォール受材詳細図　S=1/40

共通事項

鉄骨部は、外部露出部及び浴室屋根部は溶融亜鉛メッキ処理とする。
H,T,B.は、溶融亜鉛メッキ部F8T、その他S10Tとする。

一級建築士 構造設計一級建築士		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
		図面名	鉄骨架構詳細図	縮尺 A1 1:40 A3 1:80	図面番号 S-031

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　（仮称）地域交流温浴センター建設工事

2．工事場所　神奈川県海老名市本郷地内（未組299番1他）

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
地域交流温浴センター	RC造	地上１階	1,699.6㎡	862.10㎡	9項イ	
受水槽ポンプ室		地上１階	8.0㎡	862.10㎡	9項イ	

4．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			屋外	備考
	地域交流温浴センター	受水槽ポンプ室			
◎電灯設備	○	○			
◎動力設備	○	○		○	
・電熱設備					
・雷保護設備					
◎受変電設備	○				
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
◎構内情報通信網設備	○				
◎構内交換設備	○				
◎情報表示設備	○				
◎映像・音響設備	○				
◎拡声設備	○				
◎誘導支援設備	○				
◎テレビ共同受信設備	○				
◎監視カメラ設備	○				
◎防犯・入退室管理設備	○				
◎自動火災報知設備	○				
・中央監視制御設備					
・					
◎構内配電線路				○	外灯設備を含む
◎構内通信線路				○	
・東京電力引込	別紙仕様書による				

5．指定部分　◎印 なし　・ あり（工　期：令和　年　月　日）
（対象部分：　　）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編、最新版）」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・環境調整編の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、最新版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（最新版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。

2．特記事項

（1）項目は番号に◎印のついたものを適用する。

（2）特記事項は、◎印のついたものを適用する。◎印の付かない場合は、※印のついたものを適用する。
◎印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	1．適用基準等	※　工事写真の撮り方（建築設備編）（国土交通省大臣官房営繕部監修） ※　営繕工事写真撮影要領・同解説　設備工事編（国土交通省大臣官房庁営繕部監修） ※
	2．機　材　等	※　本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「鳥有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	3．機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（社）公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	4．保　険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。
	5．施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	6．手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、請負者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	7．施工条件	別添の本工事内容説明事項書による。
	8．工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は、ＣＯＲＩＮＳに登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	9．事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」（任意様式）を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
	11．工事用電力、水、他	本工事に必要な工事用電力（本受電後の電力基本料金等も含む）、水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	12．工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	13．監督員事務所	※　設けない　・　設ける
	14．足場、さん橋類	※　別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。　◎　本工事で設置する。 なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	15．工事表示板	※　設置する　・　設置しない 海老名市公共工事共通事項書による
	16．工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	17．発生材の処理等	発生材の処理：建築特記仕様書による ・　引渡しを要するもの（　　） ・　特別管理産業廃棄物（　・　ＰＣＢ使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの
	18．残土処理	◎　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所に堆積　・　構外搬出
	19．耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。 本工事の施設分類は（　◎　特定の施設　・　一般の施設　）で地域係数は１とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設置場所 ＼ 設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2,0 (2,0)	1,5 (2,0)	1,5 (2,0)	1,0 (1,5)
中層階	1,5 (1,5)	1,0 (1,5)	1,0 (1,5)	0,6 (1,0)
一階及び地下階	1,0 (1,0)	0,6 (1,0)	0,6 (1,0)	0,4 (0,6)

重要機器類
◎　配管盤　◎　発電装置　・　ＵＰＳ装置　・　直流電源装置
・　交換機　◎　受信機（自立型）　・　中央監視装置　・　情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

章	項目	特記事項
一般共通事項	20．風圧加重	※　風速34m／ｓ　・　　m／ｓ ・　雷保護設置受雷部　・　照明ポール・基礎　◎　テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト
	21．他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、別途「工事区分表」による。
	22．保温、結露防止	外部に面する壁、天井でＦＰ版（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。
	23．電線類	本工事では環境配慮の観点から、筋側としてＥＭケーブルを使用するものとする。
	24．合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、ＰＦ管とする。（温度による分類はタイプー25を標準とする）
	25．ニ種金属製可とう管	露出箇所　◎　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
	26．電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 また、機械室等の床配線は図面上呼管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。
	27．インサート	鋼鈑製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	28．呼び線	長さ１m以上の通線しない電線管には、１．２m以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	29．フラッシュプレート	図面に特記なき場合、（　◎　金属製（ステンレス・鉄金属も含む）　※　樹脂製　）とする。 金属製：機械室、PS等、倉庫、SK、厨房、事務室、更衣室、授室：リネンコ
	30．フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋼合金製　・　アルミ合金製
	31．支持金物、固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また、振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。
	32．あと施工アンカー	施工方法　◎　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） ◎　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	33．接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、ＥＢの長さは１，５００mmとする。 ただし、Ｄ＝１０は１，０００mm、Ｗ＝３０は１，２００mmとする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×　連ー　組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＤ・ＥＬＨ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×３連ー２組
・　共同接地	ＥＡ・ＥＣ・ＥＤ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×３連ー２組
◎　Ａ種	ＥＡ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×３連ー２組
◎　Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×２
◎　Ｃ種	ＥＣ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×３連ー２組
◎　Ｄ種	ＥＤ	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×１
・			
・　構内交換機（積柄）用	ＥＩ	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×３連ー　組
◎　本配線盤の保安装置	ＥＡｔ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×３連ー２組
◎　電話引込口の保安器	ＥＤｔ	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×１
・　拡声増幅器	ＥＤａ	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×１
・　防犯装置用	ＥＳ	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×３連ー　組
・			
◎　測定用	Ｅｏ	―――――	ＥＢ（Ｄ＝１０又は＝Ｗ＝３０）×１
・　避雷器用（低圧用）	ＥＬＬ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×３連ー２組
・　避雷器用（高圧用）	ＥＬＨ	１０Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又は＝４０）×３連ー２組
・　構造体接地			鉄筋構造体利用（通信用も含む）

章	項目	特記事項
一般共通事項	34．総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ◎　受変電設備　・　発電設備　・　照明装置　・　構内交換設備　・
	35．塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外　※　居室　・

章	項目	特記事項
電灯設備	1．工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　分電盤類　◎　機器類
	2．電気方式	◎　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ◎　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ・　分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　◎　金属管配線　◎　ケーブル配線
	3．施工方法	分岐　電灯　◎　合成樹脂管配線　◎　金属管配線　◎　ケーブル配線　・　その他（　　） コンセント　◎　合成樹脂管配線　◎　金属管配線　◎　フロアダクト配線　・　その他（　　） 屋外露出　◎　合成樹脂管配線　◎　金属管配線　◎　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　◎　金属製
	4．照明器具	ＬＥＤ　◎　一体型　・　直管型（ＪＥＬ801）　・　直管型（ＪＥＬ802）　◎　ダウンライト　・　その他
	5．防災用照明器具	◎　非常用照明器具　（　※　電池内蔵形　・　電源別置形　）
		◎　誘導灯　（　※　ＬＥＤ誘導灯　・　誘導標識　）
	6．照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。
	7．ハイテンション アウトレット	※　鋼合金製　・　アルミ製 ※　飛び出し形　・　外部調定形
	8．人感センサプレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。
	9．予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本、５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない室には、１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。
動力設備	1．工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　制御盤類
	2．電気方式	◎　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ◎　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	3．施工方法	幹線　◎　金属管配線　◎　ケーブル配線　◎　その他 分岐　◎　合成樹脂管配線　◎　金属管配線　◎　その他 屋外露出　◎　合成樹脂管配線　◎　金属管配線　◎　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　◎　金属製
	4．警報盤	※　壁掛形（電設装置　※　内蔵　・　別置　）　・
	5．電磁開閉器用押釦 （遠方操作用）	※　埋込連用形取納器具　・
	6．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7．電動機等の接地	図示以外は全て金属管接地とする。
	8．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	9．電気自動車用充電装置	・　機器類　・ ・　普通充電装置　電圧　相　Ｖ　・　屋外型　・　屋内型 ・　急速充電装置　直流電圧　Ｖ
電気設備	1．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	2．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

章	項目	特記事項
受変電設備	1．工事範囲	・　受雷部　・　引下げ導線　・　接地極埋設
	2．受雷部	・　突針　・　棟上導体　・　笠木（別途）など
	3．避雷導線	・　引下げ導線　・　構造体利用
	4．接地極	※　接地極埋設　・　構造体利用（測定時期　　回数　）
	5．測定用補助接地極	・　設置
受変電設備	1．工事範囲	◎　機器類　・
	2．電気方式	◎　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	3．引込ケーブル	・　ＥＭ－ＣＥＴ３８’　◎　ＥＭ－ＣＥＴ６０’ ・　ＥＭ－ＣＥ３８’－３Ｃ　・　ＥＭ－ＣＥ６０’－３Ｃ　・
	4．配電盤	・　屋内形　◎　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す）
		◎　キュービクル式配電盤　・　高圧閉鎖配電盤　・　・
	5．主遮断装置	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　◎　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	6．高圧機器類	◎　油入式　・　モールド
		・　手動　・　電動　・電磁
	7．変圧器	◎　単相変圧器　７５ｋＶＡ　◎　三相変圧器　１５００ｋＶＡ （油入式：ＪＩＳ Ｃ４３０４－２０１３適合品 乾式：ＪＩＳ Ｃ４３０６－２０１３適合品）
	8．進相用コンデンサ	※　低圧　◎　高圧
		◎　油入式　・　モールド
	9．リアクトル	◎　６％　・　１３％
		◎　油入式　・　モールド
	10．自動力率制御装置	※　メーターリレー形　・　静止形
	11．測定用補助接地極	◎　設置
発電設備	1．工事範囲	・　機器類　・
	2．形　式	・　壁掛形　・　キュービクル式　・　オープン形　・
		・　屋内形　・　屋外形
	3．発電機	電気方式 三 相　線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ　運転時間　時間
	4．原動機	種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・
		定格出力　ｋＷ以上　（　ＰＳ以上）
		始動方式　※　電気式　・　空気式
		冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷循環式
	5．燃　料	種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油
		燃料小出槽　Ｌ
		主貯油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　）
	6．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ
		パワーコンディショナ　相　線式　定格電圧　Ｖ　定格出力　ｋＷ
		自立運転　・　有　・　無
		蓄電池　・　有（定格容量　ｋＷｈ）　・　無
	7．系統連系	・　有　・　無
構内交換設備	1．工事範囲	・　交換機　・　電話機　◎　配線（　・　全部　◎　端子盤以降　）
	2．電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　デジタルＰＢＸ　・ＩＰ－ＰＢＸ　・ＶｏＩＰサーバ
		回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	3．電話機への配線	電話機１台につき、下記のものを見込む。
		・　ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　）
		◎　ＥＭ－ＥＢＴ０．５－２Ｐ　（　◎　２０ｍ　・　）
		・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	4．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　）
		※　鋼合金製　・　アルミ製
	5．保安器用接地	※　本工事　・　別途工事
通信・情報設備	1．工事範囲及び施工方法	工事範囲：配管／配線／機器類　施工方法：合成樹脂管配線／金属管配線／ケーブル配線

項目	配管	配線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・　構内情報通信網	◎	◎	・	◎	◎	◎
・　情報表示	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・　映像・音響	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・　拡声	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・　誘導支援	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・　テレビ共同受信	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・　テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・	・
・　監視カメラ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・　駐車場管制設備	・	・	・	・	・	・
・　防犯・入退室管理	◎	◎	・	◎	・	・

		ボックス　・　合成樹脂製　◎　金属製　・
	2．構内情報通信網設備	種類　・　１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・　１０００ＢＡＳＥ－Ｔ
		◎　１０ＧＢＡＳＥ－ＳＲ　・
	3．情報表示設備	◎　親時計　１回線　（　※　壁掛形　・　自立形　）
		（　・　電子式チャイム組込　・　プログラムタイマ組込　）
	4．映像・音響設備	・　増幅器　Ｗ
		・　ＶＴＲ　（　・　ＤＶＤ　・　ＢＤ　・　Ｓ－ＶＨＳ　・　）
		・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　）
		・　音響設備（　・　ＣＤ　・　オーディオレコーダー　・　カセット　・　）
	5．拡声設備	◎　一般放送用　・　非常放送兼用
		◎　増幅器　１８０Ｗ　（　※　卓上形　◎　キャビネットラック形）
	6．誘導支援設備	◎　インターホン　・　トイレ等呼出装置　・　音声誘導装置
	7．テレビ共同受信設備	◎　テレビアンテナ（　◎　ＡＵ－１　・　ＣＳＢＳＡ－　・　ＣＳＡ－　）
		◎　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　・　自立形　）
		・　ＢＳアンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　）
		◎　電界強度測定及び受信調査（　※　全チャンネル　）
	8．テレビ電波障害防除設備	・　事前調査　・　機器類
	9．監視カメラ設備	・　白黒方式　※　カラー方式
		◎　伝送方式　（　・　アナログ　◎　ネットワーク　）
	10．駐車場管制設備	・　管制盤　・　検知器（　・　光線式　・　ループコイル式）
		・　信号灯・警報灯　・　発券機　・　カーゲート　・　カードリーダー
	11．防犯・入退室管理設備	◎　接地工事（　※　本工事　・　別途　）
火災報知設備	1．工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　機器類
	2．火災報知装置	◎　壁掛形　・　自立形
		・　受信機　型　級　回線（　アドレス）
		◎　複合盤　Ｐ型　１級　１０回線（火報　回線、自動閉鎖　回線、ガス漏れ　回線）
		・　副受信機　型　級　回線
		◎　機器収容箱　◎　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　・　屋内消火栓箱に組込み
		◎　感知器類　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）
	3．非常警報装置	◎　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	4．自動閉鎖装置	◎　連動制御器
		◎　自動閉鎖装置（　・　防火戸用　・　防煙ダンパ用　◎　防火シャッター用　）
		◎　感知器
	5．ガス漏れ火災警報装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用）
		・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤
		・　検知器
		・　併設　・　連動
		・　定格電圧　（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　）
		・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	6．消火器類	・　消火器　種別　・　数量　本
		・　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

章	項目	特記事項
中央監視制御設備	1．工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	2．監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	3．表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器　・　・ ・　・
	4．監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　監視操作装置　・　信号処理装置　・　伝送装置　・　分散処理装置 ・　中央処理装置　・　補助記憶装置　・　記録装置　・　電源装置 ・　帳票用印字装置　（　・　インクジェット式　・　写真式　）
構内配電線路	1．工事範囲	◎　管路　◎　配線　◎　機器類
	2．電気方式	◎　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ◎　低圧　三相３線式　２００Ｖ ◎　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ◎　低圧　単相２線式　１００Ｖ
	3．布設方法	※　地中理設式（　◎　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管　）　・　架空線式
	4．柱上機器	◎　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐重塩じん用
		※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性）
		・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用
		・　高圧カットアウト，がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	5．高圧ケーブルの 端末処理	屋外側　※　一般用　・　耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共，銘名，作業日，氏名を表示）
	6．その他	東京電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	7．外灯設備	・　定格電圧　Ｖ　Ｗ
	8．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。（　　）
	9．標識シート	◎　高圧ケーブル　◎　電力幹線ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤、動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	1．工事範囲	◎　管路　◎　配線
	2．用途	◎　電話用　・　時計，拡声用　・　火災報知用　◎インターホン
	3．施工方法	※　地中理設式（　◎　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管）　・　架空線式
	4．標識シート	◎　弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備 名称	測点	取付高（mm）
電力共通 取引計器	地上～室中心	約　1,800
引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200
分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
〃	〃	〃
〃	〃	〃
電灯 スイッチ（一　般）	床上～中心	1,300
〃（和　室）	〃	1,200
コンセント（一　般）	〃	300
〃（和　室）	〃	150～200
〃（台　上）	台上～中心	100
〃（ファン用）	床上～下端	ファン下端
〃（厨　房）	床上～中心	800～1,000
〃（車　庫）	〃	1,300
〃（機械室）	〃	500～1,000
〃（土　間）	〃	800～1,300
ブラケット（一　般）	床上～中心	2,100～2,300
〃（誘　導）	〃	2,000～2,500
〃（鏡　上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
動力 壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用ボタン	〃	1,300
非常ボタン（便所用）	床上～中心	900
身障者用 壁付インターホン（親機）	〃	1,300
〃（玄関子機）	〃	1,100
廊下表示灯（復旧ボタン付）	〃	1,300
身障者表示ランプ	〃	1,500
スイッチ	〃	1,100

通信設備 名称	測点	取付高（mm）
電話 引込線取付高	地上～引込点	
集合保安器箱	天井下～上端	200
端子盤（壁下、室内）	床上～下端	300
〃（ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
壁付アウトレット（一　般）	床上～中心	300
〃（和　室）	〃	150～200
時計 壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
〃（和　室）	〃	2,300
〃 壁掛形スピーカ	〃	2,300
拡声 壁付アッテネータ	〃	1,300
壁付インターホン（一　般）	床上～中心	1,300
〃（身体障害者）	〃	1,300
通信 壁付アウトレット（一　般）	〃	300
〃（和　室）	〃	150～200
機器収容箱	天井下～上端	200
直列ユニット（一　般）	床上～中心	300
表示灯	床上～中心	2,100
警報 ベル	〃	2,300
表示 表示盤	床上～中心	2,300
壁付発信機	〃	1,300
〃 ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
壁付押しボタン（一　般）	床上～中心	1,300
〃（身体障害者玄関）	〃	900
動力 受信機	床上～中心	800～1,500
副受信機	〃	800～1,500
機器収容箱	〃	800～1,500
非常ボタン（便所用）	床上～中心	800～1,500
火災報知 発信機	〃	2,100
表示灯	床上～中心	2,100
ベル	〃	2,300
液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
都市ガス用検知器（軽質）	天井～上端	150
〃（重質）	床上～上端	250

「完成書類」関係

※　見開きＡ３（製本Ａ４判）　竣工図、施工図　3部
※　完成図面電子データ（JWW形式及びXFDF形式）　1式
※　本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類　1式
※　建築物等の維持・保全に関する資料　1式
※　その他監督職員が指示したもの　1式

工事写真

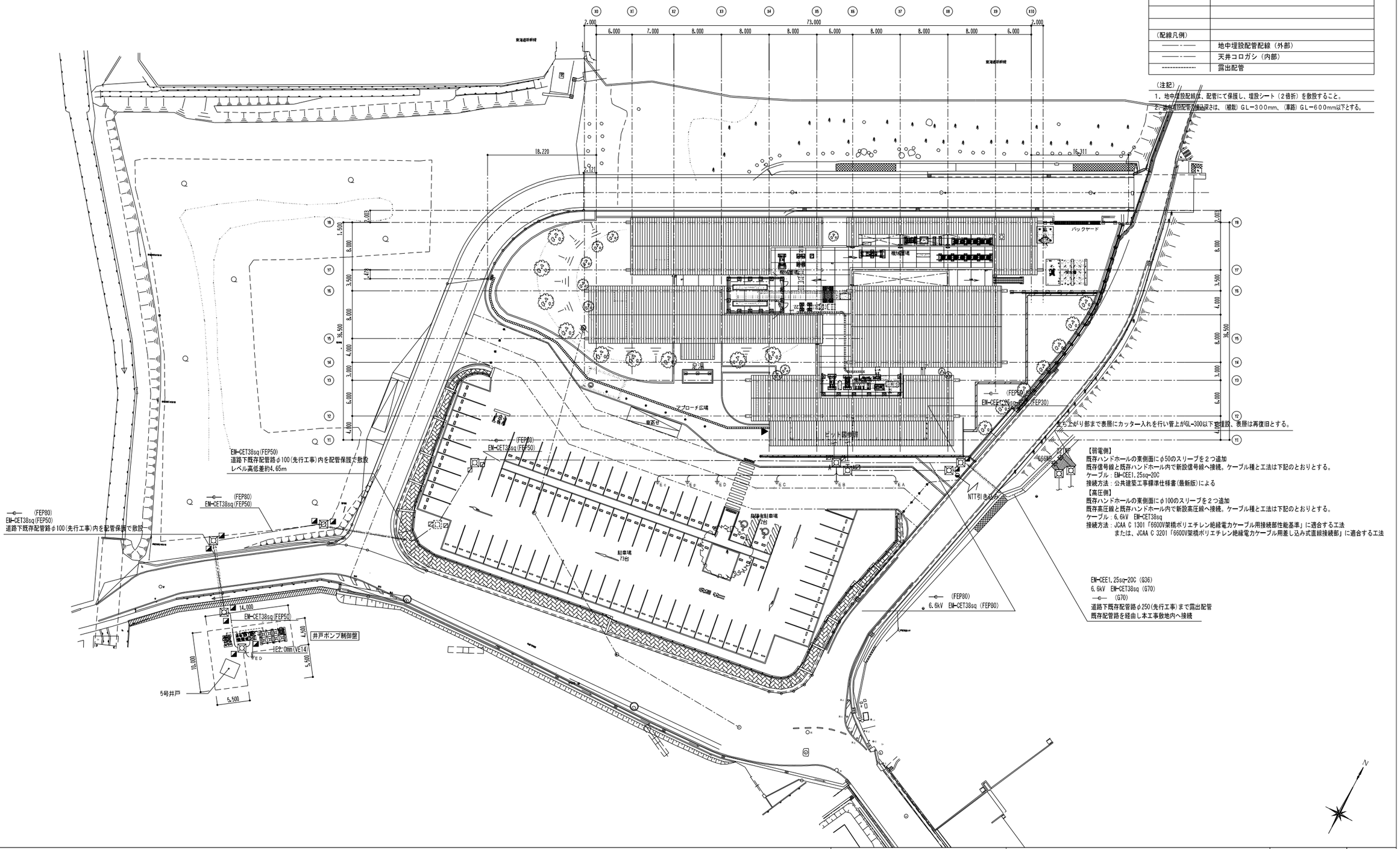
※　作成する　・　作成しない
工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。

注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で、機器及びはシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

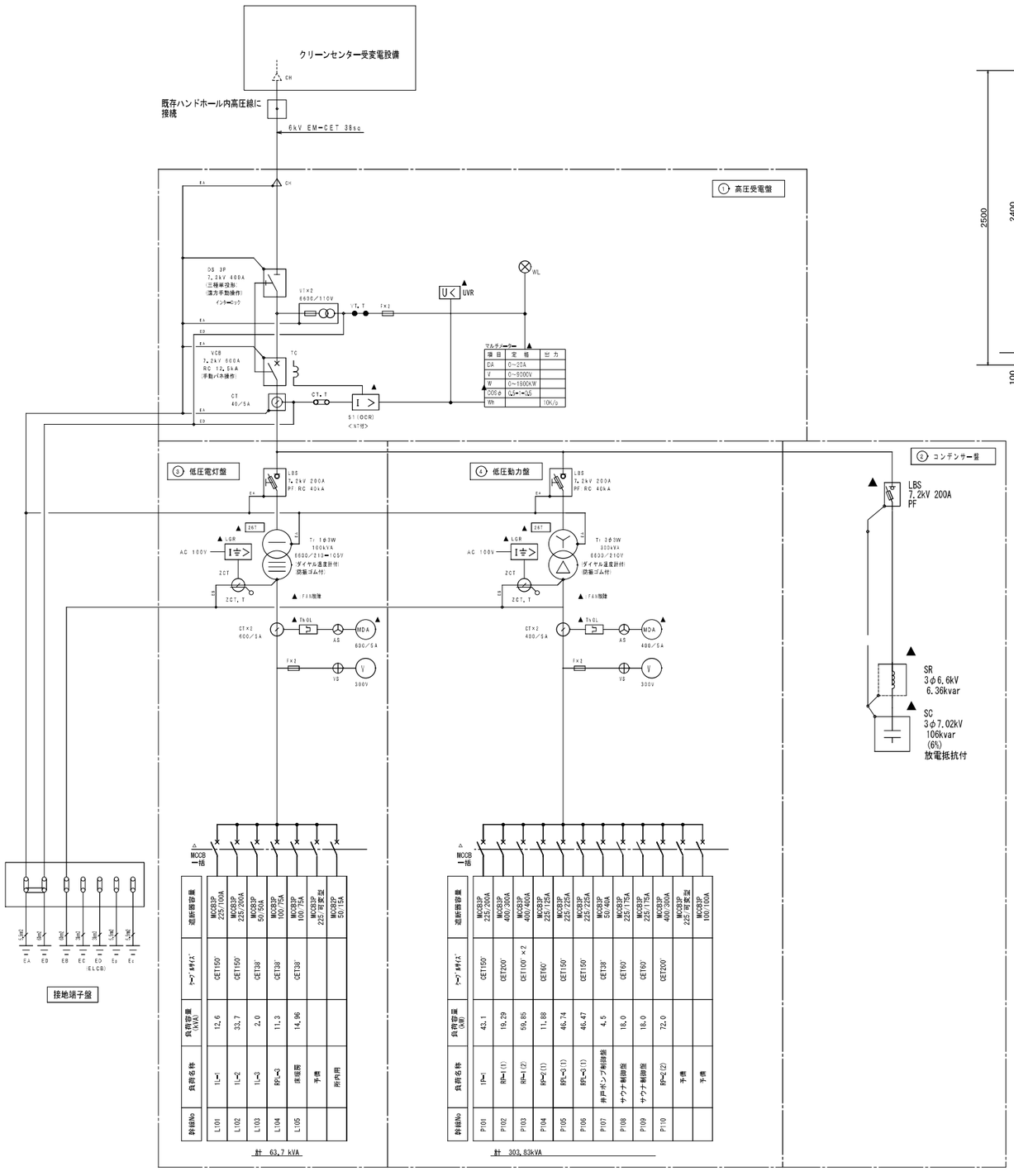
工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名　電気設備工事特記仕様書	縮尺　A1 N.S A3 N.S		図面番号 TE-01

（凡例）	
記　号	仕　　様
A	ハンドホール　900×900×900　SB2K−60
	ハンドホール　900×900×900　R2K
	接地極　（種別は特記仕様書参照）
	引込柱　12m−φ19−350kg
	埋設標（コンクリート製）
	埋設標（鉄製）
（配線凡例）	
	地中埋設配管配線（外部）
	天井コロガシ（内部）
	露出配管

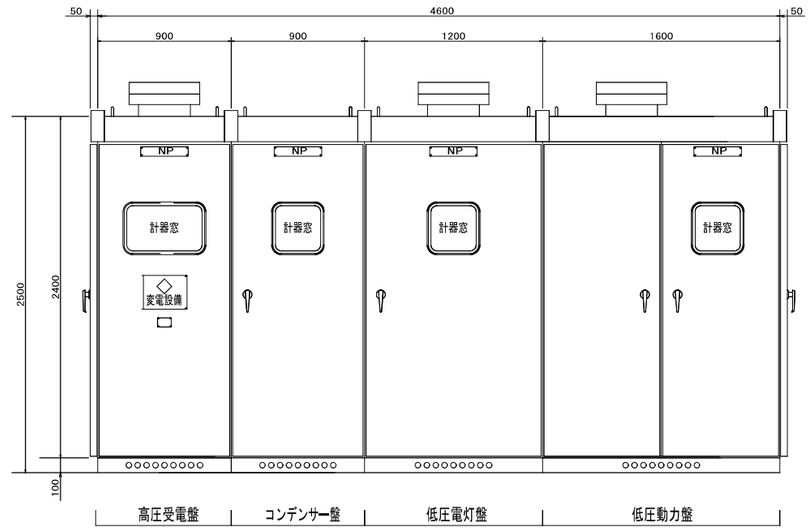
（注記）
1．地中埋設配線は、配管にて保護し、埋設シート（2倍折）を敷設すること。
2．地中埋設配管の埋込深さは、（植栽）GL−300mm、（車路）GL−600mm以下とする。



工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	電気設備工事　外構図	縮尺	A1 1:300 A3 1:600		図面番号 E−01



受変電設備単線結線図



屋外型キュービクル外形図

注記) 記載寸法は参考とする。

警報機器仕様

1）警報盤への出力は下記の内容とする。
　○・・・発電機始動・発電機異常
　▲・・・受変電設備異常（一括警報）
2）変電所内の表示盤（前扉取付）については、下記の内容とする。
　・変電所の表示盤は停電対策用バッテリー内臓とする。
　・ＳＯＧ警報
　・ブレーカトリップ警報（バンクー括）
　ＯＣＲ・ＥＬＲ・ＴｈＯＣ・２６Ｔ・２７リレー作動警報
3）配線遮断器は高性能型とし、トリップ警報付とする。
　短絡遮断容量が十分なものを使用する。

キュービクル機器仕様

1．ＪＩＳ Ｃ４６２０準拠品とする。
2．屋外形キュービクルとする。
3．各盤毎に分割搬入できる構造とする。
4．消防庁告示第７号に適合した認定品または同等仕様品とする。
5．配線用遮断器は短絡時においても、遮断できる容量のものを使用する。
6．各盤の正・背面に照明を設け、扉の開閉により点灯・消灯するものとする。
7．▲印警報は当該盤に個別表示し、警報一括として警報盤に出力する。
8．点検用コンセント（Ｅ付）を設けること。
9．ＬＢＳ・ＶＭＣのヒューズ容量は、使用メーカ推奨容量とする。
10．表示灯はＬＥＤとする。
11．各盤内前面にＬＥＤ灯（盤内照明）を設ける。
12．消火栓用電源回路等の消防法上区画が必要な回路は盤内不燃材で区画する。
13．チャンネルベースは、溶融亜鉛メッキとする。
14．ハンドルはキー付とし、キー番号は２００とする。
15．変圧器はトップランナー形油入変圧器、ダイヤル温度計、ＳＣは油入式、ＳＲは乾式とする。
16．キュービクル異常はトランスの漏電警報一括とする。（外部出力）
17．予備品・附属品
　1）ヒューズ類（高圧・低圧）：現用数１００％
　2）フック棒：１ｍ １本
　3）高圧・低圧検電器：音響発光式 各１本
　4）高圧絶縁ゴム手袋：１組
　5）ＡＢＣ消火器（１０型）：１本（収納箱付）
　6）耐電ゴムマット（耐電圧２０ｋＶ１０㎜幅１０００㎜ものをキュービクルに必要長さ）
18．設備機器等の耐震処置は「建築設備の耐震設計・施工マニュアル最新版」により耐震クラスＳとする。
　その他特記仕様書による。

凡例

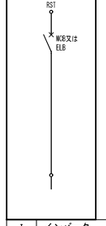
記号	機器名称	記事
CH	ｹｰﾌﾞﾙﾍｯﾄﾞ	
VCT	計器用変成器	電力会社貸与品
DS	断路器	3極単投形
VT	計器用変圧器	
CT	計器用変流器	
VCB	高圧真空遮断器	ﾊﾞﾈ板固定形
LBS	気中負荷開閉器	ｽﾄﾗｲｶｰ付
PF	限流ﾋｭｰｽﾞ	
VMC	高圧真空電磁接触器	PF搭載形
Tr	変圧器	油入・ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ
SC	高圧進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	油入自冷形
SR	上記用限流ﾘｱｸﾄﾙ	乾式形
MCDT	双投形電磁接触器	
MCCB	配線用遮断器	
ELCB	配線用遮断器	
MC	電磁接触器	
CP	ｻｰｷｯﾄﾌﾟﾛﾃｸﾀｰ	
OCR	過電流継電器	
APFC	自動力率調整器	
LGR	漏電火災警報器	
A	交流電流計	広角度指示計
V	交流電圧計	広角度指示計
cos φ	力率計	広角度指示計
W	電力計	広角度指示計
MDA	最大需要電流計	警報接点付
Wh	電力量計	
AS	電流回路切換ｽｲｯﾁ	
VS	電圧回路切換ｽｲｯﾁ	
CT,T	電流回路試験端子	埋込形
VT,T	電圧回路試験端子	埋込形
ZCT,T	零相電流回路試験端子	埋込形
F	ﾋｭｰｽﾞ	
ZCT	零相電流変流器	
27X	不足電圧検出ﾘﾚｰ	
84X	電圧確立検出ﾘﾚｰ	

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	受変電設備単線結線図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 E-02

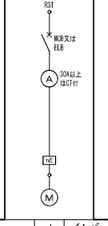
動力盤結線図

主回路

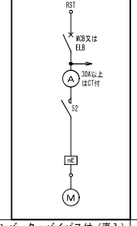
A 電源



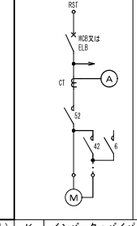
B 電源



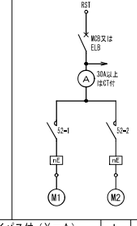
C 直入始動



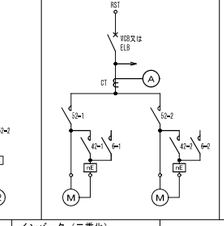
D Y－Δ始動



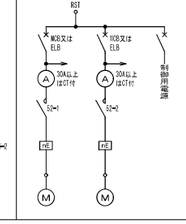
E 直入始動 自動交互



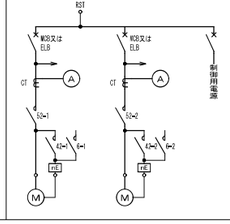
F Y－Δ始動 自動交互



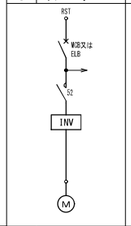
G 直入始動 自動交互同時



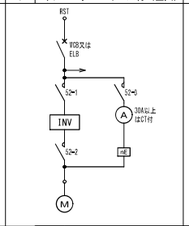
H Y－Δ始動 自動交互同時



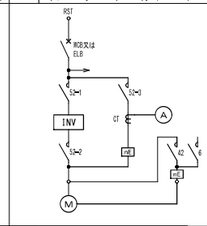
I インバータ



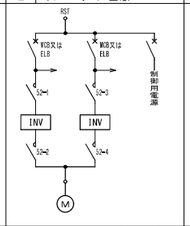
J インバータ・バイパス付（直入）



K インバータ・バイパス付（Y－Δ）

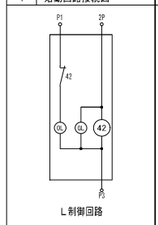


L インバータ（二重化）

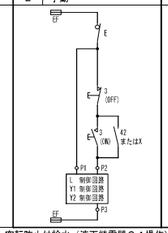


操作回路

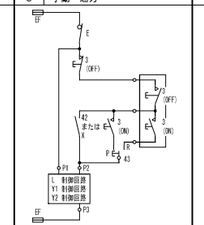
1 始動回路接続図



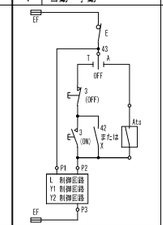
2 手動



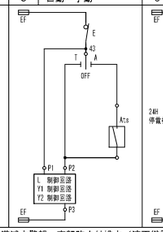
3 手動ー遠方



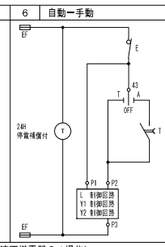
4 自動ー手動



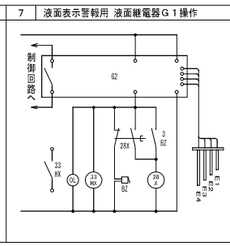
5 自動ー手動



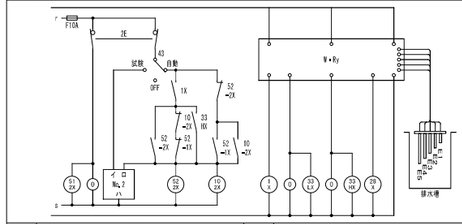
6 自動ー手動



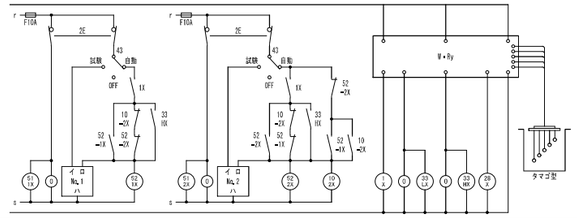
7 液面表示警報用 液面継電器Ｇ１操作



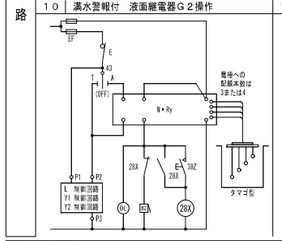
8 自動運転、満減水警報、空転防止付給水（液面継電器Ｇ４操作）



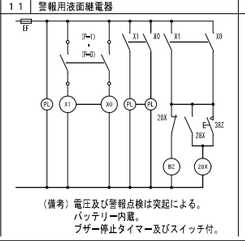
9 複式自動交互同時運転、満減水警報、空転防止付排水（液面継電器Ｇ４操作）



１０ 満水警報付 液面継電器Ｇ２操作



１１ 警報用液面継電器



（備考）電圧及び警報点検は突起による。
バッテリー内蔵。
ブザー停止タイマー及びスイッチ付。

特記事項

1　電源表示灯は、一系統毎に設ける。	１０　各動力盤は特記無き限り屋内自立型、鋼板製、標準色とする。
2　配線遮断器、漏電遮断器のトリップ時又は漏電継電器の制御及び表示は下記による。	１１　盤の標準板厚は下記による。
1）　操作回路の記号に「A」が付記されたものは、遠方表示用接点を設ける。	正面の面積　　鋼板製　　ステンレス製
2）　操作回路の記号に「B」が付記されたものは、ＯＬで表示する。	０．２㎡超過　　１．６mm以上　　１．２mm以上
3　警報ブザー及び警報停止（押ボタンスイッチ）回路は、制御盤毎に一括で設ける。	１２　図中 T はタイマー制御を表す。
4　配線遮断器のトリップ容量は、各電動機の起動性を考慮したものを使用する。	１３　表示ランプはＬＥＤとする。
開閉器種別　：○はMCB、●はELBを表す。	
	１４　2次側ＥＬＢは全てトリップ接点付とする。
5　電流計は、超過目盛りのものを使用し、１５Ａを超えるもの及び４００Ｖ回路に使用するものは、	
交流器を設ける。	
6　配線用遮断器の遮断容量は主幹：２５ｋＡ、分岐：２５ｋＡとする。	
7　負荷容量については原則ｋＷ表示とする。ｋＶＡ表示の機器は明示する事。	
8　空調機、熱源機（モジュールチラー等）の開閉器サイズ、配線サイズは施工品のメーカー推奨値を確認し調整のこと。	
9　各制御盤には各電動機毎に接地端子を設ける。	

動力制御盤リスト

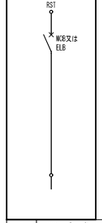
制御盤名称	幹線番号 主幹・電源電圧 合計容量	負荷番号	負荷名称	容量(KW)	開閉器種別	配線サイズ	結線図 主回路	結線図 操作回路	遠方操作 操作発停	遠方操作 表示 運転	停止	異常	満水	減水	停電	備考
RP-1 屋内自立型	LED F MCCB3P 225AF/200AT															
P101 AC 3φ3W200V	100AF/60AT	WF1	全自動砂ろ過ユニット	3.7	●	◇ EM-CET 14°、EM-IE5.5mm2 (E39・F38)	A	—								
	100AF/60AT	WF2	全自動砂ろ過ユニット	3.7	●	◇ EM-CET 14°、EM-IE5.5mm2 (E39・F38)	A	—								
	100AF/60AT	WF3	全自動砂ろ過ユニット	3.7	●	◇ EM-CET 14°、EM-IE5.5mm2 (E39・F38)	A	—								
	50AF/50AT	WF4	全自動砂ろ過ユニット	1.5	●	◇ EM-CE 5.5°－4C (E25・F24)	A	—								
	50AF/30AT	WF5	全自動砂ろ過ユニット	1.5	●	◇ EM-CE 5.5°－4C (E25・F24)	A	—								
	50AF/20AT	FS3	給気ファン	0.244	●	◇ EM-CE 3.5°－4C (E25・F24)	C	2		連動						
	50AF/20AT	FS3	給気ファン	0.244	●	◇ EM-CE 3.5°－4C (E25・F24)	C	2								
	50AF/20AT	FE3	排気ファン	0.225	●	◇ EM-CE 3.5°－4C (E25・F24)	C	3		連動						
	50AF/20AT	FE3	排気ファン	0.225	●	◇ EM-CE 3.5°－4C (E25・F24)	C	3								
	50AF/20AT	FE3	給気ファン	0.244	●	◇ EM-CE 3.5°－4C (E25・F24)	C	3								ペレットボイラと計装工事で連動
	225AF/125AT	BHP1	温水循環ポンプ	11.0	●	◇ EM-CET 38°、EM-IE8mm2 (E51・F50)	A	—								
	100AF/60AT	PBH1	ペレットボイラ	2.9	●	◇ EM-CET 14°、EM-IE5.5mm2 (E39・F38)	A	—								
	225AF/125AT	HP1	温水循環ポンプ	7.5	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (E63・F63)	A	—								1.1kW×2
	50AF/40AT	HMPU1	給湯用自動給水ユニット	2.2	●	◇ EM-CE 8°－4C (E31・F30)	A	—								2.2kW×2
	100AF/75AT	WPU1	加圧給水ﾎﾞｿﾞﾝﾕﾆｯﾄ	4.4	●	◇ EM-CET 22°、EM-IE5.5mm2 (G36・F38)	A	—								(FEP40)GL-300
W 1260 D 350 H 1800			計	43.038												
RP-1 屋外自立型 SUS	LED F MCCB3P 400AF/300AT															
P103 AC 3φ3W200V	50AF/20AT	ACP5	空調室外機	0.69	●	◇ EM-CE 3.5°－4C (G22・F24)	A	—								
	225AF/150AT	TI5	チラー	16.2	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (G70・F63)	A	—								
	100AF/60AT	PU5	ポンプユニット	2.4	●	◇ EM-CET 14°、EM-IE5.5mm2 (G36・F38)	A	—								
	225AF/150AT	ACP3	空調室外機	15.78	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (G70・F63)	A	—								7.89kW×2
	225AF/125AT	EHU1+HLP1	給湯熱源ユニット	18.54	●	◇ EM-CET 60° (G54・F63)	A	—								17.79kW+0.75kW
	225AF/125AT	EHU1+HLP1	給湯熱源ユニット	18.54	●	◇ EM-CET 60° (G54・F63)	A	—								
			計	69.15												
	LED F MCCB3P 400AF/400AT															
P104 AC 3φ3W200V	225AF/125AT	EHU1+HLP1	給湯熱源ユニット	18.54	●	◇ EM-CET 60° (G54・F63)	A	—								17.79kW+0.75kW
	225AF/125AT	EHU1+HLP1	給湯熱源ユニット	18.54	●	◇ EM-CET 60° (G54・F63)	A	—								17.79kW+0.75kW
	225AF/125AT	EHU1+HLP1	給湯熱源ユニット	18.54	●	◇ EM-CET 60° (G54・F63)	A	—								17.79kW+0.75kW
	225AF/125AT	EHU1+HLP1	給湯熱源ユニット	18.54	●	◇ EM-CET 60° (G54・F63)	A	—								17.79kW+0.75kW
	225AF/125AT	EHU1+HLP1	給湯熱源ユニット	18.54	●	◇ EM-CET 60° (G54・F63)	A	—								17.79kW+0.75kW
			計	92.7												17.79kW+0.75kW
W 1200 D 350 H 1800																
RP-2 屋外自立型 SUS	LED F MCCB3P 225AF/125AT															
P105 AC 3φ3W200V	50AF/20AT	FE1	排気ファン	0.393	●	◇ EM-CE 3.5°－4C (G22・F24)	A	—								
	50AF/20AT	FE2	排気ファン	0.393	●	◇ EM-CE 3.5°－4C (G22・F24)	A	—								
	225AF/125AT	ACP4	空調室外機	6.69	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (G70・F63)	A	—								
	50AF/40AT	FS1	給気ファン	2.2	●	◇ EM-CE 8°－4C (G28・F30)	A	—								
	50AF/40AT	FU2	フィルターユニット	2.2	●	◇ EM-CE 8°－4C (G28・F30)	A	—								
W 600 D 350 H 1500			計	11.876												
	LED F MCCB3P 400AF/300AT															
P110 AC 3φ3W200V	225AF/200AT	HU1	ダクトヒーター	36.0	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (G70・F63)	A	3								20kW+16kW
	225AF/200AT	HU2	ダクトヒーター	36.0	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (G70・F63)	A	3								20kW+16kW
			計	72.0												

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名　動力盤結線図（1）	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 E-03

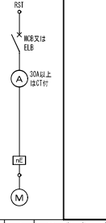
動力盤結線図

主回路

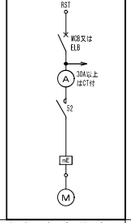
A 電源



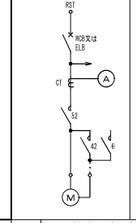
B 電源



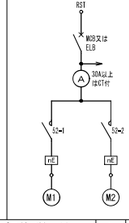
C 直入始動



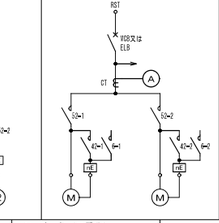
D Y－Δ始動



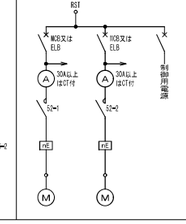
E 直入始動 自動交互



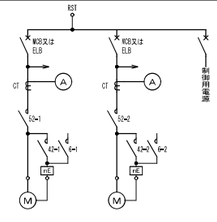
F Y－Δ始動 自動交互



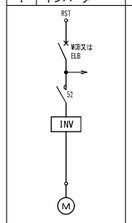
G 直入始動 自動交互同時



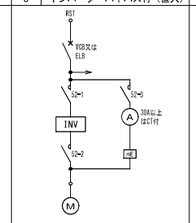
H Y－Δ始動 自動交互同時



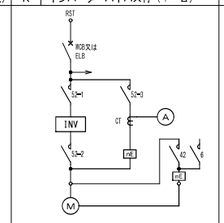
I インバータ



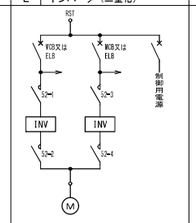
J インバータ・バイパス付（直入）



K インバータ・バイパス付（Y－Δ）

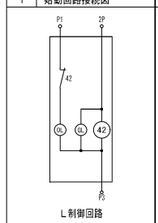


L インバータ（二重化）

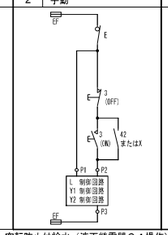


操作回路

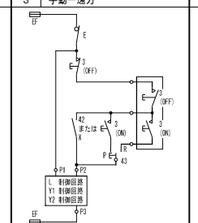
1 始動回路接続図



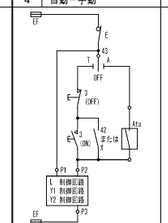
2 手動



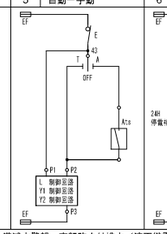
3 手動ー遠方



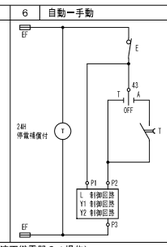
4 自動ー手動



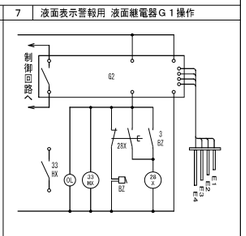
5 自動ー手動



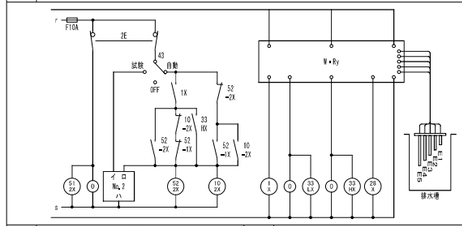
6 自動ー手動



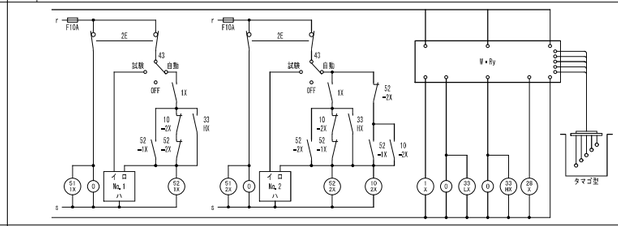
7 液面表示警報用 液面継電器Ｇ１操作



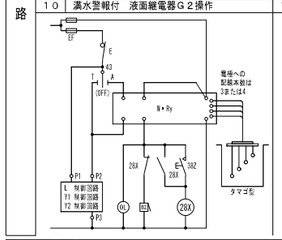
8 自動運転、満減水警報、空転防止付給水（液面継電器Ｇ４操作）



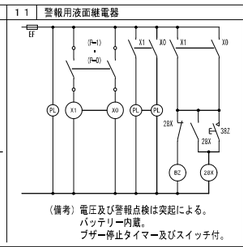
9 複式自動交互同時運転、満減水警報、空転防止付排水（液面継電器Ｇ４操作）



１０ 満水警報付 液面継電器Ｇ２操作



１１ 警報用液面継電器



（備考）電圧及び警報点検は突起による。
バッテリー内蔵。
ブザー停止タイマー及びスイッチ付。

特記事項

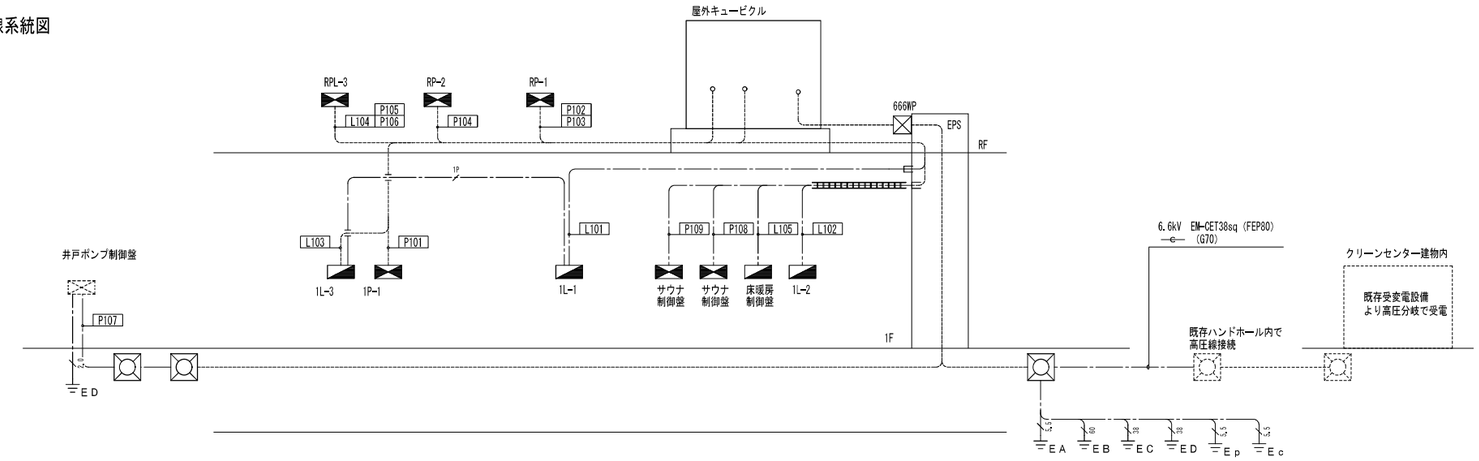
１　電源表示灯は、一系統毎に設ける。	１０　各動力盤は特記無き限り屋内自立型、鋼板製、標準色とする。
２　配線遮断器、漏電遮断器のトリップ時又は漏電継電器の制御及び表示は下記による。	１１　盤の標準板厚は下記による。
１）　操作回路の記号に「Ａ」が付記されたものは、遠方表示用接点を設ける。	正面の面積　鋼板製　ステンレス製
２）　操作回路の記号に「Ｂ」が付記されたものは、ＯＬで表示する。	０．２㎡超過　１．６mm以上　１．２mm以上
３　警報ブザー及び警報停止（押ボタンスイッチ）回路は、制御盤毎に一括で設ける。	１２　図中 T はタイマー制御を表す。
４　配線遮断器のトリップ容量は、各電動機の起動性を考慮したものを使用する。	１３　表示ランプはＬＥＤとする。
開閉器種別　：○はMCB、●はELBを表す。	
	１４　2次側ＥＬＢは全てトリップ接点付とする。
５　電流計は、超過目盛りのものを使用し、１５Ａを超えるもの及び４００Ｖ回路に使用するものは、	
交流器を設ける。	
６　配線用遮断器の遮断容量は主幹：２５ｋＡ、分岐：２５ｋＡとする。	
７　負荷容量については原則ｋＷ表示とする。ｋＶＡ表示の機器は明示する事。	
８　空調機、熱源機（モジュールチラー等）の開閉器サイズ、配線サイズは施工品のメーカー推奨値を確認し調整のこと。	
９　各制御盤には各電動機毎に接地端子を設ける。	

動力制御盤リスト

制御盤名称	幹線番号 主幹・電源電圧 合計容量	負荷番号	負荷名称	容量(KW)	開閉器種別	配線サイズ	結線図 主回路	結線図 操作回路	遠方操作 操作発停	遠方操作 表示 運転	停止	異常	満水	減水	停電	備考
RPL-3 屋外自立型 防水																
P105 AC 3φ3W200V	LED ⊗ F MCCB3P 225AF/175AT	ACP6	空調室外機	3.08	●	◇ EM-CET 14°、EM-IE5.5mm2 (G36・F38)	A	—								
	100AF/60AT	ACP1	空調室外機	10.04	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (G70・F63)	A	—								
	225AF/125AT	ACP2	空調室外機	11.44	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (G70・F63)	A	—								
	225AF/125AT	EWH1	ヒートポンプ給湯器	1.35	●	◇ EM-CE 5.5°-4C (G22・F24)	A	—								
	50AF/30AT	EWH1	ヒートポンプ給湯器	1.35	●	◇ EM-CE 5.5°-4C (G22・F24)	A	—								
	50AF/30AT	FE4	排気ファン	1.5	●	◇ EM-CE 5.5°-4C (G22・F24)	C	2								
	50AF/30AT								連動							
	50AF/40AT	FS4	給気ファン	2.2	●	◇ EM-CE 8°-4C (G28・F30)	C	3								
			計	30.96												
P106 AC 3φ3W200V	LED ⊗ F MCCB3P 225AF/225AT	5	IH炊飯ジャー	4.57	●	◇ EM-CE22-3C,EM-IE5.5mm2 (G36・F38)	A	—								
	100AF/75AT	12	電気フライヤー	4.5	●	◇ EM-CE22-3C,EM-IE5.5mm2 (G36・F38)	A	—								
	100AF/75AT	15	スチームコンベンションオーブン	5.5	●	◇ EM-CE22-3C,EM-IE5.5mm2 (G36・F38)	A	—								
	100AF/75AT	17	電磁調理器	5.0	●	◇ EM-CE22-3C,EM-IE5.5mm2 (G36・F38)	A	—								
	100AF/75AT	17	電磁調理器	5.0	●	◇ EM-CE22-3C,EM-IE5.5mm2 (G36・F38)	A	—								
	100AF/75AT	17	電磁調理器	5.0	●	◇ EM-CE22-3C,EM-IE5.5mm2 (G36・F38)	A	—								
	225AF/125AT	44	ゆで麺器	9.0	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (G70・F63)	A	—								
	225AF/125AT	33	食器洗浄機	6.0	●	◇ EM-CET 60°、EM-IE8mm2 (G70・F63)	A	—								
	50AF/40AT	28	ソフトクリームマシン	1.9	●	◇ EM-CE 8°-4C (G28・F30)	A	—								
W 1800 D 3500 H 1800			計	46.47												

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事
図面名	動力盤結線図（2）
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	
業務番号	257031
図面番号	E-04

幹線系統図



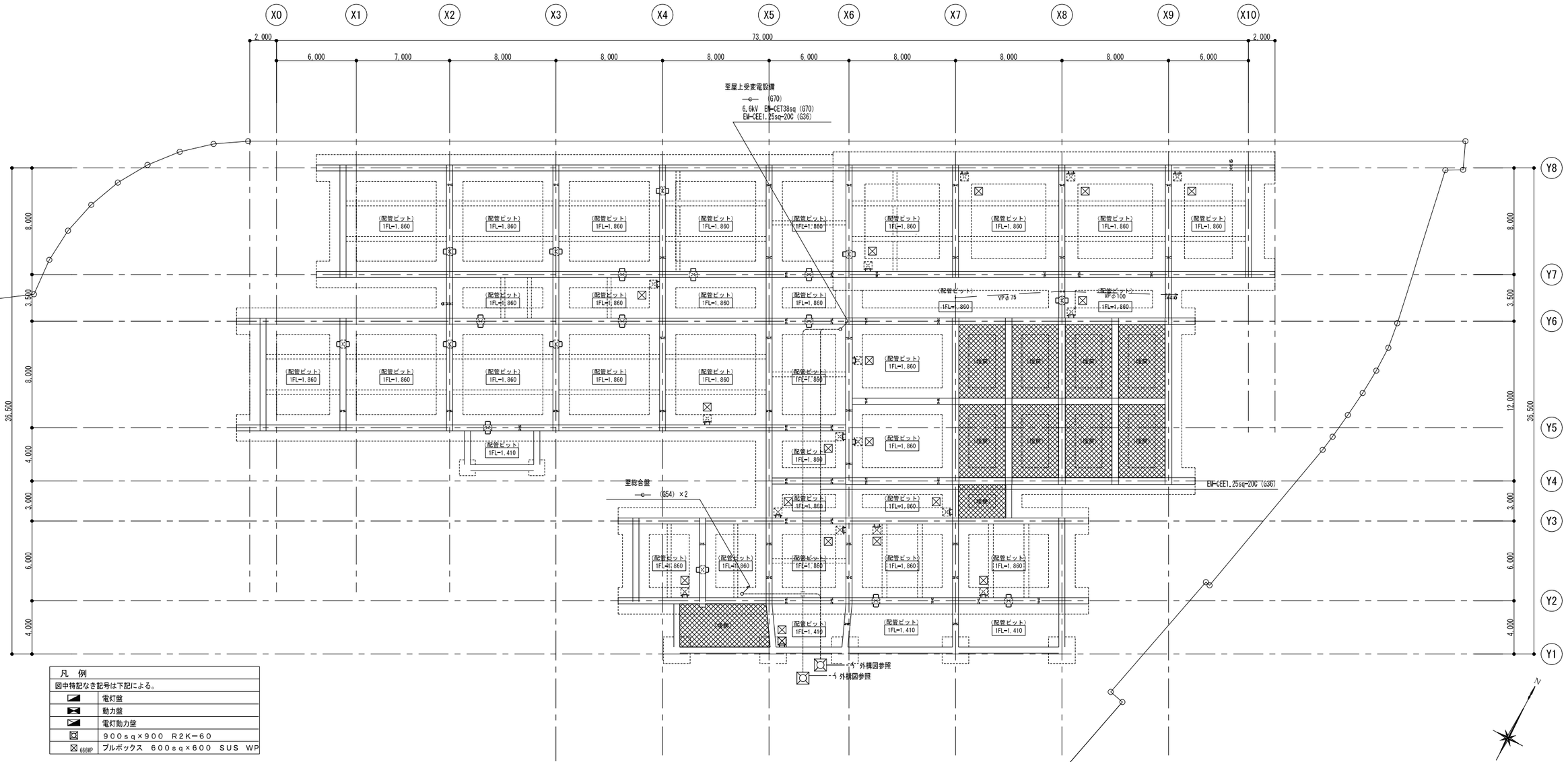
幹線凡例

幹線番号	負荷名称	ケーブル	保護管
L101	1L-1	EM-CET150sq, 1E22mm2	(G82)
L102	1L-2	EM-CET150sq, 1E22mm2	(G82) (CR)
L103	1L-3	EM-CET38sq, 1E5.5mm2	(G54)(E51)
L104	RPL-3	EM-CET38sq, 1E5.5mm2	(G54)
L105	床暖房	EM-CET38sq, 1E5.5mm2	(G54)(E51) (CR)
E101	1P-1	EM-CET150sq, 1E14mm2	(G82)
P102	RP-1(1)	EM-CET100sq, 1E14mm2	(G70)
P103	RP-1(2)	EM-CET200sq, 1E22mm2	(G92)
P104	RP-2	EM-CET60sq, 1E8mm2	(G54)
P105	RPL-3(1)	EM-CET150sq, 1E14mm2	(G82)
P106	RPL-3(2)	EM-CET150sq, 1E22mm2	(G82)
P107	井戸ポンプ制御盤	EM-CET38sq	(G42)(FEP50)
P108	サウナ制御盤	EM-CET60sq, 1E8mm2	(G70) (CR)
P109	サウナ制御盤	EM-CET60sq, 1E8mm2	(G70) (CR)

1L-1と1L-3間：EM-CEES1.25-1Pで接続(フル2線リモコン)

接地線凡例

接地名称	ケーブル	保護管	接地極の規格・数量
EA	1E5.5mm2	(VE14)	D=14 L=1,500 ×3連-1組
EB	1E60mm2	(VE22)	D=14 L=1,500 ×3連-1組
EC	1E38mm3	(VE16)	D=14 L=1,500 ×3連-1組
ED	1E38mm3	(VE16)	D=10 L=1,000 ×1
Ep	1E5.5mm2	(VE14)	D=10 L=1,000 ×1
Ec	1E5.5mm2	(VE14)	D=10 L=1,000 ×1
井戸ポンプ			
ED	1E2.0mm	(VE14)	D=10 L=1,000 ×1

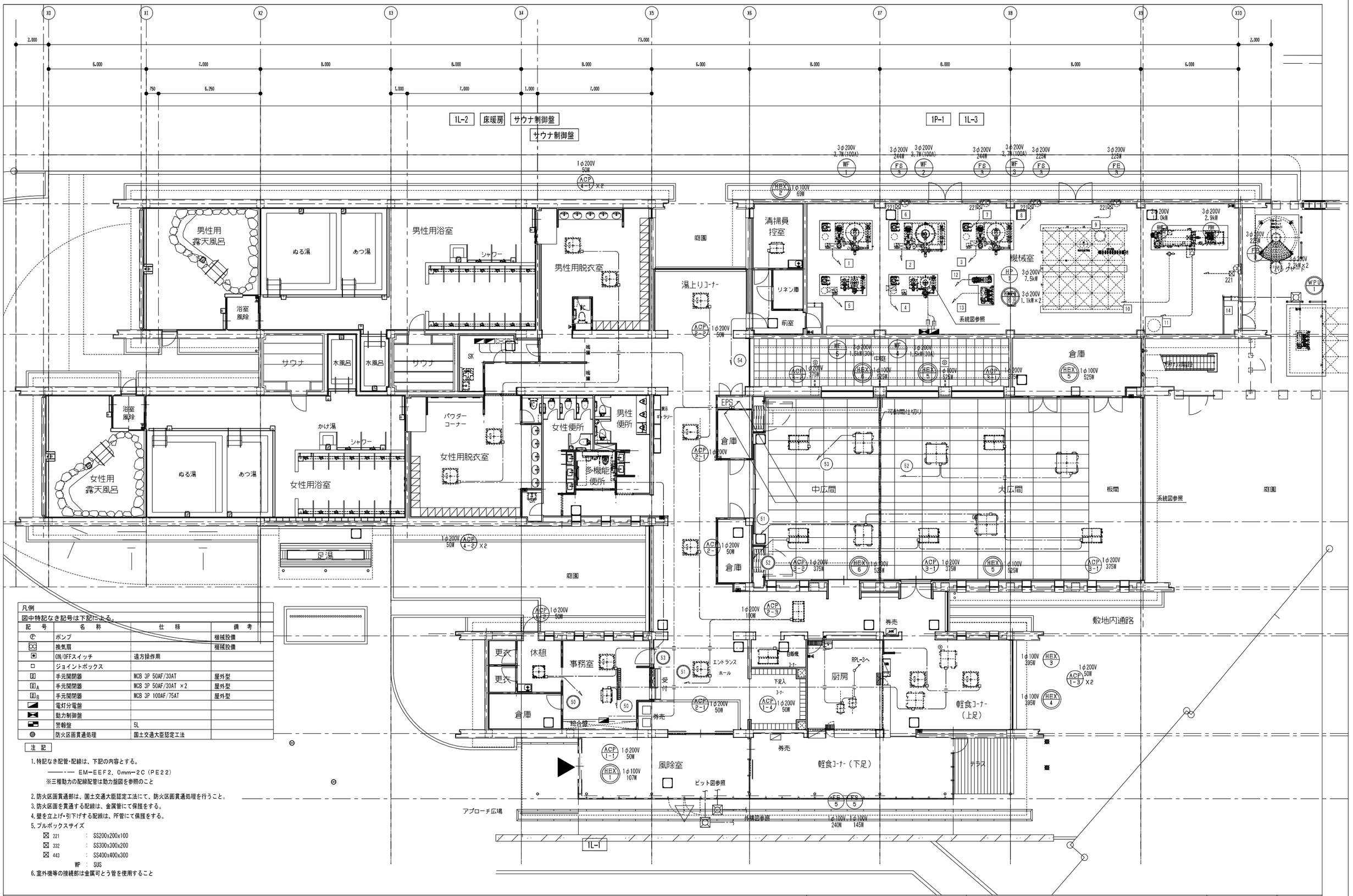


凡　例

図中特記なき記号は下記による。

	電灯盤
	動力盤
	電灯動力盤
	９００ｓｑ×９００　Ｒ２Ｋ－６０
666WP	プルボックス　６００ｓｑ×６００　ＳＵＳ　ＷＰ

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	幹線動力設備　ピット平面図・系統図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300	計画　製作　調査　調査	図面番号 E-05



凡例

図中特記なき記号は下記による。

記　号	名　称	仕　様	備　考
Ⓟ	ポンプ		機械設備
▽	換気扇		機械設備
●	ON/OFFスイッチ	遠方操作用	
□	ジョイントボックス		
B	手元開閉器	MCB 3P 50AF/30AT	屋外型
B_A	手元開閉器	MCB 3P 50AF/30AT ×2	屋外型
B_B	手元開閉器	MCB 3P 100AF/75AT	屋外型
◢	電灯分電盤		
⋈	動力制御盤		
▬	警報盤	5L	
◎	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定工法	

注　記

1. 特記なき配管・配線は、下記の内容とする。
   ——·—— EM-EEF2．0mm-2C（PE22）
   ※三相動力の配線配管は動力盤図を参照のこと
2. 防火区画貫通部は、国土交通大臣認定工法にて、防火区画貫通処理を行うこと。
3. 防火区画を貫通する配線は、金属管にて保護をする。
4. 壁を立上げ・引下げする配線は、PF管にて保護をする。
5. プルボックスサイズ
   ☒ 221　：　SS200x200x100
   ☒ 332　：　SS300x300x200
   ☒ 443　：　SS400x400x300
   WP　：　SUS
6. 室外機等の接続部は金属可とう管を使用すること

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	幹線動力設備　1階平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	計画　製作　調査　調査	図面番号 E-06

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

2,000 6,000 7,000 8,000 8,000 8,000 6,000 8,000 8,000 8,000 6,000 2,000

73,000

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

8,000 3,500 8,000 4,000 3,000 6,000 4,000

36,500 36,500

RP-2

RP-1

RLP-3

3φ200V 6.69kW ACP 1

3φ200V 383W FE 2

3φ200V 2.2kW FS 1

3φ200V 393W FE 3

機械置場

235-500A-MP

666MP

666MP

系統図参照

3φ200V 16.2kW TU 5

2φ200V 2.4kW PU 5

3φ200V 7.89kW×2 ACP 5

3φ200V 0.69kW ACP 6

443MP

443MP

EM-CE5.5-3C(G22)

HHJ 1 ×7 3φ200V 7.8kW×7

HLP 1 ×7 3φ200V 0.75kW×7

Z35-300A-MP

3φ200V 3.08kW ACP 6

FS 4 3φ200V 2.2kW

EM-CE5.5-4C(G22)

ACP 1 3φ200V 10.04kW

ACP 2 3φ200V 4.75kW+6.69kW

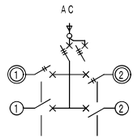
EWH ×2 3φ200V 1.35kW

RE 4 3φ200V 1.5kW

※各種配線は系統図および盤図を参照とする

工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名 幹線動力設備 屋上平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 E-07

分電盤結線図（参考）



盤及び付属機器記号

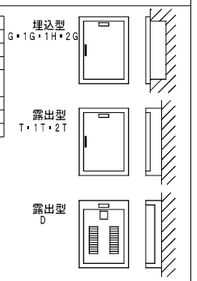
①T	AC 200V
◇T	AC／GC 200V
①1	AC 100V
◇1	AC／GC 100V
AS	自動点滅器
27	不足電圧継電器（試験スイッチ付）
R	リモコンリレー 2P20A又1P20A
RT	リモコン トランス
T	タイマー 24時間 停電補償付
Wh	電力量計（検定付・パルス発信器付）
T／U4	T／U付リレーユニット 附数字は4回路
CPU	伝送ユニット
T／U	リレー制御 T／U（4回路）
CX+TX	補助リレー

電気方式

AC 1φ 3W 200／100V
AC 3φ 3W 200V

盤型式

記号	種 別	型 式	
G	一般型	埋込型	
T		露出型	ドアのある構造
D			ドアのない構造
1G	一種耐熱型	埋込型	コンクリート壁等又は、これと同等の耐熱処理を施した壁に埋め込むもの
1H			
1T		露出型	耐熱処理が施されてない壁に埋め込むもの
2G	二種耐熱型	埋込型	
2T		露出型	



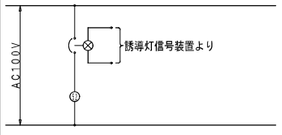
[備考]
（1）図は基本型とし、前面枠の取付方法、枠幅の大小、周囲又は上下に枠のない
もの、二重ドア、二段ドア、両開きなどの形状の詳細は拘束しない。
（2）露出型の場合、ボックスと前面枠は一体としなくてもよい。

盤特記仕様書

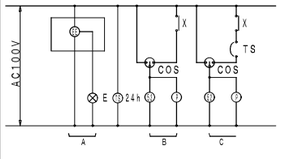
- ○ キャビネットを構成する各部の鋼板の厚さは、1．6mm以上扉は2．0mm以上とし、堅ろうに製作する。
- ○ ドアは折面加工で、ビス無しとする。
- ○ ドアのハンドルは錠付平面ハンドルとする。
- ○ 保護板は片丁番とし、反対側は抜け止ビスとする。
- ○ 盤表面にはアクリル製名称板を取付ける。（約70×20）
- ○ ドア裏面に製造者及び定格等を記載した銘板を取付ける。
- ○ ドア裏面に図面ホルダを設け、丈夫な難燃性透明板を挿入する。
- ○ 制御回路は線番表示付とする。
- ○ リモコンリレーの二次側配線は端子台にて整備する。
- ○ 火報受信機、誘導灯など防災設備に供する分岐回路の配線用遮断機握手つまみ部に誤操作防止のため赤色合成樹脂製ロックカバーを取付ける。
- ○ “開放禁止” “非常灯試験” シールを貼り付ける。
- ○ 塗装は標準色塗装とする。

分電盤操作回路結線図

☆1 誘導灯点滅回路



☆3 外灯点滅回路



1L−1 鋼板製総合盤内

AC 1φ3W 200/100V

MCCB 3P 225/125A

CPU ×1
T／U ×9
計R 33
計T 7

分電盤名称	電気方式	幹線主幹	回路番号	分岐開閉器（AF/AT）	負荷容量（VA）照明	コンセント	FCU	FCU以外	予備	負荷名称	付属機器	備考
1L−1 鋼板製総合盤内	AC 1φ3W 200/100V	MCCB 3P 225/125A	b	MCCB 2P 50/20A	34					誘導灯		ハンドルロックキャップ付 電源名称は赤字印刷
			c	MCCB 2P 50/20A		10				自動火災報知設備		ハンドルロックキャップ付 電源名称は赤字印刷
			d	MCCB 2P 50/20A		10				火災通報装置		ハンドルロックキャップ付 電源名称は赤字印刷
			a	MCCB 2P 50/20A	30					非常用照明		
			1	MCCB 2P 50/20A	294					エントランスホール 下足入、風除室	R×6	R1～4、13、14
			2	MCCB 2P 50/20A	231					廊下	R×4	R5、6、11、12
			3	MCCB 2P 50/20A	287					廊下、温上りコーナー	R×4	R7～10
			4	MCCB 2P 50/20A	1551					中広間、大広間	R×4	R25～28
			5	ELCB 2P 50/20A	594					便所前室、女性用浴室 女性用脱衣室、露天風呂	R×4	R15、19、21、22
			6	MCCB 2P 50/20A	91					脱衣前室	R×3	R16～18
			7	ELCB 2P 50/20A	489					男性用脱衣室 男性用浴室、露天風呂	R×3	R20、23、24
			8	MCCB 2P 50/20A	140					軽食コーナー（上足）	R×2	R29、30
			9	MCCB 2P 50/20A	173					軽食コーナー（下足）	R×1	R31
			10	MCCB 2P 50/20A	200					リモコントランス		
			11	ELCB 2P 50/20A	29					外灯	T×1	
			12	ELCB 2P 50/20A	400					外灯	T×2	
			13	ELCB 2P 50/20A	29					外灯	T×1	
			14	ELCB 2P 50/20A					500	予備		
			1	MCCB 2P 50/20A	63					自販機コーナー 倉庫 多機能便所 男性便所、女性便所		
			2	ELCB 2P 50/20A	227							
			3	MCCB 2P 50/20A	341					事務室、休憩室 更衣室、倉庫		
			4	MCCB 2P 50/20A	70					足湯、サイン テラス	R×2、T×2	R32、33
			5	MCCB 2P 50/20A	500					サウナ（男女）		
			6	MCCB 2P 50/20A			500			サイン照明	T×1	
			7	MCCB 2P 50/20A					500	予備		
			8	MCCB 2P 50/20A					500	予備		
			50	MCCB 2P 50/20A				501		ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ室内機		ACP1−1～1−4
			51	MCCB 2P 50/20A				153		ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ室内機		ACP2−1～2−3
			52	MCCB 2P 50/20A				501		ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ室内機		ACP3−1、3−2
			53	MCCB 2P 50/20A				153		ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ室内機		ACP4−1、4−2
			54	ELCB 2P 50/20A					500	予備		
			55	MCCB 2P 50/20A					500	予備		
			50	MCCB 2P 50/20A				501		全熱交換器		HEX1、3、4
			51	ELCB 2P 50/20A				153		全熱交換器		HEX5、6
			52	MCCB 2P 50/20A				501		全熱交換器		HEX5
			53	MCCB 2P 50/20A				153		全熱交換器		HEX6
			54	MCCB 2P 50/20A				500		全熱交換器		HEX2
			55	MCCB 2P 50/20A					500	予備		
			101	MCCB 2P 50/20A		200				風除室		
			102	MCCB 2P 50/20A		300				券売機、事務室		
			103	MCCB 2P 50/20A		100				事務室		
			104	MCCB 2P 50/20A		100				事務室		
			105	MCCB 2P 50/20A		400				更衣室、休憩室		
			106	MCCB 2P 50/20A		500				休憩室		
			107	MCCB 2P 50/20A		200				軽食コーナー		
			108	MCCB 2P 50/20A		400				軽食コーナー		
			109	MCCB 2P 50/20A		1000				自販機		
			110	MCCB 2P 50/20A		1000				自販機		
			111	MCCB 2P 50/20A		1000				自販機		
			112	MCCB 2P 50/20A		300				廊下		
			113	MCCB 2P 50/20A		400				中広間、大広間		
			114	MCCB 2P 50/20A		500				廊下、倉庫		
			115	MCCB 2P 50/20A		500				中広間、大広間		
			116	ELCB 2P 50/20A		100				テラス		
			117	MCCB 2P 50/20A		1000				電気温水器		EWH−2
			118	MCCB 2P 50/20A					500	予備		
		合計 17.409VA (20.909VA)		計	5773	8020	500	3116	3500			

1L−2 鋼板製自立型 SK内

AC 1φ3W 200/100V

MCCB 3P 225/200A

分電盤名称	電気方式	幹線主幹	回路番号	分岐開閉器	負荷容量（VA）照明	コンセント	FCU	FCU以外	予備	負荷名称	付属機器	備考
1L−2 鋼板製自立型 SK内	AC 1φ3W 200/100V	MCCB 3P 225/200A	101	MCCB 2P 50/20A		1000				清掃員控室		
			102	MCCB 2P 50/20A		750				清掃員控室		
			103	MCCB 2P 50/20A		300				清掃員控室 リネン室		
			104	MCCB 2P 50/20A		200				温上りコーナー		
			105	ELCB 2P 50/20A		1260				男性用脱衣室便所		
			106	ELCB 2P 50/20A		400				男性用脱衣室		
			107	ELCB 2P 50/20A		1000				男性用脱衣室		
			108	ELCB 2P 50/20A		1000				男性用脱衣室		
			109	ELCB 2P 50/20A		1000				男性用脱衣室		
			110	ELCB 2P 50/20A		1000				男性用脱衣室		
			111	ELCB 2P 50/20A		1000				男性用脱衣室		
			112	ELCB 2P 50/20A		1260				女性用脱衣室便所		
			113	ELCB 2P 50/20A		400				女性用脱衣室		
			114	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			115	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			116	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			117	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			118	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			119	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			120	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			121	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			122	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			123	ELCB 2P 50/20A		1000				女性用脱衣室		
			124	MCCB 2P 50/20A		704				SK、女性便所		
			125	ELCB 2P 50/20A		1208				女性便所		
			126	ELCB 2P 50/20A		1260				女性便所		
			127	ELCB 2P 50/20A		1260				女性便所		
			128	ELCB 2P 50/20A		1260				女性便所		
			129	ELCB 2P 50/20A		1000				女性便所		
			130	ELCB 2P 50/20A		600				多機能便所		
			131	ELCB 2P 50/20A		1260				多機能便所		
			132	ELCB 2P 50/20A		505				多機能便所		
			133	ELCB 2P 50/20A		1260				男性便所		
			134	ELCB 2P 50/20A		1260				男性便所		
			135	ELCB 2P 50/20A		1208				男性便所		
			136	ELCB 2P 50/20A		300				男性便所		
			137	MCCB 2P 50/20A		1000				電気温水器		EWH−2
			138	MCCB 2P 50/20A		1000				洗濯機		
			139	MCCB 2P 50/20A		1000				乾燥機		
			140	MCCB 2P 50/20A		100				男性用露天風呂		
			141	MCCB 2P 50/20A		100				女性用露天風呂		
			142	MCCB 2P 50/20A		100				足湯外壁		
			143	MCCB 2P 50/20A					500	予備		
			144	MCCB 2P 50/20A					500	予備		
		合計 36.955VA (37.955VA)		計		36955			1000			

1L−3 鋼板製機械室内

AC 1φ3W 200/100V

MCCB 3P 50/50A

T／U ×1
計R 3

分電盤名称	電気方式	幹線主幹	回路番号	分岐開閉器	負荷容量（VA）照明	コンセント	FCU	FCU以外	予備	負荷名称	付属機器	備考
1L−3 鋼板製機械室内	AC 1φ3W 200/100V	MCCB 3P 50/50A	1	MCCB 2P 50/20A	454					機械室	R×3	R34～36
			2	MCCB 2P 50/20A					500	予備		
			1	MCCB 2P 50/20A	148					清掃員控室 前室、リネン室		
			2	ELCB 2P 50/20A	42					倉庫		
			101	MCCB 2P 50/20A		300				機械室		
			102	MCCB 2P 50/20A		200				機械室		
			103	MCCB 2P 50/20A	40					外灯	T×1	
			104	ELCB 2P 50/20A					500	予備		
		合計 1.184 (2.184VA)		計	684	500			1000			

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	分電盤結線図（1）	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面番号 E−08

分電盤名称	電気方式	幹線 主幹	回路番号	分岐開閉器	負荷容量（VA） 照明	コンセント	FCU	FCU以外	予備	負荷名称	付属機器	備考
RPL-3 屋外自立型 防水	AC 1φ3W 200/100V	MCCB 3P 100/75A										
			①	ELCB 2P 50/20A		286				冷蔵庫		No.2
			②	ELCB 2P 50/20A		1500				予備電源		
			③	ELCB 2P 50/20A		1210				ティーディスペンサー		No.47
			④	ELCB 2P 50/20A		328				マイコンスープジャー		No.20
			⑤	ELCB 2P 50/20A		1500				予備電源		
			⑥	ELCB 2P 50/20A		77				電子ジャー		No.21
			⑦	ELCB 2P 50/20A		205				テーブル形冷蔵庫		No.23
			⑧	ELCB 2P 50/20A		900				電気卓上ウォーマー		No.25
			⑨	ELCB 2P 50/20A		900				電気卓上ウォーマー		No.27
			⑩	ELCB 2P 50/20A		125				テーブル形冷蔵庫		No.32
			⑪	ELCB 2P 50/20A		149				テーブル形冷蔵ショーケース		No.34
			⑫	ELCB 2P 50/20A		1500				予備電源		
			⑬	ELCB 2P 50/20A		1210				ティーディスペンサー		No.47
			⑭	ELCB 2P 50/20A		328				ドロワー冷蔵庫		No.16
			⑮	ELCB 2P 50/20A		500				ビール&餅ハイディスペンサー		No.42
			⑯	ELCB 2P 50/20A		340				キューブアイスメーカー		No.45
			⑰	ELCB 2P 50/20A		398				冷凍庫		No.1
			⑱	ELCB 2P 50/20A					500	予備		
		合計 11,338VA (11,838VA)		計		11338			500			
床暖房 鋼板製壁掛け型 SK内	AC 1φ3W 200/100V	MCCB 3P 100/75A										
			①	ELCB 2P 50/30A				3640		ゾーン1		
			②	ELCB 2P 50/30A				2550		ゾーン1		
			③	ELCB 2P 50/30A				3640		ゾーン2		
			④	ELCB 2P 50/30A				3640		ゾーン2		
			⑤	ELCB 2P 50/30A				1490		ゾーン2		
			⑥	ELCB 2P 50/20A					500	予備		
		合計 14,960VA (15,460VA)		計				14960	500			

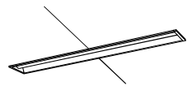
工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名 分電盤結線図（2）	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 E-09

㊕ ：公共施設照明器具型番

ーー体型LEDベースライト　下面開放型

101-1	㊕ LRS6-4-30　光束3100lm　消費電力20.3W	
101-2	㊕ LRS6-4-30　光束6680lm　消費電力43.1W	
101-3	XFX430PEW LA9 光束2970lm　消費電力20.3W	
101-4	XFX460PEW LR9 光束6490lm　消費電力43.1W	
101-5	XFX430PEV LA9 光束2940lm　消費電力20.3W	
101-6	XFX460PEV LR9 光束6360lm　消費電力43.1W	

101-1：5000K
101-2：5000K
101-3：4000K
101-4：4000K
101-5：3500K
101-6：3500K



定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
約５～１００%連続調光型
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４０００時間（光束維持率８５%）
Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

ーー体型LEDベースライト　天井直付型

102-1	XFX430NEN LA9 光束3200lm　消費電力20.3W	
102-2	㊕ LSS1-4-65　光束6900lm　消費電力43.1W	
102-3	㊕ LSS12-4-28-40K光束3070lm　消費電力20.3W	
102-4	㊕ LSS12-4-62-40K光束6700lm　消費電力43.1W	
102-5	XFX430NEV LA9 光束3040lm　消費電力20.3W	
102-6	XFX460NEV LR9 光束6570lm　消費電力43.1W	

102-1：5000K
102-2：5000K
102-3：4000K
102-4：4000K
102-5：3500K
102-6：3500K

定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
約５～１００%連続調光型
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４０００時間（光束維持率８５%）
Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

ーー体型LEDベースライト　天井直付型

103-1	XFX210NEN LA9 光束1600lm　消費電力11.6W	
103-2	XFX210NEW LA9 光束1530lm　消費電力11.6W	
103-3	XFX210NEV LA9 光束1520lm　消費電力11.6W	

103-1：5000K
103-2：4000K
103-3：3500K

一般タイプ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４０００時間（光束維持率８５%）
Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

ーー体型LEDベースライト　天井直付型

104-1	Hf86形定格出力型2灯 光束12480lm　消費電力70.5W	
	XLX830NHVJ LA2	

省エネタイプ、定格出力型、電圧２００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板（白色）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４０００時間（光束維持率８５%）
温白色（３５００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

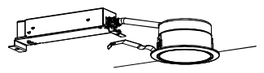
ーー体型LEDベースライト　防湿型・防雨型

105-1	Hf32形定格出力型　光束3150lm　消費電力23W	

適合ランプ：直管ＬＥＤランプ
電圧１００～２４２Ｖ、防湿・防雨型
ランプ素材：ガラス管、Ｒａ８４
本体：ステンレス（クリア塗装）
反射板：ステンレス（クリア塗装）
光束維持時間４０００時間（光束維持率８５%）

LEDダウンライト

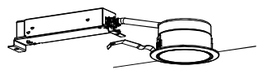
201-1	FHT42形1灯器具相当　光束2050lm　消費電力15W	



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>
電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
光源遮光角１５度、光束維持時間４０００時間（光束維持率８５%）
５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１００

LEDダウンライト

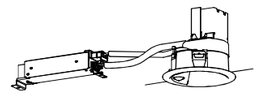
202-1	FDL27形1灯器具相当　光束1035lm　消費電力7W	



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>
電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
光源遮光角１５度、光束維持時間４０００時間（光束維持率８５%）
５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１００

LEDダウンライト

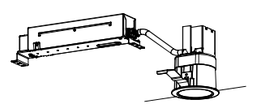
203-1	白熱電球60形1灯器具相当 光束590lm　消費電力4.3W	



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>
ひと（熱線）センサ付、５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
電源ユニット内蔵、一般光色タイプ、電圧：１００～２４２Ｖ
光束維持時間：４０００時間（光束維持率８５%）
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
枠・反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）
埋込穴φ１００

LEDダウンライト

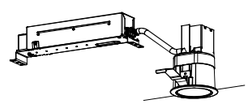
204-1	FHT32形1灯器具相当　光束1550lm　消費電力12.9W	



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
ＬｉＢｅｃＭ無線調光型、調光可能範囲（約５%～１００%）
光束維持時間４０００時間（光束維持率８５%）、３５００Ｋ
光源遮光角３０度、電圧１００～２４２Ｖ、Ｒａ８５、拡散タイプ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）
枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ７５

LEDダウンライト

205-1	FDL27形1灯器具相当　光束950lm　消費電力8.1W	



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
ＬｉＢｅｃＭ無線調光型、調光可能範囲（約５%～１００%）
光束維持時間４０００時間（光束維持率８５%）、３５００Ｋ
光源遮光角３０度、電圧１００～２４２Ｖ、Ｒａ８５、拡散タイプ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）
枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ７５

LEDローポールライト

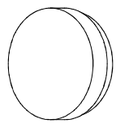
501-1	小形電球40形相当	

基礎：建築図参照

ランプ：消費電力４．３Ｗ、３５００Ｋ、金口Ｅ１７
光束維持時間４０００時間（光束維持率７０%）、防雨型
本体：アルミダイカスト（オフブラック）
グローブ：ポリカーボネート（乳白）
ポール：アルミ（オフブラック）
ポール径：□１００、地上高：４０５、保護等級：ＩＰ２３

LEDブラケット　浴室灯

301-1	丸形蛍光灯FCL30形1灯器具相当 光束1155lm　消費電力15W	



兼務用浴室灯（防湿型・防雨型）、専用ボックス、カバー
２７００Ｋ、Ｒａ８３、電圧１００Ｖ
本体：アルミ（クールホワイトつや消し仕上）
グローブ：アクリル（乳白）
ボックス取付専用、幅３３５・高３３５・出しろ１１７

LEDブラケット　浴室灯

301-2	小形電球40形1灯器具相当	

ランプ：消費電力８．２Ｗ、２７００Ｋ、金口Ｅ１７
防湿・防雨型
本体：アルミダイカスト（シルバーメタリックつや消し仕上）
グローブ：テフロン擬付ガラス（乳白）
壁直付型（埋込ボックス取付専用）

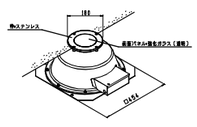
LED建築化照明　据置取付型

401-1	L1500タイプ　光束1710lm　消費電力27.4W	

防雨型、温白色、３５００Ｋ、Ｒａ８３
電圧１００Ｖ
本体：アルミ、カバー：アクリル（乳白）

アッパーライト　φ180　600lmタイプ

402-1	L1500タイプ　光束573lm　消費電力11.4W	



電源内蔵防水型ＬＥＤユニット
防浸型・耐塵型、１／２ビーム角１１度
光束維持時間４０００時間（光束維持７０%）、電球色
３０００Ｋ、Ｒａ８４、電圧１００Ｖ
本体・枠：ステンレス
前面パネル：高透過ガラス（強化ガラス）
保護等級：ＩＰ６７、照射方向可変機能付

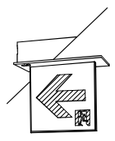
LEDシームレス建築部材照明

403-1	L1200タイプ　光束2900lm　消費電力22W	

基本灯具（電源送り用コネクタ付、調光送り用コネクタ付）
高出力型、電圧１００～２４２Ｖ
約１～１００%連続調光型、５０００Ｋ、Ｒａ８３
光束維持時間４０００時間（光束維持率８５%）
本体：ポリカーボネート（ホワイト）
カバー：ポリカーボネート（乳白）

LED 通路誘導灯　矢印付

f	㊕ SH1-FRF21P-BH（天井埋込両面形）BT内蔵型	
f2	㊕ SH1-FRF20P-BH（天井埋込片面形）BT内蔵型	



LED非常照明　埋込型　自己点検機能付

a	㊕ K1-LRS11-2　BT内蔵型　消費電力 1.0W	

埋込穴Φ100

LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯
蓄電池：ニッケル水素電池
非常灯評定番号：LALE-004
非常灯評定番号：LALE-006
レンズ：ガラス、カバー：鋼板：クールホワイトつや消し仕上
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付

LED非常照明　埋込型　自己点検機能付

b	㊕ K1-LRS11-3　BT内蔵型　消費電力 1.3W	

埋込穴Φ100

φ１００中天井用（～６m）、３０分間タイプ
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯
非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００６
レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：１００～２４２Ｖ、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付、

LED非常照明　埋込型　自己点検機能付

c	常灯用ハロゲン電球30形1灯器具相当 BT内蔵型	
	消費電力 1.3W	

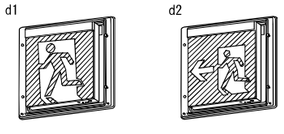
埋込穴Φ100

φ１００中天井用（～８m）、３０分間タイプ
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯
非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００６
レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：１００～２４２Ｖ、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付

LED 避難口誘導灯

d1	Ｂ級・ＢＨ形　防湿型防雨型　片面型	
d2	Ｂ級・ＢＨ形　防湿型防雨型　片面型	

d1　d2



壁直付型（防雨型）
一般型（２０分間）
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付

LED 避難口誘導灯

e	㊕ SH1-FBF20-BH　BT内蔵型	
	（天井直付型・壁直付型・天井吊下型）	

LED非常照明　天井直付型　自己点検機能付

g	非常灯用ハロゲン電球13形1灯器具相当　BT内蔵型	
	消費電力 1W	

直付低天井用（～３m）、３０分間タイプ
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯
非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００７
レンズ：ガラス、パネル：ガラス（透明）
カバー：アルミ（ホワイトつや消し仕上）
電圧：１００～２４２Ｖ、蓄電池：ニッケル水素電池、点検スイッチ付
自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付、リモコン付き

a　保守率：０．９２

器具取付高さ		2.4m	2.6m	2.8m	3.0m
単体配置	A1	4.6	4.7	4.9	4.9
直線配置	A2	10.2	10.8	11.3	11.9
四角配置	A4	8.2	8.7	9.1	9.2

保守率：０．９２

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m
単体配置	A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	8.7	6.4
直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	21.0	22.8
四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6	17.2	19.4

保守率：０．９２

器具取付高さ		4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m
単体配置	A1	7.4	8.0	6.5	5.7	4.2
直線配置	A2	17.5	19.5	21.3	20.9	18.8
四角配置	A4	14.5	16.6	18.2	19.5	18.8

保守率：０．９２

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m
単体配置	A1	4.2	4.5	4.6	4.7	3.7
直線配置	A2	9.4	10.3	10.9	11.9	12.8
四角配置	A4	7.5	8.2	8.7	9.7	11.7

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	照明器具機器姿図	縮尺 A1 1:150 A3 1:300		図面番号 E-10

女性用露天風呂	
501−1	1

男性用露天風呂	
501−1	1

女性用浴室	
301−1	8
301−2	15

男性用浴室	
301−1	8
301−2	15

SK2	
202−1	2

足湯	
401−1	2

女性用脱衣室	
201−1	21

女性用脱衣便所	
201−1	1

男性用脱衣室	
201−1	14

男性用脱衣便所	
201−1	1

脱衣前室	
202−1	13

SK1	
202−1	1

サイン	
402−1	2

女性便所	
201−1	3
203−1	4

男性便所	
201−1	4
203−1	2

多目的便所	
201−1	2

便所前室	
201−1	2

庭園	
c	2

事務更衣室	
102−1	2

事務休憩室	
102−1	1

倉庫１	
102−1	1

事務室	
101−2	6

湯上りコーナー	
204−1	18

廊下	
204−1	60

倉庫３	
103−1	1

倉庫２	
102−1	1

エントランスホール	
204−1	24

自販機コーナー	
201−1	2

下足入	
202−1	9

風除室	
403−1	6

清掃員控室	
102−2	2

リネン室	
102−1	1

テラス	
a	2

前室	
102−1	2

機械室	
102−1	21

倉庫４	
102−1	2

中広間	
104−1	6

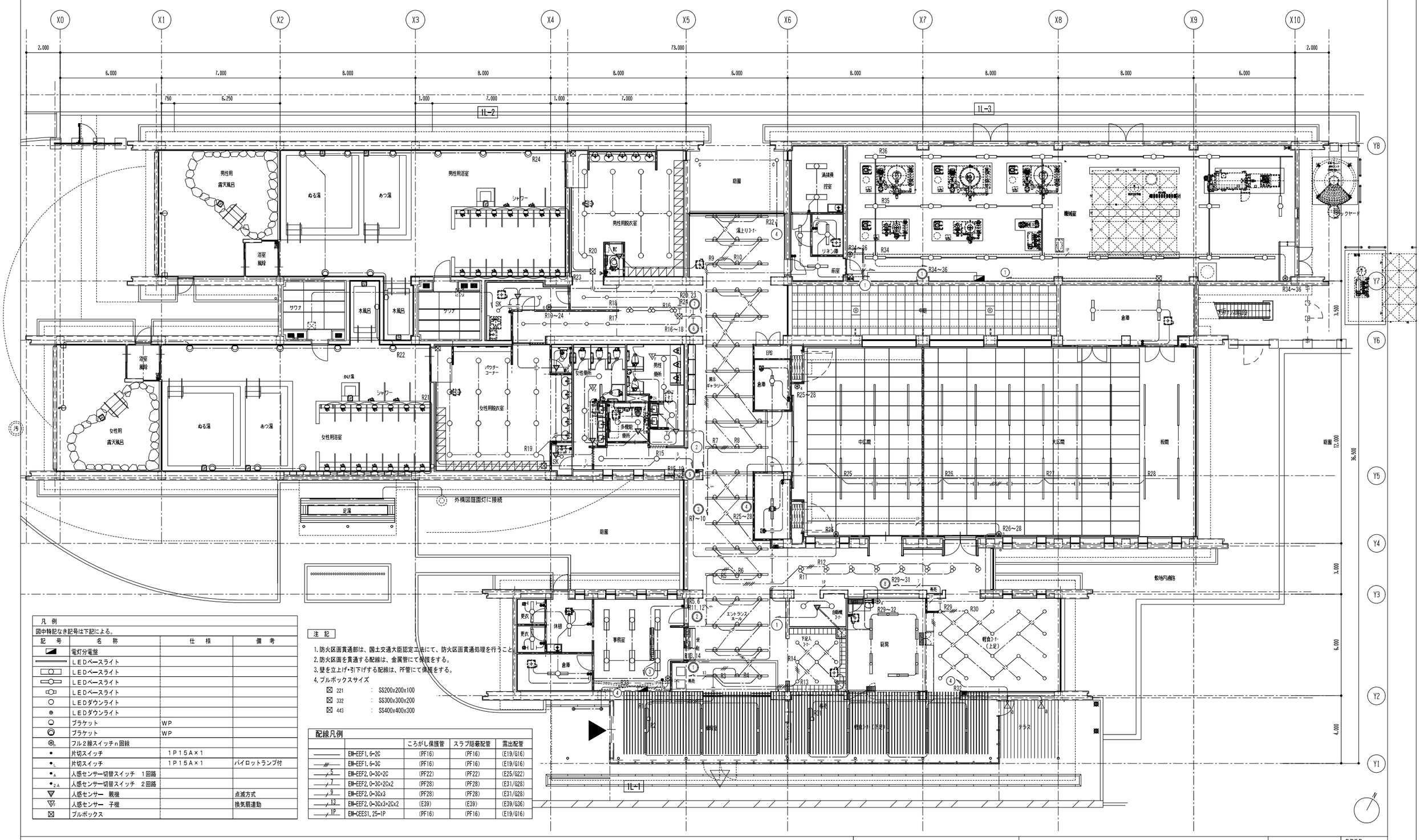
大広間	
104−1	16

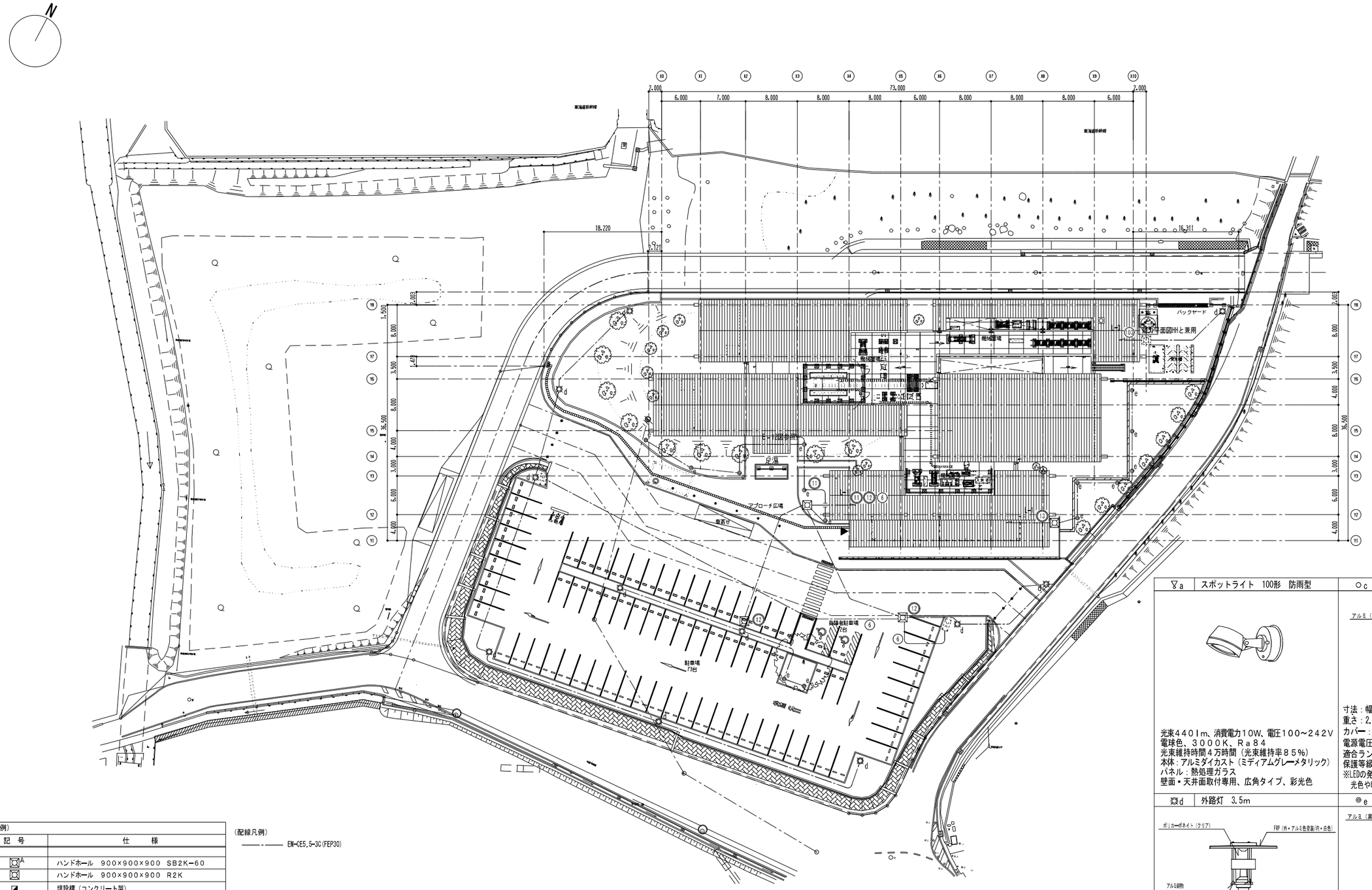
廊下（軽食コーナー前）	
204−1	16

厨房	
105−1	6

軽食コーナー（下足）	
102−2	10

軽食コーナー（上足）	
202−1	20

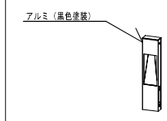




▽a	スポットライト　100形　防雨型	○c	フットライト

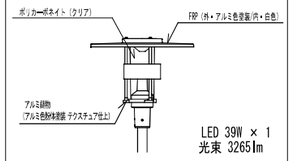
光束４４０１m、消費電力１０W、電圧１００～２４２V
電球色、３０００K、Ｒａ８４
光束維持時間４万時間（光束維持率８５%）
本体：アルミダイカスト（ミディアムグレーメタリック）
パネル：熱処理ガラス
壁面・天井面取付専用、広角タイプ、彩光色

LED　4.8W
光束 142lm



寸法：幅φ50×100・高500・埋込深250mm
重さ：2.1kg、本体：アルミ（黒色塗装）
カバー：アクリル(クリア片面マット)
電源電圧　100V専用、調光対応（1～100%）
適合ランプ：No.297AW、No.297BW、No.297CW
保護等級：IP23、両側配光、防雨型
※LEDの発光色にはバラツキがあるため、
光色や明るさに若干の違いが生じる場合があります。

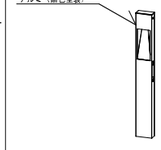
⊠d	外路灯　3.5m	◎e	庭園灯　1m



LED 39W × 1
光束 3265lm

寸法：幅φ660・高565mm
重さ：9.9kg
本体：アルミ鋳物（アルミ色粉体塗装 テクスチュア仕上）
トップシェード：FRP（外・アルミ色塗装/内・白色）
カバー：ポリカーボネイト（クリア）
電源電圧：100/200V対応
電源内蔵、防雨型、電球色 3000K Ra80、ポール3.5m

LED　4.8W
光束 142lm



寸法：幅φ50×100・高850・埋込深300mm
重さ：3.0kg、本体：アルミ（黒色塗装）
カバー：アクリル(クリア片面マット)
電源電圧　100V専用、調光対応（1～100%）
適合ランプ：No.297AW、No.297BW、No.297CW
保護等級：IP23、両側配光、防雨型
※LEDの発光色にはバラツキがあるため、
光色や明るさに若干の違いが生じる場合があります。

（凡例）

記　号	仕　様
⊠A	ハンドホール　900×900×900　SB2K−60
⊠	ハンドホール　900×900×900　R2K
◪	埋設標（コンクリート製）
◪	埋設標（鉄製）
	サイン照明
（配線凡例）	
——·——	地中埋設配管配線（外部）
——·——	天井コロガシ（内部）
----------	露出配管

（注記）
1．地中埋設配線は、配管にて保護し、埋設シート（２倍折）を敷設すること。
2．地中埋設配管の埋込深さは、（植栽）GL−300mm、（車路）GL−600mm以下とする。

（配線凡例）
——·—— EM-CE5.5-3C(FEP30)

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	電灯設備　外構図	縮尺	A1 1:300 A3 1:600		図面番号 E-12

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

2.000 6.000 7.000 8.000 8.000 8.000 6.000 8.000 8.000 8.000 6.000 2.000

73.000

750 6.250 1.000 7.000 1.000 7.000

Y8 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

3.500 36.000 12.000 3.000 6.000 4.000

H12建告1411適用で設置免除

H12建告1411適用で設置免除

H12建告1411適用で設置免除

29.2m 26.3m 25.7m 30m

男性用露天風呂 ぬる湯 あつ湯 浴室風除 男性用浴室 シャワー 男性用脱衣室 サウナ 水風呂 水風呂 サウナ SK パウダーコーナー 女性便所 男性便所 多機能便所 女性用脱衣室 かけ湯 シャワー 女性用浴室 女性用露天風呂 ぬる湯 あつ湯 浴室風除 足湯

庭園 渡廊 消防員控室 リネン庫 前室 温上り1-1- 機械室 ポンプヤード 中庭 倉庫 バリアフリー対応トイレ 展示ギャラリー EPS 倉庫 中広間 大広間 廊下 倉庫 可動間仕切り 庭園 敷地内通路

誘導標識(避難口 中輝度蓄光 更衣 更衣 休憩 事務室 倉庫 エントランスホール 自販機コーナー 下足入 下足入コーナー 券売 受付 券売 扉 軽食コーナー(上足) 軽食コーナー(下足) 履物室 テラス アプローチ広場

凡　例		
図中特記なき記号は下記による。		
記　号	名　称	備　考
	電灯分電盤	
●	非常照明 天井埋込・直付型 電池内蔵	
e	避難口誘導灯 直付型 両面型 電池内蔵	
d1	避難口誘導灯 壁直付型 片面型 電池内蔵	防湿型
d2	避難口誘導灯 壁直付型 片面型 電池内蔵	防湿型
	通路誘導灯 天井埋込片面型 電池内蔵	
	通路誘導灯 天井埋込両面型 電池内蔵	
☒	プルボックス	
□	ジャンクションボックス	

配線凡例		
——·——	天井内ころがし配線	EM-EEF2.0-2C (PF16)

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	非常用照明設備　1階平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 E-13

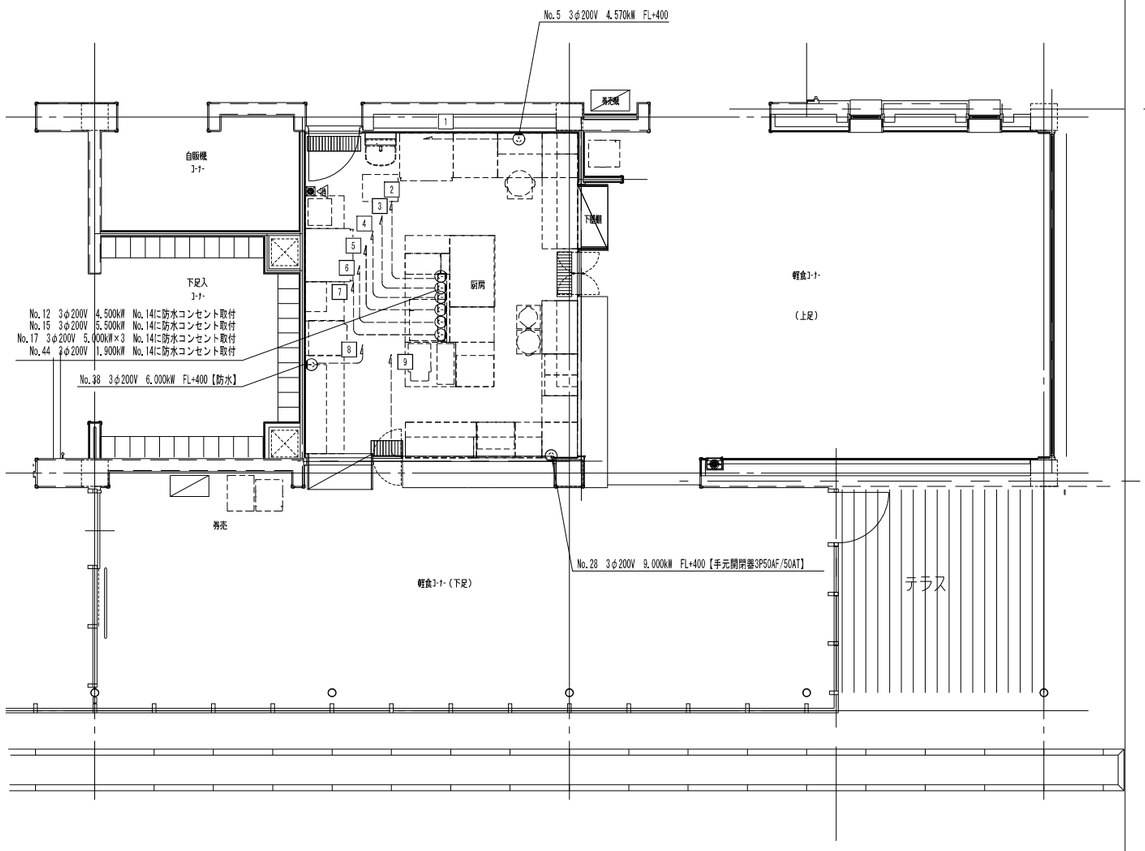
凡例

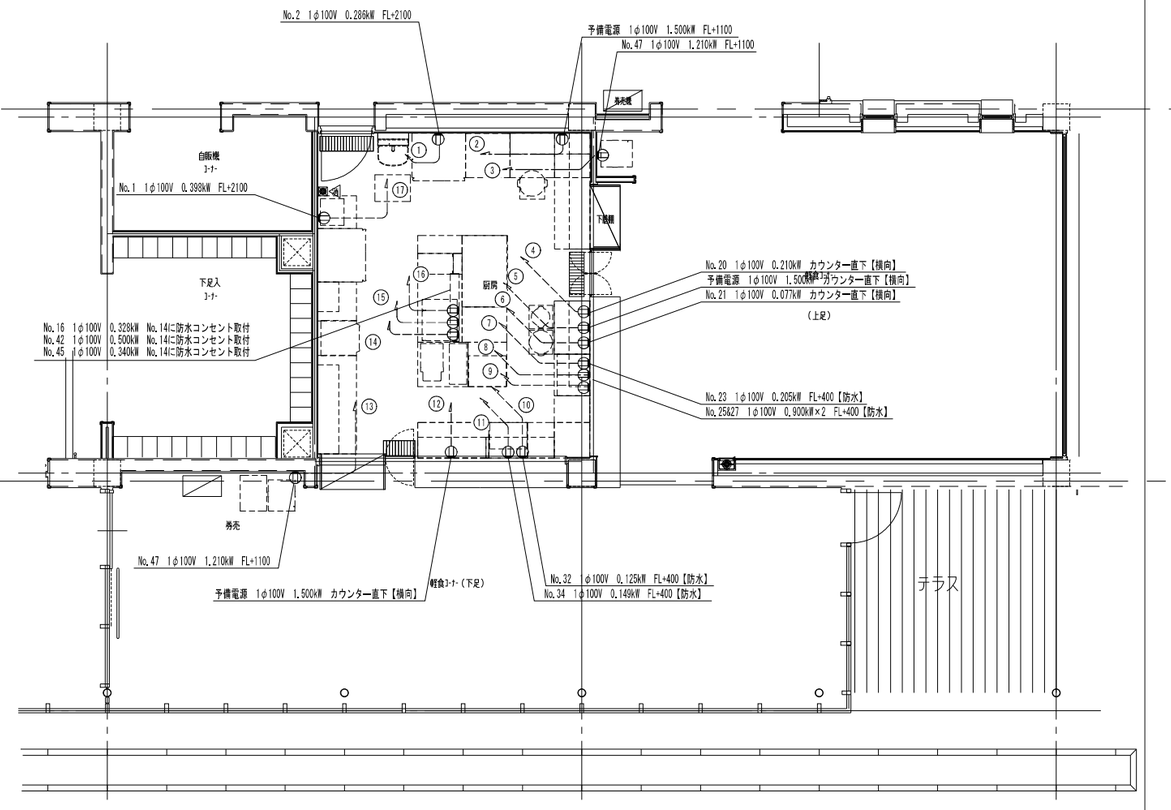
記　号	名　称
ⓤ	コンセント　2P15A×1
ⓤ$_{2}$	コンセント　2P15A×2
ⓤ$_{2LK}$	コンセント　2P15A×2　引掛け
ⓤ$_{WP}$	コンセント　2P15A×1　防水
ⓤ$_{E}$	コンセント　2P15AE×1
ⓤ$_{2E}$	コンセント　2P15AE×2
ⓤ$_{ET}$	コンセント　2P15A×1ET
ⓤ$_{EET}$	コンセント　2P15AE×1ET
ⓒ	埋込コンセント　200V
ロ	アウトレットボックス　四角中浅

（注記）

1. 特記なき配管配線は下記とする。
   ——·—— EM-EEF2.0mm-3C　保護管（PF22）　天井ころがし
   ———— EM-EEF2.0mm-3C　保護管（PF22）　いんぺい
2. 図中★付コンセントはCH-300とする
3. 図中※付コンセントはシャッター付とする

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事				令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名　コンセント設備　1階平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200			図面番号 E-14





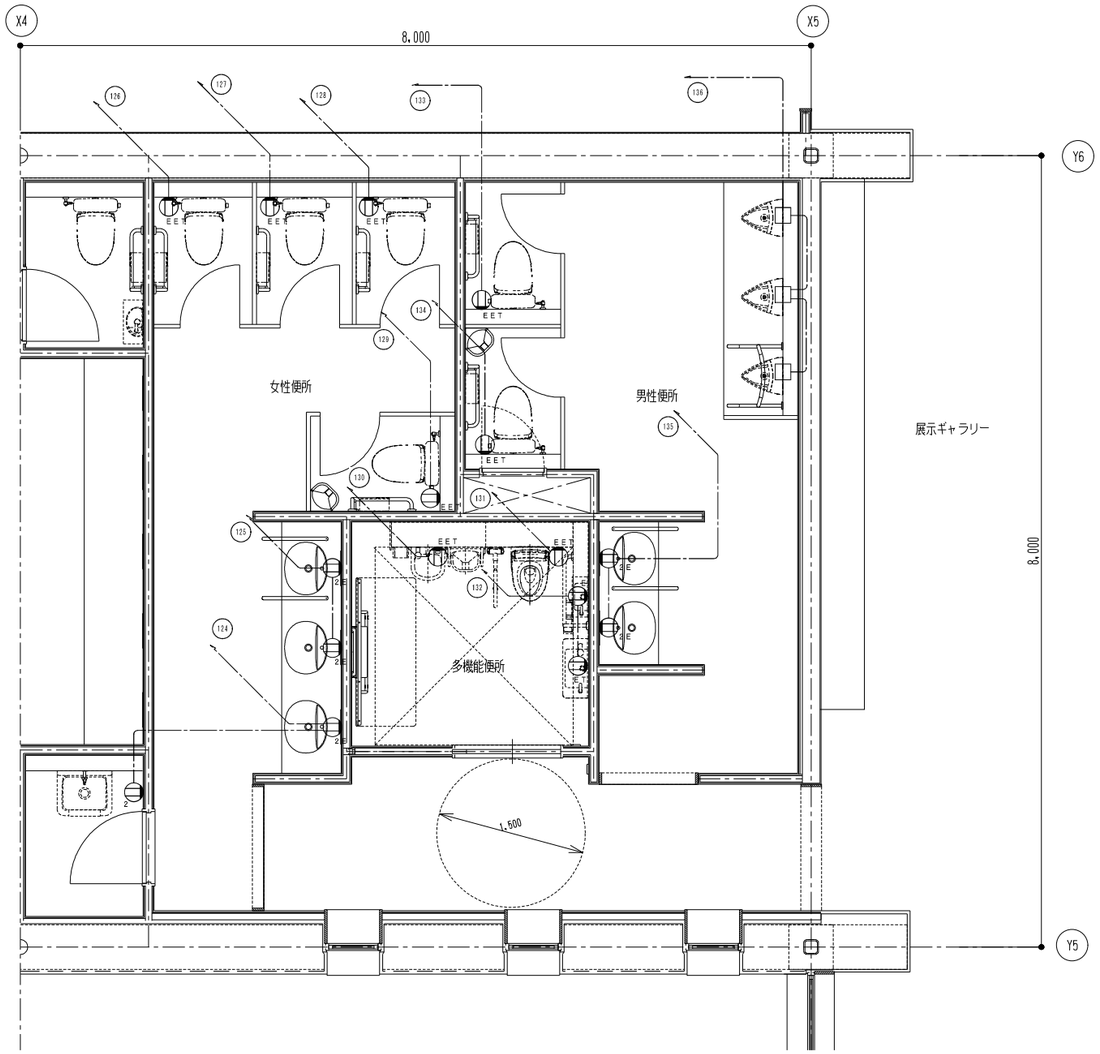
品番	名称	規格仕様	外形寸法(m/m) 間口	奥行	高さ	数量	給排水 給水(A)	給湯(A)	排水(A)	ピット	ガス(都市ガス) 口径(A)	消費量(kW)	電気(kW) 単相100V	単相200V	三相200V	蒸気 給気(A)	揚気(A)	消費量(kg/h)	フード	備考
5	IH炊飯ジャー	NH-SE454	430	500	410	1									4.570					炊飯容量(5.4L)
12	電気フライヤー	CF3-E13	350	600	850	1									4.500				ⓖ	油量13L
15	スチームコンベクションオーブン	CS13A-ESR	700	640	865	1	15		25						5.500				ⓖ	左コントローラ ホテルパン2/3 5段
17	電磁調理器	CIH-127-5SSC	1200	750	300	1									15.000				ⓖ	5.0kW×3
28	ゆで麺器	CM-EA560	450	600	850	1	15		25						9.000				○	
38	食器洗浄機	A500-E05	600	600	1400	1		15	40						6.000				○	正面把手 給湯条件：55℃以上 扉窓付き
44	ソフトクリームマシン	NM-9424AE	298	739	924	1	15								1.900					

凡例

名称	コンセント 3φ 100V	コンセント 1φ 200V	コンセント 3φ 200V	直接接 3φ 200V	直接接 3φ 200V	電線管ニ
図示記号	ⓤ	ⓨ	ⓨ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓔ

品番	名称	規格仕様	外形寸法(m/m) 間口	奥行	高さ	数量	給排水 給水(A)	給湯(A)	排水(A)	ピット	ガス(都市ガス) 口径(A)	消費量(kW)	電気(kW) 単相100V	単相200V	三相200V	蒸気 給気(A)	揚気(A)	消費量(kg/h)	フード	備考
1	冷凍庫	HF-90B-ML	900	800	1970	1			40				0.398							定格内容積760L SUSアジャストH=150
2	冷蔵庫	HR-90B-ML	900	800	1970	1			40				0.286							定格内容積761L SUSアジャストH=150
16	ドロワー冷蔵庫	RTL-120D0CG	1200	750	550	1			40				0.328							定格内容積90L
20	マイコンスープジャー	TH-CU030	365	315	375	1							0.210							容量8.0L
21	電子ジャー	THS-C60A	460	380	320	1							0.077							ステンレス 保温容量4.3升(6.0L)
23	テーブル形冷蔵庫	RT-90SNJ-R	900	600	850	1			40				0.205							
25	電気卓上ウォーマー	TEH-B	350	550	260	1							0.900							
27	電気卓上ウォーマー	TEH-C	350	550	260	1							0.900							
32	テーブル形冷凍庫	FT-63PTE1	630	450	850	1			40				0.125							定格内容積73L SUSアジャストH=150
34	テーブル形冷蔵ショーケース	RTS-120SND	1200	600	850	1							0.149							定格内容積270L SUSアジャストH=150
42	ビール&酎ハイディスペンサー	別途品				1	15						0.500							
45	キューブアイスメーカー	IM-65M-2	630	525	800	1	15		40				0.340							貯氷量 約27kg
47	ティーディスペンサー	PTE-250HHB-C-BK	450	527	1495	2	15		40				1.210							

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	動力コンセント設備 厨房詳細図	縮尺	A1 1:50 A3 1:100	図面番号 E-15



凡例

記　号	名　称
$\oplus_{2}$	コンセント　2P15A×2
$\oplus_{E}$	コンセント　2P15AE×1
$\oplus_{ET}$	コンセント　2P15A×1ET
$\oplus_{EET}$	コンセント　2P15AE×1ET
□	アウトレットボックス　四角中浅

（注記）

1. 特記なき配管配線は下記とする。

——·—— EM-EEF2.0mm-3C　保護管（PF22）　天井ころがし

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事				令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名　コンセント設備　WC詳細図	縮尺	A1 1:30 A3 1:60			図面番号 E-16

デジタル電子交換機

交換機

制御方式	蓄積プログラム制御方式
制御処理装置	64bit RISCプロセッサ
通話路方式	時分割PCM方式
冗長構成	1重
トラフィック条件	6HCS／内線
容量　実装／最大	96／384
構造	本装置は自立キャビネットで収容された交換機・整流器・バッテリー一体型である

回線数

収容回線種別		容量	現用	実装	備考
外線	INS64	96	4	8	うち斤舎費内線用(BRI) 2/2B線[現用/実装]
外線	アナログ		1	8	回路数を示す
内線	多機能内線		5	8	
内線	一般内線		7	10	
			−	−	
			−	−	
			−	−	
			−	−	
			−	−	
			−	−	

番号計画

接続種別	番号	備考
内線番号	2～5桁	
局線発信	0又はボタン	
局線応答	X又はボタン	
サービス特番	1～2桁	

応答方式	ストレートラインD I 方式・分散応答方式・ダイヤルイン方式・ダイヤルイン方式
	ダイレクトインダイヤル方式・ダイレクトインライン方式・ボタン電話方式・他
線路条件	局線：所属局の条件に従う　接地条件：アナログの場合は通信用（A種）
	内線：一般電話機　600Ω以下（電話機の直流抵抗含む）
	多機能電話機　単独45Ω以下　マルチ15Ω以下
	漏洩抵抗　20KΩ以上
環境条件	温度　0～40℃　湿度　10～90%　冷却方式　自然空冷
熱量・質量	発熱量　約225kj／h　質量　約39kg

基本機能

着信音識別	内線代表
リダイヤル	ハウラー音自動送出
システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル
フルコールバックトランスファー	保留音送出
ラインロックアウト	サービスクラス
可変不在転送	テナント
通話中PB信号送出	遠隔保守
LCR発信	ドアホン

施工要領

1）本工事は、監督職員の指示に従い十分なる打合せの上に施工すること。
2）本工事の配線方法は、電気工事共通仕様書で定める技術基準に準拠して施工すること。
3）各機器の試験調整を行い、試験成績表を提出すること。
4）機器の取扱説明については監督職員を通じて十分に行い、工事完了後の運用にあたり支障なきようにすること。
5）交換機は耐震を考慮した据付方法とする。
6）電話機の取付はその位置を監督職員と詳細に打合せを行う。
7）構内ケーブル、電話機端末配線及び端子盤の接続を行う。
8）交換機本体にはA種アースを接続すること。

整流器

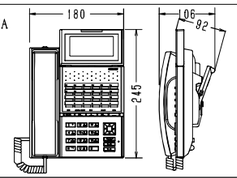
入力電圧	AC100V±10%
入力電流（最大値）	基本架3．2A
出力電圧	DC−26V±10%　+5V±10%
出力電流	基本架：−24V換算5．7A
整流方式	単相全波整流スイッチング方式

蓄電池

容量	12V−34AHX標準シール蓄電池X1セット
補償時間	3時間
その他	

①停 多機能電話機（アナログ停電直通）　2台

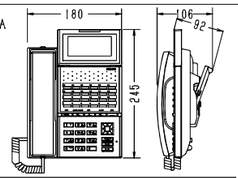
型名 HI-24G-TELPFA



外線ボタン	24キー
LCD表示	半角20桁（全角10桁）の6行表示
ディスプレイ	バックライト付省電力タイプ
発着信履歴	各30件
電話帳・着信ランプ	500件X3番号・7色
方式	デジタル式（アナログ停電対応型）（配線4W）

①a,b 多機能電話機　5台

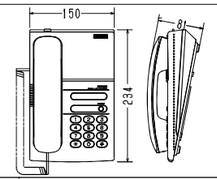
型名 HI-24G-TELSDA



外線ボタン	24キー
LCD表示	半角20桁（全角10桁）の6行表示
ディスプレイ	バックライト付省電力タイプ
発着信履歴	各30件
電話帳・着信ランプ	500件X3番号・7色
方式	デジタル式（標準型）（配線2W）

①内 一般電話機　7台

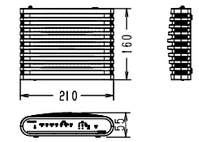
型名 HI-A21



固定機能ボタン	フッキングボタン
回線種別	DP／PB切替式
音量調整	受話音量2段階・着信音量4段階・着信音色4段階
着信表示ランプ	有り
設置方法	卓上壁掛兼用型（別途壁掛け用品必要）
備考	

VOGW VoIPゲートウェイ　1台

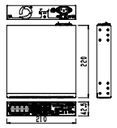
NT-4e(BRI)



寸法(WXDXH)	210X160X55
機能	RJ45インターフェイスを搭載した4ポートモデル
	SIPの国際規格を準拠したVoIPプロトコルをサポート
WANポート	1ポート(1000BASE-T/100BASE-T/10BASE-T)
LANポート	4ポート(うち1ポートは保守用)
	(1000BASE-T/100BASE-T/10BASE-T)
電源	AC100V±10.50／60Hz±1Hz

R ルータ　1台

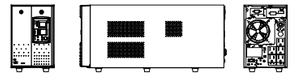
型名（参考）
AT-AR3050S
AT-RKMT-J14



WAN、LAN	WAN：10/100/1000BASE-TX2．SFPX2とバイパスX2は共用 LAN：10/100/1000BASE-TX8．コンソール：RJ-45．USB2.0タイプAX1
Xモリ／管理機能	メイン1Gbyte．フラッシュ4Gbyte．SDHCｶｰﾄﾞｽﾛｯﾄX1／SNMPv1／v2c/v3
ルーティングプロトコル	IPv4/IPv6．RIPv1/v2．RIPng．OSPF．OSPFv3．BGP4．BGP4+．スタティック
VPN(IPsec)	暗号化：3DES．AES128・192・256．認証：SHA−1・256・512．IKEv1・2
VLAN／FW	タグVLAN(802.1Q)．ｱｸｾｽﾘｽﾄ/ﾌﾛｰﾍﾞｰｽﾄﾞﾊﾟｹｯﾄ・ｲﾝｽﾍﾟｸｼｮﾝFW
消費電流/発熱量/質量/寸法/質量	最大18W/最大61.5kj/h/0~50℃.80%以下/W210XD220XH42.5/1.7kg
参考型番	AT-AR3050S同等品
参考型番	AT-RKMT-J14(19インチラックマウントキット)同等品

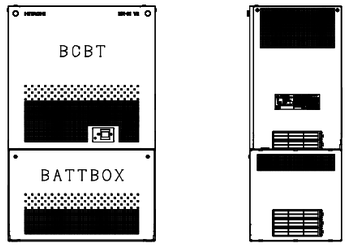
UPS 無停電電源装置　1台

型名（参考）
BU150SW相当品

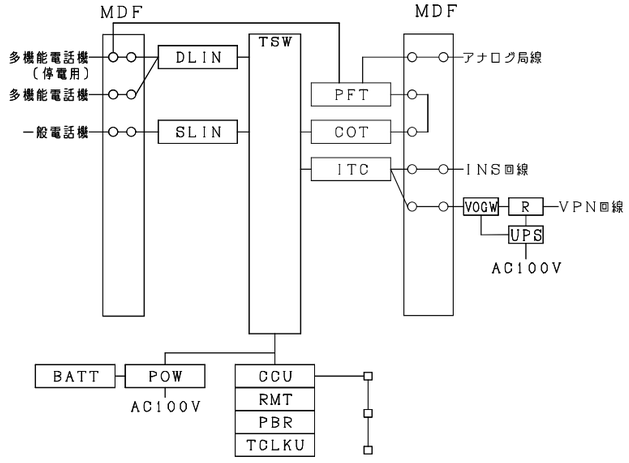


バッテリー	シール鉛バッテリ、AC入力給電により充電、DC12V/8AhX3個
運転方式、起動電圧範囲	常時インバータ給電方式、AC70±4～146±4V
入力電圧範囲、入力電流	AC75±4V～144±4V/AC85V±4V～144±4V(負荷80%以上) 最大13A
出力コンセント、出力容量	NEMA5−15PX5、1100VA/950W
環境、寸法、質量	0~40℃.25~85%RH(無結露).W145XD480XH224.16.5Kg
参考型番	BU100SW同等品

MX−01架搭載図



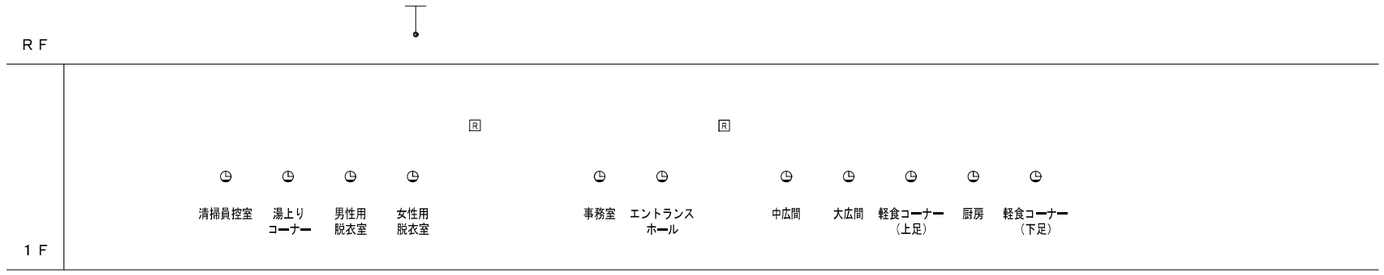
中継方式図



システム凡例

記号	名称
MDF	主配線盤
POW	電源装置
BATT	バッテリー
CCU	中央処理装置
TSW	通話路スイッチ
RMT	遠隔保守トランク
TCLKU	クロック同期ユニット
PBR	PB信号受信機
ITC	INS64局線回路
COT	アナログ局線回路
DLIN	2Wデジタル多機能電話機ライン回路
SLIN	一般電話機ライン回路
PFU	停電直通切替ユニット
VOGW	VoIPゲートウェイ
R	ルータ
UPS	無停電電源装置

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	構内交換設備　仕様書・機器姿図	縮尺 A1 N.S A3 N.S	図面番号 E−17



電波時計設備　系統図

記　事

1．特記なき配管，配線は下記による。

EM−AE1．2mm−2C

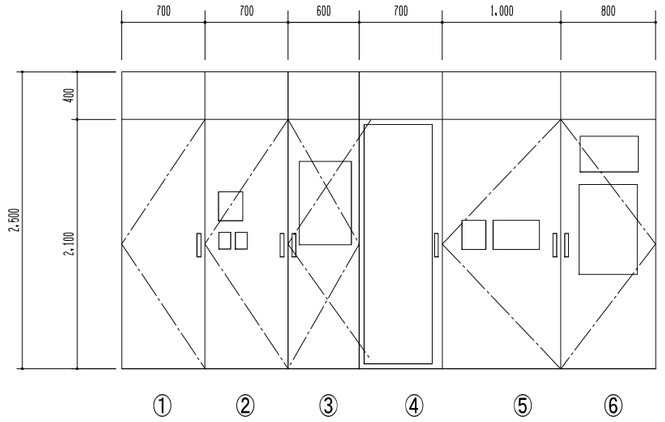
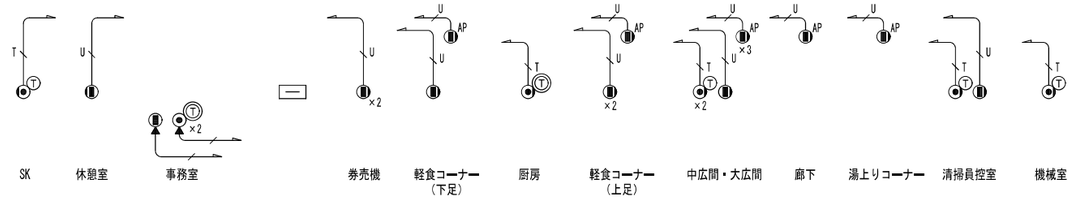


表　面	内
①　計装用（計装盤M−44図参照）	
②　機械警備 +IP+アッテネーター	IT−I+PBX
③　放送架+ITV架	
④　受信機	木板（機械警備等）
⑤　空調リモコン フル2線SW	IL−I
⑥　表示盤+警報盤	IL−I

端子盤リスト

盤　名　称	電話設備	LAN設備	テレビ共同受信設備	放送設備	予　備	計
1T−1	20P+MDF	HUB設置用木板 500W×400H×20t	ブースター×1 4分配器×2 2分配器×1	40P	10P	実装70P

コンセント	備　考
2P15A×2ELK	総合盤内　弱電用D種接地端子

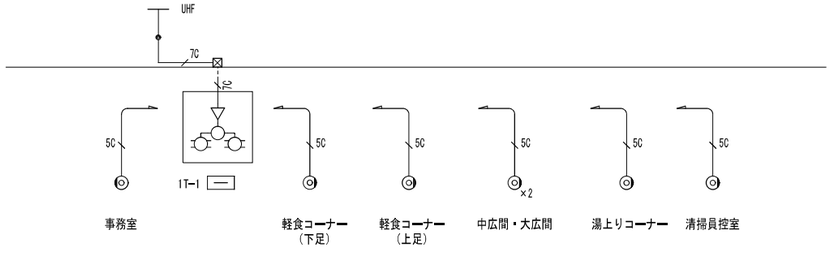


電話・LAN設備 系統図

凡例

記号	名称
⦿	電話用MJ
Ⓣ	内線電話機
Ⓣ	外線電話機
⊖	LAN用MJ（実装）
⊖	LAN用MJ（AP）CHマイナス300

特記なき配管配線は下記通りとする		保護管	配線配管凡例	
（情報）			————	天井・壁スラブ打込み配管
U	EM-UTP 0.5mm − 4P	(PF22)	——-——	天井内ケーブル配線
（電話）			− − − − −	床スラブ打込み配管
T	EM-EBT 0.4mm − 2P	(PF16)	----------	露出配管

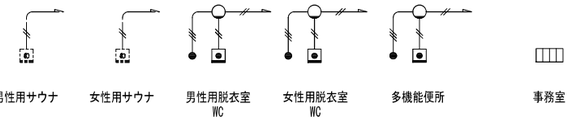


テレビ設備 系統図

凡例

記号	名称
ⓣ	TV用MJ

特記なき配管配線は下記通りとする		保護管	配線配管凡例	
（テレビ）			————	天井・壁スラブ打込み配管
7C	EM-同軸7C − FB	(PF22)	——-——	天井内ケーブル配線
5C	EM-同軸5C − FB	(PF22)	− − − − −	床スラブ打込み配管
（呼出）			----------	露出配管
AE	EM-AE1.2mm−2C	(PF16)		
AE	EM-AE1.2mm−3C	(PF16)		
（電波時計）				
AE	EM-AE1.2mm−2C	(PF16)		



※サウナ室詳細はA−00図参照

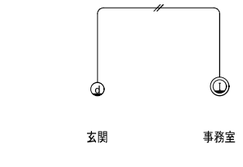
トイレ呼出設備 系統図

凡例

記号	名称
▣	トイレ呼出釦
•	トイレ呼出設備復旧釦
○	トイレ呼出設備表示灯
▥	トイレ呼出設備表示盤5窓

EM-AE1.2mm−2C　保護管（PF16）　天井ころがし

EM-AE1.2mm−3C　保護管（PF16）　天井ころがし



インターホン設備 系統図

凡例

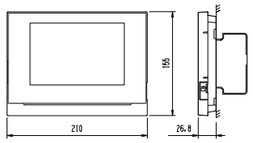
記号	名称
ⓓ	ドアホン
Ⓘ	インターホン親機

EM-AE1.2mm−2C　保護管（PF16）　天井ころがし

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	弱電設備　系統図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号 E−18

① モニター付親機

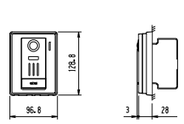
参考型番　WP-2MED-T



電源電圧	AC100V　50/60Hz
モニター	7型TFTカラー液晶
通信方式	1.9GHz TDMA-MB(時分割多元接続方式)
通話方式	拡声自動交互通話/ブレストーク通話
録画機能	自動・手動録画、再生、保存
形　状	壁取付型(JIS3個用スイッチボックス)
材　質	本体:難燃性樹脂、静電スイッチ部:ガラス

② カメラ付玄関子機

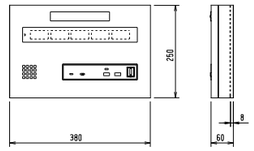
参考型番　JT-DA



電源電圧	モニター付親機から供給
通話方式	自動交互通話
カメラ	1/2.9型カラーCMOS
形　状	壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	難燃性樹脂
備　考	防塵・防まつ形(JIS C 0920 IP54 相当)

⑤ 5窓用呼出表示器

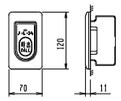
参考型番　CBN-5C



電源電圧	AC100V　50/60Hz (内部電源DC12V)
形　状	壁取付形
材　質	SPCC t1.2
窓　数	5窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

⑥ 呼出ボタン

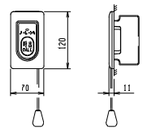
参考型番　NBR-7WA-TC



形　状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	自己消火性樹脂
備　考	点字案内文有

⑦ 呼出ボタン(引きひも付)

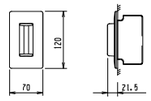
参考型番　NBR-7HWA-TC110



形　状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	自己消火性樹脂
備　考	引きひも式、押ボタン式両用
	点字案内文有

⑧ 廊下灯

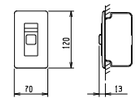
参考型番　CBR-4B



備　考	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材　質	プレート：自己消火性樹脂 表示灯カバー：ポリカーボネート
備　考	LED方式（赤色）

⑨ 復旧ボタン

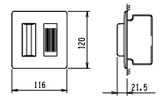
参考型番　NBR-2A-C



形　状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材　質	樹脂
備　考	非防水形

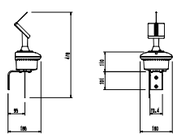
⑩ ブザー付廊下灯

参考型番　NR-BZLB27



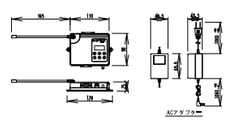
形　状	壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)
材　質	プレート：自己消火性樹脂 ランプカバー：ポリカーボネート
備　考	ブザー付

⑪ 長波受信器



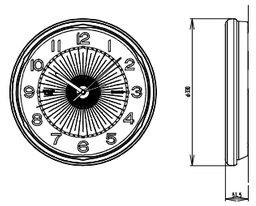
ケース	耐候性プラスチック　パールグレー
取付金具	ステンレス
動作温度範囲	−10℃〜+50℃
長波受信部	受信周波数：40KHz/60KHz
	受信回数　：1日3回（2：50・9：50・14：50）
無線部	無線種類　：特定小電力無線（426.125MHz）
	送信回数　：1日3回（3:00・10：00・15：00）時刻送信
設置条件	1日4時間以上（AM10：00〜PM2：00）
	ソーラーパネル表面に太陽光が当たる場所
質　量	約1Kg

⑫ タイムリンクプロ中継器



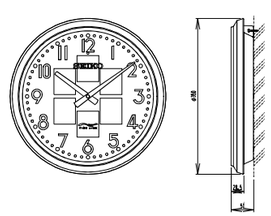
ケース		樹脂製　濃グレー
時計部	内蔵水晶精度	平均週差±0.7秒（＋5℃〜＋35℃）
	積算誤差	最大±90ms（+25℃） ±350ms（0℃〜+50℃）※時刻修正が1日1回の場合
	表示	8x2 LCD 年月日時分秒を表示
	時刻修正	タイムリンクプロの受信、外部同期入力（シリアル同期信号、30秒有極信号）、手動設定
操　作	スイッチ	前面の押しスイッチ6個により操作
無線部	無線の種類	特定小電力無線
	通信周波数	426.125MHz
	通信速度	2400bps
	空中線電力	1mW
	アンテナ	約17cm
	適合規格	ARIB STD-T67
無線の送受信	受信	常時（タイムリンクプロの受信により、内部時計を修正する）
	修正誤差	10ms以内（前段の中継器との誤差）
	送信	タイムリンク：10分ごと （送信所要時間は、1秒以内）
		タイムリンクプロ：30分ごと （送信所要時間は、1秒以内）
出　力	時刻データ出力 モニタ出力	RS-232C/RS-422
	チャンネル1・2出力	30秒有極信号（DC3.6V）
入　力	外部同期入力	30秒有極信号（DC24V） シリアル同期信号（RS-422）
入力電源	AC100V　(±10%)　付属のACアダプタ（出力DC6.3V）を使用	
消費電力	約1.5 W	
動作温度範囲	0℃〜＋50℃ 屋外での使用不可	
動作湿度範囲	20%〜90%　（結露無きこと）	
停電補償	10日（内部時計）	
質　量	約410ｇ（本体+ACアダプタ）	

⑬ φ330壁掛型子時計（タイムリンククロック）



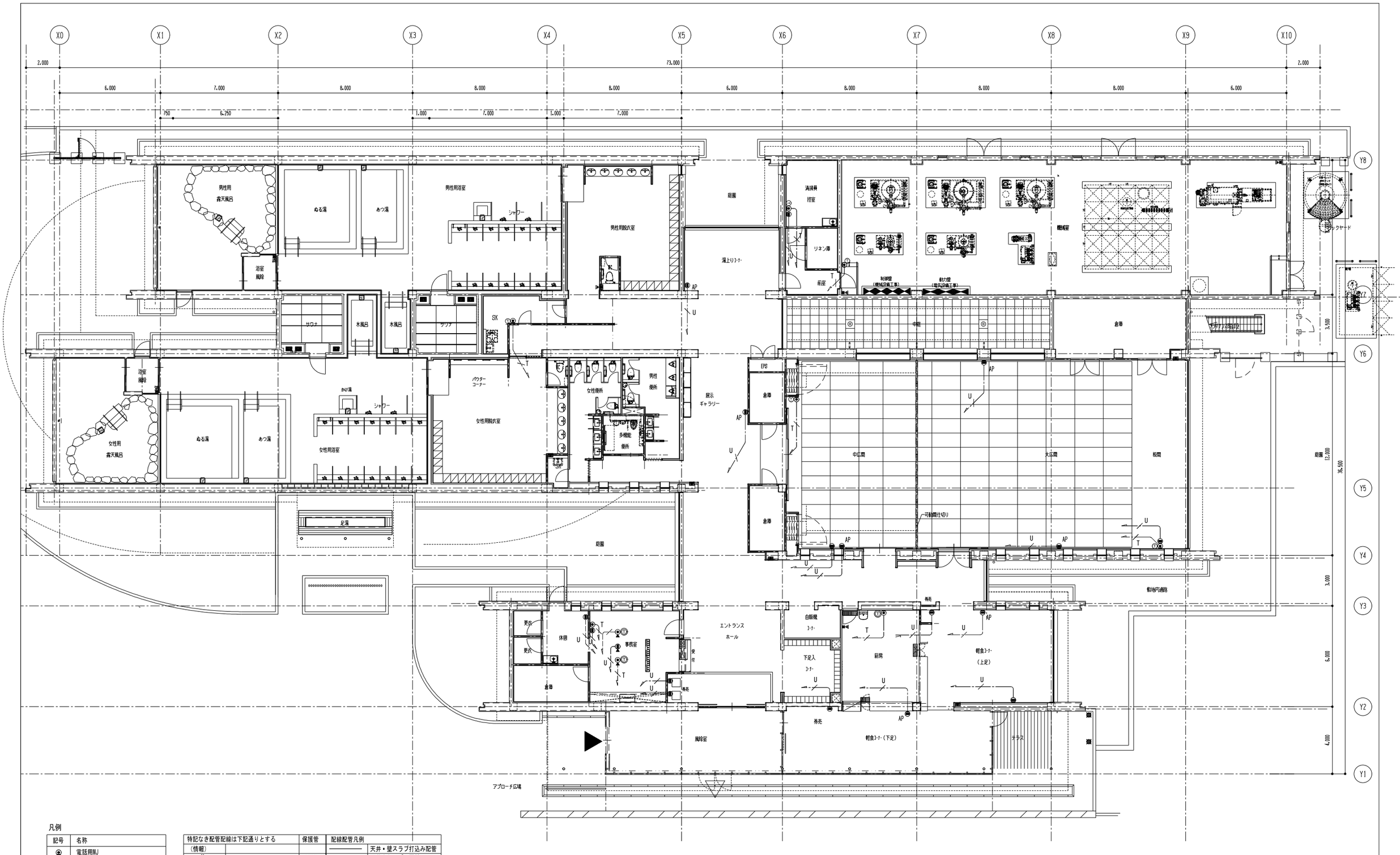
外　枠	プラスチック　銀色メタリック塗装　光沢仕上げ
	一部薄金色パール塗装　光沢仕上げ
前　面	無色透明ガラス
指　針	アルミ　黒色印刷
文字板	地色：透明　白色印刷　一部グレー（フィルム）
	文字黒色印刷
平均月差	平均月差±20秒（+5℃〜+35℃）
表　示	アナログ　3針式
電波受信機能	1日12回（自動）
	強制受信（手動）
使用温度範囲	−10℃〜+50℃
電　源	ソーラー式：光発電セル×6　充電池×1
	補助電池　：円筒型リチウム電池 CR123A×1（付属品）
	※光量（350ルクス）×1日8時間以上の条件を満たしていれば、補助電池を減らさずに動き続けます。
受信結果確認機能	ボタン操作により受信結果をLEDライトで表示
質　量	約1.5kg（本体のみ）

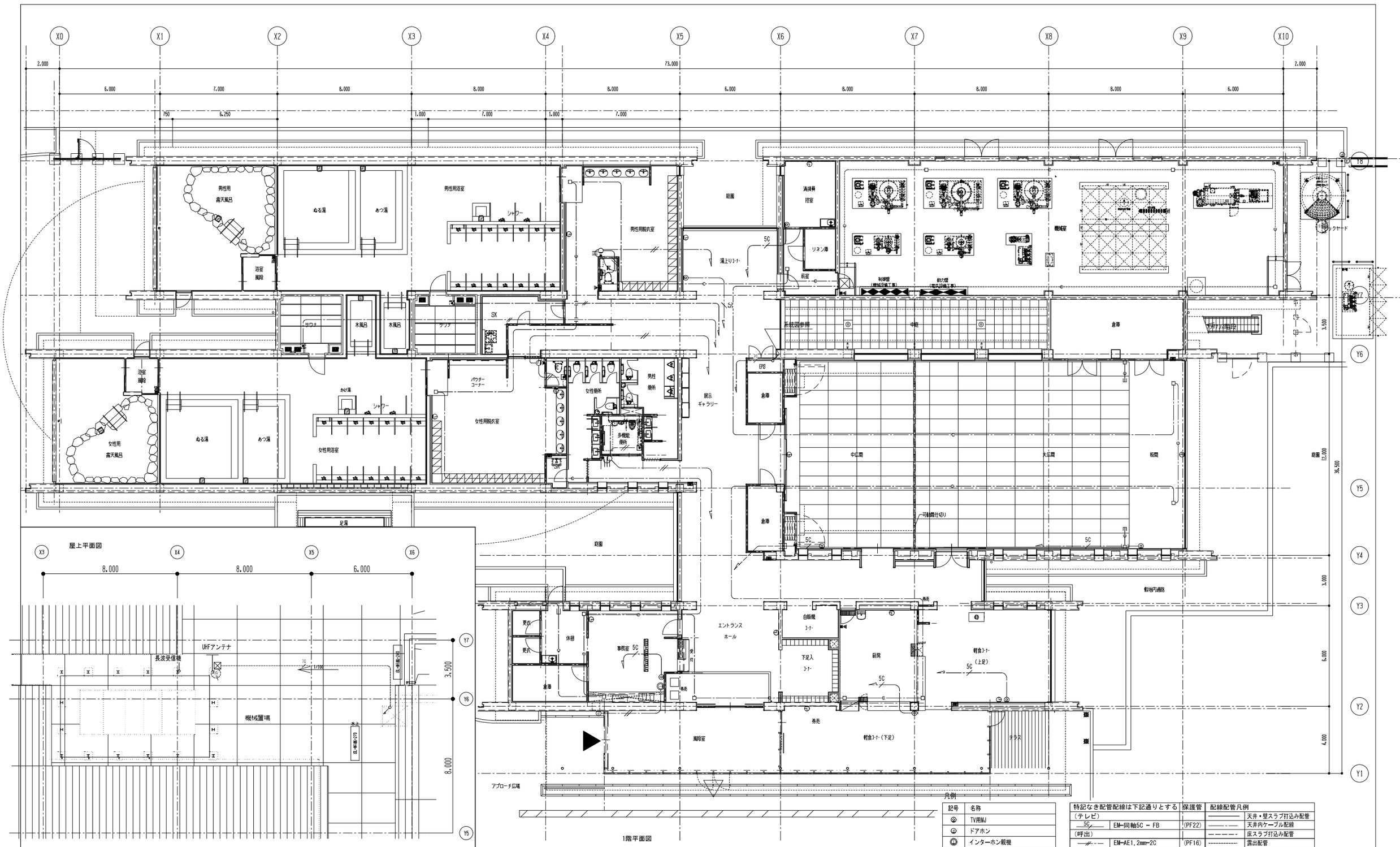
⑭ φ350壁掛型子時計（タイムリンククロック）



外　枠	鋼板　クリーム色塗装
文字シート	半透明合成紙　全面白色印刷　文字黒色印刷
指　針	アルミ　黒色印刷
内蔵水晶精度	平均月差±20秒（+5℃〜+35℃）
表　示	アナログ　2針式
電波受信機能	１日１２回　（自動）
	強制受信（手動）
使用温度範囲	−10℃〜+50℃
電　源	ソーラー式：光発電セル　×６　充電池　×１
	補助電池　：円筒型リチウム電池 CR123A　×１（付属品）
	※光量（350ルクス）　×１日8時間以上の条件を満たしていれば、補助電池を減らさずに動き続けます。
受信結果確認機能	ボタン操作により受信結果をLEDライトで表示
質　量	約1.7kg（本体のみ）

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	弱電設備　機器姿図	縮尺	A1 N.S A3 N.S	計画　製作　調査　調査	図面番号 E-19


X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
2.000
73.000
6.000
7.000
8.000
750
6.250
1.000
男性用
露天風呂
ぬる湯
あつ湯
男性用浴室
シャワー
男性用脱衣室
浴室
履替
サウナ
水風呂
水風呂
サウナ
SK
パウダー
コーナー
女性便所
男性
便所
多機能
便所
女性用
露天風呂
かけ湯
女性用浴室
女性用脱衣室
庭園
湯上りﾗｳﾝｼﾞ
展示
ギャラリー
満雄員
控室
リネン庫
前座
機械室
制御盤
(機械設備工事)
動力盤
(電気設備工事)
中庭
倉庫
ｱﾌﾟﾛｰﾁ広場
EPS
倉庫
中広間
大広間
振間
可動間仕切り
倉庫
庭園
12.000
36.500
3.000
6.000
4.000
5.500
ｸﾛｰｸﾔｰﾄﾞ
ｱﾌﾟﾛｰﾁ広場
足湯
更衣
更衣
休憩
事務室
倉庫
受付
エントランス
ホール
券売
自販機
ｺｰﾅｰ
下足入
ｺｰﾅｰ
厨房
軽食ｺｰﾅｰ
(上足)
券売
軽食ｺｰﾅｰ(下足)
テラス
履物収納箱
履物収納箱
履物収納箱



凡例

記号	名称
◎	TV用MJ
◎	ドアホン
◎	インターホン親機
▣	トイレ呼出釦
●	トイレ呼出設備復旧釦
○	トイレ呼出設備表示灯
▥	トイレ呼出設備表示盤3窓
◷	長波時計　CHマイナス300
□	アウトレットボックス四角中浅

特記なき配管配線は下記通りとする		保護管	配線配管凡例	
(テレビ)				天井・壁スラブ打込み配管
5C	EM-同軸5C - FB	(PF22)		天井内ケーブル配線
(呼出)				床スラブ打込み配管
	EM-AE1.2mm-2C	(PF16)		露出配管
	EM-AE1.2mm-3C	(PF16)		
(電波時計)				
AE	EM-AE1.2mm-2C	(PF16)		
(機械警備用空配管)				
E	呼び線1.2mm	(PF16)(E19)		

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	テレビ共同受信・情報表示・機械警備用空配管設備　1階平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	計画　製作　調査　調査	図面番号 E-21

放送設備　系統図

凡例

- AMP ： 業務用ラック型アンプ
- ： 天井埋込型スピーカー
- ： 天井埋込型スピーカー　ＡＴＴ付
- WP ： 天井埋込型スピーカー防滴型
- ： 木製壁掛型スピーカー　ＡＴＴ付
- ： ワイドホーンスピーカー（１W）
- P ： ワイドホーンスピーカー　ポール付（３W）
- ： アッテネーター
- ： ワゴン接続盤（ＡＶ設備）
- ： ハンドホール
- No. ： 業務放送系統番号

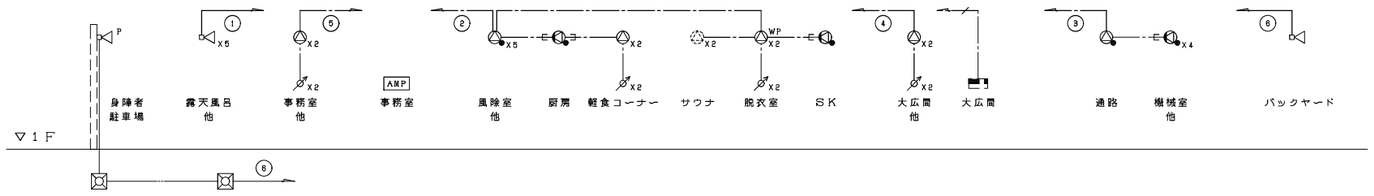
注記

特記なき配線・配管は下記とする。

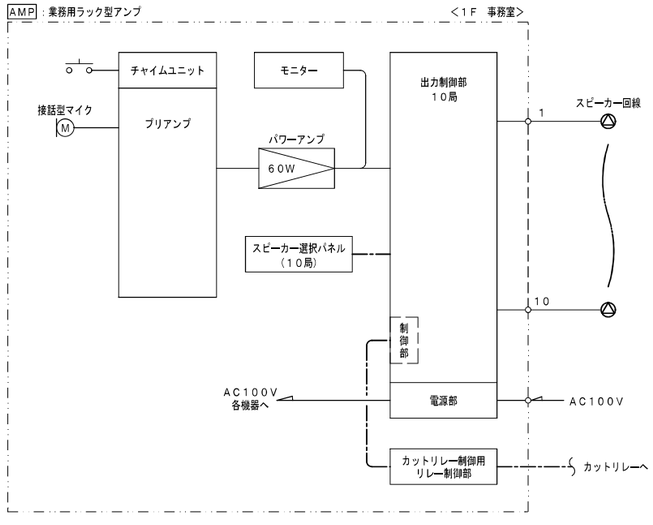
- ——／—— ＡＥ１．２−２Ｃ　（コロガシ配線）
- ——・—— ＡＥ１．２−３Ｃ　（コロガシ配線）
- ———— ＡＥ１．２−３Ｃ　（１９）
- - - - - ＡＥ１．２−３Ｃ　（ＦＥＰ３０）地中埋設

■放送系統表

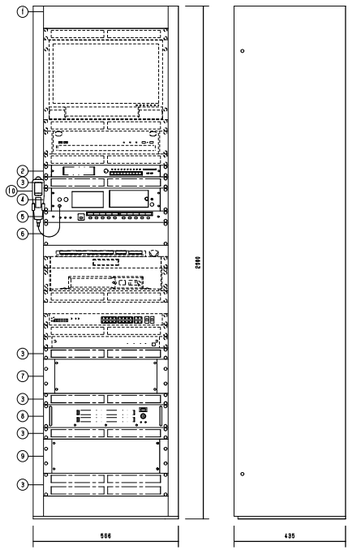
No.	業務系統番号	系統名称 階	系統名称 名称（放送エリア）
1	①	1	露天風呂他
2	②	1	風除室他
3	③	1	機械室他
4	④	1	大広間他
5	⑤	1	事務室他
6	⑥		屋外
7	⑦		予備
8	⑧		
9	⑨		
10	⑩		



放送設備　システムブロック図



AMP　業務用ラック型アンプ



No.	名称
1	キャビネットラック
2	モニター
3	通気パネル
4	プリアンプ
5	スピーカー選択パネル　１０局
6	ブランクパネル
7	カットリレー制御用リレー制御部
8	パワーアンプ　６０W
9	出力制御部　１０局
10	接話型マイク

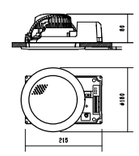
※破線はＩＴＶ機器

電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
定格出力	６０W
入力回路	入力１：マイク×１、ライン×１
	入力２：マイク×１、ライン×１
	入力３：ライン×４
	優先順位は入力１、入力２、入力３
	チャイムユニット内蔵
出力制御	１０局ｈｅｒ斉
■モニター	
入力	１０系統
メーター	７点ＬＥＤメーター
モニタースピーカー	ダイナミック型
制御信号入力	非常制御、トークスイッチ
その他	ＡＣアダプター共
■接話型マイク	
型式	単一指向性ダイナミック型
その他	トークスイッチ付
■その他	
	カットリレー制御用リレー制御部　組込

天井埋込型スピーカー　１W結線

天井埋込型スピーカー　ＡＴＴ付　１W結線

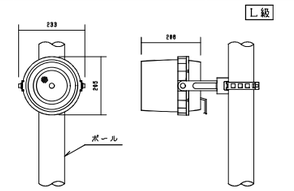
Ｌ級



	ＡＴＴ無	ＡＴＴ付
定格入力	３W（３．３ kΩ）、１W（１０ kΩ）	
出力音圧レベル	９３ dB（１ W、１ m）	
周波数特性	１００ Ｈｚ～１８ kＨｚ	
スピーカー	１２ cmコーン型	
音量調節	―――	５段切換
仕上	ネット：アルミ　オフホワイト	
その他	防塵カバー一体型	

ワイドホーンスピーカー　３W結線

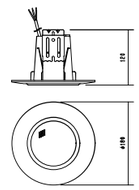
Ｌ級



定格入力	６W（１．７ kΩ）、３W（３．３ kΩ）、１W（１０ kΩ）
出力音圧レベル	９６ dB（１ W、１ m）
周波数特性	１３０ Ｈｚ～１３ kＨｚ
スピーカー	１２ cm防滴コーン型
仕上	ホーン・カバー：樹脂　オフホワイト
その他	防水性能：ＩＰＸ４、ポール取付金具付

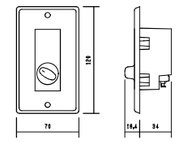
WP　天井埋込型スピーカー（防滴型）　３W結線

※ Ｗ時：Ｌ級
連続放音の測定で
９２ dB（Ａ）以上
（１ Ｗ時：Ｍ級）



定格入力	３W（３．３ kΩ）、１W（１０ kΩ）
出力音圧レベル	８８ dB（１ W、１ m）
周波数特性	１８０ Ｈｚ～２０ kＨｚ
スピーカー	８ cm防滴コーン型
仕上	ボディ：樹脂　オフホワイト
	パンチングネット：ステンレス
その他	防水性能：ＩＰＸ４

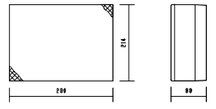
アッテネーター



入力容量	０．５～６ Ｗ
音量切換	５段階切換
仕上	プレート：アルミ

木製壁掛型スピーカー　ＡＴＴ付　１W結線

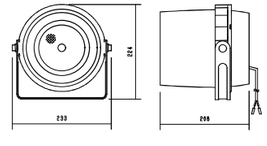
Ｌ級



定格入力	３W（３．３ kΩ）、１W（１０ kΩ）
出力音圧レベル	９５ dB（１ W、１ m）
周波数特性	１６０ Ｈｚ～１７ kＨｚ
スピーカー	１６ cmコーン型
仕上	本体：木製　ライトグレー
	ネット：ジャージ　ライトグレー
その他	巻込型コネクターによるワンタッチ結線、音量調節器付

ワイドホーンスピーカー　１W結線

Ｌ級



定格入力	６W（１．７ kΩ）、３W（３．３ kΩ）、１W（１０ kΩ）
出力音圧レベル	９６ dB（１ W、１ m）
周波数特性	１３０ Ｈｚ～１３ kＨｚ
スピーカー	１２ cm防滴コーン型
仕上	ホーン・カバー：樹脂　オフホワイト
その他	防水性能：ＩＰＸ４

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	放送設備　系統図・機器姿図	縮尺 N・S	図面番号 E−22

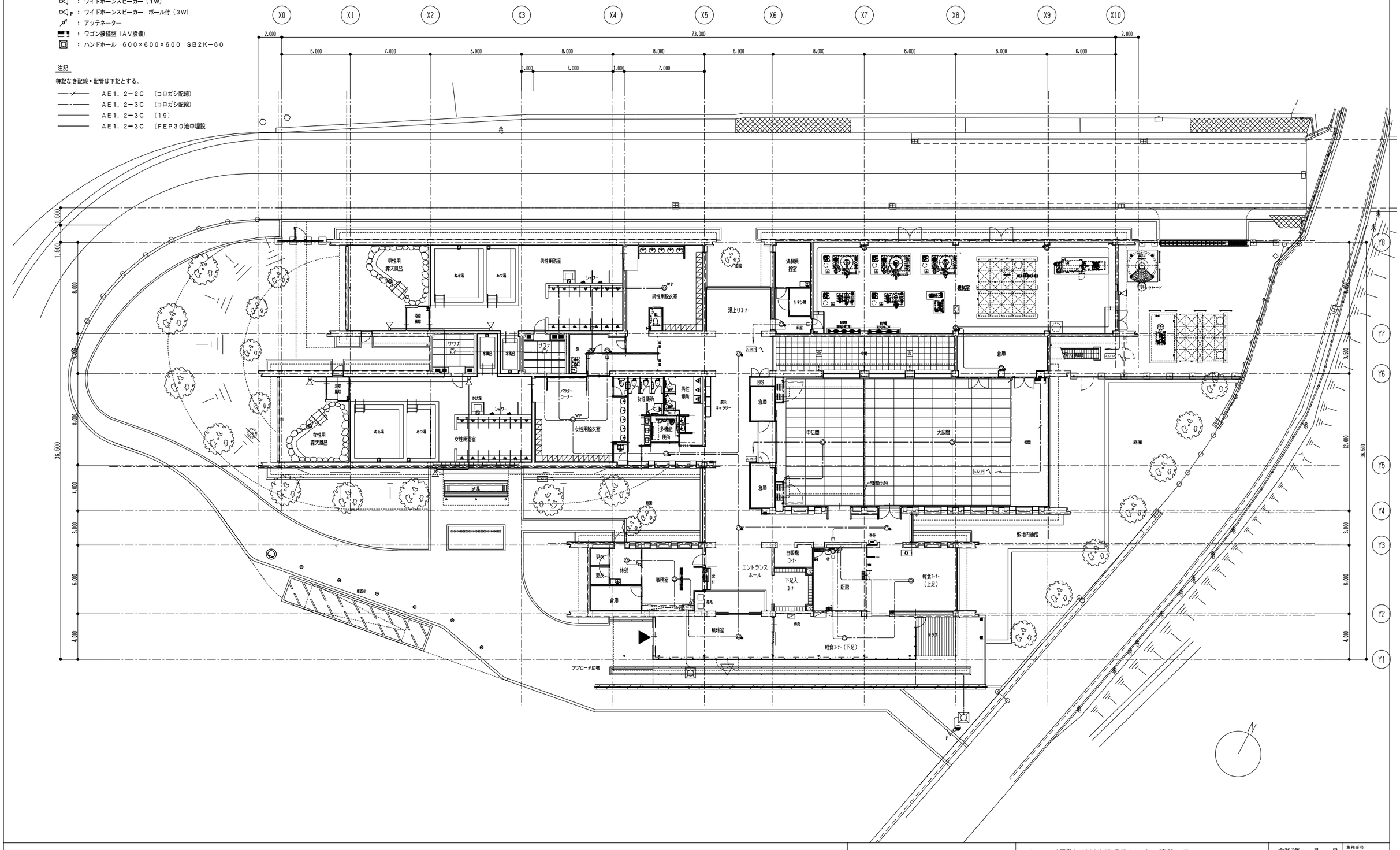
凡例

- AMP ： 業務用ラック型アンプ
- ： 天井埋込型スピーカー
- ： 天井埋込型スピーカー　ＡＴＴ付
- WP ： 天井埋込型スピーカー防滴型
- ： 木製壁掛型スピーカー　ＡＴＴ付
- ： ワイドホーンスピーカー（1W）
- P ： ワイドホーンスピーカー　ポール付（3W）
- ： アッテネーター
- ： ワゴン接続盤（ＡＶ設備）
- ： ハンドホール　６００×６００×６００　ＳＢ２Ｋ－６０

注記

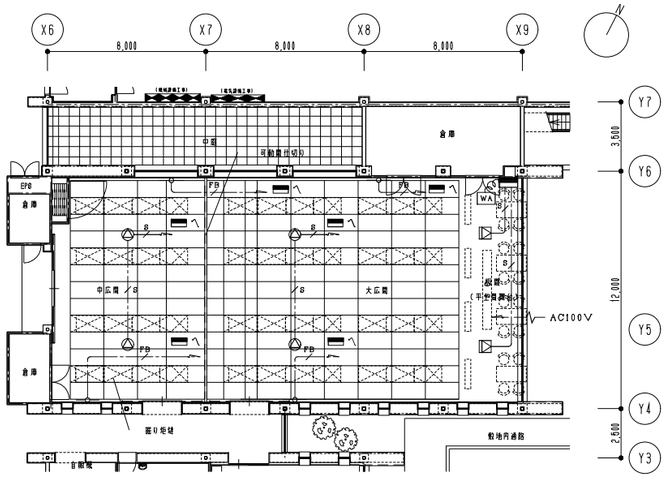
特記なき配線・配管は下記とする。

- ＡＥ１．２－２Ｃ　（コロガシ配線）
- ＡＥ１．２－３Ｃ　（コロガシ配線）
- ＡＥ１．２－３Ｃ　（１９）
- ＡＥ１．２－３Ｃ　（ＦＥＰ３０地中埋設



	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日	業務番号 257031
	図面名	放送設備　１階平面図	縮尺 A1 1:150 A3 1:300	計画　製作　調査　調査	図面番号 E-23

中広間・大広間　ＡＶ設備　平面図　　Ｓ＝１：１５０



凡例

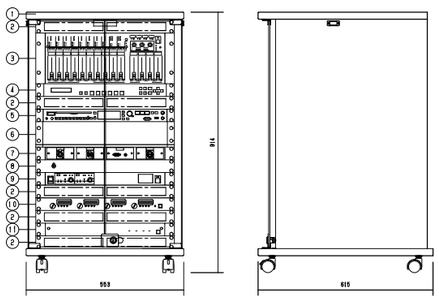
- WA ：ワゴンアンプ
- ：ワゴン接続盤
- ：メインスピーカー
- ：サブスピーカー
- ：ワイヤレスアンテナ
- 150：１５０型電動スクリーン

注記

特記なき配線・配管は下記とする。

- 4S8　（コロガシ配線）
- 5C−FB　（コロガシ配線）

ワゴンアンプ

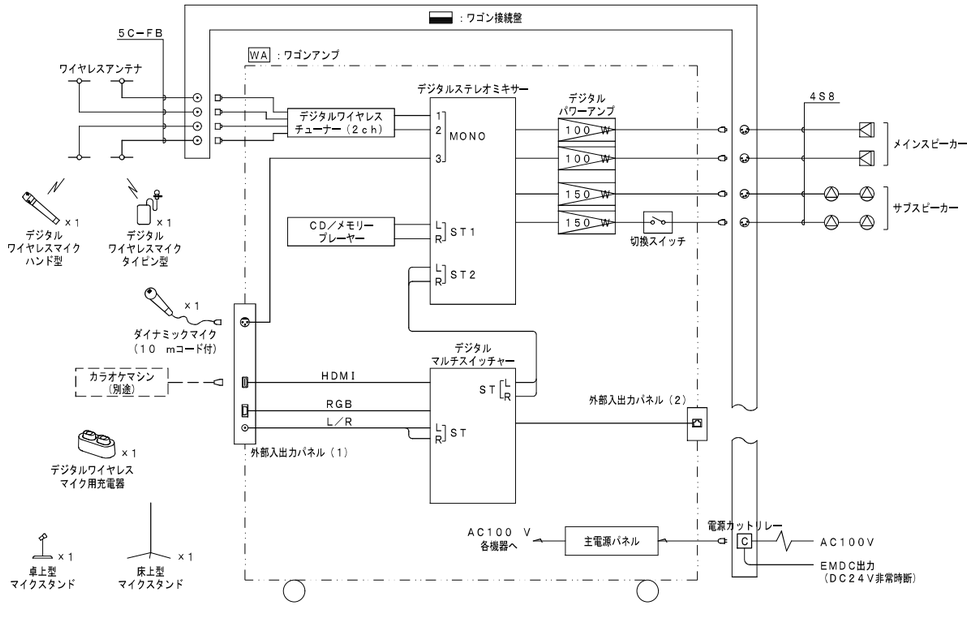


No.	名　　称
1	木製ワゴン
2	通気パネル
3	デジタルステレオミキサー
4	デジタルマルチスイッチャー
5	ＣＤ／メモリープレーヤー
6	棚パネル
7	外部入力出力パネル
8	切換スイッチ
9	デジタルワイヤレスチューナー
10	デジタルパワーアンプ　１００Ｗ×４
11	主電源パネル

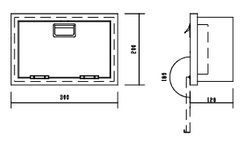
■デジタルステレオミキサー	
入　　力	モノラル×８、ステレオ×７
出　　力	モノラル×４、録音（Ｌ，Ｒ）
信　号　処　理	自動音場補正（ＡＲＣ）×４（各系統独立設定）
	ハウリング抑制（ＦＢＳ）×８（各系統独立設定）
	オートミュート（ＤＵＣＫＥＲ）×１（独立制御）
	フィルター×８（各系統独立設定）
	トーンコントローラー×１０（各系統独立設定）
	パラメトリックイコライザー×４
機　　能	フロントパネルロック機能
	機能設定用ロータリーエンコーダー×３
	ファンタム電源内蔵
制　　御	プリセットメモリー×１６（前面プリセットスイッチ×４）
	接点入力×８、接点出力×８
	リモートコントロールパネル接続可
ネットワークＩ／Ｆ	１０ＢＡＳＥ−Ｔ／１００ＢＡＳＥ
そ　の　他	前面ステレオミニジャック付
■ＣＤ／メモリープレーヤー	
音　声　出　力	アナログ×２、チューナー×１
演奏可能ディスク	ＣＤ、ＣＤ−Ｒ、ＣＤ−ＲＷ、
	ＵＳＢメモリー、ＳＤ／ＳＤＨＣカード
再生ファイル形式	ＣＤ−ＤＡ、ＷＡＶ、ＭＰ３、ＡＡＣ、ＷＭＡ
再　生　モ　ー　ド	連続、シングル、ランダム、リピート
そ　の　他	Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈレシーバー、
	ＡＭ／ＦＭラジオチューナー、
	ＲＳ−２３２Ｃ制御端子付
■外部入出力パネル	
コ　ネ　ク　タ　ー	マイク用：ＸＬＲ−３−３１Ｆ７７×１
	ＨＤＭＩ用：ＨＤＭＩ×１
	ＲＧＢ用：Ｄ−ｓｕｂ１５Ｐ×１
	ステレオミニピンジャック×１
	プロジェクター用：ＲＪ−４５×１
■デジタルワイヤレスチューナー	
受　信　周　波　数	８００ ＭＨｚ帯　２波実装済
入　　力	アンテナ×４、ミキシング×１
出　　力	単独×２、ミキシング×１
機　　能	デジタルトゥルーダイバシティ受信、
	接点出力×２、ソフトによるシステム状態監視
■木製ワゴン	
仕　　上	コート紙　黒
	扉：透明強化ガラス（鍵付）、２７０°開閉
そ　の　他	キャスター、３Ｕ中継用パネル付属
■その他	
	棚パネル、主電源パネル組込

電　　源	ＡＣ１００　Ｖ　５０／６０　Ｈｚ
定　格　出　力	１５０ Ｗ×４（４ Ω）／１００ Ｗ×４（８ Ω）
■デジタルマルチスイッチャー	
映　像　入　力	５ｃｈ（ＨＤＭＩ×４、ＤＶＩ−Ｉ×１（アナログと切換））
音　声　入　力	デジタル：５ｃｈ（ＨＤＭＩ×４、ＤＶＩ−Ｉ×１）
	アナログ：３ｃｈ（ターミナルブロック）（デジタルと切換）
映　像　出　力	ＨＤＭＩ／ＤＶＩ、ＨＤＢａｓｅＴ（分配出力）
音　声　出　力	アナログ：１ｃｈ
機　　能	スキャンコンバーター、リップシンク、
	外部制御、プリセットメモリー
■切換スイッチ	
ス　イ　ッ　チ	トグルスイッチ×１

中広間・大広間　ＡＶ設備　システムブロック図

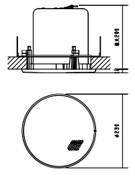


ワゴン接続盤



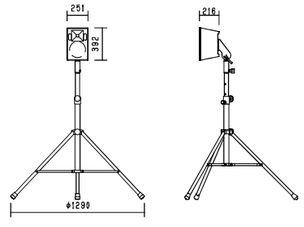
コ　ネ　ク　タ　ー	ワイヤレス用：ＢＣＪ−ＲＵ×４
	スピーカー用：ＸＬＲ−４−３２Ｆ７７×４
	電源用：ＡＣコンセント（カットリレー内蔵）×１
仕　　上	表面処理鋼板　ライトアイボリー
そ　の　他	Ｍ５アース端子、平面ラッチ錠タイプハンドル

サブスピーカー



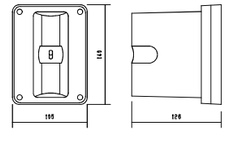
定　格　入　力	３０ Ｗ（３３０ Ω）、１０ Ｗ（１ ｋΩ）
	３ Ｗ（３．３ ｋΩ）、１ Ｗ（１０ ｋΩ）
連続プログラム入力	１２０ Ｗ（８ Ω）
出力音圧レベル	９０ ｄＢ（１ Ｗ，１ ｍ）
周　波　数　特　性	５０ Ｈｚ〜２０ ｋＨｚ
ス　ピ　ー　カ　ー	１２ ｃｍコーン型
そ　の　他	広指向性音響構造

Ｘインスピーカー



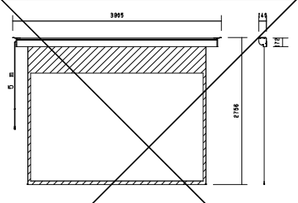
連続プログラム入力	１８０ Ｗ（８ Ω）
出力音圧レベル	９１ ｄＢ（１ Ｗ，１ ｍ）
周　波　数　特　性	５０ Ｈｚ〜２０ ｋＨｚ（−１０ ｄＢ）
指　向　角	水平：１００°、垂直：１００°
ス　ピ　ー　カ　ー	２０ ｃｍＰＰコーン型
	２５ ｍｍドームツイーター
そ　の　他	エンクロージャ：黒、スタンド付
	垂直方向：１０°ごとに角度調節可

壁取付用ワイヤレスアンテナ



電　　源	ＤＣ７〜１２ Ｖ（本体より供給）
消　費　電　流	１５ ｍＡ（９ Ｖ時）
受　信　周　波　数	８００ ＭＨｚ帯
ダイポール比相対利得	約＋８ ｄＢ
ア　ッ　テ　ネ　ー　タ　ー	０、−１０、−２０ ｄＢ
そ　の　他	防水性能：ＩＰＸ２
	壁取付用

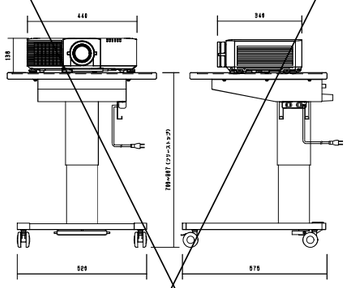
１５０型電動スクリーン



電　　源	ＡＣ１００　Ｖ　５０／６０　Ｈｚ
型　　式	モータードライブタイプ
スクリーンサイズ	３２３１×２０１９ ｍｍ（１６：１０）
仕　　上	スクリーン生地：ファイバーグラス　リアホワイト
	ケース：ホワイト
そ　の　他	ワイヤレススイッチ、操作スイッチ、
	取付金具（天井・壁面用）付

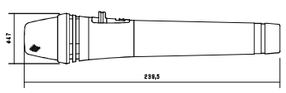
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日	業務番号	257031
図面名	中広間・大広間　ＡＶ設備　平面図・機器姿図（１）	縮尺	Ｎ＝Ｓ	計画　製作　調査　調査	図面番号 E−24

VP　移動型液晶プロジェクター　1台



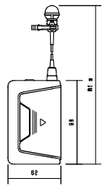
電源	AC100 V 50／60 Hz
有効光束（明るさ）	7300 lm
表示方式	3LCD方式（3原色液晶シャッター式投映方式）
光源	レーザーダイオード
液晶パネル画素数	横1920×縦1200×3（WUXGA）
スピーカー	10W
映像入力端子	HDMI×2、HDBaseT
映像出力端子	HDMI
音声出力端子	ステレオミニ
ネットワーク/制御出力端子	RS−232C（プロジェクター制御用）、
	有線LAN、無線LAN、DC Out
USB端子タイプA	2
投写レンズ	明るさ：1．5～1．7
	焦点距離：20．0～31．8
	倍率：1．6倍（光学ズーム）
	ズーム／フォーカス：手動
	レンズシフト方向：上下50%、左右20%
	レンズシフト方法：手動
その他	アジャスタブルマルチスタンド付

デジタルワイヤレスマイク　ハンド型　1本



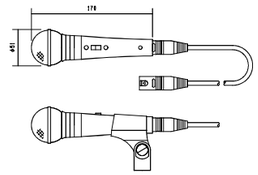
電波型式	F1E／F1D
送信周波数	800 MHz帯（30波のうち1波スイッチ切換）
発振方式	PLLシンセサイザー方式
使用マイクロホン	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
機能	デジタル伝送方式、コード設定（10パターン）、
	セキュリティ設定、送信出力／マイク感度切換
仕上	ボディー：樹脂　ダークグレー

デジタルワイヤレスマイク　タイピン型　1台



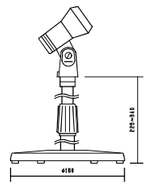
電波型式	F1E／F1D
送信周波数	800 MHz帯（30波のうち1波スイッチ切換）
発振方式	PLLシンセサイザー方式
使用マイクロホン	単一指向性バックエレクトレットコンデンサー型
機能	デジタル伝送方式、コード設定（10パターン）、
	セキュリティ設定、送信出力／マイク感度切換
仕上	ボディー：樹脂　ダークグレー

ハンド型ダイナミックマイク　1本



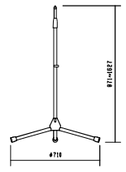
定格インピーダンス	600 Ω（平衡型）
指向性	単一指向性
周波数特性	70 Hz～15 kHz
定格感度レベル	−54 dB
仕上	メタリックグレー
その他	トークスイッチ付、マイク延長コード10 m
	（2芯シールド キャノン対キャノン）付

卓上型マイクスタンド　1台



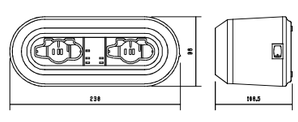
型式	卓上型2段式
使用可能マイク	マイク径：φ18～φ35 mm
	最大マイク質量：500 g

床上型マイクスタンド　1台



型式	床上型2段式
取付ねじ	NS5／8，U5／16

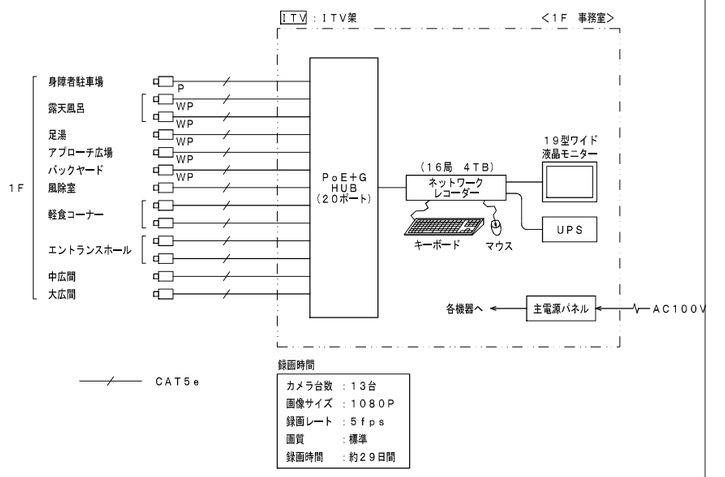
デジタルワイヤレスマイク用充電器　1台



電源	AC100 V 50／60 Hz
	（ACアダプター（付属）使用）
充電時間	約2時間
充電台数	2台
仕上	ケース：樹脂　黒

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	中広間・大広間　AV設備　機器姿図（2）	縮尺	N・S	計画　製作　調査　調査	図面番号 E−25

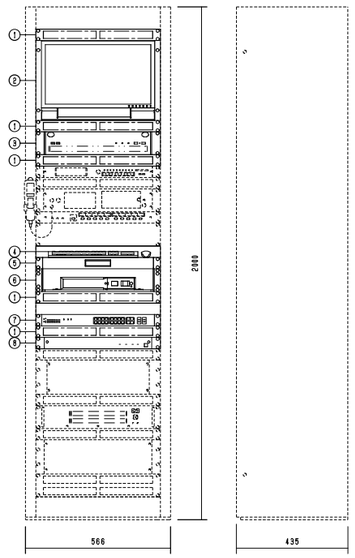
ＩＴＶ設備　システムブロック図



録画時間

カメラ台数	：１３台
画像サイズ	：１０８０Ｐ
録画レート	：５ｆｐｓ
画質	：標準
録画時間	：約２９日間

ＩＴＶ架



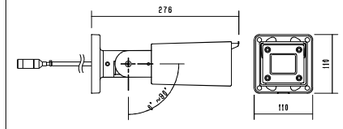
No.	名　称
1	通気パネル
2	１９型ワイド液晶モニター
3	ネットワークレコーダー
4	キーボード／マウス
5	スライド棚
6	ＵＰＳ
7	ＰｏＥ＋Ｇスイッチ２０ポート
8	主電源パネル

＊破線は設置機器

電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
■１９型ワイド液晶モニター	
液晶パネル	１８．５型ワイド　ＴＮ（アンチグレア）
視野角	水平：１７０°、垂直１６０°
入力	映像×４、音声×３
出力	音声×１
モニター可動範囲	チルト：上３０°
その他	スピーカー内蔵

■ネットワークレコーダー	
記録メディア	ＳＡＴＡ　ハードディスク　４　ＴＢ（４　ＴＢ×１）
カメラ録画録音台数	最大１６台
モニター出力	ＨＤＭＩ・ＤｉｓｐｌａｙＰｏｒｔ・アナログＲＧＢ各１
音声入出力	ライン入力・マイク入力・ライン出力　各１
接点入出力	無電圧メイク接点入力・オープンコレクター出力　各４
ライブ画面表示	１画面、３／４／６／８／９／１５／
	１６分割、シーケンス
再生画面表示	１画面、４分割、最大１６分割、全方位カメラ画像補正
録画画像サイズ	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：２５９２×１９４４他
総フレームレート	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：４８０　ｆｐｓ
リモートビューアー接続数	最大１６台
デュアルモニター機能	クローンモード、サブモニター（ライブ／マップ表示）
エクスポート機能	静止画、完期バックアップ、ＵＳＢメモリー／外付ＨＤＤ
音声送信	カメラまたはＩＰスピーカーへの個別放送、
	ＩＰスピーカーへのグループ放送
	（最大登録：カメラ・ＩＰスピーカー　各１６台）
センシング連動	対応カメラとの組合せでアナログ計器センシング
	白杖認識滞在・通過人数カウント、顔認証を利用可能
その他	プリ・ポストアラーム録画、ＮＴＰサーバー／クライアント
	ＰＣレスマップ機能、カメラ制御（ポイントビュー、
	ズームビュー他）ライブ／再生フルスクリーン表示・デジ
	タルズーム、プログラムイベント機能、ライブ再配信機能
	センシングデータ保存／グラフ表示／ＩＰスピーカー制御
スマートフォンアプリ連携	アプリへのライブ配信／再生配信／プッシュ通知、
（ＴＲＩＦＯＲＡ Ｍｂｉｌｅ）	アプリからのリモコン操作／音声操作
■ＵＰＳ	
出力定格容量	５００　ＶＡ（３００　Ｗ）
バッテリー	鉛バッテリー
	容量：７．２　Ａｈ／６　Ｖ×２個
	期待寿命：４～５年（周囲温度２０℃）
停電／復電切換時間	８　ｍｓ以内
■ＰｏＥ＋Ｇスイッチ２０ポート	
ＵＴＰポート数	２０ポート　１０／１００／１０００ＢＡＳＥ－Ｔ
拡張モジュールスロット	ＳＦＰ：４（ポート１７～２０と選択）
機能	ＶＬＡＮ、ＱｏＳ、リンクアグリゲーション
	ＭＳＴＰ／ＲＳＴＰ／ＳＴＰ
静音機能	あり
バッファースイッチング容量	５１２　ＫＢ／４０　Ｇｂｐｓ
■その他	
	キーボード／マウス、スライド棚、
	主電源パネル　組込

２Ｍ屋外赤外ネットワークカメラ



電　源	ＰｏＥ（ＩＥＥＥ８０２．３ａｆ）、ＤＣ１２　Ｖ
撮像素子	１／２．８型ＣＭＯＳ　約２１３万画素
最低被写体照度	０．ｌｘ（５０　％、白黒、Ｆ１．３、赤外ＬＥＤ点灯）
赤外ＬＥＤ照射距離	最大６０　ｍ
ダイナミックレンジ	１０２　ｄＢ以上
画像圧縮方式	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：ストリーム１～４
	ＪＰＥＧ：ストリーム３，４
画像サイズ	最大１９２０×１０８０（最大３０　ｆｐｓ）
レンズ部	ｆ＝３．３～１０．０　ｍｍ
	（３倍・電動ズーム・電動フォーカス）
機能	ＩＰ６６、親水コート、ＡＩプロセッサー、
	ワイドダイナミック、デイナイト、
	モーションディテクト、いたずら検知、
	デジタルＰＴＺ、デジタルツアー、ＤＮＲ、
	高画質エリア、プライバシーマスク、
	アクセス制限機能、ＨＴＴＰ（Ｓ）イベント通知
	ＳＤカード録画（パスワードロック）、
	ＴＲＩＦＯＲＡスマートキッティング、
	プログラムイベント、拡張アプリ（人数カウント）

ＩＴＶ設備　系統図

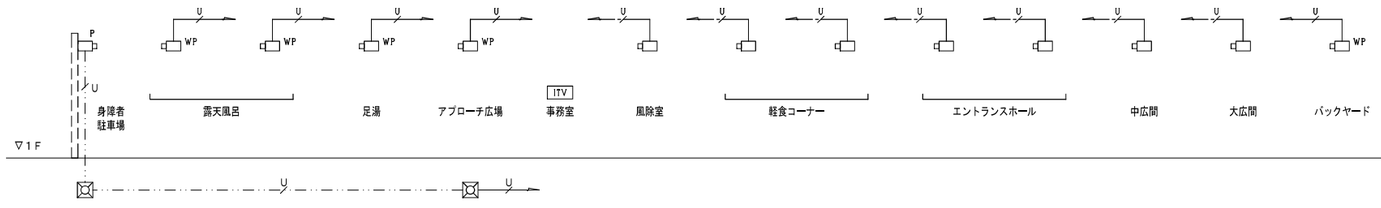
凡例

- ＩＴＶ：ＩＴＶ架
- ：２Ｍドーム型ネットワークカメラ
- ＷＰ：２Ｍ屋外赤外ネットワークカメラ
- Ｐ：２Ｍ屋外赤外ネットワークカメラ（ポール付）

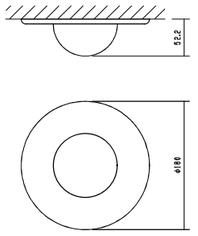
注記

特記なき配線・配管は下記とする。

- ＣＡＴ５ｅ（コロガシ配線）
- ＣＡＴ５ｅ（１９）
- ＣＡＴ５ｅ（ＦＥＰ３０）地中埋設

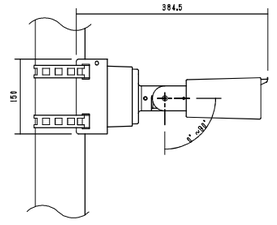


２Ｍドーム型ネットワークカメラ



電　源	ＰｏＥ（ＩＥＥＥ８０２．３ａｆ）、ＤＣ１２　Ｖ
撮像素子	１／２．８型ＣＭＯＳ　約２１３万画素
最低被写体照度	０．０００６７　ｌｘ（２０　％、白黒、Ｆ１．３、
	スローシャッター１５／３０秒、換算値）
ダイナミックレンジ	１０２　ｄＢ以上
画像圧縮方式	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：ストリーム１～４
	ＪＰＥＧ：ストリーム３，４
画像サイズ	最大１９２０×１０８０（最大３０　ｆｐｓ）
レンズ部	ｆ＝３．３～１０．０　ｍｍ
	（３倍・電動ズーム・電動フォーカス）
機能	ＡＩプロセッサー、ワイドダイナミック、
	デイナイト、モーションディテクト、
	いたずら検知、　デジタルＰＴＺ、デジタルツアー
	ＤＮＲ、高画質エリア、プライバシーマスク
	高画質エリア、プライバシーマスク、
	アクセス制限機能、ＨＴＴＰ（Ｓ）イベント通知
	ＳＤカード録画（パスワードロック）、
	ＴＲＩＦＯＲＡスマートキッティング、
	プログラムイベント、拡張アプリ（人数カウント）
その他	天井埋込金具付

２Ｍ屋外赤外ネットワークカメラ（ポール付）



電　源	ＰｏＥ（ＩＥＥＥ８０２．３ａｆ）、ＤＣ１２　Ｖ
撮像素子	１／２．８型ＣＭＯＳ　約２１３万画素
最低被写体照度	０．ｌｘ（５０　％、白黒、Ｆ１．３、赤外ＬＥＤ点灯）
赤外ＬＥＤ照射距離	最大６０　ｍ
ダイナミックレンジ	１０２　ｄＢ以上
画像圧縮方式	Ｈ．２６５，Ｈ．２６４：ストリーム１～４
	ＪＰＥＧ：ストリーム３，４
画像サイズ	最大１９２０×１０８０（最大３０　ｆｐｓ）
レンズ部	ｆ＝３．３～１０．０　ｍｍ
	（３倍・電動ズーム・電動フォーカス）
機能	ＩＰ６６、親水コート、ＡＩプロセッサー、
	ワイドダイナミック、デイナイト、
	モーションディテクト、いたずら検知、
	デジタルＰＴＺ、デジタルツアー、ＤＮＲ、
	高画質エリア、プライバシーマスク、
	アクセス制限機能、ＨＴＴＰ（Ｓ）イベント通知
	ＳＤカード録画（パスワードロック）、
	ＴＲＩＦＯＲＡスマートキッティング、
	プログラムイベント、拡張アプリ（人数カウント）
その他	配線ボックス、ポール取付金具・取付バンド付

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	ＩＴＶ設備　系統図・機器姿図	縮尺	Ｎ・Ｓ	計画　製作　調査　調査	図面番号 E-26

凡例

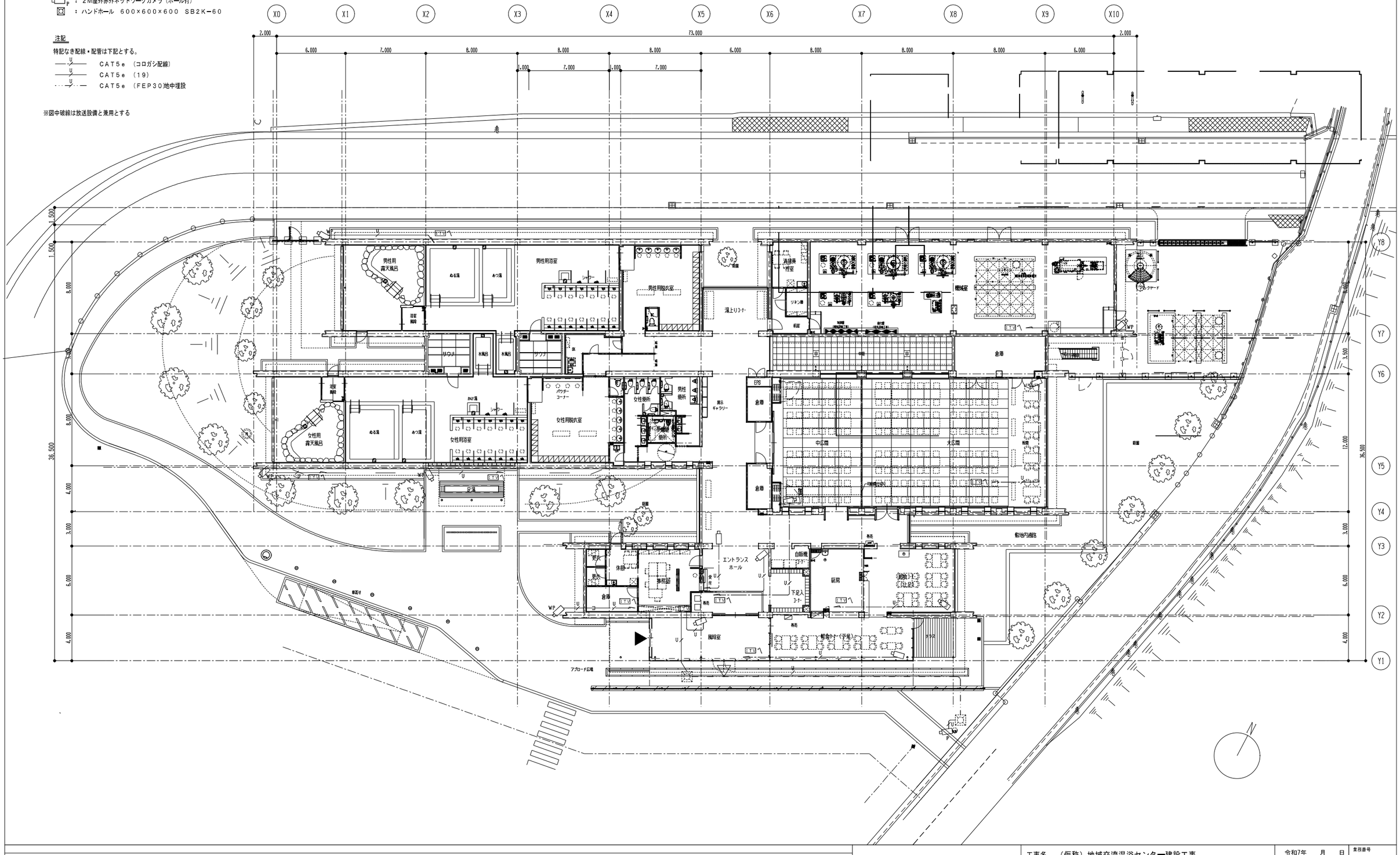
- ITV ：ＩＴＶ架
- ：２Ｍドーム型ネットワークカメラ
- WP ：２Ｍ屋外赤外ネットワークカメラ
- P ：２Ｍ屋外赤外ネットワークカメラ（ポール付）
- ：ハンドホール　６００×６００×６００　ＳＢ２Ｋ－６０

注記

特記なき配線・配管は下記とする。

- CAT5e （コロガシ配線）
- CAT5e （19）
- CAT5e （FEP30地中埋設

※図中破線は放送設備と兼用とする



工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号	257031
図面名　ＩＴＶ設備　１階平面図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300		図面番号	E-27

凡　　例

記　号	名　　称	備　　考
⊠	受　　信　　機	註記参照
□	機　器　収　容　箱	埋込型　　縦型　　Ⓑ Ⓟ　　収容
Ⓑ	電　　鈴	ＤＣ２４Ｖ　　露出型
Ⓑ	電　　鈴	ＤＣ２４Ｖ　　防雨型
Ⓑ	電　　鈴	ＤＣ２４Ｖ　　防雨型　（別途工事）
Ⓟ	フ　ラ　ッ　ト　発　信　機	Ｐ型１級 専用表示灯（２４Ｖ　ＬＥＤ）付
S	光電式スポット型感知器	２種　露出型　オムニビュー 自動試験・自動感度補正
○	差動式スポット型感知器	２種　露出型 オムニビュー・自動試験
■○	差動式スポット型感知器	２種　防水露出型 オムニビュー・自動試験
○	定温式スポット型感知器	特種　露出型　６０℃ オムニビュー・自動試験
○	定温式スポット型感知器	特種　防水露出型　６０℃ オムニビュー・自動試験
○	定温式スポット型感知器	１種　防水露出型　７０℃ オムニビュー・自動試験
○150	定温式スポット型感知器	１種　　１５０℃　（建築工事）
Ω	終　　端　　器	
Ω	終　　端　　器	地区ベル断線監視用
------	配　管　配　線	露出
——-——	ケ　ー　ブ　ル　配　線	天井いんぺい
□	ジョイントボックス	
——E	配　管　つ　き　出　し	
——-——	警　戒　区　域　境　界　線	
◯	警　戒　区　域　番　号	自火報用
(△▽)	警　戒　区　域　番　号	自火報用

註　記

1　受信機は壁掛型（Ｐ型１級１０回線）窓式とし、表示内訳は下記とする。
　１）表示内訳
　　火災表示　　６Ｌ
　　予備　　４Ｌ

　　合計　　１０Ｌ
　２）表示方式
　　ａ）地区窓式表示
　　ｂ）デジタル表示（７セグメントＬＥＤ３桁×２窓）
　　・回線表示（蓄積中、発報、火災試験、試験異常）
　　・アドレス表示（蓄積中、発報、火災試験、試験異常）
　　・蓄電池電圧表示（電池試験時）
　　・エラーコード表示
　　ｃ）部屋番号表示（７セグメントＬＥＤ５桁×２窓）
　　・蓄積時、発報時に表示
　　ｄ）諸警報窓（６窓）
　　・予備　　６Ｌ
　３）機能
　　ａ）主音響装置（音声警報・音声ガイダンス機能付）
　　ｂ）自動試験機能付
　　ｃ）カラーユニバーサルデザイン対応（ＣＵＤＯ認定品）
　　ｄ）電源自動シャットダウン機能
　　ｅ）汎用移信停止スイッチ（２個）
　　ｆ）故障代表移信
　４）記録装置　内蔵プリンター

2　電鈴は、一斉鳴動方式とする。

3　受信機は、火災代表信号を下記へ移信する。
　予備　　５点

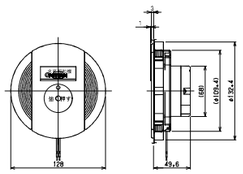
4　サウナ室は別図参照(A-40,41)とする。

5　自動試験機能付の作動確認灯はリング光式（オムニビュー）とする。

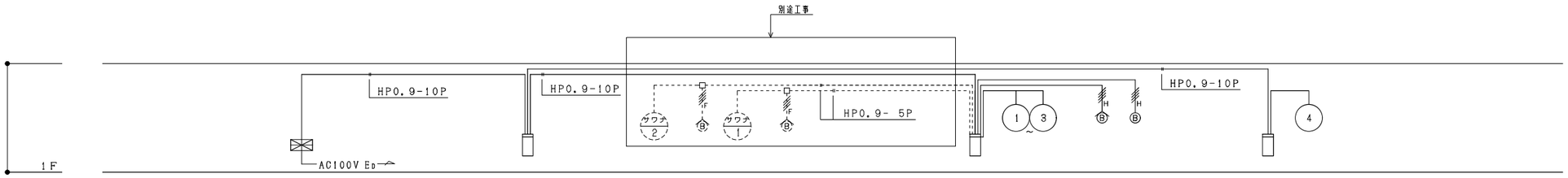
6　特記なき配管配線は下記とする。
　----//---- AE0.9-2C（PF16）　——-//—— AE0.9-2C
　----//---- AE0.9-4C（PF16）　——-//—— AE0.9-4C
　----H//---- HP0.9-4C（PF16）　——H//—— HP0.9-4C
　----F//---- FP1.2-4C（PF16）　——F//—— FP1.2-4C

Ⓟ　フラット発信機（Ｐ型１級　専用表示灯付）

1MM1W-PL

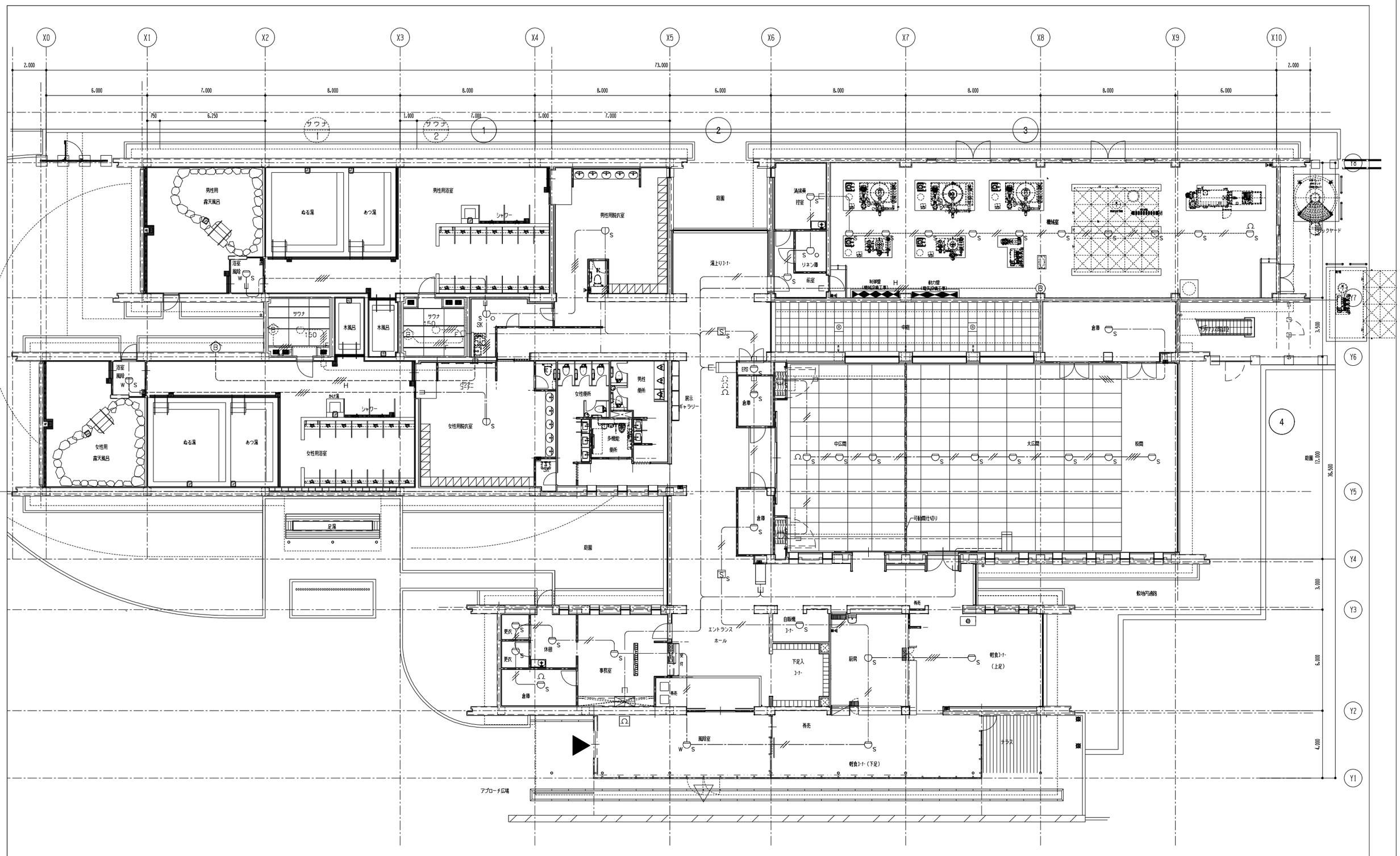


発第２９～１号



系　統　図

***		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名	自動火災報知設備　凡例・註記・系統図	縮尺 A1 1:150 A3 1:300		図面番号 E-28



工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事				令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名 自動火災報知設備 1階平面図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300			図面番号 E-29

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事名称 （仮称）地域交流温浴センター建設工事　設計図

2. 工事場所 神奈川県海老名市本郷地内（本郷299番1ほか）

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
公衆浴場	RC造（一部S造）	地上1階	1,704.28	1,715.39	9項イ	新築

4. 工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目＼建設別及び方式＼工事種別	公衆浴場								屋外
◎空気調和設備	新設一式								
◎換気設備	新設一式								
・排煙設備									
◎自動制御設備	新設一式								
◎衛生器具設備	新設一式								
◎給水設備	新設一式								
◎排水設備	新設一式								
◎給油設備	新設一式								
◎消火設備	新設一式								
・厨房機器設備									
・ガス設備									
・さく井設備									
・浄化槽設備									
・昇降機設備									

5. 指定部分　※ なし　・ あり　（工　期：平成　年　月　日）（対象部分：　）

6. 設備概要　（◎ 印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
空気調和方式等	・空気調和 ・全空気方式 ・ファンコイルユニット，ダクト併用方式 ◎パッケージ方式
	・温風暖房 ・全空気方式 ・ファンコンベクター，ダクト併用方式
	・直接暖房 ・温水暖房 ・
自動制御方式	◎電気式 ・電子式 ・デジタル式 ・空気式 ・中央監視制御
給水方式	・水道直結方式 ・高置タンク方式 ・タンクレスブースター方式 ◎受水槽+加圧給水ポンプ方式
排水方式	建物内の汚水及び雑排水 ◎分流式 ・合流式） 建物外の汚水及び雑排水 ・分流式 ◎合流式） 放流先　汚　水 ◎下水道直放流 ・し尿浄化槽） 　　雑排水 ◎下水道直放流 ・し尿浄化槽 ・側溝 ・別途桝）
給油方式	◎局所式 ◎中央式
消火設備方式	・屋内消火栓 （・湿式 ・乾式） ・連結送水管 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー （・湿式 ・乾式） ・不活性ガス消火 ・泡消化 ・粉末消火 ・連結散水 ・フード等用簡易自動消火
ガス設備方式	・都市ガス　種別（　） kJ／m3（N）（供給圧力　Pa） ・液化石油ガス

Ⅱ. 特記仕様書

1. 一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編，最新版）」（以下「標準仕様書」という。）同部発行・現場監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，最新版）」（以下「標準図という。），及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（最新版）」による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記事項　（1）項目は番号に◎印のついたものを適用する。

（2）特記事項は，◎印のついたものを適用する。◎印の付かない場合は，※印のついたものを適用する。◎印と◎印のついた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	◎ 工事写真の撮り方（建築設備編）（国土交通省大臣官房営繕部監修） ・ ・
	② 機材等	※ 本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
	③ 機材の品質・性能証明	※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。 本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，設備機材は，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して，承諾を受ける。なお，標準仕様書に規定される製作図，試験成績表等を含む。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し開日まで，火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出のこと。
	⑤ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑥ 工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は，ＣＯＲＩＮＳに登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の閲覧を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑦ 手続	工事の着手，施工，完成にあたり，関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお，当該手続きに係わる費用は，請負者の負担とする。
	⑧ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，任意様式にもとづき「事故報告書」を指示する翌日までに監督職員に提出する。
	⑨ 電気保安技術者	※ 適用する　・ 適用しない
	⑩ 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ・ 配管（配管工事）　・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　・ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑪ 足場等	※ 別契約の関係請負者が完置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置 枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省）」によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑫ 工事表示板	※ 設置する　・ 設置しない 海老名市公共工事共通事項書による
	⑬ 監督員事務所	※ 設けない　・ 設ける
	⑭ 工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	15. 工事用仮設物	構内に作ることが　※ できる　・ できない
	⑯ 残土処理	・ 構外搬出　◎ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所にたい積
	⑰ 発生材の処理	（1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・ なし　・ あり（　） （2）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・ なし　・ あり（　） （3）引渡しを要するもの　※ なし　・ あり（　） （4）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分すること。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※ なし　・ あり　（　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・コンクリート　（　） ・コンクリート及び鉄から成る建設資材（　） ・木　材　（　） ・アスファルトコンクリート　（　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　） ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物　（　） 建設リサイクル法 ・ 対象工事 落札が決定した業者は，分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し，契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ・ 対象外工事

章	項目	特記事項
一般共通事項	⑱ 総合調整	※ 本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。（　部）　・ 別途 総合調整の項目 ◎ 風量調整　◎ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定　◎ 騒音の測定　◎ 初期運転状態の記録 ・ 末端水栓の残留塩素濃度の測定　・ し尿浄化槽放流水質の測定 ・ 機器の絶縁抵抗の測定　◎ 水圧試験 測定箇所は，監督職員の指示による。
	⑲ 容量等の表示	（1）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。 （2）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	⑳ 耐震措置	機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課２００５年版監修）による。

設置場所	設計用標準震度			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中層階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
一階及び地下層	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

注（1）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（2）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

（1）本工事の施設は（・一般の施設　・特定の施設）とする。

（2）地域係数は1.0とする。

（3）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

（4）主要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）

（5）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

㉑ 弁等のサイズ　特記されていない弁等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

㉒ 電線類　本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）

23. 浴接部の非破壊検査　対象配管系統　・ 冷温水　・ 冷却水　・ 消火（水用）　・ 油　・ ガス
検査の種類　・ 浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・ 放射線透過検査（ＲＴ）

24. はつり　既存のコンクリート躯の床，壁の配管貫通部等の穴明けは，原則超音波検査後にダイヤモンドカッターによる。

㉕ 支持金物・固定金具　（1）　ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。

（2）振動を伴う機器の支持金物はＤ種接地工事とする。

（3）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は，合成樹脂製の支持受けを使用する。

㉖ 埋戻し土・盛土　図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。

◎ 根切りその良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の焼）　・ 山砂の焼

㉗ 地中埋設標及び埋設表示用テープ　地中埋設標及び埋設用テープは，下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示による。

（1）給水管　◎地中埋設標　◎埋設用表示テープ　（2）ガス管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ

（3）油　管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ　（4）消火管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ

㉘ 保　温　・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。
主機械室：機械室

給排水衛生設備工事の保温の種別

区分		施工箇所	国土交通省記号
管（継手及び弁類を含む）	給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	・a・（ロ）・Ⅶ
		機械室、書庫、倉庫、共同溝	・b・（ロ）・Ⅶ
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	・c_2・（ロ）・Ⅶ
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・d・（ハ）・Ⅶ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・e_2・（ハ）・Ⅶ
	排水管 通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	・a・（ロ）・Ⅶ
		機械室、書庫、倉庫	・b・（ロ）・Ⅶ
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	・c_2・（ロ）・Ⅶ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・e_2・（ハ）・Ⅶ
	給湯管（膨張管を含む）	屋内露出（一般居室、廊下）	・a・（ロ）・Ⅰ
		機械室、書庫、倉庫、共同溝	・b・（ロ）・Ⅰ
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	・c_2・（ロ）・Ⅰ
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・d_2・（ロ）・Ⅰ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・e・（ロ）・Ⅰ
機器	銅板タンク	ー	・f_1・（ロ）・Ⅷ
	貯湯タンク	ー	・g_1・（ロ）・Ⅸ
	排気筒	隠ぺい箇所	・h・（イ）・Ⅹ

空気調和設備工事の保温の種別

区分		施工箇所	国土交通省記号
管（継手及び弁類を含む）	温水管（膨張管を含む）	屋内露出（一般居室、廊下）	・A・（ロ）・Ⅰ
		機械室、書庫、倉庫、共同溝	・B・（ロ）・Ⅰ
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	・C_2・（ロ）・Ⅰ
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・D・（ロ）・Ⅰ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・E_2・（ロ）・Ⅰ
	冷媒管	屋内露出（一般居室、廊下）	・保温付冷媒管
		機械室、書庫、倉庫、共同溝	・保温付冷媒管
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	・保温付冷媒管
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・保温付冷媒管
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	◎北駐カバー＋保温付冷媒管
	冷水及び冷温水管（膨張管を含む）	屋内露出（一般居室、廊下）	・A・（ロ）・Ⅲ
		機械室、書庫、倉庫、共同溝	・B・（ロ）・Ⅲ
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	・C_1・（ロ）・Ⅲ
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・D・（ロ）・Ⅲ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・E_2・（ロ）・Ⅲ
機器	タンク　冷水タンク 冷温水タンク	ー	・F_1・（ロ）・Ⅸ
	温水タンク 還水タンク 防火槽	ー	・G_1・（ロ）・Ⅸ
	膨張タンク	ー	・G_1・（ロ）・Ⅷ
	ヘッダ　冷水ヘッダー 冷温水ヘッダー	ー	・F_1・（ロ）・Ⅸ
	温水ヘッダー 蒸気ヘッダー	ー	・G_1・（ロ）・Ⅸ
一般ダクト	矩形ダクト	屋内露出　一般居室、廊下	・J_1・（ロ）・Ⅹ Ⅰ
		機械室、書庫、倉庫	・Ⅰ・（ロ）・Ⅹ Ⅰ
		屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	・Ⅰ・（ロ）・Ⅹ Ⅰ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）	・K_2・（ロ）・Ⅹ Ⅰ

章	項目	特記事項
一般共通事項	㉙ 塗装	下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外露出　※ 居室
	㉚ 防食処理	土中埋設の隅管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（融金鋭弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）
	㉛ 山留め	切取り面にその面所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
	㉜ 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。
	㉝ 他工事との取り合い	図面に特記なき場合は，別途「工事区分表」による。
	㉞ 施工条件	別添の本工事内容説明事項書による。

章	項目	特記事項
空気調和・冷房・暖房設備	① 設計温湿度	外気：一般系統 夏期 36.6℃ 46.4% ℃ %；冬期 0.1℃ 47.3% ℃ % 室内（頭髪目標値）：一般系統 夏期 26℃ 50% ℃ %；冬期 22℃ 40% ℃ %
	2. ばい煙濃度計	取付箇所は図示による。
	3. 煙　突	※ 別途　・ 本工事（鋼板厚　m、高さ　m以上）
	④ 煙　道	※ 煙道径300mm以下は鋼板厚3.2m，300mmを超えるものは4.5mmとする。　・ 図示による。 （煙道径が400mmを超えるものには，補強口に蝶番を取り付ける。）
	⑤ ダクトの区分	低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）
	⑥ 長方形ダクトの工法	◎ アングルフランジ工法　◎ コーナーボルト工法　（ ◎ 共板　・ スライド）
	⑦ 風量測定口	取付け場所は　・ 図示した位置　・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト　・ 外気取入れダクト
	⑧ チャンバ	風量調整ダンパーの上流又は下流　・ 空調機のサプライチャンバーからの分岐ダクト （1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （2）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びリタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の浸留のないように施工する。
	9. 防煙ダンパ	（1）復帰方式　※ 遠隔式（電気式（定格入力DC24V、0.5A以下） （2）復帰動作　※ 順送り　・ 同時
	⑩ 配管材料	（1）冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （2）冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （3）蒸気管（給気管）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （還水管）　※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）　・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） （4）油管、油用通気管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （5）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管 （6）空気排抹管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （7）冷媒管　※ 断熱材被覆銅管（製造者標準品）　・ 銅管 （8）ドレン管　※ 保温付硬質塩化ビニル管　・
	11. 弁　類	※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ
	12. 銅管用伸縮管継手	※ ベローズ形　・ スリーブ形
	13. 温度計	※ 共通仕様書、標準図による他、図示した箇所に取り付ける。（配管用はＬ形、ダクト用は円形） ・ 空気調和機、送風機据機まわりの給気ダクト、送気ダクト及び外気ダクト ・ 冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各送り管 ・ バッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
	14. 瞬間流量計	※ 差脈可能形（※ 全数　・ 図示による） 差脈可能形の場合，その指示部（・ 40A用　個　・ 100A用　個　・ 250A用　個）を付属する。 ・ 固定形（止水コック付）　・ 測定用タッピング（32mmヒトー管流量計用）
	15. オイルタンク	（1）オイルタンク本体は図示による。 （2）油関油用指示計　※ 取付ける　・ 取付けない （3）計量尺は，青銅製、黄銅製又はアルミ製とし，100ﾘｯﾄﾙ実測目盛刻印とする。計量口は設けとする。
	16. 積算油量計	図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。
	17. 注油口及び指示ｶﾞｳｽ	標準図（機材　６　）による。 ・単独形　・共用形（・ローリーアース付）
	⑱ 消音内貼り	（1）施工箇所は図示による。 （2）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。 （3）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。
	⑲ 保　温	（1）建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。 （2）屋外露出配管の保温は，給水設備の項による。 （3）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※ 要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・ 不要 （4）排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む） （5）冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装 屋内露出部　・ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ 外装なし　・ 屋外　・ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ （6）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　mmとする。
	20. 電気工事の範囲	（1）地震感知器の配管配線　※ 別途　・ 本工事 （2）防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は ※ 別途　・ 本工事
	21. 塗装	（1）屋内露出埋ダクトの塗装（居室を除く）は　※ 行わない　・ 行う （2）屋内露出冷却水配管の塗装（居室は除く）は　※ 行わない　・行う
換気設備	①. 準拠事項	〔 空気調和 ・ 冷房 ・ 暖房設備 〕の当該事項に準ずる。
	2. 開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ	◎ 5 ◎ 6 ◎ 7 ◎ 8 ・ 16 ・ 17 ◎ 18
	③ 厨房用排気ダクト	※ 別途　・ 本工事 ※ 亜鉛鉄板 ◎ ステンレス鋼板（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる）
	④ 厨房用排気ダクト工法	※ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
	⑤ 厨房用排気フード	（1）フード周囲の天蓋（フード面から天井面まで）　※ 取り付ける　・ 取り付けない （2）フードコック　※ 取り付ける　・ 取り付けない （3）材質（天蓋とも）　※ ステンレス鋼板（SUS304）　・ 亜鉛鉄板
	⑥. 多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４５，４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし，水抜き管を設ける。 （　）
	⑦ 塗装	屋内露出埋ダクトの塗装（居室は除く）は　※ 行わない　・ 行う
排煙設備	1. ダクト	・ 亜鉛鉄板製　・ 鋼板製（1,6mm以上）
	2. 排煙口の形式	・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル
	3. 排煙口解放装置	・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル
	4. 排煙風量測定方式	建築設協定煽検査業務指導書（（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
自動制御設備	① 中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。
	② 計装工事の配線	（1）屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。 （2）天井内の隠ぺい配線は，図示に特記がなければケーブル配線とする。
衛生器具設備	① 大便器洗浄弁	不凍結節水弁付とする。
	2. 便器洗浄用タンク	※ 手洗なし　・ 手洗付
	③ 小便器節水装置	※ 節水装置（機能は別図による）　・ 押ボタン式（不凍結節水弁付）
	④ 小便器洗浄管	※ 埋込　・ 露出
	⑤ 付属水栓	吊りこま式（節水こま式）とする。
	⑥ 自動水栓	電源供給方式（　※　ＡＣ１００Ｖ）
	7. 大便器耐火カバー	設ける（ビット内を除く）

章	項目	特記事項
給水設備	① 量水器	（1）親メーター　※ 借用　・ 買取り　（2）子メーターは　※ 買取り
	② 量水器桝	（1）親メーター用　※ 水道事業者の指定品　・ 標準図（機材５３） （2）子メーター用　※ 標準図（機材５７）　・ 水道事業者の指定品
	③ 配管材料	（1）ー給用 ◎ ステンレス鋼管（拡管） ・ 塩ビライニング鋼管（・SGP-VA ・SGP-VB） ・ ポリ粉体ライニング鋼管（・SGP-PA ・SGP-PB） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（・VP ・HIVP） （2）土間配管用（排房、浴室等のシンダー内含む） ◎ ステンレス鋼管（SUS316） ・ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD） ・ ポリ粉体ライニング鋼管（SGP-PD） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（・VP ・HIVP） （3）屋外土中用 ・ ステンレス鋼管（SUS316拡管） ・ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD） ・ ポリ粉体ライニング鋼管（SGP-PD） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（・VP ・HIVP） ・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管 ◎ ポリエチレン管
	④ 不凍水栓柱	化粧ケーシング（　・ アルミ合金製　◎ 合成樹脂製　）
	⑤ 弁　類	（1）水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・ 水道事業所の規定による　Ｋ （2）その他の部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ
	⑦ 給水栓	（1）屋内（　※ ー般水栓　・ 耐寒水栓　）　（2）屋外（　※　耐寒水栓　・ ー般水栓　） 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫とする。
	⑧ 埋設深さ	（1）ー般敷地内（30cm以上）　（2）敷地内車両道路（60cm以上） （3）公道部分（　※　水道事業者及び道路管理者規定による　）
	⑨ 保　温	（1）量水器桝内の保温を行う。 （2）屋外露出配管（弁フランジを含む）は、標準仕様書第２編（表2.3.6 e2・(ハ)）とし、厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は、40mmとする。
	⑩. 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・ 含まない
	11. 水道加入金等	水道加入金　・ 要（　・ 本工事　・ 別途　）　・ 不要 ・ その他（　）
	⑫ その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし，器具接続部分を除く。
排水設備	① 配管材料	（1）屋内汚水管　（3）屋外土中汚水，雑排水管 ・ 排水用鉛ライニング鋼管　・ コンクリート管（１種巻） ・ コーティング鋼管　◎ 硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP ・VU） ・ 鋳鉄管　・ 耐火二層管　ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ三層管（RS-VU） ・ 鉛管　・ ◎ 硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP）　（4）土間配管用 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（RF-VP）　・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 耐火二層管　・ コーティング鋼管 硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP） ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管（RF-VP） ・ （2）屋内雑排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 排水用塩ビライニング鋼管（厨房用排水管） ◎ 硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP）　（5）通気管 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管（RF-VP）　・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 耐火二層管　・ 排水用塩ビライニング鋼管 ◎ 硬質ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（VP） ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆ﾎﾞﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管（RF-VP） ・
	② 排水桝	・ 樹ﾘストは図面番号（M-03） （1）材料　◎ ＲＣ　◎ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ （2）ふた　◎ 鋳鉄製（ ◎ ＭＨＡ　◎ ＭＨＢ　・ Ｔ８Ａ　） ◎ 樹脂製 ※ 県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付 （3）規格　・ 下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・ 排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ） ・ 市町村別基準（　・ 有　・ 無　）
	③ グリース阻集器	・ＦＲＰ製（　Ｌ）　◎ＳＵＳ製（ 45.0Ｌ）　詳細は図示。
	④ 消火試験絞手	図示の箇所に取付け、消水試験を行うこと。
	⑤ 試　験	◎ 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
	6. 放流負担金等	・ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事　）
	7. 基礎材	※ 再生クラッシャラン
給湯設備	① 配管材料	◎ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管　・ 銅管　・ 被覆銅管 ・ 保温付被覆銅管　<ボイラー等への補給水管を含む。>
	② 弁　類	給水設備の当該事項による。
	③ 湯沸器の排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
	④ 保　温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（ｈ・(イ)・Ⅴ Ⅱ）
消火設備	1. 配管材料	（1）ー　般　（2）地中埋設部 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ40）　・ 〃　（ＳＧＰ－ＰＳ） ・ 〃　（ＳＴＰＧ－370ＶＳ） ・ 〃　（ＳＴＰＧ－370ＰＳ） （3）二酸化炭素用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（絖目無管）（Ｓｃｈ80）
	2. 消火栓開閉弁	・ ＪＩＳ10Ｋ　・ ＪＩＳ20Ｋ
	3. 保　温	（1）屋外露出管については給水管に準ずる。 （2）充水タンクの保温　・ 施工しない　・ 施工する （3）消火配管の保温　屋内消火栓　・ 施工しない　・ 施工する スプリンクラー　・ 施工しない　・ 施工する
	4. 消火器類	（1）消火器　種別　・ 数量（　） （2）消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 数量（　）
厨房機器	1. 厨房機器類	図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし，寸法は参考とする。
	2. 付属制御盤	器具付属の制御盤は，製造者規格品とする。
ガス設備	1. 配管材料	（1）ー般　（2）地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 鋼管　・ 塩化ビニル被覆鋼管 ・　・ ガス用ポリエチレン管
	2. 都市ガス	（1）ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 （2）引込み負担金　・ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事　）
	3. 液化石油ガス	（1）ガスボンベ　※ 借用　・ 買い取り　（　・10kg　・20kg　・50kg　本　） （2）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 （3）集合装置　・ 標準図（施工７１）による（　本組） （4）転倒防止等　・ 標準図（施工７２）［・（ａ）　・（ｂ）］　・ ﾎﾞﾙﾄ，ﾅｯﾄ等はSUS製とする。
	4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける　（　・ 分散形　・ ー体形　）　・ 別途電気工事 外部出力端子　（　・ あり　・ なし　）
	5. 埋設深さ	（1）ー般敷

給排水衛生設備　機器表

機器記号	機器名称	設置場所 設置階	設置場所 室名(系統)	台数	機器仕様	付属品	電気容量(50Hz) 相 φ	電圧 V	動力 kW	起動方式	非常電源GC	発停・警報 発停 手元	発停 遠方	異常故障表示	一括警報	備考
WT-1	井水原水槽(井戸)	屋外	設備スペース	1基	型式：ステンレス単板製パネル組立型水槽	600φﾏﾝﾎｰﾙ(鏡付)										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
					呼称容量：3.0 ㎥　有効容量：2.1 ㎥	溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ外梯子										1,400×400×500H×2本
					水槽寸法：1.5 × 1.0 × 2.0mH	合成樹脂製内梯子										
					耐震：1.5G	電極座，通気口										
					架台：溶融亜鉛メッキ平架台　H=100	他標準付属品一式共										
WT-2	井水処理水槽	屋外	設備スペース	1基	型式：ステンレス単板製パネル組立型水槽	600φﾏﾝﾎｰﾙ(鏡付)										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
					呼称容量：20.0 ㎥　有効容量：14.0 ㎥	溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ外梯子										2,400×400×500H×3本
					水槽寸法：4.0 × 2.0 × 2.5mH	合成樹脂製内梯子										
					耐震：1.5G	電極座，通気口										
					架台：溶融亜鉛メッキ平架台　H=100	他標準付属品一式共										
WP-1	井水揚水ポンプ	屋外	設備スペース	1組	型式：オールステンレス製水中タービン渦巻ポンプ	相フランジ，地上部鋳鉄	3	200	1.5×2	直入				○	○	機器参考重量：31.5kg×2台
			受水槽内		（自動交互運転）	他標準付属品一式共										
					能力：40φ × 180 L/min(Max) × 16m											
					特別付属品：制御盤，液面ﾘﾚｰ，二芯ｹｰﾌﾞﾙ，水中ｹｰﾌﾞﾙ延長分											
					ｹｰﾌﾞﾙ止め，ﾎﾟﾝﾌﾟ水槽用電極，受水槽用電極棒											
					横置架台(SUS304製)											
WT-3	受水槽	屋外	受水槽置場	1基	型式：ｽﾃﾝﾚｽ単板製ﾊﾟﾈﾙ組立型ﾎﾟﾝﾌﾟ室付受水槽(二槽式)	600φﾏﾝﾎｰﾙ(鏡付)×2										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
	(上水・井水兼用)				呼称容量：28.6 ㎥　有効容量：25.2 ㎥	溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ外梯子										2,400×4,400×500H
					全体寸法：4.0 × 6.5 × 2.0mH	合成樹脂製内梯子										400×4,400×500H×2本
					水槽寸法：4.0(2.0＋2.0) × 4.5 × 2.0mH	電極座×2，通気口×2										ﾎﾟﾝﾌﾟ室内照明(電気工事)
					ﾎﾟﾝﾌﾟ室寸法：4.0 × 2.0 × 2.0mH	緊急遮断弁装置80A×2										
					板厚：天・側・底 4.5mm	緊急遮断弁装置制御盤共										
					耐震：1.5G	他標準付属品一式共										
					架台：溶融亜鉛メッキ平架台　H=100											
					結露防止：ﾎﾟﾝﾌﾟ室内水槽面のみ複合板											
WPU-1	加圧給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ	屋外	受水槽置場	1組	型式：推定末端圧力一定加圧給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ(流込)	防振ゴムパット，制御盤	3	200	2.2×2	直入				○	○	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
			受水槽ﾎﾟﾝﾌﾟ室内		２台並列３台ローテーション運転(台数制御運転)	圧力タンク(20L)										850×1,200×300H
					能力：50φ×80φ × 630 L/min(Max) × 23m	圧力発信器										電動機：IE3相当
					制御盤：過負荷・漏電・インバーター故障・起動頻度異常	圧力計，連成計										機器参考重量：251kg
					吐出・吸込側圧力発信器異常・外部一括警報端子	他標準付属品一式共										
EHU-1	給湯熱源ユニット	R階	機械置場	7	型式：空冷式ホットウォーターヒートポンプ(R407C)	空調冷熱管理システム	3	200	7.45×2	直入			○	○	○	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
					加熱能力：45.0kW（温水出口60℃時）	(AE-200J)			(圧縮機)							350×1,100×500H×9本
					温水流量：7.8㎥/h（125L/min）	アクティブフィルター	3	200	0.35×2							鉄骨架台：別途建築工事
					循環配管口径：入口 40A，出口 40A	ドレンパン，背面用網			(送風機)							参考型番：CAHV-P500AK2-H
					保護装置：高圧圧力開閉器，過電流保護機能(圧縮機)	リモコン，圧力計										製品重量：494kg
					吐出ガス温度ｾﾝｻ，巻線保護ｻｰﾓ(送風機)	代表水温センサ（配管用）										運転重量：508kg
					ﾊﾟﾜｰﾓｼﾞｭｰﾙ温度ｾﾝｻ	貯湯水温センサ（貯湯槽用）										
					消費電力：17.79kW	貯湯量センサ										
						他標準付属品一式共										
HLP-1	給湯循環ポンプ	R階	機械置場	7	型式：ステンレス製ラインポンプ（屋外設置）	ｽﾃﾝﾚｽ製相ﾌﾗﾝｼﾞ，圧力計	3	200	0.75	直入				○	○	電動機：IE3相当
			(EHU-1系統)		能力：40φ × 125 L/min × 11m	他標準付属品一式共										機器参考重量：18kg
EXT-1	膨張タンク	R階	機械置場	1基	型式：ステンレス単板製開放式膨張タンク	点検口300×300以上										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
					タンク容量：750L	通気口										500×800×500H
					外形寸法：1.0 × 1.0 × 1.0mH，耐震：1.5G	他標準付属品一式共										機器参考重量：253kg
					板厚：天・側・底 3.0mm											
					架台：溶融亜鉛メッキ平架台　H=1,000											
OHEX-1	熱交換器	1階	機械室	1	型式：プレート式熱交換器	逃し弁×2，圧力計×4										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
					交換熱量：315kW	他標準付属品一式共										300×1,300×500H×2本
					熱交換器一時側：70℃→65℃											機器参考重量：382kg
					二次側：60℃→65℃											
HLP-2	温水循環ポンプ	1階	機械室	1	型式：ステンレス製ラインポンプ	ｽﾃﾝﾚｽ製相ﾌﾗﾝｼﾞ，圧力計	3	200	2.2	直入				○	○	電動機：IE3相当
			(EHU-1～HWT-1) 系統		能力：80φ × 910L/min × 5m	他標準付属品一式共										機器参考重量：50kg
PBH-1	ペレットボイラ	1階	機械室	1基	型式：木質ペレット焚全自動温水ボイラ（無圧開放式）	安全装置，バーナ移動ﾚｰﾙ	3	200	2.15	直入			○			ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
					定格熱出力：290kW（250,000kcal/h）	全自動制御盤	1	100	三相電源喪失警報用							4,670×1,500×150H
					伝熱面積：18.3㎡，保有水量：1,100L	他標準付属品一式共										機器参考重量：2,430kg
					木質ペレット燃焼量：最大 68.0kg/h，通常 54.0kg/h											運転重量：3,530kg
					サイクロン集塵機出口径：250φ											
					ＦＲＰ製屋外燃料タンク：5t（9.8㎥），燃料搬送装置											
EXT-2	膨張タンク	1階	機械室	1基	型式：密閉式ダイヤフラム式膨張タンク	他標準付属品一式共										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
			(PBH-1系統)		タンク容量：600L											1,100×1,100×150H
					許容有効容量：480L											機器参考重量：340kg
BHP-1	温水循環ポンプ	1階	機械室	1	型式：ステンレス製ラインポンプ	ｽﾃﾝﾚｽ製相ﾌﾗﾝｼﾞ，圧力計	3	200	11.0	直入				○	○	電動機：IE3相当
			(PBH-1～HWT-1系統)		能力：50φ × 280L/min × 22m	他標準付属品一式共										機器参考重量：34kg

機器記号	機器名称	設置場所 設置階	設置場所 室名(系統)	台数	機器仕様	付属品	電気容量(50Hz) 相 φ	電圧 V	動力 kW	起動方式	非常電源GC	発停・警報 発停 手元	発停 遠方	異常故障表示	一括警報	備考
HWT-1	開放型貯湯タンク	1階	機械室	1基	型式：ｽﾃﾝﾚｽ製ﾊﾟﾈﾙ組立型貯湯槽(保温型・SUS444)	600φﾏﾝﾎｰﾙ(鏡付)										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
			（給湯系統）		呼称容量：62.5 ㎥　有効容量：50.0 ㎥	溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ外梯子										400×4,400×500H×3本
					水槽寸法：5.0 × 5.0 × 2.5mH	SUS製内梯子										製品重量：***kg
					耐震：1.0G	電極座，通気口										
					架台：溶融亜鉛メッキ平架台　H=100	他標準付属品一式共										
					保温材：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ 100mm厚											
					熱交換機：水槽挿入型伝熱管（SUS304製）											
					交換熱量：290 kW											
					熱交換器一次側：温水 70℃ → 60℃（280L/min）											
					寸法：206φ×1,603L（電熱面積 9.68㎡），重量：66kg											
HWPU-1	給湯用自動給水ユニット	1階	機械室	1組	型式：推定末端圧力一定加圧給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ(吸上)	防振ゴムパット，制御盤	3	200	1.5×2	直入				○	○	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
					２台並列３台ローテーション運転(台数制御運転)	圧力タンク(10L)										1,200×950×300H
					能力：40φ×80φ × 460 l/min(MAX) × 18m	圧力発信器										電動機：IE3相当
					制御盤：過負荷・漏電・インバーター故障・起動頻度異常	圧力計，連成計，フート弁										機器参考重量：216kg
					吐出・吸込側圧力発信器異常・外部一括警報端子	他標準付属品一式共										
HP-1	温水循環ポンプ	1階	機械室	1	型式：ステンレス製渦巻ポンプ（4極・直結形）	防振ゴムパット，圧力計	3	200	7.5	直入				○	○	鋼製架台：別途建築工事
			（浴槽ろ過昇温系統）		能力：125φ×100φ × 1.283L/min × 17m	他標準付属品一式共										電動機：IE3相当
																機器参考重量：180kg
EWH-1	ヒートポンプ給湯器	R階	機械置場	1組	型式：小型業務用ｴｺｷｭｰﾄ（ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ・2台連結設置）	防振ゴムパット	3	200	(圧)1.30					○		ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
			（１階 厨房系統）		標準貯湯加熱能力／消費電力：中間期 7.2kW/1.67kW	他標準付属品一式共	3	200	(送)0.05							参考型番：GE-553SU×2台
					夏期 6.0kW/1.22kW，冬期 7.20kW/1.8kW，着霜期 5.3kW/2.2kW											機器参考重量：53kg×2台
					高温貯湯加熱能力／消費電力：中間期 6.1kW/1.95kW											
					夏期 5.0kW/1.45kW，冬期 7.20kW/2.4kW，着霜期 6.0kW/2.5kW											
					接続配管：循環往き 15A，循環戻り 15A，ﾄﾞﾚﾝ VP16											
					貯湯ユニット：屋外用，タンク容量 550L	防振ゴムパット	3	200	ﾋｰﾀｰ 0.036					○		ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：別途建築工事
					貯湯ユニット本体寸法：2,100H×700W×825D(mm)	減圧弁，安全装置	3	200	制御 0.010							機器参考重量：77kg
					タンク最高使用圧力：320kPa	他標準付属品一式共										満水時重量：627kg
EWH-2	電気温水器			2	型式：据置型貯湯式電気温水器（飲料・洗い物用）先止式	ﾌｨﾙﾀｰ付ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓	1	200	1.5	ｺﾝｾﾝﾄ				○		○	流し台補強：別途建築工事
		1階	事務休憩室	(1)	貯湯量：12L（温度調節 60～90℃）	開放式排水ﾎﾞｯﾊﾟｰ										満水時機器参考重量：30kg
		1階	清掃員控室	(1)	機能：ｳｨｰｸﾘｰﾀｲﾏｰ，安全装置付，自動給排水機能	耐震用脚										
						他標準付属品一式共										
GT-1	グリーストラップ	屋外	庭園	1	型式：ステンレス製パイプ式(土間埋設型) 三槽式	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾊﾞｽｹｯﾄ										工業会認定品
		（１階 厨房系統）			許容流入量：45.0L/min，阻集ｸﾞﾘｰｽ量：14.1kg	ｽﾃﾝﾚｽ製蓋(3枚)										
					本体寸法：300×500L×800H(mm)	他標準付属品一式共										

給排水衛生設備　注記事項

1）給排水衛生設備の配管設備は建築基準法施行令第１２９条の２の４設置及び構造を遵守すること。
2）建築設備の構造方法は、建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版による。
3）受水槽周りは容易に６面点検が行えるよう６０ｃｍ以上の空間を確保すること。
4）飲料水の給水系統では、吐水口と水受け容器のあふれ縁の上端との間に適切な吐水口空間をとる。
　なお吐水口空間がとれない場合には、バキュームブレーカー等を設置すること。
5）給水設備においてウォーターハンマー防止の為、給水管径を大きくして流速を小さくする措置を行うこと。
6）給湯設備の固定方法は平成２４年改正告示１４４７号に基づき施工すること。
7）電気温水器（貯湯式）はJIS C 9219、（瞬間式）はJIS C 9335-2-35の定格条件及び試験方法による。
8）排水管の勾配は管軸下水道局に準拠すること。また排水量の算定と管の径は、「排水負荷単位法」による。
9）受水槽のオーバーフロー管及び通気口にSUS製防虫網を設置すること。
10）受水槽の水抜管及びオーバーフロー管の排水口空間は管径の２倍以上（最少150mm）とする。
11）排水トラップは器具付属品とし、封水損失現象により容易に破封しない構造とし、トラップの封水深は５０～１００mmとする。また排水トラップの仕様はＪＩＳ規格に準拠したものとする。
12）排水立主管の各階に掃除口付満水試験栓を設置すること。
13）給排水衛生設備の配管保温仕様は「公共建築工事標準仕様書」（機械設備工事編）により保温厚20mm以上とする。
14）防火区画貫通は建築基準法施行令第１１２条第１５項・１６項により施工すること。
15）土中、コンクリート内に埋設する配管は防食テープ（ペトロタム系）１ 1/2重ね巻きとして腐食対策を行う。
16）空冷式ホットウォーターヒートポンプ、小型業務用エコキュートの規格はJRA4060とする。

	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名　給排水衛生設備　機器表	縮尺 A1 N.S A3 N.S		図面番号 M-01

給排水衛生設備　器具表

器具名称	参考型番		電源	付属品（参考型番）　室名	合計	共用部														女性・男性風呂										外構						備考
						管理事務室	男子ＷＣ	女子ＷＣ	多機能ＷＣ	厨房	軽食コーナー（テラス）	庭園（東）	庭園（西）	庭園（北）	中庭	ＳＫ	清掃員控室	機械室		女性脱衣室	ＷＣ（女性脱衣室内）	女性用浴室	女性用露天風呂	ＳＫ	男性用脱衣室	ＷＣ（男性脱衣室内）	男性用浴室	男性用露天風呂			バックヤード	足湯	駐車場廻り	アプローチ広場	井水ろ過機器置場		
掃除口付腰掛大便器	TOTO	CFS494CNNA	AC100V	自動フラッシュバルブ（露出タイプ），TCF5831AD（洗浄便座・便器洗浄タッチリモコンセット：100V−1261W），YH702（棚付二連紙巻器），他標準付属品一式共	6		2	4																											
	LIXIL	C−P25SM OKC−AT711OSCW	AC100V	自動フラッシュバルブ（露出タイプ），CW−PA21LQ−NE−R1（洗浄便座リモコン・便器洗浄タッチスイッチ付：100V−310W），CF−63HST（棚付二連紙巻器），他標準付属品一式共																															
掃除口付床置大便器	TOTO	CFS498BCK	AC100V	フラッシュタンク式，TCF5831AD（洗浄便座・便器洗浄タッチリモコンセット：100V−1261W），YH702（棚付二連紙巻器），他標準付属品一式共	2															1					1												
	LIXIL	BC−P110SMA DQ−PA150CH	AC100V	クイックタンク式，CW−PA21ALQE−NE−R1（洗浄便座・便器洗浄タッチリモコンセット：100V−330W），CF−63HST（棚付二連紙巻器），他標準付属品一式共																															
バリアフリートイレパック	TOTO	UADBK61R1A1ASD1WA	AC100V	壁掛大便器・汚物流し（電気温水器3L：100V−600W）・手洗器・洗面器（電気温水器1L：100V−505W）・ベビーチェア・水石けん入れ	1				1																											
				背もたれ・手すり，TCF5841AUP（洗浄便座・便器洗浄タッチリモコンセット：100V−1261W），他標準付属品一式																																
	LIXIL	PTWC−HC101R1A1ASWW	AC100V	床置大便器・汚物流し（電気温水器3L：100V−700W）・手洗器・洗面器（電気温水器0.8L：100V−350W）・背もたれ・手すり，CW−PC12−CK−UR−TU（洗浄便座・壁リモコン：100V−1300W），AC−BK−F62（ベビーキープ），チェンジングボード（AC−CB−14），他標準付属品一式																															
自動洗浄小便器	TOTO	UFS900JCS	AC100V	掃除口付・低リップ・節水タイプ・トラップ付・他標準付属品一式共	3		3																													
	LIXIL	U−A51AP	AC100V	低リップ・節水タイプ・トラップ付・他標準付属品一式共																																
壁掛手洗器	TOTO	LSA90ABS	AC100V	自動水栓（AC100V）・Sトラップ	2																1					1										
	LIXIL	*AWL−33(S)−NSNE	AC100V	AM−320CV1（自動水栓（AC100V））・Sトラップ																																
スタッフ用流し	TOTO	LSE850RP	AC100V	自動水栓一体形電気温水器（元止め式・3L：100V−300W），止水栓，他標準付属品一式共	1																															
	LIXIL	L−A101AE	AC100V	自動単水栓一体形（100V−1.4W），止水栓，他標準付属品一式共　※電気温水器なし						1																											
掃除用流し	TOTO	SK322		TK22（リムカバー），T23AE020C（横水栓），T9R（バックハンガー），HH04060×2（樹脂プラグ），T37SGEP（床排水金具）	3												1								1											
				TH403G（鎖付きゴム栓部），他標準付属品一式共																																
	LIXIL	S−200		LF−7EZ−19−U（横水栓），SF−10E（バックハンガー），　SF−20SAF−P（床排水金具）																																
				SF−20G（鎖付きゴム栓部），他標準付属品一式共																																
シャワーバー	TOTO	TBW01403JA		壁付サーモスタット混合水栓シャワーバー（オーバーヘッドシャワー・ハンドシャワー），断熱脚カバー，他標準付属品一式共	4																2					2											
	LIXIL	BF−W11TLSLB		シャワーパネル（オーバーヘッドシャワー・ハンドシャワー），　他標準付属品一式共																																
サーモスタット混合水栓（自閉式）	TOTO	TMF49AY1		自閉式壁付サーモスタット混合水栓（ハンドシャワー），樹脂ホース（シルバー），角度調節ハンガー，断熱脚カバー	２８																14					14											
				他標準付属品一式共																																
	LIXIL	BF−2141TFD		セルフストップ付サーモスタットシャワーバス水栓（ハンドシャワー），樹脂ホース（シルバー），角度調節ハンガー，断熱脚カバー																																
				他標準付属品一式共																																
自動水栓（電気温水器付）	TOTO	REAH03B1RS28SK	AC100V	自動水栓・電気温水器タイマー付き（3L：100V−600W），他標準付属品一式	5		2	3																												カウンター式洗面器は建築工事
	LIXIL	EHMS−CA3ECSC1−300C	AC100V	自動水栓・電気温水器タイマー付き（3L：100V−700W），他標準付属品一式																																
自動ソープディスペンサー	TOTO	TLK07S01JA	AC100V	3L・1連式（100V−4W），標準付属品一式	5		2	3																												カウンター式洗面器は建築工事
	LIXIL	KS−941UMTP	AC100V	4L・1連式（100V−9W），標準付属品一式																																
台付シングル混合水栓	TOTO	TLS04302JA			１０															5					5											
	LIXIL	LF−YC340SYC																																		
洗濯機用横水栓	TOTO	TW11GR		緊急止水弁付	1																				1											
	LIXIL	LF−WJ38RHQA		緊急止水弁付																																
横水栓（キー式）	TOTO	T200CSNR13		13mm・節水こま・キー式	2																1					1										
	LIXIL	LF−7RG−13−U		13mm・節水こま・キー式																																
横水栓	TOTO	T28AUNH13		13mm・節水こま・逆止弁・カップリング付，SUS製ドーム型ボックス共	１０						1		1	1								1					1				1	3	1				
	LIXIL	LF−35−13−CV		13mm・節水こま・逆止弁・カップリング付，SUS製ドーム型ボックス共																																
横水栓	TOTO	T28AUNH13		13mm・節水こま・逆止弁・カップリング付，※※製水栓柱H=1200共	3							1																			1			1			
	LIXIL	LF−35−13−CV		13mm・節水こま・逆止弁・カップリング付，※※製水栓柱H=1200共																																
洗濯機パン	TOTO	PWP640N2W		PJ2009NW(排水トラップ)，他標準付属品一式共	1																				1											
	LIXIL	PF−6464AC		TP−51(排水トラップ)，他標準付属品一式共																																
LED照明付鏡	TOTO	EL80017	AC100V	450×35×1000	4															4																
	LIXIL	MH−451NFJ	AC100V	450×75×1000																																
カウンター式洗面器		※建築工事		アンダーカウンター式，排水トラップ共　　脱衣室手洗い用	（２）															(1)					(1)											
カウンター式洗面器		※建築工事		アンダーカウンター式，排水トラップ共　　便所手洗い用	（２）		(1)	(1)																												
ミニキッチン		※建築工事		600×1200Lタイプ（シングルレバー混合水栓・排水トラップ共），他標準付属品一式共	（２）	(1)												(1)																			
ベビーチェア		※建築工事		YKA16S相当品：コーナー設置タイプ 300×315×950，固定金具，他標準付属品一式共	（２）		(1)	(1)																												
ベビーシート		※建築工事		YKA24S相当品：690×265(使用時815) ×1400，固定金具，他標準付属品一式共	（１）				(1)																											
化粧鏡		※建築工事		各種化粧鏡（取付共）	一式																															
手すり		※建築工事		各種手すり（取付共）	一式																															

注）１．衛生器具表の品番等は参考型番とし、相当品以上とする。
　　２．衛生器具の電源供給は別途電気工事とする。
　　３．排水トラップは器具付属品とし、ＪＩＳ規格に準拠したものとする。
　　４．器具表に記載なき化粧鏡、手すり、アクセサリー等は別途建築工事とする。
　　５．衛生器具付属の電気温水器（単相100−0.3kWor0.6kW）はJIS C 9219の定格条件及び試験方法による。

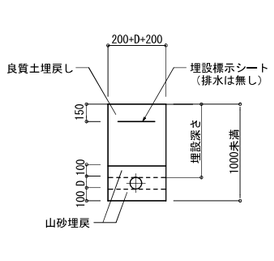
	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名	給排水衛生設備　器具表	縮尺	A1 N.S. A3 N.S.	図面番号 M−02

給排水衛生設備　凡例

図示記号（種別）		管種及び規格名称		配管用途				備考
		管種名称	規格	一般配管	ピット内配管	屋外架空配管	埋設配管	
―― 井 ――	井水管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）	JWWA K116	○		○	○	原水槽～ろ過装置廻り～処理水槽間
				○		○		揚水水中ポンプ～屋外露出配管
		水道用耐震型高性能ポリエチレン管（埋設配水管用）	JWWA K144/145				○	ポンプ圧送埋設配管～計画敷地内
		水道用耐震型高性能ポリエチレン管（敷地内埋設給水管用）	PWA 005/006				○	敷地内埋設配管～受水槽間
―― - ――	給水管	水道用耐震型高性能ポリエチレン管（埋設配水管用）	JWWA K144/145				○	給水本管～新設量水器まで
		水道用耐震型高性能ポリエチレン管（敷地内埋設給水管用）	PWA 005/006				○	量水器以降の埋設配管
		60Su以下：一般配管用ステンレス鋼鋼管（拡管式）	JIS G 3448	○	○	○		受水槽廻り配管～建物内配管
		75Su以上：一般配管用ステンレス鋼鋼管（ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ継手orﾌﾗﾝｼﾞ接合）						
―― I ――	給湯管	60Su以下：一般配管用ステンレス鋼鋼管（拡管式）	JIS G 3448	○	○			
		75Su以上：一般配管用ステンレス鋼鋼管（ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ継手orﾌﾗﾝｼﾞ接合）						
―― E ――	膨張管	60Su以下：一般配管用ステンレス鋼鋼管（拡管式）	JIS G 3448	○		○		
―― C ――	汚水管・雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	JIS K 6741	○	○		○	一般排水系統
――	高温排水管	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管（HTVP）	JIS K 6776	○	○			浴室・厨房排水系統
- - - - - - -	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	JIS K 6741		○			
――	屋上露出排水管	高耐候性硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	JIS K 6741			○		屋上ドレン管等
――	屋外排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VU）	JIS K 6741				○	屋外第１桝～下水道本管放流まで
―― HS ――	温水循環配管	60Su以下：一般配管用ステンレス鋼鋼管（拡管式）	JIS G 3448	○	○			
―― HR ――		75Su以上：一般配管用ステンレス鋼鋼管（ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ継手orﾌﾗﾝｼﾞ接合）						
―― CS ――	冷水循環配管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）	JWWA K116	○		○		水風呂系統
―― CR ――								
―― RS ――	ろ過循環配管	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管（HTVP）	JIS K 6776	○	○			
―― RR ――								
――	ヒートポンプ配管	架橋ポリエチレン管	JIS K 6769			○		保温付（10mm）

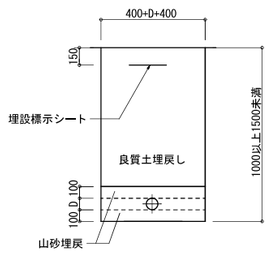
図示記号（種別）		器具及び規格名称		図示記号（種別）		器具及び規格名称
		器具名称	規格			器具名称
―― M ――	量水器	貸与品		⊠ ■	給水栓・給湯栓	
―― IM ――	量井器	貸与品		■	混合水栓	
―― ⊗ ――	埋設弁	**VC（壷：B1）VC-P（25A以下），VC-1（40A以下）**		◎	散水栓	不凍式散水セット
GV / C GV	仕切弁（50A以下）	青銅製ねじ込み仕切弁（5K・10K仕切弁）	JIS B 2011	◙	散水栓	SUS製壁埋込型散水栓BOX（鍵付）
		一般配管用ステンレス鋼ねじ込み形弁（10K仕切弁）	JV 8-1	□⊠	水栓柱	不凍水栓柱H=1,200
	仕切弁（65A以上）	ゴムシートバタフライ弁（10K・フランジ）	JIS B 2032	●A　□B	地中埋設標	**舗装部：鉄製(A)　その他：コンクリート製(B)**
		ステンレス製バタフライ弁（10K・フランジ）	JV 8-1			
	温泉・ろ過循環系統	樹脂製		●DF	排水用埋設フレキ	ゴム製（バンド接続）
CV / C CV	逆止弁（50A以下）	青銅製ねじ込み逆止弁（１０Ｋ逆止弁）	JIS B 2011	⊣◍	床上掃除口	非防水形（COA），防水形（COB）
		一般配管用ステンレス鋼ねじ込み形弁（10K逆止弁）	JV 8-1	⊣⊘	床排水トラップ	非防水形（T5A），防水形（T5B）
	逆止弁（65A以上）	ねずみ鋳鉄弁（１０Ｋ逆止弁）	JIS B 2031	⊣⊗	目皿	Ｄ金具
		一般配管用ステンレス鋼ねじ込み形弁（10K逆止弁）	JV 8-1	⊣◎	間接排水金物	
	温泉・ろ過循環系統	樹脂製		⊣◍ TVC	通気金物	SUS製深形パイプフード（ギャラリ・防虫網付・焼付塗装）
	Y形ストレーナー	ステンレス鋼製				
FJ	フレキシブル継手	ベローズ形（SUS304）　鋼製フランジ付		○ □	インバート桝	塩ビ小口径桝・SC-1～SC-3桝（防臭蓋共）
VJ	防振継手	合成ゴム製　鋼製フランジ付		⊗ ⊠	ため桝	塩ビ小口径桝・RC-1～RC-3桝（防臭蓋共）　泥溜り150H以上
	空気抜弁			⊗T T	トラップ桝	塩ビ小口径桝・RC-1～RC-3桝（防臭蓋共）　泥溜り150H以上
	電磁弁			◎	人孔桝	SC-4,5、RC-4,（防臭蓋共）
	ノンスケーラー	カルシウムスケール固化付着防止装置	**参考型番：NS-100**			

配管類埋設要領図



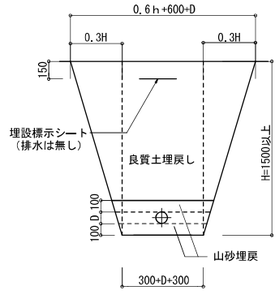
埋設深さ：車両道路は700Ｈ　それ以外は350Ｈ

配管類埋設要領図　根切深さ１ｍ未満



排水管の場合は埋設表示シート無し

配管類埋設要領図　根切深さ１ｍ以上１．５ｍ未満



配管類埋設要領図　根切深さ１．５ｍ以上

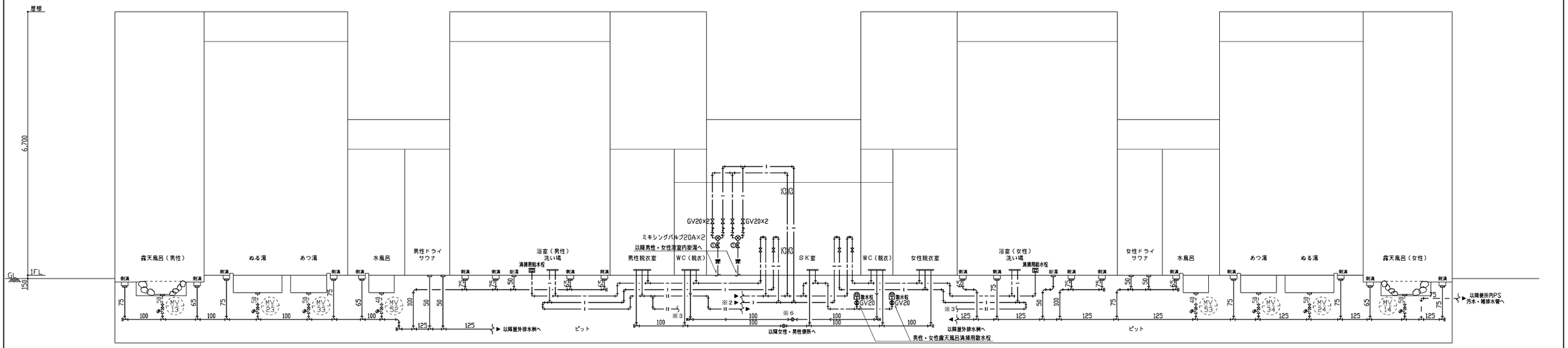
給排水衛生設備　排水桝リスト

桝深さ：ＧＬからの深さを示す。

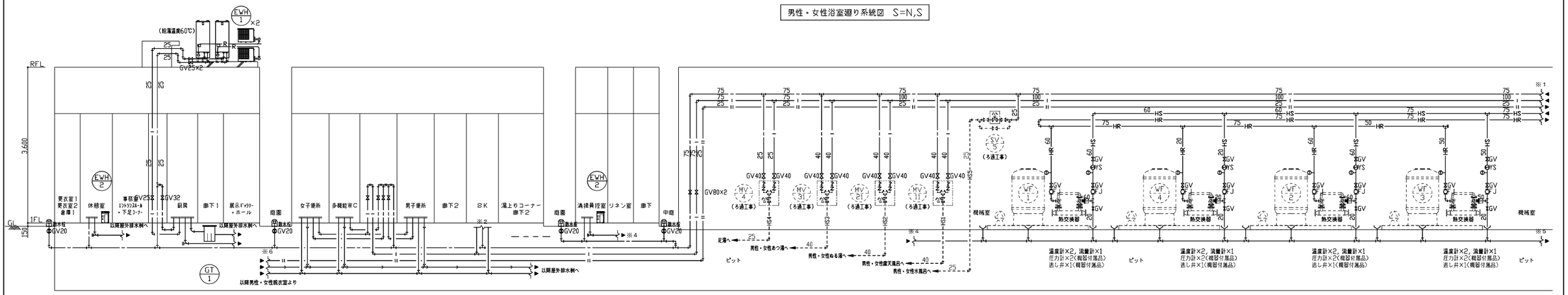
桝番号	系統	種別	形状・記号	地盤レベル	枝配管口径	区間距離 L（mm）	勾配（%）	桝寸法（mm） 主管	桝寸法（mm） 大きさ	桝寸法（mm） 深さ（管底）	マンホール蓋仕様	備考
①	受水槽排水系統	ため桝	RC-2	17.15	100A	L=3,800	2/100	VU100	450×450	450H	鋳鉄製格子蓋450□（鎖付）	泥溜りH=150
②	受水槽排水系統	ため桝	塩ビ小口径	17.15	100A	L=3,000	2/100	VU100	90° L	530H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
⑤		ため桝	塩ビ小口径	17.15	100A				UTK	590H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
③	受水槽排水系統	ため桝	RC-2	17.15	100A				450×450	450H	鋳鉄製格子蓋450□（鎖付）	泥溜りH=150
④	受水槽排水系統	ため桝	塩ビ小口径	17.15	100A	L=3,800	2/100	VU100	90° L	530H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
⑤	受水槽排水系統	ため桝	塩ビ小口径	17.15	100A	L=1,600	2/100	VU100	UTK	590H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
⑥	機械室排水系統	トラップ桝	RC-2	17.50	100A,150A	L=3,100	2/100	VU100	600×600	1,010H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
⑦	機械室排水系統	インバート桝	SC-3	17.50	150A	L=3,000	1.5/100	VU150	600×600	1,160H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
⑧		インバート桝	SC-4（人孔）	17.50	150A	L=13,000	1.5/100	VU150	900φ	1,260H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
⑫		インバート桝	SC-4（人孔）	17.50	150A	L=8,200	1.5/100	VU150	900φ	1,390H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
⑨	厨房GT-1雑排水系統	インバート桝	塩ビ小口径	17.50	100A				90° L	700H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
GT-1	グリーストラップ					L=500	2/100	VU100				
⑩	厨房廻り排水系統	インバート桝	塩ビ小口径	17.50	100A				90° L	700H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
⑪		インバート桝	SC-4（人孔）	17.50	100A	L=1,000	2/100	VU100	45° Y	720H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
⑫		インバート桝	SC-4（人孔）	17.50	150A	L=6,000	2/100	VU100	900φ	1,390H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
⑬		インバート桝	SC-4（人孔）	17.50	150A	L=9,000	1.5/100	VU150	900φ	1,530H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
⑭		インバート桝	SC-4（人孔）	16.68	150A	L=12,900	1.5/100	VU150	900φ	910H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHD（鎖付）	
⑮		インバート桝	SC-4（人孔）	17.00	150A	L=10,800	1.5/100	VU150	900φ	1,400H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHD（鎖付）	
㉔		インバート桝	SC-4（人孔）	17.00	150A	L=10,800	1.5/100	VU150	900φ	1,650H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHD（鎖付）	
⑯	男性・女性便所排水系統	インバート桝	SC-2	17.35	100A×2				90° HY	700H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
⑰	男性・女性便所排水系統	インバート桝	SC-3	17.35	100A	L=2,700	1.5/100	VU150	90° L	760H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
⑱	事務室（休憩室）排水系統	インバート桝	SC-3	17.35	100A	L=3,900	1.5/100	VU150	90° Y	840H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
㉒		インバート桝	SC-3	17.35	100A	L=6,800	1.5/100	VU150	600×600	880H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
⑲	足湯排水系統	インバート桝	塩ビ小口径	18.30	100A				UTK	1,100H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
⑳	足湯排水系統	インバート桝	塩ビ小口径	18.30	100A	L=2,300	2/100	VU100	45° L	1,150H	ワンタッチ開閉密閉式［T-2］・SUS製鎖付	
㉒		インバート桝	SC-3	17.35	100A	L=2,600	2/100	VU100	600×600	880H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
㉑	男性・女性浴室排水系統	インバート桝	SC-3	18.30	125A×2				900φ	1,750H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
㉒		インバート桝	SC-3	17.35	150A	L=17,800	1.5/100	VU150	600×600	880H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHA（鎖付）	
㉓		インバート桝	SC-3	17.40	150A	L=16,600	1.5/100	VU150	600×600	1,060H	化粧蓋600φ　（鎖付）	
㉔		インバート桝	SC-4（人孔）	17.08	150A	L=16,600	1.5/100	VU150	900φ	1,650H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHD（鎖付）	
㉕		インバート桝	SC-4（人孔）	16.93	150A	L=16,600	1.5/100	VU150	900φ	1,710H	防臭鋳鉄蓋600φ　MHD（鎖付）	
㉖	新設公設桝	インバート桝	0号人孔桝	16.91	150A				公設桝	2,200H	海老名市指定鋳鉄蓋	汚水本管接続放流

注）マンホール蓋には、「おすい」・「トラップ」の文字入りとする。また植栽部は、GL+50立上げとする。

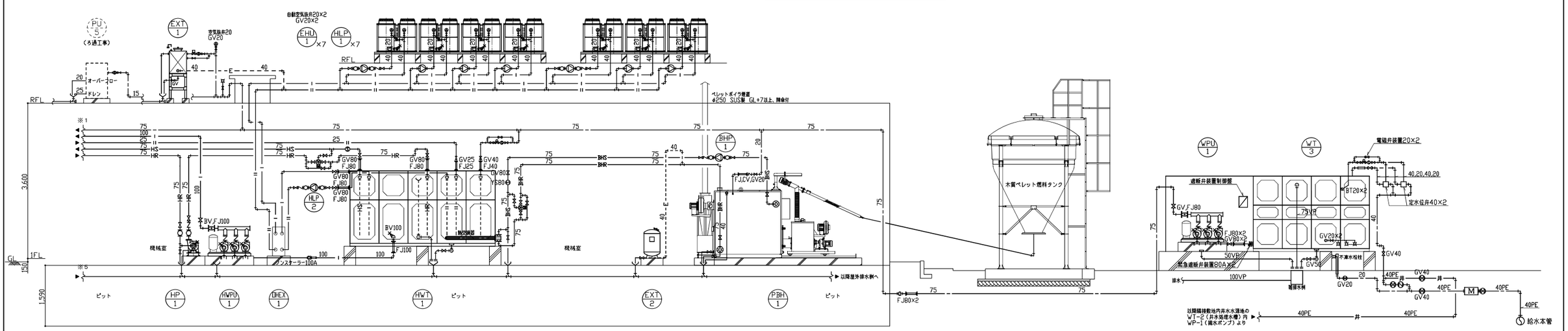
	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名	給排水衛生設備　凡例・排水桝リスト	縮尺 A1 N.S A3 N.S		図面番号 M-03



男性・女性浴室廻り系統図　S=N,S

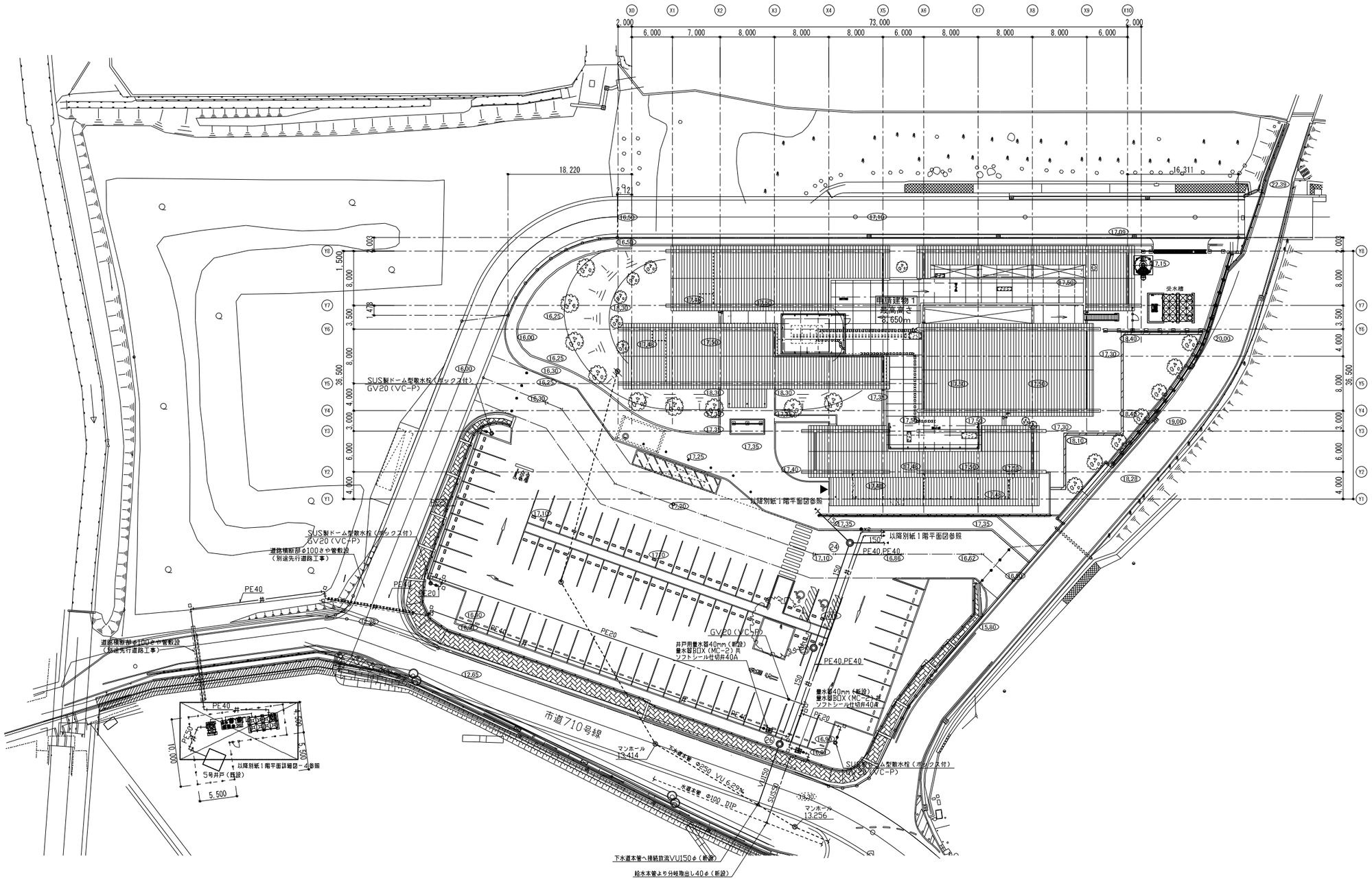


管理諸室・共用部、機械室内系統図　S=N,S



機械室内・屋外設備廻り系統図　S=N,S

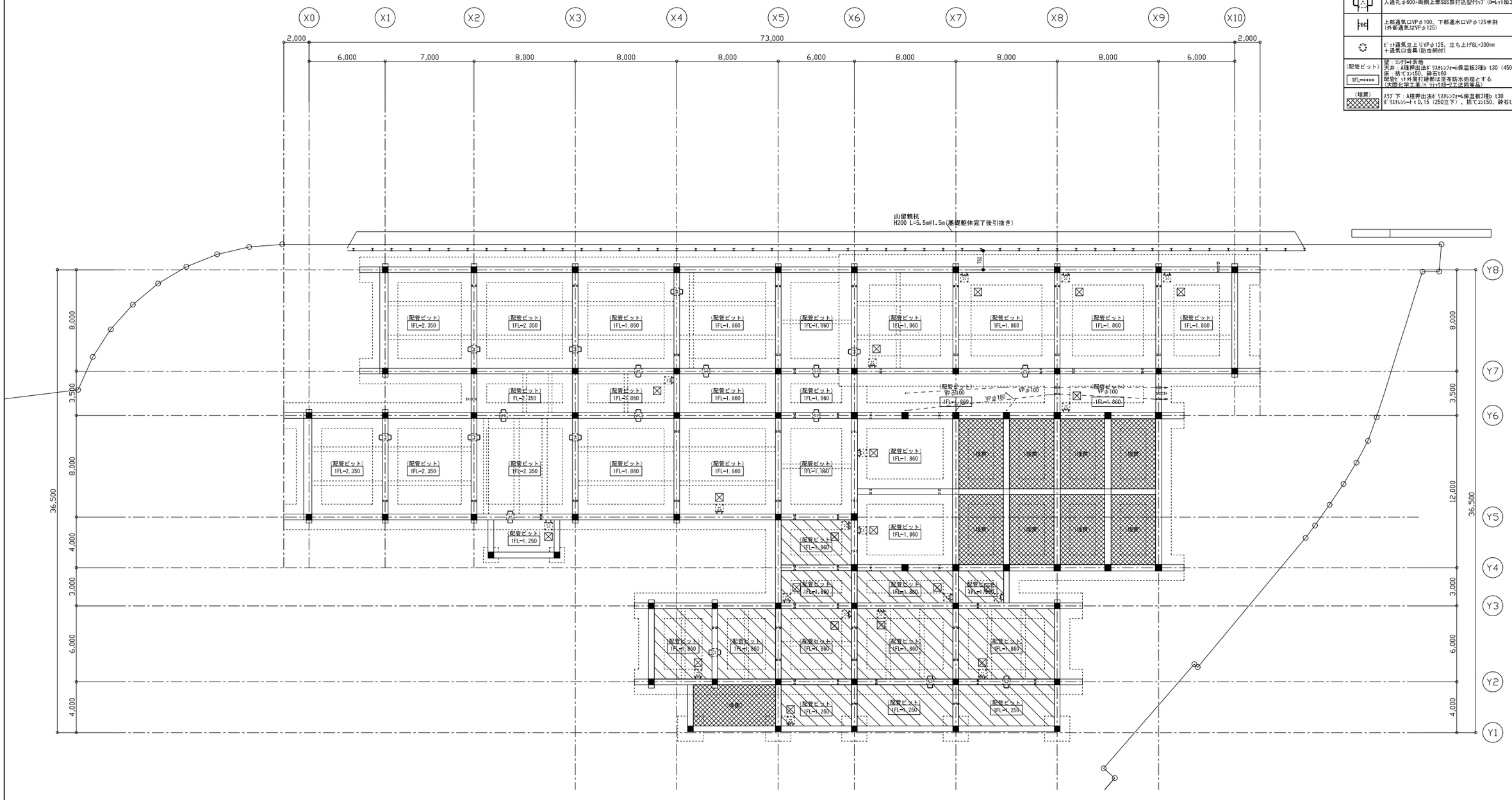
	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名　給排水衛生設備　系統図	縮尺	A1 N.S A3 N.S		図面番号 M-04



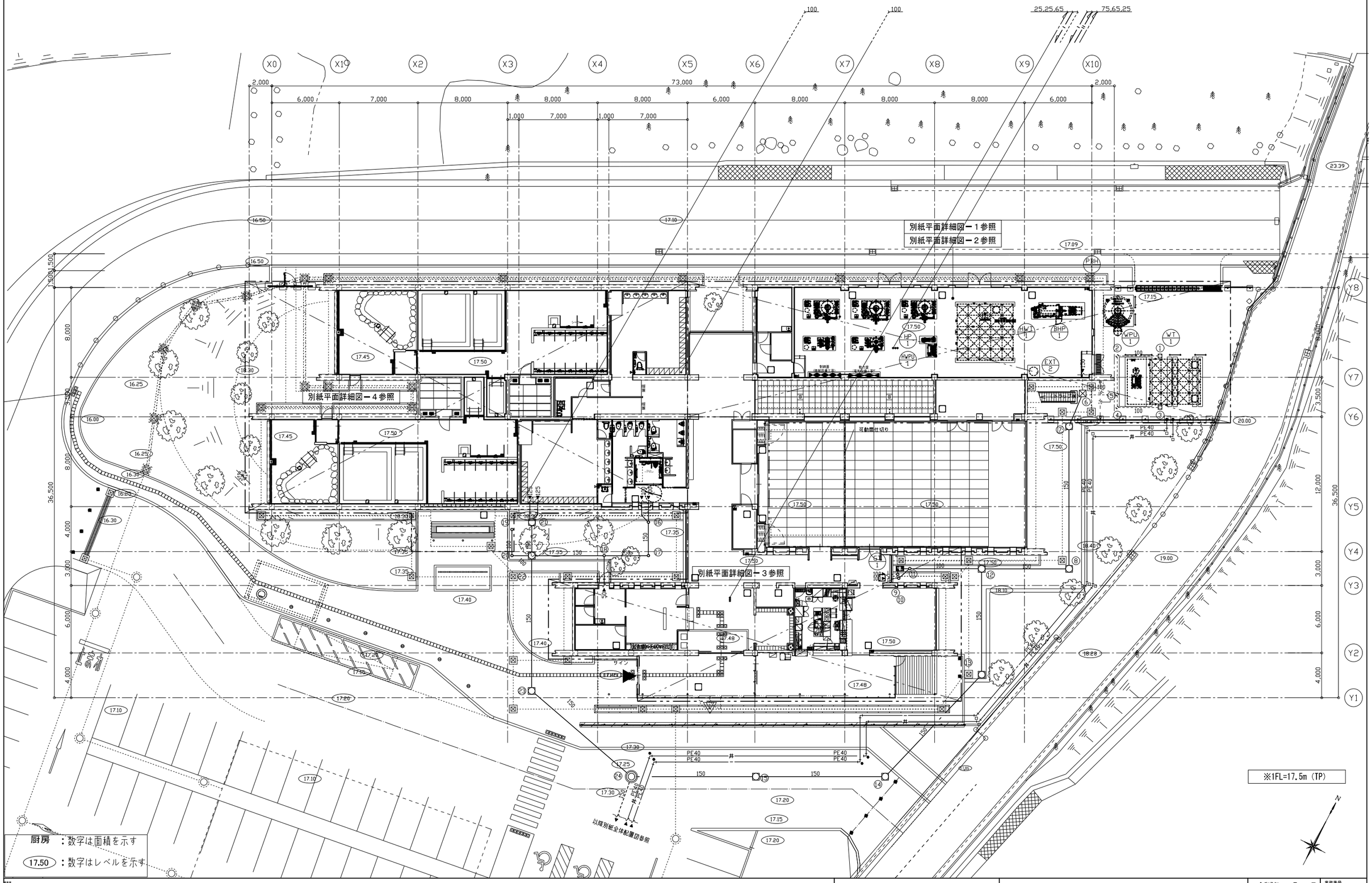
N

	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日	業務番号 257031
	図面名	給排水衛生設備　全体配置図	縮尺 A1 1:300 A3 1:600	計画　製作　調査　調査	図面番号 M-05

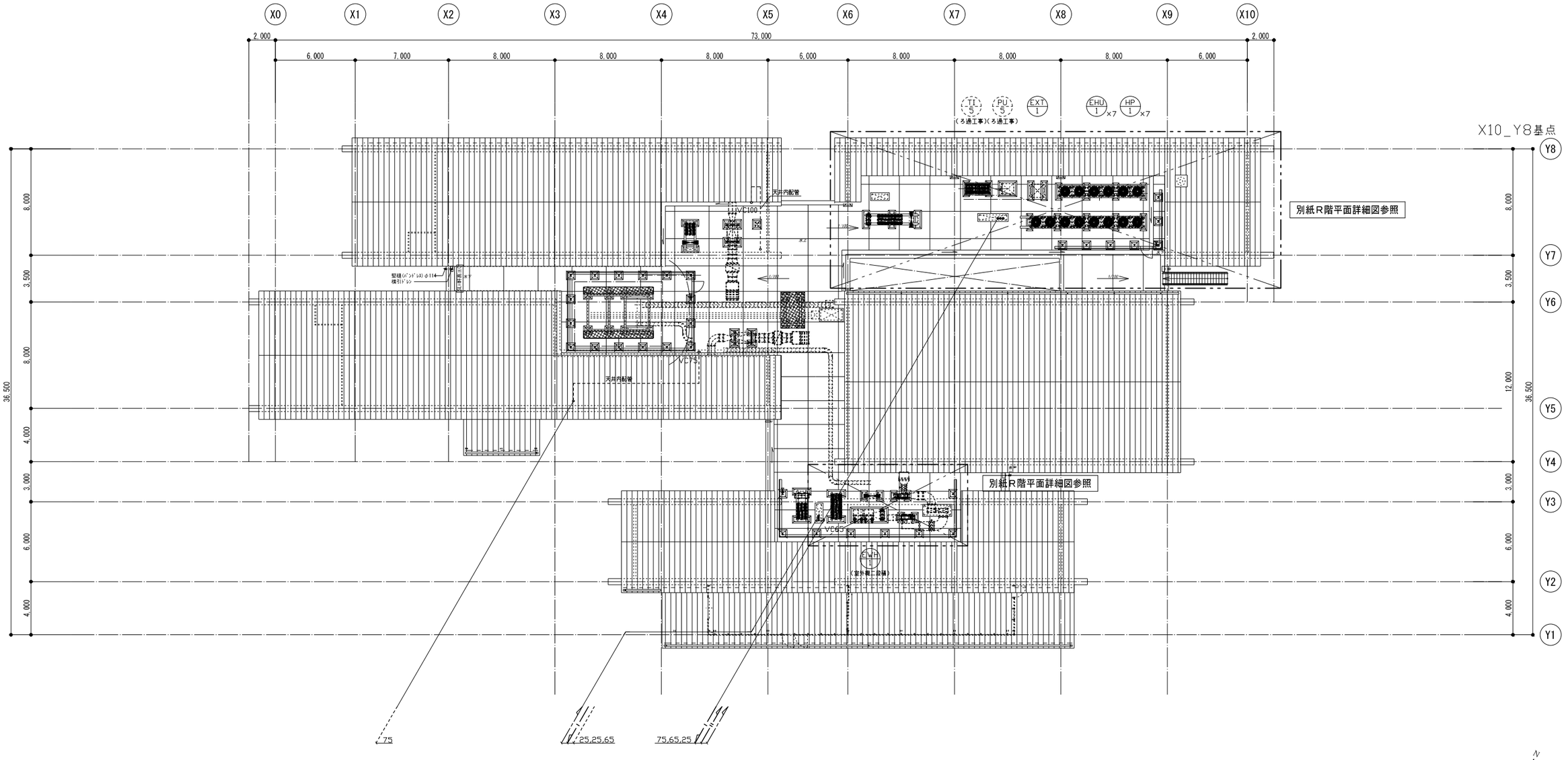
記号	内容
	上部床点検口+SUS製打込型ﾀﾗｯﾌﾟ（ﾛｰﾚｯﾄ加工）×4段
	釜場：600×600×H300　既製ｺﾝｸﾘｰﾄ
	人通孔 φ600+両側上部SUS製打込型ﾀﾗｯﾌﾟ（ﾛｰﾚｯﾄ加工）
	上部通気口VPφ100、下部通水口VPφ125半割 （外部通気はVPφ125）
	ﾋﾟｯﾄ通気立上りVPφ125、立ち上げGL+300mm ＋通気口金具（防虫網付）
（配管ピット） 1FL=****	壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ素地 天井：A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b t30（450立下） 床：捨てｺﾝ150、砕石t60 配管ﾋﾟｯﾄ外周打継部は塗布防水処理とする （大臣化学工業ﾊﾊﾟﾗｲﾄ2S-ﾜﾝ法同等品）
（埋戻）	ｽﾗﾌﾞ下：A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b t30 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ t 0.15（250立下）、捨てｺﾝ150、砕石t60



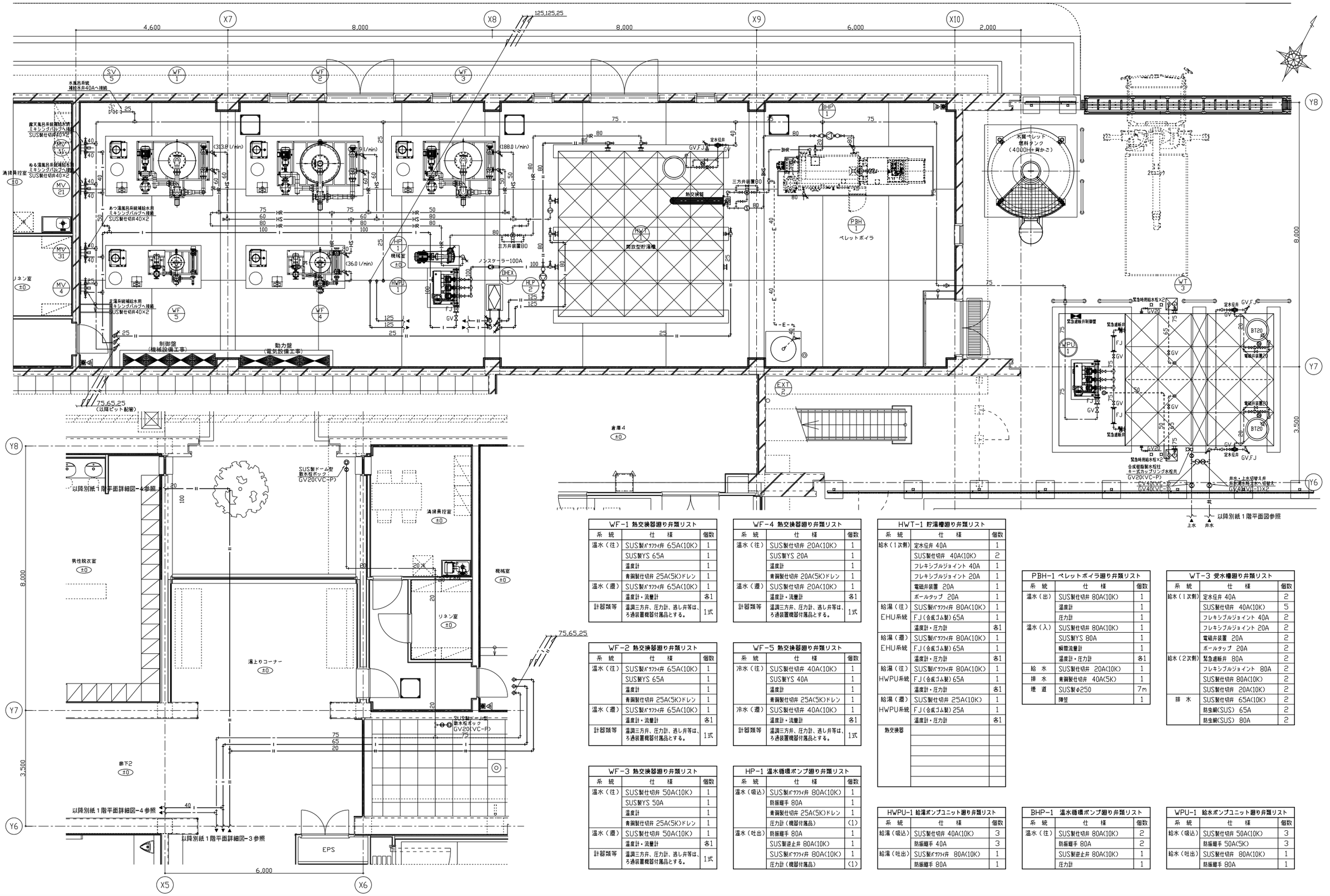
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	給排水衛生設備　ピット平面図	縮尺	A1 1:150 A3 1:300	計画　製作　調査　調査	図面番号 M-06



	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名	給排水衛生設備　1階平面図	縮尺 A1 1:150 A3 1:300		図面番号 M-07



		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名	給排水衛生設備　屋根伏図	縮尺 A1 1:150 A3 1:300		図面番号 M-08



WF-1 熱交換器廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
温水（往）	SUS製バタフライ弁 65A(10K)	1
	SUS製YS 65A	1
	温度計	1
	青銅製仕切弁 25A(5K)ドレン	1
温水（還）	SUS製バタフライ弁 65A(10K)	1
	温度計・流量計	各1
計器類等	温調三方弁、圧力計、逃し弁等は、ろ過装置機器付属品とする。	1式

WF-2 熱交換器廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
温水（往）	SUS製バタフライ弁 65A(10K)	1
	SUS製YS 65A	1
	温度計	1
	青銅製仕切弁 25A(5K)ドレン	1
温水（還）	SUS製バタフライ弁 65A(10K)	1
	温度計・流量計	各1
計器類等	温調三方弁、圧力計、逃し弁等は、ろ過装置機器付属品とする。	1式

WF-3 熱交換器廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
温水（往）	SUS製仕切弁 50A(10K)	1
	SUS製YS 50A	1
	温度計	1
	青銅製仕切弁 25A(5K)ドレン	1
温水（還）	SUS製仕切弁 50A(10K)	1
	温度計・流量計	各1
計器類等	温調三方弁、圧力計、逃し弁等は、ろ過装置機器付属品とする。	1式

WF-4 熱交換器廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
温水（往）	SUS製仕切弁 20A(10K)	1
	SUS製YS 20A	1
	温度計	1
	青銅製仕切弁 20A(5K)ドレン	1
温水（還）	SUS製仕切弁 20A(10K)	1
	温度計・流量計	各1
計器類等	温調三方弁、圧力計、逃し弁等は、ろ過装置機器付属品とする。	1式

WF-5 熱交換器廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
冷水（往）	SUS製仕切弁 40A(10K)	1
	SUS製YS 40A	1
	温度計	1
	青銅製仕切弁 25A(5K)ドレン	1
冷水（還）	SUS製仕切弁 40A(10K)	1
	温度計・流量計	各1
計器類等	温調三方弁、圧力計、逃し弁等は、ろ過装置機器付属品とする。	1式

HP-1 温水循環ポンプ廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
温水（吸込）	SUS製バタフライ弁 80A(10K)	1
	防振継手 80A	1
	青銅製仕切弁 25A(5K)ドレン	1
	圧力計（機器付属品）	(1)
温水（吐出）	防振継手 80A	1
	SUS製逆止弁 80A(10K)	1
	SUS製バタフライ弁 80A(10K)	1
	圧力計（機器付属品）	(1)

HWT-1 貯湯槽廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
給水（1次側）	定水位弁 40A	1
	SUS製仕切弁 40A(10K)	2
	フレキシブルジョイント 40A	1
	フレキシブルジョイント 20A	1
	電磁弁装置 20A	1
	ボールタップ 20A	1
給湯（往）	SUS製バタフライ弁 80A(10K)	1
EHU系統	FJ（合成ゴム製）65A	1
	温度計・圧力計	各1
給湯（還）	SUS製バタフライ弁 80A(10K)	1
EHU系統	FJ（合成ゴム製）65A	1
	温度計・圧力計	各1
給湯（往）	SUS製バタフライ弁 80A(10K)	1
HWPU系統	FJ（合成ゴム製）65A	1
	温度計・圧力計	各1
給湯（還）	SUS製仕切弁 25A(10K)	1
HWPU系統	FJ（合成ゴム製）25A	1
	温度計・圧力計	各1
熱交換器		

HWPU-1 給湯ポンプユニット廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
給湯（吸込）	SUS製仕切弁 40A(10K)	3
	防振継手 40A	3
給湯（吐出）	SUS製バタフライ弁 80A(10K)	1
	防振継手 80A	1

PBH-1 ペレットボイラ廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
温水（出）	SUS製仕切弁 80A(10K)	1
	温度計	1
	圧力計	1
温水（入）	SUS製仕切弁 80A(10K)	1
	SUS製YS 80A	1
	瞬間流量計	1
	温度計・圧力計	各1
給 水	SUS製仕切弁 20A(10K)	1
排 水	青銅製仕切弁 40A(5K)	1
煙 道	SUS製φ250	7m
	降笠	1

BHP-1 温水循環ポンプ廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
温水（往）	SUS製仕切弁 80A(10K)	2
	防振継手 80A	2
	SUS製逆止弁 80A(10K)	1
	圧力計	1

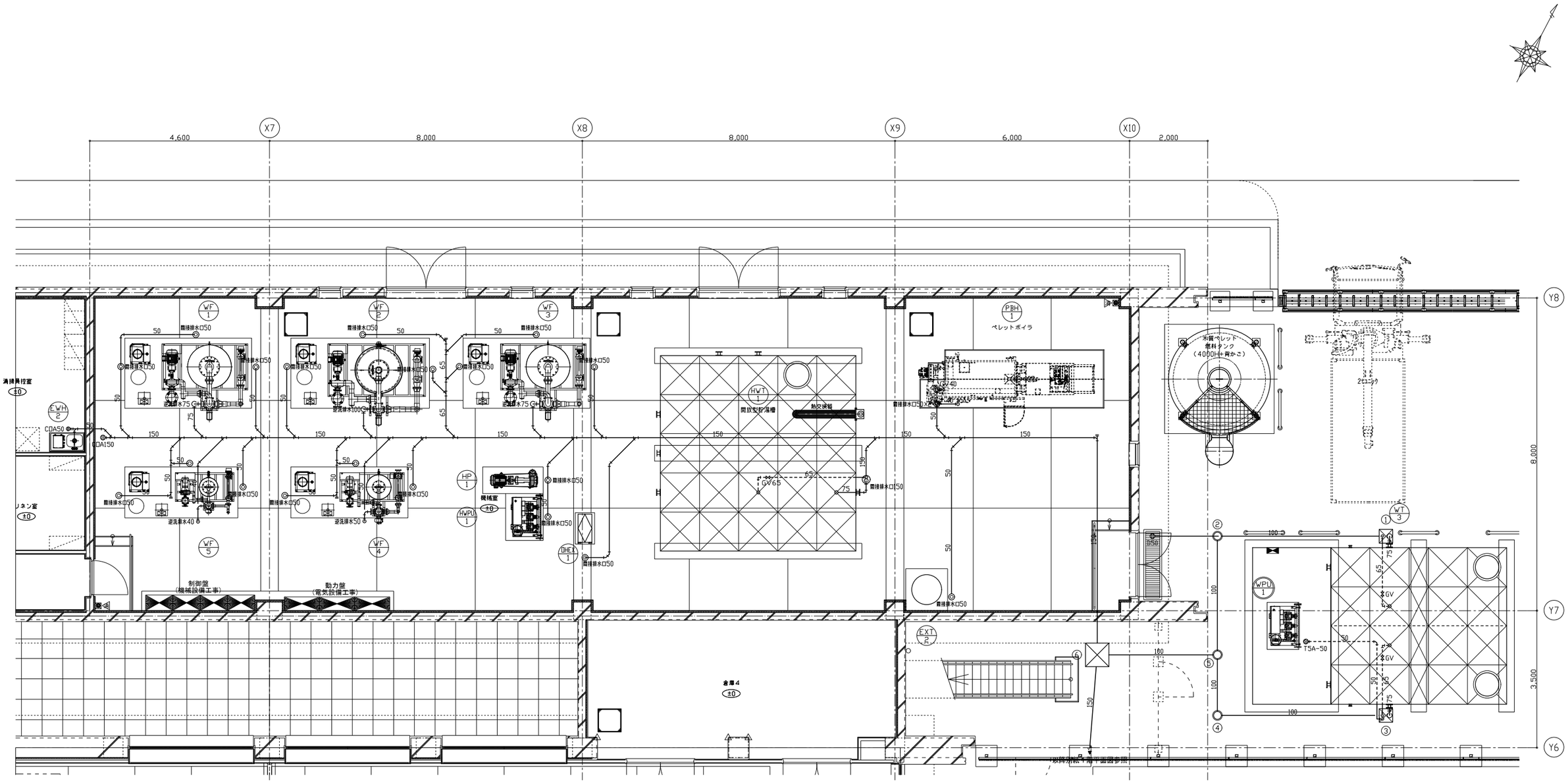
WT-3 受水槽廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
給水（1次側）	定水位弁 40A	2
	SUS製仕切弁 40A(10K)	5
	フレキシブルジョイント 40A	2
	フレキシブルジョイント 20A	2
	電磁弁装置 20A	2
	ボールタップ 20A	2
給水（2次側）	緊急遮断弁 80A	2
	フレキシブルジョイント 80A	2
	SUS製仕切弁 80A(10K)	2
	SUS製仕切弁 20A(10K)	2
排 水	SUS製仕切弁 65A(10K)	2
	防虫網(SUS) 65A	2
	防虫網(SUS) 80A	2

WPU-1 給水ポンプユニット廻り弁類リスト

系統	仕様	個数
給水（吸込）	SUS製仕切弁 50A(10K)	3
	防振継手 80A	3
給水（吐出）	SUS製仕切弁 80A(10K)	1
	防振継手 50A(5K)	1

	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年 月 日	業務番号 257031
	図面名	給排水衛生設備 平面詳細図－1	縮尺	A1 1:50 A3 1:100	計画 製作 調査 調査 / 図面番号 M-09



	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日	業務番号 257031
	図面名 給排水衛生設備 平面詳細図−2	縮尺	A1 1:50 A3 1:100	計画 製作 調査 調査	図面番号 M−10

以降別紙１階平面詳細図−１参照

以降別紙　階平面詳細図−４参照

以降別紙１階平面図参照

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名　給排水衛生設備　平面詳細図−３	縮尺 A1 1:50 A3 1:100		図面番号 M−11

X0 X1 X2 X3 X4 X5

2,000 6,000 7,000 8,000 1,000 7,000 1,000 7,000

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4

8,000 3,500 8,000 4,000

汚

14.309m2 ぬる湯 20.116m2 あつ湯 11.750m2

外気浴スペース 露天風呂(男性) -100 浴室風除室(男性) ±0 浴室(男性) ±0

SUS製ドーム型 散水桜ボックス GV20(VC-P)

耐熱排水トラップ(共栓式) 50A×3 2.900m2 水風呂 2.900m2 水風呂

女性ドライヤー ±0 男性ドライヤー ±0

洗い場 男性脱衣室 ±0 女性脱衣室 ±0 パウダーコーナー

シャワー 出湯 共栓50 T5B-80 T5B-65

MV 13 MV 23 MV 33 MV 51 MV 52 MV 53

男性浴室前湯系統補給水用 ミキシングバルブへ接続 SUS製仕切弁20×2

女性浴室前湯系統補給水用 ミキシングバルブへ接続 SUS製仕切弁20×2

SK ±0 CDA100 CDA65 CDA125 WC(男女室) ±0 WC(障害者) ±0 女子便所 ±0 男子便所 ±0 多機能WC ±0

暖簾 暖簾

以降別紙1階平面詳細図-1参照

以降別紙1階平面詳細図-3参照 20,40,20,40

以降別紙1階平面詳細図-3参照

以降別紙1階平面図参照

以降別紙1階平面図参照

以降別紙1階平面図参照

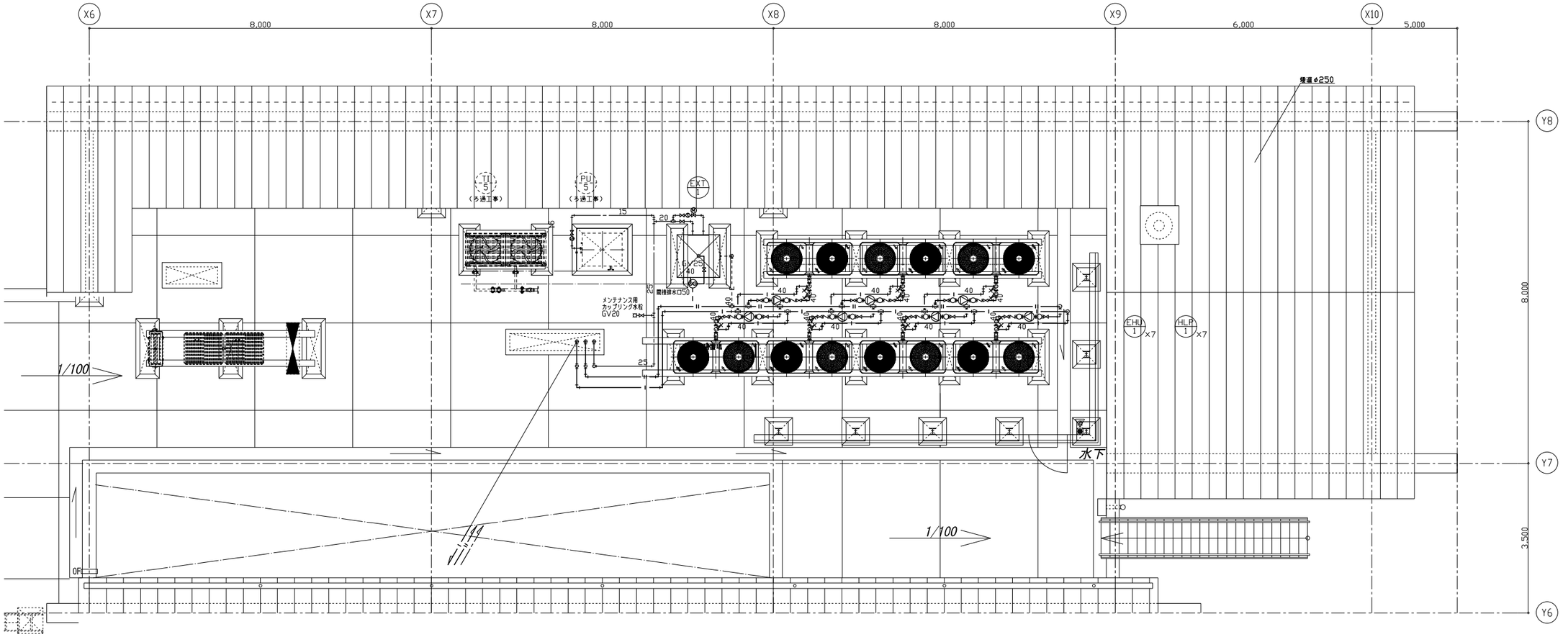
SUS製ドーム型 散水桜ボックス GV20(VC-P)

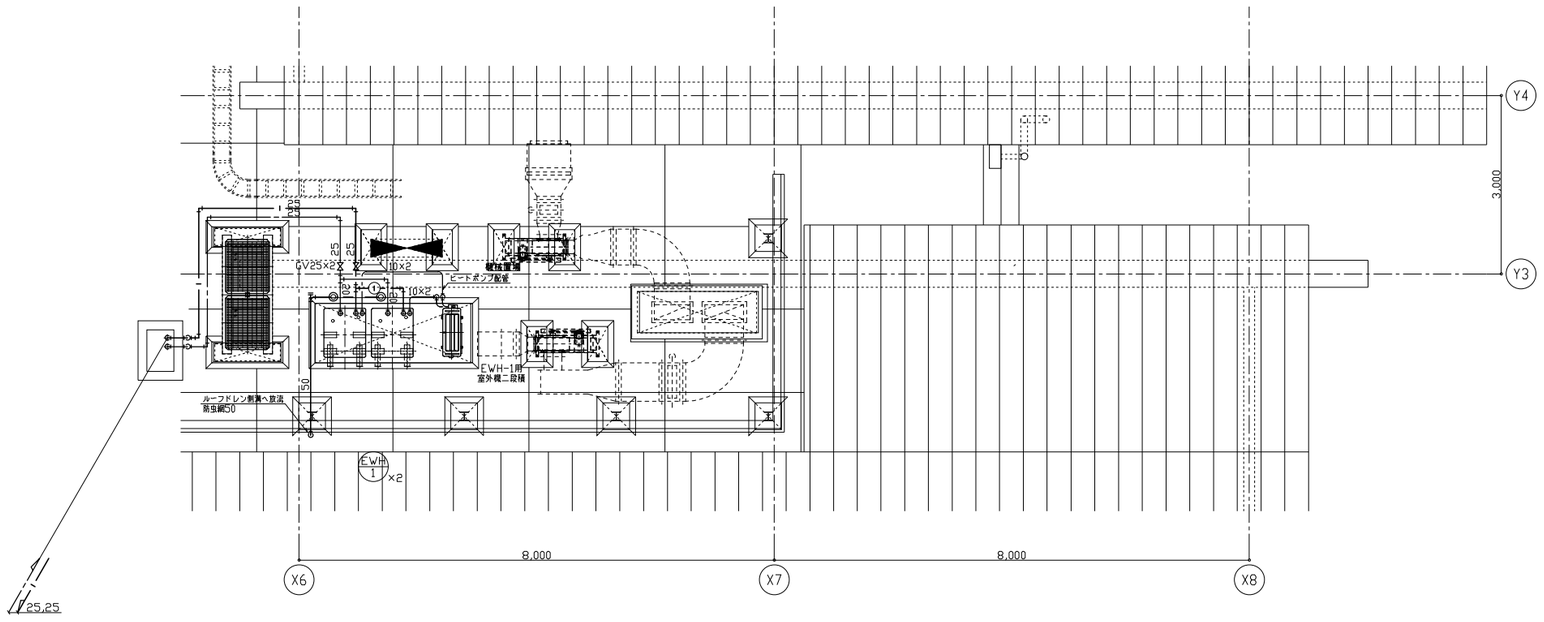
道通管より 道通管より 道通管より

MV 12 MV 22 MV 32 MV 14 MV 24 MV 34 MV 12

3.504m2

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	給排水衛生設備 平面詳細図-4	縮尺	A1 1:50 A3 1:100		図面番号 M-12





EHU-1　給湯熱源ユニット廻り弁類リスト（×7組）		
系　統	仕　様	個数
給湯（往）	防振継手 40A	1
	温度計・圧力計	各1
	空気抜き弁 20A	1
給湯（還）	Y形ストレーナー 40A（機器付属品）	1
	温度計・圧力計	各1
	SUS製仕切弁 40A(10K)	1
ドレン	排水用仕切弁 20A(5K)	1

LHP-1　給湯循環ポンプ廻り弁類リスト（×7組）		
系　統	仕　様	個数
給湯（還）	SUS製仕切弁 40A(10K)	2
	防振継手 40A	2
	SUS製逆止弁 40A(10K)	1
	圧力計	1

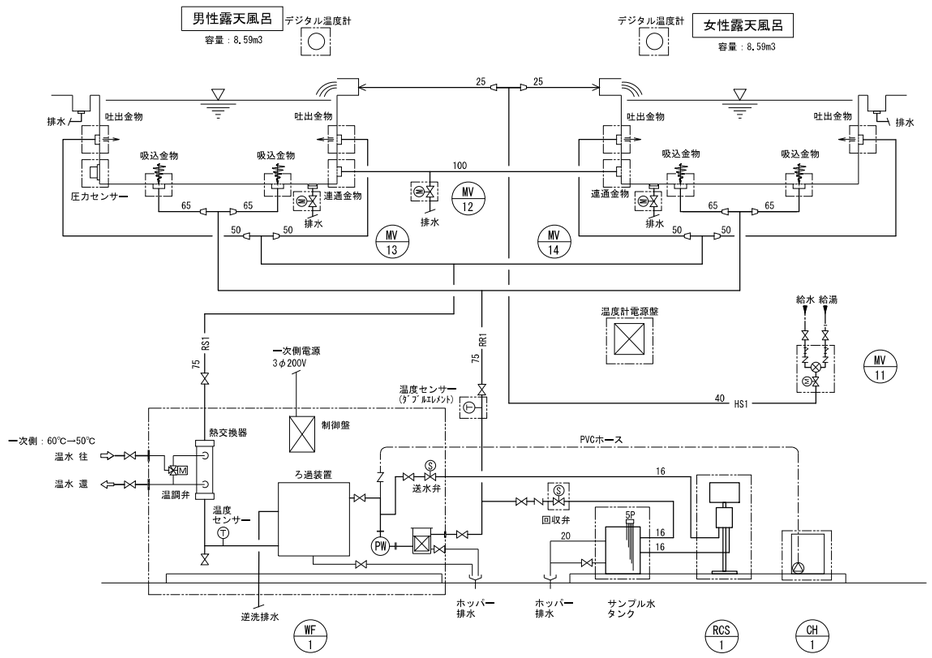
EXT-1　膨張タンク廻り弁類リスト		
系　統	仕　様	個数
給　水	SUS製仕切弁 20A(10K)	2
	SUS製Y形ストレーナー 20A	1
	電動ボール弁 20A	1
ドレン	SUS製仕切弁 25A(10K)	1
	間接排水口 50A	1

PU-5　冷水ポンプユニット廻り弁類リスト		
系　統	仕　様	個数
給　水	SUS製仕切弁 15A(10K)	1
	SUS製Y形ストレーナー 20A	1

EWH-1　ヒートポンプ給湯機廻り弁類リスト		
系　統	仕　様	個数
給　水	SUS製仕切弁 25A(10K)	1
給　湯	SUS製仕切弁 25A(10K)	1
ドレン	間接排水口 40A	2

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事				令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名　給排水衛生設備　平面詳細図-5	縮尺	A1 1:50 A3 1:100			図面番号 M-13

露天風呂ろ過循環フローシート



凡 例

記 号	種 別	記 号	種 別
—⋈—	2 方 弁	T	温度計，温度センサー
—N—	逆 止 弁	D	異径継手
—M—	電 動 弁	M	電動三方弁
—S—	電 磁 弁		

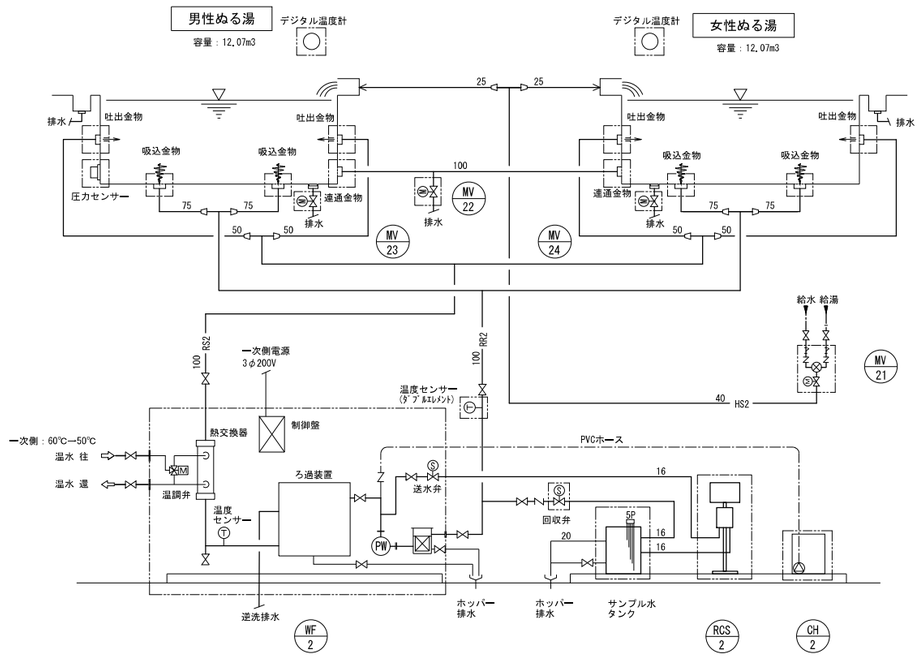
※ [ ] 部はろ過設備範囲を示す。

記 号	名 称	管 種
—RS1—	ろ過循環配管 往管	HTVP（耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管）
—RR1—	ろ過循環配管 還管	HTVP（耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管）
—HS1—	補給水配管	SUS304（ステンレス配管）

露天風呂ろ過設備機器表

記 号	名 称	仕 様		電源（50Hz） φ	V	kW	数量	備 考
WF—1	全自動砂ろ過ユニット	ろ過能力	35 m3/h	3	200	3.7	1	・圧力センサー(取付金物付) ・水位コントローラー (制御盤内取付) ・吐出金物 50A×6個 ・吸込金物 65A×4個 ・連通金物 100A×2個 ・デジタル温度計×2ヶ ・温度センサー(ﾀﾞﾌﾞﾙｴﾚﾒﾝﾄ) ・温度計電源盤(各浴槽共通)
		ろ過タンク	材質：FRP製 φ1100，ろ材：ろ過砂					
		自動弁	電動5方弁 電動三方弁（温調弁）					
		ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ（ナイロンコーティング） 584L/min×22m					
		ヘアーキャッチャー	本体:SUS304，バスケット:SUS304，蓋:透明アクリル					
		熱交換器	本体SUS製 交換熱量：219.0kW シェル&チューブ型					
			一次側：60.0℃→50.0℃(313.8L/min)、二次側：36.6℃→42.0℃(584.0L/min)					
		制御盤	屋内壁掛型 一括警報出力端子付					
CH—1	滅菌機	電磁式ダイヤフラム定量ポンプ 自動エア抜付 30mL/min×1.0MPa		1	200	15W	1	
		次亜塩素酸ソーダ使用，薬液タンク：PE製120L						
RCS—1	残留塩素計	測定項目：残留塩素（0～2.0mg/L）		1	200	(5VA)	1	・サンプル水タンク(PE製50L) 電極5P 電磁弁15A×2（送水弁，回収弁）付属
		残留塩素センサー：ポーラログラフ式 オーバーフロー型						
MV—11	補給水弁	ミキシングバルブ 40A×40A 電動弁40A					1	
MV—12	連通排水弁	電動弁50A					1	
MV—13 ～—14	浴槽排水弁	電動弁50A					2	

ぬる湯ろ過循環フローシート



凡 例

記 号	種 別	記 号	種 別
—⋈—	2 方 弁	T	温度計，温度センサー
—N—	逆 止 弁	D	異径継手
—M—	電 動 弁	M	電動三方弁
—S—	電 磁 弁		

※ [ ] 部はろ過設備範囲を示す。

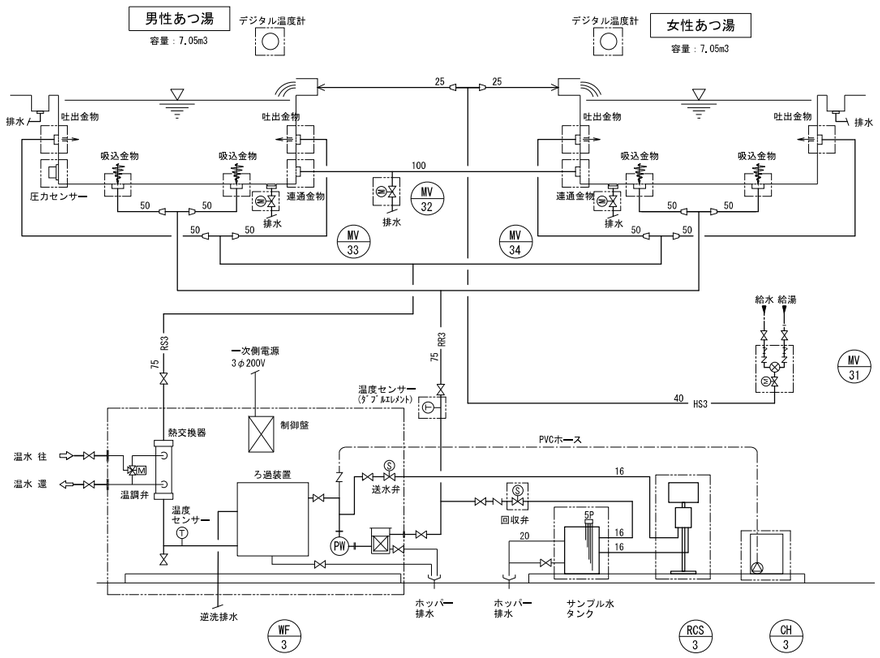
記 号	名 称	管 種
—RS2—	ろ過循環配管 往管	HTVP（耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管）
—RR2—	ろ過循環配管 還管	HTVP（耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管）
—HS2—	補給水配管	SUS304（ステンレス配管）

ぬる湯ろ過設備機器表

記 号	名 称	仕 様		電源（50Hz） φ	V	kW	数量	備 考
WF—2	全自動砂ろ過ユニット	ろ過能力	49 m3/h	3	200	5.5	1	・圧力センサー(取付金物付) ・水位コントローラー (制御盤内取付) ・吐出金物 50A×8個 ・吸込金物 80A×4個 ・連通金物 100A×2個 ・デジタル温度計×2ヶ ・温度センサー(ﾀﾞﾌﾞﾙｴﾚﾒﾝﾄ)
		ろ過タンク	材質：FRP製 φ1200，ろ材：ろ過砂					
		自動弁	電動5方弁 電動三方弁（温調弁）					
		ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ（ナイロンコーティング） 817L/min×22m					
		ヘアーキャッチャー	本体:SUS304，バスケット:SUS304，蓋:透明アクリル					
		熱交換器	本体SUS製 交換熱量：224.6kW シェル&チューブ型					
			一次側：60.0℃→50.0℃(321.9L/min)、二次側：34.1℃→38.0℃(817.0L/min)					
		制御盤	屋内壁掛型 一括警報出力端子付					
CH—2	滅菌機	電磁式ダイヤフラム定量ポンプ 自動エア抜付 30mL/min×1.0MPa		1	200	15W	1	
		次亜塩素酸ソーダ使用，薬液タンク：PE製120L						
RCS—2	残留塩素計	測定項目：残留塩素（0～2.0mg/L）		1	200	(5VA)	1	・サンプル水タンク(PE製50L) 電極5P 電磁弁15A×2（送水弁，回収弁）付属
		残留塩素センサー：ポーラログラフ式 オーバーフロー型						
MV—21	補給水弁	ミキシングバルブ 40A×40A 電動弁40A					1	
MV—22	連通排水弁	電動弁50A					1	
MV—23 ～—24	浴槽排水弁	電動弁50A					2	

	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年 月 日	業務番号 257031
	図面名 浴槽ろ過設備 フロー図、機器表-1	縮尺 A1 1：50 A3 1：100	計画 製作 調査 調査	図面番号 M-14

あつ湯ろ過循環フローシート



凡 例

記 号	種 別	記 号	種 別
—⋈—	2 方 弁	Ⓣ	温度計，温度センサー
—N—	逆 止 弁	⊳	異径継手
—M—	電 動 弁	XM	電動三方弁
—S—	電 磁 弁		

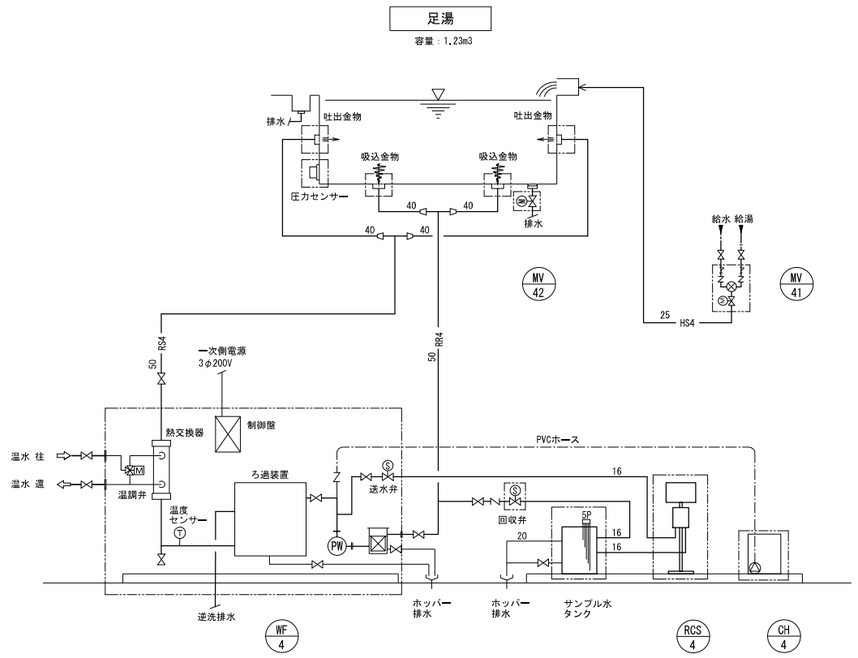
※ [ ] 部はろ過設備範囲を示す。

記 号	名 称	管 種
—RS3—	ろ過循環配管 往管	HTVP（耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管）
—RR3—	ろ過循環配管 還管	HTVP（耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管）
—HS3—	補給水配管	SUS304（ステンレス配管）

あつ湯ろ過設備機器表

記 号	名 称	仕 様		電源（50Hz） φ	V	kW	数量	備 考
WF—3	全自動砂ろ過ユニット	ろ過能力	29 m3/h	3	200	3.7	1	・圧力センサー(取付金物付) ・水位コントローラー(制御盤内取付) ・吐出金物 50A×4個 ・吸込金物 50A×4個 ・連通金物 100A×2個 ・デジタル温度計×2ヶ ・温度センサー(ダブルエレメント)
		ろ過タンク	材質：FRP製 φ1100，ろ材：ろ過砂					
		自動弁	電動5方弁 電動三方弁（温調弁）					
		ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ（ナイロンコーティング） 484L/min×22m					
		ヘアーキャッチャー	本体:SUS304，バスケット:SUS304，蓋:透明アクリル					
		熱交換器	本体SUS製 交換熱量：131.2kW シェル&チューブ型					
			一次側：60.0℃→50.0℃(188.0L/min)、二次側：39.1℃→43.0℃(484.0L/min)					
		制御盤	屋内壁掛型 一括警報出力端子付					
CH—3	滅菌機	電磁式ダイヤフラム定量ポンプ 自動エア抜け 30mL/min×1.0MPa		1	200	15W	1	
		次亜塩素酸ソーダ使用，薬液タンク：PE製120L						
RCS—3	残留塩素計	測定項目：残留塩素（0～2.0mg/L）		1	200	(5VA)	1	・サンプル水タンク(PE製50L) 電極5P 電磁弁15A×2（送水弁，回収弁）付属
		残留塩素センサー：ポーラログラフ式 オーバーフロー型						
MV—31	補給水弁	ミキシングバルブ 40A×40A 電動弁40A					1	
MV—32	連通排水弁	電動弁50A					1	
MV—33 ～—34	浴槽排水弁	電動弁50A					2	

足湯ろ過循環フローシート



凡 例

記 号	種 別	記 号	種 別
—⋈—	2 方 弁	Ⓣ	温度計，温度センサー
—N—	逆 止 弁	⊳	異径継手
—M—	電 動 弁	XM	電動三方弁
—S—	電 磁 弁		

※ [ ] 部はろ過設備範囲を示す。

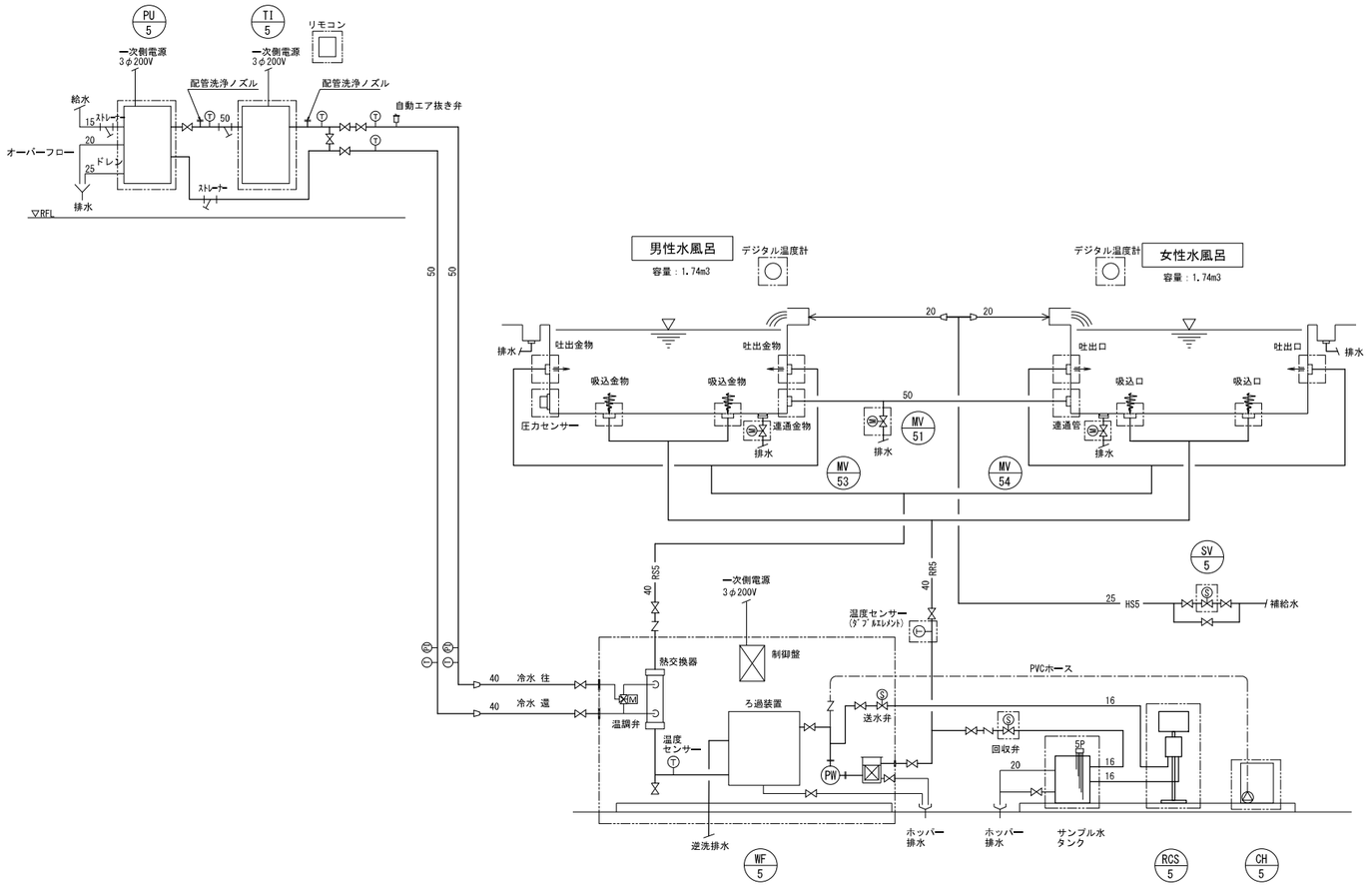
記 号	名 称	管 種
—RS4—	ろ過循環配管 往管	HTVP（耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管）
—RR4—	ろ過循環配管 還管	HTVP（耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管）
—HS4—	補給水配管	SUS304（ステンレス配管）

足湯ろ過設備機器表

記 号	名 称	仕 様		電源（50Hz） φ	V	kW	数量	備 考
WF—4	全自動砂ろ過ユニット	ろ過能力	9 m3/h	3	200	1.5	1	・圧力センサー(取付金物付) ・水位コントローラー(制御盤内取付) ・吐出金物 40A×2個 ・吸込金物 40A×2個
		ろ過タンク	材質：FRP製 φ600，ろ材：ろ過砂					
		自動弁	電動5方弁 電動三方弁（温調弁）					
		ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ（ナイロンコーティング） 150L/min×22m					
		ヘアーキャッチャー	本体:SUS304，バスケット:SUS304，蓋:透明アクリル					
		熱交換器	本体SUS製 交換熱量：25.1kW シェル&チューブ型					
			一次側：60.0℃→50.0℃(36.0L/min)、二次側：37.6℃→40.0℃(150.0L/min)					
		制御盤	屋内壁掛型 一括警報出力端子付					
CH—4	滅菌機	電磁式ダイヤフラム定量ポンプ 自動エア抜け 30mL/min×1.0MPa		1	200	15W	1	
		次亜塩素酸ソーダ使用，薬液タンク：PE製120L						
RCS—4	残留塩素計	測定項目：残留塩素（0～2.0mg/L）		1	200	(5VA)	1	・サンプル水タンク(PE製50L) 電極5P 電磁弁15A×2（送水弁，回収弁）付属
		残留塩素センサー：ポーラログラフ式 オーバーフロー型						
MV—41	補給水弁	ミキシングバルブ 25A×25A 電動弁25A					1	
MV—42	浴槽排水弁	電動弁32A					1	

***	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年 月 日	業務番号 257031
	図面名 浴槽ろ過設備 フロー図、機器表-2	縮尺 A1 1：50 A3 1：100	計画 製作 調査 調査	図面番号 M-15

水風呂ろ過循環フローシート



水風呂ろ過設備機器表

記　号	名　称	仕　　様		電源（50Hz） φ	V	kW	数量	備　考
WF―5	全自動砂ろ過ユニット	ろ過能力	7 m3/h	3	200	1.5	1	・圧力センサー(取付金物付) ・水位コントローラー (制御盤内取付) ・吐出金物　40A×4個 ・吸込金物　40A×4個 ・連通金物　50A×2個 ・デジタル温度計×2ヶ ・温度センサー(ダブルエレメント)
		ろ過タンク	材質：FRP製　φ450，ろ材：ろ過砂					
		自動弁	電動5方弁　　電動三方弁（温調弁）					
		ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ（ナイロンコーティング）　117L/min×22m					
		ヘアーキャッチャー	本体:SUS304，バスケット:SUS304，蓋:透明アクリル					
		熱交換器	本体SUS製　交換熱量：38.8kW　　シェル＆チューブ型					
			一次側：7.0℃→12.0℃(111.2L/min)、二次側：21.8℃→17.0℃(117.0L/min)					
		制御盤	屋内壁掛型　一括警報出力端子付					
CH―5	滅菌機	電磁式ダイヤフラム定量ポンプ　自動エア抜付　30mL/min×1.0MPa		1	200	15W	1	
		次亜塩素酸ソーダ使用，薬液タンク：PE製120L						
RCS―5	残留塩素計	測定項目：残留塩素（0~2.0mg/L）		1	200	(5VA)	1	・サンプル水タンク(PE製50L) 電極5P 電磁弁15A×2（送水弁，回収弁）付属
		残留塩素センサー：ポーラログラフ式　　オーバーフロー型						
SV―5	補給水弁	電動弁25A					1	
MV―51	連通排水弁	電動弁40A					1	
TI―5	チラー	空冷式ウォーターチリングユニット　冷却能力：50kW　冷水流量：144L/min		3	200	16.2	1	・リモコン，防振架台 ・集合管，ストレーナー50A×2ヶ　付属
		圧縮機：全密閉スクロール式　　送風機風量：229 + 229m3/min						
PU―5	ポンプユニット	送水ポンプ：ステンレス製渦巻ポンプ　　流量範囲（75L/min~250L/min）		3	200	2.4	1	
		冷温水タンク：ステンレス製　300L						
MV―52 ~―53	浴槽排水弁	電動弁40A					2	

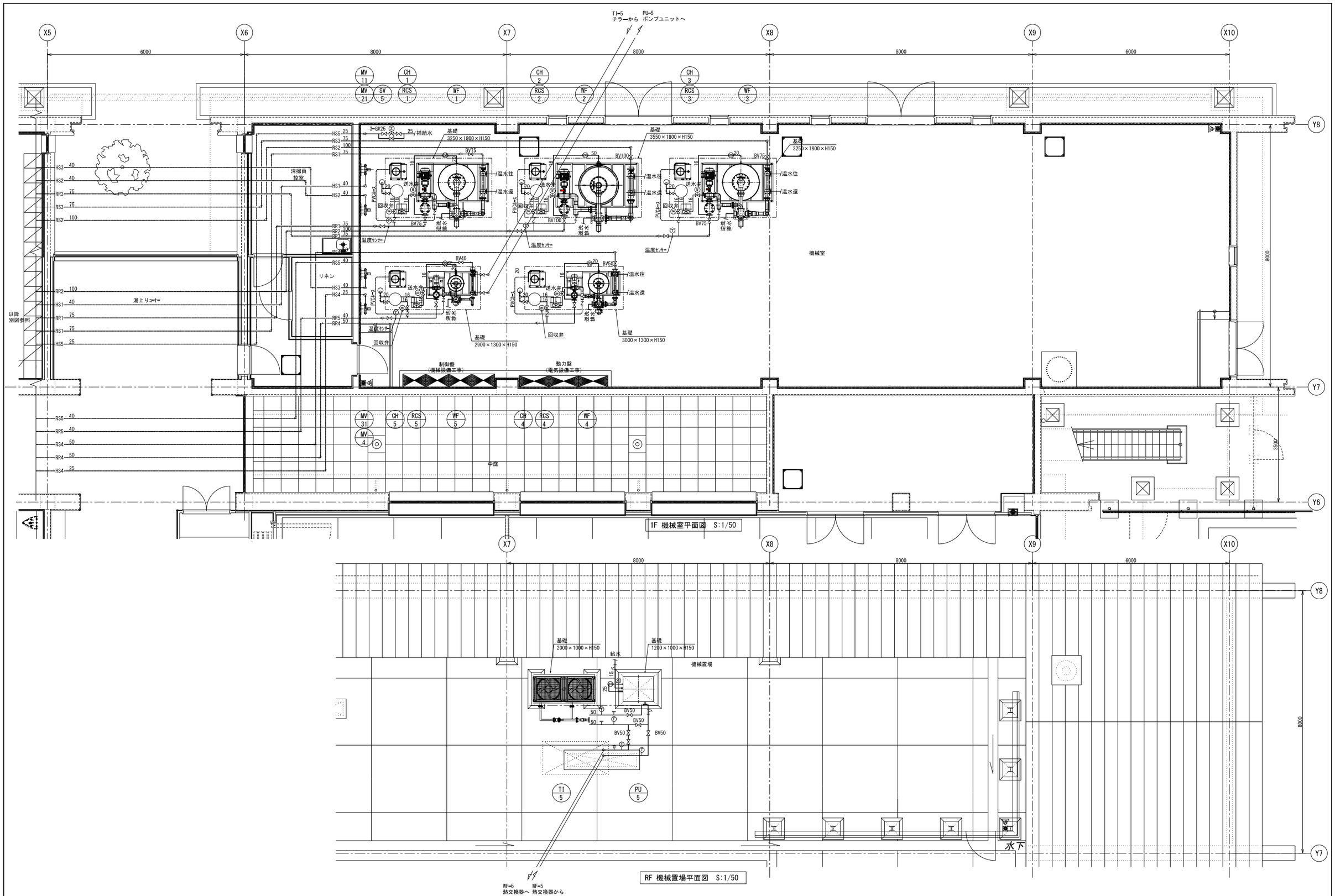
凡 例

記　号	種　別	記　号	種　別
―⋈―	2　方　弁	T	温度計，温度センサー
―N―	逆　止　弁	D	異径継手
M	電　動　弁	3	電動三方弁
S	電　磁　弁		

※ [　　] 部はろ過設備範囲を示す。

記　号	名　称	管　種
―RS5―	ろ過循環配管　往管	HIVP（耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管）
―RR5―	ろ過循環配管　還管	HIVP（耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管）
―HS5―	補給水配管	SUS304（ステンレス配管）

***		工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名　浴槽ろ過設備　フロー図、機器表-3	縮尺　A1 1：50 A3 1:100		図面番号 M-16

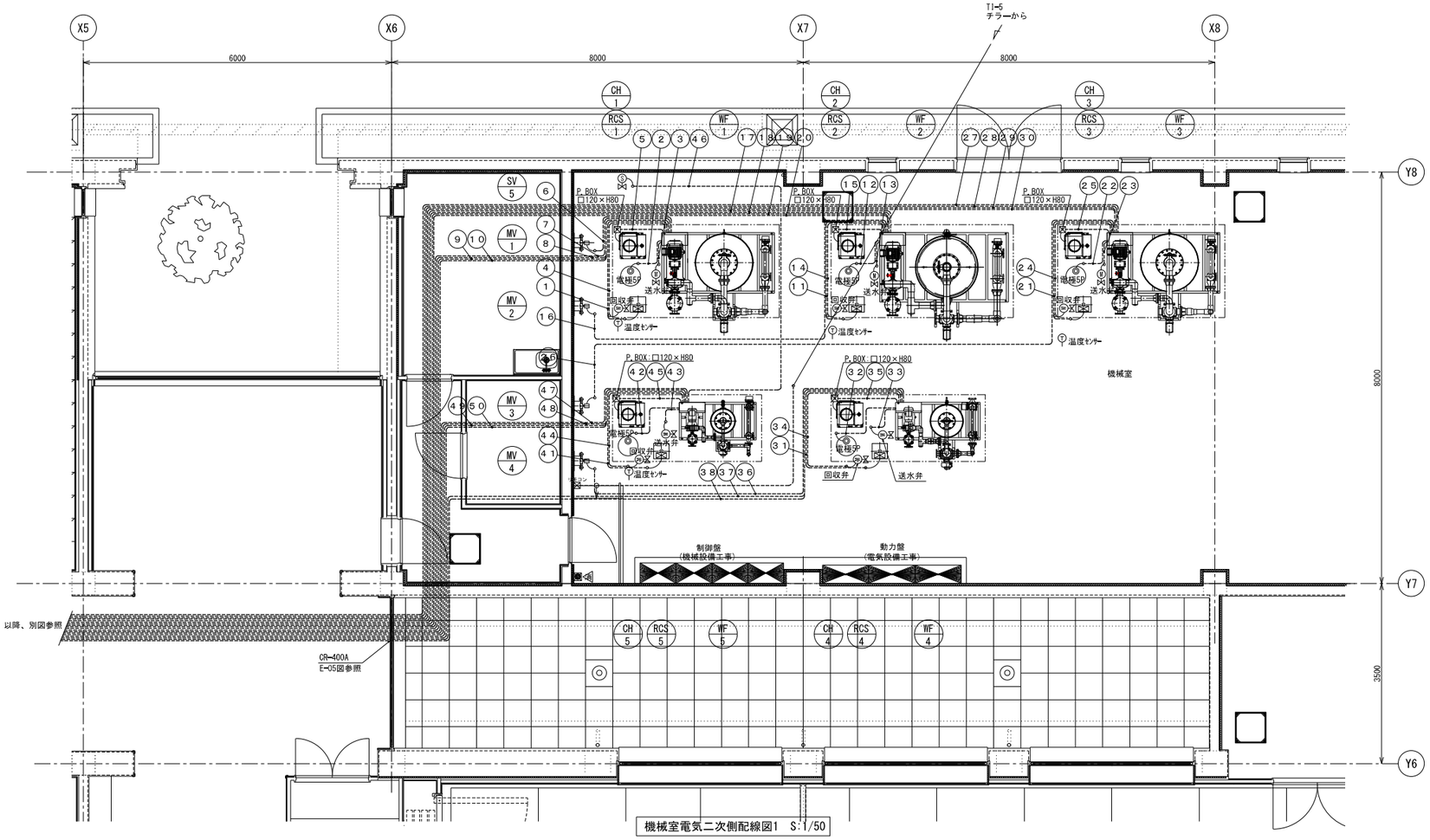


	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
	図面名 浴槽ろ過設備 平面図-1	縮尺	A1 1:50 A3 1:100		図面番号 M-17

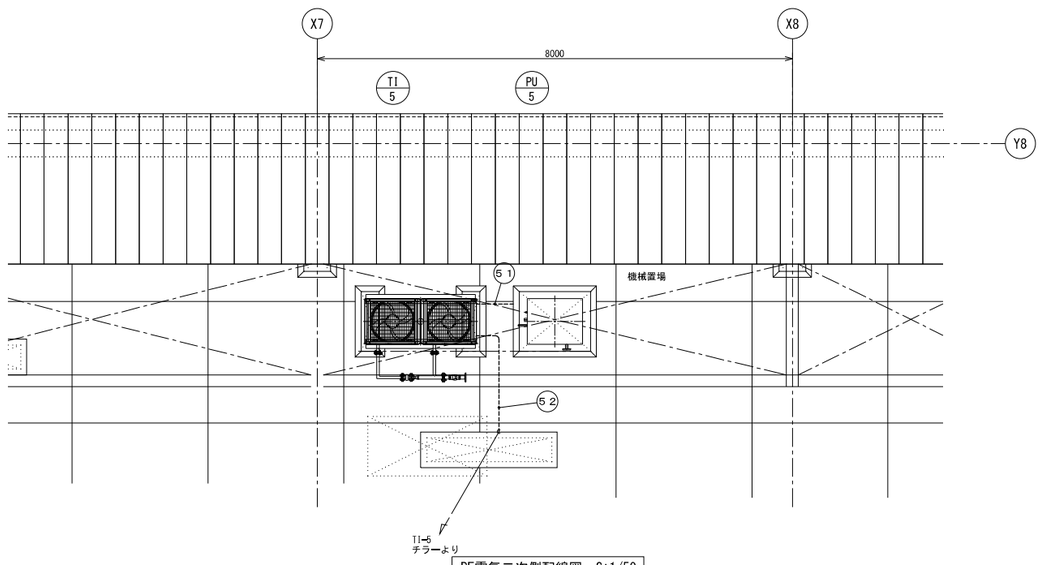
吸込金物 65A×2個
補給口 25A
連通金物 100A
吐出金物 50A×3個
男性用 露天風呂 14.31m2
排水
補給口 25A
吐出金物 50A×4個
ぬる湯 20.12m2
吸込金物 80A×2個
連通金物 100A
補給口 25A
吸込金物 50A×2個
あつ湯 11.75m2
吐出金物 50A×2個
連通金物 100A
排水
男性用浴室
HS3 25
HS2 25
RS3 50
RR3 50
かけ湯
シャワー
湯上りコーナー
以降 別図参照
MV 13
MV 33
MV 23
MV 51
MV 52
風切
排水
HS1 25
RR1 65
RS1 50
RS2 50
RR2 75
HS5 25
連通金物 50A×2個
補給口 25A
水風呂 2.90m2
吸込金物 40A×2個
吐出金物 40A×2個
サウナ
SK
MV 12
MV 22
MV 32
MV 24
MV 53
RR5 40
RS4 50
RR4 50
HS4 25
RS5 40
RR5 40
HS1 25
RR2 75
RS2 50
女性用浴室
かけ湯
シャワー
MV 14
MV 34
MV 42
女性用脱衣室
RR3 50
RS3 50
HS2 40
HS3 40
RS4 50
RR4 50
HS4 25
吸込金物 40A×2個
足湯 3.50m2
吐出金物 40A×2個
補給口 25A
WC
女性便所
男性便所
多機能便所
SK
8000
3500
4000
6000
7000
8000
8000
8000
X0
X1
X2
X3
X4
X5
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4

1F 平面図 S:1/50

***	工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
	図面名 浴槽ろ過設備 平面図-2	縮尺	A1 1:50 A3 1:100		図面番号 M-18



機械室電気二次側配線図1　S:1/50



RF電気二次側配線図　S:1/50

露天風呂ろ過装置（WF-1）

番号	電　線	電管	対象機器
1	EM-CEE1．25sq-3C	28	残留塩素計電源（RCS-1）
	EM-CEE1．25sq-2C		残留塩素計信号（RCS-1）
2	EM-CEE1．25sq-5C	22	ｻﾝﾌﾟﾙ水ﾀﾝｸ電極5P（RCS-1）
3	EM-CEE1．25sq-2C	16	送水弁（RCS-1）
4	EM-CEE1．25sq-2C	16	回収弁（RCS-1）
5	EM-CE2sq-3C	22	滅菌機（CH-1）
6	EM-CEE1．25sq-5C	22	補給水ユニット（MV-11）
7	EM-CEES1．25sq-3C	16	圧力センサー
8	EM-CEE1．25sq-5C	22	連通排水弁（MV-12）
9	EM-CEE1．25sq-5C	22	浴槽排水弁1（MV-13）
10	EM-CEE1．25sq-5C	22	浴槽排水弁2（MV-14）

ぬる湯ろ過装置（WF-2）

番号	電　線	電管	対象機器
11	EM-CEE1．25sq-3C	28	残留塩素計電源（RCS-2）
	EM-CEE1．25sq-2C		残留塩素計信号（RCS-2）
12	EM-CEE1．25sq-5C	22	ｻﾝﾌﾟﾙ水ﾀﾝｸ電極5P（RCS-2）
13	EM-CEE1．25sq-2C	16	送水弁（RCS-2）
14	EM-CEE1．25sq-2C	16	回収弁（RCS-2）
15	EM-CE2sq-3C	22	滅菌機（CH-2）
16	EM-CEE1．25sq-5C	22	補給水ユニット（MV-21）
17	EM-CEES1．25sq-3C	16	圧力センサー
18	EM-CEE1．25sq-5C	22	連通排水弁（MV-22）
19	EM-CEE1．25sq-5C	22	浴槽排水弁1（MV-23）
20	EM-CEE1．25sq-5C	22	浴槽排水弁2（MV-24）

あつ湯ろ過装置（WF-3）

番号	電　線	電管	対象機器
21	EM-CEE1．25sq-3C	28	残留塩素計電源（RCS-3）
	EM-CEE1．25sq-2C		残留塩素計信号（RCS-3）
22	EM-CEE1．25sq-5C	22	ｻﾝﾌﾟﾙ水ﾀﾝｸ電極5P（RCS-3）
23	EM-CEE1．25sq-2C	16	送水弁（RCS-3）
24	EM-CEE1．25sq-2C	16	回収弁（RCS-3）
25	EM-CE2sq-3C	22	滅菌機（CH-3）
26	EM-CEE1．25sq-5C	22	補給水ユニット（MV-31）
27	EM-CEES1．25sq-3C	16	圧力センサー
28	EM-CEE1．25sq-5C	22	連通排水弁（MV-32）
29	EM-CEE1．25sq-5C	22	浴槽排水弁1（MV-33）
30	EM-CEE1．25sq-5C	22	浴槽排水弁2（MV-34）

足湯ろ過装置（WF-4）

番号	電　線	電管	対象機器
31	EM-CEE1．25sq-3C	28	残留塩素計電源（RCS-4）
	EM-CEE1．25sq-2C		残留塩素計信号（RCS-4）
32	EM-CEE1．25sq-5C	22	ｻﾝﾌﾟﾙ水ﾀﾝｸ電極5P（RCS-4）
33	EM-CEE1．25sq-2C	16	送水弁（RCS-4）
34	EM-CEE1．25sq-2C	16	回収弁（RCS-4）
35	EM-CE2sq-3C	22	滅菌機（CH-4）
36	EM-CEE1．25sq-5C	22	補給水ユニット（MV-41）
37	EM-CEES1．25sq-3C	16	圧力センサー
38	EM-CEE1．25sq-5C	22	浴槽排水弁（MV-42）

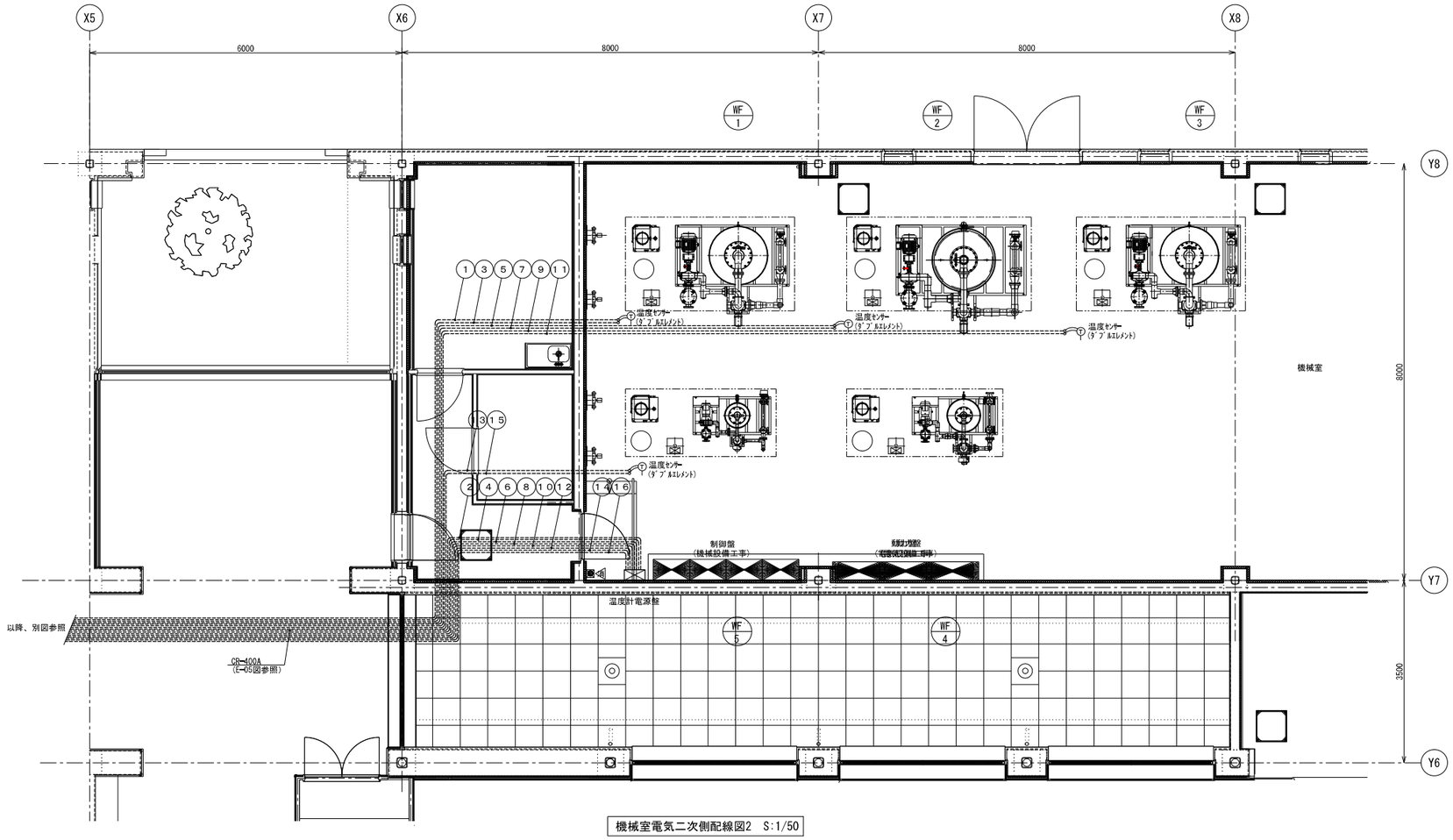
水風呂ろ過装置（WF-5）

番号	電　線	電管	対象機器
41	EM-CEE1．25sq-3C	28	残留塩素計電源（RCS-5）
	EM-CEE1．25sq-2C		残留塩素計信号（RCS-5）
42	EM-CEE1．25sq-5C	22	ｻﾝﾌﾟﾙ水ﾀﾝｸ電極5P（RCS-5）
43	EM-CEE1．25sq-2C	16	送水弁（RCS-5）
44	EM-CEE1．25sq-2C	16	回収弁（RCS-5）
45	EM-CE2sq-3C	22	滅菌機（CH-5）
46	EM-CEE1．25sq-2C	16	補給水弁（SV-51）
47	EM-CEES1．25sq-3C	16	圧力センサー
48	EM-CEE1．25sq-5C	22	連通排水弁（MV-52）
49	EM-CEE1．25sq-5C	22	浴槽排水弁1（MV-53）
50	EM-CEE1．25sq-5C	22	浴槽排水弁2（MV-54）

チラー

番号	電　線	電管	対象機器
51	EM-CEE1．25sq-2C	22	チラー運転信号（TI-5）
	EM-CEE1．25sq-2C		ポンプユニット運転信号（PU-5）
51	EM-CEE1．25sq-10C	28	チラーリモコン（TI-5）

***		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名	浴槽ろ過設備　機械室電気二次側配線図1	縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面番号 M-19



機械室電気二次側配線図2　S:1/50

男性露天風呂

番号	電　線	電管	対象機器
1	EM-CEES1．25sq－3C	16	温度計（温度センサー）
2	EM-CE2sq－3C	22	温度計（電源）

女性露天風呂

番号	電　線	電管	対象機器
3	EM-CEES1．25sq－3C	16	温度計（温度センサー）
4	EM-CE2sq－3C	22	温度計（電源）

男性ぬる湯

番号	電　線	電管	対象機器
5	EM-CEES1．25sq－3C	16	温度計（温度センサー）
6	EM-CE2sq－3C	22	温度計（電源）

女性ぬる湯

番号	電　線	電管	対象機器
7	EM-CEES1．25sq－3C	16	温度計（温度センサー）
8	EM-CE2sq－3C	22	温度計（電源）

男性あつ湯

番号	電　線	電管	対象機器
9	EM-CEES1．25sq－3C	16	温度計（温度センサー）
10	EM-CE2sq－3C	22	温度計（電源）

女性あつ湯

番号	電　線	電管	対象機器
11	EM-CEES1．25sq－3C	16	温度計（温度センサー）
12	EM-CE2sq－3C	22	温度計（電源）

男性水風呂

番号	電　線	電管	対象機器
13	EM-CEES1．25sq－3C	16	温度計（温度センサー）
14	EM-CE2sq－3C	22	温度計（電源）

女性水風呂

番号	電　線	電管	対象機器
15	EM-CEES1．25sq－3C	16	温度計（温度センサー）
16	EM-CE2sq－3C	22	温度計（電源）

***		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日	業務番号 257031
		図面名	浴槽ろ過設備　機械室電気二次側配線図２	縮尺 A1 1：50 A3 1:100	計画　製作　調査　調査 / 図面番号 M-20

男性用浴室
男性用脱衣室
男性用
露天風呂
14.309m2
圧力式水位センサー
P.BOX □150×H100
ぬる湯
20.116m2
あつ湯
11.750m2
かけ湯
シャワー
湯上りｺｰﾅｰ
以降
別図参照
風切
サウナ
水風呂
女性用浴室
女性用脱衣室
女性便所
男性
便所
多機能
便所
MC
SK
足湯
8000
3500
6000
7000
8000
8000

露天風呂ろ過装置

番号	電　線	電管	対象機器
7	EM-CEES1．25sq−3C	16	圧力センサー
8	EM-CEE1．25sq−5C	22	連通排水弁（MV−12）
9	EM-CEE1．25sq−5C	22	浴槽排水弁1（MV−13）
10	EM-CEE1．25sq−5C	22	浴槽排水弁2（MV−14）

ぬる湯ろ過装置

番号	電　線	電管	対象機器
17	EM-CEES1．25sq−3C	16	圧力センサー
18	EM-CEE1．25sq−5C	22	連通排水弁（MV−22）
19	EM-CEE1．25sq−5C	22	浴槽排水弁1（MV−23）
20	EM-CEE1．25sq−5C	22	浴槽排水弁2（MV−24）

あつ湯ろ過装置

番号	電　線	電管	対象機器
27	EM-CEES1．25sq−3C	16	圧力センサー
28	EM-CEE1．25sq−5C	22	連通排水弁（MV−32）
29	EM-CEE1．25sq−5C	22	浴槽排水弁1（MV−33）
30	EM-CEE1．25sq−5C	22	浴槽排水弁2（MV−34）

足湯ろ過装置

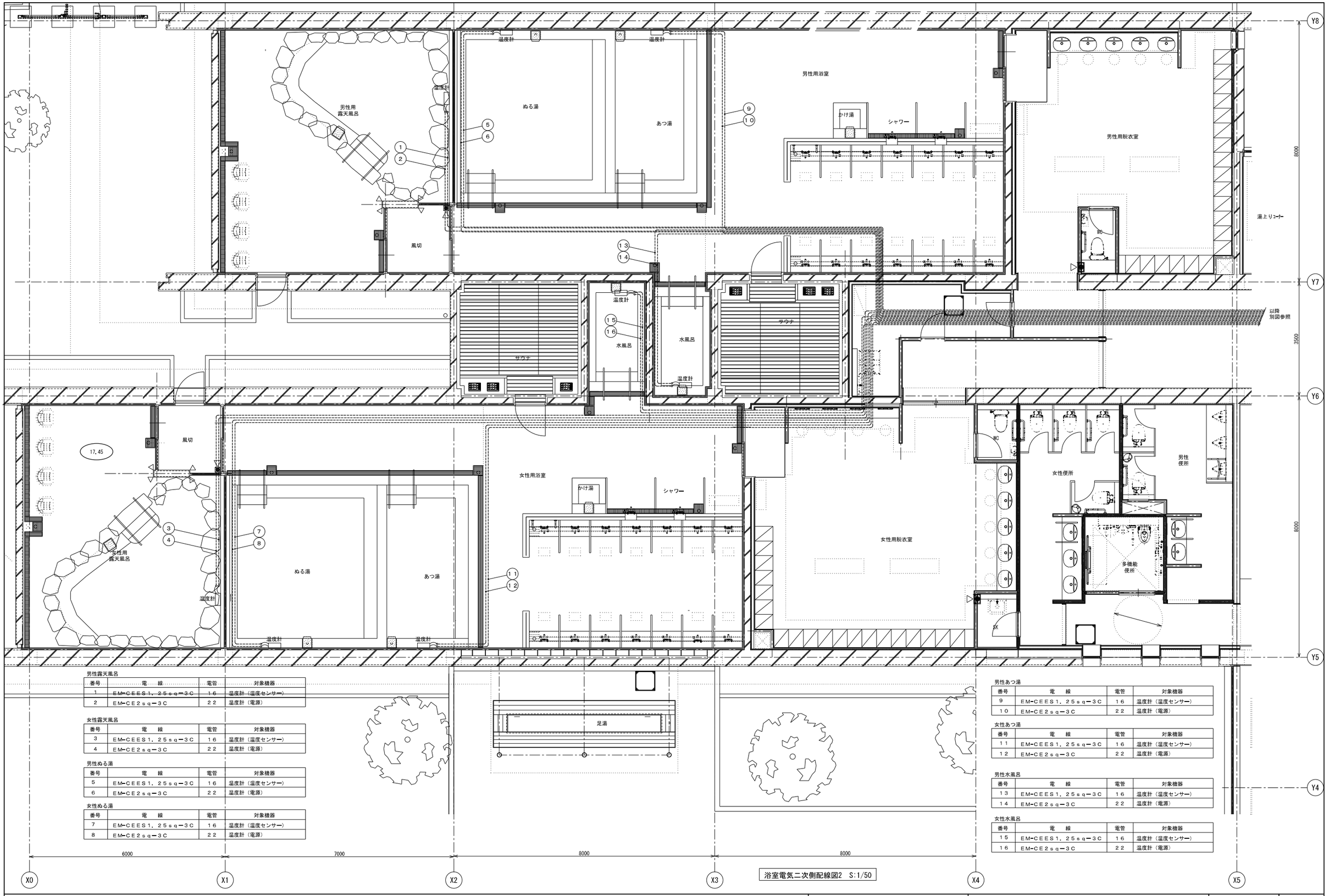
番号	電　線	電管	対象機器
37	EM-CEES1．25sq−3C	16	圧力センサー
38	EM-CEE1．25sq−5C	22	浴槽排水弁（MV−42）

水風呂ろ過装置

番号	電　線	電管	対象機器
47	EM-CEES1．25sq−3C	16	圧力センサー
48	EM-CEE1．25sq−5C	22	連通排水弁（MV−52）
49	EM-CEE1．25sq−5C	22	浴槽排水弁1（MV−53）
50	EM-CEE1．25sq−5C	22	浴槽排水弁2（MV−54）

浴室電気二次側配線図1　S:1/50

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	浴槽ろ過設備　浴室電気二次側配線図1	縮尺 A1 1：50 A3 1：100	図面番号 M−21



浴室電気ニ次側配線図2　S:1/50

男性露天風呂

番号	電　線	電管	対象機器
1	EM-CEES1．25sq-3C	16	温度計（温度センサー）
2	EM-CE2sq-3C	22	温度計（電源）

女性露天風呂

番号	電　線	電管	対象機器
3	EM-CEES1．25sq-3C	16	温度計（温度センサー）
4	EM-CE2sq-3C	22	温度計（電源）

男性ぬる湯

番号	電　線	電管	対象機器
5	EM-CEES1．25sq-3C	16	温度計（温度センサー）
6	EM-CE2sq-3C	22	温度計（電源）

女性ぬる湯

番号	電　線	電管	対象機器
7	EM-CEES1．25sq-3C	16	温度計（温度センサー）
8	EM-CE2sq-3C	22	温度計（電源）

男性あつ湯

番号	電　線	電管	対象機器
9	EM-CEES1．25sq-3C	16	温度計（温度センサー）
10	EM-CE2sq-3C	22	温度計（電源）

女性あつ湯

番号	電　線	電管	対象機器
11	EM-CEES1．25sq-3C	16	温度計（温度センサー）
12	EM-CE2sq-3C	22	温度計（電源）

男性水風呂

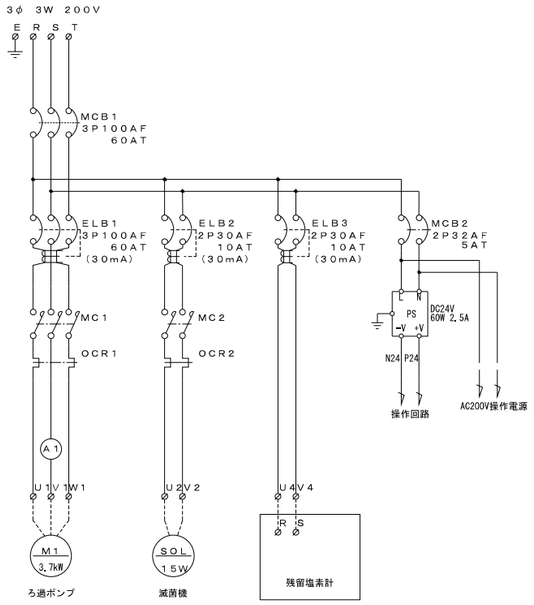
番号	電　線	電管	対象機器
13	EM-CEES1．25sq-3C	16	温度計（温度センサー）
14	EM-CE2sq-3C	22	温度計（電源）

女性水風呂

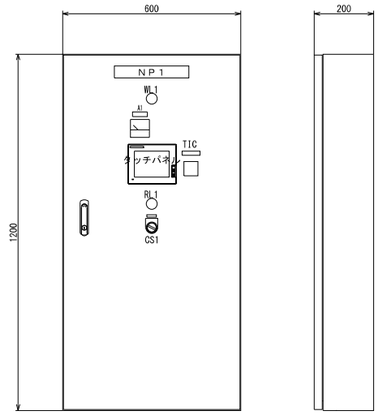
番号	電　線	電管	対象機器
15	EM-CEES1．25sq-3C	16	温度計（温度センサー）
16	EM-CE2sq-3C	22	温度計（電源）

***		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名	浴槽ろ過設備　浴室ニ次側配線図２	縮尺 A1 1：50 A3 1：100	図面番号 M-22

ＷＦ－１露天風呂ろ過装置制御盤



制御盤動力回路図



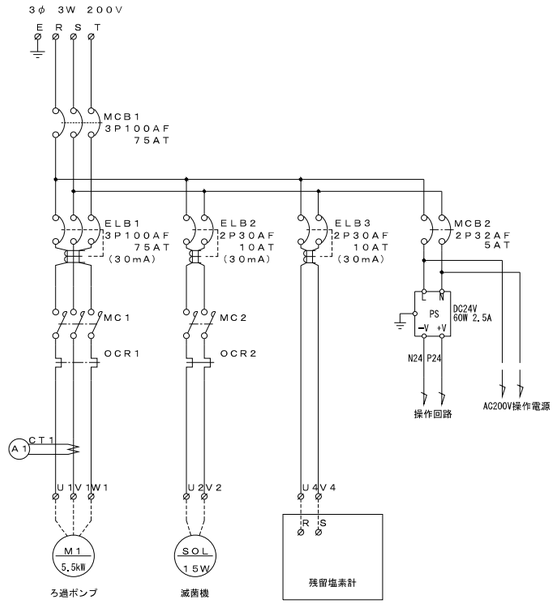
盤製作仕様		
構造	屋内壁掛型	鋼板製
板厚	本体	1.6t
	扉	1.6t
	中扉	——
	機器取付板	2.3t
塗装色	外面	2.5Y9／1半艶
	内面	2.5Y9／1半艶

銘板表

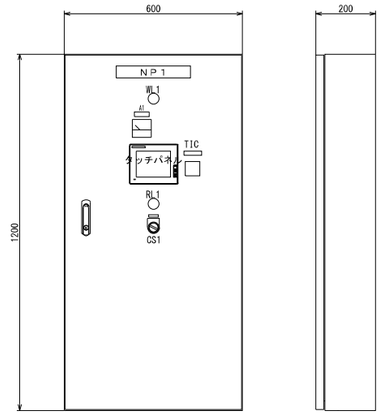
記号	彫刻文字	寸法
ＮＰ１	ＷＦ－１露天風呂ろ過装置制御盤	２０×２５０
Ａ１	ろ過ポンプ	１０×４０
ＷＬ１	電源	３０φエプロン
ＲＬ１	補給水弁開	３０φエプロン
ＣＳ１	開－閉－自動	２２φ
ＴＩＣ	温度コントローラー	１０×４０

制御盤姿図　S:1/10

ＷＦ－２ぬる湯ろ過装置制御盤



制御盤動力回路図



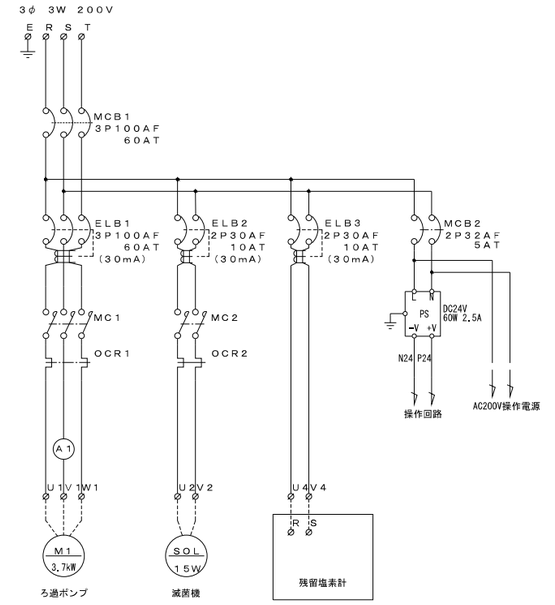
盤製作仕様		
構造	屋内壁掛型	鋼板製
板厚	本体	1.6t
	扉	1.6t
	中扉	——
	機器取付板	2.3t
塗装色	外面	2.5Y9／1半艶
	内面	2.5Y9／1半艶

銘板表

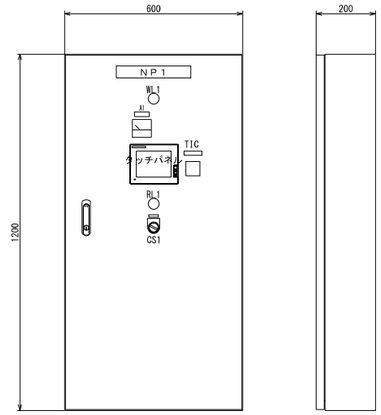
記号	彫刻文字	寸法
ＮＰ１	ＷＦ－２ぬる湯ろ過装置制御盤	２０×２５０
Ａ１	ろ過ポンプ	１０×４０
ＷＬ１	電源	３０φエプロン
ＲＬ１	補給水弁開	３０φエプロン
ＣＳ１	開－閉－自動	２２φ
ＴＩＣ	温度コントローラー	１０×４０

制御盤姿図　S:1/10

ＷＦ－３あつ湯ろ過装置制御盤



制御盤動力回路図



盤製作仕様		
構造	屋内壁掛型	鋼板製
板厚	本体	1.6t
	扉	1.6t
	中扉	——
	機器取付板	2.3t
塗装色	外面	2.5Y9／1半艶
	内面	2.5Y9／1半艶

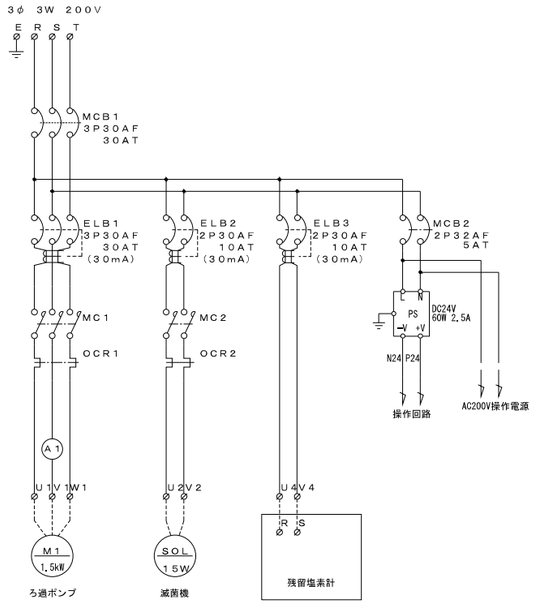
銘板表

記号	彫刻文字	寸法
ＮＰ１	ＷＦ－３あつ湯ろ過装置制御盤	２０×２５０
Ａ１	ろ過ポンプ	１０×４０
ＷＬ１	電源	３０φエプロン
ＲＬ１	補給水弁開	３０φエプロン
ＣＳ１	開－閉－自動	２２φ
ＴＩＣ	温度コントローラー	１０×４０

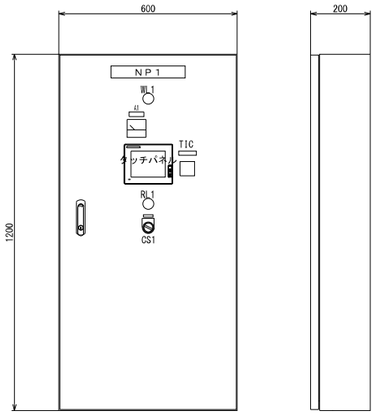
制御盤姿図　S:1/10

***		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日	業務番号 257031
		図面名	浴槽ろ過設備　制御盤図１	縮尺 A1 1:10 A3 1:20	計画　製作　調査　調査 / 図面番号 M-23

ＷＦ－４足湯ろ過装置制御盤



制御盤動力回路図



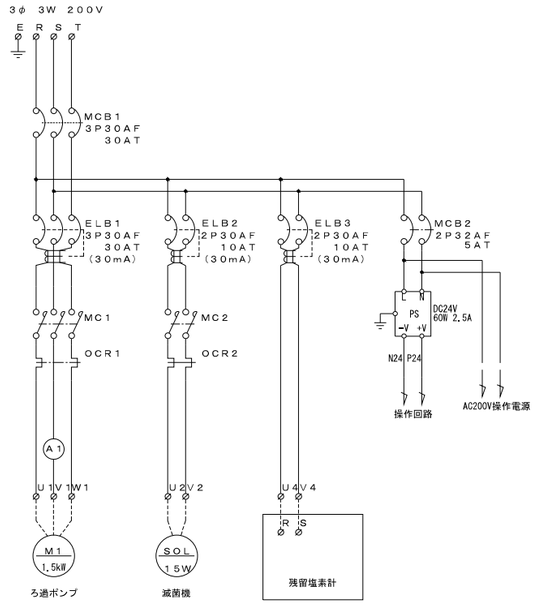
盤製作仕様		
構造	屋内壁掛型	鋼板製
板厚	本体	1.6t
	扉	1.6t
	中扉	——
	機器取付板	2.3t
塗装色	外面	2.5Y9／1半艶
	内面	2.5Y9／1半艶

銘板表

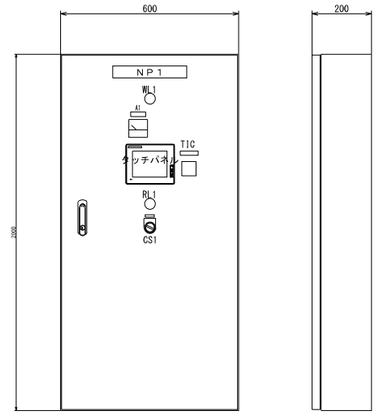
記　号	彫　刻　文　字	寸　法
ＮＰ１	ＷＦ－４足湯ろ過装置制御盤	２０×２５０
Ａ１	ろ過ポンプ	１０×４０
ＷＬ１	電源	３０φエプロン
ＲＬ１	補給水弁開	３０φエプロン
ＣＳ１	開ー閉ー自動	２２φ
ＴＩＣ	温度コントローラー	１０×４０

制御盤姿図　S:1/10

ＷＦ－５水風呂ろ過装置制御盤



制御盤動力回路図



盤製作仕様		
構造	屋内壁掛型	鋼板製
板厚	本体	1.6t
	扉	1.6t
	中扉	——
	機器取付板	2.3t
塗装色	外面	2.5Y9／1半艶
	内面	2.5Y9／1半艶

銘板表

記　号	彫　刻　文　字	寸　法
ＮＰ１	ＷＦ－５水風呂ろ過装置制御盤	２０×２５０
Ａ１	ろ過ポンプ	１０×４０
ＷＬ１	電源	３０φエプロン
ＲＬ１	補給水弁開	３０φエプロン
ＣＳ１	開ー閉ー自動	２２φ
ＴＩＣ	温度コントローラー	１０×４０

制御盤姿図　S:1/10

***

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	浴槽ろ過設備　制御盤図２	縮尺	A1 1:10 A3 1:20	計画　製作　調査　調査	図面番号 M-24

空気調和設備　機器表－１

機器記号	機器名称	設置場所 設置階	設置場所 室名（系統）	台数	機器仕様	付属品	電気容量（５０Ｈｚ） 相 φ	電圧 V	動力 kW	起動方式	非常電源ＧＣ	集中制御 発停 手元	集中制御 発停 集中	集中制御 異常故障表示	リモコン数量	備考
ACP-1	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	屋根	設備スペース	1	型式：空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁ室外機（14馬力相当）	スプリング防振架台，冷媒分岐管	3	200	9.48	直入			○			ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
	（室外機）	（１階 事務室他系統）			（高効率ﾀｲﾌﾟ・冷暖切替）R32	アクティブフィルター			（圧縮機）							鉄骨架台：別途建築工事
					冷房能力：40.0kW，暖房能力：45.0kW	他標準付属品一式共	3	200	0.56							参考型番：PUHY-EMP400FM
					配管ｻｲｽﾞ：液管 12.7φ，ガス管 25.4φ				（送風機）							製品重量：306kg
					消費電力：（冷房）10.6kW											手元開閉器：75A
					消費電力：（暖房）11.6kW，（暖房低温）10.8kW											
ACP-1-1	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	事務室	1	型式：４方向吹出天井カセット形	化粧パネル（人検知機能付）	1	200	0.050	直入		○	○	○	1	参考型番：PLFY-MP45HM
	（室内機）				冷房能力：4.5kW，暖房能力：5.0kW	標準フィルター，防振ゴム			（送風機）							製品重量：19.0kg
					配管ｻｲｽﾞ：液管 6.35φ，ガス管 12.7φ	ドレンアップメカ装備										冷媒検知センサー内蔵
					消費電力：（冷房）0.02kW，（暖房）0.02kW	ワイヤードリモコン（冷媒警報付）										
						冷媒遮断弁キット										
						他標準付属品一式共										
ACP-1-2	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	休憩室	1	型式：４方向吹出天井カセット形（コンパクトタイプ）	化粧パネル（人検知機能付）	1	200	0.050	直入		○	○	○	1	参考型番：PLFY-MP28GM
	（室内機）				冷房能力：2.8kW，暖房能力：3.2kW	標準フィルター，防振ゴム			（送風機）							製品重量：16.0kg
					配管ｻｲｽﾞ：液管 6.35φ，ガス管 12.7φ	ドレンアップメカ装備										冷媒検知センサー内蔵
					消費電力：（冷房）0.02kW，（暖房）0.02kW	ワイヤードリモコン（冷媒警報付）										
						冷媒遮断弁キット										
						他標準付属品一式共										
ACP-1-3	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	軽食コーナー（上足）	2	型式：４方向吹出天井カセット形	化粧パネル（人検知機能付）	1	200	0.050	直入		○	○	○	1	参考型番：PLFY-MP56HM
	（室内機）				冷房能力：5.6kW，暖房能力：6.3kW	標準フィルター，防振ゴム			（送風機）							製品重量：19.0kg
					配管ｻｲｽﾞ：液管 6.35φ，ガス管 12.7φ	ドレンアップメカ装備										冷媒検知センサー内蔵
					消費電力：（冷房）0.02kW，（暖房）0.02kW	ワイヤードリモコン（冷媒警報付）										
						冷媒遮断弁キット										
						他標準付属品一式共										
ACP-1-4	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	自販機コーナー	1	型式：天井埋込ダクト形	標準フィルター，防振ゴム	1	200	0.375	直入		○	○	○	1	参考型番：PEFY-MP140M
	（室内機）	（１階 軽食コーナー（下足）系統）			冷房能力：14.0kW，暖房能力：16.0kW	フィルターチャンバー			（送風機）							製品重量：50.0kg
					送風量：45.5-34-28 ㎥/min(強-中-弱)×200Pa(機外静圧)	ドレンアップメカ装備										冷媒検知センサー内蔵
					配管ｻｲｽﾞ：液管 9.52φ，ガス管 15.88φ	ワイヤードリモコン（冷媒警報付）										
					消費電力：（冷房）0.41kW，（暖房）0.41kW	冷媒遮断弁キット										
						他標準付属品一式共										
ACP-2	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	屋根	設備スペース	1	型式：空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁ室外機（14馬力相当）	スプリング防振架台，冷媒分岐管	3	200	4.44+6.35	直入			○			ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
	（室外機）	（１階 エントランス系統）			（高効率ﾀｲﾌﾟ・冷暖切替）R32	アクティブフィルター			（圧縮機）							鉄骨架台：別途建築工事
					冷房能力：50.0kW，暖房能力：56.0kW	他標準付属品一式共	3	200	0.31+0.34							参考型番：PUHY-EMP500FM
					配管ｻｲｽﾞ：液管 15.88φ，ガス管 28.58φ				（送風機）							製品重量：266kg+265kg
					消費電力：（冷房）12.6kW											（２台１組）
					消費電力：（暖房）13.4kW，（暖房低温）15.0kW											手元開閉器：100A
ACP-2-1	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	エントランスホール	3	型式：４方向吹出天井カセット形	化粧パネル（人検知機能付）	1	200	0.050	直入		○	○	○	3	参考型番：PLFY-MP90HM
	（室内機）				冷房能力：9.0kW，暖房能力：10.0kW	標準フィルター，防振ゴム			（送風機）							製品重量：21.0kg
					配管ｻｲｽﾞ：液管 9.52φ，ガス管 15.88φ	ドレンアップメカ装備										
					消費電力：（冷房）0.04kW，（暖房）0.04kW	ワイヤードリモコン										
						他標準付属品一式共										
ACP-2-2	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	湯上りコーナー	1	型式：４方向吹出天井カセット形	化粧パネル（人検知機能付）	1	200	0.050	直入		○	○	○	1	参考型番：PLFY-MP45HM
	（室内機）				冷房能力：4.5kW，暖房能力：5.0kW	標準フィルター，防振ゴム			（送風機）							製品重量：19.0kg
					配管ｻｲｽﾞ：液管 6.35φ，ガス管 12.7φ	ドレンアップメカ装備										冷媒検知センサー内蔵
					消費電力：（冷房）0.02kW，（暖房）0.02kW	ワイヤードリモコン（冷媒警報付）										
						冷媒遮断弁キット										
						他標準付属品一式共										
ACP-2-3	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	厨房前廊下	1	型式：２方向吹出天井カセット形	化粧パネル（人検知機能付）	1	200	0.050×2	直入		○	○	○	1	参考型番：PLFY-MP90LM
	（室内機）				冷房能力：9.0kW，暖房能力：10.0kW	標準フィルター，防振ゴム			（送風機）							製品重量：41.0kg
					配管ｻｲｽﾞ：液管 9.52φ，ガス管 15.88φ	他標準付属品一式共										冷媒検知センサー内蔵
					消費電力：（冷房）0.08kW，（暖房）0.08kW	ワイヤードリモコン（冷媒警報付）										
						冷媒遮断弁キット										
						他標準付属品一式共										
ACP-3	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	屋根	設備スペース	1	型式：空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁ室外機（24馬力相当）	スプリング防振架台，冷媒分岐管	3	200	7.47×2	直入			○			ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
	（室外機）	（１階 大広間系統）			（高効率ﾀｲﾌﾟ・冷暖切替）R32	アクティブフィルター			（圧縮機）							鉄骨架台：別途建築工事
					冷房能力：67.0kW，暖房能力：77.5kW	他標準付属品一式共	3	200	0.42×2							参考型番：PUHY-EMP670FM
					配管ｻｲｽﾞ：液管 15.88φ，ガス管 28.58φ				（送風機）							製品重量：269kg+269kg
					消費電力：（冷房）17.7kW											（２台１組）
					消費電力：（暖房）19.1kW，（暖房低温）24.1kW											手元開閉器：125A
ACP-3-1	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	大広間	3	型式：天井埋込ダクト形	標準フィルター，防振ゴム	1	200	0.375	直入		○	○	○	1	参考型番：PEFY-MP140M
	（室内機）				冷房能力：14.0kW，暖房能力：16.0kW	フィルターチャンバー			（送風機）							製品重量：50.0kg
					送風量：45.5-34-28 ㎥/min(強-中-弱)×200Pa(機外静圧)	ドレンアップメカ装備										
					配管ｻｲｽﾞ：液管 9.52φ，ガス管 15.88φ	ワイヤードリモコン										
					消費電力：（冷房）0.41kW，（暖房）0.41kW	他標準付属品一式共										

機器記号	機器名称	設置場所 設置階	設置場所 室名（系統）	台数	機器仕様	付属品	電気容量（５０Ｈｚ） 相 φ	電圧 V	動力 kW	起動方式	非常電源ＧＣ	集中制御 発停 手元	集中制御 発停 集中	集中制御 異常故障表示	リモコン数量	備考
ACP-3-2	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	中広間	2	型式：天井埋込ダクト形	標準フィルター，防振ゴム	1	200	0.375	直入		○	○	○	1	参考型番：PEFY-MP112M
	（室内機）				冷房能力：11.2kW，暖房能力：12.5kW	フィルターチャンバー			（送風機）							製品重量：50.0kg
					送風量：38-32-26.5 ㎥/min(強-弱)×200Pa(機外静圧)	ドレンアップメカ装備										
					配管ｻｲｽﾞ：液管 9.52φ，ガス管 15.88φ	ワイヤードリモコン										
					消費電力：（冷房）0.30kW，（暖房）0.30kW	他標準付属品一式共										
ACP-4	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	屋根	設備スペース	1	型式：空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁ室外機（10馬力相当）	スプリング防振架台，冷媒分岐管	3	200	6.35	直入			○			ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
	（室外機）	（１階 脱衣室系統）			（高効率ﾀｲﾌﾟ冷暖切替）R32	アクティブフィルター			（圧縮機）							鉄骨架台：建築工事
					冷房能力：28.0kW，暖房能力：31.5kW	他標準付属品一式共	3	200	0.34							参考型番：PUHY-EMP280FM
					主配管ｻｲｽﾞ：液管 9.52φ，ガス管 22.2φ				（送風機）							製品重量：265kg
					消費電力：（冷房）7.42kW											手元開閉器：60A
					消費電力：（暖房）7.73kW，（暖房低温）8.60kW											
ACP-4-1	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	男性脱衣室	2	型式：４方向吹出天井カセット形	化粧パネル（人検知機能付）	1	200	0.050	直入		○	○	○	1	参考型番：PLFY-MP56HM
	（室内機）				冷房能力：5.6kW，暖房能力：6.3kW	標準フィルター，防振ゴム			（送風機）							製品重量：19.0kg
					配管ｻｲｽﾞ：液管 6.35φ，ガス管 12.7φ	ドレンアップメカ装備										
					消費電力：（冷房）0.02kW，（暖房）0.02kW	ワイヤードリモコン										
						他標準付属品一式共										
ACP-4-2	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	１階	女性脱衣室	2	型式：４方向吹出天井カセット形	化粧パネル（人検知機能付）	1	200	0.050	直入		○	○	○	1	参考型番：PLFY-MP71HM
	（室内機）				冷房能力：7.1kW，暖房能力：8.0kW	標準フィルター，防振ゴム			（送風機）							製品重量：20.0kg
					配管ｻｲｽﾞ：液管 9.52φ，ガス管 15.88φ	ドレンアップメカ装備										
					消費電力：（冷房）0.03kW，（暖房）0.03kW	ワイヤードリモコン										
						他標準付属品一式共										
ACP-5	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	屋根	設備スペース		型式：空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ室外機（1.5馬力相当）	スプリング防振架台，冷媒分岐管	3	200	0.60	直入						ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
	（室外機）	（１階 清掃員控室系統）			（高効率ﾀｲﾌﾟ・標準シングル）R32	集中リモコン用アダプタ，			（圧縮機）							鉄骨架台：建築工事
					冷房能力：3.6kW，暖房能力：4.0kW	標準化粧パネル，	3	200	0.040							参考型番：PLZ-ZRMP40GF5
					配管ｻｲｽﾞ：液管 6.35φ，ガス管 12.7φ	標準フィルター，防振ゴム			（外送風機）							製品重量：41kg（外機）
ACP-5-1	（室内機）	１階	清掃員控室	（１）	型式：４方向吹出天井カセット形（コンパクトタイプ）	ドレンアップメカ装備	3	200	0.050	直入		○	○	○	1	製品重量：20.6kg（内機）
					冷房能力：3.6kW，暖房能力：4.0kW	ワイヤードリモコン			（内送風機）							ﾌﾞﾚｰｶｰ容量：15A
					消費電力：（冷房）0.810kW	他標準付属品一式共										
					消費電力：（暖房）0.930kW，（暖房低温）1.42kW											
ACP-6	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	屋根	設備スペース		型式：空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ室外機（1.5馬力相当）	スプリング防振架台，冷媒分岐管	3	200	2.80	直入						ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
	（室外機）	（１階 厨房系統）			（高効率ﾀｲﾌﾟ・標準シングル）R32	集中リモコン用アダプタ，			（圧縮機）							鉄骨架台：建築工事
					冷房能力：12.5kW，暖房能力：14.0kW	オイルミストフィルター，	3	200	0.060×2							参考型番：PCZ-ZRMP140H5
					配管ｻｲｽﾞ：液管 9.52φ，ガス管 15.88φ	防振ゴム，ワイヤードリモコン，			（外送風機）							製品重量：99kg（外機）
ACP-6-1	（室内機）	１階	厨房	（１）	型式：厨房用天吊形（ステンレス外装）	ドレンアップメカ装備	3	200	0.080×2	直入		○	○	○	1	製品重量：56kg（内機）
					冷房能力：12.5kW，暖房能力：14.0kW	他標準付属品一式共			（内送風機）							ﾌﾞﾚｰｶｰ容量：30A
					消費電力：（冷房）3.46kW											
					消費電力：（暖房）3.64kW，（暖房低温）6.34kW											
SC-1	集中管理ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ	１階	事務室	1	型式：空調換気集中管理用システムコントローラ	制御盤内取付金具	1	100	12W	直入			○	○		参考型番：PAC-SF50AT2
			（総合盤内組込）		液晶表示・操作：ｶﾗｰ液晶表示，ﾀｯﾁﾊﾟﾈﾙ操作	USBドア付カバー										
					接続管理台数：50台	他標準付属品一式共										
					機能：一括運転/停止，運転ﾓｰﾄﾞ切換	外形寸法：200mm×284mm×65mm										
					室温設定，風速・風向設定，手元操作禁止/許可											
					スケジュール運転，異常表示等											
HU-1	ダクトヒーター	屋根	設備スペース	1	型式：電気式ダクトヒーター　屋外型		3	200	36	直入						
		（男性脱衣室・浴室系統）			処理風量(OA)：4,610 ㎥/h											
					暖房能力：34.0 kW											
HU-2	ダクトヒーター	屋根	設備スペース	1	型式：電気式ダクトヒーター　屋外型		3	200	36	直入						
		（女性脱衣室・浴室系統）			処理風量(OA)：4,610 ㎥/h											
					暖房能力：34.0 kW											

■空調設備注記事項

１）機器表中の冷暖房能力値はJIS B8616条件による。

２）設計温湿度条件（屋外：夏季DB 36.6℃、RH48%、冬季DB 0.1℃、RH40%）
（室内：夏季DB 26.0℃、RH50%、冬季DB 22.0℃、RH40%）

３）空調機器は高効率仕様を採用とし、冷媒仕様はR410A又はR32とする。

４）空調室内機器は全て防振吊りとする。

５）新設機器の室内機・室外機への１次側電源配管配線工事は電気工事とする。

６）新設室外機コンクリート基礎及び鉄骨架台は別途建築工事とする。

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	空気調和設備　機器表－１	縮尺 A1 N.S. A3 N.S.		図面番号 M-25

空気調和設備　機器表－２

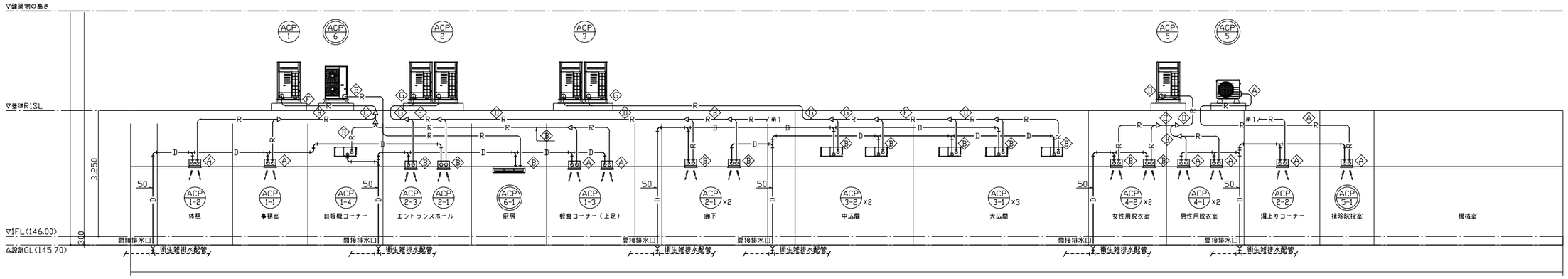
機器記号	機器名称	設置場所 設置階	設置場所 室名（系統）	台数	機器仕様	付属品	電気容量（５０Ｈｚ） 相 φ	電圧 Ｖ	動力 ｋＷ	起動方式	非常電源ＧＣ	集中制御 発停 手元	集中制御 発停 集中	集中制御 異常故障表示	集中制御 リモコン数量	備考
HEX-1	空調用換気扇	1階	事務室	1	型式：天井埋込カセット形全熱交換器ユニット	インテリアパネル	1	100	107W	直入		○			1	型番：LGH-N25CX3D
					（マイコンタイプ・24時間換気運転）	天吊金具，標準フィルター			(消費電力)							ｴﾝﾀﾙﾋﾟ交換効率：
					送風量：150φ×150 m³/h×50Pa(機外静圧)	リモコンスイッチ										（冷房）60.5%以上
					（24時間換気：30 m³/h)	他標準付属品一式共										（暖房）61%以上
HEX-2	空調用換気扇	1階	清掃員控室	1	型式：天井埋込カセット形全熱交換器ユニット	フラットインテリアパネル	1	100	69W	直入		○			1	型番：LGH-N15CX3
					（マイコンタイプ・24時間換気運転）	天吊金具，標準フィルター			(消費電力)							ｴﾝﾀﾙﾋﾟ交換効率：
					送風量：150φ×120 m³/h×80Pa(機外静圧)	リモコンスイッチ										（冷房）64%以上
					（24時間換気：20 m³/h)	他標準付属品一式共										（暖房）70%以上
HEX-3	空調用換気扇	1階	軽食コーナー（上足）	1	型式：天井埋込ダクト形全熱交換器ユニット	防振天吊金具，標準フィルター	1	100	395W	直入		○			1	型番：LGH-N65RX4
					（マイコンタイプ）	リモコンスイッチ			(消費電力)							ｴﾝﾀﾙﾋﾟ交換効率：
					送風量：200φ×600 m³/h×150Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										（冷房）63%以上
					（24時間換気：100 m³/h)											（暖房）72%以上
HEX-4	空調用換気扇	1階	軽食コーナー（下足）	1	型式：天井埋込ダクト形全熱交換器ユニット	防振天吊金具，標準フィルター	1	100	395W	直入		○			1	型番：LGH-N65RX4
					（マイコンタイプ・24時間換気運転）	リモコンスイッチ			(消費電力)							ｴﾝﾀﾙﾋﾟ交換効率：
					送風量：200φ×600 m³/h×180Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										（冷房）63%以上
																（暖房）72%以上
HEX-5	空調用換気扇	1階	大広間	3	型式：天井埋込ダクト形全熱交換器ユニット	防振吊金具，標準フィルター	1	100	525	直入		○		○	3	型番：LGH-N100RX4
					（マイコンタイプ・24時間換気運転）	リモコンスイッチ			(消費電力)							1台は24時間運転
					送風量：250φ×960 m³/h×150Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										ｴﾝﾀﾙﾋﾟ交換効率：
					（24時間換気：230 m³/h)											（冷房）65%以上
																（暖房）75%以上
HEX-6	空調用換気扇	1階	中広間	2	型式：天井埋込ダクト形全熱交換器ユニット	防振吊金具，標準フィルター	1	100	525	直入		○		○	2	型番：LGH-N100RX4
					（マイコンタイプ・24時間換気運転）	リモコンスイッチ			(消費電力)							1台は24時間運転
					送風量：250φ×710 m³/h×150Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										ｴﾝﾀﾙﾋﾟ交換効率：
					（24時間換気：120 m³/h)											（冷房）65%以上
																（暖房）75%以上
FS-1	給気ファン	屋根	設備スペース	1	型式：消音ボックス付シロッコファン（屋外床置型）	スプリング防振架台	3	200	2.2	直入		○			電気	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
		（1階	男性脱衣室・浴室系統）		送風量：#2 1/2×4,260 m³/h×250Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										参考型番：CLF6-U-No.2 1/2※
					※排気ファンFE-1と連動運転（電気工事）											製品重量：205.0kg
FS-2	給気ファン	屋根	設備スペース	1	型式：消音ボックス付シロッコファン（屋外床置型）	スプリング防振架台	3	200	2.2	直入		○			電気	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
		（1階	女性脱衣室・浴室系統）		送風量：#2 1/2×4,210 m³/h×250Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										参考型番：CLF6-U-No.2 1/2※
					※排気ファンFE-2と連動運転（電気工事）											製品重量：205.0kg
FS-3	給気ファン	1階	機械室	3	型式：低騒音形ステンレス製有圧換気扇（給気専用）	ステンレス製バックガード	3	200	0.135	直入		○			電気	型番：EF-40DTXC2-Q
					送風量：40cm×2,800 m³/h×60Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							製品重量：15.0kg
					据付部材：ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙ用取付枠，屋内外ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ											公称出力：0.2kW
					電動式ｼｬｯﾀｰ											
FS-4	給気ファン	屋根	設備スペース	1	型式：消音ボックス付シロッコファン（屋外床置型）	スプリング防振架台	3	200	2.2	直入		○			電気	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
			（1階 厨房系統）		送風量：#2 1/2×3,250 m³/h×150Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										参考型番：CLF6-U-No.2 1/2※
					※排気ファンFE-4と連動運転（電気工事）											製品重量：205.0kg
FS-5	給気ファン	1階	厨房	1	型式：天吊埋込形ストレートシロッコファン(消音形)	防振吊金具	1	100	145W	直入		○			電気	型番：BFS-90SUDC
			（1階 厨房系統）		送風量：#1 1/4(200φ)×780 m³/h×150Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							製品重量：18.0kg
					※排気ファンFE-5と連動運転（電気工事）											
FE-1	排気ファン	屋根	設備スペース	1	型式：低騒音形ステンレス製有圧換気扇（高耐食ﾀｲﾌﾟ）	ステンレス製高耐食バックガード	3	200	0.393	直入		○			電気	型番：EG-60FTXC2-F
		（1階	男性脱衣室・浴室系統）		送風量：60cm×4,260 m³/h×80Pa(機外静圧)	ステンレス製ウェザーカバー（FD付）			(消費電力)							製品重量：29.0kg
					据付部材：ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙ用取付枠，屋内外ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ	他標準付属品一式共										公称出力：0.75kW
					電動式ｼｬｯﾀｰ，ﾄﾞﾚﾝﾊﾟﾝ											
FE-2	排気ファン	屋根	設備スペース	1	型式：低騒音形ステンレス製有圧換気扇（高耐食ﾀｲﾌﾟ）	ステンレス製高耐食バックガード	3	200	0.393	直入		○			電気	型番：EG-60FTXC2-F
		（1階	女性脱衣室・浴室系統）		送風量：60cm×4,210 m³/h×80Pa(機外静圧)	ステンレス製ウェザーカバー（FD付）			(消費電力)							製品重量：29.0kg
					据付部材：ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙ用取付枠，屋内外ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ	他標準付属品一式共										公称出力：0.75kW
					電動式ｼｬｯﾀｰ，ﾄﾞﾚﾝﾊﾟﾝ											
FE-3	排気ファン	1階	機械室	2	型式：低騒音形ステンレス製有圧換気扇（排気専用）	ステンレス製バックガード	3	200	0.135	直入		○			電気	型番：EF-40DTXC2
					送風量：40cm×2,650 m³/h×60Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							製品重量：12.5kg
					据付部材：ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙ用取付枠，屋内外ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ											公称出力：0.2kW
					電動式ｼｬｯﾀｰ											
FE-4	排気ファン	屋根	設備スペース	1	型式：厨房用片吸込シロッコファン（屋外床置型）	スプリング防振架台	3	200	1.5	直入		○			電気	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
			（1階 厨房系統）		送風量：#2 ×3,820 m³/h×150Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										型番：CLF6-OB No.2※
					※給気ファンFS-4と連動運転（電気工事）											製品重量：80.0kg
FE-5	排気ファン	1階	厨房	1	型式：天吊埋込形ストレートシロッコファン(消音形)	防振吊金具	1	100	240W	直入		○			電気	型番：BFS-100SXA2
			（1階 厨房系統）		送風量：#1 1/4(200φ)×780 m³/h×170Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							製品重量：18.0kg
					※給気ファンFS-5と連動運転（電気工事）											
FE-6	排気ファン	1階	男性便所	1	型式：天吊埋込形ストレートシロッコファン(消音形)	防振吊金具	1	100	62.5W	直入		○			電気	型番：BFS-50SUDC
					送風量：#1 1/4(200φ)×460 m³/h×100Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							製品重量：12.0kg

機器記号	機器名称	設置場所 設置階	設置場所 室名（系統）	台数	機器仕様	付属品	電気容量（５０Ｈｚ） 相 φ	電圧 Ｖ	動力 ｋＷ	起動方式	非常電源ＧＣ	発停・警報 発停 手元	発停・警報 発停 遠方	発停・警報 異常故障表示	発停・警報 一括警報	備考
FE-7	排気ファン	1階	女性便所	1	型式：天吊埋込形ストレートシロッコファン(消音形)	防振吊金具	1	100	62.5W	直入		○			電気	型番：BFS-50SUDC
					送風量：#1 1/4(200φ)×500 m³/h×100Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							製品重量：12.0kg
FE-8	排気ファン	1階	男性浴室	1	型式：天吊埋込形ストレートシロッコファン	防振吊金具	1	100	57W	直入		○			1	型番：BFS-40SYA2
					（消音耐湿タイプ・24時間運転）	コントロールスイッチ			(消費電力)							製品重量：9.5kg
					送風量：#1 1/4(150φ)×220 m³/h×100Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										
					（24時間換気：260 m³/h)											
FE-9	排気ファン	1階	女性浴室	1	型式：天吊埋込形ストレートシロッコファン	防振吊金具	1	100	57W	直入		○			1	型番：BFS-40SYA2
					（消音耐湿タイプ・24時間運転）	コントロールスイッチ			(消費電力)							製品重量：9.5kg
					送風量：#1 1/4(150φ)×260 m³/h×100Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										
					（24時間換気：260 m³/h)											
FV-1	排気ファン	1階	休憩室ほか3室	1	型式：天井埋込形換気扇	天吊金具	1	100	31W	直入		○			電気	型番：VD-18ZFVC7
					（低騒音形・3室換気用・24時間運転）	24時間換気スイッチ			(消費電力)							
					送風量：100φ×150 m³/h×60Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共										
					（24時間換気：20 m³/h)											
FV-2	排気ファン	1階	倉庫(事務室)	1	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形)	天吊金具	1	100	20W	直入		○			電気	型番：VD-15ZPC14
					送風量：150φ×150 m³/h×50Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							
FV-3	排気ファン			2	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形)	天吊金具	1	100	13W	直入		○			電気	型番：VD-15ZC14
		1階	倉庫	(1)	送風量：100φ×100 m³/h×50Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							
		1階	倉庫	(1)												
FV-4	排気ファン	1階	リネン	1	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形)	天吊金具	1	100	14W	直入		○			電気	型番：VD-15ZC14
					送風量：100φ×130 m³/h×50Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							
FV-5	排気ファン	1階	多機能便所	1	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形)	天吊金具	1	100	20W	直入		○			電気	型番：VD-15ZPC14
					送風量：150φ×150 m³/h×50Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							
FV-6	排気ファン	1階	下足入	1	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形・24時間運転)	天吊金具	1	100	21W	直入		○			電気	型番：VD-18ZVX7-C
					送風量：150φ×230 m³/h×50Pa(機外静圧)	24時間換気スイッチ			(消費電力)							24時間強運転
					（24時間換気：230 m³/h)	他標準付属品一式共										
FV-7	排気ファン	1階	倉庫(大広間)	1	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形)	天吊金具	1	100	44W	直入		○			電気	型番：VD-20ZP13
					送風量：150φ×380 m³/h×50Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							
FV-8	排気ファン	1階	湯上りコーナー	1	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形)	天吊金具	1	100	54W	直入		○			電気	型番：VD-20ZXP14-C
					送風量：150φ×360 m³/h×50Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							
FV-9	排気ファン			2	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形・24時間運転)	天吊金具	1	100	20W	直入		○			電気	型番：VD-15ZVC7
		1階	WC(男性脱衣)	(1)	送風量：100φ×70 m³/h×50Pa(機外静圧)	24時間換気スイッチ			(消費電力)							24時間強運転
		1階	WC(女性脱衣)	(1)	（24時間換気：70 m³/h)	他標準付属品一式共										
FV-10	排気ファン	1階	SK	1	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形)	天吊金具	1	100	44W	直入		○			電気	型番：VD-20ZC14
					送風量：150φ×170 m³/h×50Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							
FV-11	排気ファン	1階	厨房	1	型式：天井埋込形換気扇(低騒音形)	天吊金具	1	100	44W	直入		○			電気	型番：VD-20ZC14
					送風量：150φ×330 m³/h×50Pa(機外静圧)	他標準付属品一式共			(消費電力)							
FU-1	フィルターユニット	屋根	設備スペース	1	型式：給気用パネルフィルター連結設置形	SUS製フィルターケーシング										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
		(FS-1浴室・脱衣系統)			処理風量：4,260 m³/h	他標準付属品一式共										
					プレフィルター　屋外設置型											
					寸法：610×610×25t×4枚（2列×2段）											
FU-2	フィルターユニット	屋根	設備スペース	1	型式：給気用パネルフィルター連結設置形	SUS製フィルターケーシング										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
		(FS-2浴室・脱衣系統)			処理風量：4,210 m³/h	他標準付属品一式共										
					プレフィルター　屋外設置型											
					寸法：610×610×25t×4枚（2列×2段）											
FU-3	フィルターユニット	屋根	設備スペース	1	型式：給気用パネルフィルター連結設置形	SUS製フィルターケーシング										ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：建築工事
			(FS-5厨房系統)		処理風量：3,250 m³/h	他標準付属品一式共										
					プレフィルター　屋外設置型											
					寸法：610×610×20t×2枚（1列×2段）											

■換気設備注記事項

１）空調用換気扇の全熱交換効率は、JIS B8628に規定された試験方法による。
２）換気ファン(動力)の電動機は、JIS C4213に規定された低圧トップランナーモーターとする。
３）換気ファン(動力)の電動機は、JIS C4212及びJIS B8330に規定されたものとする。
４）換気ファン(100V)の消費電力はJIS C9603による。
５）天井埋込換気扇を除く天井吊りの機器は全て防振吊りとする。
６）火気使用室系統(厨房)の排気ダクトはＲＷ５０ｔにて断熱を行うこと。
７）表中リモコン数量（スイッチ）欄の「電気」は電気工事図参照。
８）換気経路において扉、引き戸等のドアガラリ及びアンダーカットは建築図参照。
９）換気機器及びダクト・ダンパー等点検用の天井点検口（４５０×４５０以上）は建築図参照。
１０）※はJIS C4212、4213相当の高効率電動機とする。

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	空気調和設備　機器表-２	縮尺 A1 N.S. A3 N.S.		図面番号 M-26



配管設備 系統図 S=N・S

換気設備 凡例一式

図示記号（種別）		適用	用途	管種及び規格名称 管種名称	備考
	長方形ダクト	●		亜鉛鉄板製、ステンレス製	浴室・厨房外気ダクト（SUS）
	丸ダクト	●		スパイラルダクト	
—DA—	外気ダクト	●		すべてGW25tにて保温	
—EA—	排気ダクト	●		外壁より1.0m（水平距離）までGW25tにて保温	
—SA·RA—	給気・還気ダクト	●		すべてGW25tにて保温	
VD·CD	風量調整・逆流防止ダンパー	●			
FD	防火ダンパー	●			
	吹出口	●		HS・VHS：ユニバーサル形　BL：線状形　E2：アネモ	
		●		NZ：ノズル形　PK：パンカー	
	吸込口	●		GV・GVS：スリット形　BLR：線状形	
	消音チャンバー	●		GW25t 内貼り	
	換気口	●		PH：パイプフード（SUS製丸形パイプフード・ガラリ・防虫網付）	指定色塗装
				VC：ベントキャップ（SUS製深形ベントキャップ・ガラリ付）	
DG	ドアガラリ	●			

給・排気ファン　有圧換気扇　全熱交換機（天井埋込形）　全熱交換機（天井カセット形）　排気ファン（シロッコファン）　天井用換気扇　制気口類　フード

空調設備 凡例一式

図示記号（種別）		適用	用途	管種及び規格名称 管種名称	規格	備考
—R—	冷媒管	●	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管（保温厚 溶管10mm，ガス管20mm）	JCDA 0009	屋内一般
—D—	ドレン管	●	ドレン	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	JIS K 6741	ピット内
			ドレン	耐火二層管（内管 VP）		区画より1m前後
		●	ドレン	ACドレンパイプ		屋内一般
				耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管（HTVP）	JIS K 6776	GHP凝縮・排気ドレン

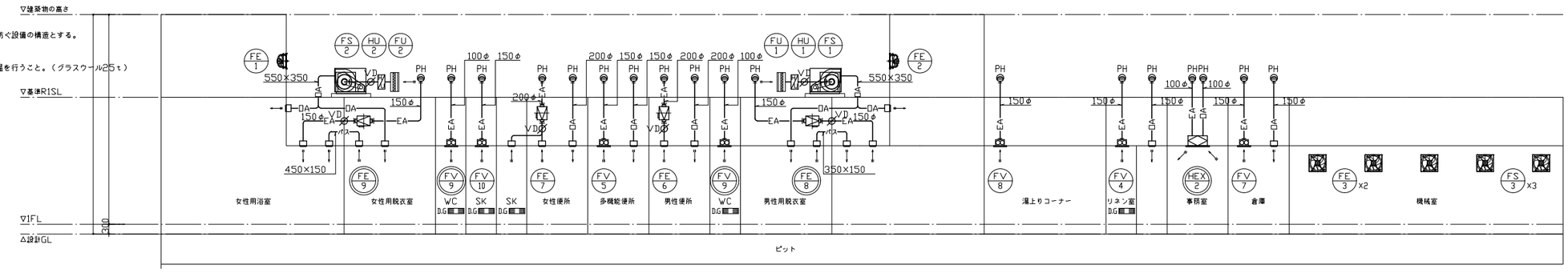
屋外機　室内機：カセット形　室内機：厨房用天吊形　室内機：天井埋込形

冷媒配管サイズリスト（参考）		
記号	液管	ガス管
A	6.4φ	12.7φ
B	9.5φ	15.9φ
C	9.5φ	19.1φ
D	9.5φ	22.2φ
E	12.7φ	22.2φ
F	12.7φ	25.4φ
G	15.9φ	28.6φ

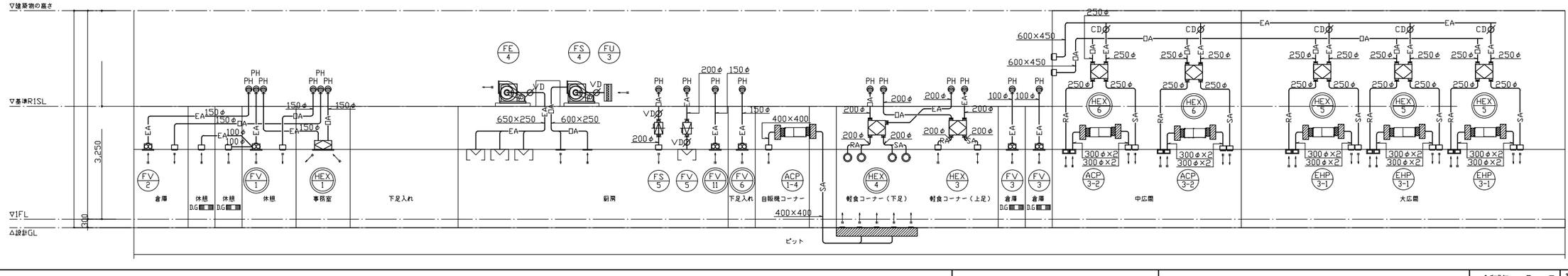
液管の保温厚：10mmとする。
ガス管の保温厚：20mmとする。
<マルチ系統>
渡り配線：冷媒管共巻き
EM-CEE1，25□-2C
<個別系統>
渡り配線・電源配線：冷媒管共巻き
EM-EEF2，0□-3C

■ 特記事項
1）配管系統図に表記なきもの（配管サイズ）は平面図参照。
2）（機器番号）は個別系統の機器を示す。

■ 特記事項
1）給気、排気の外気取り入れはねずみ、虫、ほこりその他の衛生上有害なものを防ぐ設備の構造とする。
（外壁ガラリ・ベンドキャップ・パイプフードは防虫網付とする）
2）ダクト系統図に表記なきもの（ダクトサイズ、ダンパー等）は平面図参照。
3）外気取入れダクトは全て保温を行うこと。排気ダクトは外壁から1.0mまで保温を行うこと。（グラスウール25t）
4）機器及びダンパー等の天井点検口は450□以上とする。
5）（機器番号）は24時間換気機器を示す。



ダクト設備 系統図 S=N・S



工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	空気調和設備　配管・ダクト系統図、凡例	縮尺	A1 N.S. A3 N.S.		図面番号 M-27

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

2,000 73,000 2,000

6,000 7,000 8,000 8,000 8,000 6,000 8,000 8,000 8,000 6,000

750

(配管ピット) 1FL-2,350
(配管ピット) 1FL-1,860
(配管ピット) 1FL-1,250
(配管ピット) FL-2,350
(埋戻)
VP φ100
衛生雑排水管に接続
階排排水口 100×50
階排排水口 180×50
D50
100

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	空気調和設備 配管ピット階平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 M-28

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

2,000 6,000 7,000 8,000 8,000 8,000 73,000 6,000 8,000 8,000 8,000 6,000 2,000

Y10 Y7 Y5 Y2 Y1

3,500 12,000 36,000 3,000 6,000 4,000

ACP-4系統 ACP-5系統 ACP-3系統 ACP-6系統 ACP-1系統 ACP-2系統

男性用露天風呂 女性用露天風呂 浴室 風除 ぬる湯 あつ湯 男性用浴室 シャワー 男性用脱衣室 サウナ 水風呂 水風呂 サウナ 暖膜 暖膜 SK 屋面 機械室 制御盤 (機械設備工事) 動力盤 (電気設備工事) 中庭 倉庫 ガラス天井 バウダーコーナー WC 女性便所 男性便所 EPS 展示ギャラリー 女性用脱衣室 女性用浴室 かけ湯 シャワー 多機能便所 倉庫 中広間 大広間 板間 エントランスホール 更衣 更衣 休憩 事務室 付 倉庫 券売 自販機コーナー 厨房 軽食コーナー (上足) 下足入 軽食コーナー (下足) サウス 車寄せ サイン アプローチ広場 屋面

ACP 4-1 ACP 2-2 ACP 3-2 ACP 2-1 ACP 4-2 ×2 ACP 1-1 ACP 1-2 ACP 2-3 ACP 1-4 ACP 1-3 ×2 ACP 3-1

冷媒配管サイズリスト（参考）		
記号	液管	ガス管
A	6.4φ	12.7φ
B	9.5φ	15.9φ
C	9.5φ	19.1φ
D	9.5φ	22.2φ
E	12.7φ	22.2φ
F	12.7φ	25.4φ
G	15.9φ	28.6φ

液管の保温厚：10mmとする。
ガス管の保温厚：20mmとする。
<マルチ系統>
渡り配線：冷媒管共巻き
EM-CEE1．25□-2C
<個別系統>
渡り配線・電源配線：冷媒管共巻き
EM-EEF2．0□-3C

※室外機への一次側及び室内機への電源供給は別途電気図参照。

※ (機器番号) は個別系統の機器を示す。

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	空気調和設備 配管1階平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 M-29

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

2,000 / 73,000 / 2,000

6,000 / 7,000 / 8,000 / 8,000 / 8,000 / 6,000 / 8,000 / 8,000 / 8,000 / 6,000

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

8,000 / 3,500 / 12,000 / 3,000 / 6,000 / 4,000

機械置場

機械置場

機械置場

ACP-1

ACP-2

ACP-3

ACP-4

ACP-5

ACP-6

ACP-7

350×1150

350×1150

1/100

1/100

水上

水下

竪樋(ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ) φ114
横引ﾄﾞﾚﾝ

既存桟橋

ACP-4系統

ACP-5系統

ACP-3系統

ACP-6系統
ACP-1系統
ACP-7系統

※ 個別系統番号 は個別系統の機器を示す。

N

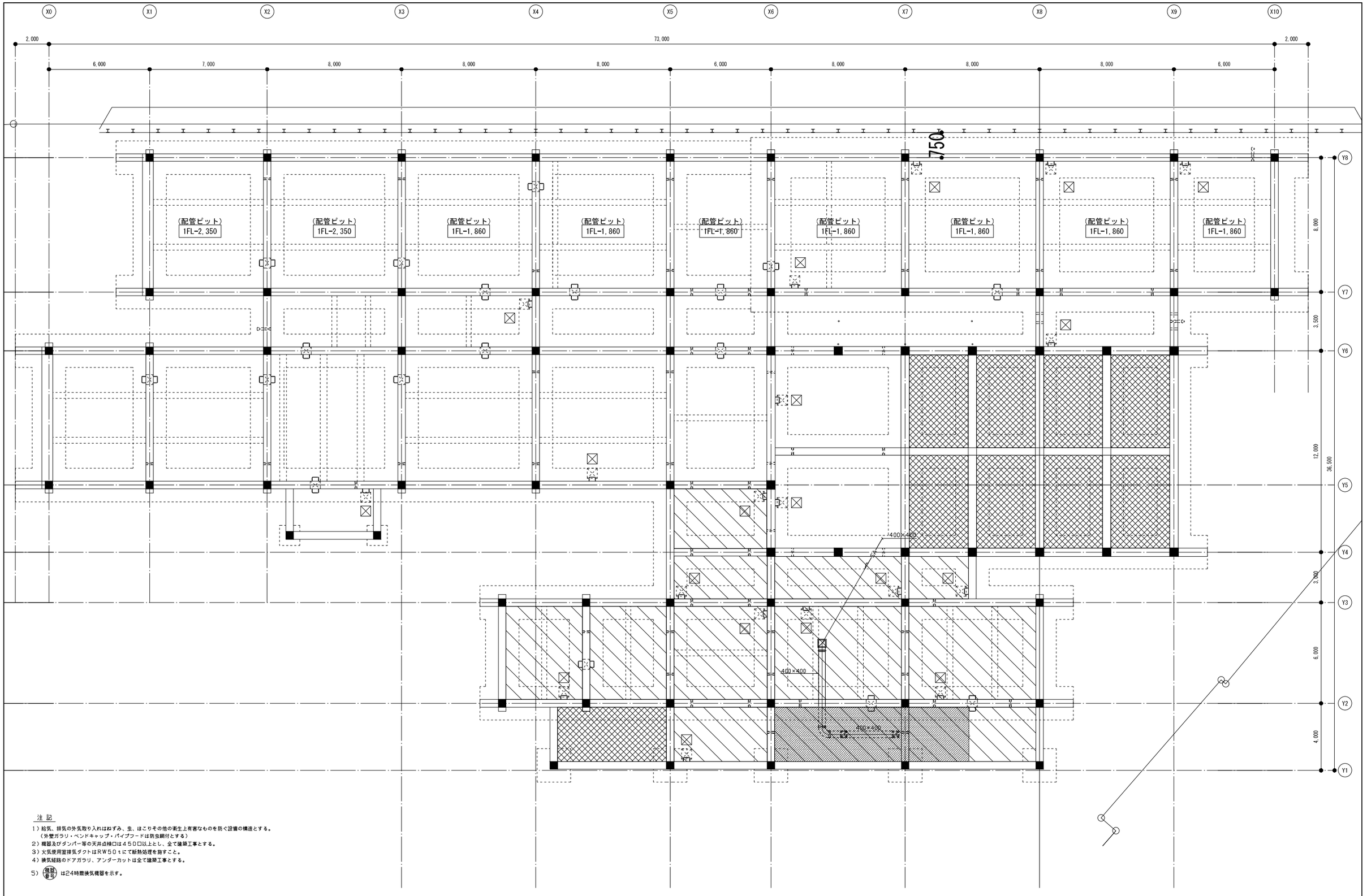
冷媒配管サイズリスト（参考）

記号	液管	ガス管
A	6.4φ	12.7φ
B	9.5φ	15.9φ
C	9.5φ	19.1φ
D	9.5φ	22.2φ
E	12.7φ	22.2φ
F	12.7φ	25.4φ
G	15.9φ	28.6φ

液管の保温厚：10mmとする。
ガス管の保温厚：20mmとする。
<マルチ系統>
渡り配線：冷媒管共巻き
EM-CEE1，25ロ-2C
<個別系統>
渡り配線・電源配線：冷媒管共巻き
EM-EEF2，0ロ-3C

※室外機への一次側及び室内機への電源供給は別途電気図参照。

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	空気調和設備 配管屋根伏平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 M-30



注記

1）給気、排気の外気取り入れはねずみ、虫、ほこりその他の衛生上有害なものを防ぐ設備の構造とする。
（外壁ガラリ・ベンドキャップ・パイプフードは防虫網付とする）
2）機器及びダンパー等の天井点検口は４５０口以上とし、全て建築工事とする。
3）火気使用室排気ダクトはＲＷ５０ｔにて断熱処理を施すこと。
4）換気経路のドアガラリ、アンダーカットは全て建築工事とする。
5）（機械換気番号）は24時間換気機器を示す。

	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日	257031
	図面名	空気調和設備　ダクトピット階平面図	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	計画　製作　調査　調査	図面番号 M-31

室名	男性用脱衣室
種別	吸込口
種類	GVS 250×250
風量	240 CMH
BOX	450×450×300H
内貼	–
数量	1

室名	男性用浴室
種別	吹出口
種類	VHS 800×550 <SUS製>
風量	3,800 CMH
BOX	1050×750×500H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	男性用浴室
種別	吹出口
種類	VHS 800×200
風量	810 CMH
BOX	1000×400×400H
内貼	–
数量	1

室名	男性用脱衣室
種別	吸込口
種類	GVS 800×200
風量	810 CMH
BOX	1000×400×400H
内貼	–
数量	1

室名	男性用脱衣室
種別	吸込口
種類	VHS 400×400 <結露防止タイプ>
風量	810 CMH
BOX	600×600×400H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	リネン室
種別	吹出口
種類	VHS 200×200 <結露防止タイプ>
風量	110 CMH
BOX	400×400×300H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	倉庫(大広間)
種別	吹出口
種類	VHS 300×300
風量	310 CMH
BOX	500×500×300H
内貼	–
数量	1

室名	サウナ(女性)
種別	給気口
種類	SUS製レジスター 100φ(FD付)
風量	–
BOX	–
内貼	–
数量	2

室名	サウナ(女性)
種別	排気口
種類	SUS製レジスター 150φ(FD付)
風量	–
BOX	–
内貼	–
数量	1

室名	サウナ(男性)
種別	給気口
種類	SUS製レジスター 100φ(FD付)
風量	–
BOX	–
内貼	–
数量	2

室名	サウナ(男性)
種別	排気口
種類	SUS製レジスター 150φ(FD付)
風量	–
BOX	–
内貼	–
数量	1

室名	女性用浴室
種別	吹出口
種類	VHS 800×550 <SUS製>
風量	3,370CMH
BOX	1050×750×500H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	女性用脱衣室
種別	吹出口
種類	VHS 400×400 <結露防止タイプ>
風量	1,050 CMH
BOX	600×600×400H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	女性用浴室
種別	吹出口
種類	VHS 1000×200
風量	1,050 CMH
BOX	1200×400×400H
内貼	–
数量	1

室名	女性用脱衣室
種別	吸込口
種類	GVS 1000×200
風量	1,050 CMH
BOX	1200×400×400H
内貼	–
数量	1

室名	女性用浴室
種別	吸込口
種類	GVS 250×250
風量	220 CMH
BOX	450×450×300H
内貼	–
数量	1

室名	女性便所
種別	吹出口
種類	VHS 300×300 <結露防止タイプ>
風量	480 CMH
BOX	500×500×400H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	男性便所
種別	吹出口
種類	VHS 300×300 <結露防止タイプ>
風量	460 CMH
BOX	500×500×400H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	多機能便所
種別	吹出口
種類	VHS 200×200 <結露防止タイプ>
風量	160 CMH
BOX	400×400×300H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	SK
種別	吸込口
種類	GVS 200×200
風量	50 CMH
BOX	400×400×300H
内貼	–
数量	1

室名	女性便所
種別	吸込口
種類	GVS 200×200
風量	108 CMH
BOX	400×400×300H
内貼	–
数量	4

室名	男性便所
種別	吸込口
種類	GVS 200×200
風量	154 CMH
BOX	400×400×300H
内貼	–
数量	3

室名	休憩
種別	吹出口
種類	VHS 200×200 <結露防止タイプ>
風量	140 CMH
BOX	400×400×300H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	倉庫
種別	吹出口
種類	VHS 200×200
風量	150 CMH
BOX	400×400×300H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	中広間
種別	吹出口
種類	BL-D 2000
風量	570 CMH
BOX	2200×300×400H
内貼	Gw25t
数量	8

室名	中広間
種別	吸込口
種類	GVS 1200×200
風量	1140 CMH
BOX	1400×400×400H
内貼	Gw25t
数量	4

室名	中広間
種別	吹出口
種類	BL-D 2000
風量	358 CMH
BOX	2200×300×400H
内貼	Gw25t
数量	4

室名	中広間
種別	吸込口
種類	GVS 800×200
風量	715 CMH
BOX	1000×400×400H
内貼	Gw25t
数量	2

室名	自販機コーナー
種別	吸込口
種類	GVS 600×600
風量	2730 CMH
BOX	800×800×500H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	軽食コーナー(下足)
種別	吹出口
種類	床置き型居住域空調用 <樹脂製・指定色塗装>
風量	150 CMH
BOX	–
内貼	–
数量	18

室名	軽食コーナー(下足)
種別	吹出口
種類	ノズルーW #6
風量	300 CMH
BOX	–
内貼	–
数量	2

室名	軽食コーナー(下足)
種別	吸込口
種類	ノズルー #6
風量	300 CMH
BOX	–
内貼	–
数量	2

室名	厨房
種別	吹出口
種類	VHS 1000×500 <遮風板付>
風量	3250 CMH
BOX	1200×650×400H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	厨房
種別	吹出口
種類	VHS 400×400 <フィルター・遮風板付>
風量	780 CMH
BOX	600×600×400H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	大広場
種別	吹出口
種類	BL-D 2000
風量	683 CMH
BOX	2200×300×400H
内貼	Gw25t
数量	12

室名	大広場
種別	吸込口
種類	GVS 1200×200
風量	1365 CMH
BOX	1400×400×400H
内貼	Gw25t
数量	6

室名	大広場
種別	吹出口
種類	BL-D 2000
風量	480 CMH
BOX	2200×300×400H
内貼	Gw25t
数量	6

室名	大広場
種別	吸込口
種類	GVS 800×200
風量	960CMH
BOX	1000×400×400H
内貼	Gw25t
数量	3

室名	軽食コーナー(上足)
種別	吹出口
種類	VHS 350×350
風量	600 CMH
BOX	550×550×400H
内貼	Gw25t
数量	1

室名	軽食コーナー(上足)
種別	吸込口
種類	GVS 350×350
風量	600CMH
BOX	550×550×400H
内貼	Gw25t
数量	1

注記

1) 給気・排気の外気取り入れ口は、ゴミ、ほこりその他の衛生上有害なものを防ぐ設備の構造とする。
(外壁ガラリ・ベンドキャップ・バードスクリーン付防虫網付とする)
2) 機器及びダクトで壁の天井点検口は450口以上とし、全て建築工事とする。
3) 火気使用室排気ダクトは長尺50ごとに断熱処理を施すこと。
4) 換気経路のドアガラリ、アンダーコットは全て建築工事とする。
5) 機械換気 は24時間換気機器を示す。

厨房排気フードリスト

記号	名称	風量(CMH)	フード寸法(mm) W	D	H	GF形状	グリースフィルター寸法(mm) H	W	T	GF枚数	数量
Ⓐ	SUS製排気フード	1,460	1,500	900	600	両面1連式 ×1台 (40Pa)	453 500	503 500	780 30	2枚	1組
Ⓑ	SUS製排気フード	1,750	1,800	900	600	両面1連式 ×1台 (40Pa)	293 300	303 300	530 30	2枚	1組
Ⓒ	SUS製排気フード	610	750	750	600	両面1連式 ×1台 (40Pa)	453 500	503 500	780 30	2枚	1組
Ⓓ	SUS製排気フード	780	900	800	600						1組

排気フードの構造は二重構造とし、材質はSUS304-1.0t
磨き仕上げとする。
Ⓐ.Ⓑフードは照明ボックス付フードとする。

(上段):グリースフィルター本体寸法 (下段):フィルター寸法

グリースフィルター仕様及び付属品は下記とする。
・グリースフィルターは高風量タイプとする。
・予備フィルターは全て100%とする。
・ファイヤーガード, コレクターカップ, カップホルダー
ステンレスフレキホース , 他標準付属品一式共

消音チャンバーリスト

番号		仕様	系統	数量
①	1300×300×400H	内張りGw25t	ACP-3-1,3-2	10
②	1300×500×500H	内張りGw25t	ACP-1-4	2
③	1050×500×500H	内張りGw25t	FS-1,2	2
④	700×300×700H	外張りGw25t	FS-3	3
⑤	700×300×700H	外張りGw25t	FE-3	2

工事名	(仮称)地域交流温浴センター建設工事		
図面名	空気調和設備 ダクト1階平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200
令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査		業務番号	257031
		図面番号	M-32

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

2,000 / 6,000 / 7,000 / 8,000 / 8,000 / 8,000 / 6,000 / 8,000 / 8,000 / 8,000 / 6,000 / 2,000

73,000

Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

8,000 / 3,500 / 12,000 / 36,500 / 3,000 / 6,000 / 4,000

機械置場

機械置場

機械置場

室名	中広間
種別	吹出口
種類	ガラリー 2000×500 <指定色塗装>
風量	4310CMH
数量	1
BOX	2200×500×550H
内貼	—

室名	中広間
種別	吸込口
種類	ガラリー 2000×500 <指定色塗装>
風量	4310CMH
数量	1
BOX	2200×500×550H
内貼	—

注記

1）給気、排気の外気取り入れはねずみ、虫、ほこりその他の衛生上有害なものを防ぐ設備の構造とする。
（外壁ガラリ・ベンドキャップ・パイプフードは防虫網付とする）
2）機器及びダンパー等の天井点検口は４５０□以上とし、全て建築工事とする。
3）火気使用室排気ダクトはＲＷ５０ｔにて耐熱処理を施すこと。
4）換気経路のドアガラリ、アンダーカットは全て建築工事とする。
5）（換気番号）は24時間換気機器を示す。

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
図面名	空気調和設備 ダクト屋根伏平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200		図面番号 M-33

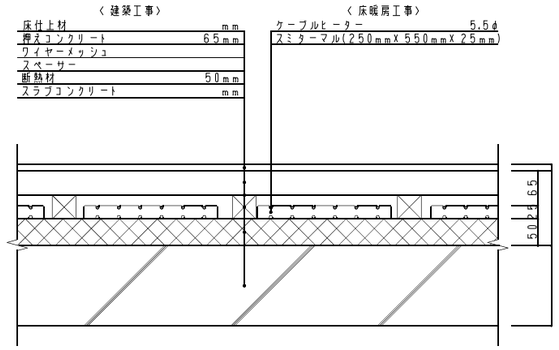
1 床暖房設備概要

工事概要 － 別図床暖房対象室において，ケーブルヒーター及び潜熱蓄熱材を使用し業務用電力を熱源とした床暖房設備工事を行う，

工事範囲

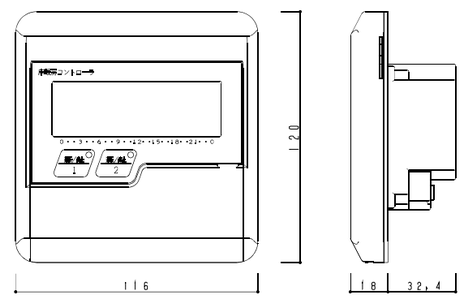
	内　容	工事区分			
		床暖房工事	建築工事	電気工事	設備工事
1	躯体工事		○		
2	敷設箇所から天井内までのサヤ管取付工事				○
3	天井点検口からコントローラーまでの天井内配線工事				○
4	コントローラー取付用裏ボックス取付工事				○
5	断熱材敷設及び床下地工事		○		
6	潜熱蓄熱材，ヒーター敷設工事	○			
7	ワイヤーメッシュ敷設，コンクリート打設工事		○		
8	床仕上げ工事		○		
9	一次側電気工事 ［コントローラー結線まで］（電源接続を含む）			○	
10	二次側電気工事 ［コントローラー，リレー以降］	○			
11	コントローラー，リレー取付工事	○			
12	一次側アース工事 ［コントローラー・リレー結線まで］			○	

2 床断面図

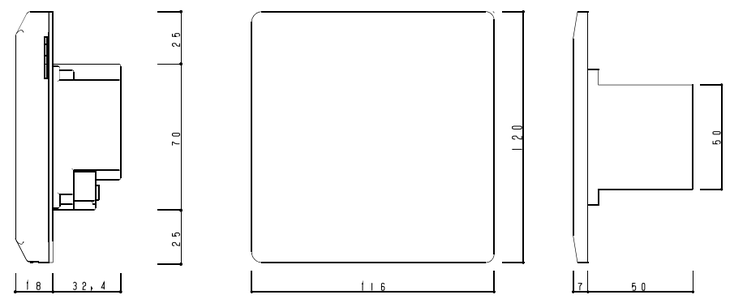


3 コントローラー参考外形図

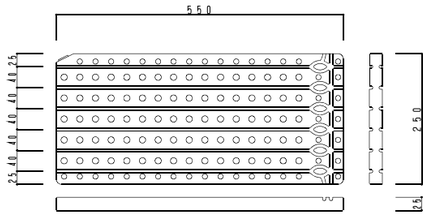
DFCN152［参考］



SCU-FRB［参考］

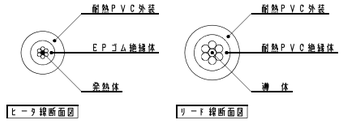


4 潜熱蓄熱材参考外形図



潜熱蓄熱材		
参考品番		32P25BS
容器形状		ポリプロピレン製中空容器
容器寸法		250mm X 550mm X 25mm
配線間隔		40mm
配線長		3.30m／枚（満6本／枚）
総質量		3.70kg／枚
蓄熱材質量		3.11kg／枚
物性	主成分	硫酸ナトリウム水和物
	蓄熱容量	482kJ／枚 Δt＝10℃（25℃～35℃）
	融解温度	32℃
	凝固温度	30℃

5 ケーブルヒーター詳細図



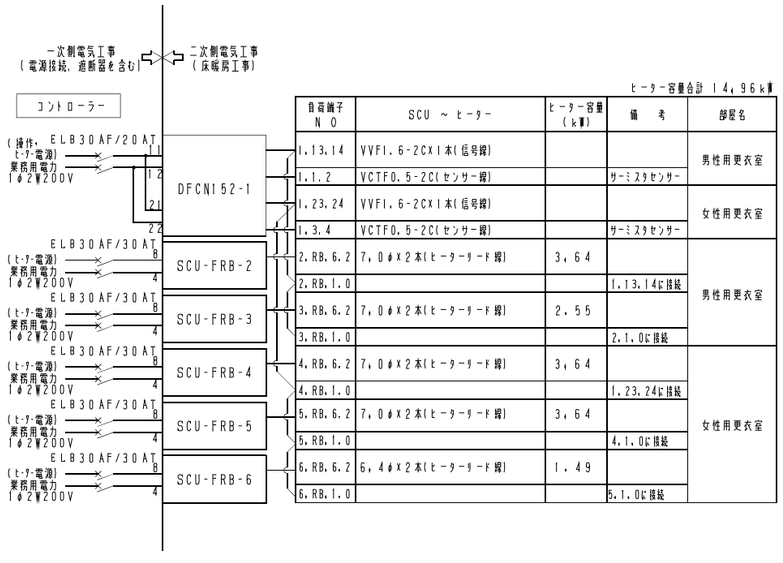
品番	定格電力［kW］	線長［m］	ヒータ型番	標準抵抗［Ω/km］	ヒータ被覆色別	ヒータ外径［mm］	リード線 導体［mm²］	リード線 外径［mm］
CH229-90L	3.64	297.0	HC-37	37	青	5.5	5.5	7.0
CH229-65L	2.55	214.5	HC-73	73	茶	5.5	5.5	7.0
CH229-37L	1.49	122.1	HC-220	220	空	5.5	3.5	6.4

6 床暖房設備容量及び部材選定リスト

部屋名	敷設面積［㎡］	ヒーター容量［kW］	ケーブルヒーター CH229 90L	65L	37L	小計［本］	スミターマル 32P25BS［枚］	蓄熱量［KJ］	床温センサー TH［本］	コントローラー DFCN152	増設リレー SCU-FRB
男性用脱衣室	29.7	6.19	1	1		2	154	74,228	2	0.5	2
女性用脱衣室	41.8	8.77	2		1	3	217	104,594	2	0.5	3
合　計	71.5	14.96	3	1	1	5	371	178,822	4	1	5

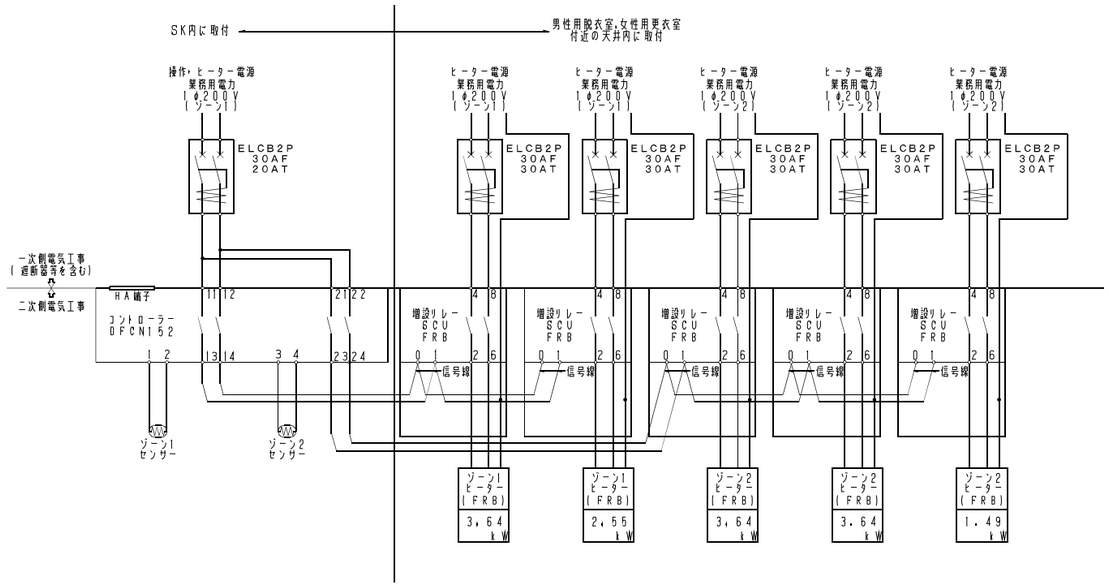
※＝蓄熱量は178,822以上とする，

7 コントローラー回路図



負荷端子 NO	SCU ～ ヒーター	ヒーター容量［kW］	備　考	部屋名
1,13,14	VVF1.6-2CX1本（信号線）			男性用更衣室
1,1,2	VCTF0.5-2C（センサー線）		サーミスタセンサー	
1,23,24	VVF1.6-2CX1本（信号線）			女性用更衣室
1,3,4	VCTF0.5-2C（センサー線）		サーミスタセンサー	
2,RB,6.2	7,0φX2本（ヒーターリード線）	3,64		男性用更衣室
2,RB,1.0			1,13,14に接続	
3,RB,6.2	7,0φX2本（ヒーターリード線）	2,55		
3,RB,1.0			2,1,0に接続	
4,RB,6.2	7,0φX2本（ヒーターリード線）	3,64		女性用更衣室
4,RB,1.0			1,23,24に接続	
5,RB,6.2	7,0φX2本（ヒーターリード線）	3,64		
5,RB,1.0			4,1,0に接続	
6,RB,6.2	6,4φX2本（ヒーターリード線）	1,49		
6,RB,1.0			5,1,0に接続	

8 コントローラー系統図



***

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	床暖房設備 仕様書(1)	縮尺 A1 N.S. A3 N.S.	図面番号 M-34

計画　製作　調査　調査

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

2,000 / 73,000 / 2,000

6,000 7,000 8,000 8,000 8,000 6,000 8,000 8,000 8,000 6,000

1,000 7,000 1,000 7,000

コントローラー(本工事)
DFCN152×1)

7.0φ×4本(ヒーターリード線)
6.4φ×2本(ヒーターリード線)
4.8φ×2本(センサーリード線)

7.0φ×4本(ヒーターリード線)
4.8φ×2本(センサーリード線)

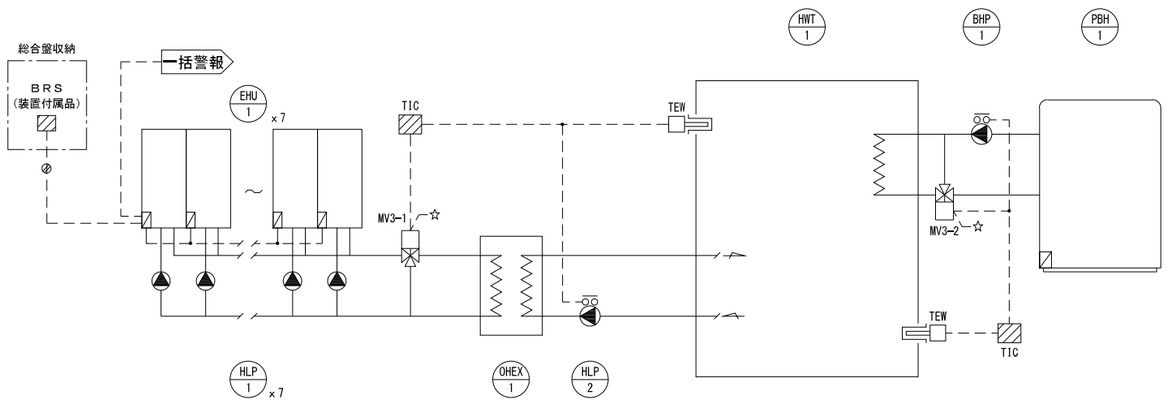
男性用脱衣室
男性用浴室
男性用露天風呂
ぬる湯
あつ湯
シャワー
浴室風除
庭園
湯上りコーナー
WC
暖簾
暖簾
サウナ
水風呂
水風呂
サウナ
SK
清掃員控室
リネン室
機械室
制御盤(機械設備工事)
動力盤(電気設備工事)
中庭
倉庫
メンテナンス階段
EPS
倉庫
女性便所
男性便所
WC
展示ギャラリー
浴室風除
かけ湯
シャワー
女性用浴室
女性用露天風呂
ぬる湯
あつ湯
多機能便所
SK
中広間
大広間
板間
女性用脱衣室
足湯
庭園
倉庫
可動間仕切り
更衣
更衣
休憩
事務室
倉庫
エントランスホール
受付
券売
総合盤(1,500×600)
サイン
風除室
自販機コーナー
下足入コーナー
厨房
台
券売
券売
軽食コーナー(上足)
軽食コーナー(下足)
テラス
アプローチ広場

8,000 3,500 12,000 36,500 3,000 6,000 4,000

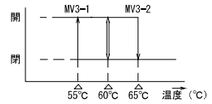
Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

***		工事名	(仮称) 地域交流温浴センター建設工事	令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
		図面名	床暖房設備 敷設図	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面番号 M-35

1　熱源廻り制御



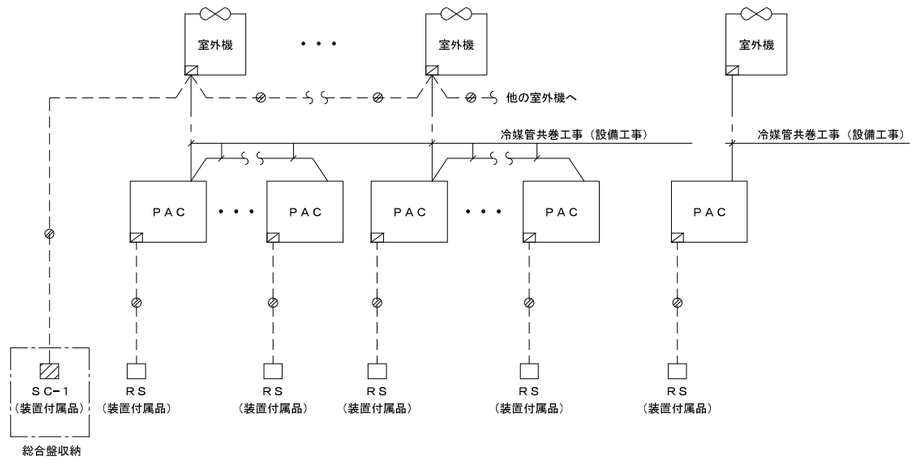
制御項目
1．ホットウォーターリモコン制御（機器機能）
　集中監視盤設置のＢＲＳにより、台数制御を行う。
2．ホットウォーター停止時のインターロック制御
　（対象：ＨＰ－５）
3．集中監視装置
　ポイント一覧表参照
4．貯湯槽制御
　貯湯槽内温度により、三方弁のON/OFF制御を行う。



5．ポンプインターロック制御
　（対象：ＭＶ３－１，ＭＶ３－２）

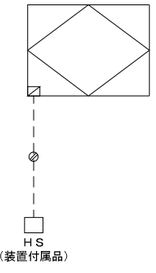
2　パッケージ廻り制御

階	部　屋　名	室　内　機	ＲＳ	室　外　機	ＳＣ－１
1	事務室	ＡＣＰ－１－１　×１	1	ＡＣＰ－１	1
	休憩室	ＡＣＰ－１－２　×１	1		
	軽食コーナー(上足)	ＡＣＰ－１－３　×２	1		
	自販機コーナー(1回軽食コース(下足)系統)	ＡＣＰ－１－４　×１	1		
	エントランスホール	ＡＣＰ－２－１　×３	3	ＡＣＰ－２	
	湯上りコーナー	ＡＣＰ－２－２　×１	1		
	厨房前廊下	ＡＣＰ－２－３　×１	1		
	大広間	ＡＣＰ－３－１　×３	1	ＡＣＰ－３	
	中広間	ＡＣＰ－３－２　×２	1		
	男性更衣室	ＡＣＰ－４－１　×２	1	ＡＣＰ－４	
	女性更衣室	ＡＣＰ－４－２　×２	1		
	清掃員控室	ＡＣＰ－５－１　×１	1	ＡＣＰ－５	
	厨房	ＡＣＰ－６－１　×１	1	ＡＣＰ－６	
合　　計		２１台	１５個		



（注記）１．電源供給工事は電気工事
　　２．室内機～室外機間信号線は
　　冷媒管共巻工事（設備工事）とする。

3　全熱交換器リモコン工事　１１ｓｅｔｓ



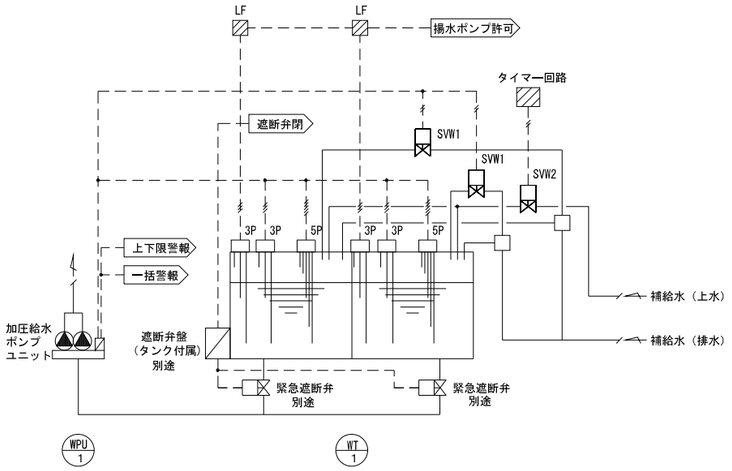
（注記）１．全熱交換器の電源供給工事は電気工事とする。

階	部　屋　名	全熱交換機	ＨＳ	備　　考
1	事務室	ＨＥＸ－１　x　１	1	
	清掃員控室	ＨＥＸ－２　x　１	1	
	軽食コーナー(上足)	ＨＥＸ－３　x　１	1	
	軽食コーナー(下足)	ＨＥＸ－４　x　１	1	
	大広間	ＨＥＸ－５　x　３	3	
	中広間	ＨＥＸ－６　x　２	2	
合　　計		９台	９個	

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	自動制御設備　計装図（１）	縮尺	A1 N.S. A3 N.S.		図面番号 M-36

4 受水槽廻り制御　1set

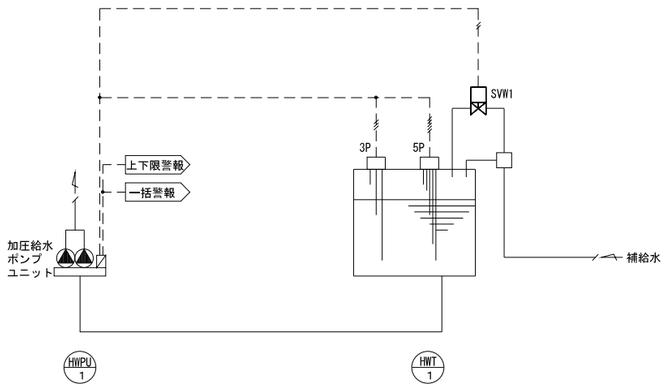
・上水受水槽　ＷＴ－３／ＷＰＵ－１



制御項目
1．ポンプ空転防止制御（機器機能）
　受水槽水位レベルにより、ＷＰＵ－１の運転停止復帰を行う。
（制御はポンプ本体内蔵機能）
2．受水槽水位制御（機器機能）
　受水槽水位レベルにより給水電磁弁の開閉制御を行う。
（満・減、ポンプ故障時には中央監視盤に警報を発報する。）
3．緊急遮断弁制御（機器機能）
　地震時、緊急遮断弁の強制「閉」を行う。
4．受水槽水位レベルにより井水揚水ポンプの許可/禁止を行う。
5．死水防止制御
　タイマーにより、給水電磁弁（ＳＶＷ２）を１日１回
　１分間開とする。
6．中央監視
（ポイント一覧表参照）

5 貯湯タンク廻り制御　1set

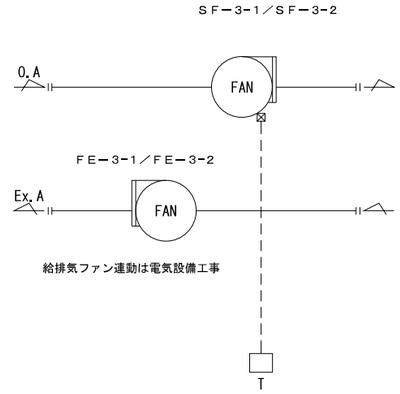
・給湯用タンク　ＨＷＴ－１



制御項目
1．ポンプ空転防止制御（機器機能）
　温泉槽水位レベルにより、ＨＷＰＵ－１の運転停止復帰を行う。
（制御はポンプ本体内蔵機能）
2．水槽水位制御（機器機能）
　温泉槽水位レベルにより給水電磁弁の開閉制御を行う。
（満・減、ポンプ故障時には中央監視盤に警報を発報する。）
3．中央監視
（ポイント一覧表参照）

6 ファン発停制御　2sets

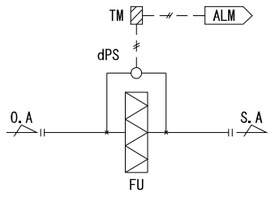
・１階　機械室系統　ＦＳ－３／ＦＥ－３



制御項目
1．　室内温度制御
　室内温度により、ファン発停制御を行う。
　ＦＳ－３－３はペレットボイラーと連動とする。

7 フィルター差圧監視　3sets

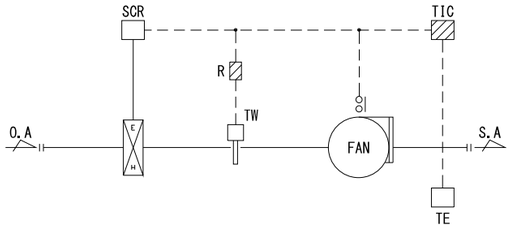
１階　男性浴室　脱衣室　ＦＵ－１
１階　女性浴室　脱衣室　ＦＵ－２
１階　厨房　ＦＵ－３



制御項目
1．差圧スイッチにより、フィルター目詰まり警報の監視を行う。
　タイマーによる警報ハンチング防止
　中央監視システムと通信
（警報）

8 ダクトヒーター監視　2sets

１階　男性脱衣室
１階　女性脱衣室



制御項目
1．室内温度制御
　室内温度により、電気ヒーターの比例制御を行う。
2．過熱防止制御
　電気ヒーターの出口温度により電気ヒーターの強制停止を行う。
3．ファン停止時のインターロック制御

（注記）1．ＳＣＲは電気工事とする。

9 各種計測・計量

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名	自動制御設備　計装図（２）	縮尺 A1 N.S. A3 N.S.	図面番号 M-37

自動制御機器一覧表

記　号	名　　称	型　　番	備　　考
ＴＨＥＤ	挿入型温湿度センサー	ＨＴＹ１０１０Ｔ	Ｗ／本体取付ブラケット
ＴＥＷ	配管温度センサー	ＴＹ７８３０Ｂ	
ＴＥ	室内型温度センサー	ＴＹ７０４３Ｚ	
Ｔ	室内型温度調節器	ＴＹ６３０１	
ＴＷ	挿入型温度調節器	ＴＹ９８００Ｚ	
ＴＩＣ	温度指示調節計	Ｒ３６	
ＭＶ３	アクチェータ	ＭＹ５３１０Ａ	
	小型比例三方弁	ＶＹ５３０３Ａ	バルブ口径表参照
ｄＰＳ	微差圧スイッチ	ＰＹＹ－６０４	
ＳＶＷ	電磁弁		バルブ口径表参照
Ｔｒ１	トランス	ＡＴ７２－Ｊ１	
３Ｐ	電極	３Ｐ	Ｗ／保持器
５Ｐ	電極	５Ｐ	Ｗ／保持器
ＬＦ	電極リレー	６１Ｆ－ＧＰ－Ｎ	
ＲＳ	パッケージリモコン		機器付属品
ＳＣ－１	パッケージ集中リモコン		機器付属品
ＢＲＳ	チラー台数制御リモコン		機器付属品
ＨＳ	全熱交換器リモコン		機器付属品
Ｒ	補助リレー		
ＴＭ	タイマー		

バルブ口径表

系　統　名	流　体	流　量［l／m］	Ｐｉ	Δ P［ｋＰａ］	ＣＶ値	口径（A）	備　　考
熱源廻り制御							
ＯＨＥＸ－１　三方弁	温水						ＭＶ３－１
ＨＷＴ－１　三方弁	温水						ＭＶ３－２
受水槽廻り制御							
補給水　電磁弁	水						ＳＶＷ１　ｘ２
補給水　電磁弁	水						ＳＶＷ２
貯湯タンク廻り制御							
補給水　電磁弁	水						ＳＶＷ１

盤寸法表

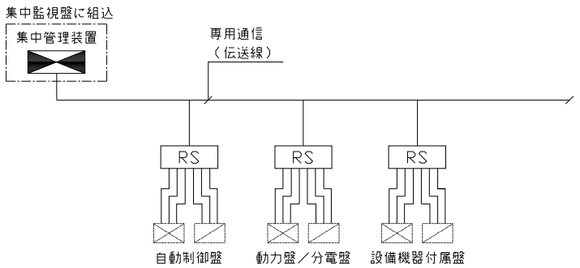
盤　名	形　状	参考寸法（mm）			収納系統名	備　　考
		Ｗ	Ｈ	Ｄ		
ＲＣＰ－１－１	自立				熱源廻り、受水槽廻り、貯湯タンク廻り、ファン発停ポイント一覧表参照	
ＲＣＰ－Ｒ－１	自立				熱源廻り、ダクトヒーター監視、ポイント一覧表参照	屋外仕様

凡　例

ＥＭ－ＣＥＥ　（斜線は本数）	
ＡＣ １００Ｖ ｏｒ ２００Ｖ	
ファンインターロック	
シールド付ケーブル	
盤内取付機器	

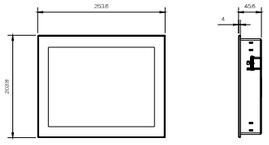
	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日	業務番号 257031
	図面名　自動制御設備　計装図（３）	縮尺 A1 N.S. A3 N.S.	計画　製作　調査　調査	図面番号 M-38

システム構成図



ＲＳ　：リモートユニット
（入出力モジュール）

集中管理装置参考姿図（自立盤組込みタイプ）*電気総合盤組込

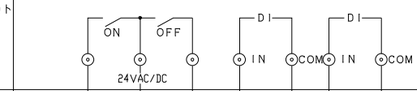
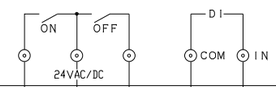
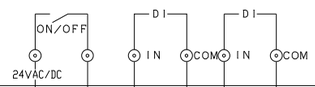
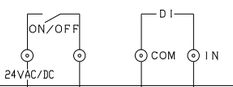
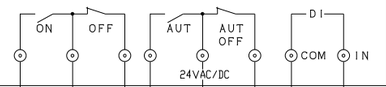
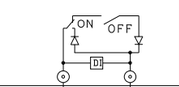
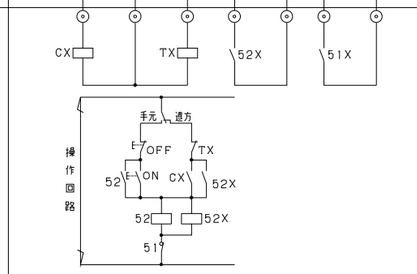
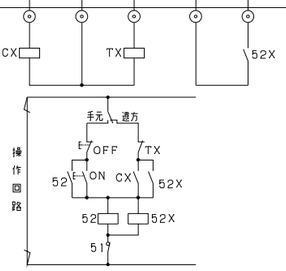
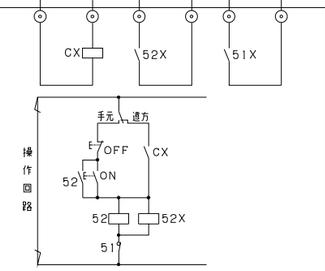
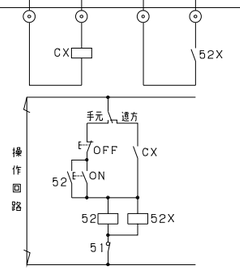
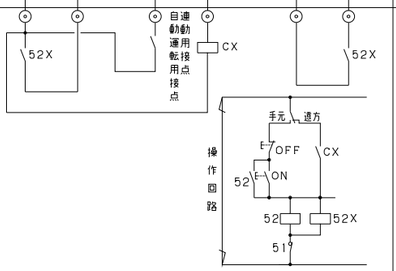
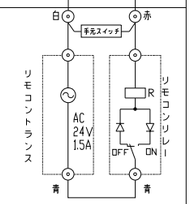


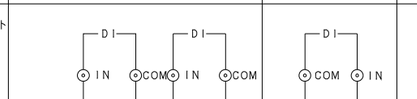
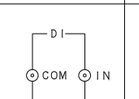
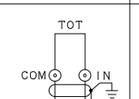
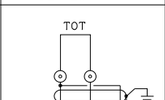
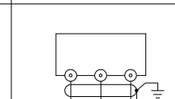
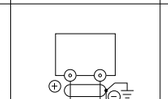
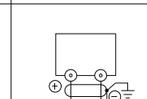
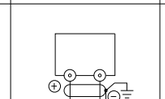
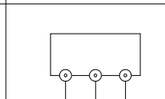
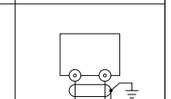
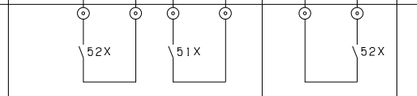
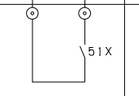
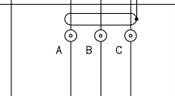
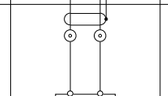
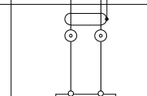
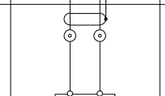
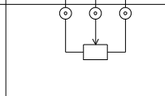
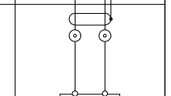
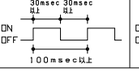
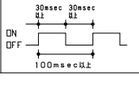
集中管理装置システム機器機能表

機器名称	システム機能	機器仕様
リモート ユニット （ＲＳ）	現場に設置して集中管理装置とデータ伝送を行う。 端末伝送装置と各入出力点数は個別配線とし、動力盤との信号取り合いは 補助リレー等で電気的に分離して入出力点の事故から影響を受けないようにする。	入出力点数　：集中管理装置入出力一覧表参照 電源　　：ＡＣ１００～２４０Ｖ，５０／６０Ｈｚ
伝送線	集中管理装置と端末伝送装置間のデータ伝送を行う。	通信速度　：７６．８Ｋｂｐｓ 通信方式　：専用通信 ケーブル仕様：ＬＡＮケーブル，コネクタ接続 （ＥＩＡ５６８準拠カテゴリー５ｅ　０．５φｘ４Ｐ）

機器名称	システム機能	機器仕様
集中管理装置	１．個別発停／設定機能 ・個別発停 ・温度表示及び設定変更 ・設備機器の発停，運転状態，警報監視 また、警報発生時には画面表示及びブザーの鳴動を行う。 ２．アナンシエータ機能 アナンシエータ画面に任意のポイントを登録し、監視することができる。 最大７枚，３０ポイント／枚 ３．一覧監視機能 ・監視点種別毎に監視ができる。 （空調／照明／一般操作／状態／警報／計測／計量／アナログ出力） ・監視点の状態毎に監視ができる。 （運転中／警報中／トラブル中／無効中） ・管理者が任意に選択したポイントの一覧監視ができる。 ４．計測値上下限監視機能 計測点に関して、計測値があらかじめ指定した上下限値範囲から外れた場合に 警報出力を行う。 ５．一括警報出力 ６．週間スケジュール機能 ・週間スケジュールタイマーにより発停／設定値変更できる。 ７．年間カレンダー運転機能 ・年間カレンダーにより休日／５種類の特別日の設定ができる。 （最大２００カレンダー） ８．機器運動運転機能 ・監視点の状態変化／警報発生により設備機器の運動発停ができる。 ９．操作／状態変化／警報履歴表示機能 ・操作／状態変化／警報発生復帰の履歴が画面に表示できる。 （操作／状態変化／警報の合計で最大２５００件） １０．火災時一括停止機能 ・火災一括信号入力時，設備機器の一括停止を行う。 １１．ヒストリカルトレンド機能 ・任意のアナログ点，デジタル点，積算点のトレンドグラフを表示できる。 最大１６グラフ，４ポイント／グラフ １２．運転時間積算機能 ・設備機器の通算運転時間と状態変化回数の積算を行う。 １３．データ収集機能 ・計測点，計量点，発停点，状態点，警報点の生データを一定時間周期 （１／１０／３０／６０分）で蓄積し、ＳＤカードにＣＳＶ形式で保存できる。 データは別途パソコン上の汎用ソフトで加工できる。 １４．電力デマンド監視 ・建物の契約電力量が超過しないように機器の監視を行う。	システム　　定格電源電圧：ＡＣ１００／ＡＣ２００Ｖ ５０／６０Ｈｚ　最大２６ＶＡ（専用盤タイプ） 定格電源電圧：ＤＣ２４Ｖ±１０％　最大１４．５Ｗ（自立盤組込） 設置条件　：Ｄ種接地 周囲条件　：５～４０℃，２０～８０％ＲＨ（但し結露なきこと） 停電補償　：停電後４８時間補償（データメモリ及びカレンダ動作） リチウム電池 表示・操作部　形式　：１０．４型バックライト付カラーＬＣＤ 表示文字　：漢字（ＪＩＳ第1，第2水準），アイコン（絵文字） 操作方法　：タッチオペレーション

		工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事	令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
		図面名	自動制御設備　集中管理装置（１）	縮尺　A1 N.S. A3 N.S.	図面番号 M-39

入出力項目	発停，状態・故障	発停，状態	発停，状態・故障	発停，状態	発停，状態	発停，状態（リモコン制御）
	瞬時接点出力　接点入力	瞬時接点出力　接点入力	連続接点出力　接点入力	連続接点出力　接点入力	瞬時接点出力　接点入力	リモコンパルス接点出力
リモートユニット ＲＳ ＤＤＣ						
外部配線						
現場側機器 受変電盤 動力盤 分電盤 機側盤 自動盤 他						 リモコンリレードライバ回路には、ＤＩ回路が１つあり、リモコンリレー状態信号を入力しています。 端子の色はＪＩＳ８３６０で規定されています。
備　考	ａ－ａ接点 １．状態確認用入力接点は、補助継電器（５２Ｘ）側を使用のこと ２．遠方用補助継電器（ＣＸ，ＴＸ）には，スパークキラー（ダイオード等）を取付のこと。	ａ－ａ接点 １．状態確認用入力接点は、補助継電器（５２Ｘ）側を使用のこと ２．遠方用補助継電器（ＣＸ，ＴＸ）には，スパークキラー（ダイオード等）を取付のこと。	１．状態確認用入力接点は、補助継電器（５２Ｘ）側を使用のこと ２．遠方用補助継電器（ＣＸ）には，スパークキラー（ダイオード等）を取付のこと。	１．状態確認用入力接点は、補助継電器（５２Ｘ）側を使用のこと ２．遠方用補助継電器（ＣＸ）には，スパークキラー（ダイオード等）を取付のこと。	ａ－ｂ接点 １．状態確認用入力接点は、補助継電器（５２Ｘ）側を使用のこと ２．遠方用補助継電器（ＣＸ）には，スパークキラー（ダイオード等）を取付のこと。 （注）ＡＵＴのリレーは、メインテインとしてリレーをメークします。	

入出力項目	状態・故障	状態	故障	計量（パルス）入力	計量（パルス）入力	アナログ入力	アナログ入力	アナログ入力	アナログ入力	アナログ入力	アナログ出力
	接点入力	接点入力	接点入力	無電圧単位接点パルス	無電圧単位接点パルス	温度入力	電流入力	電流入力	電圧入力	抵抗入力	電流出力
リモートユニット ＲＳ ＤＤＣ											
外部配線											
現場側機器 受変電盤 動力盤 分電盤 機側盤 自動盤 他	 状態接点 故障接点	 状態接点	 故障接点			 Ｐｔ１００Ω 測温体					
備　考	１．入力信号 無電圧ａ接点連続 ２．回路電圧，電流 ＤＣ１２Ｖ，１０ｍＡ	１．入力信号 無電圧ａ接点連続 ２．回路電圧，電流 ＤＣ１２Ｖ，１０ｍＡ	１．入力信号 無電圧ａ接点連続 ２．回路電圧，電流 ＤＣ１２Ｖ，１０ｍＡ	積算 １．入力信号 １２ＶＤＣ，１０ｍＡ ２．入力信号条件 ＯＮ時間３０ｍｓ以上 ＯＦＦ時間３０ｍｓ以上 ＯＮ＋ＯＦＦ時間１００ｍｓ以上の３つの条件を満たすこと。 	積算（量水器） １．入力信号 １２ＶＤＣ，１０ｍＡ ２．入力信号条件 ＯＮ時間３０ｍｓ以上 ＯＦＦ時間３０ｍｓ以上 ＯＮ＋ＯＦＦ時間１００ｍｓ以上の３つの条件を満たすこと。 	１．入力信号 Ｐｔ１０００Ω，ＪＰｔ１００Ω ２．回路電圧，電流 ＤＣ１Ｖ，１ｍＡ ３．計測レンジ ０～５０℃，－５０～１００℃ －２０～８０℃，５０～２００℃	１．入力信号 ＤＣ４～２０ｍＡ ２．入力インピーダンス ３００Ω ３．アイソレーションなし	１．入力信号 ０～１００ｍＶＤＣ ２．入力インピーダンス １ＭΩ以上 ３．アイソレーションなし	１．ＡＩＶ１入力信号 １～５ＶＤＣ 入力インピーダンス５００Ω ２．ＡＩＶ２入力信号 ０～５ＶＤＣ 入力インピーダンス５ＫΩ ３．ＡＩＶ３入力信号 －５～５ＶＤＣ 入力インピーダンス１１０ＫΩ ４．アイソレーションなし	１．入力信号 Ｐｏｔ（抵抗値）入力 ０～４０，０～１３５， ０～１Ｋ，０～１０Ω ２．印加電圧 １ＶＤＣ	１．出力信号 ４～２０ｍＡＤＣ ２．出力電圧 ２４ＶＤＣ ３．最大負荷抵抗 ６００Ω ４．アイソレータ付

	工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名　自動制御設備　集中管理装置（２）	縮尺　A1 N.S. A3 N.S.		図面番号 M-40

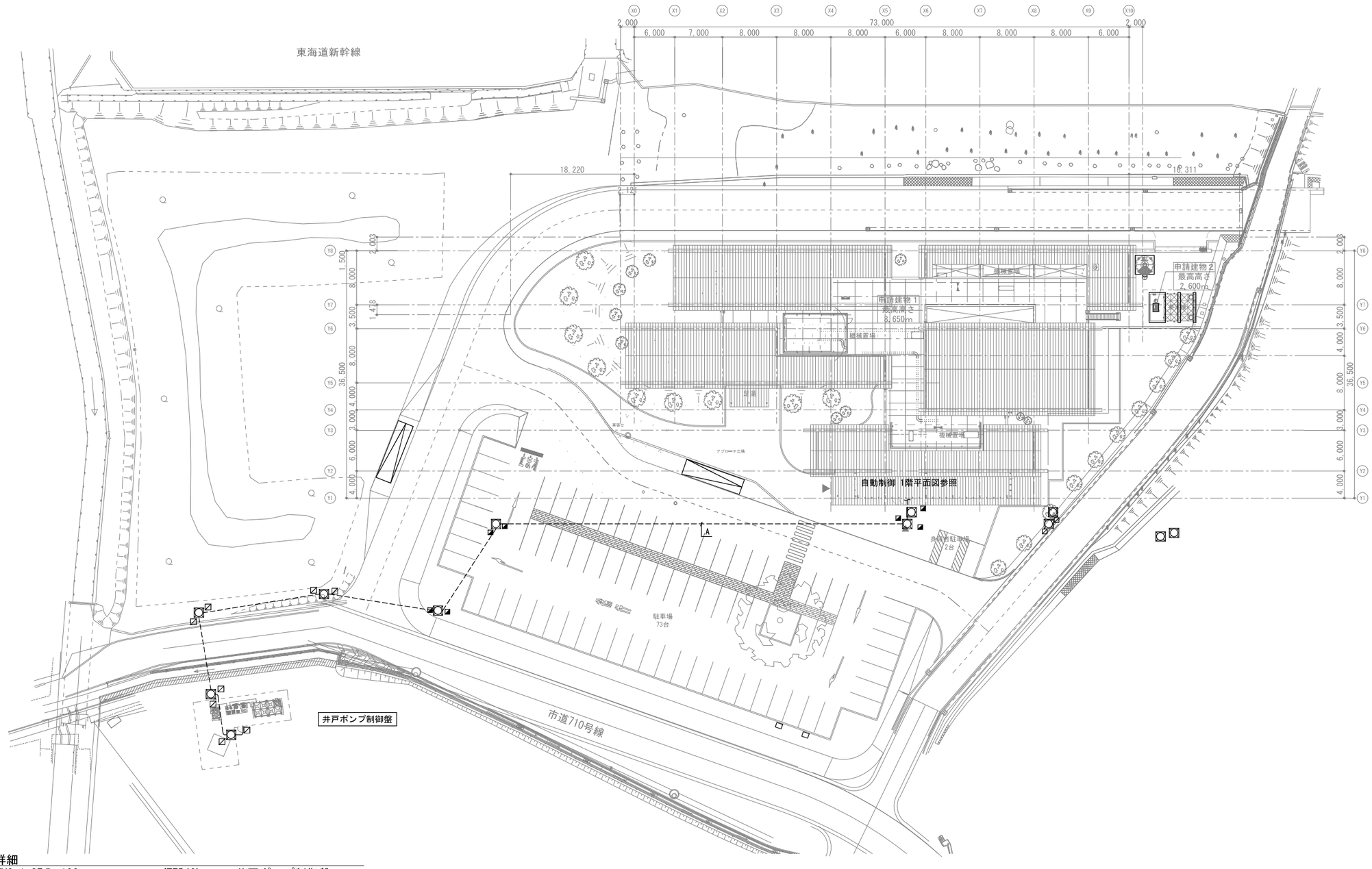
注）COS故障：中央監視からの指令と現場の運転状態が異なった時に発報する。
（手元運転、トリップ故障の場合も発報）

設備記号	名　称	リモートユニット	信号取合先	取合	操作			表示				計測				計量				備　考
					設定	切換	発停	状態	COS 故障	トリップ 故障	警報	温度	湿度	アナログ	その他					
	＜熱源機廻り＞																			
EHU−1	給水熱源ユニット　一括警報	RCP−R−1	本　体	RS						○										BRS-1にて発停
HLP−1	給湯循環ポンプ　EHU-1系統	RCP−R−1	RP−1	RS				○X7		○X7										EHU-1連動
	＜ボイラー廻り＞																			
PBH−1	ペレットボイラ	RCP−1−1	本　体	RS			○	○	○	○										
BHP−1	温水循環ポンプ　PBHP−1〜HWT−1系統	RCP−1−1	1P−1	RS				○		○										
HP−1	温水循環ポンプ　浴槽ろ過昇温系統	RCP−1−1	1P−1	RS				○		○										
	＜貯湯タンク廻り＞																			
HWT−1	開放型貯湯タンク　給湯系統　H・L	RCP−1−1	HWPU−1	RS							○X2									
HWPU−1	給湯用自動給水ユニット	RCP−1−1	本　体	RS							○									
	＜給湯器廻り＞																			
EWH−1	ヒートポンプ給湯器　1階厨房系統	RCP−R−1	本　体	RS							○									
	＜受水槽廻り＞																			
WT−1	受水槽　上水・井水兼用　H・L	RCP−1−1	WPU−1	RS							○X2									
WPU−1	加圧給水ポンプユニット	RCP−1−1	本　体	RS							○									
	遮断弁 閉	RCP−1−1	遮断弁盤	RS							○									
	＜フィルター廻り＞																			
FU−1	フィルターユニット	RCP−R−1	本　体	RS							○									
FU−2	フィルターユニット	RCP−R−1	本　体	RS							○									
FU−3	フィルターユニット	RCP−R−1	本　体	RS							○									

注）COS故障：中央監視からの指令と現場の運転状態が異なった時に発報する。
（手元運転、トリップ故障の場合も発報）

設備記号	名　称	リモートユニット	信号取合先	取合	操作			表示				計測				計量				備　考
					設定	切換	発停	状態	COS 故障	トリップ 故障	警報	温度	湿度	アナログ	その他					
	＜給排気ファン＞																			
FS−1	給気ファン　1階 男性脱衣室・浴室系統	RCP−R−1	RP−2	RS			○	○	○	○										連動は
FE−1	排気ファン　1階 男性脱衣室・浴室系統	RCP−R−1	RP−2	RS				○		○										電気工事
FS−2	給気ファン　1階 女性脱衣室・浴室系統	RCP−R−1	RP−2	RS			○	○	○	○										連動は
FE−2	排気ファン　1階 女性脱衣室・浴室系統	RCP−R−1	RP−2	RS				○		○										電気工事
FS−3−1	給気ファン　1階 機械室系統	RCP−1−1	1P−1	RS				○		○										サーモ 連動は
FE−3−1	排気ファン　1階 機械室系統	RCP−1−1	1P−1	RS				○		○										電気工事
FS−3−2	給気ファン　1階 機械室系統	RCP−1−1	1P−1	RS				○		○										サーモ 連動は
FE−3−2	排気ファン　1階 機械室系統	RCP−1−1	1P−1	RS				○		○										電気工事
FS−3−3	給気ファン　1階 機械室系統	RCP−1−1	1P−1	RS				○		○										PBH−1連動
FS−4	給気ファン　1階 厨房系統	RCP−R−1	RP−3	RS			○	○		○										連動は
FE−4	排気ファン　1階 厨房系統	RCP−R−1	RP−3	RS				○		○										電気工事
	＜浴槽ろ過廻り＞																			
WF−1	露天風呂系統　ろ過装置　一括警報	RCP−1−1	本　体	RS							○									
WF−2	内風呂系統　ろ過装置　一括警報	RCP−1−1	本　体	RS							○									
WF−3	水風呂系統　ろ過装置　一括警報	RCP−1−1	本　体	RS							○									
WF−4	薬湯系統　ろ過装置　一括警報	RCP−1−1	本　体	RS							○									
WF−5	源泉湯系統　ろ過装置　一括警報	RCP−1−1	本　体	RS							○									
	＜計測・計量＞																			
	外気　温度	RCP−1−1	本　体	RS								○								
	外気　湿度	RCP−1−1	本　体	RS									○							
	＜電気設備＞																			
	電力量	RCP−R−1	キュービクル	RS												○				
	キュービクル 一括警報	RCP−R−1	キュービクル	RS							○									
	キュービクル MCB	RCP−R−1	キュービクル	RS			○													
	受電電流	RCP−R−1	キュービクル	RS											○					
	受電電圧	RCP−R−1	キュービクル	RS											○					
	受電電力量	RCP−R−1	キュービクル	RS												○				
	受電電力	RCP−R−1	キュービクル	RS											○					
	受電力率	RCP−R−1	キュービクル	RS											○					
	分電盤　1L−1　一括警報	RCP−1−1	1L−1	RS							○									
	分電盤　1L−2　一括警報	RCP−1−1	1L−2	RS							○									
	分電盤　1L−3　一括警報	RCP−1−1	1L−3	RS							○									
	分電盤　RPL−3　一括警報	RCP−1−1	RPL−3	RS							○									
	分電盤　床暖房リモコン　一括警報	RCP−1−1	床暖房リモコン	RS							○									
	動力盤　1P−1　一括警報	RCP−1−1	1P−1	RS							○									
	動力盤　RP−1（1）　一括警報	RCP−R−1	RP−1（1）	RS							○									
	動力盤　RP−1（2）　一括警報	RCP−R−1	RP−1（2）	RS							○									
	動力盤　RP−2　一括警報	RCP−R−1	RP−2	RS							○									
	動力盤　井戸ポンプ制御盤　一括警報	RCP−1−1	井戸ポンプ制御盤	RS							○									
	動力盤　サウナ制御盤　一括警報	RCP−1−1	サウナ制御盤	RS							○									
	動力盤　サウナ制御盤　一括警報	RCP−1−1	サウナ制御盤	RS							○									

工事名　（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
図面名　自動制御設備　集中管理装置（3）	縮尺　A1 N.S. A3 N.S.		図面番号 M−41



配線詳細

-A-	CVVS 1.25□-10C	(FEP40)	井戸ポンプ制御盤

（注記）井戸ポンプ制御盤までの配管・配線工事は別途とする。

N

	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名	自動制御設備　外構図	縮尺	A1 1:300 A3 1:600	図面番号 M-42

1L-2　床暖房　サウナ制御盤

サウナ制御盤

RCP-1-1　1P-1

1L-3

1L-1

自動制御 外構図参照

遮断弁盤

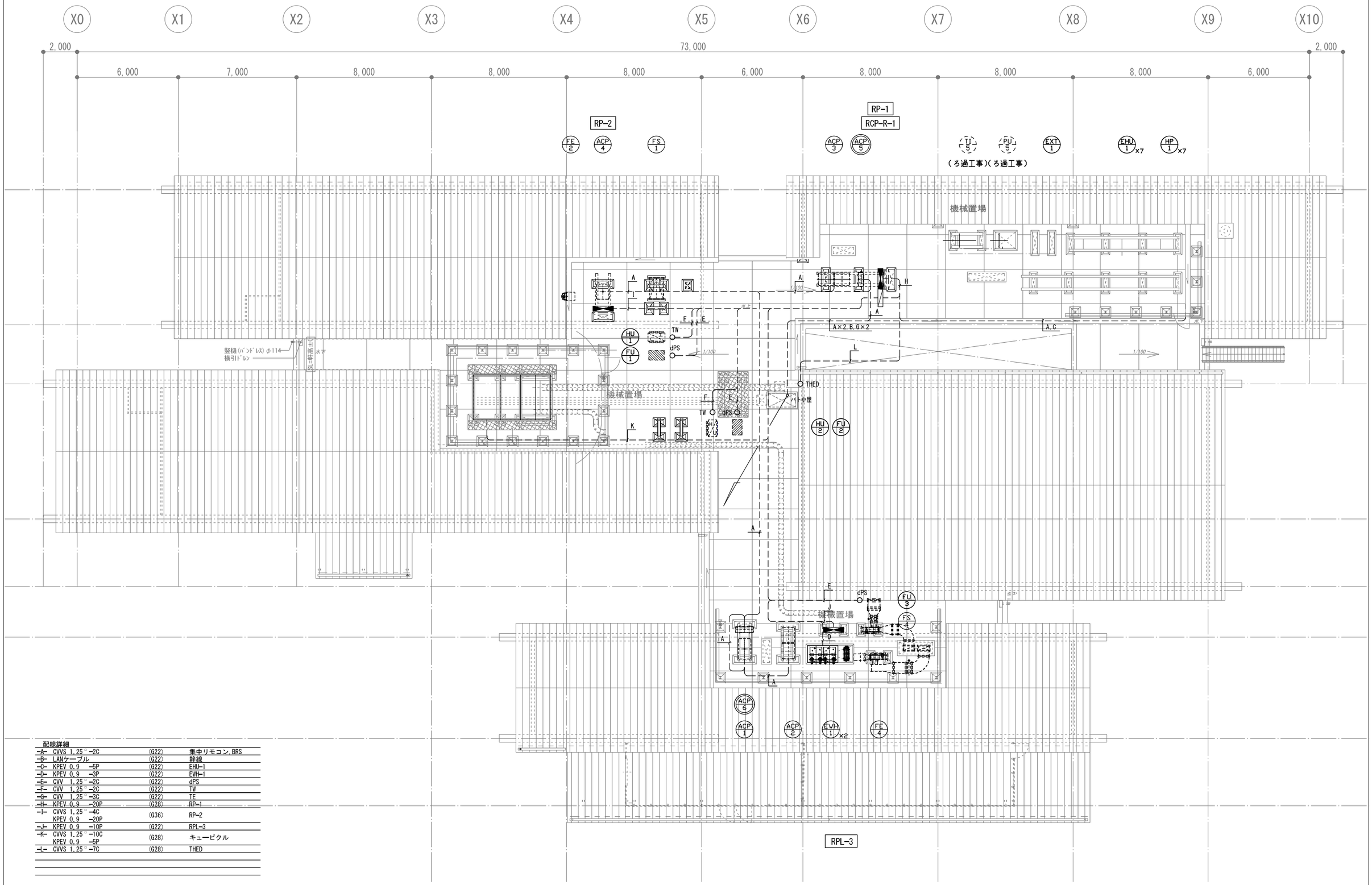
遮断弁 3P×2　5P　SVW1

遮断弁 3P×2　5P　SVW1

配線詳細

-A-	CVVS 1.25□-2C	(E25)	集中リモコン,BRS
-B-	LANケーブル	(E25)	幹線
-C-	CVV 1.25□-3C	(E25)	TE
-D-	CVV 1.25□-3C	(G22)	3P
-E-	CVV 1.25□-5C	(G22)	5P
-F-	CVV 2□-2C	(G22)	SVW1,SVW2
-G-	CVV 1.25□-7C	(G28)	遮断弁
-H-	CVV 1.25□-4C	(G22)	WPU-1～遮断弁盤
-I-	CVV 1.25□-20C	(G36)	WPU-1
-J-	KPEV 0.9 -3P	(E25)	WF-1～5
-K-	KPEV 0.9 -20P	(E31)	1P-1
-L-	CVV 2□-2C	(E25)	T
-M-	KPEV 0.9 -5P	(E25)	PBH-1
-N-	CVV 1.25□-3C	(E25)	TEW
-O-	CVV 1.25□-6C	(E25)	MV3-1,MV3-2
-P-	KPEV 0.9 -5P	(E25)	HWPU-1
-Q-	KPEV 0.9 -3P	(E25)	一括警報
-R-	CVV 1.25□-10C	(G36)	井戸ポンプ制御盤

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	自動制御設備　1階平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	計画　製作　調査　調査	図面番号 M-43

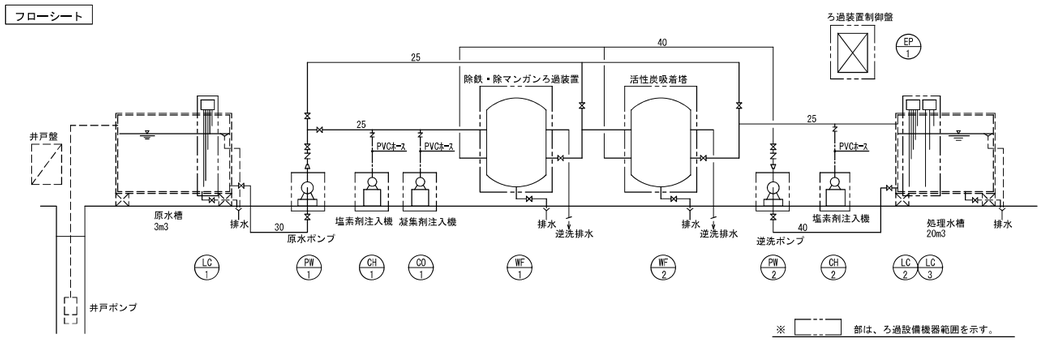


配線詳細

-A-	CVVS 1.25㎟ -2C	(G22)	集中リモコン,BRS
-B-	LANケーブル	(G22)	幹線
-C-	KPEV 0.9 -5P	(G22)	EHU-1
-D-	KPEV 0.9 -3P	(G22)	EWH-1
-E-	CVV 1.25㎟ -2C	(G22)	dPS
-F-	CVV 1.25㎟ -2C	(G22)	TW
-G-	CVV 1.25㎟ -3C	(G22)	TE
-H-	KPEV 0.9 -20P	(G28)	RP-1
-I-	CVVS 1.25㎟ -4C KPEV 0.9 -20P	(G36)	RP-2
-J-	KPEV 0.9 -10P	(G22)	RPL-3
-K-	CVVS 1.25㎟ -10C KPEV 0.9 -5P	(G28)	キュービクル
-L-	CVVS 1.25㎟ -7C	(G28)	THED

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日	業務番号 257031
図面名	自動制御設備 R階平面図	縮尺	A1 1:100 A3 1:200	計画 製作 調査 調査	図面番号 M-44

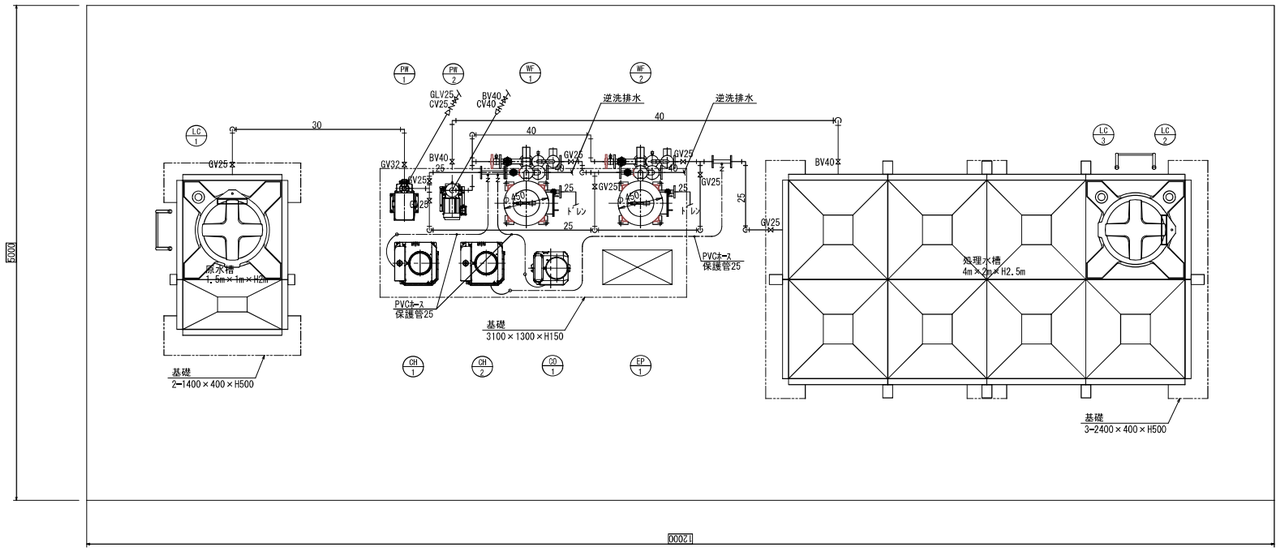
フローシート



※ ┌┄┄┐ 部は、ろ過設備機器範囲を示す。
※ －－－－ は、ろ過設備範囲外を示す。
※ 原水水質により、機器仕様は変更となる場合あり。

機器仕様表

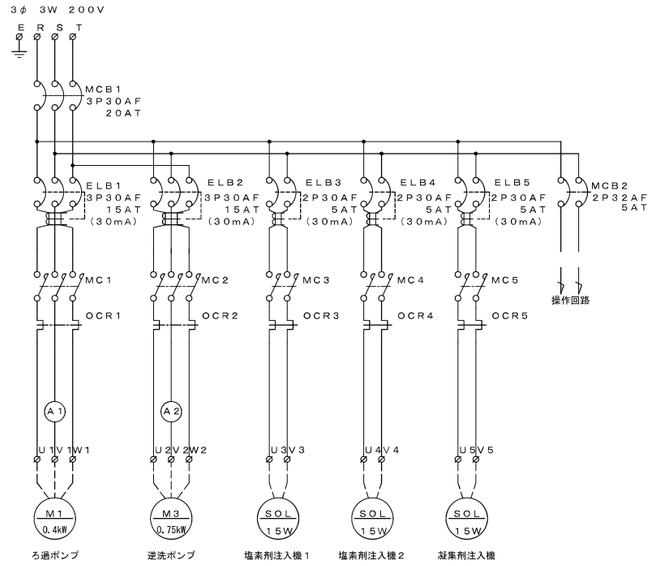
	名　称	仕　様		50Hz Φ	50Hz V	50Hz kW	数量	備　考
WF-1	除鉄・除マンガンろ過装置	ろ過能力	1.2 m3/h					
		ろ過タンク	内径Φ450mm 材質：SUS304 配管：SUS304				1	
		ろ　材	アンスラサイト・除マンガンろ材・ろ過砂					
		自 動 弁	電動三方弁×3					
		付 属 品	ろ過流量計・逆洗流量計・薬品注入口配管					
WF-2	活性炭吸着塔	ろ過能力	1.2 m3/h					
		ろ過タンク	内径Φ450mm 材質：SUS304 配管：SUS304 内面：水道用エポキシ樹脂塗装				1	
		ろ　材	活性炭					
		自 動 弁	電動三方弁×3					
		付 属 品	ろ過流量計・逆洗流量計・薬品注入口配管					
PW-1	原水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ（ステンレス製）		3	200	0.4	1	
		20L/min×18m						
PW-2	逆洗ポンプ	片吸込渦巻ポンプ（ナイロンコーティング）		3	200	0.75	1	
		100L/min×18m						
CH-1 ～2	塩素剤注入機	電磁式ダイヤフラム定量ポンプ 自動エア抜付 30mL/min×1.0MPa		1	200	15W	2	
		次亜塩素酸ソーダ使用 PE製50Lタンク付						
CO-1	凝集剤注入機	電磁式ダイヤフラム定量ポンプ 30mL/min×1.0MPa		1	200	15W	1	
		パック使用 PE製30Lタンク付						
LC-1 ～3	電極	LC-1：電極5P（原水ポンプ空転防止、満渇水警報）					1	
		LC-2：電極5P（逆洗ポンプ空転防止、原水ポンプ運転停止）LC-3：電極3P（満渇水警報）						
EP-1	ろ過装置制御盤	屋外自立型		3	200		1	
		一括警報端子付						

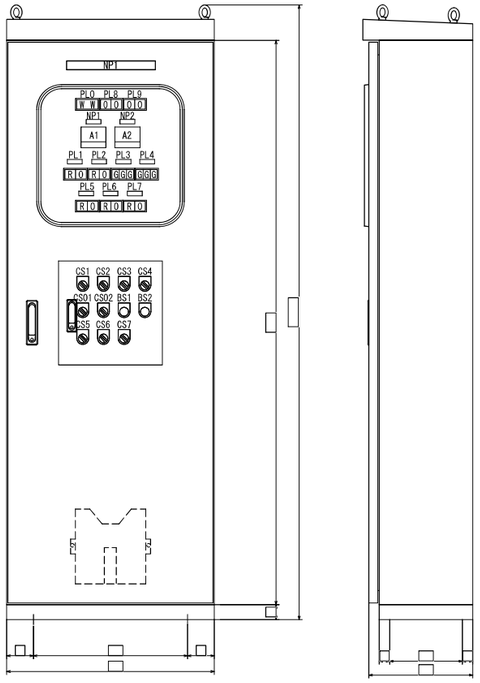


ろ過装置平面図　S:1/30

***		工事名 （仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	業務番号 257031
		図面名 井水ろ過設備 フロー・機器表・ろ過装置平面図	縮尺 A1 1:30 A3 1:60		図面番号 M-45

ＷＦ－１男性浴槽ろ過装置制御盤



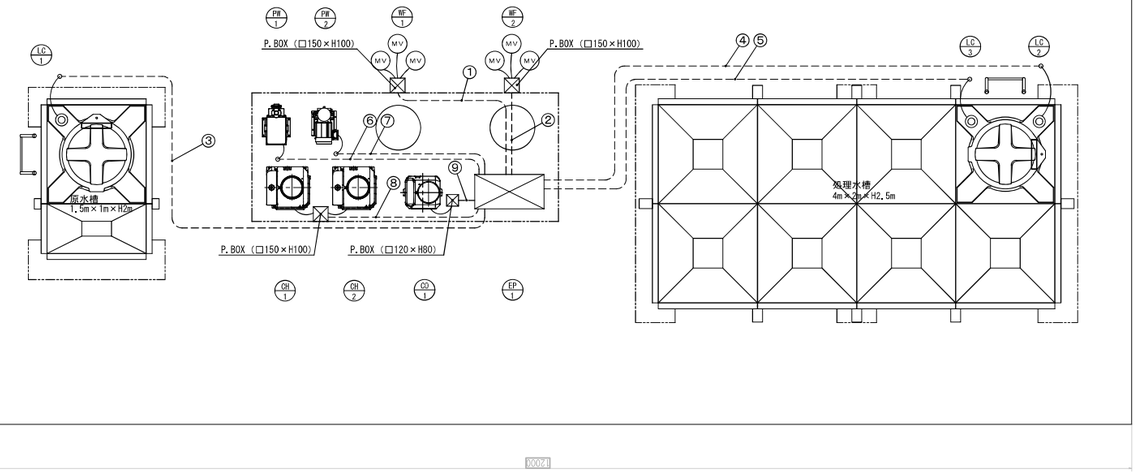


制御盤姿図　S:1/10

銘板表

記　号	彫　刻　文　字	寸　法
NP1	ろ過装置制御盤	30×300
A1	ろ過ポンプ	10×40
A2	逆洗ポンプ	10×40
PL0	電源	スケヤライト
PL1	ろ過ポンプ　運転　運転	スケヤライト
PL2	逆洗ポンプ　運転　故障	スケヤライト
PL3	ろ過装置自動弁　ろ過　逆洗　洗浄	スケヤライト
PL4	活性炭吸着塔自動弁　ろ過　逆洗　洗浄	スケヤライト
PL5	塩素剤注入機１　運転　故障	スケヤライト
PL6	塩素剤注入機２　運転　故障	スケヤライト
PL7	凝集剤注入機　運転　故障	スケヤライト
PL8	原水槽　満水　渇水	スケヤライト
PL9	処理水槽　満水　渇水	スケヤライト
BS1	ろ過装置逆洗指令	30φエプロン
BS2	活性炭吸着塔逆洗指令	30φエプロン
CSO1	ろ過装置　手動　止　自動	30φエプロン
CSO2	活性炭吸着塔　手動　止　自動	30φエプロン
CS1	ろ過ポンプ　手動　止　自動	30φエプロン
CS2	逆洗ポンプ　手動　止　自動	30φエプロン
CS3	ろ過装置自動弁　ろ過　逆洗　洗浄	30φエプロン
CS4	活性炭吸着塔自動弁　ろ過　逆洗　洗浄	30φエプロン
CS5	塩素剤注入機１　手動　止　自動	30φエプロン
CS6	塩素剤注入機２　手動　止　自動	30φエプロン
CS7	凝集剤注入機　手動　止　自動	30φエプロン

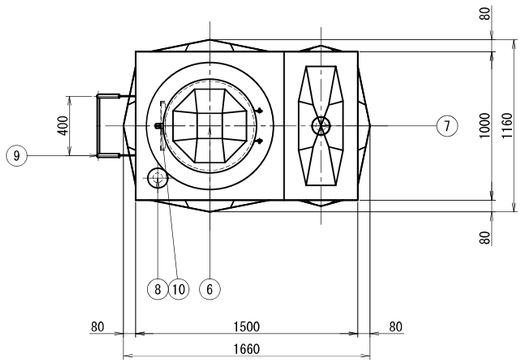
盤製作仕様		
構造	屋外自立	鋼板製
板厚	本体　t2.3	
	扉　t2.3	
	中扉　――	
	機器取付板　t2.3	
塗装色	外面　5Y7/1	
	内面　5Y7/1	



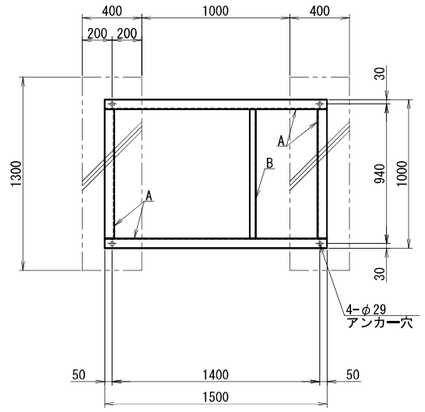
電気二次側配線図　S:1/30

記号	電　線	電線管	対　象　器　具
①	ＥＭ－ＣＥＥ１．２５ｓｑ－５Ｃ	２２	自動弁×３（ＷＦ－１ろ過装置用）
②	ＥＭ－ＣＥＥ１．２５ｓｑ－５Ｃ	２２	自動弁×３（ＷＦ－２ろ過装置用）
③	ＥＭ－ＣＥＥ１．２５ｓｑ－５Ｃ	２２	水位計電極５Ｐ（原水槽用）
④	ＥＭ－ＣＥＥ１．２５ｓｑ－５Ｃ	２２	水位計電極５Ｐ（処理水槽用）
⑤	ＥＭ－ＣＥＥ１．２５ｓｑ－３Ｃ	１６	水位計電極３Ｐ（処理水槽用）
⑥	ＥＭ－ＣＥ２ｓｑ－４Ｃ	２２	原水ポンプ（ＰＷ－１）
⑦	ＥＭ－ＣＥ２ｓｑ－４Ｃ	２２	逆洗ポンプ（ＰＷ－２）
⑧	ＥＭ－ＣＥ２ｓｑ－３Ｃ	２２	塩素剤注入機１（ＣＨ－１）
	ＥＭ－ＣＥ２ｓｑ－３Ｃ	２２	塩素剤注入機２（ＣＨ－２）
⑨	ＥＭ－ＣＥ２ｓｑ－３Ｃ	２２	凝集剤注入機（ＣＯ－１）

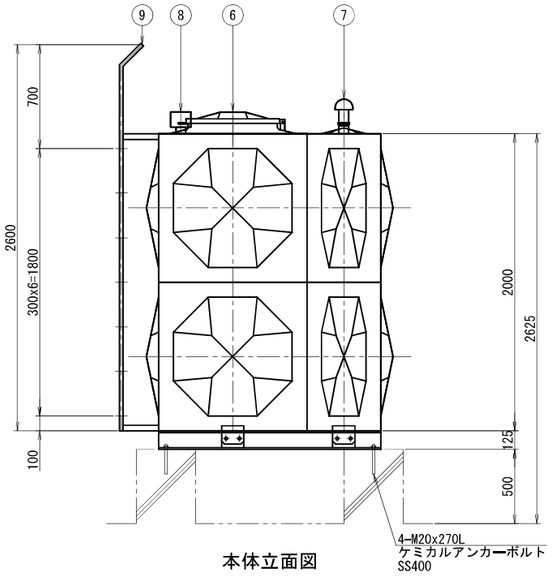
	工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日 計画　製作　調査　調査	業務番号 257031
	図面名	井水ろ過設備　制御盤図・電気二次側配線図	縮尺 A1 1:30 A3 1:60		図面番号 M-46



本体平面図



受台伏図



本体立面図

WT-1

屋外設置　　水温＝15～25℃（常温）　工場組立型

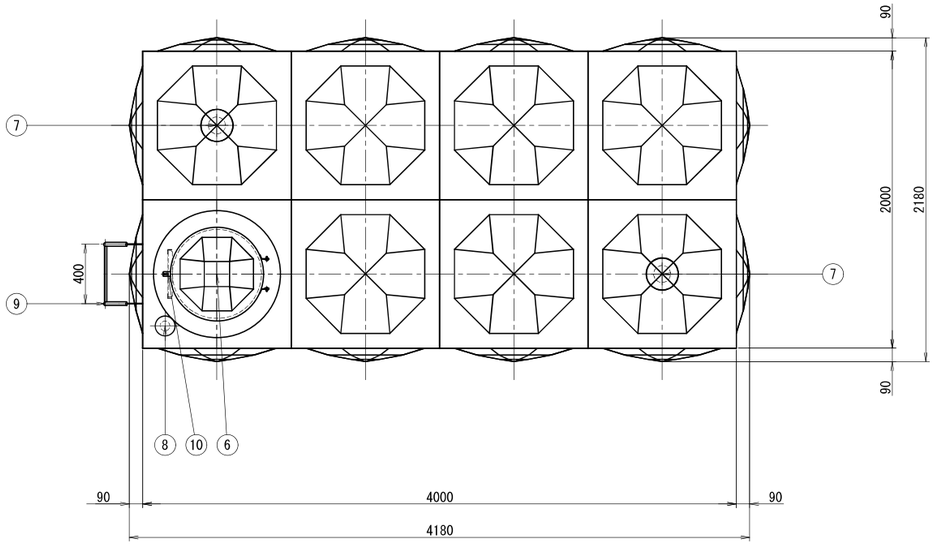
SUS329J4Lの範囲内で液面調整してください

溶接組立形ステンレスパネルタンク仕様

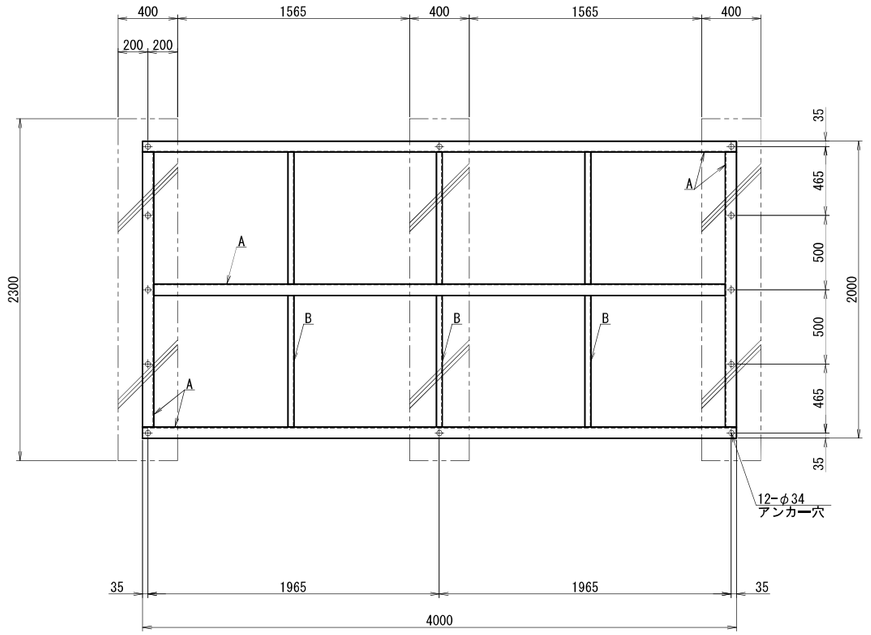
設計水平震度	Kh = 1.5				
寸　　法	1000x1500x2000				
本　　体	天井板	t1.5	側板2段	t1.5	SUS329J4L
	側板1段	t2.0	底板（プレス）	t2.0	SUS444
受台（架台）	A材 C125x65x6		B材 C75x40x5		
					SS400
仕　　上	ステンレス溶接部は酸洗い不動態化処理				
	SS部は溶融亜鉛メッキ				
特　　記	隙間対策溶接実施				
付　属　品	通気、電極カバー				
重　　量	本体　220 kg		受台（架台）	85 kg	

品番	名　　称	材　質	寸　　法	個数	備　　考
10	内はしご	SUS329J4L	330x300	1	L30x30
9	外はしご	STKM	400x300	1	φ25.4・RB16
8	電極取付用座	ABS	50A	1	
7	通　気　口	ABS	50A	1	防虫網付
6	マンホール	SUS329J4L	φ600	1	施錠式 二重蓋（樹脂）
5	排　水　口	SUS304			
4	溢　水　口	SUS316			
3	給　水　口	SUS304			
2	揚　水　口	SUS316			
1	本　　体	SUS			

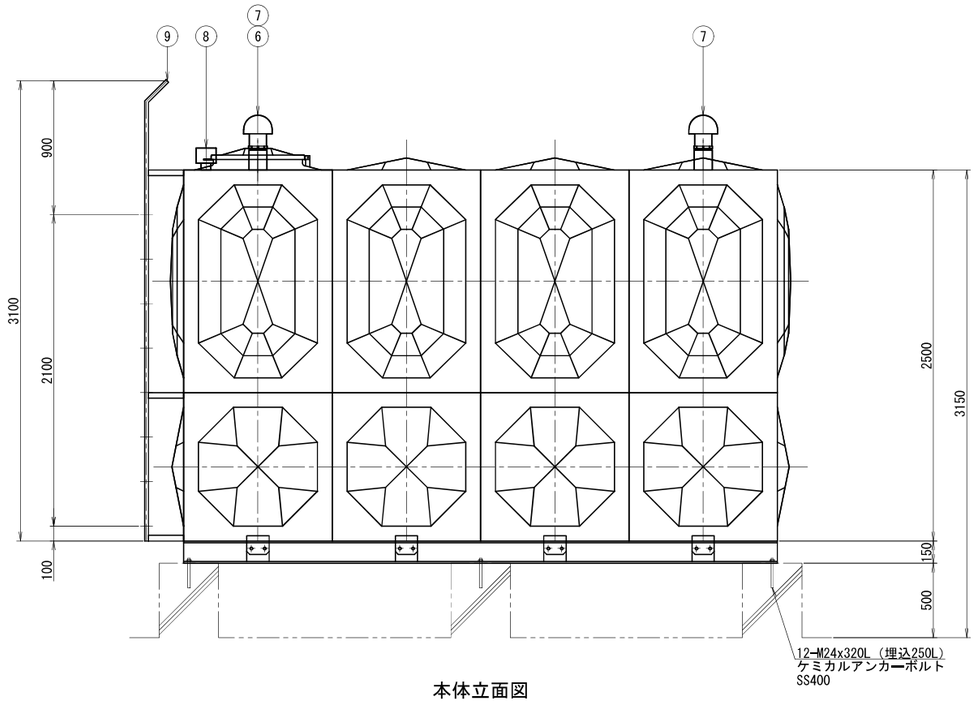
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	給排水衛生設備 井水原水槽（井戸）参考図	縮尺	A1 1:20 A3 1:40	計画　製作　調査　調査	図面番号 M-47



本体平面図



受台伏図



本体立面図

WT−2

屋外設置　　水温＝15～25℃（常温）　工場組立型

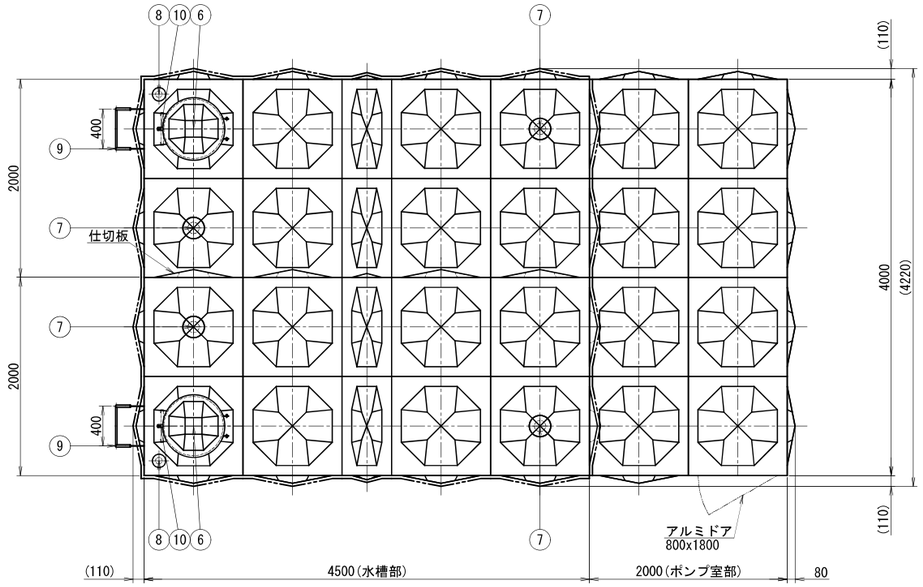
SUS329J4Lの範囲内で液面調整してください

溶接組立形ステンレスパネルタンク仕様

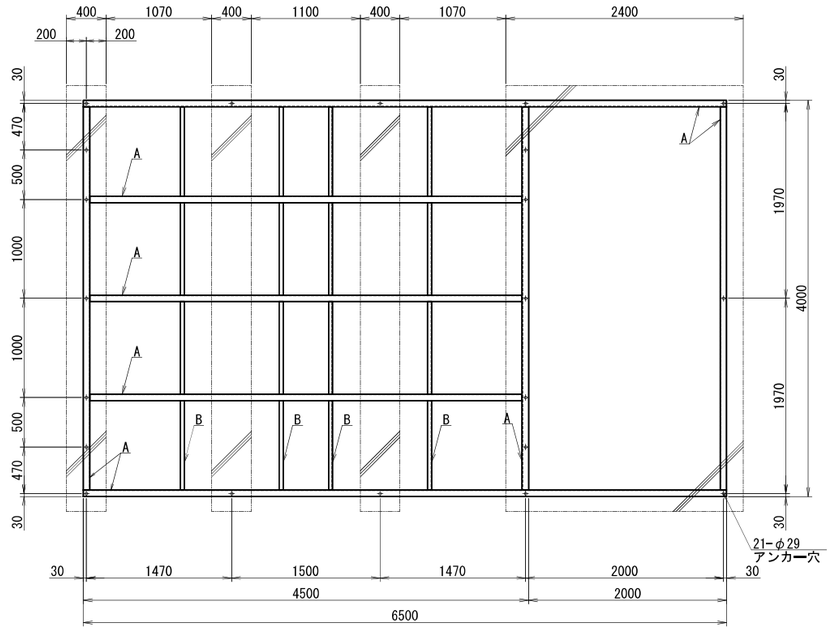
設計水平震度	Kh = 1.5				
寸　法	2000x4000x2500				
本　体	天井板	t1.5	側板2段	t1.5	SUS329J4L
	側板1段	t2.0	底板（ブレス）	t2.0	SUS444
受台（架台）	A材 C150x75x6.5　B材 C75x40x5				
					SS400
仕　上	ステンレス溶接部は酸洗い不動態化処理				
	SS部は溶融亜鉛メッキ				
特　記	隙間対策溶接実施				
付属品	通気、電極カバー				
重　量	本体　840 kg　受台（架台）　380 kg				

品番	名称	材質	寸法	個数	備考
10	内はしご	SUS329J4L	330x300	1	L30x30
9	外はしご	STKM	400x300	1	φ25.4・RB16
8	電極取付用座	SUS316	50A	1	内外ソケット
7	通気口	ABS	100A	2	防虫網付
6	マンホール	SUS329J4L	φ600	1	施錠式 二重蓋（樹脂）
5	排水口	SUS304			
4	溢水口	SUS316			
3	給水口	SUS304			
2	揚水口	SUS316			
1	本体	SUS			

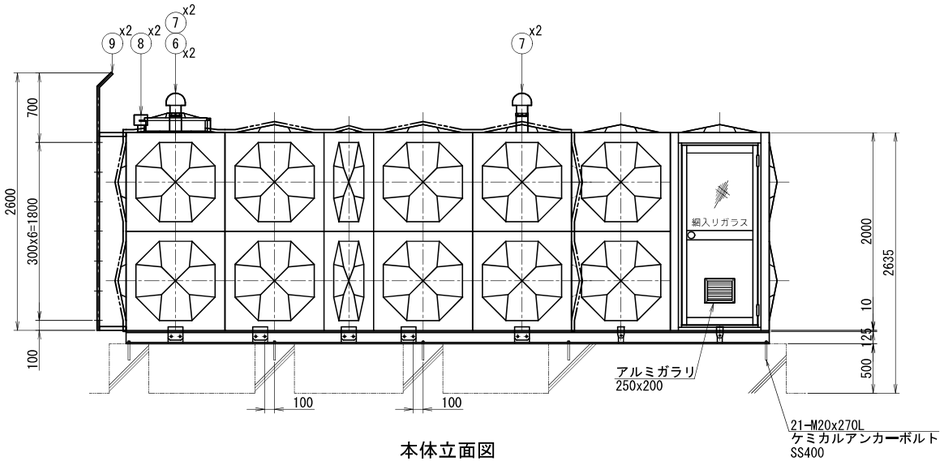
工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	給排水衛生設備 井水処理槽 参考図	縮尺 A1 1:20 A3 1:40	計画　製作　調査　調査	図面番号 M−48



本体平面図



受台伏図



本体立面図

内容水：確認事項　　WT-3

屋外設置　　水温＝15～25℃（常温）　現場組立型

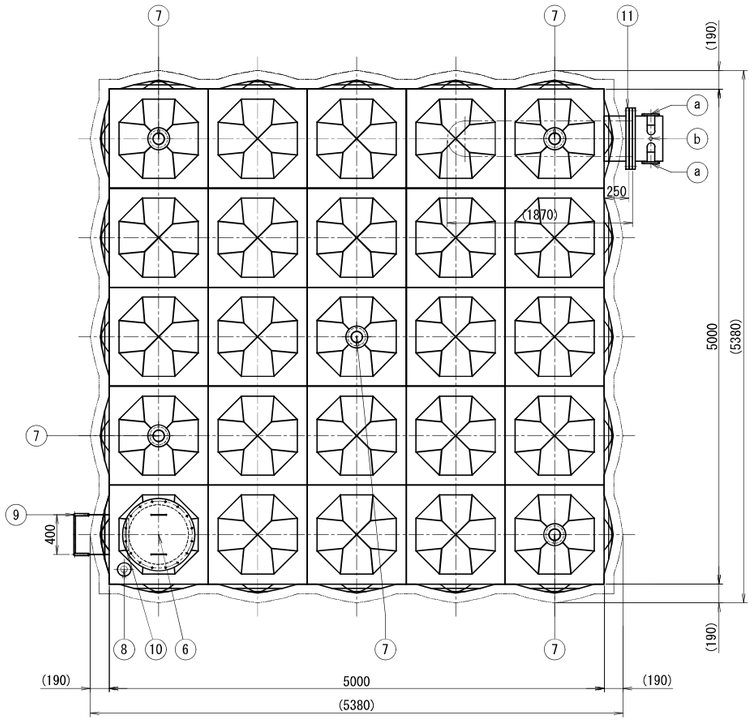
SUS329J4Lの範囲内で液面調整してください

溶接組立形ステンレスパネルタンク仕様

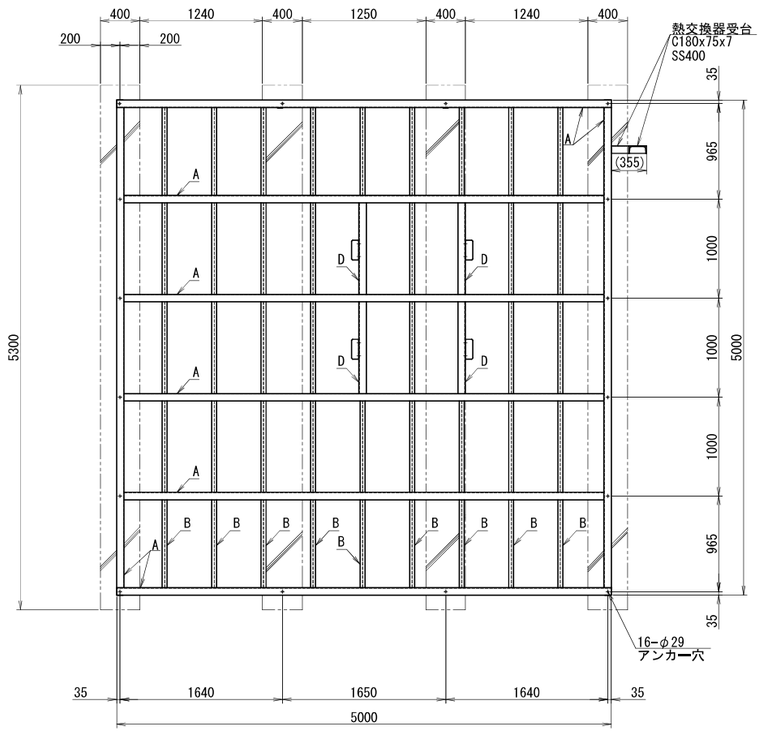
設計水平震度	Kh = 1.5				
寸　　法	4000(2000+2000)x6500(4500+P2000)x2000				
本　　体	天井板	t1.5	側板2段	t1.5	SUS329J4L
	側板1段	t2.0	底板（プレス）	t2.0	SUS444
	ポンプ室	t1.5			SUS444
受台（架台）	A材 C125x65x6　　B材 C75x40x5				
					SS400
仕　　上	ステンレス溶接部は酸洗い不動態化処理				
	SS部は溶融亜鉛メッキ				
保　　温	発泡ポリスチレン 30m/m（水槽部のみ）				
外　　装	t0.8アルミパネル				
付 属 品	通気、電極カバー、緊急遮断弁（東洋バルヴ製バタ弁80A×2ヶ、制御盤付）				
	ケミカルアンカーボルト				
重　　量	本体　2200 kg　　受台（架台）　780 kg				

品番	名　称	材　質	寸　法	個数	備　考
10	内はしご	SUS329J4L	330x300	2	L30x30
9	外はしご	STKM	400x300	2	φ25.4・RB16
8	電極取付用座	SUS316	50A	2	内外ソケット
7	通 気 口	ABS	100A	4	防虫網付
6	マンホール	SUS329J4L	φ600	2	施錠式 二重蓋（樹脂）
5	排 水 口	SUS304			
4	溢 水 口	SUS316			
3	給 水 口	SUS304			
2	揚 水 口	SUS316			
1	本　　体	SUS			

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事		令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	給排水衛生設備 受水槽(上水・井水兼用) 参考図	縮尺 A1 1:30 A3 1:60	計画　製作　調査　調査	図面番号 M-49



本体平面図

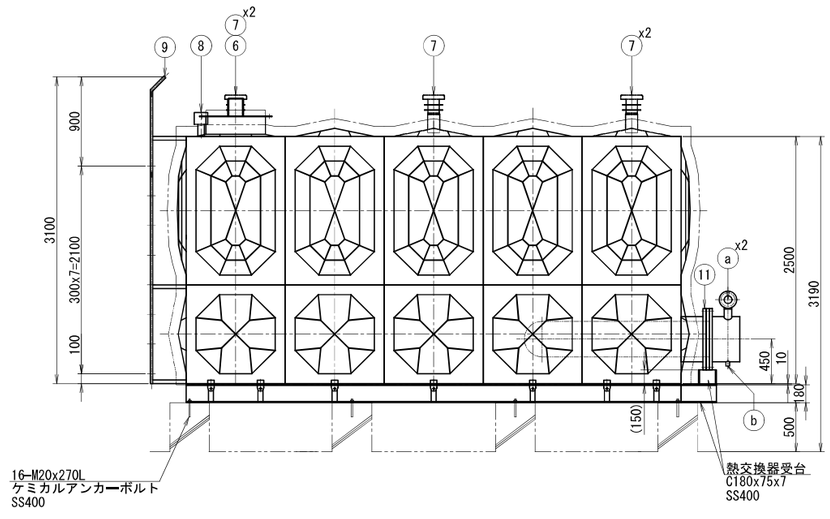


受台伏図

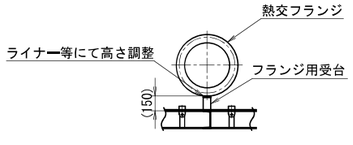
熱交換器仕様

交換熱量	290.0 kW			P-144	
伝熱管	φ25.4xt2.0x160.8m(SUS304TP-A)			12.83 m^2	
温度条件	1次側	85～75℃	(流量 416L/min)		
	2次側	5～60℃			
適用法規	適用外				
最高使用圧力	0.490 MPa				
管板	450A 10KF SUS304			4パス 50本	
ヘッド部	450A 10KF SUS304				
	450A SUS304TP-Y				

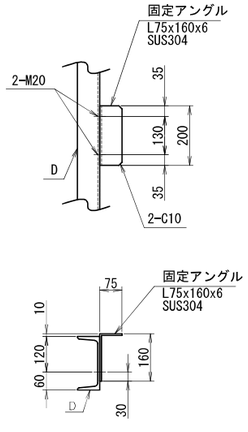
b	ドレン	SUS304		1	ソケット
a	1次側出入口	SUS304		2	10KF SUS304
品番	名称	材質	寸法	個数	備考



本体立面図



熱交換器受台詳細図



固定アングル詳細図
4ケ

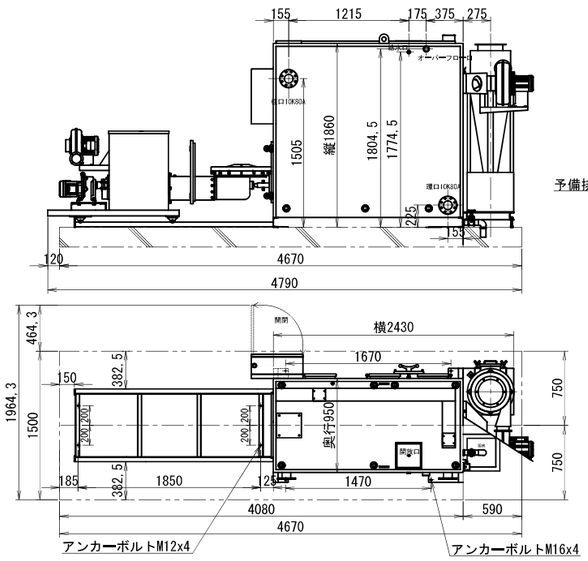
屋内設置

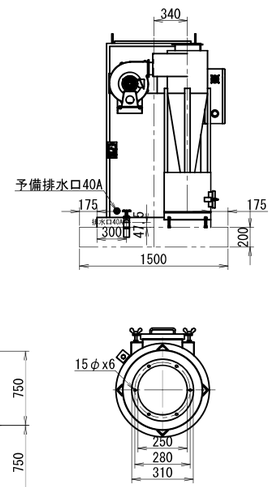
溶接組立形ステンレスパネルタンク仕様

設計水平震度	Kh=1.0
寸法	5000 x 5000 x 2500
本体	天井板 t1.5 側板2段 t1.5
	側板1段 t2.0 底板 t2.0 SUS444
受台（架台）	A材 C180x75x7 B材 H100x50x5/7
	D材 C180x75x7 SS400
仕上	ステンレス溶接部は酸洗い不動態化処理
	ＳＳ部は溶融亜鉛メッキ
保温	発泡ポリスチレン100m/m（耐熱）
外装	t0.8アルミパネル
付属品	通気、電極カバー、ケミカルアンカーボルト
重量	本体 2800 kg 受台 1650 kg 熱交 460 kg

品番	名称	材質	寸法	個数	備考
11	熱交取付口	SUS304	450A	1	10KF SUS304
10	内 はしご	SUS444	330x300	1	L30x30
9	外 はしご	STKM	400x300	1	φ25.4・RB16
8	電極取付用座	SUS316	50A	1	内外ソケット
7	通気口	SUS304	100A	5	封水式
6	マンホール	SUS444	Φ600	1	ボルト式 保温付
5	排水口	SUS304			
4	溢水口	SUS304			
3	給水口	SUS304			
2	揚水口	SUS304			内外ソケット
1	本体	SUS			

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年 月 日 計画 製作 調査 調査	実務番号 257031
図面名	給排水衛生設備 開放型貯湯タンク 参考図	縮尺	A1 1:30 A3 1:60		図面番号 M-50

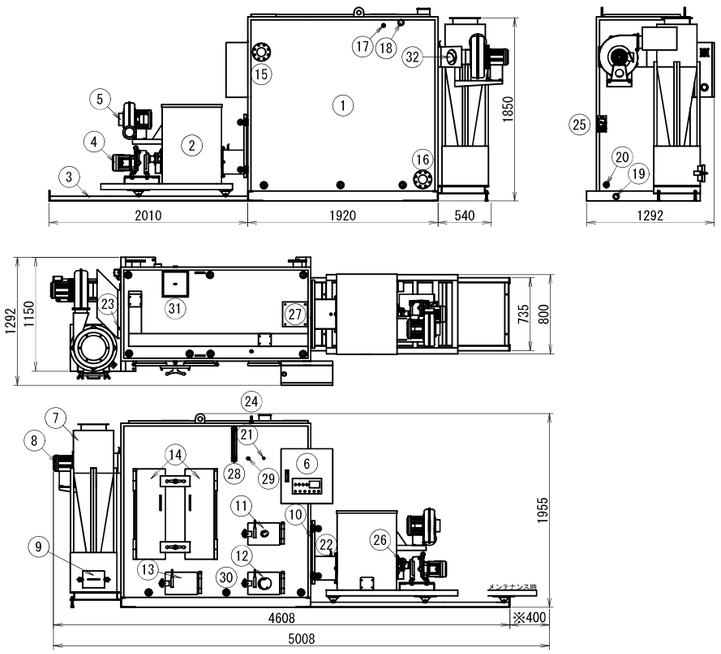




サイクロン集塵機出口寸法　縮尺1/15

※あと施工アンカー(ケミカル)
※基礎高150～200

参考図



詳細図

木質ペレット焚き温水ボイラ　仕様表			
区分	番号	名称　事項	詳細
ボイラ	1	定格熱出力	250,000kcal/h (290kw)
		最大使用水頭圧	無圧開放式
		伝熱面積	18.3㎡
		ボイラ構造	水管式
		ボイラ材料	SPHC、SGP
バーナ	2	使用燃料	木質ペレット
		燃料消費量	最大　68kg/h 通常　54kg/h
	3	バーナ移動レール	メンテナンス時に後部に移動
	4	燃料送りモーター	0.75kw　1台　インバーター制御
	5	燃焼空気送風機	0.4kw　1台
		点火方式	種火（埋火）方式
制御	6	制御盤	シーケンス制御　全自動
集塵機	7	集塵方式	サイクロン式
	8	燃焼ガス排風機	1.0kw　1台　インバーター制御
ドア	9	サイクロン集塵機灰出しドア	ボルト2本締め
	10	バーナー接合、メンテナンスドア	ボルト4本締め
	11	バーナ点検ドア	ヒンジ式
	12	燃焼室灰出しドア	〃
	13	水管下灰出しドア	〃
	14	水管掃除ドア	〃
外部接続口	15	温水往口	80A　10Kフランジ
	16	温水還口	〃
	17	給水口	20A　鉄ソケット　ボールタップ方式
	18	オーバーフロー口	40A　鉄ソケット
	19	排水口	〃
	20	予備排水口	〃
安全装置	21	ボイラ水温度センサー	熱電対センサー
	22	逆火センサー	〃
	23	未着火センサー	〃
	24	水位センサー	水位検出棒方式
	25	感震器	鋼球方式
	26	燃料送りモーター保護	シャーピン式
その他	27	固定台	燃料搬送モータ取り付け時に使用
	28	水面計	15A　鉄ソケット×2
	29	予備口	15A　鉄ソケット
	30	点検口	65A　鉄ソケット×7(上部)　×8（下部）
	31	ボイラ開放口	250×250口　蓋付き
	32	二次空気取り入れ口	スライド調整式
電源		三相200V	モーター計3台　合計2.15kw
		単層100V	三相電源喪失警報用
重量		ボイラ重量　保有水量	1,880kg（集塵機、制御盤含む）保有水量1,100L
		バーナ重量	550kg（移動レール含む）
		合計重量　運転重量	合計重量2,430kg　運転重量3,530kg

工事名	（仮称）地域交流温浴センター建設工事			令和7年　月　日	業務番号 257031
図面名	給排水衛生設備 ペレットボイラ 参考図	縮尺	A1 1:30 A3 1:60	計画　製作　調査　調査	図面番号 M-51